別 冊 5

令和３年度決算

事 業 担 当 課 に よ る
事 務 事 業 評 価 調 書

豊後大野市

目　次

『 事業担当課による事務事業評価調書』

Ⅰ　基本的な考え方　３Ｐ

Ⅱ　評価調書における各項目の説明　６Ｐ

Ⅲ　評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性　７Ｐ

Ⅳ　課局別評価（事業の方向性）結果一覧表　８Ｐ

Ⅴ　事務事業評価調書　１０Ｐ

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表　４６２Ｐ

Ⅰ　「事業担当課による事務事業評価」の基本的な考え方

●事務事業評価の目的

全ての業務は「手段」であって、活動することそのものに目的はなく、「成果」を生み出すことに「目的」があります。

しかし、業務を遂行した結果、どのような「成果」が生まれるのか、あるいは「行政サービスの受け手がどのようになるのか」について、あまり意識をせずに業務を行っているケースも見られます。

そこで「成果」を意識した計画立案を行うことや、「活動」した結果から生まれた「成果」について、担当職員や所属長等が「確認・共有化」を図るために、一次評価として担当係長が、二次評価として所属長等が事務事業を評価します。

また、担当職員自らが市民の目線で、実施した事業の目的や方法を客観的に見つめ直し、意識改革を図ります。

さらに、評価結果に基づき、目的達成のための課題や問題点を発見し、各課が主体的に改善・改革方法を考え実行していきます。

○事務事業の効率性の向上

事務事業を予算の執行率や事業の進捗度という観点からだけでなく、事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、当初設定した目標の達成度等を客観的に評価し、その結果を行政運営の改善につなげることにより、市民の満足度の高い行政サービスを効率的に提供します。

○事務事業の見直しと予算編成への反映

不要・不急あるいは効果の小さい事務事業を明確にすることによって、事務事業の整理・合理化・廃止及び予算編成への反映やその効率的な配分を図ります。

事務事業担当課は、当初予算編成時に示されるシーリング（事業充当一般財源の要求上限額）の範囲内で、自ら積極的なマネジメント（事業の優先順位に伴う取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド等）により予算編成を行いますが、その際（マネジメント時）の判断材料（優先順位等の根拠）として事務事業評価を活用することとします。

○行政の透明性と市民への説明責任

事務事業の目的、内容、達成度などを市民に公表することによって、行政の透明性の向上を図るとともに市民に対する説明責任を果たします。

○職員の意識改革

評価活動を通して、担当する事務事業の目的意識・目標達成意識やコスト意識の浸透など、職員の意識改革を図ります。

総合計画の全体図

まちの将来像	人も自然もシアワセなまち
まちづくりの大綱	育ち合い、行動する、市民参画によるコミュニティづくり
基本理念	しごと・くらし・ひと・環境

政策

豊かな生活を支えるしごとがあるまち

施策

1. 農業の振興
(1) 農業経営基盤を整備する
(2) 多様な担い手を育成する
(3) 農業生産基盤を整備する
(4) ブランド化、販路拡大を強化する
(5) 遊休農地の解消を推進する
(6) 畜産業を支援する
(7) 有害鳥獣対策を強化する

2. 林業の振興
(1) 林業経営体を支援する
(2) 林業生産基盤を整備する

3. 工業の振興
(1) 企業誘致を推進する
(2) 新たな産業を支援する

4. 商業・サービス業の振興
(1) 経営基盤を強化する
(2) 商店街を活性化する
(3) 中心市街地を活性化する

5. 観光の振興
(1) 新たな観光振興ビジョンを策定する
(2) 観光情報発信を強化する
(3) 観光拠点を整備する

6. 雇用環境の向上
(1) 雇用創出の拠点を整備する
(2) 就業環境を充実する
(3) 勤労者福祉を向上する

政策

豊かな福祉社会の実現を目指すまち

施策

1. 保健・医療サービスの充実
(1) 健康づくり活動を推進する
(2) 疾病予防を推進する
(3) 地域医療環境を充実する

2. 地域福祉の充実
(1) 地域福祉活動を推進する
(2) 災害時における地域福祉を支援する

3. 結婚・出産・子育て支援の充実
(1) 子育て支援サービスを充実する
(2) 保育サービスを充実する
(3) 男女の出会いの場を提供する

4. 高齢者福祉の充実
(1) 介護サービスを充実する
(2) 介護予防・地域包括ケアを充実する
(3) 生きがいづくりを推進する

5. 障がい者福祉の充実
(1) 障がい者福祉サービスを充実する
(2) 自立支援サービスを充実する

6 社会保障の充実
(1) 低所得者福祉を充実する
(2) 国民健康保険制度の健全な運営を推進する
(3) 国民年金制度の健全な運営を推進する
(4) 後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する

政策

豊かなくらしと安心を実感できるまち

施策

1. 交通ネットワークの整備
(1) 市道を整備する
(2) 国道・県道の整備を促進する
(3) 公共交通の整備を促進する
(4) コミュニティバスの運行を推進する

2. 上下水道の整備
(1) 上水道等を整備する
(2) 生活排水処理を推進する

3. 住宅環境等の整備
(1) 市営住宅を整備する
(2) 住宅団地を整備する
(3) 公園・緑地を整備する

4. 土地利用・景観の整備
(1) 都市計画区域を整備する
(2) 地籍調査を推進する
(3) 緑化を推進する

5. 環境衛生の推進
(1) 汚水処理対策を充実する
(2) 廃棄物対策を充実する
(3) 葬斎場等の適正管理、公衆衛生を推進する
(4) 循環型社会を形成する

6. 移住・定住の促進
(1) 移住・定住を促進する

7. 交通安全・防犯対策の推進
(1) 交通安全対策を推進する
(2) 防犯対策を推進する
(3) 消費者対策を充実する

8. 防災対策の充実
(1) 防災体制を強化する
(2) 災害危険区域を整備する
(3) 災害対策を強化する

9. 消防・救急体制の充実
(1) 消防・救急体制を強化する
(2) 消防施設を整備する

10. 情報管理、情報化の推進
(1) 適正な情報管理を強化する
(2) 公聴・広報活動を充実する
(3) ケーブルテレビ事業を充実する
(4) 携帯電話不感地域を狭める

政策

豊かさをつなぐ協働によるまちづくり

施策

1. 地域コミュニティ活動の推進
(1) 地域コミュニティを育成する
(2) 地域を支える人材を育成する

2. 協働によるまちづくりの推進
(1) 協働の仕組みづくりと意識を高揚する

3. 広域連携の推進
(1) 多様な広域連携を推進する

4. 主体的で計画的な行財政運営の推進
(1) 事務事業の点検と改善を強化する
(2) 民間活力を推進する
(3) 公共施設の適正配置と整備を強化する
(4) 財政の健全な運営を図る
(5) 市職員のレベル向上を目指す

政策

豊かな心と学ぶ意欲を育むまち

施策

1. 学校教育の充実
(1) 教育内容を充実する
(2) 教育体制を充実する
(3) 安心安全な教育環境をつくる
(4) 就学環境を充実する
(5) 高等学校を支援する

2. 生涯学習の推進
(1) 生涯学習を推進する
(2) 公民館機能を充実する
(3) 図書館を整備する

3. スポーツの振興
(1) 生涯スポーツを推進する
(2) スポーツ施設を整備する
(3) 競技スポーツを振興する

4. 文化・芸術の振興
(1) 文化・芸術活動を推進する
(2) 文化活動施設を整備する
(3) 友好都市との交流を推進する

5. 文化財等の保存・継承
(1) 文化財等の保存・継承・活用を推進する

6. 人権尊重社会の実現
(1) 人権が尊重される地域社会を実現する
(2) 男女共同参画社会づくりを推進する

政策

豊かな自然を未来に残し伝えるまち

施策

1. ジオ・自然との共生
(1) 自然教育を推進する
(2) 大地の恵み、ジオを継承する
(3) 生物多様性を保全する

2. 環境保全の推進
(1) 環境保全対策を推進する
(2) 自然保護対策を推進する
(3) 環境美化活動を推進する
(4) 景観を保全・形成する

Ⅱ評価調書における各項目の説明

（様式１）

事業番号	枝番
細事業と評価事業の枝番	

（令和 3 年度計画）　総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）　事　務　事　業　評　価　調　書

課局名		係名	

事　業	事務事業	細事業	細事業名	実施計画事業	評価事業の実施計画の事業名	終了年度	終了年度が予定されているものは記入

総合計画体系図No.→（　　）

会計	一般	政　策	評価事業の総合計画後期基本計画に基づく「政策」・「施策」・「施策の展開」の体系図
款		施　策	
項		施策展開	
目		後期基本計画	☐ 過疎計画　☐ 総合戦略　☐ コロナ充当
決算			

予算所在事業別決算書のページ

後期基本計画のページ

個別計画名	期間	年度	評価事業の位置づけられている市の個別計画	年度
	期間	年度 ～		年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
評価事業の主な歳出予算の内容	

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容 Plan	年度	主な活動実績 Do
＜事業の目的＞ 事業の目的	R3	活動実績 ※R4年度以降は、決算後記入
	R4	
＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 取組内容	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額					
当初予算					
決 算 額					

実施計画事業に係る事業費と財源内訳
・計画額はR3～R7年度まで記入
・当初予算額はR3～R4年度まで記入
・決算額はR3年度まで記入

Ⅱ評価調書における各項目の説明

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1			☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2			☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
D 成果指標	1			☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画								
	2			☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

活動指標
評価事業の業務の量を数値化して表すための指標名とその算出にかかる説明

成果指標
評価事業の目的を数値化して表すための指標名とその算出にかかる説明

左記で設定した指標の実績
※中段＝各年度の実績、下段＝目標値に対する達成率

E 評価対象外の理由	評価事業の分析(担当課) ※基準は別紙参照	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価） Check		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	点		点	
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	点		点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	点		点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	点	点	点
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	点	／25点	点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方 Action	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	評価事業の翌年度(担当課) ※確定ではない

Ⅲ　評価項目、評価対象事業の考え方及び今後の方向性

※事業担当課による評価

《評価項目》

評価項目	分析基準（1～5点で評価）
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1　→　2　→　3　→　4　→　5 なっていない　⇒　なっている
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1　→　2　→　3　→　4　→　5 優先度低い　⇒　優先度高い
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1　→　2　→　3　→　4　→　5 できなかった　⇒　できた
4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1　→　2　→　3　→　4　→　5 推移していない　⇒　推移した
5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1　→　2　→　3　→　4　→　5 推移していない　⇒　推移した

《評価対象事業の考え方》

※原則、市が実施する予算を伴う全事業。ただし、以下の義務的な事務事業等は評価対象外

評価対象外の項目
1．職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
2．国等からの委託をうけて実施する事業（年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など/全額国等負担）
3．法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難（生活保護、児童手当など）
4．国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
5．繰出基準等に基づく他会計への繰出金（負担金補助金含む）
6．市政選挙、災害復旧事業及び予備費
7．事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
8．公共施設（箱物）の新築や大規模改修
9．その他（評価が困難な事務事業）

《今後の方向性》

方向性の区分	判断基準
A　現状のまま継続	・現状の事業内容や経費などに変更が無く、今後も実施する事務事業 ・事業の目的を達成するためには、現状どおりの事業手段で継続することが適当と認められる事務事業
B　見直しの上で継続 （1　拡　充）	・市民のニーズや社会情勢から事業を拡大していくことが適当と判断される事務事業 ・事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進すべき事務事業
B　見直しの上で継続 （2　手段等の改善）	・事業の対象や手段（活動内容）等を見直すことにより、成果が向上すると判断される事務事業
B　見直しの上で継続 （3　効率化/ RPA等）	・電子化、民間委託や事務の見直し等により事務の効率化や経費削減が見込まれる事務事業
B　見直しの上で継続 （4　縮小）	・費用負担を軽減しても、成果及び市民サービスの低下をもたらさないと認められる事務事業 ・利用者、対象者の減少など市民ニーズの低下傾向がみられる事務事業 ・市民ニーズを上回るサービス提供となっている事務事業
B　見直しの上で継続 （5　統合）	・他の事業等と対象、手段、意図が類似し、統合することにより経費の削減や効率化が図られる事務事業
C　終了	・目的を達成した事業、評価年度で終了する事務事業 ・成果指標等の達成、補助団体等の発展的解消や事業期間が終了する事務事業
D　休 止	・事業の成果や財政状況等により、一時的に休止がやむを得ないと判断される事務事業 ・暫定的に休止する事務事業（隔年または不定期に実施する事務事業）
E　廃 止	・実施の妥当性が認められないまたは実施の必要性が低い事業、成果が認められない事務事業 ・利用者、対象者の減少などにより市民ニーズが著しく低下した事務事業

Ⅳ　課局別評価（事業の方向性）結果一覧表

担当課局係名		評価対象事業数	評価対象の令和5年度事業の方向性									評価対象外事業
			継続	見直しの上で継続					終了	休止	廃止	
				拡充	手段等の改善	効率化/RPA等	縮小	統合				
総務課	総務係	5										5
	ケーブルテレビ管理係	1	1									
	人事給与係	4	4									
	広報広聴係	2	1	1								
	情報推進室情報推進係	5	3					1	1			
	防災対策係	12	10						2			
財政課	管財係	3	3									
	行革推進係	1	1									
	財政係	3	2									1
	契約検査/財政係	1	1									
税務課	収納管理係	2	2									
まちづくり推進課	企画調整係	15	10			2						3
	地域振興係	34	18	3	4		1		8			
	文化芸術振興係	4	4									
	朝倉文夫記念館係	3	3									
市民生活課	戸籍住民係	4			1							3
	国保年金係	3										3
	健康づくり支援係	8	6									2
	親子健康係	10	8									2
	食育推進係	2	2									
環境衛生課	清掃センター係	2	2									
	環境衛生係	11	6		2		2					1
	白鹿浄化センター係	1	1									
人権・部落差別解消推進課課	人権・部落差別解消推進係	7	7									
	男女共同参画係	1	1									
	隣保館係	8	4		1		1		2			
社会福祉課	生活保護係	10	6		2	1					1	
	福祉監査係	10	5	1								4
	障がい支援係	32	23									9
子育て支援課	こども支援係	35	21	1					1			12
	家庭支援係	24	4	6	3						1	10
	緒方保育園	4	2									2
高齢者福祉課	いきいき高齢者係	20	19								1	
	地域包括ケア推進係	3	3									
	介護保険係	2										2

Ⅳ　課局別評価（事業の方向性）結果一覧表

担当課局係名		評価対象事業数	評価対象の令和5年度事業の方向性									評価対象外事業
			継続	見直しの上で継続					終了	休止	廃止	
				拡充	手段等の改善	効率化／RPA等	縮小	統合				
農業振興課	担い手支援係	22	17	2					2		1	
	畜産振興係	15	12						1	1	1	
	農政企画係	9	8						1			
	農業再生協議会	1	1									
	農業振興係	19	7	2	5	1						4
農林整備課	地籍調査係	1	1									
	基盤整備係	15	7					1	3	1		3
	林業振興係	21	17		1				1	1	1	
	農林企画係	3	3									
商工観光課	経済振興係	13	11				1		1			
	観光振興係	12	7	1	2				1			1
建設課	建設企画係	5	3									2
	道路保全係	14	8				1					5
	道路建設係	9	6				1		1	1		
	都市計画建築係	10	6	1	1					2		
上下水道課	工務係／管理係	7	1									6
【教育委員会】												
学校教育課	教育総務係	11										11
	学校教育係	44	18	1	3							22
	学校給食係	2	1									1
社会教育課	スポーツ推進係	10	6									4
	図書館係	4	4									
	文化財係	5	2									3
	社会教育係	18	11		2				1			4
【その他部局】												
議会事務局	議会係	3	3									
会計課	会計管理係	1				1						
選挙管理委員会事務局	選挙係	3	1									2
監査事務局	監査係	1	1									
農業委員会事務局	農地管理係	4	2									2
【消防本部】												
総務課	消防保安係	2	1	1								
	総務係	5	3		1				1			
合　計		581	351	20	28	5	7	2	27	6	6	129

（様式１）

事業番号	枝番
2001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	議会事務局	係名	議会係

事 業	議会運営事業	細事業	議会運営事務	実施計画事業	議会運営事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 295 ）

会計	一般
款	1
項	1
目	1
決算	11

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	2 協働によるまちづくりの推進
施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める
後期基本計画 76 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
議員報酬	73,618
議員期末手当	23,886
議員共済組合負担金	20,798
費用弁償	5,935

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 二元代表制の下、市政に対する監視機能の強化を図るとともに、積極的に情報を公開し、民意を反映した開かれた議会運営を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○ 定例会・臨時会の運営 ○ 委員会の審査及び所管事務調査 ○ 議会図書室機能の充実化 ○ 議会活動の周知	R3	コロナ禍の影響により、県外出張、委員会の行政視察が令和2年から引き続き中止となった。オンライン会議等の増加に伴い、議会もICTの推進に取組み、令和3年９月定例会からタブレット端末を用いたペーパーレス会議を試行。また多くの市民に議会活動を知ってもらうため、本会議のインターネット中継を令和4年第1回定例会より開始した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	132,560				132,560
当初予算	132,560				132,560
決 算 額	120,583				120,583
R４計画	137,331				137,331
当初予算	137,331				137,331
決 算 額					
R５計画	143,297				143,297
当初予算					
決 算 額					
R６計画	135,456				135,456
当初予算					
決 算 額					
R７計画	134,893				134,893
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	683,537				683,537
当初予算	269,891				269,891
決 算 額	120,583				120,583

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	議会運営に関する情報のHP（ホームページ）更新回数	令和3年度の議会HPの更新回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	109	回	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	111				
						%	達成率	111.0				
	2	―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	本会議の傍聴者数	令和3年中の定例会、臨時会の傍聴者数の累計	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	69	回	目標値					
							実績値	110				
						%	達成率					
	2	―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	18 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度はコロナ禍の影響により、関連団体の会議（全国市議会議長会、九州市議会議長会等）や委員会の行政視察が中止となり、予算や事業の執行が出来なかった。本年度は新型コロナの感染状況を注視しながら、感染対策を講じた上で各種会議・研修や行政視察を実施する予定である。 定例会、臨時会の運営、委員会の審査及び所管事務調査に係る業務等を適切に進めていく。	コロナの影響による制限下の活動等となったことから、計画どおりに事業を推進できなかった。変化する環境等も想定した事業の実施方法の見直し等が適時必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
2002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	議会事務局	係名	議会係

事 業	議会運営事業	細事業	議会会議録調製事務	実施計画事業	議会会議録調製事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 275 ）

会計	一般
款	1
項	1
目	1
決算	11

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	②広聴・広報活動を充実する
後期基本計画 71 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
筆耕翻訳料	2,373
会議録検索システム使用料	779
音声認識システム等使用料	542
会議録検索システム更新業務委託料	274

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 会議録に審議経過・議決結果を正確に作成し、保存する。また、作成した会議録をＨＰ（ホームページ）等で公開し、いつでも検索できるようにする。 これらにより、市民への情報公開と市政への参加を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○ 本会議会議録の作成 ○ 本会議会議録のホームページ公開	R3	定例会4回、臨時会2回の本会議会議録の作成 本会議会議録のホームページ公開
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	3,968				3,968
当初予算	3,968				3,968
決 算 額	2,554				2,554
Ｒ４計画	3,968				3,968
当初予算	3,660				3,660
決 算 額					
Ｒ５計画	3,968				3,968
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	3,968				3,968
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	3,968				3,968
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	19,840				19,840
当初予算	7,628				7,628
決 算 額	2,554				2,554

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	会議録作成回数（会議録ＨＰ更新回数）	定例会年4回、臨時会は年3回程度	□ 総合戦略 □ 個別計画	7	回	目標値					
							実績値	6				
						%	達成率					
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	会議録ＨＰ閲覧件数	会議録ホームページに掲載した会議録の閲覧件数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	1,479	回	目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本会議会議録の作成と検索システムの情報の追加・更新を適時行っており、市民への情報公開を適切に行っている。	事業は、計画どおり、適時適切に行われている。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
2003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	議会事務局	係名	議会係

事業	議会運営事業	細事業	議会だより編集発行事業	実施計画事業	議会だより編集発行事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 274 ）

会計	一般
款	1
項	1
目	1
決算	11

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	②広聴・広報活動を充実する
後期基本計画	71 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	2,736
議会広報点字版・音声版作成委託料	369

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 議会の考えや活動状況を広く市民に情報提供するため、広報紙を発行する。また、発行した広報紙をＨＰ（ホームページ）に掲載し、いつでも閲覧できるようにする。 これらにより、市民への情報公開と市政への参加を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○ 広報紙の編集・発行 年５回（定例号４回、臨時号１回） ○ 広報紙点訳版・音訳ＣＤの発行 ○ 広報紙ＰＤＦ版・音訳版のホームページ掲載	R3	○ 広報紙の編集・発行 年５回（定例号４回、臨時号１回） ○ 広報紙点訳版・音訳ＣＤの発行 ○ 広報紙ＰＤＦ版・音訳版のホームページ掲載
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	3,105				3,105
当初予算	3,105				3,105
決算額	2,206				2,206
Ｒ４計画	2,958				2,958
当初予算	3,043				3,043
決算額					
Ｒ５計画	3,105				3,105
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	2,958				2,958
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	3,105				3,105
当初予算					
決算額					
計画額	15,231				15,231
当初予算	6,148				6,148
決算額	2,206				2,206

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報紙発行回数	定例会号年4回 臨時会号年1回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	5	4	5	4	5
						実績値	5				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「議会だより」を定例会・臨時会の開催にあわせて適時発行しており、議会での各議員の対応などの情報を広く市民に提供・発信している。インターネット中継の開始により、VOD配信と併せた広報誌の活用が求められる。	広報紙を計画どおりに発行できている。今後も、市民が議会の必要情報をすぐに得られるよう、他媒体との連動などの効果的手段を積極的に活用していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
3004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	人事給与係

事 業	総務一般管理事業	細事業	職員研修事業	実施計画事業	職員研修事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 301 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	1
決算	12

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり
後期基本計画 80 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
職員研修委託料	1,999
普通旅費	544
講師謝礼金	190
実費弁償	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 各種研修を通じ、職員の資質向上及び能力開発を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・市独自研修 ・大分県自治人材育成センター研修 ・市町村アカデミー研修	R3	・市独自研修　886名 ・大分県自治人材育成センター研修　171名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,925			230	2,695
当初予算	2,925			230	2,695
決 算 額	1,511				1,511
R４計画	2,925			230	2,695
当初予算	2,905			230	2,675
決 算 額					
R５計画	2,925			230	2,695
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,925			230	2,695
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,925			230	2,695
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	14,625			1,150	13,475
当初予算	5,830			460	5,370
決 算 額	1,511				1,511

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 各種研修機会の提供	市独自研修 5回、県自治人材育成センター研修 1回、市町村アカデミー研修　1回	□ 総合戦略 □ 個別計画	7	回	目標値	7				
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 研修受講者数	各種研修の受講者数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	1,411	名	目標値					
						実績値	1,057				
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	1 点	17 点 ／25点	1 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市独自研修について、年度毎に職員の資質の向上につながる研修を企画し実施する。また、大分県自治人材育成センターが実施する研修を有効活用し、多分野の研修への参加を促進する。	市独自の研修は、多数の職員が受講し良好であった。また、大分県自治人材育成センターが実施する研修に対しても多くの職員が出席し成果があった。引き続き、多くの職員に対して、研修の機会を提供していく。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
4001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	人事給与係

事 業	福利厚生事業	細事業	メンタルヘルス相談事業及び職場復帰支援事業	実施計画事業	メンタルヘルス相談事業及び職場復帰支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 305 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	1
決算	13

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり
後期基本計画 80 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ストレスチェック業務委託料	1,078
メンタルヘルス相談業務委託料	637
安全衛生産業医報酬	540
職員職場復帰等面談業務委託料	110

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
合同衛生委員会の開催及び公認心理師によるカウンセリングを実施し、職員の健康管理及び仕事と家庭の両立を図る。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・合同衛生委員会の開催
・月に45時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談（衛生管理者）
・月に80時間を超えて時間外勤務を行った職員に対する面談（産業医）
・産業医による職場巡視
・ストレスチェックの実施
・高ストレス者に対する精神科医師面談
・公認心理師によるカウンセリング
・休職者等の職場復帰支援

年度	主な活動実績
R3	合同衛生委員会 8回開催 ストレスチェック事業 ５７５名 メンタルヘルス相談事業 12回開催延べ相談者数44名
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,380				2,380
当初予算	2,380				2,380
決 算 額	1,499				1,499
R４計画	2,380				2,380
当初予算	2,218				2,218
決 算 額					
R５計画	2,380				2,380
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,380				2,380
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,380				2,380
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,900				11,900
当初予算	4,598				4,598
決 算 額	1,499				1,499

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 衛生活動開催数	各課等の事業場単位で、所属長が主体となって実施する衛生活動の開催回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	390	回	目標値	660	660	660	660	660
						実績値	660				
					%	達成率	100.0				
	2 カウンセリングの実施	「職員サポート相談会」の実施回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 合同衛生委員会の開催回数	別途、委員会を設置している市民病院を含めた市の合同衛生委員会の開催回数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	8				
					%	達成率	66.7				
	2 カウンセリング相談件数	毎月実施する「職員サポート相談会」の実施に伴う相談件数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	48	件	目標値	36	36	36	36	36
						実績値	44				
					%	達成率	122.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	1 点	17 点 ／25点	1 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

合同衛生委員会は、コロナ禍の影響もあり、月1回の対面開催及び書面開催の形態を活用しつつ、職員の健康管理及び職場環境の改善等に資するよう実施した。今後も労働安全衛生法に基づき必要な会議を開催することはもとより、会議の内容が固定化する傾向にあるため、衛生管理者を有効活用しながら委員会の充実を図る。
ストレスチェック事業は、令和3年度に事業実施要領を見直し実施した。正規職員はもとより会計年度任用職員を対象に575名の受検実績を得た。高ストレス者については、産業医への相談の斡旋を行いメンタルヘルスの維持に活用できた。衛生管理者が危険度が高いと判断する職員への面談を通年実施し、メンタルヘルスの維持・改善に資するよう取り組みを推進する。
メンタルヘルス相談事業は、公認心理師が専門知識を活用し相談者が抱える悩み事や困り事を解決することと併せ、相談者の相談内容は完全秘密という形態をとっているため、職員からの相談件数も毎回定員に近い件数となっている。適切なアドバイスによりメンタルヘルスの維持・改善に有効であるため、今後も継続して実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

合同衛生委員会及び職場巡視、メンタルヘルスチェック、面談の実施を図っていくことができた。メンタルによる病休者等が増加する中で引き続き、充実を図っていく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
4002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	人事給与係

事 業	福利厚生事業	細事業	職員健診事業	実施計画事業	職員健診事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 305 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	1
決算	13

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり
後期基本計画 80 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
検査健診委託料	6,177

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 事業実施により、職員の健康管理を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 職員健診事業 ・正規職員 ・会計年度任用職員	R3	正規職員 486名 会計年度任用職員 65名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,177				6,177
当初予算	6,177				6,177
決 算 額	5,494				5,494
R４計画	6,170				6,170
当初予算	8,698				8,698
決 算 額					
R５計画	6,170				6,170
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,170				6,170
当初予算					
決 算 額					
R７計画	6,170				6,170
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	30,857				30,857
当初予算	14,875				14,875
決 算 額	5,494				5,494

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 周知件数	事業対象者への受診周知件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	560	件	目標値					
						実績値	575				
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 受診率	受診対象者の受診率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	99.8	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	1 点	21 点 ／25点	1 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度健診対象者全員が受診した。今後も職員の健康増進のため、事業を継続する。	引き続き、受診率１００％を維持する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
4003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	人事給与係

事 業	福利厚生事業	細事業	職員互助会事業	実施計画事業	職員互助会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 305 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	1
決算	13

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり
後期基本計画 80 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
職員互助会負担金	2,499

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 福利厚生事業を実施する豊後大野市職員互助会に対する負担金を交付し、会員の健康増進、相互親睦及び社会貢献事業等の活動に寄与する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・職員互助会負担金の支出	R3	理事会への参加 3回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,499				2,499
当初予算	2,499				2,499
決 算 額	2,499				2,499
R４計画	2,499				2,499
当初予算	2,499				2,499
決 算 額					
R５計画	2,499				2,499
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,499				2,499
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,499				2,499
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,495				12,495
当初予算	4,998				4,998
決 算 額	2,499				2,499

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 理事会への参加	参加回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値	3				
					%	達成率					
D 成果指標	1 適正な負担額	互助会事業費に対する負担額	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,499	千円	目標値	2,499	2,499	2,499	2,499	2,499
						実績値	2,499				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	1 点	12 点 ／25点	2 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
互助会事業について、効果の薄れた事業内容の見直しが必要と考える。	事業内容の再検討を団体に求める。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
5001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	財政課	係名	財政係

事 業	財政管理事業	細事業	基金運営管理事業	実施計画事業	基金運営管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 311 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	2
決算	14

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第2次豊後大野市総合計画後期基本計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
財政調整基金積立金	7,241
減債基金積立金	3,736
公共施設整備基金積立金	8,478
地域振興基金積立金	2,698

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
予算編成における財源調整や突発的な災害などに対応するため、財政調整基金及び減債基金を適正に運用するとともに、公共施設整備基金をはじめとする特定目的基金を有効に活用することで、持続可能な財政運営を図り、安定的な行政サービスの提供を行う

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・当初予算編成において、財源不足調整のため財政調整基金の繰入を見込む。また、対象事業に対して目的基金を充当する。
・基金運用から生じた利子の積立をする。
・前年度決算の実質収支額１／２以上を財政調整基金に積立る

年度	主な活動実績
R3	財政調整基金残高 5,957,067千円 減債基金残高 1,937,011千円 公共施設整備基金残高 4,882,556千円 地域振興基金残高 2,848,357千円
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	22,153			22,153	
当初予算	22,153			22,153	
決 算 額	229,677			79,662	150,015
R４計画	22,153			22,153	
当初予算	20,106			20,106	
決 算 額					
R５計画	22,153			22,153	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	22,153			22,153	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	22,153			22,153	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	110,765			110,765	
当初予算	42,259			42,259	
決 算 額	229,677			79,662	150,015

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 財政調整基金残高を標準財政規模の20%以上	R3年度標準財政規模 14,600,615千円×20%＝2,920,123千円	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5,864,547	円	目標値	2,920,123				
						実績値	5,957,067				
					%	達成率	204.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

R3年度の決算額は229,677千円となっている。
内訳は財政調整基金は利子分21,205千円、減債基金は利子分3,109千円と普通交付税再算定による増加分（臨時財政対策債償還基金費分）150,014千円、公共施設整備基金は利子分53,086千円、地域振興基金は利子分2,262千円となっている。
これは予算額に対し1,000%超の決算額となっているが、減債基金積立分の普通交付税の増加分が大きな要因となっており、例外的な年度となっている。
今後については、自主財源の乏しい本市において、近年の大規模災害の発生や普通交付税の減少、また将来の公債費の償還等への備えも必要となる。そのためある一定程度の蓄えは必要となるが、これらの基金を計画的に活用するためのルール作りの検討の必要があると考える。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

国、地方ともに少子高齢化に伴う社会保障関係経費及び扶助費の増加、公債費の累積など今後厳しくなる財政状況に対応するため、適正な基金管理を行う必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
5002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	財政課	係名	財政係

事 業	財政管理事業	細事業	連結財務諸表作成事業	実施計画事業	連結財務諸表作成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 316 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	2
決算	14

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第2次豊後大野市総合計画後期基本計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
財務書類作成支援業務委託料	2,948

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 統一的な基準に基づき財務書類を作成・公表し、財政の見える化を推進する ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 総務省からの「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき財務書類の作成を委託 ＜連結対象＞ ・一般会計 ・公営企業会計（6会計） ・公営事業会計（3会計） ・一部事務組合・広域連合（大分県消防補償等組合など４団体5会計） ・豊後大野市土地開発公社 ・豊後大野市農業農村振興公社 ・ぶんごおおのエナジー	R3	連結財務諸表等の作成・ホームページでの公表
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,948				2,948
当初予算	2,948				2,948
決 算 額	2,948				2,948
R４計画	2,948				2,948
当初予算	2,948				2,948
決 算 額					
R５計画	2,948				2,948
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,948				2,948
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,948				2,948
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	14,740				14,740
当初予算	5,896				5,896
決 算 額	2,948				2,948

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	対象決算の翌年度までに連結財務諸表の作成する		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	わかりやすい財務諸表の作成	わかりやすい財務諸表を作成し、公表する	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	連結財務諸表の完成と公表		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	公表周知	市のホームページに掲載し、公表周知を図っている。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
連結対象の数が多く、事務負担が多い反面、担当する職員は他の財政業務を兼務しているおり多くの時間をかけれないため、事業に対する深いリテラシーが必要である。このため担当職員のスキルアップを図るための研修等に参加することは有意義だと考えるが、他業務との兼ね合いもあり、困難となっている。 また、現状は外部委託の作成支援により行っているが、これらを活用した公共施設マネジメント等には至っていないのが現状。 しかしながら、国は積極的に推進を図っていることや、活用方法によっては限られた財源を賢く使うことにつながることから、今後もさらなる事業の推進が必要となると考えられるが、現状の職員配置では困難なため、一担当業務としての職員の配置が必要と考える。	外部委託による財務書類作成支援により簡易な分析、公表を行っているが、施設単位などといったセグメント分析にまでは至っていない。 担当職員も含め係全体のスキルアップが必要。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
5003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	財政課	係名	契約検査／財政係

事 業	財政管理事業	細事業	財政管理事務費	実施計画事業	財政管理事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 316 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	2
決算	14

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画 80 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市行財政改革指針
	期間 R2 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
入札・契約管理システム保守管理委託料	820
印刷製本費	700
県共同利用型電子入札システム負担金	650
公共施設マネジメントシステム利用料	621

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 持続可能な財政基盤の確立を図り、計画的で健全な財政運営を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行する。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行う。 ・公共施設マネジメントシステムを使用し、長期的な修繕計画等の包括的な管理を行う。	R3	・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を執行した。 ・入札・契約管理システムを使用し、契約管理を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,926				3,926
当初予算	3,926				3,926
決 算 額	3,607				3,607
R４計画	4,263				4,263
当初予算	4,263				4,263
決 算 額					
R５計画	4,263				4,263
当初予算					
決 算 額					
R６計画	4,263				4,263
当初予算					
決 算 額					
R７計画	4,263				4,263
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	20,978				20,978
当初予算	8,189				8,189
決 算 額	3,607				3,607

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 入札執行	R2実績件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	400	件	目標値	316	300	300	300	300
						実績値	316				
					%	達成率	100.0				
	2 契約管理	R2実績件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	372	件	目標値	300	300	300	300	300
						実績値	300				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
・入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、入札を適正に執行することができた。 ・入札・契約管理システムを使用し、適正に契約管理を行うことができた。 今後も入札・契約管理システム及び県共同利用型電子入札システムを使用し、適正な入札執行、契約管理を行う。	入札・契約管理システム及び大分県共同利用型入札システムを利用することで、適正に入札を執行することが出来た。 市の入札・契約管理システムは今後も改良につとめ、より効果的な利用促進を図ることが必要と思われる。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
5005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	財政課	係名	行革推進係

事業	財政管理事業	細事業	行革推進事業	実施計画事業	財政改革推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 316 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	2
決算	14

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市行財政改革指針	期間 R2 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
行政改革審議会委員報酬	56
費用弁償	24
消耗品費	10
普通旅費	8

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 限られた行財政資源の有効活用を図りながら、「事業の選択と集中」などにより、財政収支バランスのとれた健全な財政運営ができるようにする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・事務事業評価（令和2年度決算に基づく） ・健全化判断比率等関係書類の作成、公表 ・今後の財政収支の見通し	R3	・事務事業評価（令和2年度決算に基づく） ・健全化判断比率等関係書類の作成、公表
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	103				103
当初予算	103				103
決 算 額	6				6
R４計画	103				103
当初予算	103				103
決 算 額					
R５計画	103				103
当初予算					
決 算 額					
R６計画	103				103
当初予算					
決 算 額					
R７計画	103				103
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	515				515
当初予算	206				206
決 算 額	6				6

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 経常収支比率	決算における経常収支比率を100%以内に抑える	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	92.1	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	87				
					%	達成率	—				
	2 起債残高	事務事業評価などを通じ、起債残高の計画的な減少に努める。（決算統計事務本表参照）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	250.4	億円	目標値	250	250	250	250	250
						実績値	252.3				
					%	達成率	—				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
行財政改革の推進、歳入規模に見合った財政規模への転換を図るとともに、歳出の抑制及び基金の有効活用等により、効率的な財政運営に努めることを目的としている。 そのため事務事業評価については、各事業についてより客観的な視点から判断できるように、また調書作成等の負担の軽減を図り、評価内容のブラッシュアップに努める。 地方行政サービス改革の取組状況調査生類作成や健全化判断比率等の関係書類の作成、公表については、今後も県や国のスケジュールに合わせて実施をしていく。	経常収支比率については87.0%で前年度と比較して5.1%改善した。起債残高は、防災行政無線整備事業等の実施により前年度から微増している。今後も、小中一貫校千歳小中学校新築事業や全天候型体育施設整備事業、緒方保育園建替事業等の大型事業に合併特例債を活用する予定であることから、起債残高は増加する見込みであるが、元利償還金の推移等に留意した持続可能な財政運営に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
6001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	会計課	係名	会計管理係

事 業	会計管理事業	細事業	会計管理事業	実施計画事業	会計管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 316 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	3
決算	15

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画 80 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公金出納事務の適正かつ迅速な執行を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・歳計及び歳計外現金の出納・保管（歳入・歳出） ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口収納業務 ・経理事務説明会の実施	R3	・歳計及び歳計外現金の出納・保管（歳入・歳出） ・支払に伴う伝票審査 ・基金の運用・管理 ・決算の調製 ・窓口収納業務 ・経理事務説明会の実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	19,120				19,120
当初予算	19,120				19,120
決 算 額	15,976				15,976
R４計画	19,120				19,120
当初予算	18,963				18,963
決 算 額					
R５計画	19,120				19,120
当初予算					
決 算 額					
R６計画	19,120				19,120
当初予算					
決 算 額					
R７計画	19,120				19,120
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	95,600				95,600
当初予算	38,083				38,083
決 算 額	15,976				15,976

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経理説明会の実施	年２回実施	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 公金管理運営委員会の開催	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 適正かつ迅速な事務処理		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「支払に伴う伝票審査」について、経理事務説明会を実施して適正な事務執行を周知しているが、伝票作成上の不備が一定数あった。 他の事業目標については、適切に実施できた。 引き続き経理事務説明会を実施するとともに、庁内ネットワーク等を利用して適正な事務執行をはかる。 また、令和５年度より運用を開始する電子決裁へ向けて課内で対応を協議し、職員等に対してはマニュアルを作成して適正な事務の執行について周知・徹底をはかる。	・歳計及び歳計外現金の出納・保管（歳入・歳出）については、適切な事務処理ができている。 ・支払に伴う伝票作成については、電子決裁化に向けてマニュアルを作成し、周知徹底を図る。 ・基金の運用・管理については、一括運用管理の検討が必要です。事務の効率化・基金の有効化。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

（様式１）

事業番号	枝番
7001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	財政課	係名	管財係

事 業	財産管理事業	細事業	財産維持管理事業	実施計画事業	財産維持管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 317 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	4
決算	16

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ～ R7 年度
	第1期豊後大野市公共施設等総合管理計画 期間 H27 年度 ～ R6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
光熱水費	39,800
清掃委託料	27,866
市有財産維持補修工事請負費	13,000
庁舎設備保守点検委託料	5,869

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 庁舎等内の秩序や安全の保持及び災害時の防災拠点としての役割を果たすため、庁舎機能が適正に稼働するための建物や付属設備の保守管理、良好な衛生環境維持のための清掃や各種検査、施設修繕等の維持管理に関する各種業務を専門業者に委託をしながら実施する。また、市が管理する施設等の災害共済保険等の業務を一括契約し行政効率の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 本庁や支所等の光熱水費及び消耗品等（トイレットペーパー・ゴミ袋・照明器具等）の必要経費を執行するとともに、庁舎の電気設備、空調設備、エレベータ設備、自動ドア、消防設備、冷暖房設備などの保守点検及び清掃委託等業務を専門業者に委託し実施した。	R3	旧大野高校跡地法面保護工事を実施 14,264,800円 駐車場等へ注意喚起の看板設置 2,310,000円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	134,486			24,119	110,367
当初予算	134,486			24,119	110,367
決 算 額	126,572			12,176	114,396
R４計画	134,486			24,119	110,367
当初予算	129,077			21,898	107,179
決 算 額					
R５計画	125,193			20,000	105,193
当初予算					
決 算 額					
R６計画	125,393			20,000	105,393
当初予算					
決 算 額					
R７計画	125,593			20,000	105,593
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	645,151			108,238	536,913
当初予算	263,563			46,017	217,546
決 算 額	126,572			12,176	114,396

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 光熱水費の削減	目標値を前年度の決算額とする。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	37,155		目標値	37,155	39,252	39,252	39,252	39,252
						実績値	39,252				
					%	達成率	105.6				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市有財産の老朽化による修繕や遊休地の管理（草刈り等）の範囲が増えてきている。 用途廃止財産の公募や遊休地の売却を進め、財産維持管理費の抑制を図る。	庁舎等施設の円滑かつ効率的な管理を行い、計画的な維持管理、改修等により快適な施設運営に努める。特に、施設の改修等については、ランニングコストを十分考慮し費用対効果を検証する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
7002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	財政課	係名	管財係

事業	財産管理事業	細事業	財産処分事業	実施計画事業	財産処分事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 317 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	4
決算	16

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ～ R7 年度
	第1期豊後大野市公共施設等総合管理計画 期間 H27 年度 ～ R6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
市有建物解体工事請負費	177,500
市有建物解体工事設計委託料	10,000
不動産鑑定登記委託料	5,400
アスベスト定量分析委託料	2,100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 耐震性がなく老朽化した施設について、合併特例債を活用し計画的に解体を行う。また、普通財産の売却や譲渡等を行い、維持管理等の必要経費を削減する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・普通財産の処分 （売却、譲渡等の分筆登記及び不動産鑑定） ・建物解体工事 （旧千歳村役場、旧千歳公民館、旧家畜診療所、旧清川支所）	R3	建物解体工事（旧千歳村役場、旧千歳公民館、旧家畜診療所、旧清川支所）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	195,000		178,100	102	16,798
当初予算	195,000		178,100	102	16,798
決算額	138,174		128,500		9,674
R４計画	195,000		178,100	102	16,798
当初予算	189,546		172,200	102	17,244
決算額					
R５計画	237,560		211,900	102	25,558
当初予算					
決算額					
R６計画	109,060		86,900	102	22,058
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	736,620		655,000	408	81,212
当初予算	384,546		350,300	204	34,042
決算額	138,174		128,500		9,674

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 建物の解体	解体工事件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	件	目標値	4	7	3	5	
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 普通財産処分（売却等）	普通財産処分（売却等）件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
施設解体計画に沿って事業を進め、解体工事を実施した。 今後についても解体計画に沿って事業を行う。	活用予定のない施設等については、原則、合併特例債の活用期限である令和６年度までに解体する。未利用地の活用については、財源の確保について意識するとともに、逼迫する維持管理の負担を重視し、売却可能な遊休地を積極的に処分していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
7003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	財政課	係名	管財係

事 業	財産管理事業	細事業	公用車管理事業	実施計画事業	公用車管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 317 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	4
決算	16

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市行財政改革指針 期間 R2 年度 ～ R7 年度
	第1期豊後大野市公共施設等総合管理計画 期間 H27 年度 ～ R6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
燃料費	10,000
車輌購入費	6,637
修繕料	4,700
自動車損害保険料	3,963

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公用車の使用については、私用車に比べてより適正な管理と安全運転の確保が求められるため、「豊後大野市庁用自動車等管理規程」に基づいて事業を遂行する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ①車検等の実施 ②修繕の実施 ③車両の更新 ④洗車等の維持管理業務 ⑤自動車損害保険（任意）の加入・解約・請求手続きを行う	R3	＜購入＞ 軽貨物バン 2台 軽自動車乗用 6台 ＜廃車＞ 軽自動車乗用 9台
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	27,465			1,002	26,463
当初予算	27,465			1,002	26,463
決 算 額	19,717			897	18,820
R４計画	27,465			1,002	26,463
当初予算	31,386			2	31,384
決 算 額					
R５計画	27,308			2	27,306
当初予算					
決 算 額					
R６計画	31,673			2	31,671
当初予算					
決 算 額					
R７計画	24,511			2	24,509
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	138,422			2,010	136,412
当初予算	58,851			1,004	57,847
決 算 額	19,717			897	18,820

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 公用車の年間乗車率	各年度の公用車の年間乗車率80%（75～85%を目標の幅とする）を適正台数確保の目標値とする。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	81.9	%	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	78.8				
					%	達成率	98.5				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
公用車の適正な維持管理（車検、修繕）を行った。保険会社（共済）を変更したことにより、保険料（共済）掛金の削減や事務量を低減した。公用車の更新基準に基づき、原則、登録から１３年以上または走行距離１３万キロメートルを超えた車両については廃車を行った。公用車の適正な配置を行うため、車両の新規購入を行った。	法定点検・日常点検等により故障等を未然に防ぐことが重要である。特に、公用車の車検切れについては、車検予約の財政課への報告を課す等、再発防止策の徹底を図る。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
301001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	ふるさと応援寄附金事業	細事業	ふるさと応援寄附金事業	実施計画事業	ふるさと応援寄附金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 306 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	4
決算	17

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画 80 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ふるさと納税業務委託料	129,662
ふるさと応援基金積立金	120,182
ふるさと納税サイト使用料	14,784

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 当市にゆかりのある方をはじめ、市外の方から広く寄附金を募集し応援してもらうことにより、財源を確保し各種事業を実施する。 また、返礼品の周知を通じて豊後大野市の魅力を発信し、地元特産品のＰＲ及び販路拡大による地域経済の活性化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ふるさと納税のPR（商工会との連携、ホームページ等の活用） ・返礼品の充実を図る ・寄附金の収納、財政調整基金への積立て ・企業版ふるさと納税の発信	R3	・国の制度に沿ったふるさと納税事務の執行 ・企業版ふるさと納税の開始とそれに伴うホームページとチラシの作成 ・返礼品登録事業所数（80箇所→106箇所） ・返礼品登録数（266品→378品） ・臨時交付金を活用した商品開発補助事業や広報活動に対する補助事業の実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	270,582			240,182	30,400
当初予算	270,582			240,182	30,400
決 算 額	243,590	8,645		115,578	119,367
Ｒ４計画	280,000			250,000	30,000
当初予算	270,602			240,269	30,333
決 算 額					
Ｒ５計画	290,000			260,000	30,000
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	300,000			270,000	30,000
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	310,000			280,000	30,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,450,582			1,300,182	150,400
当初予算	541,184			480,451	60,733
決 算 額	243,590	8,645		115,578	119,367

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 返礼品登録事業者	返礼品登録事業者数	□ 総合戦略 □ 個別計画	80	社	目標値	85	90	95	100	105
						実績値	106				
					%	達成率	124.7				
	2 登録返礼商品	登録返礼商品数	□ 総合戦略 □ 個別計画	266	品	目標値	280	290	300	310	320
						実績値	378				
					%	達成率	135.0				
D 成果指標	1 寄附件数	ふるさと納税寄附件数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	14,394	件	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
						実績値	13,627				
					%	達成率	90.9				
	2 寄付金額	ふるさと納税寄附金総額	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	274,664	千円	目標値	240,000	250,000	260,000	270,000	280,000
						実績値	228,467				
					%	達成率	95.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
昨年度は、これまで行ってきたふるさと納税返礼品の充実、新規の提供事業者や新たな返礼品の選定に加え、臨時交付金を活用した、返礼品の新規開発やパッケージの刷新（令和2年度繰越）や、提供事業者が、ホームページの作成やSNSを活用した広告活動を行う取組に対する補助事業、企業版ふるさと納税に新たに取組んだ。これらの取組の成果として、豊後大野市商工会が令和3年12月に開催したオンライン商談会では、成約数が大幅に増えるなど少しずつではあるが成果が出ており、取組を通じ市内の返礼品提供事業者や商工会との連携が深まっている。 令和４年度は、これまでの取組を活かしつつ新たな返礼品提供サイトの検討や、楽器寄附に取組むことで、豊後大野市を応援していただける方を増やす必要がある。	事業者の支援につながる特産品等の充実を図り市の魅力発信を図る。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
8001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	交通安全対策事業	実施計画事業	交通安全施設整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 240 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	5
決算	18

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	7 交通安全・防犯対策の推進
施策展開	①交通安全対策を推進する
後期基本計画	64 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
交通安全施設・防犯施設整備工事請負費	6,000
消耗品費	343
修繕料	40

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 交通事故等から市民を守り、安心して生活することができる施設整備を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ カーブミラーの設置 カーブミラーの購入 道路白線の設置 ガードレールの設置	R3	次の事業を行った。 カーブミラー新設　５６基 カーブミラー購入　３１基 ガードレール設置　３箇所 道路白線設置　１箇所
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,383				6,383
当初予算	6,383				6,383
決算額	5,044				5,044
R４計画	6,383				6,383
当初予算	6,383				6,383
決算額					
R５計画	6,383				6,383
当初予算					
決算額					
R６計画	6,383				6,383
当初予算					
決算額					
R７計画	6,383				6,383
当初予算					
決算額					
計画額	31,915				31,915
当初予算	12,766				12,766
決算額	5,044				5,044

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 カーブミラーの設置	カーブミラー新規設置箇所数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	66	基	目標値	60	60	60	60	60
						実績値	56				
					%	達成率	93.3				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 人身事故発生件数	人身事故発生件数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	63	件	目標値	62	62	61	61	60
						実績値	42				
					%	達成率	67.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
交通安全対策に必要な事業であり、今後も自治会からの要望もあることから継続する。	交通事故防止のために必要な事業であるため、継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
8001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事 業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	交通安全対策事業	実施計画事業	運転免許証自主返納支援助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 241 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	5
決算	18

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	7 交通安全・防犯対策の推進
施策展開	①交通安全対策を推進する
後期基本計画 64 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間 年度 ～ 年度	
期間 年度 ～ 年度	

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
運転免許証自主返納支援助成金	2,500
通信運搬費	83

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 運転免許証の自主返納を考えている高齢者の免許返納後の移動手段を支援することで自主的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 自主返納者へのタクシー券、バス券の支給。	R3	運転免許証自主返納者160名へ1万円分のタクシー券、バス券を支給した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,583				2,583
当初予算	2,583				2,583
決 算 額	1,420				1,420
R４計画	2,583				2,583
当初予算	1,583				1,583
決 算 額					
R５計画	2,583				2,583
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,583				2,583
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,583				2,583
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,915				12,915
当初予算	4,166				4,166
決 算 額	1,420				1,420

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	支給者数（自主返納者の内の申請者数）	タクシー券、バス券の支給者数	□ 総合戦略 □ 個別計画	180	人	目標値	180	180	180	180	180
							実績値	160				
						%	達成率	88.9				
	2	―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	人身事故件数	人身事故件数	☑ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	63	件	目標値	62	62	61	61	60
							実績値	42				
						%	達成率	67.7				
	2	―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
運転免許証の自主返納を考えている高齢者の免許返納後の移動手段を支援することで自主的な返納を促し、高齢者が加害者となる交通事故の抑制を図っていることから継続する。	運転免許証自主返納者のうち支援事業に申請する方の割合が把握できていないため、活動指標の設定が適正か判断できないが、免許証返納後の移動手段の確保の支援は必要と考えるため継続

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
8002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	防犯灯ＬＥＤ化事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 244 ）

会計	一般	政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	2	施策	7 交通安全・防犯対策の推進
項	1	施策展開	②防犯対策を推進する
目	5	後期基本計画	64 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	18		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
交通安全施設・防犯施設整備工事請負費	3,000
消耗品費	1,350

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 犯罪等から市民を守り、安心して生活することができる施設整備を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ＬＥＤ防犯灯の設置 ＬＥＤ防犯灯の購入	R3	ＬＥＤ防犯灯新規設置　７８基 ＬＥＤ防犯灯購入　０基 ※防犯灯只２００基の寄付があったため購入数は０基（給付件数は１６２基）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	4,350			4,000	350
当初予算	4,350			4,000	350
決算額	1,763			1,700	63
Ｒ４計画	4,350			4,000	350
当初予算	4,350			4,000	350
決算額					
Ｒ５計画	4,350			4,000	350
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	4,350			4,000	350
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	4,350			4,000	350
当初予算					
決算額					
計画額	21,750			20,000	1,750
当初予算	8,700			8,000	700
決算額	1,763			1,700	63

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ＬＥＤ防犯灯の設置	ＬＥＤ防犯灯新規設置数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	94	基	目標値	90	90	90	90	90
						実績値	78				
					%	達成率	86.7				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 犯罪認知件数	豊後大野署管内刑法犯認知件数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	件	目標値	51	50	50	50	50
						実績値	55				
					%	達成率	107.8				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
防犯対策に必要な事業であり、今後も自治会からの要望もあることから継続する。	防犯灯設置は、防犯対策に必要であることから継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
8002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	犯罪被害者等見舞金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 246 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	5
決算	18

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	7 交通安全・防犯対策の推進
施策展開	②防犯対策を推進する
後期基本計画	64 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
犯罪被害者等見舞金	400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復、及び軽減を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 犯罪被害者への見舞金の支給。 遺族見舞金　300千円 重傷病見舞金　100千円	R3	犯罪被害者への見舞金の支給がなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	400	200			200
当初予算	400	200			200
決算額					
R４計画	400	200			200
当初予算	400	200			200
決算額					
R５計画	400	200			200
当初予算					
決算額					
R６計画	400	200			200
当初予算					
決算額					
R７計画	400	200			200
当初予算					
決算額					
計画額	2,000	1,000			1,000
当初予算	800	400			400
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 見舞金の給付	支給件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 犯罪被害者等見舞金申請者数	申請者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今後も犯罪被害者へ見舞金を支給し、被害の早期回復及び軽減を図ることは必要であることから継続する。	犯罪被害者への支援は必要であることから継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
8002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	安全・安心まちづくり推進事業	細事業	防犯対策事業	実施計画事業	防犯電話機等購入補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 243 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	5
決算	18

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	7 交通安全・防犯対策の推進
施策展開	②防犯対策を推進する
後期基本計画	64 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
防犯電話機等購入補助金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 特殊詐欺等による被害防止を図るため、特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費を助成する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助。	R3	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助を２６件行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,000	500			500
当初予算	1,000	500			500
決算額	247	124			123
Ｒ４計画	1,000	500			500
当初予算	1,000	500			500
決算額					
Ｒ５計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
計画額	5,000	2,500			2,500
当初予算	2,000	1,000			1,000
決算額	247	124			123

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助件数	特殊詐欺等被害防止機能付き電話機及び機器の購入等に要する経費の補助件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	46	件	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	26				
					%	達成率	52.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 犯罪件数	豊後大野署管内刑法犯認知件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	件	目標値	51	50	50	50	50
						実績値	55				
					%	達成率	107.8				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	22 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
増加の傾向にある特殊詐欺等による被害防止を図るため必要であることから継続する。	特殊詐欺被害を防止するためには必要であることから継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
9002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	広報広聴係

事 業	広報広聴事業	細事業	広報事業	実施計画事業	広報誌事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 274 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	6
決算	19

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	②広聴・広報活動を充実する
後期基本計画	71 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	12,256
市報点字版・音声版作成委託料	902

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため広報誌を発行する。 また、視覚障がい者等通常の市報では情報を得ることができない方のために、市報点字版及び音声版を発行する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 年12回の広報誌発行 年12回の市報点字版及び音声版の発行	R3	年12回広報誌発行 年12回市報点字版及び音声版の発行
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	13,158			14	13,144
当初予算	17,921			14	17,907
決 算 額	10,419			12	10,407
R４計画	13,158			12	13,146
当初予算	11,195			12	11,183
決 算 額					
R５計画	13,158			12	13,146
当初予算					
決 算 額					
R６計画	13,158			12	13,146
当初予算					
決 算 額					
R７計画	13,158			12	13,146
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	65,790			62	65,728
当初予算	29,116			26	29,090
決 算 額	10,419			12	10,407

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市報発行回数	市報発行回数（年単位）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
	2 市報点字版及び音声版発行回数	市報点字版及び音声版発行回数（年単位）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 市報発行部数	市報発行部数（月単位）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	16,300	部	目標値	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
						実績値	16,000				
					%	達成率	100.0				
	2 市報点字版及び音声版発行部数	市報点字版及び音声版発行部数（月単位）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	部	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	10				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	24 点 ／25点	3 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

広報誌は、今後のデジタル化を見据え、ページ削減を実施。それに伴い、大幅なレイアウトの見直しを行い、より読みやすい広報誌になるよう工夫した。
特集は年６回。特集の内容は、子育てや体操教室など、市の事業や取組を分かりやすく紹介した。
特集のない月には、地域振興協議会にスポットをあて記事を掲載。裏表紙では、「大分の野菜畑　豊後大野」と題して、園芸重点10品目とそれを栽培する野菜農家の方々を紹介。その他、女性の活躍にスポットをあてた「ぶんごおおの生き活き女性」を掲載している。
これまで掲載されていた「豊後大野のキラリ人」は継続し、様々な分野で活躍する豊後大野市民を幅広く取り上げることができた。
今後の課題として、高齢化率の高い豊後大野市で広報誌の急速なデジタル化は困難であることから、そのタイミングを見計らう必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

広報誌は、今後のデジタル化を見据え、ページ削減を実施しており、大幅なレイアウトの見直しを行い、より読みやすい広報誌になるよう工夫した。
今後の課題として、高齢化率の高い豊後大野市で広報誌の急速なデジタル化は困難であることから、そのタイミングを見計らう必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
9002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	広報広聴係

事業	広報広聴事業	細事業	広報事業	実施計画事業	ホームページ管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 274 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	6
決算	19

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	②広聴・広報活動を充実する
後期基本計画 71 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ホームページ保守管理委託料	1,362

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市の情報を正確・迅速に市民に提供するため公式ホームページを運用する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各課・各支所による市政情報の掲載	R3	各課、各支所が市政情報を掲載
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,362				1,362
当初予算	1,362				1,362
決算額	1,362				1,362
R４計画	1,362				1,362
当初予算	1,362				1,362
決算額					
R５計画	1,362				1,362
当初予算					
決算額					
R６計画	1,362				1,362
当初予算					
決算額					
R７計画	1,362				1,362
当初予算					
決算額					
計画額	6,810				6,810
当初予算	2,724				2,724
決算額	1,362				1,362

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ホームページ記事作成者	ホームページ記事作成者（令和３年６月末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	268	人	目標値	268	268	268	268	268
						実績値	283				
					%	達成率	105.6				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ホームページ閲覧者	ホームページ閲覧者数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	526,097	人	目標値	430,000	430,000	430,000	430,000	430,000
						実績値	979,555				
					%	達成率	227.8				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	23 点 ／25点	3 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナウイルス関連の情報を迅速かつ的確に掲載。 サウナページの新設やふるさと応援寄附金ページの強化。 豊後大野市ブランド認証のスライド画像、プロモーション動画のスライド画像を新規に作成。 コロナ禍になり、ホームページへの訪問者数が急増。令和３年度は979,555人と前年度比で453,458人も増えており、市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが伺えた。 今後も市民が見やすいホームページ運用に努めるが、現ホームページは平成27年度にリニューアルされてから６年が経過しているため、検索機能など不便な点もある。 デジタル化が叫ばれる昨今、今後はホームページがデジタル自治体となれるよう、リニューアルを視野に入れて検討していく必要がある。	コロナ禍により、、ホームページへの訪問者数が急増した。市民が公式ホームページを情報取得の重要なツールとして活用していることが伺えた。 今後も市民が見やすいホームページ運用に努め、リニューアルされてから６年が経過しているため、リニューアルを視野に入れて検討していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
282001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事業	新エネルギー導入促進事業	細事業	新エネルギー導入促進事業	実施計画事業	新エネルギー導入促進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 400 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	20

政策	Ⅵ 豊かな自然を未来に残し伝えるまち
施策	2 環境保全の推進
施策展開	①環境保全対策を推進する
後期基本計画	100 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市新エネルギービジョン 期間 H29 年度 ～ R8 年度
	豊後大野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン 期間 ― 年度 ～ ― 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
サイクリングハブ施設指定管理委託料	6,296
新エネルギービジョン推進委員謝礼金	128

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域資源を活用したエネルギーの地産地消型システムを構築するため、平成28年度に策定した「豊後大野市新エネルギービジョン」「豊後大野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン」に基づきエネルギー事業を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・地域新電力会社「㈱ぶんごおおのエナジー」によるエネルギーの地産地消等の推進 ・サイクリングハブ施設関連事業 施設指定管理委託	R3	ぶんごおおのエナジー経営戦略会議の開催 サイクリングハブ施設指定管理委託
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,528				6,528
当初予算	6,528				6,528
決算額	6,461			13	6,448
R４計画	6,528				6,528
当初予算	6,428				6,428
決算額					
R５計画	6,528				6,528
当初予算					
決算額					
R６計画	6,528				6,528
当初予算					
決算額					
R７計画	6,528				6,528
当初予算					
決算額					
計画額	32,640				32,640
当初予算	12,956				12,956
決算額	6,461			13	6,448

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	ぶんごおおのエナジー再エネ電源調達割合	再エネ電源調達割合（年間平均）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	24	%	目標値	50	50	50	50	50
							実績値	16				
						%	達成率	32.0				
	2	サイクリングハブ施設利用者数	施設利用者数（年間）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,936	人	目標値	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500
							実績値	2,232				
						%	達成率	89.3				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
㈱ぶんごおおのエナジーは、市が55%出資しているので、経営方針等について連携して取り組む必要がある。 サイクリングハブ施設の指定管理について、令和4年度が現指定管理事業者の指定期間最終年度のため、令和5年度以降の指定管理事業者を選定する必要がある。	㈱ぶんごおおのエナジーの支援を行うとともに、サイクリングハブの利活用に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
11001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	公共交通事業	細事業	路線バス運行補助事業	実施計画事業	路線バス運行補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 180 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	③公共交通の整備を促進する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	豊後大野市公共交通計画 期間 R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
路線バス運行補助金	54,705

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内の地域公共交通網の維持確保を目的として、路線バスの運行継続のため、運行会社に補助金を支出する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 路線バス補助金　大野竹田バス ・11路線16系統　45,527千円 ・臼三線　9,178千円	R3	路線バス補助金　大野竹田バス ・11路線16系統　45,626千円 ・臼三線　6,136千円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	54,705	5,790	46,400		2,515
当初予算	54,705	5,790	46,400		2,515
決算額	51,762	12,800	37,000		1,962
R４計画	55,000	6,000	46,550		2,450
当初予算	49,463	7,008	40,300		2,155
決算額					
R５計画	55,000	6,000	46,550		2,450
当初予算					
決算額					
R６計画	55,000	6,000	46,550		2,450
当初予算					
決算額					
R７計画	55,000	6,000	46,550		2,450
当初予算					
決算額					
計画額	274,705	29,790	232,600		12,315
当初予算	104,168	12,798	86,700		4,670
決算額	51,762	12,800	37,000		1,962

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 臼三線を除く路線バスへの補助	補助金額（目標値　R3年度支出額）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	41,214	千円	目標値	45,527	45,527	45,527	45,527	45,527
						実績値	45,626				
					%	達成率	100.2				
	2 臼三線への補助	補助金額（目標値　R3年度支出額）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,775	千円	目標値	9,178	9,179	9,180	9,181	9,182
						実績値	6,136				
					%	達成率	66.9				
D 成果指標	1 路線バス補助金	利用促進事業等実施に伴う補助額の低減（目標値　R3年度支出額）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	42,989	千円	目標値	54,705	54,706	54,707	54,708	54,709
						実績値	51,762				
					%	達成率	94.6				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市地域公共交通計画に基づき、地域公共交通網の維持確保に努めるとともに、モニタリング調査結果や事業者との調整を行いながら、運行内容の見直しを等を図る必要がある。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
11002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	地域公共交通計画策定業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 185 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域公共交通計画策定業務委託料	5,670

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市における地域公共交通の利用実態調査結果や市民アンケート調査結果等を通じて、地域の実態に即した交通体系の構築を目的に、令和8年度を計画目標年度とした豊後大野市地域公共交通計画を策定する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市地域交通計画の策定	R3	市地域公共交通計画（素案）策定
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,670	2,500			3,170
当初予算	6,710	2,000			4,710
決算額	4,705				4,705
R４計画	4,000	2,000			2,000
当初予算	4,000	2,000			2,000
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	9,670	4,500			5,170
当初予算	10,710	4,000			6,710
決算額	4,705				4,705

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用状況の整理	過去10年間の利用状況の整理	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	式	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 住民アンケートの実施	地域内在住の1,000世帯を対象に実施	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,000	世帯	目標値	1,000				
						実績値	1,000				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 市地域交通計画の策定	市地域交通計画の策定	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	式	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 市地域公共交通利便増進計画の策定	市地域公共交通利便増進計画の策定	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	式	目標値		1			
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナ感染防止対策の影響で、対面での協議会を開催することができず、協議会委員と対面での十分な議論ができなかったため、国の指導もあり令和３年度は素案の策定までおこなった。 令和４年度は、パブリックコメントをおこなったうえで、７月までに計画を策定する。 今後は計画に基づき事業を進める必要がある。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4 縮小

（様式１）

事業番号	枝番
11002	2

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミュニティバス運行管理委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 182 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ対応

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
コミュニティバス運行管理委託料	78,100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 本市にとって最適な交通ネットワークを構築し、市民が利用しやすい生活交通手段の確保を図るため、コミュニティバスなどの地域公共交通の充実を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ コミュニティバス　41路線 あいのりタクシー　5区域の運行 運行見直しに伴う時刻表作成・配布	R3	コミュニティバス　41路線 大野犬飼線実証運行（1月～3月） あいのりタクシー　5区域の運行 時刻表作成・配布（R4年3月）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	78,100	12,883	57,800	4,321	3,096
当初予算	78,100	12,883	57,800	4,321	3,096
決算額	77,683	17,545	55,500	3,930	708
R４計画	85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
当初予算	85,000	13,799	67,600	3,601	
決算額					
R５計画	85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
当初予算					
決算額					
R６計画	85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
当初予算					
決算額					
R７計画	85,000	12,000	65,550	4,000	3,450
当初予算					
決算額					
計画額	418,100	60,883	320,000	20,321	16,896
当初予算	163,100	26,682	125,400	7,922	3,096
決算額	77,683	17,545	55,500	3,930	708

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 公共交通の充実	コミュニティバス・あいのりタクシー時刻表等配布地区数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	地区	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	7				
					%	達成率	233.3				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数	令和元年度利用者数　30,139人 最終（令和7年度）利用者数　30,140人	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	23,831	人	目標値	25,090	26,350	27,610	28,870	30,140
						実績値	22,660				
					%	達成率	90.3				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コミュニティバス、あいのりタクシーを含めた公共交通利用者が年々減少していることから、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき利用促進策に取組むとともに、運行内容の見直しを検討する必要がある。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
11002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミュニティバス関係業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 183 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
コミュニティバス関係業務委託料	3,706

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公共交通利用者の維持・増加を目的とした公共交通利用促進の取組を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ［大野竹田バス(株)］ ・エリア定期券（仮称）」販売 ・路線バス運行ルートの見直し ［高校・大学］ ・体験乗車やバスラッピング等利用促進事業の実施 ［市］ アンケート調査や利用状況の調査等	R3	［大野竹田バス(株)］ ・学生割引定期「ジモテキ」販売開始 ・路線バス運行ルートの見直し ［高校・大学］ ・バスラッピング等利用促進事業の実施 ［市］ ・アンケート調査や利用状況の調査等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,706		3,500		206
当初予算	3,706		3,500		206
決算額	3,144		1,900		1,244
R４計画	3,700		3,500		200
当初予算	3,700		1,400	399	1,901
決算額					
R５計画	3,700		3,500		200
当初予算					
決算額					
R６計画	3,700		3,500		200
当初予算					
決算額					
R７計画	3,700		3,500		200
当初予算					
決算額					
計画額	18,506		17,500		1,006
当初予算	7,406		4,900	399	2,107
決算額	3,144		1,900		1,244

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	バス交通などの維持と利用促進	行政、市民、事業者の協働による利用促進事業を行う。	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	式	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	コミュニティバス・あいのりタクシーの利用者数	令和元年度利用者数 30,139人 最終（令和7年度）利用者数 30,140人	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	23,831	人	目標値	25,090	26,350	27,610	28,870	30,140
							実績値	22,660				
						%	達成率	90.3				
	2	路線バス利用者	令和2年度輸送人員 26,121人	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	26,121	人	目標値	26,121	26,121	26,121	26,121	26,121
							実績値	23,964				
						%	達成率	91.7				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度は、高校生の通学時における公共交通の利用を促す取組として、三重総合高校と大分大学と連携し取組を行った。大野竹田バス(株)には学生割引定期の導入やバスルートの変更の提案を行い制度導入につながった。また、三重総合高校がバスの利用促進に取組んでいることをPRするため、ラッピングバスの図案作成に取組み、8月から市内各所を運行することになった。今後は、導入した割引定期の利用を促す取組をおこなう必要がある。また、コロナで自粛していた公共交通の利用実態と利用促進を目的とした集落調査を再開し、市民の公共交通利用促進策の検討に大学等と連携して取組む必要がある。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
11002	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	公共交通運行モニタリング等業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 186 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	豊後大野市地域公共交通計画 期間 R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
公共交通運行モニタリング等業務委託料	5,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 本市で運行されているコミュニティバス・あいのりタクシー及び民間路線バスを対象として、利用動向調査、利用者満足度を把握すると同時に、運行にあたっての課題把握、コミュニティバスへの利用促進策の検討を行い、豊後大野市全体の交通ネットワークとして更なる利便性向上、利用者増加を目指した検証（モニタリング）を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書取りまとめ	R3	・コミュニティバス及び路線バスの利用動向調査 ・利用者満足度調査 ・あいのりタクシーの課題と改善策の検討 ・報告書
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,000		4,700		300
当初予算	5,000		4,700		300
決 算 額	2,244		2,000		244
R４計画	5,000		4,700		300
当初予算	4,000		3,800		200
決 算 額					
R５計画	5,000		4,700		300
当初予算					
決 算 額					
R６計画	5,000		4,700		300
当初予算					
決 算 額					
R７計画	5,000		4,700		300
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	25,000		23,500		1,500
当初予算	9,000		8,500		500
決 算 額	2,244		2,000		244

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	利用動向調査、利用者満足度調査の実施	バス停、路線別の利用状況の把握とコミュニティバス車内における利用者満足度調査の実施	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	式	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	事業評価の評価結果	地域公共交通確保維持改善事業における地方運輸局等における二次評価結果	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	判定	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域の特性や実情を把握し、最適な公共交通ネットワークを確保・維持していくためにモニタリング調査を継続していくことが必要である。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保に努める。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
11002	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	大分空港利用促進期成会負担金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 186 ）

会計	一般	政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	2	施策	1 交通ネットワークの整備
項	1	施策展開	⑤公共交通網の整備を推進する
目	7	後期基本計画 52 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	21		

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大分空港利用促進期成会負担金	291

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 大分空港の国際化及び国内路線の充実を推進することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 期成会への参加及び負担金の支出	R3	負担金の支出
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	291				291
当初予算	291				291
決算額	227				227
R４計画	300				300
当初予算	275				275
決算額					
R５計画	300				300
当初予算					
決算額					
R６計画	300				300
当初予算					
決算額					
R７計画	300				300
当初予算					
決算額					
計画額	1,491				1,491
当初予算	566				566
決算額	227				227

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 期成会への参加	期成会への出席回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 負担金の支出	期成会からの負担金請求額	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	227	千円	目標値	300	300	300	300	300
						実績値	227				
					%	達成率	75.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナ感染防止対策の影響で、国際線の運休や県協議会の総会が書面議決となるなど、利用促進に係る取組が進まない状況であった。今後は、感染状況の推移や宇宙港の取組状況の推移を注視する必要がある。	大分空港が「宇宙港」として人工衛星基地の拠点となったことにより、利用者空港の利便性も図りながら関連する新たな産業の創出に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
11002	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	バス停コンテスト事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 183 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
記念品代	114

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 年間利用者の多いバス停や利用満足度の高いバス停を市地域公共交通活性化協議会において表彰するなど、集落単位でのバス停の維持管理を進める。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ バス停コンテストの開催 ※令和３年度を見直年度とし、４年度以降廃止。	R3	バス停コンテストの実施・表彰 ・満足度の高いバス停　１箇所 ・年間利用者の多いバス停　4停留所
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	114				114
当初予算	114				114
決算額	104				104
R４計画					
当初予算					
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	114				114
当初予算	114				114
決算額	104				104

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 表彰するバス停留所数	乗継ぎ拠点の環境改善の取組み数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	バス停	目標値	3				
						実績値	2				
					%	達成率	66.7				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 バス停コンテストの開催	施策実施状況	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民にコミュニティバスへの愛着や利用を促す取組として事業効果はあったものの、前計画（市地域公共交通網形成計画）の終了に伴い、バス停コンテスト事業は終了する。	市民の意識向上につながり、事業の効果もあったため終了とする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終　了

（様式１）

事業番号	枝番
11002	7

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	コミバス車両購入事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 183 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	④コミュニティバスの運行を推進する
後期基本計画 52 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域公共交通網形成計画 期間 H29 年度 ～ R3 年度
	豊後大野市公共交通計画 期間 R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
手数料	83
自動車損害保険料	14
車輌購入費	4,834
自動車重量税	17

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 老朽化したコミュニティバス車両を更新し、運行の継続を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 車両更新 １台 ワゴンタイプ（14人乗）ディーゼル車	R3	車両更新 １台 ワゴンタイプ（14人乗）ディーゼル車
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,948	4,400			548
当初予算	5,069	4,400			669
決 算 額	4,842	4,400			442
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画	5,100	2,500			2,600
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	10,048	6,900			3,148
当初予算	5,069	4,400			669
決 算 額	4,842	4,400			442

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 コミュニティバスの運行継続	車両の更新について、バスタイプは100万キロ、マイクロバスタイプは60万キロ、ワゴンタイプは40万キロ（ガソリン車は30万キロ）を目安に検討する。不具合がない場合は、以降5万キロ経過毎に再検討する。車両の更新を定期的に行うことで、運行の継続を図る。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	式	目標値	1			1	
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
車両点検状況を注視しつつ、車両の長寿命化を図るとともに、更新が必要な場合は、各種補助制度等を活用し車両の小型化や環境に配慮した車両への更新を検討する必要がある。	公共交通体系の整備の検討により、適正な車両の確保をする。また、車両の小型化、環境対応型の車両の検討を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
11002	8

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	タクシーチケット発行支援事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 180 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	③公共交通の整備を促進する
後期基本計画 52 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
豊後大野市地域公共交通計画	
期間	R4 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
タクシーチケット発行等支援事業補助金	5,900

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 新型コロナウイルス感染症により影響を受けているタクシー業界の事業継続を支援するため、豊後大野市商工会が市内に営業所のあるタクシーの利用促進のために行う、プレミアム付タクシーチケットの発行等に要する経費について、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○プレミアム付タクシーチケット 1セット 3,000円 （プレミア 2,000円） ○2,000セット販売	R3	○プレミアム付タクシーチケット 1セット 3,000円 （プレミア 2,000円） ○2,000セット販売
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,900	5,000			900
当初予算	5,900	5,000			900
決 算 額	4,211	4,200			11
R４計画	5,900	4,000			1,900
当初予算	5,900	4,000			1,900
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,800	9,000			2,800
当初予算	11,800	9,000			2,800
決 算 額	4,211	4,200			11

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 チケット完売	プレミアムタクシーチケットの完売	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100			
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度は臨時交付金を活用し、利用者が減少しているタクシー需要の喚起を促す取組をおこなった。令和4年度も引続き交付金を活用した取組をおこなうが、事業にあたっては、運行会社と協力し、利用者ニーズや利用実態を把握し、今後の公共交通施策につなげる必要がある。	運行事業者等との連携を図り、公共交通網の維持確保に努める。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
11002	9

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	公共交通事業	細事業	地域公共交通活性化事業	実施計画事業	路線バス広報業務委託事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 180 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	21

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	③公共交通の整備を促進する
後期基本計画 52 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
路線バス広報業務委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内広域にわたり運行する路線バスにラッピングを施し、公共交通利用促進やアフターコロナを見据えた市内各所への関心を高めるとともに、魅力の波及を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ラッピングフィルムの作成および貼付け ・ラッピングを施したバスの運行	R3	・ラッピングフィルムの作成および貼付け ・ラッピングを施したバスの運行
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	3,000	2,800			200
当初予算	3,000	2,800			200
決 算 額	2,992	2,800			192
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,000	2,800			200
当初予算	3,000	2,800			200
決 算 額	2,992	2,800			192

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ラッピングバスの運行	ラッピングバス車両数 4台 運行日数 143日（7ヶ月）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	式	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度は臨時交付金を活用し、事業者支援とともに市の施策をPRする事業に取組んだ。特に「サウナ宣言」をラッピングした車両については、多くのメディアに取り上げられるなど、十分な効果が発揮できた。今後も、事業者との連携を図りつつ、必要に応じて対応していきたい。	運行事業者等との連携を図り、市民の利便性と公共交通網の維持確保、利用促進に努める。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
12001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	矢田ダム関連地域振興事業	細事業	矢田ダム関連地域振興事業	実施計画事業	矢田ダム関連地域振興事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 177 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	22

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	矢田ダム関連地域振興計画
	期間 H14 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
矢田ダム対策委員会委員報酬	203
費用弁償	17
矢田ダム関連地域振興基金積立金	16
通信運搬費	4

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 矢田ダム関連地域振興計画に基づき実施された事業の進捗状況や基金の取扱い、関係機関への要望活動について、矢田ダム対策委員会において、地元関係者と協議を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・矢田ダム対策委員会の開催 ・県土木事務所へ要望書提出 ・矢田ダム対策委員会解散に向けた協議	R3	・矢田ダム対策委員会の開催 ・県土木事務所へ要望書提出 ・矢田ダム対策委員会解散に向けた協議
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	240				240
当初予算	240				240
決 算 額	59				59
R４計画	224				224
当初予算	224				224
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	464				464
当初予算	464				464
決 算 額	59				59

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 矢田ダム対策委員会の開催	矢田ダム関連地域振興事業について、対策委員会にて説明する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1			
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 県土木事務所へ要望書提出	県所管事業の早期完成について、要望を行う。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1			
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 矢田ダム対策委員会の開催	矢田ダム対策委員会の開催数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1			
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市道牛首線の供用開始が令和4年度7月末の予定のため、この時期をもって委員会を解散するよう協議会に再度諮る必要がある。 また、関連する条例の廃止については令和４年９月議会に提案するよう準備を行う必要がある。	対象事業の完了により終了する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
15001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進住宅補助事業	実施計画事業	移住奨励金給付事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
移住奨励金	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 集落の維持や活性化、各分野の担い手確保のため、地域を担う人材となる移住者に対し奨励金を交付し、移住・定住を促進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・移住奨励金の交付 （R2年度に事業終了により経過措置のみ）	R3	・移住奨励金交付　1件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	100				100
当初予算	100				100
決算額	100				100
R４計画					
当初予算					
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	100				100
当初予算	100				100
決算額	100				100

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 奨励金の交付件数	奨励金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	件	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むとともに、制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、終了とする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終　了

（様式１）

事業番号	枝番
15001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進住宅補助事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（持ち家取得/県外）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	2,100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 人口減少による集落の維持や地域活性化、各分野の担い手確保のため、県外からの移住世帯に対する住宅の新築や購入に係る費用の一部を助成するもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・県外移住者の住宅取得に対する補助金の交付	R3	・ＨＰ等での情報発信による制度周知 ・県外移住者の住宅取得に対する補助金交付 ２件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,100	1,050			1,050
当初予算	2,100	1,050			1,050
決算額	1,500	750			750
R４計画	2,400	1,200			1,200
当初予算	900				900
決算額					
R５計画	2,900	1,450			1,450
当初予算					
決算額					
R６計画	3,200	1,600			1,600
当初予算					
決算額					
R７計画	3,700	1,850			1,850
当初予算					
決算額					
計画額	14,300	7,150			7,150
当初予算	3,000	1,050			1,950
決算額	1,500	750			750

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 助成金の交付件数	助成金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	4	5	6	7	8
						実績値	2				
					%	達成率	50.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むとともに、制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、終了とする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終了

（様式１）

事業番号	枝番
15001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進住宅補助事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（持ち家取得/県内）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	3,900

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 人口減少による集落の維持や地域活性化、各分野の担い手確保のため、市外からの移住世帯に対する住宅の新築や購入に係る費用の一部を助成するもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・県内移住者の住宅取得に対する補助金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・県内移住者の住宅取得に対する補助金交付 １２件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,900				3,900
当初予算	3,900				3,900
決算額	6,400				6,400
R４計画	4,200				4,200
当初予算	900				900
決算額					
R５計画	4,500				4,500
当初予算					
決算額					
R６計画	5,500				5,500
当初予算					
決算額					
R７計画	5,500				5,500
当初予算					
決算額					
計画額	23,600				23,600
当初予算	4,800				4,800
決算額	6,400				6,400

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 助成金の交付件数	助成金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	件	目標値	7	8	9	10	10
						実績値	12				
					%	達成率	171.4				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むとともに、制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、終了とする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終了

（様式１）

事業番号	枝番
15001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進住宅補助事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（Uターン促進）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	1,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 過疎化、少子高齢化等が深刻化する本市へのUターンを促進し、地域力の維持や地域への定住を支援するため、Uターン者に対する多世代住宅改修に対する助成を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・Uターン促進多世代住宅補助金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・Uターン促進多世代住宅補助金交付　１件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,500				1,500
当初予算	1,500				1,500
決算額	1,200				1,200
R４計画	1,500				1,500
当初予算					
決算額					
R５計画	1,500				1,500
当初予算					
決算額					
R６計画	1,500				1,500
当初予算					
決算額					
R７計画	1,500				1,500
当初予算					
決算額					
計画額	7,500				7,500
当初予算	1,500				1,500
決算額	1,200				1,200

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住施策として事業効果はあったものの、制度見直しに伴い経過措置分を残し、事業終了とする。 今後は空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に取組むとともに、制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、終了とする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終　了

（様式１）

事業番号	枝番
15002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	空き家成約奨励金給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画 62 P	☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
空き家成約奨励金	1,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内に存在する空き家の有効活用を通じた、地域活性化や移住定住を促進するため、空き家バンク制度を通じた物件の成約の際に物件所有者に奨励金を交付するもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家成約奨励金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家成約奨励金の交付　２０件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,500				1,500
当初予算	1,500				1,500
決 算 額	2,000				2,000
R４計画	1,500				1,500
当初予算	1,500				1,500
決 算 額					
R５計画	2,000				2,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,000				2,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,500				2,500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	9,500				9,500
当初予算	3,000				3,000
決 算 額	2,000				2,000

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	空き家バンク新規物件登録数	空き家バンク新規物件登録数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	34	件	目標値	35	35	40	45	50
							実績値	29				
						%	達成率	82.9				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
							実績値	26				
						%	達成率	130.0				
	2	奨励金交付件数	奨励金交付件数(年度末)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	16	件	目標値	15	15	20	20	25
							実績値	20				
						%	達成率	133.3				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として空き家の活用を推進する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
15002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（不動産／家財／引越／（県外））	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し、仲介手数料補助、家財道具等の処分費用に対する補助、引越し補助をおこなう。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家家財道具等処分補助金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家家財道具等処分補助金交付 （県外移住者分） ３件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	200	100			100
当初予算	200	100			100
決 算 額	300	150			150
R４計画	400	200			200
当初予算	300	150			150
決 算 額					
R５計画	400	200			200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	400	200			200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	600	300			300
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,000	1,000			1,000
当初予算	500	250			250
決 算 額	300	150			150

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
						実績値	26				
					%	達成率	130.0				
	2 補助金交付数	補助金交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	2	2	2	2	3
						実績値	3				
					%	達成率	150.0				
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
家財道具の処分費用に対する補助を除き、仲介手数料や引越し費用を助成する制度については、制度見直しにより廃止した。 制度見直しに伴い、家財道具の処分については、空き家バンク登録時点でも活用できるよう要件変更したことから改めて制度の周知を図る必要がある。	移住定住策として事業効果はあったが、空き家の活用促進にシフトするため、仲介手数料と引越し費用の助成については終了とする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
15002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（空き家改修（県外））	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般	政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	2	施策	6 移住・定住の促進
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する
目	7	後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	23		

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	2,400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者に対し、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家改修補助金の交付	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家改修補助金の交付 （県外移住者分） ３件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,400	1,200			1,200
当初予算	2,400	1,200			1,200
決 算 額	2,000	1,000			1,000
R４計画	2,000	1,000			1,000
当初予算	1,800	900			900
決 算 額					
R５計画	2,000	1,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,000	1,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,800	1,400			1,400
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,200	5,600			5,600
当初予算	4,200	2,100			2,100
決 算 額	2,000	1,000			1,000

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
						実績値	26				
					%	達成率	130.0				
	2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	件	目標値	3	3	3	3	4
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移住者からニーズの多い市内の空き家の活用を促す新たな移住施策に取組むことで、移住者の確保に努めるとともに、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し制度の周知に取組む必要がある。	移住定住策として、空き家活用を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
15002	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（不動産／家財／引越／空き家改修（県内））	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般	政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	2	施策	6 移住・定住の促進
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する
目	7	後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	23		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	4,750

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した市外移住者や空き家所有者に対し、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・空き家バンクの活動促進 ・空き家改修補助金の交付 ・空き家家財道具等処分補助金の交付 ・不動産契約仲介手数料補助金の交付 （R2事業終了により経過措置対象のみ） ・引越費用補助金の交付 （R2事業終了により経過措置対象のみ）	R3	・情報発信による制度周知 ・空き家改修補助金　８件 ・空き家家財道具等処分補助金　７件 ・不動産契約仲介手数料補助金 （経過措置）　１件 ・引越費用補助金（経過措置）　１件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,750				4,750
当初予算	4,750				4,750
決算額	6,625				6,625
R４計画	5,300				5,300
当初予算	4,300				4,300
決算額					
R５計画	6,200				6,200
当初予算					
決算額					
R６計画	6,600				6,600
当初予算					
決算額					
R７計画	7,500				7,500
当初予算					
決算額					
計画額	30,350				30,350
当初予算	9,050				9,050
決算額	6,625				6,625

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 空き家バンク成約件数	空き家バンク成約件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	件	目標値	20	20	25	25	30
						実績値	26				
					%	達成率	130.0				
	2 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	24	件	目標値	13	12	14	15	17
						実績値	17				
					%	達成率	130.8				
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
仲介手数料や引越し費用を助成する制度については、制度見直しにより廃止した。 制度見直しに伴い、家財道具の処分については、空き家バンク登録時点でも活用できるよう要件変更したことから改めて制度の周知を図る必要がある。	移住定住策として、空き家活用を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
15002	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（店舗開設）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 県外からの移住者が本市で生計維持するために店舗等を開設するための費用を支援し、地域雇用の創出や経済振興を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・情報発信による制度周知 ・補助金の交付 ・交付要綱の見直し	R3	・情報発信による制度周知 ・交付要綱の見直し
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,000	500			500
当初予算	1,000	500			500
決算額					
R４計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
R５計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
R６計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
R７計画	1,000	500			500
当初予算					
決算額					
計画額	5,000	2,500			2,500
当初予算	1,000	500			500
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の制度改正に伴い、市の補助制度を廃止した。今後、本市への移住希望者が店舗開設を希望する場合は、県の補助事業を案内するなど制度の周知が必要である。	県事業の活用推進を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終了

（様式１）

事業番号	枝番
15002	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	定住住宅補助事業（県外移住者就業支援）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 231 ）

会計	一般	政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	2	施策	6 移住・定住の促進
項	1	施策展開	①移住・定住を促進する
目	7	後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	23		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
定住住宅補助金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 県外からのＵＩＪターンによる起業・就業者の創出を支援するため、（移住者居住支援事業(持家取得助成、空き家改修補助等)を活用し、）県の求人マッチングサイトを通じて就業した者等に対して移住支援金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・情報発信による制度周知 ・移住支援金の交付	R3	・情報発信による制度周知
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,000	500			500
当初予算	1,000	500			500
決 算 額					
Ｒ４計画	1,000	500			500
当初予算	1,000	750			250
決 算 額					
Ｒ５計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,000	2,500			2,500
当初予算	2,000	1,250			750
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助金の交付件数	補助金の交付件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の制度改正に伴い、交付要綱の見直しを行った。今後も県外からの移住者の起業・就業を支援するための制度の周知が必要である。	移住定住策として就業支援策を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
15002	7

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	定住促進事業	細事業	定住促進空き家対策事業	実施計画事業	移住情報発信・移住定住フェア参加事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 232 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	23

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	①移住・定住を促進する
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
広告料	495
移住・定住促進ポータルサイト保守委託料	330
移住・定住促進ポータルサイト制作委託料	330
移住フェアブース出展料	220

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 魅力ある地域情報や市の総合的な支援等をＰＲし、本市への関心を高めるため、ウェブサイト等を活用した情報発信に取組む。また移住イベントに参加し、移住を促進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・ＳＮＳによる情報発信と拡散 ・移住相談会等への参加 ・移住関連サイトト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談	R3	・ポータルサイト「ぶんごおおの暮らし手帖」の運営、更新 ・ＳＮＳによる情報発信と拡散 ・移住関連サイト等の広告掲載 ・移住コーディネーターによる移住相談
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,909				1,909
当初予算	1,909				1,909
決 算 額	1,212				1,212
R４計画	880				880
当初予算	1,881				1,881
決 算 額					
R５計画	880				880
当初予算					
決 算 額					
R６計画	880				880
当初予算					
決 算 額					
R７計画	880				880
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,429				5,429
当初予算	3,790				3,790
決 算 額	1,212				1,212

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専用サイトのアクセス数	専用サイトのアクセス数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	70,864	回	目標値	72,000	73,200	74,400	75,600	76,800
						実績値	82,711				
					%	達成率	114.9				
	2 移住相談件数	移住相談件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,599	件	目標値	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700
						実績値	1,853				
					%	達成率	123.5				
D 成果指標	1 市外からの移住者数	各種移住施策による移住者数(年度末)	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	人	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	96				
					%	達成率	160.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナ感染防止対策の影響で、移住相希望者への情報提供はインターネットを経由したものに変化しており、ネットを活用した情報発信の重要度は増している。今後は移住先として選ばれる様、積極的な情報発信に加え、ウィズコロナで本格化していくと想定する移住希望者への対面でのアプローチが必要である。	移住定住の情報発信は重要であり、またニーズも多いことから積極的に活用する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
408001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	関係人口創出事業	細事業	関係人口創出事業	実施計画事業	関係人口創出事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 235 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	24

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	6 移住・定住の促進
施策展開	②関係人口の創出・拡大と取り込み
後期基本計画	62 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
工事設計監理委託料	11,603
拠点施設工事請負費	92,951
拠点施設庁用器具費	4,642
関係人口等ネットワーク形成事業委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
新しい時代の流れをつかみ、豊後大野の人や地域との深いつながりを築き、多様な人材の確保、起業や移住定住につなげていくため、二拠点居住やテレワークなどの４つの事業コンテンツを連動させたプラットフォームの構築に取り組む。
　都市住民などの多様な人材と地域内人材との融合により、その人たちらしさを発揮した新たなビジネスの創出や、豊後大野出身者など外から地域を支える人材の確保など、関係人口の創出及び拡大に取り組む。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・多機能型関係人口拠点施設の整備
・施設条例の制定
・指定管理者制度の導入
・関係人口等交流プログラム等の実施
・拠点施設専用サイトの制作

年度	主な活動実績
R3	旧歴史民俗資料館を改修し、多機能型の拠点施設を整備した。また、新たな施設の条例を制定し、指定管理制度を導入のため、選定及び決定を行った。また、令和４年度から実施する事業プログラムを策定した。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	114,913	69,614		30,000	15,299
当初予算	114,913	69,614		30,000	15,299
決算額	114,226	71,844		7	42,375
R４計画	30,000	15,000			15,000
当初予算	34,758	16,250			18,508
決算額					
R５計画	30,000	15,000			15,000
当初予算					
決算額					
R６計画	30,000	15,000			15,000
当初予算					
決算額					
R７計画	5,000				5,000
当初予算					
決算額					
計画額	209,913	114,614		30,000	65,299
当初予算	149,671	85,864		30,000	33,807
決算額	114,226	71,844		7	42,375

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用者数（累積）	拠点施設の利用者数（年度末）	☑ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値		1,300	1,300	1,300	1,300
						実績値					
					%	達成率					
	2 参加者数（累積）	拠点施設で行うセミナー等の参加者数（年度末）	☑ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値		100	100	100	100
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業創出数（累積）	拠点施設の利活用による新規事業創出数（年度末）	☐ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値		3	5	7	7
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

関係人口の創出・拡大の拠点施設（コワーキングスペース・サテライトオフィス・コミュニティスペース・ カフェスペース・ゲストハウス）の運営を行う指定管理者と連携し、早期に起業・創業支援ができる体制整備をおこなうことが必要である。
また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた「故郷を支えるFrom豊後大野ネットワーク構築事業」を通じ、地域を外から支える市内出身者等のデータベース化と地域活動への参画を促す取組が必要である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

指定管理を実施し、起業・創業支援に取組むとともに関係人口の創出・拡大に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
13005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	コミュニティ助成事業	実施計画事業	コミュニティ助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 287 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	1 地域コミュニティ活動の推進
施策展開	①地域コミュニティを育成する
後期基本計画	74 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
コミュニティ助成事業助成金	22,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ コミュニティ活動に必要な施設整備や備品購入等への支援を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・助成を希望する事業の募集 ・助成金の交付	R3	・コミュニティセンター助成事業 1団体 ・一般コミュニティ助成事業 2団体 ・地域づくり助成事業 1団体 に助成金を交付。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	22,000			22,000	
当初予算	22,000			22,000	
決算額	21,900			21,900	
R４計画					
当初予算					
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	22,000			22,000	
当初予算	22,000			22,000	
決算額	21,900			21,900	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 申請数	申請があった団体数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	件	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	4				
					%	達成率	80.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 採択団体	採択された団体数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5		目標値	5	5	5	5	5
						実績値	4				
					%	達成率	80.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
引続き事業の周知を図るとともに、助成金を活用した活動を希望する団体には引続き情報提供をおこなう必要がある。	地域コミュニティ活動が活性化するよう、希望する団体には引き続き情報提供を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
13006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	小規模集落対策委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 287 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	1 地域コミュニティ活動の推進
施策展開	①地域コミュニティを育成する
後期基本計画	74 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
小規模集落対策事業委託料	7,707

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制の整備を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・小規模集落対策事業業務委託の締結 （契約内容） 地域振興協議会の設置 地域づくり計画に基づく活動の実施 地域支援員の配置 ・ワークショップ等の開催	R3	小規模集落対策事業業務委託の締結 ・７団体 ワークショップ等の開催 ・大野町東部・南部 ・緒方町小富士 ・三重町菅尾 計２０回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	7,707			7,000	707
当初予算	7,707			7,000	707
決 算 額	7,508			7,500	8
R４計画	10,107			10,000	107
当初予算	9,372			9,000	372
決 算 額					
R５計画	11,307			11,000	307
当初予算					
決 算 額					
R６計画	14,907			14,000	907
当初予算					
決 算 額					
R７計画	18,507			18,000	507
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	62,535			60,000	2,535
当初予算	17,079			16,000	1,079
決 算 額	7,508			7,500	8

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 配置数	地域支援員配置数（令和7年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
						実績値	7				
					%	達成率	87.5				
	2 開催数	ワークショップ等開催数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	回	目標値	12	12	14	14	15
						実績値	20				
					%	達成率	166.7				
D 成果指標	1 設置数	地域振興協議会設置数（令和7年度末）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
						実績値	7				
					%	達成率	87.5				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会には、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制整備のための支援を、引続きおこなう必要がある。 また、地域振興協議会設立に向けて住民間の合意形成のために話し合いを続けている地域については、引続き設立支援に向けた取組を継続する必要がある。	市民への支援体制の整備を検討し、引き続き支援を行う。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
13006	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	地域づくり交付金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 288 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	1 地域コミュニティ活動の推進
施策展開	①地域コミュニティを育成する
後期基本計画	74 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H25 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域づくり交付金	9,546

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高齢化率が50%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域づくり計画に基づく活動を地域づくり交付金により支援し、地域の創意・工夫・責任による特色のある地域づくりの展開を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・地域づくり交付金の交付	R3	地域づくり交付金の交付対象：７団体
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	9,546			9,000	546
当初予算	9,546			9,000	546
決 算 額	8,981			8,300	681
R４計画	12,446			12,000	446
当初予算	10,299			10,000	299
決 算 額					
R５計画	13,946			13,000	946
当初予算					
決 算 額					
R６計画	18,446			18,000	446
当初予算					
決 算 額					
R７計画	22,946			22,000	946
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	77,330			74,000	3,330
当初予算	19,845			19,000	845
決 算 額	8,981			8,300	681

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付件数	地域づくり交付金交付件数（令和7年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
						実績値	7				
					%	達成率	87.5				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 設置数	地域振興協議会設置数（令和7年度末）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	協議会	目標値	8	9	10	12	15
						実績値	7				
					%	達成率	87.5				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域振興協議会の取組に対し引続き支援を行う必要がある。 また、拠点整備について、新たな補助制度をつくる必要がある。	市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
13006	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	小規模集落対策事業	実施計画事業	小規模集落等支援補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 288 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	1 地域コミュニティ活動の推進
施策展開	①地域コミュニティを育成する
後期基本計画	74 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市地域コミュニティビジョン 期間 H26 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
小規模集落等支援事業補助金	7,600

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 小規模集落等において、地域による自発的かつ主体的な地域づくりの推進を図るため、地域住民や地域コミュニティ組織等が自ら集落等生活圏の維持及び活性化を考え、活力ある生きがいの創出等に対する取組みに対し経費の一部を補助することで豊かなコミュニティづくりの推進を図ることができる。 ・ネットワーク・コミュニティ推進枠 ・集落活動支援枠 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・補助事業の案内周知 ・申請者へのヒアリング ・申請者への事業計画策定支援 ・補助事業の進捗管理 ・補助事業の事業完了支援	R3	小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体：５団体 ・採択団体：２団体
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	7,600	6,000			1,600
当初予算	7,600	6,000			1,600
決 算 額	6,005	4,739			1,266
R４計画	7,600	6,000			1,600
当初予算	7,600	6,000			1,600
決 算 額					
R５計画	7,600	6,000			1,600
当初予算					
決 算 額					
R６計画	7,600	6,000			1,600
当初予算					
決 算 額					
R７計画	7,600	6,000			1,600
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	38,000	30,000			8,000
当初予算	15,200	12,000			3,200
決 算 額	6,005	4,739			1,266

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 申請団体	申請団体数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	8	者	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	5				
					%	達成率	250.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 採択件数	採択件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業の周知を図るとともに、県と調整しながら希望する団体への支援を図る必要がある。	市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
13009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域コミュニティ支援事務費	実施計画事業	ふるさとまつり実行委員会補助金	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 295 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	2 協働によるまちづくりの推進
施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める
後期基本計画	76 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ふるさとまつり実行委員会補助金	6,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 交流と賑わいのある生き生きとした豊後大野の魅力を、市内外へ発信するために、「豊後大野市ふるさとまつり」を市全体のまつりと位置付け、地域の活性化及び一体感の醸成を図ることを目的に開催する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・コロナ過における実施の協議（中止含） ・Ｒ４年度以降のふるさとまつりの検討	R3	コロナ禍に伴い開催中止
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	6,200			6,000	200
当初予算	6,200			6,000	200
決 算 額					
Ｒ４計画	8,000			7,500	500
当初予算	6,200			6,000	200
決 算 額					
Ｒ５計画	8,000			7,500	500
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	8,000			7,500	500
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	8,000			7,500	500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	38,200			36,000	2,200
当初予算	12,400			12,000	400
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報活動	市報、チラシ配布、マスメディアによる広報	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	式	目標値	1	5	5	6	6
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 来場者数	ふるさとまつり来場者数 （令和元年度来場者数 約12,000人）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値		12,000	12,000	12,000	12,000
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
ふるさとまつりの開催にあたっては、これまでの開催方法を見直し、感染症対策に留意するとともに、行政側のブースを減らし、民活を誘導するようブースを増やすなど、民間主導と行政は側面的支援に徹するよう方向転換をすることが必要である。また、アフターコロナに対応した事業実施が必要である。	アフターコロナに対応した、事業実施を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
13009	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域コミュニティ支援事務費	実施計画事業	提案型まちづくり活動補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 292 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	2 協働によるまちづくりの推進
施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める
後期基本計画 76 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
提案型まちづくり活動補助金	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民活動団体の先駆性や柔軟性を生かしたアイデアやノウハウによって、より効果的な地域の課題解決や活性化、市民サービスの向上を目指す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・事業アイデアの募集 ・提案団体へのヒアリング ・審査委員会の開催 ・採択団体の選定・通知 ・補助金の交付 ・事業への着手	R3	・事業アイデアの募集（R3.3.1～4.16） ・追加募集（R3.6.28～7.9） ・提案した団体へのヒアリング 7団体 ・審査委員会の開催（書類審査2回、プレゼンテーション審査1回） ・採択団体の選定・通知 ・補助金の交付
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,000			3,000	
当初予算	3,000			3,000	
決 算 額	2,400			2,400	
R４計画	3,000			3,000	
当初予算	3,000			3,000	
決 算 額					
R５計画	3,000			3,000	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,000			3,000	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,000			3,000	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	15,000			15,000	
当初予算	6,000			6,000	
決 算 額	2,400			2,400	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 提案団体数	提案団体へのヒアリング実施回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	7	件	目標値	5	6	6	6	6
						実績値	7				
					%	達成率	140.0				
	2 開催数	審査委員会等の開催数	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	3				
					%	達成率	150.0				
D 成果指標	1 採択数	提案団体の採択数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	5	件	目標値	3	6	6	6	6
						実績値	4				
					%	達成率	133.3				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
この事業をキッカケに新しい団体も設立されており、社会的な使命を達成することを目的とした市民活動団体が増えていくことは、本市の魅力を非常に高めていると考えている。採択された団体が事業終了後も継続的・発展的な活動が行えるように、団体の活動を把握しながら、状況に応じて国や県等の事業を団体に情報提供など行っていくことが必要である。 また、事業開始から５年経過したことから事業内容の見直しを行う必要がある。	市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
13012	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	地域コミュニティ支援事業	細事業	地域活動支援事業	実施計画事業	地域活動支援事業（地域おこし協力隊）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 290 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	26

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	1 地域コミュニティ活動の推進
施策展開	②地域を支える人材を育成する
後期基本計画	74 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	996
自動車等借上料	330
社会保険料（会計年度任用職員分）	189
期末手当	125

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
都市地域から本市に移住し、地域ブランドや地場産品の開発、販売、ＰＲ等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図る。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・地域協力隊交流事業への参加
・地域定着後のフォローアップ
・新規募集に向けた要項作成

年度	主な活動実績
R3	・地域おこし協力隊員　3名着任、１名退任 うち、まちづくり推進課　退任１名 うち、商工観光課　着任３名
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,899				1,899
当初予算	1,899				1,899
決算額	1,714				1,714
R４計画	4,068				4,068
当初予算	4,421				4,421
決算額					
R５計画	4,068				4,068
当初予算					
決算額					
R６計画	4,068				4,068
当初予算					
決算額					
R７計画	4,068				4,068
当初予算					
決算額					
計画額	18,171				18,171
当初予算	6,320				6,320
決算額	1,714				1,714

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定着定住に向けた研修	人材育成のための研修参加	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 定住数	地域おこし協力隊任期後の定住数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	人	目標値	1				1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
現在活動中の隊員の多くが活動終了後の定住を希望していることは、非常に良い傾向である。今後は地域おこし協力隊の業務内容を明確化するとともに、活動を「見える化」することが必要である。	市民のニーズに対応し、適正に事業実施をする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
10001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事業	企画事業	細事業	自治基本条例関連事業	実施計画事業	自治推進委員会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 292 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	27

政策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施策	2 協働によるまちづくりの推進
施策展開	①協働の仕組みづくりと意識を高める
後期基本計画	76 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
自治推進委員会委員報酬	249
費用弁償	58
通信運搬費	26

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 自治基本条例（豊後大野市まちづくり基本条例・平成24年3月）は、広範囲な市民理解と合意を得ることが必須であり、さらには市全体への浸透を図ると同時に市外からの認知と理解を得る必要があるため、市民等への啓発を推進する。 豊後大野市自治推進委員会の所掌事務は、①条例の運用状況に関すること、②条例による自治の推進の検証に関すること、③条例の見直しに関すること、④その他自治の推進に関すること。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・自治推進委員会（任期2年、現在9名）の開催（年6回予定） ※R3.9月に委員改選	R3	自治推進委員会の開催　5回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	333				333
当初予算	333				333
決算額	236				236
R４計画	333				333
当初予算	291				291
決算額					
R５計画	333				333
当初予算					
決算額					
R６計画	333				333
当初予算					
決算額					
R７計画	333				333
当初予算					
決算額					
計画額	1,665				1,665
当初予算	624				624
決算額	236				236

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自治推進委員会の開催回数	開催回数（年間）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5	回	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	5				
					%	達成率	83.3				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	2 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
まちづくり基本条例は市政運営の最高規範とされるので、他の条例の制定等や運用にあたっては、まちづくり基本条例の趣旨を最大限尊重し整合性を図る必要がある。	自治基本条例の趣旨に基づき、効果的な事業実施に努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
10003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	企画事業	細事業	過疎対策事業	実施計画事業	過疎対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 319 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	27

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市過疎地域持続的発展計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大分県過疎地域振興協議会負担金	294
消耗品費	20
人口減少に立ち向かう自治体連合会負担金	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 令和3年4月1日施行の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく豊後大野市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）の推進に取り組む。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・豊後大野市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）の策定及び進捗管理。	R3	「豊後大野市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）」策定及び進捗管理
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	324				324
当初予算	324				324
決 算 額	307				307
R４計画	324				324
当初予算	250				250
決 算 額					
R５計画	324				324
当初予算					
決 算 額					
R６計画	324				324
当初予算					
決 算 額					
R７計画	324				324
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,620				1,620
当初予算	574				574
決 算 額	307				307

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	2 点	10 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「豊後大野市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）」の進捗管理を行い、必要に応じて計画見直しを行う必要がある。	7年度までの計画に基づき事業を実施し、適時、進捗管理を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
10004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	企画事業	細事業	地域創生事業	実施計画事業	地域創生事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 319 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	27

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	③社会インフラの老朽化等への適切な対応
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
草刈等委託料	500
サイクルイベント委託料	200
愛媛大分交流市町村連携事業負担金	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度～令和7年度）について、豊後大野市総合戦略推進委員会において計画の検証・見直し等を行い、地方創生事業の推進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催 ・大分都市広域圏事業サイクリングテストライドの開催 ・愛媛大分交流事業の実施	R3	大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催（R4.3.27）等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	653				653
当初予算	953				953
決 算 額	681				681
R４計画	853				853
当初予算	1,093				1,093
決 算 額					
R５計画	853				853
当初予算					
決 算 額					
R６計画	853				853
当初予算					
決 算 額					
R７計画	853				853
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	4,065				4,065
当初予算	2,046				2,046
決 算 額	681				681

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	総合戦略推進委員会の開催回数	開催回数（年間）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	2	2	2	2	4
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	大分都市広域圏での連携事業数	連携事業数（累計）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	17	事業	目標値	21	21	21	21	21
							実績値	17				
						%	達成率	81.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度～令和7年度）」の豊後大野市総合戦略推進委員会における検証・見直し等については、効果的・効率的な検証方法にて行い、事業推進を図る必要がある。	まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業実施を行う。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
305001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	少子化対策結婚支援事業	細事業	婚活支援事業	実施計画事業	婚活支援事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 137 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	28

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	③結婚に向けた取組を支援する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
婚活支援事業委託料	3,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供して結婚のきっかけづくりを行い、本市の人口減少の抑制へとつなげる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・個別相談会の開催 ・婚活セミナーの開催 ・婚活サポーター育成・指導等の取組 ・婚活サポーター先進地研修 ・情報交換会の開催	R3	・個別相談会　7回 ・婚活セミナー・イベント　9回 ・婚活サポーター育成・指導　３回 ・婚活サポーター先進地研修　臼杵市 ・婚活講演会　1回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,500	1,750			1,750
当初予算	3,500	1,750			1,750
決 算 額	3,116	1,558			1,558
R４計画	3,500	1,750			1,750
当初予算	3,000	2,000			1,000
決 算 額					
R５計画	3,500	1,750			1,750
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,500	1,750			1,750
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,500	1,750			1,750
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	17,500	8,750			8,750
当初予算	6,500	3,750			2,750
決 算 額	3,116	1,558			1,558

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数①	個別相談会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	7				
					%	達成率	233.3				
	2 開催回数②	婚活セミナー・婚活イベントの開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	9				
					%	達成率	300.0				
D 成果指標	1 相談者数	個別相談会の相談者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	22	人	目標値	64	64	64	64	64
						実績値	7				
					%	達成率	10.9				
	2 参加人数	婚活セミナー・婚活イベントの参加人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	43	人	目標値	56	56	56	56	56
						実績値	115				
					%	達成率	205.4				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナ感染状況の影響で、参加をためらう方が多く、事業実施が難しい状況が続いている。また、参加者からの意見として、同じ市内で身近な人と遭遇するかもしれないといった理由で市が行う婚活を敬遠する方も多いことから、近隣市と連携した取組を行うことや、近隣市が行っている市民活動による婚活を後押しする取組み等を検討する必要がある。	婚活支援は、少子化対策の重要な事業ととらえており、今後も適正に事業の実施を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
305002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事業	少子化対策結婚支援事業	細事業	結婚新生活支援事業	実施計画事業	結婚新生活支援事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 139 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	7
決算	28

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	③結婚に向けた取組を支援する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
結婚新生活支援事業補助金	4,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 結婚を希望する男女や、結婚したいが経済的に結婚に踏み切れないカップルが結婚に踏み出すための支援として、引越費用や新居の取得に係る経費、家賃等を補助する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助する。 300千円×15件＝4,500千円	R3	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。 300千円×4件＝1,200千円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,500	2,250			2,250
当初予算	4,500	2,250			2,250
決算額	1,200	600			600
R４計画	4,500	2,250			2,250
当初予算	3,117	2,000			1,117
決算額					
R５計画	4,500	2,250			2,250
当初予算					
決算額					
R６計画	4,500	2,250			2,250
当初予算					
決算額					
R７計画	4,500	2,250			2,250
当初予算					
決算額					
計画額	22,500	11,250			11,250
当初予算	7,617	4,250			3,367
決算額	1,200	600			600

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 申請件数	申込者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	15	15	15	15	15
						実績値	4				
					%	達成率	26.7				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 対象者数	補助金交付対象者数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	15	15	15	15	15
						実績値	4				
					%	達成率	26.7				
	2 婚姻数推計値	105組（令和元年 大分県人口動態総覧・市町村別 令和2年10月）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画	105	組	目標値	105	105	105	105	105
						実績値	93				
					%	達成率	88.6				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国の支援制度に則した事業に令和３年度から取組んだ。今後も市民に対し、事業の周知を図る必要がある。	国の動向もみながら、今後も適正に事業の実施を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
17001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	地域振興係

事 業	電源立地地域対策交付金事業	細事業	電源立地地域対策交付金事業	実施計画事業	電源立地地域対策交付金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 262 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	9
決算	30

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画 66 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大分県発電関係市町村振興協議会負担金	18
大分県電源地域連絡協議会負担金	17
普通旅費	19
通信運搬費	3

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 発電用施設の立地及び周辺地域の公共施設整備等に係る事業を行うことで、地域の活性化と住民の福祉の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・電源立地地域対策交付金実施事業（２事業）の進捗管理 ・県への交付金業務 ・次年度の実施事業の抽出、選定 ・関連協議会を通じた国への要望活動	R3	交付金対象の小型動力消防ポンプ車両整備事業とコミュニティバス整備事業に取組み、事業の進捗管理等をおこなった。また交付金の継続及び確保のため、国への要望活動をおこなった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	57				57
当初予算	57				57
決 算 額	35				35
Ｒ４計画	57				57
当初予算	38				38
決 算 額					
Ｒ５計画	57				57
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	57				57
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	57				57
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	285				285
当初予算	95				95
決 算 額	35				35

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金事業実施数	交付金事業実施数（年度末）	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 公共施設や車両等の整備数	公共施設や車両等の整備数(年度末)	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
電源立地地域対策交付金（火力発電分）の交付期間が令和3年までで終了したことから、効果的な事業執行が必要である。	引き続き、適正に事業を実施する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際キャンプ事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 370 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画	90 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	80
消耗品費	60
施設等使用料	42
印刷製本費	20

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 感受性豊かな子どもたちが新しい感覚や異文化を体験することで、国際的な視野を広めることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・事前研修、キャンプ（1泊2日） 市内小学生5、6年生を対象に、ＡＰＵ学生や市・県国際交流員等とともに交流体験を行う。	R3	キャンプ 小学生6名参加（※1日のみの開催）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	214				214
当初予算	214				214
決算額	1				1
R４計画	214				214
当初予算	201				201
決算額					
R５計画	214				214
当初予算					
決算額					
R６計画	214				214
当初予算					
決算額					
R７計画	214				214
当初予算					
決算額					
計画額	1,070				1,070
当初予算	415				415
決算額	1				1

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 国際キャンプ参加児童数	参加児童数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	6				
					%	達成率	30.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
参加者の募集に苦慮している。事業内容及び周知方法を見直す必要がある。事業目的のためには一過性のイベントにせず次につながる施策も必要である。	事業について、検討も必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

（様式１）

事業番号	枝番
18001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際交流員活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 370 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間 年度 ～ 年度	
期間 年度 ～ 年度	

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	3,360
社会保険料（会計年度任用職員分）	528
外国青年招致事業負担金	168
費用弁償	143

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 国際交流関係事務等の補助のため、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）を活用し、地域において国際交流活動に従事する国際交流員を配置する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・国際交流関係事務の補助 ・地域住民に対する語学指導への協力 ・民間国際交流団体の事業活動に対する助言、参画	R3	韓国語教室 全26回 文化講座 2回 日韓オンライン交流会（両協会）通訳等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,229				4,229
当初予算	4,229				4,229
決 算 額	2,577				2,577
R４計画	5,000				5,000
当初予算	4,463				4,463
決 算 額					
R５計画	5,000				5,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	5,000				5,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	5,000				5,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	24,229				24,229
当初予算	8,692				8,692
決 算 額	2,577				2,577

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 活動事業数	事業数（年間）	□ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値					
						実績値	9				
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 活動事業参加者数	参加者数（年間）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		人	目標値					
						実績値	400				
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
韓国機張郡等との交流における翻訳通訳や先方との連絡調整のほか、国際交流協会事業の文化講座（料理教室等）の開催や公民館の韓国語教室講師として市民に語学指導や異文化交流を行う上で必要な事業（人材）である。	アフターコロナに向けてのインバウンド対応や国際化の推進に積極的に取組む。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	国際交流協会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 370 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
国際交流協会補助金	1,537

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 民間レベルで国際交流事業を展開している豊後大野市国際交流協会（平成17年10月設立）の事業活動を支援することで、市民の国際理解や国際感覚を高め、国際人の育成を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・豊後大野市国際交流協会への運営補助	R3	豊後大野市国際交流協会運営補助金交付
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,537				1,537
当初予算	1,537				1,537
決算額	478				478
R４計画	1,537				1,537
当初予算	1,537				1,537
決算額					
R５計画	1,537				1,537
当初予算					
決算額					
R６計画	1,537				1,537
当初予算					
決算額					
R７計画	1,537				1,537
当初予算					
決算額					
計画額	7,685				7,685
当初予算	3,074				3,074
決算額	478				478

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交流事業数（協会主催）	事業数（年間）	□ 総合戦略 □ 個別計画	3	回	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 交流事業参加者数（協会主催）	参加者数（年間）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	650	人	目標値	500	500	500	500	500
						実績値	650				
					%	達成率	130.0				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
文化講座や国際情勢セミナーの開催、広報誌の発行など協会が自主的主体的に活動している。外国人材の受入れ・共生に向けて市と連携して取り組む事業もあり、今後の事業継続のためには引き続きサポートする必要がある。	アフターコロナを見据え、国際化の推進のため、引き続き支援する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	中国荊州区交流事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 369 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	14

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 「友好都市交流協定」（平成18年10月1日）を結んでいる中国荊州区との交流事業。 ※東日本大震災以来、交流が途絶えていたが、平成30年12月に区長以下訪問団が来日。その際交わした覚書により令和元年度は荊州区を訪問予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期となって以降、訪問時期等については未定。 （覚書内容）1～2年に一度の行政間相互訪問、双方の民間交流に向けての協議 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・中国荊州区へ表敬訪問予定（※未定）	R3	表敬訪問実施なし
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	14				14
当初予算	14				14
決 算 額					
R４計画	14				14
当初予算	14				14
決 算 額					
R５計画	14				14
当初予算					
決 算 額					
R６計画	14				14
当初予算					
決 算 額					
R７計画	14				14
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	70				70
当初予算	28				28
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	7 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成30年度から再開した中国荊州区との交流について、新型コロナウイルス感染症の影響で表敬訪問が実現できず、交流内容の協議ができていない。本格的な交流再開には十分な調整が必要である。	国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	韓国機張郡交流事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 369 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
交流事業委託料	1,400
記念品代	50
消耗品費	20
通信運搬費	15

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 旧清川村で「友好協力宣言」（平成15年9月19日）を締結し、豊後大野市に引き継いでいる韓国機張郡との交流事業。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ホームステイ交流（一般）受入予定（※未定）	R3	オンライン交流会（日韓両協会役員等） ※ホームステイ受入中止
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,495				1,495
当初予算	1,495				1,495
決 算 額					
R４計画	1,295				1,295
当初予算	1,495				1,495
決 算 額					
R５計画	1,495				1,495
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,295				1,295
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,495				1,495
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	7,075				7,075
当初予算	2,990				2,990
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	7 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市日韓国際交流協会（清川町）が主体となり、隔年のホームステイ交流を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間実施できていない。交流再開の時期を見計らう必要がある。	国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18001	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	韓国益山市交流事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 369 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政 策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画 90 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	14

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 旧三重町の真名野長者伝説と益山市に伝わる武王伝説が類似していることで始まったもので、「友好交流協定」（平成17年8月22日）を結んでいる韓国益山市との交流事業。 ※益山市の「ソドン祭り」や三重町のらいでん祭りに相互で交流を行っていたが、平成28年の益山市との協議により、隔年での訪問は止め、市長就任時の訪問や記念事業の際での訪問等に切り替えている。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞	R3	表敬訪問実施なし
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	14				14
当初予算	14				14
決 算 額					
R４計画	14				14
当初予算	14				14
決 算 額					
R５計画	14				14
当初予算					
決 算 額					
R６計画	14				14
当初予算					
決 算 額					
R７計画	14				14
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	70				70
当初予算	28				28
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成28年の益山市との協議により、隔年での訪問は止め、市長就任時の訪問や記念事業の際での訪問等に切り替えている。	国内外の情勢等も含め、適正に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18001	7

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事業	交流促進事業	細事業	国際交流促進事業	実施計画事業	外国人材受入・共生事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 370 ）

会計	一般	政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
款	2	施策	4 文化・芸術の振興
項	1	施策展開	③友好都市との交流を推進する
目	10	後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当
決算	31		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
外国人材受入・共生事業委託料	1,001

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 増加傾向にある外国人市民が、地域社会で生活していくために必要な日本語能力を身につけながら地域住民と関わる機会を増やし、お互いが地域の一員としてより暮らしやすくなることを目指す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・日本語教室の開催 ・ニーズ調査 ・ボランティアスキルアップ研修	R3	・日本語教室の開催　12回 ・ニーズ調査　15事業所 ・ボランティアスキルアップ研修　9回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	500				500
当初予算	1,001	501			500
決算額	361	180			181
R４計画	500				500
当初予算	1,000	500			500
決算額					
R５計画	500				500
当初予算					
決算額					
R６計画	500				500
当初予算					
決算額					
R７計画	500				500
当初予算					
決算額					
計画額	2,500				2,500
当初予算	2,001	1,001			1,000
決算額	361	180			181

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	日本語教室開催回数	教室開催回数（年間）	□ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値	50	70	90	120	150
							実績値	12				
						%	達成率	24.0				
	2			□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	日本語教室等の外国人受講者数	教室参加人数（年間延べ人数）	☑ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		人	目標値	500	750	950	1,400	1,750
							実績値	37				
						%	達成率	7.4				
	2			□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	16 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
外国人を雇用している事業所等に対するニーズ調査によると、日本語教室の開催に対する要望が強く、今後増加が予想される外国人に対し有効な事業と考える。	市内在住の外国の方々の生活等しやすい環境づくりに努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
18002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	企画調整係

事 業	交流促進事業	細事業	地域間交流促進事業	実施計画事業	台東区交流イベント事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 369 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	10
決算	31

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	③友好都市との交流を推進する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
普通旅費	410
台東区交流イベント業務委託料	350
通信運搬費	130
費用弁償	65

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 旧朝地町が昭和62年から始めた東京都台東区との友好都市交流事業。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・隅田川花火大会友好都市交流（10月） ・ふるさとPRフェスタ出店（10月）	R3	※台東区との交流事業中止
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,007				1,007
当初予算	1,007				1,007
決 算 額	119				119
R４計画	1,007				1,007
当初予算	1,005				1,005
決 算 額					
R５計画	1,007				1,007
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,007				1,007
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,007				1,007
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,035				5,035
当初予算	2,012				2,012
決 算 額	119				119

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交流事業数	事業数（年間）	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 交流事業参加者数	参加者数（年間）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	1 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	1 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から台東区との交流事業のほとんどが中止となっている。今後の交流方法等について考える必要がある。	アフターコロナを検討し、適正に事業実施をする。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

（様式１）

事業番号	枝番
19001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	情報推進室情報推進係

事 業	行政事務情報化推進事業	細事業	基幹電算事務事業	実施計画事業	基幹電算事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 283 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	11
決算	32

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進
後期基本計画	71 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ソフトウェア使用料	95,449
システム改修業務委託料	16,607
機械器具費	7,304
J-LIS交付金	4,163

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 基幹系等電算システムの円滑な運営を図り、行政業務を支援する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・行政手続の電子申請化の推進 ・AIツール（RPA、OCR）の活用による業務改善	R3	通常の電算システム、機器管理事業は通年通り。 行政手続オンライン化については国のスケジュールに沿って計画し、令和４年度中の構築となった。 ＡＩツールの活用については、いくつかの業務で実運用が開始できた。 別途、業務改善ツールとして「Kintone」を導入し活用推進を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	139,097	1,064			138,033
当初予算	13,079	1,064			12,015
決 算 額	133,842	1,500		33	132,309
Ｒ４計画	140,000				140,000
当初予算	192,701	10,563			182,138
決 算 額					
Ｒ５計画	140,000				140,000
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	140,000				140,000
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	140,000				140,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	699,097	1,064			698,033
当初予算	205,780	11,627			194,153
決 算 額	133,842	1,500		33	132,309

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	Ｒ２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 行政手続電子申請化数	市民の行政手続きの電子申請化数（国推進の子育て、介護、被災者支援等）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	13	業務	目標値	26	35			
						実績値	3				
					%	達成率	11.5				
	2 AI-OCR、RPA活用人材の育成	AI-OCR、RPA活用人材の育成	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1		目標値	5	10			
						実績値	2				
					%	達成率	40.0				
D 成果指標	1 行政手続き電子申請件数	行政手続き電子申請件数（ぴったりサービス利用件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	件	目標値	100	1,000			
						実績値	1				
					%	達成率	1.0				
	2 AI-OCR、RPA活用業務数	AI-OCR、RPA活用業務数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	業務	目標値	5	10			
						実績値	7				
					%	達成率	140.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
大分クラウドサービス利用契約で使用している行政事務システムにおいて、税業務で一部不具合があり、サービス提供業者と協議の上利用料減額のための変更契約を行ったが、今後このような事態にならないよう、サービス提供業者及び開発業者に対してしっかりと管理監視していく必要がある。 行政手続オンライン化については、本番稼働は延期となったが準備作業は進んでおり、特に申請様式の標準様式採用に向けて事務手続きを各担当部署で進めている。また導入推奨とされた災害関連手続きである「罹災（被災）証明申請書」については令和３年の途中で準備まで完了し、防災担当と協議し令和４年度開始と同時にオンライン手続の運用開始を行った。さらに、選挙時における不在者投票に関する申請手続きについても準備を進め、７月の参議院選挙において実運用を行っている。 ＡＩツールについては、業務改善効果の大きいＲＰＡ活用業務が通常業務５業務で実活用でき効率化が図れた。 また、財政課からの提案で導入した「Kintone」については、業務改善に有効でり積極的に活用推進を行い、令和４年もライセンスの拡大導入を目指して取り組んだ	行政手続オンライン化については、本番稼働は延期となったが準備作業は進んでいる。 ＡＩツールについては、業務改善効果の大きいＲＰＡ活用業務が通常業務５業務で実活用でき効率化が図れている。 また、財政課からの提案で導入した「Kintone」については、業務改善に有効でり積極的に活用推進を行い、令和４年もライセンスの拡大導入を目指して取り組み、業務改善に貢献していく。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
19002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	情報推進室情報推進係

事業	行政事務情報化推進事業	細事業	情報ネットワーク管理事業	実施計画事業	情報ネットワーク管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 284 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	11
決算	32

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進
後期基本計画	71 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
ICT環境整備事業	
期間	R2 年度 ～ R3 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
情報NW保守業務委託料	9,994
イントラネット保守委託料	2,750
インターネット使用料	1,323
電柱共架料	1,245

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 本庁、支所及び出先機関（市内小中学校等の接続を含む）を結ぶ情報ネットワークの円滑な運営管理。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 庁舎内Wi-Fi環境整備（各支所、出先機関等）	R3	例年通り情報ネットワーク全体の保守管理については大きな問題もなく、GIGAスクール事業等に関連した必要な変更や対策はしっかり対応した。 庁舎内Wi-Fi環境整備については、本庁及び支所、出先機関をはじめ、災害時避難場所になる各公民館についても環境整備（予算は総務係の庁舎等建築予算を利用）を行い年度内に完了した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	17,562				17,562
当初予算	17,562				17,562
決 算 額	14,533				14,533
R４計画	19,000				19,000
当初予算	44,205				44,205
決 算 額					
R５計画	19,000				19,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	19,000				19,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	19,000				19,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	93,562				93,562
当初予算	61,767				61,767
決 算 額	14,533				14,533

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 庁舎内Wi-Fi環境整備箇所	本庁及び支所、出先機関のWi-Fi環境整備	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	箇所	目標値	14	14	14	14	14
						実績値	14				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 庁舎内リモート会議数	庁舎内会議において支所や各出先機関職員が本庁舎に集まらずにリモート会議を行う	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		会議	目標値	5	10	20	30	40
						実績値	10				
					%	達成率	200.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	22 点 ／25点	3 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
ICT利用環境整備として庁舎内Wi-Fi整備を実施し、執務場所をはじめ各会議室、支所や公民館においても利用環境が整った。 またそれに伴い、コロナ禍で普及したオンライン会議利用も増大し、本市が会議ホストとなって実施するオンライン会議も多く行われている。（令和３年度実績としてホスト、ゲスト合わせて平均3.3会議/日でオンライン会議が利用されている） 庁舎内部の会議（庁内連絡会議等）におけるオンライン会議については、多く活用されていないようであるが、市民も加えた本庁、支所間を結ぶオンライン会議（健康教室等）は多く開催され、好評であった。	ICT利用環境整備として庁舎内Wi-Fi整備を実施し、執務場所をはじめ各会議室、支所や公民館においても利用環境が整った。 また、それに伴いオンライン会議が、本庁支所職員間はもちろんのこと、市民等を交えて実施できたことは大きな成果であった。 今後においては、更に活用方法等を模索しながら利便性の向上を目指していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
19003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	情報推進室情報推進係

事 業	行政事務情報化推進事業	細事業	情報化推進事務費	実施計画事業	情報化推進事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 286 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	11
決算	32

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進
後期基本計画	71 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	ICT環境整備事業
期間	R2 年度 ～ R3 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ＧＩＳライセンス料	5,022
ペーパーレス会議利用料	1,210
ＯＡ機器廃棄業務委託料	50
駐車場等使用料	3

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 庁舎内共通業務に関する統合型サービス利用推進 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ペーパーレス会議室システムの導入 ・庁舎内統合型GISシステムの一元管理化 ・業務データ一元管理ツールの検証	R3	ペーパーレス会議システムは主に議会運営を中心に検討し、県内近隣自治体等実績のあるシステムを導入できた。 また、活用のための研修会を開催でき、運営開始することができた。 ペーパーレス会議システムは課長クラスの会議でも有効活用ができているが、係レベルやその他庁内会議等では タブレット接続ネットワーク内に共有ファイルサーバーを設置することでペーパーレス会議を実施する仕組みもできた。 庁内統合型ＧＩＳシステムに関しては別契約していた税務課利用部分も統合した。 業務データ一元管理ツール検証は、別事業（基幹電算事務事業）の利用料にてミニマムライセンスで契約し、実証テストを実施した。 実証により業務改善ツールとしての活用に有効であることがわかり、次年度にさらにライセンスを増やして活用する予定となった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	6,374				6,374
当初予算	6,374				6,374
決 算 額	5,536				5,536
Ｒ４計画	7,500				7,500
当初予算	6,408				6,408
決 算 額					
Ｒ５計画	7,500				7,500
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	7,500				7,500
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	7,500				7,500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	36,374				36,374
当初予算	12,782				12,782
決 算 額	5,536				5,536

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	タブレット、リモートパソコン導入	・議員用、管理職用ペーパーレス会議用 ・リモートワーク、WEB会議活用	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5	台	目標値	200	200	200	200	200
							実績値	205				
						%	達成率	102.5				
	2	業務データ一元管理ツール導入	クラウド型データ一元管理ツール（KINTONE想定）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		ライセンス	目標値	35	80	100	100	100
							実績値	35				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	ペーパーレス会議数実績	ペーパーレス会議数実績 ※議会、庁内連絡会議等	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		会議	目標値	5	10	20	30	40
							実績値	10				
						%	達成率	200.0				
	2	データ一元管理業務数	クラウド型データ一元管理ツールを利用し 複数年情報レコードが管理された業務数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		業務	目標値	3	10	30	40	50
							実績値	3				
						%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
ペーパーレス会議の導入に当たっては、議会も積極的に取り組んでいただいたため、ほぼ予定通りの実運用が開始できた。 タブレットやモバイルパソコンの活用に関してもスムーズに運用が行えている。 細事業として区別しているが、基幹電算事務事業に統合しても問題ない内容と思われる	ペーパーレス会議の導入に当たっては、ほぼ予定通りの実運用が開始できた。 タブレットやモバイルパソコンの活用に関してもスムーズに運用が行えている。 細事業として区別しているが、基幹電算事務事業に統合しても問題ない内容と思われる。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-5 統合

（様式１）

事業番号	枝番
19005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	情報推進室情報推進係

事 業	行政事務情報化推進事業	細事業	ＩＣＴ環境整備事業	実施計画事業	リモートワーク整備事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 284 ）

会計	一般	政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
款	2	施 策	10 情報管理、情報化の推進
項	1	施策展開	⑤行政デジタルシフトの推進
目	11	後期基本計画 71 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	32		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
機械器具費	12,237

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ リモートワーク対応及びペーパーレス会議、WEB会議等利用モバイル端末導入 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞	R3	職員用モバイル端末６０台購入（設定、周辺機器も含む） その他、ICT環境整備用機器購入等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	12,237	11,300			937
当初予算	12,237	12,000			237
決 算 額	11,380	11,300			80
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,237	11,300			937
当初予算	12,237	12,000			237
決 算 額	11,380	11,300			80

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	Ｒ２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ感染対策によるICT活用のための環境整備については、令和２年、３年度にかけて実施。 リモートワークやオンライン会議など活用しやすい環境を整備することができた。 本事業は令和３年度にて終了となる。	コロナ感染対策によるICT活用のための環境整備については、令和２年、３年度にかけて実施。 リモートワークやオンライン会議など活用しやすい環境を整備することができた。 本事業は令和３年度にて終了となる。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
20002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	情報推進室情報推進係

事 業	地域情報化推進事業	細事業	携帯不感地域解消事業	実施計画事業	携帯不感地域解消事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 281 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	11
決算	33

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	④携帯電話不感地域を狭める
後期基本計画	71 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
鉄塔土地借上料	600
立木伐採委託料	100
火災等保険料	75

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 携帯電話不感地域に対し、市で整備した光ケーブルインフラを利用した携帯電話アンテナ設置を推進し情報通信格差是正を図る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 民間携帯電話サービス事業者による自主事業で、当市携帯電話不感地域の基地局建設が進んでおり、その進捗等事業者との情報共有。新規参加サービス提供業者についても、市内不感地域等の情報提供を行う。	R3	民間携帯電話サービス事業者により、国に報告していた市内携帯電話不感地域はエリア的にはすべて解消となった。一部電波の受信状況が良くない地域等もあり、個別にサービス事業者へ報告も行っている。 またその地域の利用者からも、直接サービス事業者へ連絡いただくよう協力いただいている。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	775				775
当初予算	775				775
決 算 額	657				657
R４計画	775				775
当初予算	775				775
決 算 額					
R５計画	775				775
当初予算					
決 算 額					
R６計画	775				775
当初予算					
決 算 額					
R７計画	775				775
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,875				3,875
当初予算	1,550				1,550
決 算 額	657				657

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	市内携帯電話サービス提供業者数	市内携帯電話サービス提供業者数（R2.4）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	社	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	4				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	携帯電話不感地域解消箇所数	携帯電話不感地域総務省報告数（R2.4） 不感地域 6か所	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	箇所	目標値	6	6	6	6	6
							実績値	6				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
夜間居住エリアに対する携帯電話不感地域解消事業は国としてもサービス事業者の自主事業での取り組みを依頼しており 当市としては、そういった事業所に市が整備した光ファイバー網の芯線の貸出にてサポートしている（令和３年は依頼無し） 市としては、携帯電話サービス事業者の自主事業で必要があれば、可能なサポートを提供している状況。 本事業としては、主にこれまで事業実施した基地局の管理が主な業務内容となる。	市としては、携帯電話サービス事業者の自主事業で必要があれば、可能なサポートを実施するが、令和３年度は無かった。 本事業としては、主にこれまで事業実施した基地局の管理が主な業務内容となる。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
21001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	ケーブルテレビ管理係

事 業	ケーブルテレビ管理事業	細事業	ケーブルテレビ管理事業	実施計画事業	ケーブルテレビ管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 279 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	12
決算	34

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	③ケーブルテレビ事業を充実する
後期基本計画 71 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ケーブルテレビ運営業務委託料	105,577
ケーブルテレビ関係機器更新工事請負費	97,900
自主放送番組制作業務委託料	38,481
ケーブルテレビ施設管理委託料	21,914

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ コミュニティ情報の基盤となる番組制作及びケーブルテレビ設備・機器の維持・更新を行い、行政情報の伝達及びテレビ放送等の安定したサービス提供を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 行政情報と放送番組等サービスを安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行う。	R3	週間！情報トレインを中心とした自主放送番組を制作し、市民への情報提供を行った。 テレビ放送や通信サービス等を安定供給するため、伝送路の維持管理、設備・機器の保守及び更新を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	348,796	700		318,242	29,854
当初予算	348,796	700		318,242	29,854
決 算 額	378,433	800		249,267	128,366
R４計画	347,985			318,242	29,743
当初予算	349,734			326,980	22,754
決 算 額					
R５計画	347,985			318,242	29,743
当初予算					
決 算 額					
R６計画	347,985			318,242	29,743
当初予算					
決 算 額					
R７計画	347,985			318,242	29,743
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,740,736	700		1,591,210	148,826
当初予算	698,530	700		645,222	52,608
決 算 額	378,433	800		249,267	128,366

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ケーブルテレビ設備・機器更新		□ 総合戦略 □ 個別計画	95,700	千円	目標値	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900
						実績値	95,700				
					%	達成率	97.8				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ケーブルテレビ加入率		☑ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	88.4	%	目標値	89	89	89	89	90
						実績値	88.5				
					%	達成率	99.4				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	4 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和2年度に行ったケーブルテレビ利用者アンケート結果や放送番組審議会での意見、提言を取り入れながら自主放送番組制作を行っている。 伝送路の維持管理としては、電柱移転に伴う伝送路支障移転経費や支障木伐採経費が増加している。 世界的な半導体不足によりケーブルテレビ関連機器の納期が見通せない状況となっているため、平成28年度から行っているケーブルテレビ関連機器更新工事も納期の状況を確認しながら実施しているが、昨年度から通信関連機器の更新ができない状況となっている。 また、本市ではインターネットサービスとして最大１Ｇのサービスを提供しているが、通信ネットワーク機器も１Ｇから１０Ｇと生産がシフトしている。機器更新計画もそれを考慮しなければならないが、機器更新費用がかなり高額となり機器更新を継続して市が行うのか、民間移行し民間側で行えないかも検討する必要がある。 ケーブルテレビが開局し１０年が経過し、今後のケーブルテレビの運営形態について検討する必要がある。令和３年３月に総務省より「公設光ファイバケーブル及び関連設備の民間移行に関するガイドライン」が示された。指定管理者制度の導入や国のガイドラインを参考に民間移行できる部分は譲渡するなど運営形態の見直しを行っていく。	ケーブルテレビが開局し１０年が経過し、今後のケーブルテレビの運営形態について検討する必要がある。指定管理者制度の導入や国のガイドラインを参考に民間移行できる部分は運営形態の見直しを行っていく。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
23001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	文化芸術振興係

事業	文化振興事業	細事業	総合文化センター自主事業	実施計画事業	総合文化センター自主事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 364 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	35

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	4 文化・芸術の振興
施策展開	①文化・芸術活動を推進する
後期基本計画	90 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市文化振興計画	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
文化芸術振興事業補助金	160
県美展巡回展負担金	80
総合文化センター運営審議会委員報酬	33
県美展市長賞負担金	15

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民に文化芸術鑑賞機会を提供するため、幅広い年代に向けた各種事業の実施 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 受託事業 ・第17回絵本原画展 ・ぶんごおおのMusic Festa ・第16回芸術祭 ・「HOKORIプロジェクト」 ・えいとぴあ寄席 自主事業 ・寺子屋えいとぴあ ・プレミアムコンサートシリーズ ・エンターテイメントシリーズ ・次世代育成シリーズ ・エイトピアおおの探検隊 ・エイトピアおおの大ホールひとりじめ ・エイトピア映画上映会	R3	市民に文化芸術鑑賞機会を提供するため、幅広い年代に向けた各種事業を実施した。 ・受託事業：7事業の内 2事業 2回開催 入場者数： 692人 ・自主事業：10事業の内10事業 50回開催 入場者数：2,795人
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	298				298
当初予算	298				298
決 算 額	228				228
R４計画	300				300
当初予算	298				298
決 算 額					
R５計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
R６計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
R７計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,498				1,498
当初予算	596				596
決 算 額	228				228

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	総合文化センター自主事業入場者数	自主事業の入場者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,909	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
							実績値	2,795				
						%	達成率	39.9				
	2	－		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	文化活動の活性化自主事業の数	自主事業の回数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	19	回	目標値	48	48	48	48	48
							実績値	50				
						%	達成率	104.2				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの自粛ムードが続き、各施設の利用は低調のまま推移した。文化活動（受託･自主事業）への影響は当面続くと思われるが、一刻も早く新型コロナの終息を願いつつ、各施設のイベントが通常どおりの規模で再開すれば、入場者を呼び戻し事業の展開ができる。	引き続き、事業の支援を行うとともに、適正に事業の実施を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
23002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	朝倉文夫記念館係

事 業	文化振興事業	細事業	朝倉文夫記念館自主事業	実施計画事業	朝倉文夫記念館自主事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 364 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	35

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	①文化・芸術活動を推進する
後期基本計画 90 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市文化振興計画	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	829
記念品代	330
広告料	263
通信運搬費	184

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 朝倉文夫記念館及び文化ホールで自主事業を行うことにより、市民への美術鑑賞の機会を提供し、美術に関する感性を醸成する。また、美術制作を楽しんでいる市民に発表の場を提供し、文化活動を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・県内作家による個展2回、共催展（県美展巡回展）1回開催 ・県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクール 1回 ・外に出る美術館事業 10か所程度 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査及び小冊子発行	R3	・県内作家による個展2回、県内のアマチュア作家を対象とした美術コンクール 1回、大分県美術協会との共催事業 1回開催 入場者数 計2,074人 ・外に出る美術館 6回実施 参加者数131人 ・朝倉文夫・兄弟等に関する調査 6回実施、小冊子「朝倉文夫 第5集」の発行
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,070			350	1,720
当初予算	2,070			350	1,720
決 算 額	1,811			349	1,462
R４計画	3,500			200	3,300
当初予算	3,091			1,700	1,391
決 算 額					
R５計画	2,500			350	2,150
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,500			200	3,300
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,500			350	2,150
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	14,070			1,450	12,620
当初予算	5,161			2,050	3,111
決 算 額	1,811			349	1,462

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	朝倉記念館鑑賞型事業の入場者数	自主事業の入場者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,460	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
							実績値	2,074				
						%	達成率	103.7				
	2	朝倉記念館参加型事業の参加者数	自主事業におけるワークショップや、外に出る美術館事業の参加者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	695	人	目標値	300	300	300	300	300
							実績値	131				
						%	達成率	43.7				
D 成果指標	1	文化活動の活性化自主事業の数	自主事業の数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	3	2	3	2	3
							実績値	3				
						%	達成率	100.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
さまざまな美術の鑑賞や体験の機会、また、作品制作を楽しんでいる市民に発表の機会を提供することにより、市民の豊かな感性を育むため必要な事業と考える。今後はホームページやSNS等を有効に活用した広報で集客を図るとともに、長年実施している事業については内容の見直しも行いたい。	施設の情報発信により、市民が利用しやすい環境づくりを進め、適正に事業の実施を行う。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
23003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	朝倉文夫記念館係

事 業	文化振興事業	細事業	大分アジア彫刻展事業	実施計画事業	大分アジア彫刻展事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 364 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	35

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	①文化・芸術活動を推進する
後期基本計画	90 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市文化振興計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大分アジア彫刻展負担金	3,900

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 日本近代彫刻の基礎を築いた本市出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門となる彫刻展を開催する。彫刻展を開催することで、地方から全国・世界へ向けて文化情報の発信を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・実行委員会（7月） ・第16回大分アジア彫刻展作品募集（8月～12月） ・過去の入賞作品を展示する紹介展（県内外5箇所程度） ・第一次・第二次審査会（2月） ・専門委員会（2月）	R3	・実行委員会、第16回大分アジア彫刻展作品募集 応募総数172点 ・第一次及び第二次審査会、専門委員会を実施 ・関連事業として、巨大猫制作第3弾「立ち上がる猫」の作品制作を実施　観覧者数　2642人 ・「立ち上がる猫」制作風景写真展1回、過去の入賞作品を展示する紹介展　県内外で5回開催
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,900			3,000	900
当初予算	3,900			3,000	900
決 算 額	3,900			3,000	900
R４計画	6,900				6,900
当初予算	6,900			6,000	900
決 算 額					
R５計画	3,900				3,900
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,900				6,900
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,900				3,900
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	25,500			3,000	22,500
当初予算	10,800			9,000	1,800
決 算 額	3,900			3,000	900

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 彫刻展本展等の入場者数	彫刻展本展、関連事業等の入場者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,619	人	目標値		2,500		2,500	
						実績値	2,642				
					%	達成率					
	2 彫刻展の応募者数	彫刻展の応募者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	311	人	目標値	300		300		300
						実績値	172				
					%	達成率	57.3				
D 成果指標	1 文化活動の活性化事業の数	自主事業の数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5	回	目標値					
						実績値	6				
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
朝倉文夫の顕彰とアジア地域在住の新進彫刻家の輩出を目的とした特色ある彫刻展であり、平成4年度から大分県と共催で実施している。作品を通じて市民が彫刻に親しみ、国際文化に触れる機会を提供するため、必要な事業である。今回は、新型コロナ等の影響を受け、応募数が減少したため、今後、作家への周知方法や募集内容に見直しが必要と考える。	SNSなどの情報発信ツールを活用し、出展数の増加の増に努め、適正に事業の実施を行う。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
23004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	文化芸術振興係

事 業	文化振興事業	細事業	神楽会館自主事業	実施計画事業	神楽会館自主事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 364 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	35

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	①文化・芸術活動を推進する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市文化振興計画	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
事務運営事業委託料	8,200
燃料費	125
消耗品費	80
手数料	52

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 郷土芸能の拠点施設としての役割を担い、各団体の公演実績を重ね、郷土芸能の継承と団体の育成をめざしている。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・毎月の神楽公演開催 ・郷土芸能の継承と育成 ・多目的ホール運営	R3	神楽一般公演、特別講演を実施（実施8回、4回はコロナで中止）した。 ・公演回数：8回　人場者数：932人
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,509			2,415	6,094
当初予算	8,509			2,415	6,094
決 算 額	7,232			982	6,250
R４計画	8,500				8,500
当初予算	8,509			2,415	6,094
決 算 額					
R５計画	8,500				8,500
当初予算					
決 算 額					
R６計画	8,500				8,500
当初予算					
決 算 額					
R７計画	8,500				8,500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	42,509			2,415	40,094
当初予算	17,018			4,830	12,188
決 算 額	7,232			982	6,250

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	神楽会館自主事業の人場者数	自主事業の人場者数	□ 総合戦略 □ 個別計画	553	人	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
							実績値	932				
						%	達成率	38.8				
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	文化活動の活性化自主事業の数	自主事業の回数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	7	回	目標値	12	12	12	12	12
							実績値	8				
						%	達成率	66.7				
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの自粛ムードが続き、各施設の利用は低調のまま推移した。神楽会館（自主事業）への影響は当面続くと思われるが、一刻も早く新型コロナの終息を願いつつ、各施設のイベントが通常どおりの規模で再開すれば、人場者を呼び戻し事業の展開ができる。	アフターコロナ後の利用者増に向け、情報発信を行うとともに指定管理の導入を図る。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
24001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	文化芸術振興係

事業	文化振興施設管理事業	細事業	総合文化センター管理事業	実施計画事業	総合文化センター管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 367 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	36

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	4 文化・芸術の振興
施策展開	②文化活動施設を整備する
後期基本計画 90 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市文化振興計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
総合文化センター指定管理委託料	77,781
総合文化センター改修工事請負費	16,500
剪定業務等委託料	2,830

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・エイトピアおおの小ホール舞台照明設備改修工事 ・総合文化センター敷地内の樹木剪定	R3	施設の利用者の安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設整備を行った。 ・敷地内の樹木剪定 ・舞台照明設備改修工事 ・Ｗｉ－Ｆｉ環境整備工事
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	97,114				97,114
当初予算	97,114				97,114
決算額	99,049	2,000		52	96,997
R４計画	97,000				97,000
当初予算	79,764				79,764
決算額					
R５計画	97,000				97,000
当初予算					
決算額					
R６計画	97,000				97,000
当初予算					
決算額					
R７計画	97,000				97,000
当初予算					
決算額					
計画額	485,114				485,114
当初予算	176,878				176,878
決算額	99,049	2,000		52	96,997

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	総合文化センターの利用者数	総合文化センターの利用者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	22,311	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
							実績値	25,737				
						%	達成率	41.5				
	2	－		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	年間利用者数	総合文化センターの年間利用者数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	22,311	人	目標値	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000
							実績値	25,737				
						%	達成率	41.5				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
総合文化センターは、経年劣化による修理や改修工事が増加しており、優先度を考慮しローリングを行いながら修繕計画を見直し、計画を基に設備等の修繕を行う。	アフターコロナ後の利用者増を図り、計画的な施設の改修の取組む。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
24002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	まちづくり推進課	係名	朝倉文夫記念館係

事 業	文化振興施設管理事業	細事業	朝倉文夫記念公園管理事業	実施計画事業	朝倉文夫記念公園管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 367 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	36

政 策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	4 文化・芸術の振興
施策展開	②文化活動施設を整備する
後期基本計画 90 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市文化振興計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
文化ホール改修工事請負費	45,430
朝倉文夫記念公園施設管理委託料	4,985
調査設計監理委託料	4,000
展示品購入費	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・記念公園及び各施設の管理 ・文化ホール地下水対策工事 ・吊り橋奥土間コン修繕 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集	R3	・記念公園及び各施設の管理 ・文化ホール地下水対策工事 ・吊り橋奥土間コン修繕 ・朝倉文夫、兄弟らの作品・資料収集
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	64,082			49,820	14,262
当初予算	64,082			49,820	14,262
決 算 額	57,721			1,248	56,473
R４計画	50,000				50,000
当初予算	14,585			1,009	13,576
決 算 額					
R５計画	50,000				50,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	50,000				50,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	50,000				50,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	264,082			49,820	214,262
当初予算	78,667			50,829	27,838
決 算 額	57,721			1,248	56,473

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 朝倉文夫記念館の来館者数	朝倉文夫記念館の来館者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,176	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						実績値	3,523				
					%	達成率	58.7				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 年間利用者数	朝倉文夫記念館の来館者数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,176	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						実績値	3,523				
					%	達成率	58.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民が利用しやすい文化施設環境の整備を行い、施設の長寿命化を図っている。また、朝倉文夫やその兄弟の作品や資料を後世に引き継ぐための管理、収集を行った。経年劣化により施設の維持や改修には多額の費用を要するが、当市の文化振興に寄与するため、優先順位や実施方法等を検討しながら今後も適切に管理する必要がある。	施設の計画的改修に取組み、施設全体の管理の見直しも検討する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
24006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	まちづくり推進課	係名	文化芸術振興係

事業	文化振興施設管理事業	細事業	神楽会館管理事業	実施計画事業	神楽会館管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 367 ）

会計	一般
款	2
項	1
目	13
決算	36

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	4 文化・芸術の振興
施策展開	②文化活動施設を整備する
後期基本計画 90 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市文化振興計画	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
神楽会館施設管理委託料	933
舞台設備操作業務委託料	370
自家用電気工作物保安管理委託料	350
施設警備委託料	198

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 文化施設や郷土の作家作品等を後世に引き継ぐとともに、市民の主体的な文化活動を積極的に推進するため、文化施設環境を整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・施設の有効利用、市民が利用しやすい施設環境の整備	R3	施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民等が利用しやすい施設環境の整備を図った。 ・神楽会館楽屋入口屋根設置工事
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,620			1,050	4,570
当初予算	5,620			1,050	4,570
決算額	6,236			310	5,926
R４計画	5,600				5,600
当初予算	5,579			1,050	4,529
決算額					
R５計画	5,600				5,600
当初予算					
決算額					
R６計画	5,600				5,600
当初予算					
決算額					
R７計画	5,600				5,600
当初予算					
決算額					
計画額	28,020			1,050	26,970
当初予算	11,199			2,100	9,099
決算額	6,236			310	5,926

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 神楽会館の利用者数	神楽会館の利用者数	□ 総合戦略 □ 個別計画	2,914	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
						実績値	4,497				
					%	達成率	32.1				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 年間利用者数	神楽会館の年間利用者数	☑ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	2,914	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
						実績値	4,497				
					%	達成率	32.1				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
神楽会館は、劣化等による修理が増加しており、優先度を考慮しながら計画的に設備等の修繕を行う。	施設の計画的改修を検討し、指定管理の導入を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
27001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	税務課	係名	収納管理係

事 業	税務総務事業	細事業	税務総務事業	実施計画事業	税務総務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 309 ）

会計	一般
款	2
項	2
目	1
決算	38

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画 80 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
市税過誤納還付金	14,000
会計年度任用職員報酬	1,914
大分県軽自動車税連絡協議会負担金	628
普通旅費	400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 税務管理行政の円滑な遂行 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 公平・公正かつ適正な課税・徴収を行うための事務を行う。	R3	税務の管理に関する事業
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	18,512				18,512
当初予算	18,512				18,512
決 算 額	10,946				10,946
R４計画	18,000				18,000
当初予算	18,450				18,450
決 算 額					
R５計画	18,000				18,000
当初予算	18,000				18,000
決 算 額					
R６計画	18,000				18,000
当初予算	18,000				18,000
決 算 額					
R７計画	18,000				18,000
当初予算	18,000				18,000
決 算 額					
計 画 額	90,512				90,512
当初予算	90,962				90,962
決 算 額	10,946				10,946

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 過誤納金の減少	前年度実績	□ 総合戦略 □ 個別計画	12,199	千円	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
						実績値	7,409				
					%	達成率	61.7				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 適正な課税資料の収集		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
税務の管理に関する事業として適正に実施されている。	税務管理行政の円滑な遂行に寄与できていると考えます。今後も、税制改正等に適時に対応した対応をしていきたい。また、DXへの取り組みも推進していきたい。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
28003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	税務課	係名	収納管理係

事 業	賦課徴収事業	細事業	賦課徴収事業	実施計画事業	賦課徴収事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 309 ）

会計	一般
款	2
項	2
目	2
決算	39

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	②健全な財政運営と財政基盤の強化
後期基本計画 80 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
航空写真撮影・オルソ画像作成業務委託料	42,460
固定資産評価替業務委託料	16,781
手数料	12,340
通信運搬費	9,491

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 行政施策を継続的かつ安定的に供給するため税収を確保する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 公平・公正かつ適正な課税・徴収を行う。 航空写真撮影・オルソ画像作成。	R3	市県民税の賦課業務。固定資産税の賦課業務。軽自動車税の賦課業務。国民健康保険税の賦課業務。滞納者に対する催告及び徴収業務等。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	100,530			4,784	95,746
当初予算	100,530			4,784	95,746
決 算 額	87,713			5,223	82,490
R４計画	60,000				60,000
当初予算	87,354			4,460	82,894
決 算 額					
R５計画	60,000				60,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	60,000				60,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	60,000				60,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	340,530			4,784	335,746
当初予算	187,884			9,244	178,640
決 算 額	87,713			5,223	82,490

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 収納率の向上	収入税額／調定税額	□ 総合戦略 □ 個別計画	96.8	%	目標値	97	97	97	97	97
						実績値	97.85				
					%	達成率	100.9				
	2 納税に対する啓発		□ 総合戦略 □ 個別計画	13	件	目標値	13	13	13	13	13
						実績値	13				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 税収の確保		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
税の賦課・徴収業務において適正な事業が実施されている。	本市の貴重な自主財源である税収の確保、税負担の公正性の確保のため、公平・公正かつ適正な課税の下、徴収率の向上に寄与できていると考えます。今後も、同様の取り組みを一層進めていくとともに、時代の要請に応じた固定資産情報システム及び収納システム、並びに市民サービス向上のため納税システムの構築にも努めていきたい。また、DXへの取り組みも推進していきたい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
29001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	戸籍住民係

事 業	戸籍住民基本台帳事業	細事業	戸籍、住民基本台帳等管理事業	実施計画事業	個人番号カード交付事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 271 ）

会計	一般
款	2
項	3
目	1
決算	40

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	①適正な情報管理を強化する
後期基本計画 71 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地方公共団体情報システム機構交付金	25,696
会計年度任用職員報酬	3,497
社会保険料（会計年度任用職員分）	668
期末手当（会計年度任用職員分）	438

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 行政手続きの簡素化など市民の利便性の向上を図るとともに、行政側の事務処理をスムーズに公平公正に行うことができるよう、マイナンバーカードの交付を実施する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・マイナンバーカード申請支援 ・マイナンバーの交付	R3	・マイナンバーカードの申請支援 ・マイナンバーカードの交付
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	33,731	32,618		1,113	
当初予算	33,731	32,618		1,113	
決 算 額	17,500	17,489			11
R４計画	7,300	7,300			
当初予算	7,267	7,267			
決 算 額					
R５計画	7,300	7,300			
当初予算					
決 算 額					
R６計画	7,300	7,300			
当初予算					
決 算 額					
R７計画	7,300	7,300			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	62,931	61,818		1,113	
当初予算	40,998	39,885		1,113	
決 算 額	17,500	17,489			11

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	マイナンバーカード申請支援	マイナンバーカード申請支援の実施回数（年度末・のべ日数）	□ 総合戦略 □ 個別計画	60	日	目標値	120	120	120	120	120
							実績値	230				
						%	達成率	191.7				
	2	マイナンバーカード時間外交付	マイナンバーカードの時間外交付実施日数（年度末）	□ 総合戦略 □ 個別計画	19	日	目標値	25	25	25	25	25
							実績値	28				
						%	達成率	112.0				
D 成果指標	1	マイナンバーカード交付	マイナンバーカード交付率（年度末）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	22.8	%	目標値	66.8	100			
							実績値	36.2				
						%	達成率	54.2				
	2	－		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
マイナンバーカードの交付については、適切な交付前処理及び交付ができた。 申請支援については、本庁・支所・市民病院で実施。 交付率は前年度からは増加したものの目標には及んでいない。 総務課情報推進係とともに出張申請支援等を実施し、適切な交付によりマイナンバーカードの普及に努める。	交付率は前年度からは増加したものの目標には及んでいない。 総務課情報推進係とともに出張申請支援等を実施し、適切な交付によりマイナンバーカードの普及に努める。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
31001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	選挙管理委員会事務局	係名	選挙係

事 業	選挙啓発事業	細事業	選挙啓発事業	実施計画事業	選挙啓発事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 277 ）

会計	一般
款	2
項	4
目	2
決算	42

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	10 情報管理、情報化の推進
施策展開	②広聴・広報活動を充実する
後期基本計画 71 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
選挙管理委員会委員報酬	149
消耗品費	100
通信運搬費	18

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 執行機関から独立し、選挙に関する事務を管理、また選挙が公正に行われることを目的とする ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 選挙管理委員会（定時登録）3月.6月.9月.12月開催	R3	啓発活動の実施 ・啓発ポスター募集 ・広報誌作成 ・明るい選挙推進協議会開催
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	267				267
当初予算	267				267
決 算 額	174				174
R４計画	267				267
当初予算	267				267
決 算 額					
R５計画	267				267
当初予算					
決 算 額					
R６計画	267				267
当初予算					
決 算 額					
R７計画	267				267
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,335				1,335
当初予算	534				534
決 算 額	174				174

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 啓発ポスターの募集人数		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	427	人	目標値	300	300	300	300	300
						実績値					
					%	達成率					
	2 模擬投票の開催数		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 投票率		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	80	%	目標値	80	80	80	80	80
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
明るい選挙推進協議会による街頭啓発活動、学校で行う出前授業等がコロナの影響で出来なかった。 今後も状況を見ながら対応が出来るように準備は整えておく。	現状のまま継続

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
39001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	監査事務局	係名	監査係

事 業	監査委員事業	細事業	監査委員事業	実施計画事業	監査委員事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 305 ）

会計	一般
款	2
項	6
目	1
決算	46

政 策	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり
施 策	4 主体的で計画的な行財政運営の推進
施策展開	①庁内の人づくり・組織づくり
後期基本計画	80 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
監査委員報酬	2,112
消耗品費	400
費用弁償	231
研修会等負担金	118

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理等を監査する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○ 例月現金出納検査 ４月から３月まで ○ 決算審査 ６月から８月まで ○ 定期監査・行政監査 ９月から３月まで ○ 財政援助団体等監査 ５月から３月まで	R3	○ 例月現金出納検査 ４月から３月まで ○ 決算審査 ６月から８月まで ○ 定期監査・行政監査 ９月から３月まで ○ 財政援助団体等監査 ５月から３月まで
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	3,007				3,007
当初予算	3,007				3,007
決 算 額	2,626				2,626
Ｒ４計画	3,000				3,000
当初予算	2,922				2,922
決 算 額					
Ｒ５計画	3,000				3,000
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	3,000				3,000
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	3,000				3,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	15,007				15,007
当初予算	5,929				5,929
決 算 額	2,626				2,626

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	定期・行政監査実施対象部署数	本庁支所の全部署及び小中学校、幼稚園、学校支援センターなどの対象部署数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	54	課	目標値	54	54	54	54	54
							実績値	54				
						%	達成率	100.0				
	2	財政援助団体等監査実施対象団体数	財政援助団体等監査実施計画に基づくもの	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	8	団体	目標値	6	6	6	6	6
							実績値	1				
						%	達成率	16.7				
D 成果指標	1	定期・行政監査における勧告・指摘・注意部署数	監査業務を通じて、勧告、指摘、注意の部署がないことを目標とする	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	16	課	目標値					
							実績値	21				
						%	達成率					
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
①各課の協力の下、定期監査を前倒しで実施したことにより、衆議院選挙業務の支援を円滑に実施することができた。 ②しかしながら、衆議院選挙の日程がなかなか決まらず、衆議院選挙の時期に通常行う予定であった、財政援助団体等監査を実施することができなかった。 ③８年ぶりに住民監査請求の監査を実施し、法定の期限内に請求人に対し監査結果を通知することができた。 ④突然提出される住民監査請求に対応するため、情報収集に努めるとともに、法や判例、行政実例等の理解を深めたい。 ⑤令和４年度は、参議院選挙が執行されるため、決算審査を前倒しするなど、業務の平準化を図り、参議院選挙業務の支援を円滑に行いたい。	選挙業務の支援にかかわらず、計画どおりに監査を実施すること。 各種監査をはじめ、住民監査請求等に対応するため、平素から情報収集に努めるとともに法令や判例などの理解を深めるなど研鑽を積むこと。 引き続き選挙業務の支援に努めること。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係

事業	社会福祉総務事業	細事業	遺族会援護事業	実施計画事業	遺族会援護事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 125 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	2 地域福祉の充実
施策展開	①地域福祉活動を推進する
後期基本計画	40 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
遺族会補助金	507
自動車等借上料	327
追悼式祭壇作成委託料	110
消耗品費	52

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市遺族会連合会が実施している戦没者遺族の福祉の向上や英霊顕彰の活動等に要する費用を一部補助することにより、戦争体験を伝えることなど恒久平和の実現に関わる活動につながる。また、戦没者の追悼及び慰霊事業を実施する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・市遺族会連合会への運営補助 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業（市戦没者追悼式・大分県戦没者追悼式）	R3	・市遺族会連合会への運営補助金の交付 ・戦没者に対する追悼及び慰霊に関する事業（市戦没者追悼式は縮小開催。県戦没者追悼式は中止）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,013				1,013
当初予算	1,013				1,013
決 算 額	674	32			642
R４計画	1,013				1,013
当初予算	1,025				1,025
決 算 額					
R５計画	1,013				1,013
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,013				1,013
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,013				1,013
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,065				5,065
当初予算	2,038				2,038
決 算 額	674	32			642

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	遺族会連合会役員会議	遺族会連合会役員会議数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	4				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	役員会議参加人数	遺族会連合会役員会議参加人数（延べ人数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	44	44	44	44	44
							実績値	48				
						%	達成率	109.1				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
連合会の会員数が減少しているため、補助金額の見直し等も今後の課題となると考えるが、孫やひ孫でつくる青年部が軌道にのるまでは、引き続き変更ない内容での支援が必要。 県・市戦没者追悼式については、感染症の状況等による開催内容の変更を行ったが、開催の計画等については、これまでどおりの実施内容で取り組みたい。	連合会の会員数が減少する中、補助金額の見直し等も今後の課題となると考えるが、引き続き変更ない内容での支援が必要。 県・市戦没者追悼式については、これまでどおりの実施内容で取り組みたい。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉協議会支援事業	実施計画事業	豊後大野市社会福祉協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 123 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	2 地域福祉の充実
施策展開	①地域福祉活動を推進する
後期基本計画 40 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
豊後大野市社会福祉協議会補助金	55,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 社会福祉協議会は地域福祉の推進を図ることを目的とした団体であり、地域共生社会の実現に向けた取組みを進める上で社協が実施する地域福祉事業の実施に対して予算の範囲内で補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 社協が実施する地域福祉のための各種事業に係る費用に対して行なう補助。	R3	運営補助金の交付 市地域福祉推進大会への補助（縮小開催）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	55,000				55,000
当初予算	55,000				55,000
決算額	55,000				55,000
R４計画	55,000				55,000
当初予算	55,000				55,000
決算額					
R５計画	55,000				55,000
当初予算					
決算額					
R６計画	55,000				55,000
当初予算					
決算額					
R７計画	55,000				55,000
当初予算					
決算額					
計画額	275,000				275,000
当初予算	110,000				110,000
決算額	55,000				55,000

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	地区社協の設置及び運営支援	地区社協の設置数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	箇所	目標値	7	7	7	7	7
							実績値	7				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	地区社協の連絡会の開催	連絡会の開催回数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市社協の実施事業の精査及び運営補助金以外の、市より委託等行っている事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について随時協議を行っていく。	市社会福祉協議会の実施事業の精査及び事業で交付されている人件費との充当状況の重複確認などを実施し、関係課と交付内容の正当性について随時協議を行っていく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係

事業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉協議会支援事業	実施計画事業	地域福祉推進大会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 123 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	2 地域福祉の充実
施策展開	①地域福祉活動を推進する
後期基本計画 40 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域福祉推進大会補助金	250

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域福祉の意識を高め身近に感じることを目的に開催される地域福祉推進大会の運営に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市地域福祉推進大会の運営補助。	R3	表彰式のみの縮小開催。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	250				250
当初予算	250				250
決算額	78				78
R４計画	250				250
当初予算	250				250
決算額					
R５計画	250				250
当初予算					
決算額					
R６計画	250				250
当初予算					
決算額					
R７計画	250				250
当初予算					
決算額					
計画額	1,250				1,250
当初予算	500				500
決算額	78				78

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地域福祉推進大会関係団体	関係団体数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	13	団体	目標値	13	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	92.3				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 地域福祉推進大会参加者	参加者人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	25	人	目標値	300	300	300	300	300
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
２カ年連続の縮小開催となったが、通常開催の場合、市民向けの研修の一環として、講演会を開催しており、講師招聘費用等もあるため、引き続き同額の補助が必要。	新型コロナ感染症対策により縮小開催となっているが、通常開催の場合、市民向けの研修の一環として、講演会を開催しており、講師招聘費用等もあるため、引き続き同額の補助が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係

事 業	社会福祉総務事業	細事業	避難行動要支援者対策事業	実施計画事業	避難行動要支援者対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 126 ）

会計	一般	政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施 策	2 地域福祉の充実
項	1	施策展開	②災害時における地域福祉を支援する
目	1	後期基本計画 40 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当
決算	47		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
避難行動要支援者システム保守委託料	324
庁用器具費	225
消耗品費	110
通信運搬費	55

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 平常時から避難行動要支援者に関する情報の把握や関係者との情報共有等を行なうことで災害時の避難・誘導の支援体制を整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・避難行動要支援者の把握及び名簿の作成 ・平常時からの情報提供を行なう旨の意思確認 ・協力員の設置について（自治委員へ協力依頼） ・個別避難計画作成準備	R3	・避難行動要支援者の把握及び名簿の作成、平常時からの情報提供を行なう旨の意思確認の実施。 ・協力員の設置については、自治委員へ協力依頼し要支援者への支援体制の推進をはかった。 ・個別避難計画作成準備にあたっては庁内の関係部署との検討会議を開催した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	760				760
当初予算	760				760
決 算 額	664				664
Ｒ４計画	535				535
当初予算	1,932				1,932
決 算 額					
Ｒ５計画	535				535
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	535				535
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	535				535
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,900				2,900
当初予算	2,692				2,692
決 算 額	664				664

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	避難行動要支援者名簿の情報提供先	平時からの情報提供に同意した方の名簿情報の提供先の数	□ 総合戦略 □ 個別計画	5	団体	目標値	5	5	5	5	5
							実績値	5				
						%	達成率	100.0				
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	避難行動要支援者名簿の情報提供同意者	支援関係者への平時からの情報提供同意者の割合	☑ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	66	%	目標値	66	68	70	72	75
							実績値	55				
						%	達成率	83.3				
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
個別避難計画作成のため、今後さらに関係機関等と連携し事業の推進を図ることが重要となる。 平常時からの情報提供及び計画作成の同意についての取組を引き続き進めていく。	個別避難計画作成のため、関係機関等と連携が更に重要となる。 常日頃より情報提供及び計画作成の同意についての取組を引き続き進めていく。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
40005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係

事 業	社会福祉総務事業	細事業	社会福祉関係総務事務費	実施計画事業	社会福祉関係総務事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 123 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	2 地域福祉の充実
施策展開	①地域福祉活動を推進する
後期基本計画 40 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域福祉計画策定業務委託料	3,300
地域福祉計画策定委員出務謝礼金	276
通信運搬費	254
行旅病人行旅死亡人援護費	227

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
地域福祉全般に係る各種事業（地域福祉計画に関すること・社会福祉法人監査に関すること・特別弔慰金等援護事務に関すること・行旅病人行旅死亡人に関すること）を実施する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・第４期地域福祉計画の策定業務
・第１１回特別弔慰金支給業務
・社会福祉法人監査業務
・行旅病人行旅死亡人に係る救護及び援護業務
・地域共生社会構築連携（庁内）会議業務

年度	主な活動実績
R3	・第4期地域福祉計画の策定 ・第11回特別弔慰金支給業（2カ年目） ・社会福祉法人監査はコロナ感染症の拡大のため、予定していた3カ所の実施ができず1カ所のみの実施となった ・行旅死亡人の取扱い1件 ・地域共生社会構築連携会議2回開催、作業部会の設置（3部門）
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,359	357			4,002
当初予算	4,359	357			4,002
決 算 額	4,102	407		20	3,675
R４計画	692	266			426
当初予算	838	456			382
決 算 額					
R５計画	692	266			426
当初予算					
決 算 額					
R６計画	692	266			426
当初予算					
決 算 額					
R７計画	692	266			426
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	7,127	1,421			5,706
当初予算	5,197	813			4,384
決 算 額	4,102	407		20	3,675

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	社会福祉法人指導監査の実施	実施法人数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	箇所	目標値	3	4	3	3	4
							実績値	1				
						%	達成率	33.3				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	社会福祉法人指導監査での文書指摘	社会福祉法人指導監査での文書指摘がなかった法人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	箇所	目標値	2	3	2	2	3
							実績値	1				
						%	達成率	50.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	3 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

本年度は地域福祉計画の策定年度であったため、策定にかかる業務がこの社会福祉関係総務事務事業の主な事業であった。
戦没者特別弔慰金支給事業が来年度請求期間の最終年度となるため、勧奨事務等への取組が重要となる。
また、コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった社会福祉法人指導監査については、来年度実施予定の法人に加えて実施する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

地域福祉計画の策定年度であったため、策定にかかる業務が主な事業であった。
戦没者特別弔慰金支給事業が来年度請求期間の最終年度となるため、勧奨事務等への取組が重要となる。
また、コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかった社会福祉法人指導監査については、来年度実施予定の法人に加えて実施する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40007	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	住居確保給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 163 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画 48 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
住居確保給付金	333

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 休業・離職等により住居を失った又はそのおそれのある者に対し、住まいを確保し、安心して就職活動ができるよう、家賃に充てるための費用を支給することにより自立の促進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請に基づく給付金の支給	R3	申請に基づく給付事業であるが、申請がなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	333	249			84
当初予算	333	249			84
決 算 額					
R４計画	333	249			84
当初予算	333	249		84	
決 算 額					
R５計画	333	249			84
当初予算					
決 算 額					
R６計画	333	249			84
当初予算					
決 算 額					
R７計画	333	249			84
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,665	1,245			420
当初予算	666	498		84	84
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 給付対象者	対象者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。 支給実績はないが、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続する必要がある。	生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、事業を継続する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40007	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	子どもの学習・生活支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 163 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画	48 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	1,083
講師謝礼金	480
社会保険料（会計年度任用職員分）	216
施設等使用料	159

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援をすることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・支援対象世帯に学習ボランティアを派遣 ・学習支援員を中心とした関係機関との情報共有	R3	支援対象世帯に、学習支援、関係機関との情報共有や連絡調整を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,382	1,191		1,191	
当初予算	2,382	1,191		1,191	
決 算 額	1,747	873		874	
R４計画	2,382	1,191		1,191	
当初予算	2,367	1,183		1,184	
決 算 額					
R５計画	2,382	1,191		1,191	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,382	1,191		1,191	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,382	1,191		1,191	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,910	5,955		5,955	
当初予算	4,749	2,374		2,375	
決 算 額	1,747	873		874	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 学習ボランティア	学習ボランティア登録者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	8	人	目標値					
						実績値	6				
					%	達成率					
	2 学習・生活支援	支援対象者（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	人	目標値					
						実績値	7				
					%	達成率					
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の子どもが抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業である。不登校や進路等、目に見える成果に表れないが、今後も継続する必要がある。	生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。学習支援を中心に生活困窮世帯の子どもが抱える課題の解決を図ることで、貧困の連鎖を防止することに寄与する事業であるため、今後も継続する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40007	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	生活困窮者自立相談支援事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 163 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画	48 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
生活困窮者自立相談支援事業委託料	11,324

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・自立相談支援会議を開催し、関係者の情報共有と支援内容の協議を行う。	R3	豊後大野市社会福祉協議会に委託し事業を実施した。また、関係者の情報共有と支援内容の協議を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	11,324	6,750		4,574	
当初予算	11,324	6,750		4,574	
決算額	8,537	6,402		2,135	
R４計画	11,324	6,750		4,574	
当初予算	11,478	6,750		4,728	
決算額					
R５計画	11,324	6,750		4,574	
当初予算					
決算額					
R６計画	11,324	6,750		4,574	
当初予算					
決算額					
R７計画	11,324	6,750		4,574	
当初予算					
決算額					
計画額	56,620	33,750		22,870	
当初予算	22,802	13,500		9,302	
決算額	8,537	6,402		2,135	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 自立相談	相談件数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	182	件	目標値					
						実績値	121				
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供する必要があるとともに、関係職員が研修でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努めるべきである。	生活困窮者自立支援法に基づく必須事業の一つである。複合的な課題を抱える生活困窮者に対して、包括的な支援を今後も継続して提供する必要があるとともに、関係職員が研修でスキルの向上を図るなど、さらに事業の充実に努める必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
40007	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	家計改善支援事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 163 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画 48 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
家計改善支援事業委託料	957

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等の支援を行うことにより、早期に相談者の生活が再生されることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・グリーンコープ生活協同組合おおいたに委託 ・家計再生プランの作成を通じて家計収支の均衡を図るなどの出納管理の支援を行い、自ら家計を管理できるよう支援を行う。 ・滞納や負債を把握し、債務整理の調整等の支援を行う。	R3	グリーンコープ生活協同組合おおいたに委託し事業を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	957	638		319	
当初予算	957	638		319	
決 算 額	270	179		91	
R４計画	957	638		319	
当初予算	957	638		319	
決 算 額					
R５計画	957	638		319	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	957	638		319	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	957	638		319	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	4,785	3,190		1,595	
当初予算	1,914	1,276		638	
決 算 額	270	179		91	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 家計改善支援	支援対象者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5	人	目標値					
						実績値	4				
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。生活困窮者の多くが家計に関わる問題を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。	生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。家計に関わる事案を抱えていることを踏まえれば、事業の必要性は大きい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
40007	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	生活困窮者支援食料支給事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 163 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画	48 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
生活困窮者支援食料支給事業費	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 緊急に支援が必要な生活困窮者に対し食料を現物支給することにより、その福祉の向上に資することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 豊後大野市社会福祉協議会により生活福祉資金(緊急小口資金)の借入申込書が受理された者で、貸付金の交付までに緊急に支援が必要な生活困窮者等に対し、食料の支援を行う。	R3	実績なし
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	100			100	
当初予算	100			100	
決算額					
R４計画	100			100	
当初予算	100			100	
決算額					
R５計画	100			100	
当初予算					
決算額					
R６計画	100			100	
当初予算					
決算額					
R７計画	100			100	
当初予算					
決算額					
計画額	500			500	
当初予算	200			200	
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 生活困窮者支援食料支給	支援対象者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者支援事業の窓口である社会福祉協議会においてフードバンク事業を行っていることもあり、当該事業の利用に至らないケースがある。セーフティネットの意義はあるが近年実績がないことがあり、事業の廃止を含めた見直し・検討が必要である。	生活困窮者支援事業の窓口である社会福祉協議会においてフードバンク事業を行っていることもあり、当該事業の利用に至らないケースがある。事業の廃止を含めた見直し・検討が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	E.廃 止

（様式１）

事業番号	枝番
40007	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	社会福祉総務事業	細事業	生活困窮者自立支援事業	実施計画事業	就労準備支援事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 163 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	47

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画 48 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
就労準備支援事業委託料	1,347

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を目的として、生活リズムを整える、他者と適切なコミュニケーションを図ることができるようにするなどといった日常生活自立や社会参加自立に関する支援から、就労体験の利用の機会の提供等を行い、一般就労に向けた技法や知識の習得等を通じて、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とする ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ワーカーズコープに、佐伯市及び臼杵市、杵築市、由布市、国東市、豊後高田市、豊後大野市、大分県（九重町、玖珠町、日出町、姫島村）の７市１県で共同委託。 ・直ちに就労に踏み出せない生活困窮者に対し、日常生活、社会自立に関する支援を行う。	R3	ワーカーズコープに委託し、実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,347	898		449	
当初予算	1,347	898		449	
決 算 額	1,347	898		449	
R４計画	1,347	898		449	
当初予算	1,344	896		448	
決 算 額					
R５計画	1,347	898		449	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,347	898		449	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,347	898		449	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,735	4,490		2,245	
当初予算	2,691	1,794		897	
決 算 額	1,347	898		449	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就労準備支援	支援対象者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	人	目標値					
						実績値	1				
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。単にハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要がある。ワーカーズコープで探しているが、協力企業が少ないことが課題である。	生活困窮者自立支援法に基づく任意事業の一つである。ハローワークで職業相談や職業訓練では解決できず、複合的な課題がある者に対しては当該事業が必要である。また、対象者が単年度で一般就労に移行するものではなく、成果は乏しいが継続する必要があるため、今後は協力企業を増やすことが必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
41002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	福祉監査係

事業	民生・児童委員関係事業	細事業	民生・児童委員関係補助金	実施計画事業	民生児童委員協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 127 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	1
決算	48

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	2 地域福祉の充実
施策展開	②災害時における地域福祉を支援する
後期基本計画 40 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
民生児童委員協議会補助金	7,031

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民生児童委員協議会の運営に資するため、予算の範囲内で補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 民児協が相互の研鑽を深めるために実施する全体の研修会または、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業実施に係る補助。	R3	民児協で主催した合同研修会の開催、また、各町単位の研修会、部会活動、主任児童委員活動等の事業を実施し、市の関係する事業にも積極的に協力、参加した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	7,031				7,031
当初予算	7,031				7,031
決 算 額	7,031				7,031
R４計画	7,031				7,031
当初予算	7,031				7,031
決 算 額					
R５計画	7,031				7,031
当初予算					
決 算 額					
R６計画	7,031				7,031
当初予算					
決 算 額					
R７計画	7,031				7,031
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	35,155				35,155
当初予算	14,062				14,062
決 算 額	7,031				7,031

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	市民児協主催の研修会	研修会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	1				
						%	達成率	50.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	市民児協主催の研修会への参加	研修会の延べ参加者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	210	210	210	210	210
							実績値	130				
						%	達成率	61.9				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で研修会の実施が1回となったが、引き続き活動に必要な制度等について、知識を深めることは重要であるため、環境が整い次第通常の開催ができるよう市としても協力が必要である。 また、地域共生社会の実現に向けて、地域の力で解決できる活動も求められている中、民生委員児童委員においては、その職務を発揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。	コロナ禍で研修会の実施が1回だけだったが、引き続き活動に必要な制度等について、環境が整い次第通常の開催ができるよう市としても協力が必要である。 また、地域共生社会の実現に向けて、民生委員児童委員においては、その職務を発揮できるよう引き続きの支援と連携体制が必要と考える。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	障害者相談支援事業	実施計画事業	障害者相談支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 156 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業委託料	20,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がいのある人や障がいのある人を介護する人などからの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援などの必要な支援を行うとともに、虐待の防止やその早期発見のための関係機関との連絡調整など、権利擁護のために必要な援助を行う。 また、特に必要と認められる能力を有する専門職員を配置し地域における相談支援事業者などに対する専門的な指導・助言、情報収集・提供、人材育成の支援、地域移行に向けた取り組みを実施することにより、相談支援機能の強化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行う。	R3	2ヶ所の相談支援事業所と委託契約を行い、専門的知識を有する相談員が対応を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	20,000	7,272			12,728
当初予算	20,000	7,272			12,728
決算額	20,000	6,599			13,401
R４計画	20,000	7,272			12,728
当初予算	20,000	6,738			13,262
決算額					
R５計画	20,000	7,272			12,728
当初予算					
決算額					
R６計画	20,000	7,272			12,728
当初予算					
決算額					
R７計画	20,000	7,272			12,728
当初予算					
決算額					
計画額	100,000	36,360			63,640
当初予算	40,000	14,010			25,990
決算額	20,000	6,599			13,401

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託相談支援事業所	委託相談支援事業所数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	箇所	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	17 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国・県の補助事業であり、当面は現行の形で推移予定。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められているので、それに沿って社会福祉法人が設置している指定一般相談支援事業所に事業を委託している。国・県の補助事業であり、今後も現行で移行する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	日常生活用具給付事業	実施計画事業	日常生活用具給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
目	2	後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	50		

個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業費	12,903

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がい者等に対して、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り福祉の増進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、給付決定、支払業務等	R3	申請受付、給付決定、支払業務等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	12,903	5,805			7,098
当初予算	12,903	5,805			7,098
決 算 額	12,259	5,402			6,857
R４計画	12,903	5,805			7,098
当初予算	12,521	5,634			6,887
決 算 額					
R５計画	12,903	5,805			7,098
当初予算					
決 算 額					
R６計画	12,903	5,805			7,098
当初予算					
決 算 額					
R７計画	12,903	5,805			7,098
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	64,515	29,025			35,490
当初予算	25,424	11,439			13,985
決 算 額	12,259	5,402			6,857

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 支給件数	日常生活用具支給件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	965	件	目標値	1,085	1,085	1,085	1,085	1,085
						実績値	996				
					%	達成率	91.8				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	15 点 ／25点	4 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で支給の対象となる用具や対象者が定められているので、それに沿って給付している。全体的にはストマの申請が主である。必要不可欠な事業として継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で支給の対象となる用具や対象者が定められているので、それに沿って給付しており、必要不可欠な事業として継続していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	移動支援事業	実施計画事業	移動支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業費	5,112

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出の為の支援を行い、地域における自立生活・社会参加を促す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 本事業におけるサービスの内容は、次に掲げるもので、利用対象者の日常生活上必要と認められる移動支援とする。 (1)　官公庁や金融機関への外出、公的行事への参加、生活必需品の買い物等社会生活上必要不可欠な外出 (2)　その他対象者の社会参加を図る上で、市長が特に必要と認めるもの 前項のサービスの提供範囲は、原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限るものとする。	R3	契約を締結した９事業所に委託して事業を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,112	2,299			2,813
当初予算	5,112	2,299			2,813
決算額	4,210	1,855			2,355
R４計画	5,112	2,299			2,813
当初予算	4,727	2,127			2,600
決算額					
R５計画	5,112	2,299			2,813
当初予算					
決算額					
R６計画	5,112	2,299			2,813
当初予算					
決算額					
R７計画	5,112	2,299			2,813
当初予算					
決算額					
計画額	25,560	11,495			14,065
当初予算	9,839	4,426			5,413
決算額	4,210	1,855			2,355

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業利用延べ時間		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1,932	時間	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
						実績値	1,679				
					%	達成率	62.2				
	2 実利用人数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	27	人	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	25				
					%	達成率	83.3				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	14 点 ／25点	4 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。コロナ禍で外出を控える傾向が見られるが、事業を継続して、障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図る。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者と事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる社会福祉法人等に委託している。障がい者等の地域での自立生活や社会参加の促進を図るため、事業の継続が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	訪問入浴サービス事業	実施計画事業	訪問入浴サービス事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業費	614

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 訪問による居宅での入浴サービスを提供し、身体障がい者の身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、もって日常生活の支援、福祉の増進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供する。	R3	訪問入浴介護員を派遣し、訪問入浴サービスを提供した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	614	276			338
当初予算	614	276			338
決算額	908	400			508
R４計画	614	276			338
当初予算	1,996	897			1,099
決算額					
R５計画	614	276			338
当初予算					
決算額					
R６計画	614	276			338
当初予算					
決算額					
R７計画	614	276			338
当初予算					
決算額					
計画額	3,070	1,380			1,690
当初予算	2,610	1,173			1,437
決算額	908	400			508

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施箇所数		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	箇所	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実利用者数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		人	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、必要な事業として今後も継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で利用対象者及び事業内容が定められており、適切な事業運営が確保できると認められる民間事業所に事業を委託している。介護保険法の適用を受けられない日常生活を営むことに支障のある在宅の身体障がい者を対象としており、今後も事業として継続が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43007	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	日中一時支援事業	実施計画事業	日中一時支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業委託料	4,282

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がい者等の日中における活動の場を確保し、日常的に介護している家族の一時的な休息を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行う。	R3	障がい者等を一時的に預かり、日常活動の場を提供するとともに、社会に適応するための恒常的な訓練を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,282	1,926			2,356
当初予算	4,282	1,926			2,356
決算額	7,124	3,139			3,985
R４計画	7,200	3,240			3,960
当初予算	10,238	4,606			5,632
決算額					
R５計画	7,200	3,240			3,960
当初予算					
決算額					
R６計画	7,200	3,240			3,960
当初予算					
決算額					
R７計画	7,200	3,240			3,960
当初予算					
決算額					
計画額	33,082	14,886			18,196
当初予算	14,520	6,532			7,988
決算額	7,124	3,139			3,985

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施箇所数		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	11	箇所	目標値	11	11	11	11	11
						実績値	9				
					%	達成率	81.8				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実利用者数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	21	人	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	25				
					%	達成率	125.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。コロナ禍でも利用者が増えており、今後も必要な事業として継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で対象者が定められており、適切な事業運営が確保できる指定障害福祉サービス事業所及び社会福祉法人等に事業を委託している。利用者が増えており、今後も必要な事業として継続する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	自動車改造助成事業	実施計画事業	自動車改造助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業補助金	200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 身体障がい者に対して、自動車の改造に要する経費の一部を助成し、身体障がい者の社会活動への参加を促進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成する。	R3	市内に住所を有し、身体障害者手帳の交付を受けている上肢、下肢又は体幹機能障害者であって、実施要綱の要件に該当するものへ自動車の改造に要する費用の一部を助成した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	200				200
当初予算	200				200
決 算 額	50				50
R４計画	200				200
当初予算	200				200
決 算 額					
R５計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,000				1,000
当初予算	400				400
決 算 額	50				50

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 自動車改造助成件数		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	3	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	50.0				
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
身体障がい者の社会活動を促進するために必要な事業。ただし、国・県の補助事業でないため、今後も現行の予算内で事業を実施予定。	身体障がい者の社会活動を促進するために必要な事業のため、今後も現行の予算内で事業を実施。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43011	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	地域活動支援センター事業	実施計画事業	地域活動支援センター事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業委託料	24,441

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 就労等が困難な障がい者等を通所させ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ (1) 地域活動支援センターⅡ型 基礎的事業（地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行う事業をいう。以下同じ。）に加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行う。 (2) 地域活動支援センターⅢ型 基礎的事業に加えて、作業訓練、社会適応訓練等を中心とする事業を行い、小規模作業所として5年以上の運営実績がある法人等が実施する。	R3	1) 地域活動支援センターⅡ型 基礎的事業（地域活動支援センターの基本事業として、利用者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行った。加えて、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者等に対し、機能訓練、社会適応訓練及び入浴サービス等の支援を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	24,441	3,150			21,291
当初予算	24,441	3,150			21,291
決算額	24,989	2,930			22,059
R４計画	24,441	3,150			21,291
当初予算	25,780	3,150			22,630
決算額					
R５計画	24,441	3,150			21,291
当初予算					
決算額					
R６計画	24,441	3,150			21,291
当初予算					
決算額					
R７計画	24,441	3,150			21,291
当初予算					
決算額					
計画額	122,205	15,750			106,455
当初予算	50,221	6,300			43,921
決算額	24,989	2,930			22,059

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託施設数		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	箇所	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業利用者数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	22	人	目標値	22	22	22	22	22
						実績値	22				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業である。今後も現在の予算規模で継続していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容等が定められており、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人等に事業を委託している。地域において就労が困難な障がい者等に対して、自立と生きがいを高める必要不可欠な事業であるため、今後も継続していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43013	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	聴覚障害者支援事業	実施計画事業	聴覚障害者支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業委託料	1,595
会計年度任用職員報酬	1,444
社会保険料（会計年度任用職員分）	292
期末手当	181

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 意思疎通を図ることに支障がある障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営めるよう支援を行い、意思疎通の円滑化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業	R3	・手話通訳者設置事業 ・手話通訳者及び要約筆記者派遣事業 ・手話奉仕員養成研修事業 以上事業を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,780	1,701			2,079
当初予算	3,780	1,701			2,079
決 算 額	3,323	1,464			1,859
R４計画	3,780	1,701			2,079
当初予算	3,785	1,702			2,083
決 算 額					
R５計画	3,780	1,701			2,079
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,780	1,701			2,079
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,780	1,701			2,079
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	18,900	8,505			10,395
当初予算	7,565	3,403			4,162
決 算 額	3,323	1,464			1,859

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 手話奉仕員養成研修	手話奉仕員養成研修事業数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	事業	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 手話通訳者及び要約筆記者派遣	手話通訳者及び要約筆記者派遣数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	78	件	目標値	101	101	101	101	101
						実績値	85				
					%	達成率	84.2				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	20 点 ／25点	5 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会（以下、協会という。）に委託し実施している。また、協会に委託し実施している手話講習会の受講者数はコロナ禍でも増えている。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、必須事業の一つとして規定されている。社会福祉課に手話通訳者1名を週4日配置するとともに手話通訳者及び要約筆記者の派遣を社会福祉法人大分県聴覚障害者協会（以下、協会という。）に委託し実施している。聴覚障がい者等の社会参加を促進するため、今後も必要不可欠な事業として実施していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43014	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	成年後見制度利用支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
期間	R3 年度 ～ R5 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
手数料	120
地域生活支援事業補助金	84

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 成年後見制度の利用が必要と認められる障がい者に対して、成年後見制度利用の申立てに要する経費や後見人の報酬を助成するなど、成年後見制度の利用を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組む。	R3	成年後見支援センターの職員と連携し、制度の相談及び支援に取り組んだ。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	204	91			113
当初予算	204	91			113
決 算 額					
R４計画	204	91			113
当初予算	204	91			113
決 算 額					
R５計画	204	91			113
当初予算					
決 算 額					
R６計画	204	91			113
当初予算					
決 算 額					
R７計画	204	91			113
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,020	455			565
当初予算	408	182			226
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 成年後見制度利用支援	成年後見制度助成件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業所から身寄のいない利用者についての相談があった。その利用者は本人に家庭裁判所に申立てをする経済力と判断能力等があったため、市の制度を必要としなかった。今後も必要な事業として成年後見支援センターと連携して成年後見制度の利用促進を図っていく。	経済力・判断力が必要な方に対して、今後も必要な事業として成年後見支援センターと連携して成年後見制度の利用促進を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43014	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	自動車運転免許取得助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業補助金	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 身体障がい者に対して免許の取得に要する費用の一部を助成することにより、身体障がい者の就労等社会活動への参加を促進する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成する。	R3	市内に住所を有する身体障害者手帳を保持する者で、その他実施要綱の要件を満たす者へ、第一種普通自動車運転免許の取得に要する費用の一部を助成した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	100				100
当初予算	100				100
決 算 額	100				100
R４計画	100				100
当初予算	100				100
決 算 額					
R５計画	100				100
当初予算					
決 算 額					
R６計画	100				100
当初予算					
決 算 額					
R７計画	100				100
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	500				500
当初予算	200				200
決 算 額	100				100

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 免許取得助成件数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	18 点 ／25点	5 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業。ただし、国・県の補助事業でないため、今後も現行の予算内で事業を実施していく。	身体障がい者の就労等社会参加を促進するために必要な事業であるため、今後も事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43014	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	その他地域生活支援事務費	実施計画事業	理解促進研修・啓発事業（福祉教室）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
目	2	後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	50		

個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	90

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合える共生社会を目指し、障がいに対する理解の促進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催する。	R3	地域の団体や学校等によびかけし、障がい福祉教室を開催した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	90	40			50
当初予算	90	40			50
決 算 額	10	5			5
R４計画	90	40			50
当初予算	90	40			50
決 算 額					
R５計画	90	40			50
当初予算					
決 算 額					
R６計画	90	40			50
当初予算					
決 算 額					
R７計画	90	40			50
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	450	200			250
当初予算	180	80			100
決 算 額	10	5			5

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 障がい福祉教室	障がい福祉教室開催	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度は聴覚障がい者が入所する養護老人ホームにおいて職員及び入所者を対象とした障がい福祉教室を開催した。現状はコロナ禍で積極的な活動ができていない。障がいに対する理解の促進を図るため、今後も必要な事業として継続していく。	令和３年度は聴覚障がい者が入所する養護老人ホームにおいて職員及び入所者を対象とした障がい福祉教室を開催した。障がいに対する理解の促進を図るため、今後も必要な事業として継続していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43015	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	地域生活支援事業	細事業	障害程度区分認定等事務事業	実施計画事業	障害程度区分認定等事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	R3 年度 ～ R5 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
障害者自立支援認定審査会委員報酬	816
手数料	700
費用弁償	69
地域生活支援事業委託料	40

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める障害支援区分認定のために調査を実施し、医師の意見書を求め、それらの内容に基づいて認定審査会を開催する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催。	R3	豊後大野市障害者自立支援認定審査会を定期的に開催した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,662				1,662
当初予算	1,662				1,662
決 算 額	1,381				1,381
R４計画	1,662				1,662
当初予算	1,586				1,586
決 算 額					
R５計画	1,662				1,662
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,662				1,662
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,662				1,662
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,310				8,310
当初予算	3,248				3,248
決 算 額	1,381				1,381

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 豊後大野市障害者自立支援認定審査会	豊後大野市障害者自立支援認定審査会開催数	□ 総合戦略 □ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	20 点	5 点	20 点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点	／25点	—— 点	／25点

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業がある。令和3年度は障害支援区分の不服申立てはなく、公正に行うことができた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続していく。	市町村は、介護給付費等の支給対象となる障害福祉サービスの支給申請があった場合、障害支援区分の認定を行うこととされており、その判定を行う審査会の運営及び認定に係る医師意見書等の聴取、認定調査に関する事務事業があり公正に行えた。障害者総合支援法に基づく義務的な事業のため、今後も継続する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
43016	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	地域生活支援事業	細事業	巡回支援専門員派遣事業	実施計画事業	巡回支援専門員派遣事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	50

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域生活支援事業委託料	306

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 発達の面で気になる子どもについて、発達障がいに関する知識を有する専門員が子育て支援施設等へ巡回支援を実施し、施設等の職員や障がい児の保護者等に対し、障がいや特性の早期把握、早期発見、早期対応のための助言等の支援を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣する。また、必要に応じて、その他の方法（特定の場所を拠点とした面談や講習）による支援を行う。	R3	子育て支援施設等の支援を担当する職員や障がい児の保護者に対し、巡回による支援を基本とし、子育て支援施設等からの派遣依頼に応じて専門員を派遣した。また、必要に応じて、その他の方法（特定の場所を拠点とした面談や講習）による支援を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	306	136			170
当初予算	306	136			170
決算額	68	30			38
R４計画	306	136			170
当初予算	306	136			170
決算額					
R５計画	306	136			170
当初予算					
決算額					
R６計画	306	136			170
当初予算					
決算額					
R７計画	306	136			170
当初予算					
決算額					
計画額	1,530	680			850
当初予算	612	272			340
決算額	68	30			38

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託事業所数		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 巡回支援専門員の派遣		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	件	目標値	18	18	18	18	18
						実績値	4				
					%	達成率	22.2				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	1 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。コロナ禍で外部の人の派遣を控える傾向がみられるが、専門機関につながっていない発達の面で気になる子どもの支援に幅広い視点からアドバイスする事業は今後も必要。	障害者総合支援法による地域生活支援事業のうち、任意事業の一つとして規定されている。市の要綱で事業内容及び実施方法等が定められており、適切な事業の運営が確保できる団体に事業の実施を委託している。専門機関につながっていない発達の面で気になる子どもの支援に幅広い視点からアドバイスする事業であり今後も必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	在宅重度障害者住宅改造助成事業	実施計画事業	在宅重度障害者住宅改造助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
在宅重度障害者住宅改造助成金	800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がい者が生活しやすくするため住宅改造に要する費用の助成を行い、障がいがあっても自立した生活を送ることができるよう支援する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・制度の周知(市報) ・窓口対応 ・現地調査	R3	市報やホームページで制度の周知を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	800	400			400
当初予算	800	400			400
決 算 額					
R４計画	800	400			400
当初予算	800	400			400
決 算 額					
R５計画	800	400			400
当初予算					
決 算 額					
R６計画	800	400			400
当初予算					
決 算 額					
R７計画	800	400			400
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	4,000	2,000			2,000
当初予算	1,600	800			800
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 助成件数	在宅重度障害者住宅改造助成件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	8 点 ／25点	3 点	8 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	1 点		1 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用した事業。65歳未満の本事業の相談者が令和3年度はいなかった（障がいのある方でも65歳以上の方は高齢者福祉課の住宅改造事業の対象となる）。障がいのある方が自宅で安心して生活するために段差の解消等、そのための改修経費は多額を要することから、今後も必要な事業として継続していく。	県の補助事業を活用した事業であるが、65歳未満の相談者がいなかった（障がいのある方でも65歳以上の方は高齢者福祉課の住宅改造事業の対象となる）。障がいのある方が自宅で安心して生活するために段差の解消等、そのための改修経費は多額を要することから、今後も事業として継続が必要。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	重度心身障害者医療費給付事業	実施計画事業	重度心身障害者医療費助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
重度心身障害者医療費助成金	120,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 心身に一定の障がいを持つ重度心身障害者に対し、その医療費の一部を助成することで保健の向上及び福祉の増進を図る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、助成決定、支払業務等	R3	申請受付、助成決定、支払業務等 支給対象者数1,159人 給付件数25,670件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	120,000	60,000		1	59,999
当初予算	120,000	60,000		1	59,999
決 算 額	105,838	52,644		549	52,645
R４計画	120,000	60,000			60,000
当初予算	110,400	55,200		1	55,199
決 算 額					
R５計画	120,000	60,000			60,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	120,000	60,000			60,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	120,000	60,000			60,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	600,000	300,000		1	299,999
当初予算	230,400	115,200		2	115,198
決 算 額	105,838	52,644		549	52,645

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 受給者数	重度心身障害者医療費受給者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,204	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
						実績値	1,159				
					%	達成率	96.6				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	16 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することは、精神的、経済的負担を軽減する。重度心身障がい者が地域で安心して暮らすために今後も必要な事業である。	県の補助事業を活用した事業。医療機関の受診が多い重度心身障がい者に対して医療費を助成することで、精神的、経済的負担を軽減。重度心身障がい者が地域で安心して暮らすために今後も必要な事業である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害児（者）補装具給付事業	実施計画事業	身体障害児（者）補装具給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
身体障害児（者）補装具費給付費	13,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具について、購入又は修理に要した費用を支給することで住みやすい環境の中で自立した生活を送ることができるよう支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、給付決定、支払業務等。	R3	申請受付、給付決定、支払業務等 給付件数 者：87件 児：8件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	13,800	10,350			3,450
当初予算	13,800	10,350			3,450
決 算 額	8,363	7,431			932
Ｒ４計画	13,800	10,350			3,450
当初予算	13,800	10,350			3,450
決 算 額					
Ｒ５計画	13,800	10,350			3,450
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	13,800	10,350			3,450
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	13,800	10,350			3,450
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	69,000	51,750			17,250
当初予算	27,600	20,700			6,900
決 算 額	8,363	7,431			932

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 給付件数	身体障害児（者）補装具給付件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	130	件	目標値	130	130	130	130	130
						実績値	95				
					%	達成率	73.1				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	16 点 ／25点	5 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に定められた事務であり、障がいのある方が日常生活や就労がしやすくなり、自立と社会参加に繋がる必要不可欠な事業。今後も継続して実施していく。	法令に定められた事務である。障がいのある方が自立と社会参加に繋がる必要不可欠な事業として、今後も継続が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44004	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害児（者）補装具給付事業	実施計画事業	軽度・中度聴覚障がい児支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
身体障害児（者）補装具費給付費	60

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公的助成を受けられない軽度・中度の聴覚障がい児に対して補聴器の交付を行うことにより、早期からの言語発達やコミュニケーション能力の獲得及び学力向上を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、給付決定、支払業務等	R3	申請受付、給付決定、支払業務等 給付件数 1件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	60	30			30
当初予算	60	30			30
決 算 額	77	38			39
R４計画	60	30			30
当初予算	60	30			30
決 算 額					
R５計画	60	30			30
当初予算					
決 算 額					
R６計画	60	30			30
当初予算					
決 算 額					
R７計画	60	30			30
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	300	150			150
当初予算	120	60			60
決 算 額	77	38			39

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 給付人数	補聴器給付児童数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	17 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県の補助事業を活用し、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中度の難聴児を支援している。補聴器を利用することによって、言語の習得、教育等で健やかな成長が期待できる事業であり、今後も継続が必要。	県の補助事業を活用し、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中度の難聴児を支援している。補聴器を利用することによって、言語の習得等が期待できる事業であり、今後も継続が必要。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	特別障害者手当等給付事業	実施計画事業	特別障害者手当等給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
特別障害者手当等給付費	24,905

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 特別障害者手当：精神又は身体に著しく重度の障がいを有し、日常生活において常時特別の介護を必要とする特別障がい者に対して手当を支給することにより特別障がい者の福祉の向上を図る。 障害者福祉手当：常時介護を必要とする重度障がい児に対して、手当を支給することにより特別障がい児の福祉の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、給付決定、支払業務等	R3	市報やホームページ等で制度を周知。申請受付、給付決定、支払業務等を実施。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	24,905	18,678			6,227
当初予算	24,905	18,678			6,227
決 算 額	20,381	15,286			5,095
R４計画	24,905	18,678			6,227
当初予算	23,500	17,625			5,875
決 算 額					
R５計画	24,905	18,678			6,227
当初予算					
決 算 額					
R６計画	24,905	18,678			6,227
当初予算					
決 算 額					
R７計画	24,905	18,678			6,227
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	124,525	93,390			31,135
当初予算	48,405	36,303			12,102
決 算 額	20,381	15,286			5,095

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 支給件数	特別障害者手当等支給件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	904	件	目標値	952	952	952	952	952
						実績値	856				
					%	達成率	89.9				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	14 点 ／25点	4 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がいをもち常時介護を必要とする人の生活を支援するため、必要不可欠な事業として継続していく。	特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく事業。市報やホームページ等で制度の周知に努めている。今後も在宅で重度の障がいをもち常時介護を必要とする人の生活を支援するため、必要不可欠な事業。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	身体障害者自立支援医療費給付事業	実施計画事業	身体障害者自立支援医療費給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
身体障害者自立支援医療費給付費	90,620
手数料	155

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がい児者が、心身の障害の状態の軽減を図り自立した日常生活または社会生活を営むための必要な医療を指定自立支援医療機関から受けた場合に支給し、医療費の自己負担の軽減を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、給付決定、支払業務等	R3	申請受付、給付決定、支払業務等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	90,775	67,965			22,810
当初予算	90,775	67,965			22,810
決 算 額	92,325	70,418			21,907
R４計画	90,775	67,965			22,810
当初予算	94,042	70,425			23,617
決 算 額					
R５計画	90,775	67,965			22,810
当初予算					
決 算 額					
R６計画	90,775	67,965			22,810
当初予算					
決 算 額					
R７計画	90,775	67,965			22,810
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	453,875	339,825			114,050
当初予算	184,817	138,390			46,427
決 算 額	92,325	70,418			21,907

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 支給件数	身体障害者自立支援医療費支給件数（育成医療：59、更生医療：2,753、療養介護医療：250）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,062	件	目標値	3,062	3,062	3,062	3,062	3,062
						実績値	2,989				
					%	達成率	97.6				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	20 点 ／25点	5 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に定められた事業である。今後も継続して取り組む。	法令に定められた事業であるため、今後も継続する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事 業	障害福祉サービス事業	細事業	デイケア等交通費助成事業	実施計画事業	デイケア等交通費助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
精神障害者デイケア等交通費助成金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 在宅の精神障がい者がデイケア等へ通所するための交通費を助成することによりデイケア等の利用を促進し、精神障がい者の福祉の増進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、支給決定、支払業務等	R3	申請受付、支給決定、支払業務等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,000				1,000
当初予算	1,000				1,000
決 算 額	561				561
R４計画	1,000				1,000
当初予算	1,000				1,000
決 算 額					
R５計画	1,000				1,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,000				1,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,000				1,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,000				5,000
当初予算	2,000				2,000
決 算 額	561				561

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 支給件数	デイケア等交通費支給件数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	108	件	目標値	130	130	130	130	130
						実績値	87				
					%	達成率	66.9				
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	14 点 ／25点	4 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市の単独事業。市内に精神科の病院がないため、精神障がい者を経済的に支援を行うことは精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業である。新型コロナウイルスで影響で支給件数が減少傾向にあるが、今後も事業を継続して精神障がい者を支援する必要がある。	市内に精神科の病院がないため、精神障がい者を経済的に支援を行うことは精神障がい者の福祉増進につながる重要な事業である。市の単独事業ではあるが、精神障がい者を支援するためにも必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44010	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	障害福祉サービス事業	細事業	配食サービス事業	実施計画事業	配食サービス事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 158 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画 46 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
配食サービス委託料	519

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 食事の確保が困難な障がい者に対して、定期的に居宅を訪問して栄養のバランスをとれた食事を提供するとともに、安否を確認することにより、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、福祉の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、支給決定、支払業務等	R3	申請受付、支給決定、支払業務等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	519				519
当初予算	519				519
決算額	265				265
R４計画	519				519
当初予算	519				519
決算額					
R５計画	519				519
当初予算					
決算額					
R６計画	519				519
当初予算					
決算額					
R７計画	519				519
当初予算					
決算額					
計画額	2,595				2,595
当初予算	1,038				1,038
決算額	265				265

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 利用人数	配食サービス利用実人数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	2	人	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	3				
					%	達成率	60.0				
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市の単独事業で、65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っている。今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく。	65歳未満の在宅の障がい者の食の支援を行っていることから、市の単独事業であるが、今後も高齢者福祉課と連携して配食サービスの提供を図っていく事が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44011	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	障害福祉サービス事業	細事業	障害福祉サービス事業	実施計画事業	介護給付・訓練等給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 157 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	5 障がい者福祉の充実
項	1	施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
目	2	後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	51		

個別計画名	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
障害福祉サービス費	1,211,178

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、福祉の増進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 申請受付、給付決定、支払業務等	R3	申請受付、給付決定、支払業務等を遅滞なく実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,211,178	908,383			302,795
当初予算	1,211,178	908,383			302,795
決算額	1,156,991	867,744			289,247
R４計画	1,211,178	908,383			302,795
当初予算	1,203,242	902,431			300,811
決算額					
R５計画	1,211,178	908,383			302,795
当初予算					
決算額					
R６計画	1,211,178	908,383			302,795
当初予算					
決算額					
R７計画	1,211,178	908,383			302,795
当初予算					
決算額					
計画額	6,055,890	4,541,915			1,513,975
当初予算	2,414,420	1,810,814			603,606
決算額	1,156,991	867,744			289,247

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1			☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2			☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	日中活動系サービス利用延人数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4,847	人	目標値	5,376	5,568	5,568	5,568	5,568
							実績値	4,760				
						%	達成率	88.5				
	2			☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	15 点 ／25点	4 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
障害者総合支援法に基づく障がい者等に必要不可欠な事業。障がい者等の安定した暮らしの実現に貢献しており、今後も継続実施が必要である。	障害者総合支援法に基づく障がい者等に必要不可欠な事業。障がい者等の安定した暮らしの実現に貢献しており、今後も継続して行うことがが必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
44011	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会福祉課	係名	障がい支援係

事業	障害福祉サービス事業	細事業	障害福祉サービス事業	実施計画事業	障害児通所給付通所給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 157 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	2
決算	51

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	5 障がい者福祉の充実
施策展開	①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実
後期基本計画	46 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
障害福祉サービス費	166,300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 障がいが見出され、早期に療育が必要である子どもが、障がい児通所支援や相談支援体制の充実により、適切な時期に適切な療育を受けることができるようにする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 受給者へ障がい児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障がい児相談支援等）の給付費を支給する。	R3	受給者へ障がい児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障がい児相談支援等）の給付費を支給した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	166,412	124,723			41,689
当初予算	166,300	124,723			41,577
決算額	166,412	129,833			36,579
R４計画	166,300	124,723			41,577
当初予算	179,644	134,733			44,911
決算額					
R５計画	166,300	124,723			41,577
当初予算					
決算額					
R６計画	166,300	124,723			41,577
当初予算					
決算額					
R７計画	166,300	124,723			41,577
当初予算					
決算額					
計画額	831,612	623,615			207,997
当初予算	345,944	259,456			86,488
決算額	166,412	129,833			36,579

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 児童発達支援利用延人数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	529	人	目標値	600	600	600	600	600
						実績値	690				
					%	達成率	115.0				
	2 放課後等デイサービス利用延人数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1,322	人	目標値	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
						実績値	1,455				
					%	達成率	105.4				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
児童福祉法に基づき実施している。今後も必要な事業として継続していく。	児童福祉法に基づき実施していることから、今後も必要な事業として継続。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事 業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	差別をなくす市民のつどい事業	実施計画事業	差別をなくす市民のつどい事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 380 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	豊後大野市部落差別解消推進教育・啓発基本計画 期間 H30 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講演委託料	200
消耗品費	50
託児業務委託料	16
食糧費	2

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 大分県では、部落差別問題の早期解決を目指すことを目的に、同和対策審議会答申があった8月を「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」と定め、啓発活動を集中的に実施しています。 豊後大野市においても、この趣旨に則り、部落差別をはじめあらゆる差別の解消とお互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に「差別をなくす市民のつどい」を市内３会場で行います。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 絆創膏の会 大湾 昇さん 演題 出会いと表現～あることをないことにしない～ ①8月27日（金）18：30～エイトピア ②8月28日（土）10：00～神楽会館 ③8月28日（土）13：30～隣保館 その他、市報やCATV等を活用した広報・啓発活動（人権啓発パネル展）	R3	「差別をなくす市民のつどい」講演会 講師 絆創膏の会 大湾 昇さん 演題 出会いと表現～あることをないことにしない～ 8/27～28 市内3会場で実施予定だったが、コロナ禍のため中止。 横断幕等の掲示と、人権パネル展（教科書無償化の運動、市内7公民館で2ヶ月間巡回）による啓発活動を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	268				268
当初予算	268				268
決 算 額	35				35
R４計画	268				268
当初予算	269				269
決 算 額					
R５計画	268				268
当初予算					
決 算 額					
R６計画	268				268
当初予算					
決 算 額					
R７計画	268				268
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,340				1,340
当初予算	537				537
決 算 額	35				35

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講演会の実施箇所数	市内３会場で実施	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	会場	目標値	3	3	3	3	3
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	講演会への参加者数（令和7年度末）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	453	人	目標値	460	480	500	520	540
						実績値					
					%	達成率					
	2 アンケート結果	アンケート結果で関心・理解が深まった割合（令和7年度末）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	82.3	%	目標値	84	86	88	90	92
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	5 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
部落差別問題やいじめの問題等に詳しい大湾さんの講演会を計画していたが、コロナ禍のため中止した。 代わりに、部落解放運動の成果であり、私たちの生活に大きな影響を与えた「教科書無償化の運動」についての人権啓発パネル展を市内7会場で実施することにより、市民啓発を進めることができた。 また、大湾さんには、12月に大分市に講演に来られた合間の時間を使って、犬飼中学校と大野中学校で地域人権教育・啓発推進協議会と合同での講演会を低価格で実施していただき、生徒や地域の大人の人権意識を高めることができた。 今後も、部落差別問題を中心課題として、あらゆる差別の解消に向け講演会やパネル展などを実施し、正しい理解と人権感覚を養っていきたい。	顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指して、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、様々な啓発を進めていく必要 がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事 業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権を守る市民のつどい事業	実施計画事業	人権を守る市民のつどい事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 376 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政 策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講演委託料	200
消耗品費	35
講師謝礼金	30
実費弁償	21

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 1948（昭和23）年12月10日に国連で採択された「世界人権宣言」を記念して、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、広く国民に人権意識の高揚を呼びかけている。 豊後大野市でもこの趣旨に則り、あらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、「人権を守る市民のつどい」事業や人権講座等を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 「人権を守る市民のつどい」 12月4日（土）10時～ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 中西麻耶さん 「あきらめない心」 そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座	R3	「人権を守る市民のつどい」 12月4日（土）10時～ エイトピアおおの 第1部 人権標語・ポスター表彰式 第2部 人権講演会 講師 中西麻耶さん 「あきらめない心」 そのほか、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座 ・11/17 犬飼 石川英雄さん「部落差別とわたし」、職員による多様な性について ・12/2 朝地 谷口久枝さん「つながるいのち・つながる心」 ・12/3 犬飼・大野 大湧昇さん「出会いと表現～あることをないことにしない～」
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	293	100			193
当初予算	293	100			193
決 算 額	241	106			135
R４計画	293	100			193
当初予算	294	100			194
決 算 額					
R５計画	293	100			193
当初予算					
決 算 額					
R６計画	293	100			193
当初予算					
決 算 額					
R７計画	293	100			193
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,465	500			965
当初予算	587	200			387
決 算 額	241	106			135

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講演会、人権講座の開催回数	講演会、人権講座の開催回数（令和7年度）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	回	目標値	7	7	7	8	8
						実績値	4				
					%	達成率	57.1				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	つどいの参加者数（令和7年度）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	175	人	目標値	200	220	250	270	300
						実績値	297				
					%	達成率	148.5				
	2 アンケート結果	つどいのアンケート結果で関心・理解が深まった割合（令和7年度）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	94	%	目標値	94.5	95	95	95	95
						実績値	89				
					%	達成率	94.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
パラリンピックでご活躍された中西麻耶さんの講演は、障がいのある方の思いとして、当事者意識に立つことの大切さや、人生を人と比べず、夢に向かって一歩勇気を踏み出そうといった前向きな言葉が参加者の共感をうみました。人権標語・ポスターの優秀賞の表彰も含めたアンケート調査でも、人権問題に関する関心や理解が深まった方が89%、満足度も91%と講評でした。 また、各地域人権教育・啓発推進協議会による人権講座においても、専門の講師により市民の人権意識の高揚を図ることができました。 今後も、市民の人権意識の高揚を図るため、様々な人権課題を解決していくことにつながる講演会や講座等を開催します。	顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指して、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、市民の人権意識の高揚を図る取り組みを進めることが必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権ポスター、標語募集事業	実施計画事業	人権ポスター、標語募集事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 376 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	352
記念品代	84
人権問題講師団会議謝礼金	56
消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民にとって幅広く「人権」について考えるきっかけや、市民の人権意識の高揚を図ることを目的に、「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターを募集する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 【募集期間】 市内小中高校　5月1日~9月30日 一般その他　8月1日~9月30日 市人権問題講師、美術指導経験者による審査により,優秀賞と入選作品を選び、12月の「人権を守る市民のつどい」で表彰する。 優秀賞・入選作品のポスターやリーフレットを作成し、市内各学校や公共施設等に掲示。 リーフは市内全戸配布。	R3	「人権を守り、差別をなくす」標語及びポスターの募集 【募集期間】 市内小中高校　5月1日~9月30日 一般その他　8月1日~9月30日 ポスターに170人、標語に2538人が取り組んでいただき、審査により優秀賞12点と入選60点を表彰した。 優秀賞、入選の作品は、ポスターやリーフレットにして、全戸配布や学校・公共施設等に掲示し、啓発した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	521	237			284
当初予算	521	237			284
決算額	317	231			86
R４計画	521	237			284
当初予算	521	237			284
決算額					
R５計画	521	237			284
当初予算					
決算額					
R６計画	521	237			284
当初予算					
決算額					
R７計画	521	237			284
当初予算					
決算額					
計画額	2,605	1,185			1,420
当初予算	1,042	474			568
決算額	317	231			86

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 募集の周知	募集の周知回数（市報、HP、校長会、差別をなくす市民のつどい等 令和７年度）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	4	4	5	5	6
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 審査会	審査会の回数（令和7年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 応募数	ポスター応募総数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	124	枚	目標値	127	131	134	137	140
						実績値	150				
					%	達成率	118.1				
	2 応募数	人権標語応募総数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,579	点	目標値	2,590	2,600	2,610	2,620	2,630
						実績値	2,538				
					%	達成率	98.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	22 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
小中学生を中心に2500点以上の標語の応募があった。市民の皆さんが、身近な「人権」について考えるきっかけになっていると思われる。今年度の標語・ポスターともにオリンピック・パラリンピックで新たな課題に気づいたり、新型コロナがもたらした長い萎縮の日々と人権課題、いじめや命に関するもの、ネットやスマホの問題、性の多様性などを敏感に捉えた作品が多く出されていた。 人権を守る市民のつどいで、優秀賞のみ表彰したが、参加者からは好評であった。優秀作品のポスターやリーフレットを全戸配布等しているので、今後も市民が身近なところで人権感覚を磨き直すいいきっかけになると考える。	差別のない明るい地域社会の実現に向けて、市民にとって幅広く「人権」について考えるきっかけとなり人権意識の高揚を図るため引き続き効果的な取り組みを推進していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事 業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権研修事業	実施計画事業	人権研修事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 376 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版）
	期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	45
実費弁償	40

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現のために、人権研修講師の派遣や紹介等を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。 人権問題講師の育成（県の研修会等）。	R3	各種団体や企業に人権研修を呼びかけ、その研修に講師を派遣したり、講師の紹介を行う。 令和3年度は、派遣が9件、紹介が7件となっている。コロナ禍のため、計画していたが、中止になっている。 市内47社には、人権研修の講師派遣制度について毎年案内を出している。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	85				85
当初予算	85				85
決 算 額					
R４計画	85				85
当初予算	85				85
決 算 額					
R５計画	85				85
当初予算					
決 算 額					
R６計画	85				85
当初予算					
決 算 額					
R７計画	85				85
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	425				425
当初予算	170				170
決 算 額					

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	各種団体や企業への呼びかけ数	各種団体や企業への人権研修呼びかけ数（令和7年度末）	□ 総合戦略 □ 個別計画	47	社	目標値	47	48	49	50	51
							実績値	47				
						%	達成率	100.0				
	2	人権問題講師数	人権問題講師の人数（令和7年度末）	□ 総合戦略 □ 個別計画	12	人	目標値	12	12	13	13	13
							実績値	12				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	講師の派遣・紹介数	人権研修の講師派遣・紹介数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	20	回	目標値	21	22	25	27	29
							実績値	16				
						%	達成率	76.2				
	2	－		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	3 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
団体や企業への人権研修は、組織としての研修として非常に重要であるが、令和3年度はコロナ禍で人を集めること自体が難しく、計画していても中止になる団体が多かった。結果として、講師派遣が9件、紹介が7件に止まった。実施した団体や企業では、部落差別解消推進法に周知や、あらゆる差別の解消に向けた正しい理解と、人権意識の高揚が図られた。また、社会福祉協議会では、役員に研修を行い、その後、役員が支部員に同じ研修を進めるといった形がとられるなど人権リーダーが育っていく可能性を感じた。 今後も、市内の団体や企業に人権研修の重要性を理解していただきながら、講師派遣制度の紹介も重ねていきたい。	顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指して、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、企業や団体への人権研修事業を進めていくとともに、人権問題講師の育成は重要な課題であり今後も取り組みを推進していく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事 業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	社会を明るくする運動推進委員会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 382 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
社会を明るくする運動推進委員会補助金	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい社会を築くことを目的に、”社会を明るくする運動”を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している（会長は市長）。 ○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 ハーレークラブによる広報、キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会（社明作文の発表、講演会）の実施 7月11日エイトピアおおの ○広報活動	R3	社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会を組織している（会長は市長）。 ○社会を明るくする運動メッセージ伝達式 ○キャンペーンの実施 キャンペーン車等による市内広報、市内小中学校へ社明作文の依頼と啓発用品の配布 ○豊後大野市大会（社明作文の発表、講演会）の実施 7月11日エイトピアおおの ○広報活動
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	100				100
当初予算	100				100
決 算 額	53				53
R４計画	100				100
当初予算	100				100
決 算 額					
R５計画	100				100
当初予算					
決 算 額					
R６計画	100				100
当初予算					
決 算 額					
R７計画	100				100
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	500				500
当初予算	200				200
決 算 額	53				53

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報活動	広報車等による広報回数（令和7年度）	□ 総合戦略 □ 個別計画	3	回	目標値	3	3	4	4	4
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	豊後大野市大会（講演会）の参加者数（令和7年度）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	320	人	目標値	140	150	350	160	165
						実績値	123				
					%	達成率	87.9				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である。豊後大野市では、保護司会、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会が多年にわたって更生保護関係団体として、この地域活動に取り組んでいただいている状況。市が10万円、保護司会が13万円の予算を出し合って、社会を明るくする運動豊後大野市推進委員会として啓発活動や講演会等を実施しており、令和3年度も7月の強調月間を中心に、各種事業を行い、市民理解の促進を図った。 また、3月に再犯防止推進計画も地域福祉計画に包含する形で策定した。 今後も、更生保護関係団体と協力しながら、安全で安心なまちづくりを推進したい。	安全で安心なまちづくり推進のため、より効果的な啓発活動を実施するとともに関係団体と協力しながら取組を推進していく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46005	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事 業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	地域人権教育啓発推進協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 376 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域人権教育啓発推進協議会補助金	1,260

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、地域ぐるみ（町毎）での自主的な学習・啓発活動を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動。 各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有を行う。	R3	７町の地域人権教育・啓発推進協議会による地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動を行っている。 各町の代表による連絡会議を組織し、連携・情報共有も行っている。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,260				1,260
当初予算	1,260				1,260
決 算 額	831				831
Ｒ４計画	1,260				1,260
当初予算	1,260				1,260
決 算 額					
Ｒ５計画	1,260				1,260
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	1,260				1,260
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	1,260				1,260
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,300				6,300
当初予算	2,520				2,520
決 算 額	831				831

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 連絡協議会の開催数	連絡協議会の開催回数（令和7年度）	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 講座・講演会等の参加者数	講座・講演会等の参加者数（令和7年度）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	1,056	人	目標値	1,070	1,200	1,400	1,600	1,800
						実績値	1,264				
					%	達成率	118.1				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域人権教育・啓発推進協議会は平成21年度より各町単位で設置されている。この協議会は、部落差別問題をはじめあらゆる差別の解消に向け、地域ぐるみで自主的な学習・啓発活動を実践することにより、人権尊重の精神に富んだ明るく住みよいまちづくりに寄与することを目的にしている。 各町で地域のことをよく知っている団体代表や、人権擁護委員、人権問題講師団、福祉団体等の方々が委員となり、各町独自の啓発活動や講演会などを行い、様々な差別の解消に向け尽力いただいている。 令和3年度はコロナ禍のため、計画しても中止された事業が多かった。 今後も自治会やサロン、学校、職場など地域の小さい単位での集まり等を利用して、地域ぐるみで自主的な学習・啓発活動を実践することによって、差別のない明るいまちづくりを進めていただきたい。なお、各町協議会の役員による連絡協議会を年２回開催し、情報共有や連携を深めていく。	地域ぐるみでの自主・自発的な人権学習・啓発活動は重要であり、差別のない明るい地域社会の実現に向けて、引き続き取り組みを推進していく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
46005	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	人権・部落差別解消推進係

事業	人権・部落差別解消推進事業	細事業	人権・部落差別解消推進事務事業	実施計画事業	部落解放同盟連絡協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 380 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	53

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	豊後大野市部落差別解消推進教育・啓発基本計画 期間 H30 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
部落解放同盟連絡協議会補助金	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 部落差別をはじめあらゆる差別の解消と、お互いの人権が尊重された地域社会の実現を目的に、運動団体の活動を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。 市は、運動団体と定期協議を行い、情報交換等を行っている。	R3	運動団体は、部落差別問題の完全解消に向け、様々な啓発活動に取り組むとともに、各種研修会等に参加している。令和3年度はコロナ禍により活動が制限されている。 市は、運動団体と情報交換等を行っている。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,200				1,200
当初予算	1,200				1,200
決 算 額	164				164
R４計画	1,200				1,200
当初予算	1,200				1,200
決 算 額					
R５計画	1,200				1,200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,200				1,200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,200				1,200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,000				6,000
当初予算	2,400				2,400
決 算 額	164				164

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	運動団体との定期協議	運動団体との定期協議回数（令和7年度末）	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	人権を学ぶ子ども会等への参加	人権を学ぶ子ども会等地域の子どもたちとの関わりへの参加回数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	2	2	3	4	5
							実績値	6				
						%	達成率	300.0				
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

人権を尊重し、あらゆる差別のない住みよい社会の実現をめざすため、部落解放同盟大分県連合会大野支部が行う事業に対し、補助金を交付している。令和3年度はコロナ禍のため、各種研修会等が中止となったため多くの活動ができていないが、高校生人権学習会や大野中の人権を学ぶ子ども会、甘藷植え付け体験などの地域交流事業等に積極的に参加いただき、地域の子どもたちを励ましていただいている。

諸事情により運動団体との定期協議はできていないが、役員との連絡を取り合う中で情報交換等をしている。

今後も、部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、運動団体の活動に対し、予算の範囲内で支援したいと考えている。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

人権に関する状況は複雑化・多様化しており、お互いの人権が尊重された地域社会を実現するため、関係団体との連携は不可欠であり活動の支援は必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
47001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	男女共同参画係

事 業	男女共同参画事業	細事業	男女共同参画社会啓発事業	実施計画事業	男女共同参画社会啓発事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 383 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	4
決算	54

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	②男女共同参画社会づくりを推進する
後期基本計画 94 P	☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第2次豊後大野市男女共同参画基本計画（改訂版）	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	230
女性団体連絡協議会補助金	150
男女共同参画推進協議会委員謝礼金	138
実費弁償	105

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 男女共同参画社会の実現に向けて、人権尊重・男女平等の意識を育てる啓発・教育を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○「第15回豊後大野市男女共同参画市民のつどい」を開催する。 日時　令和3年10月16日 講師　小野アンリさん 演題　LGBTQを知っていますか？ ○男女共同参画啓発講座等を開催する。 市民講座　年6回程度 放課後チャレンジ教室　年7回程度 その他　年2回程度	R3	○第15回男女共同参画市民のつどいを開催　参加者　一般171人 実行委員等関係者31人 ○男女共同参画啓発講座等の開催 ・市民講座　1回　参加者13人 ・癒しのコンサート　参加者　一般158人　実行委員等関係者13人 ・放課後チャレンジ教室　5カ所　参加者　93人 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入関連啓発・研修等　29回　参加者703人
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	923				923
当初予算	923				923
決 算 額	853				853
R４計画	773				773
当初予算	725				725
決 算 額					
R５計画	773				773
当初予算					
決 算 額					
R６計画	773				773
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,273				2,273
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,515				5,515
当初予算	1,648				1,648
決 算 額	853				1,648

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	啓発講座や講演会の回数	年度ごとの啓発講座や講演会の実施回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	9	回	目標値	16	17	18	19	20
							実績値	8				
						%	達成率	50.0				
	2	各種審議会等委員の女性登用率	各種審議会・委員会等委員の女性登用状況調査（毎年実施）	☑ 総合戦略 ☑ 個別計画	34.5	%	目標値	38	41	44	47	50
							実績値	36.4				
						%	達成率	95.8				
D 成果指標	1	社会全体において男女が平等と感じる割合	令和7年度に実施する市民意識調査（5年に1度実施）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	17.5	%	目標値					30
							実績値					
						%	達成率					
	2	「男は仕事、女は家庭」という考え方に同調しない人の割合	令和7年度に実施する市民意識調査（5年に1度実施）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	72.1	%	目標値					75
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	18 点 ／25点	5 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため市民講座等が計画していたにも関わらず、中止せざるを得ない状況があった。 今後は、感染症の情勢を見ながら対策を講じつつ、啓発活動を継続する。 また、令和3年度はパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入を控え事業説明や研修を多く行っている。 引き続き、繰り返し研修等を行うことと、あらゆる場面で男女共同参画の視点を持つためにも、参加者が固定化しないよう様々な団体等に働きかけていく必要がある。	第2次基本計画（改訂版）の施策を着実に実行するため、市民や各団体等を対象に、より効果的な啓発事業を実施するとともに、関係課が連携し、調整・協議を行いながら取り組みを推進していく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
48001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事 業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	地域交流事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 378 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政 策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	10
実費弁償	4
消耗品費	12
通信運搬費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 自立支援等のための訪問活動を実施し地域福祉の推進を図る 休日開館や各種クラブ活動、レクリエーション、教養、文化活動等各種講座を開催し、地域住民相互の交流･促進を図る ・相談事業（随時） ・交流促進講座（ヨガ教室）４回開催予定 ・児童館児童と地区住民の交流 甘藷植付け収穫体験 植付け体験　令和３年６月３０日予定 収穫体験 おいも収穫祭　令和３年１１月２０日予定 ・休日等開館　２４日開館予定	R3	・交流促進ヨガ教室（4回 延べ272人） ・地域交流促進事業（甘藷植付け及び収穫体験、おいも収穫祭 延べ132名） ・休日開館（25日）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	36	27			9
当初予算	36	27			9
決 算 額	32	2			30
R４計画	36	27			9
当初予算	134	100			34
決 算 額					
R５計画	36	27			9
当初予算					
決 算 額					
R６計画	36	27			9
当初予算					
決 算 額					
R７計画	36	27			9
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	180	135			45
当初予算	170	127			43
決 算 額	32	2			30

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 広報啓発活動	隣保館だよりの発行回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
	2 参加者数	交流事業の参加者数（甘藷植付け収穫体験、おいも収穫祭）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	130	人	目標値	120	120	120	120	120
						実績値	132				
					%	達成率	110.0				
D 成果指標	1 発行回数	事業普及のため隣保館だより発行回数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
	2 参加者数	地域交流促進のため休日開館を含む交流事業の参加者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	130	人	目標値	120	120	120	120	120
						実績値	138				
					%	達成率	115.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
仮事務所への移転、コロナ禍の影響で縮小したり実施出来なかった事業もあった。4年度においても状況に応じて事業を推進する。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、相談事業や交流事業を進めることで顕在化する人権課題に対応できるよう差別のない社会を目指していく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
48001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事 業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	調査研究事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 378 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査研究事業謝礼金	84
実費弁償	6
消耗品費	22
通信運搬費	3

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 専門的知識のある有識者を活用し、基礎となるデータ収集を行うとともにあらゆる隣保館事業の基礎となる地域の実態把握するため地域住民の生活の実態を調査し、生活の改善向上を図る ・社会調査及び研究事業調査研究会３回開催予定 ・地域の実情に応じた実態調査の実施	R3	調査研究会（1回） 相談（388回）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	115	86			29
当初予算	115	86			29
決 算 額	25	14			11
R４計画	115	86			29
当初予算	157	117			40
決 算 額					
R５計画	115	86			29
当初予算					
決 算 額					
R６計画	115	86			29
当初予算					
決 算 額					
R７計画	115	86			29
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	575	430			145
当初予算	272	203			69
決 算 額	25	14			11

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	社会調査及び研究事業調査研究会の開催回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	50.0				
	2 相談件数	来館・訪問等による受付件数	□ 総合戦略 □ 個別計画	480	回	目標値	480	480	480	480	480
						実績値	388				
					%	達成率	80.8				
D 成果指標	1 利用者延べ人数	人権啓発の拠点活動利用者数（令和７年度）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		人	目標値	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000
						実績値	1,068				
					%	達成率	106.8				
	2 相談件数	定期訪問活動回数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値	600	600	600	600	600
						実績値	653				
					%	達成率	108.8				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	22 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
調査研究会を1回実施した。今後も資料の収集などに時間を要することが見込まれる。 相談事業については、2年度は給付金申請に関する相談が多かったが、3年度は健康相談が7割を占めている。単身高齢者などへの重点的な訪問をするなど、今後も地域の状況を把握し、適確な支援に繋げていくことが必要と考えられる。	相談事業や調査研究事業は、隣保館事業の軸となるものであり本事業の必要性は非常に高い。実態調査については地域と協議しながら実施に向けて取り組む必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
48001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	ふれあい教室事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 378 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	180
消耗品費	51
通信運搬費	40
自動車等借上料	77

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各種体験活動を通して住民相互の交流の促進を図る ・ふれあい教室（４教室） 料理教室・絵手紙教室・実用書道教室 手編み教室　５月から１０回開催予定	R3	・ふれあい教室事業（4教室32回 210人）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	377	283			94
当初予算	377	283			94
決算額	258	16			242
R４計画	377	283			94
当初予算	384	288			96
決算額					
R５計画	377	283			94
当初予算					
決算額					
R６計画	377	283			94
当初予算					
決算額					
R７計画	377	283			94
当初予算					
決算額					
計画額	1,885	1,415			470
当初予算	761	571			190
決算額	258	16			242

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	ふれあい教室の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	33	回	目標値	40	40	40	40	40
						実績値	32				
					%	達成率	80.0				
	2 参加者数	ふれあい教室の参加者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	250	人	目標値	230	230	230	230	230
						実績値	210				
					%	達成率	91.3				
D 成果指標	1 参加者数	ふれあい教室の参加者数（令和７年度）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	250	人	目標値	230	230	230	230	230
						実績値	210				
					%	達成率	91.3				
	2 アンケート結果	アンケート調査から習熟度、満足度の割合	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	70				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	22 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍の影響で予定通りに実施できなかったが、継続して参加する方が多かった。参加者を対象に実施した人権学習では意識の高さを確認できた。今後も人権啓発及び交流の推進のため、参加者の要望にも対応しながら事業を継続する。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、隣保館設置目的を踏まえ人権啓発と交流促進事業の推進が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
48001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	出前隣保館事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 378 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	178
実費弁償	25
消耗品費	16
通信運搬費	6

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 教養、娯楽、保健福祉、軽スポーツ等通して高齢者の健康保持や人権意識の高揚及び住民交流を図ることを目的とし開催 民間保健師による健康相談、血圧測定等を実施 ・出前隣保館（２地区集会所）、まちなかサロン（隣保館） ５月から１０回開催予定 ・合同交流会 ９月２９日開催予定	R3	出前隣保館事業（2地区16回、隣保館7回、合同交流会1回 延べ138人）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	225	169			56
当初予算	225	169			56
決 算 額	141	9			132
R４計画	225	169			56
当初予算	220	165			55
決 算 額					
R５計画	225	169			56
当初予算					
決 算 額					
R６計画	225	169			56
当初予算					
決 算 額					
R７計画	225	169			56
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,125	845			280
当初予算	445	334			111
決 算 額	141	9			132

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	出前隣保館、まちなかサロンの開催回数（令和７年度）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	27	回	目標値	27	27	27	27	27
						実績値	24				
					%	達成率	88.9				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	出前隣保館、まちなかサロン参加者数（令和７年度）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	27	27	27	27	27
						実績値	24				
					%	達成率	88.9				
	2 アンケート結果	アンケート調査から習熟度、満足度の割合	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	80				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	22 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍の影響で予定どおりの実施が出来なかったが、今後も相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会など参加者に密着した内容で事業を継続する。	高齢者の人権意識の高揚や住民交流を図るため地域のニーズを適確に把握し効果的な事業推進を進める必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
48001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事 業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館運営事業	実施計画事業	フィールドワーク事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 380 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	10
通信運搬費	35
草刈等委託料	60
燃料費	5

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 相談事業や文化・教育及び人権に関わる学習会を通じて部落差別問題をはじめさまざまな人権課題の解決に取り組む ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 部落差別問題をはじめ広く人権に関する理解を深めるため、日常生活に根ざした啓発活動を行う ・フィールドワーク研修「むらを歩いて」の開催 ・フィールドワーク研修講師団会議の開催 ・隣保館主催人権講座の開催 １０月１４日、２月１５日２回開催予定	R3	・フィールドワーク研修「むらを歩いて」（12回 延べ138人） ・フィールドワーク研修講師団会議（4回）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	113	39		60	14
当初予算	113	39		60	14
決 算 額	27	8			19
R４計画	113	39		60	14
当初予算	193	91		48	54
決 算 額					
R５計画	113	39		60	14
当初予算					
決 算 額					
R６計画	113	39		60	14
当初予算					
決 算 額					
R７計画	113	39		60	14
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	565	195		300	70
当初予算	306	130		108	68
決 算 額	27	8			19

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	フィールドワーク研修及び人権講座開催回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	27	回	目標値	10	20	20	20	20
						実績値	12				
					%	達成率	120.0				
	2 開催回数	フィールドワーク研修講師団会議開催回数	□ 総合戦略 □ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	4				
					%	達成率	133.3				
D 成果指標	1 開催回数	フィールドワーク研修及び人権講座開催回数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値	10	20	20	20	20
						実績値	12				
					%	達成率	120.0				
	2 アンケート結果	フィールドワーク研修及び人権講座アンケート結果で理解が深まった割合（令和７年度末）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		%	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	80				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍の影響及び地域との調整のため、フィールドワーク研修が実施できない期間があった。 今後の事業継続に向けては、地域の理解を進め、フィールドワーク講師団との協議のうえ内容の見直しも検討しながら取り組む。	地域内の現地研修には地域の理解と協力が必要である。内容について見直しを含め検討するとともにフィールドワーク研修講師団と協議しながら慎重に進めていくことが必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
48002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館管理事業	実施計画事業	隣保館管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 382 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
修繕料	100
隣保館施設管理委託料	724
施設警備委託料	200
自家用電気工作物保安管理委託料	159

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む 隣保館の維持及び修繕を実施し建物の管理に関する業務や貸館を行う ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 隣保館解体工事に伴い令和３年９月１日から仮事務所へ移転予定のため効率的な移転対策を行う 移転後、貸館事業は一時中止となるが、よりきめ細かな人権啓発、交流機会の推進を図る ・施設管理及び修繕 ・施設管理委託	R3	隣保館解体工事に伴い令和３年９月１日から仮事務所へ移転 ・施設警備委託
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,235	75		120	1,040
当初予算	1,235	75		120	1,040
決 算 額	441	35		5	401
R４計画	1,235	75			1,160
当初予算	282	75			207
決 算 額					
R５計画	1,235	75		30	1,130
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,235	75		30	1,130
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,235	75		30	1,130
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,175	375		210	5,590
当初予算	1,517	150		120	1,247
決 算 額	441	35		5	401

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 人権啓発、交流機会の推進	隣保館数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	館	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5,270	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
						実績値	1,068				
					%	達成率	106.8				
D 成果指標	1 人権啓発、交流機会の推進	隣保館数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		館	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 人権啓発、交流機会の推進	利用者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
						実績値	1,068				
					%	達成率	106.8				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
隣保館解体工事に伴い令和３年９月１日から仮事務所へ移転したため、貸館事業は一時中止。公民館施設も利用しながら人権啓発、交流機会の推進を図った。 今後は新しい施設となり規模が縮小となるため、これまでよりも利用者が少なくなることが見込まれる。利用者数の目標について検討を要する。	人権啓発、交流機会の拠点施設として、仮事務所ではあるが事業が停滞することのないよう隣保館の維持、建物の管理を行う必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4 縮小

（様式１）

事業番号	枝番
48003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事 業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館改修事業	実施計画事業	隣保館改修事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 379 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
隣保館解体工事請負費	75,000
隣保館解体工事設計委託料	3,000
測量調査委託料	1,694
隣保館仮事務所改修工事請負費	1,300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む。 隣保館はコミュニテイセンターを併設した施設として昭和５８年に開設され活用してきたが老朽化に伴い、解体工事を施工し、令和４年度新隣保館建築 隣保館事業の推進と利用者の処遇の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 隣保館改修に伴う建物等解体工事設計及び解体工事を行う 隣保館解体工事 隣保館仮事務所改修工事 隣保館解体工事設計委託 測量調査委託	R3	・解体工事設計委託 ・解体工事請負費 ・仮事務所改修工事請負費
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	81,525	678	73,400		7,447
当初予算	81,525	678	73,400		7,447
決 算 額	31,490		27,000		4,490
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	81,525	678	73,400		7,447
当初予算	81,525	678	73,400		7,447
決 算 額	31,490		27,000		4,490

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 審議会開催回数	隣保館運営審議会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2			
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 協議回数	関係機関等との協議回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	回	目標値	3	3			
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 進捗状況	工程表の進捗度	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		事業	目標値	1	1			
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	5 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
解体工事については、作業工程の変更などがあったため、3年度中に終了することが出来ず、4年度への繰越しとなった。仮事務所への移転については、令和3年9月より業務を行うことが出来た。	移転に伴う工事等は計画どおりに進めることができたが、解体工事については、作業工程等変更に伴い3年度中には完了せず繰越事業となる。解体工事から建設工事まで4年度中に完了するよう取り組む必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
48004	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	人権・部落差別解消推進課	係名	隣保館係

事 業	隣保館管理運営事業	細事業	隣保館建設事業	実施計画事業	隣保館建設事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 382 ）

会計	一般
款	3
項	1
目	5
決算	55

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画 94 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市人権教育・啓発基本計画（改定版） 期間 H29 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
工事設計委託料	11,333
地質調査業務委託料	2,336

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 第２種社会福祉事業の施設である隣保館として、人権・福祉のまちづくりの拠点となるよう地域に密着した運営活動に取り組む。 隣保館はコミュニテイセンターを併設した施設として昭和５８年に開設され活用してきたが老朽化に伴い、解体工事を施工し、令和４年度新隣保館建築 隣保館事業の推進と利用者の処遇の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 隣保館新築に伴う実施設計委託及び地質調査委託を行う	R3	工事設計委託
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	13,669		10,700		2,969
当初予算	13,669		10,700		2,969
決 算 額	5,223		5,000		223
R４計画	155,000	73,125	77,700		4,175
当初予算	163,823	73,125	72,800	3,000	14,898
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	168,669	73,125	88,400		7,144
当初予算	177,492	73,125	83,500	3,000	17,867
決 算 額	5,223		5,000		223

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 協議回数	関係機関等との協議回数	□ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値	3	3			
						実績値	2				
					%	達成率	66.7				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 進捗状況	工程表の進捗度	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		事業	目標値	1	1			
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	20 点 ／25点	5 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新しい隣保館建設にあたっては、部落解放同盟豊後大野支部に事業の説明を行い、隣保館運営審議会においても説明を行った。そのなかで出された意見の中で対応が可能なものについては、反映できるよう今後協議を行う。 解体工事の工期が伸びており、終了次第、建設に着手できるよう事務を進める。	補助金事業であるため県と協議をしながら早期に建設工事に着手。令和4年度末完成、令和5年度当初より新隣保館において業務開始できるよう事業を進める必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
50001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人福祉総務事業	細事業	はり、きゅう治療費助成金	実施計画事業	はり、きゅう治療費助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 144 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
目	1	後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	57		

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
はり、きゅう治療費助成金	3,200
印刷製本費	33
通信運搬費	6

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ はり、きゅう、マッサージの施設を利用する者の経費を助成することにより、健康保持と福祉増進に寄与する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・利用券交付申請者に対し「はり、きゅう等施設利用券」交付 ・指定施術担当者からの、助成金請求書に基づき支払を行う	R3	70歳以上高齢者数は、令和4年3月末現在で12,233人であり、うち7.0%に当たる857人が、はり・きゅう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,770回÷857人)であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,239			791	2,448
当初予算	3,239			791	2,448
決 算 額	2,804			650	2,154
R４計画	3,239			791	2,448
当初予算	3,238			669	2,569
決 算 額					
R５計画	3,239			791	2,448
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,239			791	2,448
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,239			791	2,448
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	16,195			3,955	12,240
当初予算	6,477			1,460	5,017
決 算 額	2,804			650	2,154

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実利用者数	年間申請者数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	805	人	目標値	900	900	900	900	900
						実績値	857				
					%	達成率	95.2				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
70歳以上高齢者の7.0%に当たる857人が、はり・きゅう治療費助成金を利用したことから、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考える。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、積極的に広報をすることにより、年間利用者数の増加に努めたい。	70歳以上高齢者の7.0%に当たる857人が、はり・きゅう治療費助成金を利用したことから、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考えるが、健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、積極的に広報をすることにより、年間利用者数の増加に努める必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
50002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	老人福祉総務事業	細事業	敬老祝品支給事業	実施計画事業	敬老祝品支給事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 152 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	1
決算	57

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	③生きがいづくりを推進する
後期基本計画 44 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
記念品第	800
敬老祝品配送業務委託料	286
消耗品費	136
通信運搬費	7

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を支給することにより長寿を祝福し敬老の意を表す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・80歳祝品：基準日（9/1）において80歳に達した方に対し、800円相当の祝品を送付する。 ・100歳祝品：100歳の誕生日を迎えた方に対し、10000円相当の祝品と祝辞を持参する。	R3	80歳に達した481人に三重総合高校のジャムセット（お祝いメッセージ入り）を送付し、100歳に達した32人に羽毛布団と祝辞を持参した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,229				1,229
当初予算	1,229				1,229
決 算 額	1,009				1,009
R４計画	1,229				1,229
当初予算	1,314				1,314
決 算 額					
R５計画	1,229				1,229
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,229				1,229
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,229				1,229
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,145				6,145
当初予算	2,543				2,543
決 算 額	1,009				1,009

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 80歳到達者	前年度の9/2以降の80歳到達から、当該年度の基準日（9/1）において80歳に達した方の人数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	476	人	目標値	490	500	500	500	500
						実績値	481				
					%	達成率	98.2				
	2 100歳到達者	当該年度において100歳の誕生日を迎えられた方の人数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	39	40	目標値	40	40	40		
						実績値	32				
					%	達成率	80.0				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっている。高齢者世帯数は、令和4年3月末現在で7,319世帯、全体の46%を超え年々増加している。高齢者の健康保持や生きがいづくりのため、今後も80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を贈呈する。	長寿を祝う本事業は、高齢者福祉の目的である生きがいや喜びに繋がっており、今後も80歳及び100歳に到達した高齢者に対して、敬老祝品を贈呈する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
50003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	老人福祉総務事業	細事業	ねんりんピック	実施計画事業	ねんりんピック事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 152 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	1
決算	57

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	③生きがいづくりを推進する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
自動車借上料	176
食糧費	102
通信運搬費	11

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 様々な分野で参加することができる「豊の国ねんりんピック」に参加することで、高齢者の生きがいづくりと地域活動の仲間づくりを目指す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞	R3	豊の国ねんりんピックに係る関係団体打合せ会議の参加や参加申込の集約など、大会に向け準備を進めていたが、コロナ禍の影響により、大会すべてが中止となった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	289				289
当初予算	289				289
決 算 額	4				4
R４計画	289				289
当初予算	289				289
決 算 額					
R５計画	289				289
当初予算					
決 算 額					
R６計画	289				289
当初予算					
決 算 額					
R７計画	289				289
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,445				1,445
当初予算	578				578
決 算 額	4				4

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	参加協議団体数	参加協議団体数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	14	団体	目標値	15	15	15	15	15
							実績値					
						%	達成率					
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
							実績値	83.4				
						%	達成率	100.5				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
様々な競技に参加することができるねんりんピックは、今後も広く広報するとともに、参加についても支援が必要である。高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。ここ数年連続で開催が中止となっているため、競技団体の役員交代などにより、参加要請がスムーズに行えない。また、大会事務局が示す参加要請数に満たない競技がある。このため、大会開催の周知、競技団体への参加要請を早めに行う。	大会に向け準備を進めていたが、コロナ禍の影響により、大会すべてが中止となったが、高齢者の豊かな技術等を発揮できる場づくりの充実のため、今後も事業の継続が必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
50004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人福祉総務事業	細事業	権利擁護事業	実施計画事業	権利擁護対応専門相談事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	1
決算	57

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画 44 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
権利擁護対応専門相談事業委託料	88

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、困難事例の専門職への相談や、関係機関等の対応力向上のための研修に対する講師派遣依頼を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会開催時における講師依頼を行う。 ・高齢者虐待等における困難事例対応のため、「大分高齢者虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）」の派遣依頼を行う。	R3	高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、大分高齢者虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）による講演を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	88				88
当初予算	88				88
決 算 額	22				22
R４計画	88				88
当初予算	88				88
決 算 額					
R５計画	88				88
当初予算					
決 算 額					
R６計画	88				88
当初予算					
決 算 額					
R７計画	88				88
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	440				440
当初予算	176				176
決 算 額	22				22

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	虐待防止ネットワーク連絡会の開催回数	虐待防止ネットワーク連絡会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者虐待等における困難事例対応のため、今後も大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。また、高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、今後も大分高齢者虐待対応専門職チームに講師派遣依頼を行う。	高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を開催し、大分高齢者虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）による講演を行った。 高齢者虐待等における困難事例対応のため、今後も大分県高齢者虐待対応専門職チームへの派遣依頼は必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
50004	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	老人福祉総務事業	細事業	権利擁護事業	実施計画事業	成年後見支援センター委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	1
決算	57

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
成年後見支援センター委託料	4,339

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 「成年後見制度の利用の促進に関する法律」に基づき、法基本計画で示される中核機関として成年後見支援センターを設置し、認知症高齢者や精神・知的障がい等で判断能力が不十分な方々の相談に応じるとともに、地域の関係機関とのネットワークの構築を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・豊後大野市成年後見支援センターを設置し、豊後大野市社会福祉協議会に委託する。 ・市民後見人養成講座を開催し市民後見人の育成及び支援を行い、後見活動の新たな担い手等の確保を目指す。	R3	豊後大野市成年後見支援センターを設置し、豊後大野市社会福祉協議会に委託した。主な活動は、相談業務34件、申立支援2件、市民後見人養成講座８回、運営協議会2回、担当者会議11回であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,339	743			3,596
当初予算	4,339	743			3,596
決 算 額	3,073	594			2,479
R４計画	4,339	743			3,596
当初予算	7,345	1,567			5,778
決 算 額					
R５計画	4,339	743			3,596
当初予算					
決 算 額					
R６計画	4,339	743			3,596
当初予算					
決 算 額					
R７計画	4,339	743			3,596
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	21,695	3,715			17,980
当初予算	11,684	2,310			9,374
決 算 額	3,073	594			2,479

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市民後見人養成講座修了者	過去の実績から算出	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	人	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	11				
					%	達成率	220.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
成年後見支援センターを設置し、制度の周知や相談体制の充実に取り組んだ。判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要である。相談を受ける中で、成年後見制度への関心は高いが、具体的な内容については理解がなく、今後も地域や団体等での学習の機会を利用して、知識の普及・啓発に努めます。	成年後見支援センターを社会福祉協議会に委託し設置した。判断能力が不十分な認知症高齢者等が財産管理等の必要性がある場合、成年後見制度などを利用しながら住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、成年後見支援センターは重要であり、そのための制度の周知や相談体制の充実に取り組むなどの事業が行えた。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
50005	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人福祉総務事業	細事業	老人福祉事務費	実施計画事業	老人福祉事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
目	1	後期基本計画	44 P　☐ 過疎計画　☐ 総合戦略　☐ コロナ充当
決算	57		

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域福祉基金積立金	874
燃料費	100
修繕料	94
自動車損害保険料	22

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ・地域福祉基金利子積立 ・公用車維持管理 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・地域福祉基金利子積立 ・公用車維持管理	R3	地域福祉基金の定期預金利息648,093円を積み立てた。 所管する公用車1台の維持管理として、車検等を適正に行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,116			874	242
当初予算	1,116			874	242
決算額	813			648	165
R４計画	1,116			874	242
当初予算	1,015			839	176
決算額					
R５計画	1,116			874	242
当初予算					
決算額					
R６計画	1,116			874	242
当初予算					
決算額					
R７計画	1,116			874	242
当初予算					
決算額					
計画額	5,580			4,370	1,210
当初予算	2,131			1,713	418
決算額	813			648	165

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市地域福祉基金条例第4条に基づき運用益金の処理を行った。また、一般介護予防事業に使用している所管する公用車1台の維持管理を行った。今後も適正に事務事業を行う。	公用車1台の維持管理をおこなうなど、適正な事務事業を行えた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅老人福祉事業	実施計画事業	老人クラブ補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 152 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	③生きがいづくりを推進する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
老人クラブ補助金	7,921

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 健康づくり、学習活動、社会奉仕活動等を通じて、その知識や経験を活かして地域豊かにする社会活動に取組んでいる老人クラブの活動を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・豊後大野市老人クラブ連合会への補助金交付 ・豊後大野市単位老人クラブへの補助金交付 ・老人クラブの加入促進のため、広報等に取組む	R3	老人クラブ連合会の地域助け合い事業及び健康づくり事業、体制強化事業並びに単位老人クラブ(81クラブ)に対し、経費の一部を助成し、老人クラブ会員相互の親睦と高齢者の福祉増進を図った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	7,921	5,280			2,641
当初予算	7,921	5,280			2,641
決 算 額	6,730	4,320			2,410
R４計画	7,921	5,280			2,641
当初予算	7,540	5,026			2,514
決 算 額					
R５計画	7,921	5,280			2,641
当初予算					
決 算 額					
R６計画	7,921	5,280			2,641
当初予算					
決 算 額					
R７計画	7,921	5,280			2,641
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	39,605	26,400			13,205
当初予算	15,461	10,306			5,155
決 算 額	6,730	4,320			2,410

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 老人クラブ数	老人クラブ数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	86	クラブ	目標値	86	86	86	86	86
						実績値	81				
					%	達成率	94.2				
	2 市報等広報掲載回数	市報等広報掲載回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
						実績値	83.4				
					%	達成率	100.5				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じて、生きがいづくりを目指すことはもとより、地域の支え合い活動を担うべく老人クラブの活動は、ますます重要になっている。このため、今後も事業の継続が必要である。クラブ数、加入率ともに減少傾向にあるため、積極的に広報することにより、加入者の増加に努めたい。	自身の健康保持、教養を高める学習活動、社会奉仕活動等を通じての生きがいづくりなど、地域の支え合い活動を担うべく老人クラブの活動は重要であり、そうした活動への補助など行えているが、クラブ数、加入率ともに減少傾向にあるなど課題は多い。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅高齢者住宅改造助成事業	実施計画事業	在宅高齢者住宅改造助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 144 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
目	2	後期基本計画	44 P　☐ 過疎計画　☑ 総合戦略　☐ コロナ充当
決算	58		

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
在宅高齢者住宅改造助成事業補助金	1,998
通信運搬費	3

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高齢者の自立を支援し、介護者の負担軽減を図るために、居住する住宅を改造する必要があると認められる高齢者に対し、改造工事を行う場合に必要な費用の一部を助成する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・在宅高齢者住宅改造助成事業 ・申請書類の審査 ・補助金の交付決定 ・工事の進捗管理 ・対象者への補助金助成 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助金交付要綱に基づき処理する。	R3	段差解消5件、便器取替1件、手すり取付1件の改造工事費用の一部を助成した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,001	999			1,002
当初予算	2,001	999			1,002
決算額	1,625	812			813
R４計画	2,001	999			1,002
当初予算	2,000	999			1,001
決算額					
R５計画	2,001	999			1,002
当初予算					
決算額					
R６計画	2,001	999			1,002
当初予算					
決算額					
R７計画	2,001	999			1,002
当初予算					
決算額					
計画額	10,005	4,995			5,010
当初予算	4,001	1,998			2,003
決算額	1,625	812			813

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用物件数	予算の範囲内	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	8	件	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	7				
					%	達成率	140.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるようにするため、今後も高齢者の自立を支援し、介護者の負担の軽減を図る。	段差解消5件、便器取替1件、手すり取付1件の改造工事補助が実施できた。 今後も高齢者の自立を支援し、介護者の負担の軽減を図り、高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるよう事業の周知を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	在宅老人福祉事業	細事業	緊急通報装置設置事業	実施計画事業	緊急通報装置設置事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 144 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
緊急通報サービス利用事業委託料	472
手数料	424
通信運搬費	25

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ひとり暮らし高齢者等に対して緊急通報装置を通した見守りサービスを提供することにより、急病・事故等の際における不安感の緩和を図り、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・市報等で周知を行う。 ・委託事業者との契約及び支払事務等 ・利用者からの申請に基づき決定、廃止等 ・電波法の改正により使用不能となる機器の交換	R3	ひとり人暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応した。実利用者は109人、日常生活の相談は26件、緊急通報は4件であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	921			896	25
当初予算	921			896	25
決算額	469			320	149
R４計画	921			896	25
当初予算	527			495	32
決算額					
R５計画	921			896	25
当初予算					
決算額					
R６計画	921			896	25
当初予算					
決算額					
R７計画	921			896	25
当初予算					
決算額					
計画額	4,605			4,480	125
当初予算	1,448			1,391	57
決算額	469			320	149

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 新規利用者数	新規利用者数の推移による数値	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	8	人	目標値	15	15	15	15	15
						実績値	15				
					%	達成率	100.0				
	2 実利用者数	実利用者数の推移による数値	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	111	人	目標値	110	110	110	110	110
						実績値	109				
					%	達成率	99.1				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コールセンターによる24時間365日の体制で日常生活の相談から毎日の安否確認等も行っており、在宅生活を送るうえでの安心感に繋がっているため、今後も事業の継続が必要である。緊急時に駆けつけることのできる近隣者の協力支援も必要であることから、今後も事業内容の理解のために周知を行う。	ひとり人暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応できた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	在宅老人福祉事業	細事業	在宅老人福祉事業（委託事業分）	実施計画事業	へき地サロン送迎事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 152 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	③生きがいづくりを推進する
後期基本計画 44 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
在宅老人福祉事業委託料	224
通信運搬費	2

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ へき地で開催されるサロンに参加するため移動する方法を支援することにより、要介護状態になることを予防し、地域社会において自立した生活が送ることができる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・僻地サロン送迎事業 ・対象者への利用券の交付 ・事業者からの請求に基づく支払 ・タクシー事業者委託契約事務	R3	へき地で開催されるサロンに参加するため、タクシーによる送迎を延べ利用者51名に行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	226			224	2
当初予算	226			224	2
決 算 額	119			100	19
R４計画	226			224	2
当初予算	226			224	2
決 算 額					
R５計画	226			224	2
当初予算					
決 算 額					
R６計画	226			224	2
当初予算					
決 算 額					
R７計画	226			224	2
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,130			1,120	10
当初予算	452			448	4
決 算 額	119			100	19

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施サロン数	実施サロン数	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	箇所	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 延べ利用者数	延べ利用者数	□ 総合戦略 □ 個別計画	47	人	目標値	60	60	60	60	60
						実績値	51				
					%	達成率	85.0				
D 成果指標	1 サロンの開催回数	サロンの開催回数（2箇所合計）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	13	回	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	13				
					%	達成率	65.0				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業の廃止に向けて、地域住民の支え合い活動によりサロン送迎ができないかと、地域振興協議会と協議・検討を行っている。	要介護状態になることを予防し、地域社会において自立した生活が送ることができるよう、へき地で開催されるサロンに参加するため移動すの支援を行っているが、事業の廃止に向けて、地域住民の支え合い活動によりサロン送迎ができないかと、地域振興協議会と協議・検討を行っている。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	E.廃 止

（様式１）

事業番号	枝番
51007	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	在宅老人福祉事業	細事業	配食サービス事業	実施計画事業	配食サービス事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 144 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
配食サービス委託料	29,000
通信運搬費	85
印刷製本費	83

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで地域での生活を支援する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・配食サービス事業申請の受付・審査・決定・変更・廃止等 ・配食サービス事業所からの請求に基づく支払 ・配食サービス事業所指定事務 ・配食サービス事業所委託契約事務	R3	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者239名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	29,168		27,500		1,668
当初予算	29,168		27,500		1,668
決 算 額	27,858		25,100		2,758
R４計画	29,168		27,500		1,668
当初予算	29,168		27,500		1,668
決 算 額					
R５計画	29,168		27,500		1,668
当初予算					
決 算 額					
R６計画	29,168		27,500		1,668
当初予算					
決 算 額					
R７計画	29,168		27,500		1,668
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	145,840		137,500		8,340
当初予算	58,336		55,000		3,336
決 算 額	27,858		25,100		2,758

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実利用者数	実利用者数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	390	人	目標値	400	400	400	400	400
						実績値	239				
					%	達成率	59.8				
	2 利用食数	利用食数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	66,807	食	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
						実績値	67,672				
					%	達成率	96.7				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市周辺部及び山間部においては、過疎・高齢化により、自分で料理をすることが困難で、かつ、買い物も不自由な高齢者がいる。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。自立または改善の可能性が高い高齢者に対しての支援のあり方や総合事業との連携を検討していく。	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。 在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	在宅老人福祉事業	細事業	高齢者世帯リフォーム支援事業	実施計画事業	高齢者世帯リフォーム支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 144 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
高齢者世帯リフォーム支援事業補助金	600

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高齢者の暮らしの安全確保のためバリアフリー改修工事等行った住宅の所有者に対し、規定の補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・市報、市ＨＰ及び市内居宅支援事業所への周知 ・申請受付・審査・決定通知等、補助金交付要綱に基づき処理する。 ・県補助金の申請、請求、実績報告等、補助金交付要綱に基づき処理する	R3	高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	600	300			300
当初予算	600	300			300
決 算 額	200	100			100
R４計画	600	300			300
当初予算	600	300			300
決 算 額					
R５計画	600	300			300
当初予算					
決 算 額					
R６計画	600	300			300
当初予算					
決 算 額					
R７計画	600	300			300
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,000	1,500			1,500
当初予算	1,200	600			600
決 算 額	200	100			100

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用物件数	予算の範囲内	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	50.0				
	2 市報等広報回数	市報等広報回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者のいる世帯に対しバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要である。今後も広報及びパンフレットを窓口に設置することにより、利用者の増加に努めたい。	高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。暮らしの安全確保や住環境の向上を図るため、今後も事業の継続が必要であるが、事業の周知等が必要である。今後も広報及びパンフレットを窓口に設置することにより、利用者の増加に努めたい。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51010	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	地域包括ケア推進係

事業	在宅老人福祉事業	細事業	認知症予防推進対策事業	実施計画事業	認知症高齢者個人賠償責任保険事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 144 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
認知症高齢者個人賠償責任保険	232

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とすることで、安心した在宅生活を送れるようにすること。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 随時、保険対象者の受付を行う。	R3	令和4年3月末の登録者は78名で、前年度より６名の増加。年度内の異動内訳は新規加入12名、廃止６名である。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	232			230	2
当初予算	232			230	2
決 算 額	142			141	1
R４計画	232			230	2
当初予算	232			230	2
決 算 額					
R５計画	232			230	2
当初予算					
決 算 額					
R６計画	232			230	2
当初予算					
決 算 額					
R７計画	232			230	2
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,160			1,150	10
当初予算	464			460	4
決 算 額	142			141	1

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 保険対象者の数	豊後大野市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画での保険対象者の目標設定をしている。	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	74	人	目標値	70	75	80	85	90
						実績値	78				
					%	達成率	111.4				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業開始から3年が経過したが、事故等は起きておらず、保険の請求も０件である。 また、啓発の効果で少しずつであるが加入者は増えている状況である。 本事業は、第8期介護保険事業計画の認知症施策における基本目標である「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を実現するために重要な事業であると考える。 今後も他の認知症施策と併せて啓発を行ない、加入者の増大に努めたい。	認知症高齢者と介護家族の方が安心した在宅生活を送れるために必要な事業であり、加入者も増えている状況から順調に事業が行われている。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51010	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	地域包括ケア推進係

事 業	在宅老人福祉事業	細事業	認知症予防推進対策事業	実施計画事業	認知症カフェ運営事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 147 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
認知症カフェ運営事業委託料	2,230

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ WHOによると、認知症予防（認知症の進行を遅らせること）には他者との交流が有効とされ、令和元年６月に閣議決定された「認知症施策推進大綱」においても、認知症カフェの普及が明記されています。 本市においても認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口とするため、認知症カフェを設置します。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 認知症カフェを設置し、毎週１日以上の開設を行います。	R3	コロナ禍の影響で、長らく開催を見合わせており、再開後も感染症対策として参加数の調整でを行い、毎週水曜日の週1回の開催、参加者は２班に分け、隔週で参加と制限を設けて実施し、年間で参加者７９８人とスタッフ７７９人の参加であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,230			2,220	10
当初予算	2,230			2,220	10
決 算 額	1,929			1,900	29
R４計画	2,230			2,220	10
当初予算	2,230			2,230	
決 算 額					
R５計画	2,230			2,220	10
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,230			2,220	10
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,230			2,220	10
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,150			11,100	50
当初予算	4,460			4,450	10
決 算 額	1,929			1,900	29

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	認知症カフェの参加者延べ人数	市が委託している「カフェひなたぼっこ」の延べ利用者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	771	人	目標値	800	800	800	800	800
							実績値	798				
						%	達成率	99.8				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	認知症カフェのスタッフ延べ人数	認知症カフェの参加者が増加することに伴い、ボランティアスタッフの増加も見込まれます。社会の中で役割を持つことが認知症予防に資するとされるため、「カフェひなたぼっこ」におけるスタッフ延べ人数を評価指標とした。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	880	人	目標値	900	900	900	900	900
							実績値	779				
						%	達成率	86.6				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍であるが、感染症対策を施し認知症カフェを開催することで、認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口としての機能を果たすことができた。 本事業は、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた自宅で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割りを持っている。 今後もカフェの開催を継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく。	住み慣れた地域で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所相談窓口として重要な役割りを持っている事業であるが、コロナ禍で事業計画通りに認知症カフェを開催できないこともあったが、感染症対策を施し開催することで、認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口としての機能を果たすことができた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
51013	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	高齢者福祉課	係名	地域包括ケア推進係

事 業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	コミュニティーカフェ運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 147 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	230
講師謝礼金	90
実費弁償	24

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 住み慣れた地域で、高齢者の方がこころとからだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なころから通う地域拠点とする居場所（コミュニティカフェ）の充実を推進します。 地域住民が主体となって週一回の通いの場が、介護予防や高齢者の支え合いを重視し、継続して運営できるように行う ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 現在、各町1か所、計7か所のコミュニティカフェが週１回以上、介護予防等に取り組める場所を、継続して運営できるように支援を行う。	R3	コロナ禍で7か所のカフェが休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行った。 再開時に安心して開催できるように感染症対策の助言や指導などの支援を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	321			321	
当初予算	321			321	
決 算 額	65			31	34
R４計画	321			321	
当初予算	321			321	
決 算 額					
R５計画	321			321	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	321			321	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	321			321	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,605			1,605	
当初予算	642			642	
決 算 額	65			31	34

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	コミュニティカフェの開設数	各町に1か所開設しているコミュニティカフェを継続運営する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	箇所	目標値	7	7	7	7	7
							実績値	7				
						%	達成率	100.0				
	2	コミュニティカフェ参加者延べ人数	７か所のコミュニティカフェの延参加者の実数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4,910	人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
							実績値	5,513				
						%	達成率	110.3				
D 成果指標	1	介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
							実績値	83.4				
						%	達成率	100.5				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

住み慣れた地域で、高齢者の方がこころとからだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なころから通う地域拠点とする居場所（コミュニティカフェ）を各町１か所整備を行ない、継続的に開催できるように支援を行なってきた。
休止期間、閉じこもりがちになった高齢者が多かったとの話も聞き、継続的に開催できる居場所の必要性を確認でき、本事業は高齢者が安心して地域で済み続けるために必要である。
今後は継続して開催できるように支援をするとともに、コミュニティカフェが介護予防の地域拠点として、活動を小地域に広げていくことを視野に入れて支援を行なって行く。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

住み慣れた地域で、高齢者の方がこころとからだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なころから通う地域拠点とする居場所づくりとしてコミュニティカフェの充実を推進しているが、コロナ禍で7か所のカフェが休止と感染症対策を施しての実施を断続的に行うなど、充分な開催が行えない時期もあった。
高齢者が安心して地域で済み続けるために必要な事業であり、現在は安心して開催できるように感染症対策の助言や指導などの支援を行い、全てのカフェが感染症対策を施し再開し、地域の高齢者の居場所として機能している。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
51013	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	サロン等介護予防派遣事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 150 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	③生きがいづくりを推進する
後期基本計画 44 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
サロン等介護予防派遣事業委託料	114

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 社会福祉協議会がいきいきサロン事業に基づいた活動を実施する団体に対し、市社協にボランティア登録している講師等を派遣する際の講師派遣委託を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・登録講師派遣に係る委託料の契約及び支払い	R3	各地区のサロンにボランティア登録講師を24回派遣した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	114			114	
当初予算	114			114	
決 算 額	29			29	
Ｒ４計画	114			114	
当初予算	114			114	
決 算 額					
Ｒ５計画	114			114	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	114			114	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	114			114	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	570			570	
当初予算	228			228	
決 算 額	29			29	

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	講師派遣回数	講師派遣回数（年間）	□ 総合戦略 □ 個別計画	26	回	目標値	50	50	50	50	50
							実績値	24				
						%	達成率	48.0				
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	83.1	83	目標値	83	83	83	83	83
							実績値	83.4				
						%	達成率	100.5				
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
ボランティア登録している講師(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、運動トレーナー、レクレーションインストラクター等)をサロンに派遣し、介護予防に関する知識の普及啓発を行っている。地域において自主的な介護予防に向けた取組みが実施されるため、今後も事業の継続が必要である。コロナ禍の影響により、派遣事業が予定どおり行えなかった。コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努めます。	社会福祉協議会がいきいきサロン事業に基づいた活動を実施する団体に対し、市社協にボランティア登録している講師等を派遣する際の講師派遣委託を行っているが、コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努める必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51013	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	在宅老人福祉事業	細事業	地域包括ケアシステム事業	実施計画事業	サロン事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 150 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	③生きがいづくりを推進する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
サロン事業補助金	1,320

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 要介護及び要支援状態になるおそれのある高齢者が居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、自主的に介護予防活動等を行っている団体に、予算の範囲内において補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している団体に対し、補助金交付要綱に従い補助金を交付する。	R3	豊後大野市自主的介護予防活動等補助金交付要綱に基づき、社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している141団体に対し補助金を交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,320			1,320	
当初予算	1,320			1,320	
決 算 額	696			696	
R４計画	1,320			1,320	
当初予算	1,600			1,600	
決 算 額					
R５計画	1,320			1,320	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,320			1,320	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,320			1,320	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,600			6,600	
当初予算	2,920			2,920	
決 算 額	696			696	

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	サロン数	サロン数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	147	箇所	目標値	145	145	145	145	145
							実績値	141				
						%	達成率	97.2				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	介護認定新規申請者の平均年齢	介護認定新規申請者の平均年齢	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	83.1	歳	目標値	83	83	83	83	83
							実績値	83.4				
						%	達成率	100.5				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域の高齢者が身近なところで気軽に集まることができるサロンは、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が、定期的な交流を通じて生きがいや楽しみを持つことができるよう、また、活動の活性化が図られるよう、今後も事業の継続が必要である。コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化に努めます。	社会福祉協議会が行ういきいきサロン事業に登録している141団体に対し補助金を交付し、高齢者の居場所づくりに後見しているが、コロナ禍の影響、リーダーの高齢化等により存続が難しくなっているサロンも少なくないため、今後も社会福祉協議会と連携しながらリーダー及び後継者の育成強化が必要。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
51015	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	在宅老人福祉事業	細事業	居宅介護用品券交付事業	実施計画事業	居宅介護用品券交付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	2
決算	58

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
居宅介護用品券交付事業費	1,630
印刷製本費	54
消耗品費	53
通信運搬費	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 居宅で家族等から介護を受ける高齢者等の介護用品購入に係る費用に対し、ひと月5,000円の給付券を交付することにより、家族等の経済的負担を軽減するとともに、住み慣れた地域で生活することを支援する。 要介護4以上の要介護高齢者及び家族介護者ともに非課税世帯に属する方が対象。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・申請に基づく、決定・廃止事務等 ・事業所からの請求に基づき支払い	R3	介護用品購入に係る費用に対し、ひと月5,000円の給付券を実利用者30名に交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,787			1,700	87
当初予算	1,787			1,700	87
決 算 額	1,031			900	131
R４計画	1,787			1,700	87
当初予算	2,198			2,100	98
決 算 額					
R５計画	1,787			1,700	87
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,787			1,700	87
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,787			1,700	87
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,935			8,500	435
当初予算	3,985			3,800	185
決 算 額	1,031			900	131

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実利用者数	実利用者数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	217	人	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	30				
					%	達成率	60.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
居宅において要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護高齢者が住み慣れた地域で生活することを支援するため、今後も事業の継続が必要である。令和３年度からは、介護を受ける本人及び家族等が市民税非課税世帯の方を対象とした。	居宅において要介護高齢者の介護を行う家族介護者の経済的負担の軽減と要介護高齢者が住み慣れた地域で生活することを支援するために必要な事業である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
52001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人施設措置事業	細事業	養護老人ホーム措置事業	実施計画事業	老人ホーム入所措置事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般	政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施策	4 高齢者福祉の充実
項	2	施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
目	3	後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	59		

個別計画名	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
老人ホーム入所措置費	103,689

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 居宅において養護を受けることが困難な高齢者を公の責任において養護し、高齢者の生活の安定を確保する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 老人ホーム入所判定審査票を基に入所判定会議で措置の適否を判断しますが、事前に本人、家族、ケアマネ、民生委員及び関係機関等でケース会議を開催し、他に利用できる支援や施設はないか検討する。	R3	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置した。令和4年3月末現在で常楽荘に34人、三国寮に6名を措置している。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	103,689			16,340	87,349
当初予算	103,785			16,340	87,445
決 算 額	78,958			15,524	63,434
R４計画	103,689			16,340	87,349
当初予算	95,330			15,294	80,036
決 算 額					
R５計画	103,689			16,340	87,349
当初予算					
決 算 額					
R６計画	103,689			16,340	87,349
当初予算					
決 算 額					
R７計画	103,689			16,340	87,349
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	518,445			81,700	436,745
当初予算	199,115			31,634	167,481
決 算 額	78,958			15,524	63,434

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 利用施設数	市内施設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	施設	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
環境上の理由及び経済的な理由により、身寄りがなく自力で暮らせない等家庭で生活を続けていくことが困難な高齢者等に対して、今後も必要に応じて養護老人ホームへの入所措置を図っていく。	環境上の理由及び経済的な理由により、身寄りがなく自力で暮らせない等家庭で生活を続けていくことが困難な高齢者等に対して、必要に応じて養護老人ホームへの入所措置を図っていくは必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
54001	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	清川高齢者生活福祉センター指定管理委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	5
決算	61

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
清川高齢者生活福祉センター指定管理委託料	6,400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 平成31年度～令和3年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・高齢者福祉施設管理計画による設備・機器等の更新及び修繕等 ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務	R3	清川高齢者生活福祉センターみつば苑等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在で入居者は4人であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,400			42	6,358
当初予算	6,400			28	6,372
決算額	6,400				6,400
R４計画	6,400			42	6,358
当初予算	6,400				6,400
決算額					
R５計画	6,400			42	6,358
当初予算					
決算額					
R６計画	6,400			42	6,358
当初予算					
決算額					
R７計画	6,400			42	6,358
当初予算					
決算額					
計画額	32,000			210	31,790
当初予算	12,800			28	12,772
決算額	6,400				6,400

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、居宅を提供し福祉の増進を図っており、地域の高齢者を守っていくうえで必要な事業である。。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
54001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	犬飼高齢者生活福祉センター指定管理委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	5
決算	61

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画	44 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画 期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
犬飼高齢者生活福祉センター指定管理委託料	8,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 平成31年度～令和3年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・高齢者福祉施設管理計画による設備・機器等の更新及び修繕等 ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務	R3	犬飼高齢者生活福祉センターふれあい荘等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在で入居者は6人であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,200			28	8,172
当初予算	8,200			42	8,158
決算額	8,200			48	8,152
R４計画	8,200			28	8,172
当初予算	8,200			96	8,104
決算額					
R５計画	8,200			28	8,172
当初予算					
決算額					
R６計画	8,200			28	8,172
当初予算					
決算額					
R７計画	8,200			28	8,172
当初予算					
決算額					
計画額	41,000			140	40,860
当初予算	16,400			138	16,262
決算額	8,200			48	8,152

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、居宅を提供し福祉の増進を図っており、地域の高齢者を守るうえで必要な事業である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
54001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	朝地憩いの村指定管理委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	5
決算	61

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画 44 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
朝地憩いの村指定管理委託料	6,400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 劣悪な住宅環境や高齢による身体虚弱等のため自立した生活には不安があるが、身の周りのことは自分でできる高齢者等に住居を提供する。 平成31年度～令和3年度までの3年間、豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定している。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・高齢者福祉施設管理計画による設備・機器等の更新及び修繕等 ・指定管理先の更新等 ・指定管理料の年度協定締結 ・指定管理料の支払 ・入退居及び負担金徴収等に関する事務	R3	朝地憩いの村居住部門等を豊後大野市社会福祉協議会に指定管理者として指定し、高齢者に住居を提供した。令和4年3月末現在入居者は4人であった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,400			70	6,330
当初予算	6,400			70	6,330
決算額	6,400				6,400
R４計画	6,400			70	6,330
当初予算	6,400				6,400
決算額					
R５計画	6,400			70	6,330
当初予算					
決算額					
R６計画	6,400			70	6,330
当初予算					
決算額					
R７計画	6,400			70	6,330
当初予算					
決算額					
計画額	32,000			350	31,650
当初予算	12,800			70	12,730
決算額	6,400				6,400

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、今後も居宅を提供することにより、福祉の増進を図る。	家族の援助が困難な状況で、独立した生活に不安のある高齢者に対して、居宅を提供し福祉の増進を図っており、地域の高齢者を守るうえで必要な事業である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
54001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	高齢者福祉課	係名	いきいき高齢者係

事 業	老人施設管理事業	細事業	高齢者福祉施設管理事業	実施計画事業	生活支援ハウス事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 148 ）

会計	一般
款	3
項	2
目	5
決算	61

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	4 高齢者福祉の充実
施策展開	②介護予防・地域包括ケアを充実する
後期基本計画 44 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画
	期間 R3 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
朝地憩いの村改修工事請負費	8,039
清川みつば苑ボイラー取替え工事請負費	7,700
犬飼高齢者生活福祉センター改修工事請負費	1,419

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高齢者生活福祉センター（3箇所）の老朽化に伴う施設設備の更新工事等を行い、入居者の安全及び施設の長寿命化を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 施設の長寿命化のため計画的な施設設備の更新工事を行う。	R3	生活支援ハウス改修工事、朝地憩いの村改修工事、犬飼高齢者生活福祉センター改修工事、清川みつば苑ボイラー取替え工事、清川高齢者生活福祉センター改修工事を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	17,543				17,543
当初予算	17,543				17,543
決 算 額	16,913				16,913
R４計画	17,543				17,543
当初予算	34,620	13,000			21,620
決 算 額					
R５計画	17,543				17,543
当初予算					
決 算 額					
R６計画	17,543				17,543
当初予算					
決 算 額					
R７計画	17,543				17,543
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	87,715				87,715
当初予算	52,163	13,000			39,163
決 算 額	16,913				16,913

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
高齢者生活福祉センター（3箇所）の老朽化が進んでおり、修繕や器具の更新が必要になっている。令和2年度に策定した高齢者福祉施設管理計画により、入居者の安全及び施設の長寿命化を図るため、今後計画的な修繕等を行っていく。	高齢者生活福祉センター（3箇所）の老朽化が進んでおり、修繕や器具の更新が必要になっている。令和2年度に策定した高齢者福祉施設管理計画により、入居者の安全及び施設の長寿命化を図るため、今後計画的な修繕等を行っていきたいが、財政的な問題もあり計画的に行うことが難しい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	子育て支援従事者スキルアップ事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 134 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子育て支援事業者スキルアップ事業委託料	400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子どもを安心して育てることができる体制を整備するため、子育て支援従事者のサービスの質の向上研修を実施する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 子育て支援従事者の質の向上を図ることを目的に開催する研修会等を実施する事業者に委託する。	R3	子育て支援従事者のスキルアップを図るための研修を実施した。《放課後児童支援員資質向上研修(4回開催、98人参加)、保育の質の向上研修(1回開催、83人参加)》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	400	200			200
当初予算	400	200			200
決 算 額	375	187			188
R４計画	400	200			200
当初予算	400	200			200
決 算 額					
R５計画	400	200			200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	400	200			200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	400	200			200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,000	1,000			1,000
当初予算	800	400			400
決 算 額	375	187			188

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修開催	研修を開催した回数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	3				
					%	達成率	150.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加人数	研修会への参加人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	215	人	目標値	200	200	200	200	
						実績値	181				
					%	達成率	90.5				
	2 研修内容の理解度	「理解できた」「だいたい理解できた」と回答した人数／参加人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	71.6	%	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	75.5				
					%	達成率	107.9				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度はコロナ禍での研修であったため、参加人数に制限をかけたことから、目標人数を下回った。 研修内容についての理解度は目標を達成できたが、研修内容を検討し、さらに理解度を上げていく必要がある。	子育て支援従事者の資質向上のための研修を、教育保育協議会及び放課後児童クラブ連絡協議会に委託して行い、一定の成果を上げている。 今後においては、研修内容を更に検討し理解度を上げていくよう努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
56005	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	保育所等業務効率化推進事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 136 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保育所等業務効率化推進事業補助金	2,430

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 多様な保育需要に対応するため、認定こども園等や病後児保育施設においてICT化を推進し、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・私立認定こども園のICT等を活用した業務システムの導入に係る経費に対し補助する。 ・私立保育所等が実施する研修をオンラインで受講できる環境をつくるために必要となる経費に対し補助する。 ・病後児施設の業務システム導入に係る経費に対し補助する。	R3	保育所等においてICTを活用した業務支援システムを導入した。《保育所等(1か所)、病児保育施設(3か所)》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,090	1,960			1,130
当初予算	2,430	1,520			910
決 算 額	1,260	840			420
R４計画	3,000	2,000			1,000
当初予算	3,000	2,000			1,000
決 算 額					
R５計画	3,000	2,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,000	2,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,000	2,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	15,090	9,960			5,130
当初予算	5,430	3,520			1,910
決 算 額	1,260	840			420

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業対象となる施設	補助金対象施設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	か所	目標値	5				
						実績値	4				
					%	達成率	80.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助金対象施設件数	補助金件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	か所	目標値	5				
						実績値	4				
					%	達成率	80.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
保育所等に欠席の連絡や保護者への連絡などを行うことのできるソフトの導入や、病児保育のネット予約ができるシステムの導入により業務の効率化を図ることができた。 病児保育のICT化は、令和3年度ですべての施設に導入済みとなったため、今後は、保育所等のICT化のみとなる。	病児保育について、令和3年10月から広域化・ICT化を行い、県内全域で利用しやすいシステムとなり、忙しい保護者にとって一定の成果を上げている。 今後においては、保育所等のICT化導入を支援して、保護者及び事務の軽減を図るために工夫を凝らしたシステム導入に努めていかなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56005	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童福祉総務事業	細事業	児童福祉事務費	実施計画事業	認可外保育施設衛生・安全対策事業補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 136 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	R2 年度 ～ R6 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金	20

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 多様な保育需要に対応するために認可外保育施設において、子どもを安心して育てることができる環境を整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 認可外保育施設を利用する未就学児に対する健康診断を実施するために必要となる経費を補助する。	R3	認可外保育施設を利用する未就学児に健康診断を実施するために必要となる経費に対し補助した。《実施施設1か所》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	20	10			10
当初予算	20	10			10
決 算 額	20	10			10
R４計画	20	10			10
当初予算	20	12			8
決 算 額					
R５計画	20	10			10
当初予算					
決 算 額					
R６計画	20	10			10
当初予算					
決 算 額					
R７計画	20	10			10
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	100	50			50
当初予算	40	22			18
決 算 額	20	10			10

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業対象となる施設	補助金対象施設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		か所	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助件数	補助金件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		か所	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	21 点 ／25点	4 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
認可外保育施設を利用する未就学児に対する健康診断を実施することで、安心して子どもを育てることのできる環境を整備することができた。	認可外保育施設を利用する未就学児に対して健康診断費用の補助をすることで、安心して子どもを育てることのできる環境を整備することができ、一定の成果を上げている。 今後も引き続き、環境整備に努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童福祉総務事業	細事業	子ども・子育て支援総務事業	実施計画事業	子ども・子育て支援総務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子ども・子育て会議委員報酬	180
費用弁償	30
消耗品費	25
託児業務委託料	12

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子ども・子育て会議を開催し、支援事業の進捗状況を確認するとともに、子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、子育てサービスにつながる事業の充実を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 子ども・子育て会議の開催と地域子ども・子育て支援事業数値目標の検証	R3	子ども・子育て会議を2回開催し、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	247				247
当初予算	247				247
決 算 額	145				145
R４計画	250				250
当初予算	408				408
決 算 額					
R５計画	2,400				2,400
当初予算					
決 算 額					
R６計画	250				250
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,500				2,500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,647				5,647
当初予算	655				655
決 算 額	145				145

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	地域子ども・子育て支援事業数値目標の検証	地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」を設定しており、事業が円滑に実施されているか数値目標の検証が必要である。	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	30	事業	目標値	30	30	30	30	30
							実績値	30				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	子ども子育て会議	子ども子育て会議の開催数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	3	2	2	2
							実績値	2				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	21 点 ／25点	4 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「子ども・子育て会議」は、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき設置している機関で、教育・保育の量や提供体制、教育・保育施設の利用定員等に関して意見を聴き、子ども・子育て支援事業計画（キラキラこどもプラン）に反映させている。	「子ども・子育て会議」を開催し、保護者や学識経験者・事業従事者等の意見を聴き、事業数値目標等の検証・協議を行い一定の成果を上げている。 今後においても、子ども・子育て支援事業計画（キラキラこどもプラン）に反映させていくため、教育・保育の量や提供体制等について検証・協議していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	児童福祉総務事業	細事業	ブックスタート支援事業	実施計画事業	ブックスタート支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	R2 年度 ～ R6 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
記念品代	360

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 赤ちゃんが生まれた家庭に絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけを作る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 親子の絆づくりを目的に出産祝品として絵本を保護者に贈呈する。	R3	出産祝い品として絵本を136セット贈呈した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	360			300	60
当初予算	360			300	60
決算額	310			300	10
R４計画	360			300	60
当初予算	360			300	60
決算額					
R５計画	360			300	60
当初予算					
決算額					
R６計画	360			300	60
当初予算					
決算額					
R７計画	360			300	60
当初予算					
決算額					
計画額	1,800			1,500	300
当初予算	720			600	120
決算額	310			300	10

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 絵本購入セット数	絵本購入セット数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	170	セット	目標値	170	170	170	170	170
						実績値	170				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 絵本配布セット数	絵本配布セット数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	160	セット	目標値	160	165	165	170	170
						実績値	136				
					%	達成率	85.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
出生数の減少により令和3年度は136セットの贈呈となったが、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心触れ合う時間を持つきっかけづくりに寄与できた。	乳児家庭全戸訪問の際に保健師が育児指導とともに手渡しており、一定の成果を上げている。 今後においても、赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合う時間のきっかけ作りの支援に努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童福祉総務事業	細事業	子育て世帯リフォーム支援事業	実施計画事業	子育て世帯リフォーム支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ対応

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子育て世帯リフォーム支援事業補助金	3,300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子育て世帯の住宅環境の向上や三世代同居による子育て及び世代間支援を図るため、市内の子育て世帯が行う持ち家の改修工事の一部を補助する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 子育て世帯リフォーム支援事業の周知と改修工事の一部を補助する。	R3	子どものための改修工事等に対し補助した。《子育て支援型1件、三世代同居支援型2件》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,300	1,650			1,650
当初予算	3,300	1,650			1,650
決 算 額	1,800	900			900
R４計画	2,550	1,275			1,275
当初予算	3,300	1,650			1,650
決 算 額					
R５計画	2,550	1,275			1,275
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,550	1,275			1,275
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,550	1,275			1,275
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	13,500	6,750			6,750
当初予算	6,600	3,300			3,300
決 算 額	1,800	900			900

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 相談件数	子育て世帯リフォーム支援事業の相談	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	18	件	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	13				
					%	達成率	65.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助金交付	子育て世帯リフォーム支援事業補助金の交付件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	件	目標値	5	4	4	4	4
						実績値	3				
					%	達成率	60.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
補助金交付件数が目標5件に対し3件となった。これは、補助金申請前に工事が完了した、申請要件を満たす工事ができないなどの理由で申請しなかったことによるものである。	子育て世帯の住宅環境の向上や三世代同居による子育て及び世代間支援を図ることができ、一定の成果を上げている。 今後においては、市民に向けて更に周知を図っていく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56010	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	児童福祉総務事業	細事業	子育てほっとクーポン活用事業	実施計画事業	子育てほっとクーポン活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子育てほっとクーポン交付金	4,391
子育てほっとクーポンシステム保守委託料	132
消耗品費	20
通信運搬費	5

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子育て家庭の経済的負担等の軽減を図るとともに各種子育てサービスなどの利用促進を図るため、クーポンを配布する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ クーポンの配布と利用のあったクーポンの換金を行う。	R3	地域の子育て支援サービスが利用できるクーポンを交付した。《172人、337冊》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,548	2,195			2,353
当初予算	4,548	2,195			2,353
決算額	3,603	1,878			1,725
R４計画	4,548	2,195			2,353
当初予算	4,537	2,190			2,347
決算額					
R５計画	4,548	2,195			2,353
当初予算					
決算額					
R６計画	4,548	2,195			2,353
当初予算					
決算額					
R７計画	4,548	2,195			2,353
当初予算					
決算額					
計画額	22,740	10,975			11,765
当初予算	9,085	4,385			4,700
決算額	3,603	1,878			1,725

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 クーポン交付冊数	クーポン交付冊数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	327	冊	目標値	327	327	327	327	327
						実績値	337				
					%	達成率	103.1				
	2 利用可能サービスの拡充	利用可能サービス数（令和7年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	15	個	目標値	15	16	16	17	17
						実績値	15				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 クーポン換金額	クーポン換金額（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2,197.5	千円	目標値	2,197.5	2,197.5	2,197.5	2,197.5	2,197.5
						実績値	3,447.5				
					%	達成率	156.9				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	21 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度に「おむつ・ミルクの購入」と「産後ケア事業」のサービスを追加した。クーポンの利用実績では、「おむつ・ミルクの購入」が全体の65.2%、「インフルエンザ予防接種」が15.3%を占めた。今後、利用できるサービスや提供者をどう増やしていくかが課題となる。	大分県が実施している「おおいた子育てほっとクーポン」であり、子育て家庭の経済的負担等の軽減を図ることができ、一定の成果を上げている。 今後においては、利用できるサービスや提供者を更に増やしていくことに努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
56013	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童福祉総務事業	細事業	子育て応援券給付事業	実施計画事業	子育て応援券給付事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	63

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子育て応援給付金	7,150
子育て応援券運営業務委託料	1,000
印刷製本費	244
消耗品費	20

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子育てに必要な用品の購入費用等を補助することで子育て家庭の経済的負担を軽減し、市内で安心して子育てができる環境をつくる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 利用可能用品及びサービスの周知と応援券を交付する。	R3	粉ミルクや授乳関連用品など、子育てに必要な用品を購入できる券を発行した。《144人、430冊》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,426			8,000	426
当初予算	8,426			8,000	426
決 算 額	5,962			5,800	162
R４計画	8,426			8,000	426
当初予算	8,083			7,800	283
決 算 額					
R５計画	8,426			8,000	426
当初予算					
決 算 額					
R６計画	8,426			8,000	426
当初予算					
決 算 額					
R７計画	8,426			8,000	426
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	42,130			40,000	2,130
当初予算	16,509			15,800	709
決 算 額	5,962			5,800	162

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 応援券交付冊数	応援券交付冊数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	474	冊	目標値	474	474	474	474	474
						実績値	430				
					%	達成率	90.7				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 応援券換金額	応援券換金額（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4,561	千円	目標値	4,561	4,561	4,561	4,561	4,561
						実績値	4,806				
					%	達成率	105.4				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	21 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
応援券の交付冊数は、出生数の減少により目標を達成していないが、保護者からは大変喜ばれている。 令和元年度までは一律2万円だったが、令和2年度から第1子2万円、第2子3万円、第3子4万円、第4子以降5万円と内容を充実させている。また、応援券を利用できる期間が満1歳までとなっているが、応援券は子育てほっとクーポンと違い、お尻拭きなどのベビー用品の購入に使えるため、現時点で1年という期間の延長を望む声はない。	市の独自事業として、子育て家庭の経済的負担の軽減に寄与し保護者からの評判も良く、一定の成果を上げている。 今後においても、市内で安心して子育てができるよう、継続して事業に努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	要保護児童対策事業	実施計画事業	要保護児童対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画
	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	1,255
社会保険料（会計年度任用職員分）	253
期末手当	157
費用弁償（会計年度任用職員分）	75

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、機能強化を図るため、家庭相談員を配置し専門性を強化し相談業務の実施及び児童虐待の予防、対策を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ケース記録、共同管理台帳の作成 ・緊急受理会議、ケース検討会議 ・児童虐待対応研修 ・要保護児童等に関する情報共有システムの整備	R3	要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、児相連絡会、ケース会議を行い情報交換、支援方針の見直し等を行った。支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,947	1,298			649
当初予算	1,947	1,298			649
決 算 額	1,708	1,218			490
R４計画	2,520	1,680			840
当初予算	1,933	1,288			645
決 算 額					
R５計画	2,520	1,680			840
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,520	1,680			840
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,520	1,680			840
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,027	8,018			4,009
当初予算	3,880	2,586			1,294
決 算 額	1,708	1,218			490

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 各機関の連携による支援	支援対象児童等について関係機関の連携し、支援内容を検討するケース会議等開催数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	68	回	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	55				
					%	達成率	78.6				
	2 児童虐待相談	家庭児童相談室で扱った児童虐待相談件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	104	件	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	132				
					%	達成率	132.0				
D 成果指標	1 実務者会議の開催	すべてのケースについて定期的な状況のフォロー、支援方針の見直し、関係機関との情報交換の開催	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	20 点 ／25点	3 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
虐待の危険度や緊急度の判断等伴うものが多く、支援の内容の検討に苦慮した。虐待通報等に対する緊急対応や、その後の支援、関係機関との連携等を適切に実施するために、人員体制の確保強化や専門職による体制の充実が望まれる。	児童福祉法第25条に基づき設置しており、関係機関と連携し、一定の成果を上げている。取扱案件が複雑化及び増加傾向にあり、今後においては、専門的な人員体制により組織を更に強化し、関係機関との連携及び支援や見守りが必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
57002	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子ども家庭総合支援拠点事業	実施計画事業	子ども家庭総合支援拠点事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P　☐ 過疎計画　☑ 総合戦略　☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画
	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	1,255
社会保険料（会計年度任用職員分）	253
期末手当	157
費用弁償（会計年度任用職員分）	75

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
すべての子どもの権利を擁護し、子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うため、子ども家庭総合支援拠点を設置する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・子ども家庭支援全般に係る業務
実情の把握、情報の提供、相談等への対応、総合調整
・要支援児童、要保護児童、特定妊婦への支援業務
相談、通告の受付、受理会議、調査、支援、指導、児童記録表の作成

年度	主な活動実績
R3	子どもの実情の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、関係機関との総合調整を行った。児童記録表の作成、特定妊婦等への支援業務を行った。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,778	889			889
当初予算	1,778	889			889
決算額	1,715	889			826
R４計画	2,320	1,160			1,160
当初予算	1,764	882			882
決算額					
R５計画	2,320	1,160			1,160
当初予算					
決算額					
R６計画	2,320	1,160			1,160
当初予算					
決算額					
R７計画	2,320	1,160			1,160
当初予算					
決算額					
計画額	11,058	5,529			5,529
当初予算	3,542	1,771			1,771
決算額	1,715	889			826

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ケース会議	継続的関与の必要な有無等、個別ケースについて関係機関で協議を行い、当面の方針や調査の範囲等を決定する受理会議の開催数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	68	回	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	55				
					%	達成率	78.6				
	2 児童虐待相談	児童虐待相談件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	104	件	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	132				
					%	達成率	132.0				
D 成果指標	1 個別支援会議の開催	支所単位でより細かな単位における子どもの情報交換、状況把握、問題点の確認の個別支援会議の開催数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	28	回	目標値	28	28	28	28	28
						実績値	28				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	20 点 ／25点	3 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

支援の方針や見直し、専門職の不在時の対応など支援の経過を残すためにもケースに関する記録がないと適切な対応ができないため児童記録票の作成が大切だが、受理した段階での児童記録票の作成はできなかった。支援拠点には雇用する職員の職務は、実情の把握や相談対応、総合調整、調査及び支援等多岐にわたり専門性を求められていて、効果的・計画的な人材育成に努める必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

子どもの実情の把握、関係機関への情報提供、相談対応等行い、一定の成果を上げている。
今後においては、複雑で増加傾向にあるケースに対して相談や支援などの対応に専門性が求められており、効果的・計画的な人材育成に努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1　拡充

（様式１）

事業番号	枝番
57003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育てサポート事業	実施計画事業	地域子育てサポート事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 129 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
火災保険料	87
託児業務委託料	46
講師謝礼金	40
消耗品費	20

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域子育てサポート事業･･･子育ての手助けをして欲しい人「よろしく会員」と手伝いが出来る人「まかせて会員」が相互援助活動を行うことにより子育て支援を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 会員間の相互援助活動の連絡・調整や「まかせて会員」養成講習会を実施する。	R3	「まかせて会員」(14人)が「よろしく会員」(88人)を地域の中で援助した。《預かり57件、送迎18件》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	193	128			65
当初予算	193	128			65
決 算 額	145	96			49
R４計画	193	128			65
当初予算	173	114			59
決 算 額					
R５計画	193	128			65
当初予算					
決 算 額					
R６計画	193	128			65
当初予算					
決 算 額					
R７計画	193	128			65
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	965	640			325
当初予算	366	242			124
決 算 額	145	96			49

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 よろしく会員登録者数	よろしく会員登録者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	83	人	目標値	83	85	85	90	90
						実績値	88				
					%	達成率	106.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 相互援助活動の実施数	相互援助活動の実施数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	58	件	目標値	55	55	60	60	65
						実績値	75				
					%	達成率	136.4				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
現時点で需要と供給のバランスは保たれている。令和2年度までは65件程度であったものが令和3年度は10件ほど増加した。今後、需要が伸びていけば、「まかせて会員」の確保が課題となる。	緊急度が高く市民から必要とされている事業であり、一定の成果を上げている。 今後においては、需要の伸びを想定して、更なる「まかせて会員」の確保に努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57011	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て短期支援事業	実施計画事業	子育て短期支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子育て短期支援事業委託料	679

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 保護者の疾病その他の理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの子ども及びその家庭の福祉の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・実施施設との委託契約 ・利用の申請受付 ・実施施設の受入れ状況等の審査、可否決定、通知 ・実施施設へ委託、利用 ・実施施設への経費の支払 ・里親活用に向けて準備	R3	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合、実施施設において保護をおこなった。3施設と委託契約し、利用の際は事前に見学、利用の申請の受付、可否決定、通知、実施施設へ委託、経費の支払を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	679	372			307
当初予算	679	372			307
決 算 額	423	327			96
R４計画	679	372			307
当初予算	515	342			173
決 算 額					
R５計画	679	372			307
当初予算					
決 算 額					
R６計画	679	372			307
当初予算					
決 算 額					
R７計画	679	372			307
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,395	1,860			1,535
当初予算	1,194	714			480
決 算 額	423	327			96

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 短期入所生活援助利用	短期入所生活援助事業延べ利用日数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	63	日	目標値	108	108	108	108	108
						実績値	143				
					%	達成率	132.4				
	2 委託実施施設	短期入所生活援助事業を委託した実施施設数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	箇所	目標値	3	4	4	4	4
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 利用児童数	短期入所生活援助事業を利用児童数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	人	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	5				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
利用の申請があった場合、実施施設の受入れ可能な場合は速やかに決定を行い、利便を考慮し弾力的運営に努めた。しかし、実施施設が市外のため利用者の自宅から実施施設の間の送迎等負担となった。利用中、学校への登校が困難なため就学前の利用者のみだった。今後、市内の里親等へ本事業の委託をし、利用中も保育所や学校への通学を配慮する必要がある。	家庭において児童の養育が一時的に困難となったときに、施設で養育・保護を行ったことで、児童の福祉の向上に一定の成果を上げている。 今後においては、利用件数が増えてきており、子育て中の家庭にとって必要な事業であることから、実施施設の開拓に努める必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
57012	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
家庭訪問型子育て支援事業委託料	3,288

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域等から孤立する可能性のある家庭に訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 家庭訪問型子育て支援事業を行う事業所に委託して実施する。	R3	ホームビジター養成講座（全9回）を開催するとともに、傾聴や協働等の活動を行った。《新ビジター4人、訪問件数8件（訪問回数69回）》
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,288	2,192			1,096
当初予算	3,288	2,192			1,096
決 算 額	3,306	2,204			1,102
R４計画	3,306	2,204			1,102
当初予算	3,306	2,204	1,000		102
決 算 額					
R５計画	3,306	2,204			1,102
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,306	2,204			1,102
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,306	2,204			1,102
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	16,512	11,008			5,504
当初予算	6,594	4,396	1,000		1,198
決 算 額	3,306	2,204			1,102

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	家庭訪問型子育て支援事業の継続	家庭訪問型子育て支援施設	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	か所	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	家庭訪問型子育て支援事業ボランティア養成講座の開催	ホームビジター養成講座の開催数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	9	回	目標値	9	9	9	9	9
							実績値	9				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	23 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本市で実施している「ホームスタートやしの実」は、日本初のホームスタート事業に取り組んだ団体の一つであり、毎年、ホームビジター養成講座を開催し、現在50人が登録されている。そのホームビジターが、転入や産後などで地域等から孤立する可能性のある家庭を訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促すなど、子育て世代を応援する重要な取組の一つである。	転入や産後などで地域等から孤立する可能性のある家庭を訪問し、育児不安の解消等に一定の成果を上げている。子育て支援に重要な取組の一つであり、今後においても定期的に養成講座、フォローアップ研修、運営委員会を開催して組織の充実を図り、子育て世代を応援していくよう努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57012	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	地域子育て支援センター委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地域子育て支援センター委託料	33,421

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 直営の支援センターを2か所設置するとともに、4か所に支援センター事業を委託し、子育て中の親の孤独感や不安感、負担の増大等に対応することで、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 支援センター事業を委託し実施する。	R3	市内4か所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	33,421	22,280			11,141
当初予算	33,421	22,280			11,141
決算額	33,980	22,653			11,327
R４計画	33,980	22,652			11,328
当初予算	33,980	22,652	10,700		628
決算額					
R５計画	33,980	22,652			11,328
当初予算					
決算額					
R６計画	33,980	22,652			11,328
当初予算					
決算額					
R７計画	33,980	22,652			11,328
当初予算					
決算額					
計画額	169,341	112,888			56,453
当初予算	67,401	44,932	10,700		11,769
決算額	33,980	22,653			11,327

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	地域子育て支援拠点数	地域子育て支援拠点数（年度末）	☑ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	か所	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	4				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	利用人数	利用人数（年度末）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画	5,351	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
							実績値	5,125				
						%	達成率	85.4				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
「子育て支援センター」は、子育て相談や子育て情報の提供のほか、親子の交流を図る場を提供する総合的な子育て支援拠点である。令和2年度と3年度は、新型コロナの影響により利用人数は減少しているが、収束に向かうにつれて増加していくと予想している。	新型コロナの影響により閉鎖した時期もあり利用人数が減少しているが、子育て中の親子に、子育て相談、子育て情報の提供、親子の交流を図る場を提供して、一定の成果を上げている。 今後においても専門的職員を置く子育て支援の拠点として、子育て相談や地域の親子の交流の場等の提供に努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57013	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	病後児保育事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 135 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
病児・病後児保育事業委託料	31,260
病児保育広域利用負担金	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 病気の回復期の児童を一時預かりすることで、保育所等に入所している児童等の保護者の仕事等社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を応援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 病児保育を行う保育所等に委託し実施する。	R3	3か所の病児保育施設に病気の回復期の児童を一時預かりする事業を委託し、延べ589人の利用があった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	31,310	20,840		500	9,970
当初予算	31,310	20,840		500	9,970
決 算 額	21,307	16,261		166	4,880
R４計画	31,257	20,018		500	10,739
当初予算	51,849	34,532		300	17,017
決 算 額					
R５計画	31,257	20,178		500	10,579
当初予算					
決 算 額					
R６計画	31,257	20,178		500	10,579
当初予算					
決 算 額					
R７計画	31,257	20,178		500	10,579
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	156,338	101,392		2,500	52,446
当初予算	83,159	55,372		800	26,987
決 算 額	21,307	16,261		166	4,880

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託実施施設	病児・病後児保育事業を委託した施設数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	か所	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 利用人数	利用人数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	687	人	目標値	700	700	700	700	700
						実績値	589				
					%	達成率	84.1				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	4 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用者数が減少しているが、収束に向かうにつれて増加していくと予想している。	令和3年10月から、広域化・ICT化を行ったことにより、県内全域でスマホから予約しできるようになる等利便性があがり、一定の成果を上げている。 今後においても、保護者の仕事等社会的活動と子育ての両立の応援に努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57013	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	一時保育事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 135 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保育対策事業補助金	2,340

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 保育所等を利用していない家庭において、一時的に家庭での保育が困難となった場合に、児童を一時的に預かる。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 一時保育を行う事業所に対し補助金を交付する。	R3	6か所の私立保育所等で延べ174人の子どもを一時保育を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,340	1,272	908		160
当初予算	2,340	1,272	908		160
決 算 額	313	313			
R４計画	2,340	1,272	908		160
当初予算	2,340	1,468			872
決 算 額					
R５計画	2,340	1,272	908		160
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,340	1,272	908		160
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,340	1,272	908		160
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,700	6,360	4,540		800
当初予算	4,680	2,740	908		1,032
決 算 額	313	313			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施施設	一時保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	8	か所	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	6				
					%	達成率	60.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 利用人数	一時保育を利用した人数(一年度)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	236	人	目標値	350	350	350	350	350
						実績値	174				
					%	達成率	49.7				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想している。	保育所等を利用していない家庭において、何らかの理由で子どもをみられないときに、日中一時的に保育所等が預かることで子育て支援に一定の成果を上げている。 今後においては、本事業に対する補助基準が国基準を大幅に下回っているため人員の確保に苦慮していることから、補助基準の見直しについて検討していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
57013	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	預かり保育事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 135 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画 42 P	☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保育対策等促進事業費補助金	13,920

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子ども・子育て支援事業を実施し、子ども・保護者の置かれている環境に応じ適切な利用を促進する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 預かり保育を行う保育所等に対し補助金を交付する。	R3	7か所の私立保育所等で延べ3,234人の子どもを預かり保育を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	13,920	9,280			4,640
当初予算	13,920	9,280			4,640
決 算 額	10,200	7,003			3,197
R４計画	14,400	9,600			4,800
当初予算	13,920	9,280			4,640
決 算 額					
R５計画	14,400	9,600			4,800
当初予算					
決 算 額					
R６計画	14,400	9,600			4,800
当初予算					
決 算 額					
R７計画	14,400	9,600			4,800
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	71,520	47,680			23,840
当初予算	27,840	18,560			9,280
決 算 額	10,200	7,003			3,197

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施施設	預かり保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	7	か所	目標値	13	13	13	13	13
						実績値	7				
					%	達成率	53.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 利用人数	預かり保育を利用した人数(一年度)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3,809	人	目標値	4,000	4,000	3,900	3,900	3,800
						実績値	3,234				
					%	達成率	80.9				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想している。	幼稚園機能部分で希望者を対象に、通常の教育時間の前後や長期休業期間に教育活動を行うことで、一定の成果を上げている。感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想しており、今後においても必要な事業である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57013	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	延長保育事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 135 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画 42 P	□ 過疎計画 ☑ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保育等対策事業補助金	22,145

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 就労形態の多様化に伴い、開所時間を超えて在籍園児を保育する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 延長保育を行う保育所等に対し補助金を交付する。	R3	10か所の私立保育所等で延べ353人の園児に延長保育を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	22,145	14,762			7,383
当初予算	22,145	14,762			7,383
決 算 額	13,246	8,980			4,266
R４計画	23,450	15,633			7,817
当初予算	23,638	15,758			7,880
決 算 額					
R５計画	23,450	15,633			7,817
当初予算					
決 算 額					
R６計画	23,450	15,633			7,817
当初予算					
決 算 額					
R７計画	23,450	15,633			7,817
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	115,945	77,294			38,651
当初予算	45,783	30,520			15,263
決 算 額	13,246	8,980			4,266

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施施設	延長保育事業を実施した私立の施設数(一年度)	□ 総合戦略 ☑ 個別計画	10	か所	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	10				
					%	達成率	83.3				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 利用人数	延長保育を利用した人数(一年度)	□ 総合計画 □ 総合戦略 ☑ 個別計画	366	人	目標値	450	450	450	450	450
						実績値	353				
					%	達成率	78.4				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍で利用人数が減少しているが、感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想している。	急な残業等で通常の保育時間を延長して行う保育であり、保護者の仕事等社会的活動と子育ての両立の支援に、一定の成果を上げている。コロナ感染が収束に向かうにつれて増加していくと予想しており、今後においても必要な事業である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57013	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	保育対策等促進事業	実施計画事業	特別支援保育事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 135 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保育対策等促進事業補助金	10,677

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 保育を必要とする児童のうち、心身に障がいを有する者の保育所における受入れを促進し、健常児と同程度の保育を実施することで、障がい児の健全な発達を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 障がい児を保育するために職員を加配した園に対し、障がい児1人当たり月額74,140円を補助する。	R3	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し17人の園児を保育した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	10,677				10,677
当初予算	10,677				10,677
決 算 額	14,877				14,877
R４計画	10,677				10,677
当初予算	10,677				10,677
決 算 額					
R５計画	10,677				10,677
当初予算					
決 算 額					
R６計画	10,677				10,677
当初予算					
決 算 額					
R７計画	10,677				10,677
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	53,385				53,385
当初予算	21,354				21,354
決 算 額	14,877				14,877

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施施設	特別支援保育事業を実施した施設数(一年度)	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	8	か所	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	8				
					%	達成率	133.3				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 受入人数	補助の対象となった園児数(一年度)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	17	人	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	17				
					%	達成率	170.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	22 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成14年度までは国の補助事業として実施していたが、平成15年度から一般財源化され、現在は市単事業として実施している。 利用人数は、8園で17人の利用となっているが、障がい児の特性に応じた集団生活を通じて児童の心身の健全な発達を促すためにも必要な事業である。	障がい児が集団生活を通じて心身の健全な発達を促すためにも必要な事業であり、一定の成果を上げている。同年代の児童においても優しさ思いやりを育んでいくなど、今後においても必要な事業である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57015	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	乳児家庭全戸訪問事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名：第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画
期間 R2 年度 ～ R6 年度
期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	144
印刷製本費	86

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ることを目的とする。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・育児に関する不安や悩みの傾聴、相談
・子育て支援に関する情報提供
・乳児及びその保護者の心身の様子及び養育環境の把握
・支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整
・訪問の連絡調整等

年度	主な活動実績
R3	すべての乳児のいる家庭（122戸）を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行い、育児に関する相談に応じ、心身の様子や養育環境の把握を行い、必要に応じてケース対応会議を開催し、サービスの提供につなげることが出来た。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	230	152			78
当初予算	230	152			78
決 算 額	221	149			72
R４計画	230	152			78
当初予算	203	134			69
決 算 額					
R５計画	230	152			78
当初予算					
決 算 額					
R６計画	230	152			78
当初予算					
決 算 額					
R７計画	230	152			78
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,150	760			390
当初予算	433	286			147
決 算 額	221	149			72

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 乳児家庭訪問率	対象家庭に対する乳児家庭訪問数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 子育て情報の提供実施	訪問家庭に対する子育て支援に関する情報の提供数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援延検討数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	149	人	目標値	120	120	120	120	120
						実績値	128				
					%	達成率	106.7				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

母子保健法に基づく新生児訪問指導を併せて事業を実施した。保護者の心身の様子を把握して、産後ケア等のサービスにつなげることができた。ホームスタートや養育支援訪問事業による支援に適切に結びつけることができた。
今後も母子保健等連携し事業を実施していきたい。訪問時の保護者等への対応には今後も十分配慮していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

保健師らの全戸訪問で必要に応じて産後ケアやホームスタート等各種支援に適切に結びつけることができ、一定の成果を上げている。育児不安軽減にもつながり、今後においても必要な事業である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57015	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
家庭訪問型子育て支援事業委託料	388
消耗品費	150

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不適当であると認められた児童及びその保護者又は出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう当該居宅において育児家事の援助、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 産後間もない養育者に対し、育児不安の解消や養育技術の提供等のため相談や支援を行う。訪問等により支援が必要であると認めた家庭への支援内容の決定。訪問支援者との経過の把握、進行管理や、支援の終結決定の判断、委託先への委託料の支払。	R3	（育児家事援助 43件）食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。（専門的相談支援 92件）妊娠期からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による訪問支援を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	538	358			180
当初予算	538	358			180
決 算 額	347	294			53
R４計画	775	516			259
当初予算	470	312			158
決 算 額					
R５計画	775	516			259
当初予算					
決 算 額					
R６計画	775	516			259
当初予算					
決 算 額					
R７計画	775	516			259
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,638	2,422			1,216
当初予算	1,008	670			338
決 算 額	347	294			53

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 育児家事援助支援利用世帯数	育児家事援助支援を利用した世帯数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	世帯	目標値	4	5	5	6	6
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 ケース検討会議	対象家庭への具体的支援の内容、期間、方法、計画の策定等ケース検討会議の開催数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	回	目標値	8	8	8	10	10
						実績値	7				
					%	達成率	87.5				
D 成果指標	1 家庭訪問	保健師、助産師等による家庭訪問し、養育に関する相談、指導、助言、養育技術の提供等の支援 専門的相談支援（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	63	件	目標値	95	95	94	93	92
						実績値	92				
					%	達成率	96.8				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	5 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
出産後間もない時期の養育者には、専門的相談支援ということで保健師、助産師、栄養士等が相談・支援を行った。食事、衣類、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭や、福祉サービスにつながっていない児童のいる家庭に対し、民間団体と2か所委託契約を結んで、育児・家事援助に重点を置いた必要な支援につなぐことができた。 今後、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭や、ヤングケアラーの家庭に対しても、養育環境の維持・改善等の支援が必要である。支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めたい。	出産後間もない時期の養育者及び生活環境等支援が必要な養育状態にある家庭について、必要な支援につなぐことができたことで一定の成果を上げている。 今後においては、支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

事業番号	枝番
57015	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	利用者支援事業（母子保健型）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	2,252
社会保険料（会計年度任用職員分）	416
期末手当	282
費用弁償（会計年度任用職員分）	120

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
母子保健に関する相談に対応するため母子保健型を設置し、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する。保健師、助産師、臨床心理士等の専門職が、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成することにより、妊産婦等に対しきめ細やかな支援を実施する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・妊産婦等の様々な悩みに対する相談支援、情報提供、助言、保健指導
・妊産婦、乳幼児等の実情の把握
・支援プランの策定
・産婦人科、保健所等関係機関と連携、連絡調整

年度	主な活動実績
R3	・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数（118人）
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,100	2,066			1,034
当初予算	3,100	2,066			1,034
決 算 額	3,212	3,210			2
R４計画	3,100	2,066			1,034
当初予算	3,877	3,230			647
決 算 額					
R５計画	3,100	2,066			1,034
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,100	2,066			1,034
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,100	2,066			1,034
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	15,500	10,330			5,170
当初予算	6,977	5,296			1,681
決 算 額	3,212	3,210			2

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 支援プランの作成率	母子手帳の交付数に対して、母子健康手帳交付時に支援プランを作成率（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 経過確認入電	経過確認のための延電話入電回数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	614	回	目標値	750	700	700	700	700
						実績値	641				
					%	達成率	85.5				
D 成果指標	1 育児指導数	沐浴指導、パートナーへの育児指導、妊婦体験、乳房ケア等面談回数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	73	人	目標値	50	40	40	40	70
						実績値	111				
					%	達成率	222.0				
	2 産後うつ検討数	産後うつ検討会でのハイリスク妊婦の支援検討数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	149	人	目標値	130	130	120	120	120
						実績値	128				
					%	達成率	98.5				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

助産師が中心に特定妊婦、産後うつの方への対応など、多様なニーズに対応してくれた。コロナの影響でパパママ広場が昨年度から開催できていないが、心身の不調や育児不安のある方や、希望する妊婦さんへ、個別で育児技術支援（111名）を開催した。妊娠期の過ごし方や、子どものとの関わり方等、きめ細かな支援を行ってくれた。メンタル支援を要する妊婦さんには、産後も引き続き訪問やカウンセリングをしてくれた。臨床心理士も相談業務（55件）発達相談会等業務（71件）かじか業務（27件）。今後も引き続き円滑かつ効果的に事業が行えるように努めたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

助産師等専門職が妊娠期から子育て期までの様々な相談に応じ、サービスの情報提供や支援プランの策定等を行ったことにより、配慮が必要な家庭への支援に一定の成果を上げている。
今後についても、引き続き円滑で効果的に事業が行えるように努めていかなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
57015	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	幼児精密健診事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
幼児精密健診事業出務謝礼金	679
実費弁償	96

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 幼児精密健診を実施し、育児支援・発達障害の早期発見、支援・相談を行い、子どもの成長発達に関する親の理解を深め、一貫した支援体制につなげる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・幼児精密健診利用者の予約受付、調整 ・事業出務者へ担当ケースについて情報提供、連絡調整 ・幼児精密健康診査の実施 ・出務謝礼金、実費弁償の支払事務	R3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月と1月の相談会は中止としたが、11月に臨時の相談会を開催し、年度内に計９回の相談会を実施した。Ｒ３の幼児健診で要精密と判断され医療機関につながっていない26名のうち18名が幼児健診フオローとして発達相談を利用した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	775				775
当初予算	775				775
決算額	647				647
Ｒ４計画	775				775
当初予算	775				775
決算額					
Ｒ５計画	775				775
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	775				775
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	775				775
当初予算					
決算額					
計画額	3,875				3,875
当初予算	1,550				1,550
決算額	647				647

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 発達相談会実施	発達相談会実施回数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	8	回	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	9				
					%	達成率	90.0				
	2 発達相談会利用者	発達相談会を利用した幼児延人数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	50	人	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	56				
					%	達成率	70.0				
D 成果指標	1 幼児健診フオロー数	幼児健診フオローとして相談会を利用した人数／幼児健診（１歳半検診・３歳半検診）で要精密と判断された人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	67	%	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	69				
					%	達成率	98.6				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	22 点 ／25点	5 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
幼児精密健診を実施することにより、早期発見、支援につなげることができている。臨床心理士が個別に発達相談に応じたり、医療機関につなぐために必要に応じて検査をしたり、個々の子どもへきめ細やかな支援ができている。	臨床心理士による育児支援、発達障害の早期発見及び支援、相談により必要な支援につなぐことができ、一定の成果を上げている。 今後においても、個々の子どもへのきめ細やかな支援に努めていかなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
57015	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	妊婦乳児支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
妊婦乳児健診委託料	19,710
妊婦乳児健診助成金	663
手数料	294
育児等保健指導事業委託料	40

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産に資するため妊婦健康診査を実施する。母胎や胎児の健康確保を図る上で、定期的な健康診査の受診を勧奨する。聴覚障害は早期に発見され適切な支援を行われた場合は、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから早期発見・早期療育が図られるよう全ての新生児を対象として出生時に医療機関での健診を実施する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事務 ・償還払いの処理 ・母子手帳交付時受診券交付 ・転入、転出妊婦への受診券の差し替え	R3	・妊婦健康診査（2，154件） ・新生児聴覚検査（145件） ・乳児健康診査(264件) ・ペリネイタルビジット事業 転入妊婦へ受診券の差し替え（17名）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	20,707		18,700		2,007
当初予算	20,707		18,700		2,007
決 算 額	14,234		14,200		34
Ｒ４計画	19,612		16,753		2,859
当初予算	18,561		16,700		1,861
決 算 額					
Ｒ５計画	19,612		16,753		2,859
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	18,517		15,768		2,749
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	18,517		15,768		2,749
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	96,965		83,742		13,223
当初予算	39,268		35,400		3,868
決 算 額	14,234		14,200		34

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 妊婦乳児健康診査費	妊婦乳児健康診査費延件数(年度末)	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2,287	件	目標値	2,380	2,310	2,310	2,240	2,240
						実績値	2,770				
					%	達成率	116.4				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 母子手帳の交付	母子手帳の交付数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	150	人	目標値	166	164	162	160	158
						実績値	118				
					%	達成率	71.1				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
母子保健法の規定に基づき、今後も妊婦健康診査について積極的な把握、受診勧奨、早期の支援に努めていきたい。国の2分の１の補助もあるので多胎児を妊娠した妊婦へ追加で受診する健康診査の費用を補助して、多胎妊婦の負担軽減も図っていきたい。	定められた検診をきちんと受けてもらうこと及び妊婦の経済的負担の軽減に一定の成果を上げている。 今後については、検診回数が多い多胎児妊婦への支援に努めていきたい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
57015	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	子育て支援情報サイト業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子育て支援情報サイト業務委託料	1,980

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 保育所や各種保育サービスに関する情報提供や利用に向けての支援等を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 保育所や各種保育サービスに関する情報の掲載や更新をする。	R3	年間16,466件のアクセスのうち85.74%が新規ユーザーであった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,980			1,980	
当初予算	1,980			1,980	
決 算 額	1,980			1,900	80
Ｒ４計画	660				660
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画	360			360	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	360			360	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	360			360	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,720			3,060	660
当初予算	1,980			1,980	
決 算 額	1,980			1,900	80

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 アクセス数	Webサイトのアクセス数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	30,458	件	目標値	17,000				
						実績値	16,466				
					%	達成率	96.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 新規ユーザーの割合	WEBサイトにアクセスした新規ユーザーの割合	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	84.6	%	目標値	86				
						実績値	85.74				
					%	達成率	99.7				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
WEBサイト「なないろ」は令和3年度までの契約で終了し、令和4年度からは母子手帳アプリ「母子モ」へ移行する。	各種保育サービスに関する情報を掲載、必要に応じて更新をして一定の成果を上げた。令和4年度から、妊娠期から子育て期まで必要な時に適切な子育て支援情報が取得できる母子手帳アプリ「母子モ」へ移行したことで、費用が減少し内容は更に充実した。 今後においても、最大限活用できるよう情報の更新に努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
57015	7

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	産後ケア事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	R2 年度 ～ R6 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
産後ケア事業委託料	495

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 分娩施設退院後から一定の期間、病院において助産師等の看護職が中心となり、母子に対して母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育むコトにより、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援することで、産後うつ病や育児不安、児童虐待などの問題を未然に防ぐことを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・県医師会、助産師会と委託契約 ・利用相談、事業説明、利用意向確認、申請受理 ・承認、不承認審査、予約確定、通知 ・キャンセルや変更の把握 ・利用料の支払、利用者アンケートの実施	R3	乳児訪問や産婦健診等から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、産後ケアの利用につなげることができた。宿泊型（11回・実2人） デイサービス型（13回･実7人）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	495	247			248
当初予算	495	247			248
決 算 額	667	247			420
R４計画	693	346			347
当初予算	495	247			248
決 算 額					
R５計画	693	346			347
当初予算					
決 算 額					
R６計画	693	346			347
当初予算					
決 算 額					
R７計画	693	346			347
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,267	1,631			1,636
当初予算	990	494			496
決 算 額	667	247			420

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 産後ケア利用者	産後ケア利用者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	人	目標値	3	5	5	5	5
						実績値	9				
					%	達成率	300.0				
	2 産後ケア利用医療機関	産後ケアを受入れてくれる（紹介してくれる）産科医療機関数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	箇所	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	9				
					%	達成率	300.0				
D 成果指標	1 利用満足度	利用後のアンケートでの満足したと回答した人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	人	目標値	3	5	5	5	5
						実績値	9				
					%	達成率	300.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
産後ケアを必要とする母子に対し、心身のケアや育児のサポート等の産後ケアの利用につなげることができた。しかし本市は現在出産後４か月までとしているため、今後利用回数等は現状のままで、利用できる期間を出産後１年以内に拡充していきたい。市内に利用出来る産婦人科がなくなったので、その対策等今後検討していく必要がある。	産後ケアを必要とする生後4か月未満の乳児と母親に対し、産後の母親の身体的回復と心理的な安定のため保健指導等を行い、一定の成果を上げた。 今後においては、市内に利用できる産婦人科がなくなったことから、利用期間の拡充等検討していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
57015	8

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	産婦健診事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
妊婦乳児健診委託料	1,800
妊婦乳児健診助成金	50
手数料	35

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 産婦の産後うつや自殺予防、新生児への虐待予防等を図るため、産後２週間・産後１か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査による費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・国保連、助産所へ委託料、手数料の支払事務 ・償還払いの処理	R3	地域における全ての産婦を対象に、産後2週間、産後1か月の産婦健康診査2回分に係る費用について、助成を行った。産婦健康診査の結果報告から、母体の精神状態の把握等を行い、支援が必要と判断される産婦に対し、産後ケア事業を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,885	942			943
当初予算	1,885	942			943
決 算 額	1,050	925			125
Ｒ４計画	1,783	891			892
当初予算	1,681	800			881
決 算 額					
Ｒ５計画	1,783	891			892
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	1,681	841			840
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	1,681	841			840
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,813	4,406			4,407
当初予算	3,566	1,742			1,824
決 算 額	1,050	925			125

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市内の産婦人科との定期連絡会開催数	定期連絡会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	回	目標値	12	12	12	12	
						実績値	8				
					%	達成率	66.7				
	2 産婦健診受診数	産後2週間・産後１か月の産婦健診受診数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	240	240	220	220	210
						実績値	210				
					%	達成率	87.5				
D 成果指標	1 産婦人科からの情報提供数	精神面でのフオローが必要となる産婦のスクーリング数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	17				
					%	達成率	340.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	5 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
産婦健康診査を2回実施し、実施期間から結果報告を受けて、支援が必要な産婦の把握をすることができた。令和3年度当初からのスタートのため、令和3年４月以降に母子手帳を交付した方には受診券のついかものを交付していたが、それ以前への交付者は産婦健診の受診券のみ送付したが、紛失する方も多かった。県内市町村で対応がバラバラだったため産婦人科との連絡調整に時間不足でした。令和4年度以降はほとんどの市町村が事業を実施するので円滑にいくと思われます。支援が必要な産婦の把握につながっている。	産後2週間・1か月の産婦健診費用について助成を行い、健診結果報告から支援が必要と判断される産婦に対しては産後ケア事業を実施するなど、一定の成果を上げることができた。 今後についても、退院直後の産婦の健診支援について現状のまま継続する必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
57015	9

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	幼児療育支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
幼児健診事業出務謝礼金	280
実費弁償	45

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 療育機関受診や訓練を必要とする児は多く、訓練まで待機期間が長かったり、枠がなく家庭でそのまま対応しているケースも多くある。療育機関が対応できない中、地域で少しでも療育支援を勧めていくため。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・幼児療育参加者の予約受付、調整 ・事業出務者へ担当ケースについて情報提供、連絡調整 ・幼児療育支援事業の実施 ・出務謝礼金、実費弁償の支払事務	R3	きらきら教室を年4回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい22名（実11名）の参加があった。作業療法士より参加者全員に助言をもらった。教室に年2回以上の参加者は4名いた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	325				325
当初予算	325				325
決 算 額	194				194
R４計画	447				447
当初予算	406				406
決 算 額					
R５計画	447				447
当初予算					
決 算 額					
R６計画	447				447
当初予算					
決 算 額					
R７計画	447				447
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,113				2,113
当初予算	731				731
決 算 額	194				194

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	ミニ児童発達・プレ授業体験参加者	ミニ児童発達支援・プレ授業体験参加者数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	30	100	100	100	100
							実績値	58				
						%	達成率	193.3				
	2	個別相談対象者	教室参加者のうち専門職が個別に対応した件数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	20	20	60	70	80
							実績値	25				
						%	達成率	125.0				
D 成果指標	1	医療機関等への受診期間月数	教室参加後、療育機関・医療機関へ受診した月数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		月	目標値	5	5	3	3	3
							実績値	1				
						%	達成率	20.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度から新規の事業としてスタートしたが、プレ授業（36名）、きらきら教室（22名）共に事業効果は高いと感じます。プレ授業については、作業療法士さんから個別のアドバイスをもらえたり、日頃から子どもの様子に周囲から指摘をうけ精神的にきつい思いをしていた保護者や、なかなかどこにもつながっていなかった子どもさんが医療機関等につながったり、今後も就学前の支援や園への支援等拡充しながら続けていきたい。	令和3年度から新規事業として、作業療法士が加わり小学校就学の前年にプレ授業、園に通う３歳児にきらきら教室を開催し、保護者からの相談を受けたり療育機関につなげることができたりと、一定の成果を上げている。 今後については、療育機関受診や訓練を必要とする児童や保護者の育児不安の解消のため、支援の拡充に努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
57015	11

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	子育て世代包括支援センター事業	実施計画事業	医療的ケア児保育支援モデル事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 131 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
協議会委員謝礼金	102
消耗品費	50
実費弁償	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・医療的ケア児の受入れについて検討 ・関係機関との連絡体制の構築 ・施設や保護者との調整 ・施設計画の策定 ・検討会の設置	R3	医療的ケア児の保育園の受入れについてケース会議は行ったが、検討会の設置にまでは至らなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	162				162
当初予算	162				162
決 算 額					
R４計画	162				162
当初予算	162				162
決 算 額					
R５計画	162				162
当初予算					
決 算 額					
R６計画	162				162
当初予算					
決 算 額					
R７計画	162				162
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	810				810
当初予算	324				324
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 検討会の設置	医療的ケア児の受入れについて検討会の設置（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 医療的ケア児の受入れ	医療的ケア児の保育所等への入所希望に対して、受入れ可能数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		%	目標値		100	100	100	100
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度医療的ケア児の保育園への入所等について、検討会を開催する予定だったが、対象時が令和2年度末に転出し、新たな入園希望者がおらず検討会の設置には至らなかった。今後、保育園入所のみならず医療的ケア児及びその家族に対する支援に関して、医療、保健、福祉、教育等の関係機関との連絡調整を行い、多職種連携による支援情報集約と相談支援の拠点化が必要である。事業の手段を改善して、拡充が望ましいと考える。	令和3年度は対象児の転出により実績はないが、今後においても、医療的ケア児及びその家族が希望する地元の保育所等に入所し、地域の子どもたちと生活できるよう支援するために、必要な事業である。多職種連携による支援情報集約と相談支援の体制づくりについて検討していかなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
57023	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事業	子ども・子育て支援事業	細事業	支援対象児童等見守り強化事業	実施計画事業	支援対象児童等見守り強化事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 130 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	64

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
支援対象児童等見守り強化事業補助金	5,950

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まる恐れがあることを踏まえ、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進するため、子どもの居宅を訪問するなどし、食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・弁当の提供、子ども等の状況の把握（週２回） ・情報提供（月１回） ・配食の連絡調整	R3	子ども食堂と連携して、週２回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。年間99日、1日コロナのため臨時に中止にした。要対協の構成メンバーにいれた子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,950	5,950			
当初予算	5,950	5,950			
決算額	4,370	4,370			
R４計画	2,016				2,016
当初予算	4,550	3,033			1,517
決算額					
R５計画	2,016				2,016
当初予算					
決算額					
R６計画	2,016				2,016
当初予算					
決算額					
R７計画	2,016				2,016
当初予算					
決算額					
計画額	14,014	5,950			8,064
当初予算	10,500	8,983			1,517
決算額	4,370	4,370			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 週２回の食事の提供	食事の提供回数（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	60	回	目標値	100	50	50	50	50
						実績値	99				
					%	達成率	99.0				
	2 食事の提供世帯数	食事の提供延世帯数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		世帯	目標値	800	800	800	800	800
						実績値	824				
					%	達成率	103.0				
D 成果指標	1 子どもの見守りのための食事の提供	支援対象児童への食事の提供数（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		食	目標値	3,500	4,000	4,000	4,000	4,000
						実績値	3,351				
					%	達成率	95.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
要保護児童対策協議会の支援対象児童として登録されている子どもの居宅を訪問し、状況の把握や、食事の提供を行うことで、生活環境の把握ができ、養育支援訪問事業等で、家事援助等の支援に結ぶことが出来た。支援が必要であるにも関わらず行政の支援につながっていない家庭など、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事を提供することで保護者が支援を受入れやすくなった。 今後は、ヤングケアラーと言われるケアを担う子どもの家庭に対しても、この事業が支援策にしていきたい。	見守りの必要な子どもの居宅を訪問し、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事提供を行うなど生活状況の把握をすることができた。更に必要な家庭には家事援助等の支援結ぶことができたことで一定の成果を上げている。 今後についても継続して支援を行い、ヤングケアラーの家庭に対しても、この事業を支援策として多機能的支援につなげていかなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
59001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	放課後児童健全育成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 132 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	66

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
放課後児童健全育成事業委託料	92,414
会計年度任用職員報酬	8,882
費用弁償（会計年度任用職員分）	949
期末手当	741

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 委託または直営により放課後児童健全育成事業を行う。	R3	13か所の放課後児童クラブで634人の登録児童を受入れを行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	103,397	68,904	29,200		5,293
当初予算	103,397	68,904	29,200		5,293
決 算 額	103,014	65,530	28,400		9,084
R４計画	116,000				116,000
当初予算	118,461	78,962	34,400		5,099
決 算 額					
R５計画	122,000				122,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	128,000				128,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	134,000				134,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	603,397	68,904	29,200		505,293
当初予算	221,858	147,866	63,600		10,392
決 算 額	103,014	65,530	28,400		9,084

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 放課後児童クラブ施設数	放課後児童クラブの施設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	13	か所	目標値	13	13	13	13	13
						実績値	13				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 登録人児童数	年間の登録人児童数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	651	人	目標値	550	550	550	500	500
						実績値	634				
					%	達成率	115.3				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	22 点 ／25点	4 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
核家族化や共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの需要は高まっているが、放課後児童クラブの支援員や補助員の確保が課題となっている。	保護者が労働等で昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与えることができたことで、一定の成果を上げている。 今後においては、高まる需要に対し支援員や補助員の確保について努めていかなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
59001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	放課後児童クラブ巡回派遣事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 132 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	66

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
放課後児童クラブ巡回派遣事業委託料	216

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 放課後児童クラブへの作業療法士による巡回派遣を実施し、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 放課後児童クラブを対象に希望調査を行い、巡回アドバイザーを派遣する。	R3	6クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均25人の児童が参加した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	216	108			108
当初予算	216	108			108
決 算 額	144	96			48
R４計画	216	108			108
当初予算	216	108			108
決 算 額					
R５計画	216	108			108
当初予算					
決 算 額					
R６計画	216	108			108
当初予算					
決 算 額					
R７計画	216	108			108
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,080	540			540
当初予算	432	216			216
決 算 額	144	96			48

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 派遣事業の実施回数	巡回派遣の実施回数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	5	件	目標値	8	8	8	8	8
						実績値	6				
					%	達成率	75.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加児童数	1クラブ当たりの平均参加児童数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	28	人	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	25				
					%	達成率	83.3				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度は8クラブの希望があったが、新型コロナの影響等によりアドバイザーとの日程調整ができなかったクラブが2つあり、結果として6クラブへの派遣となった。	令和3年度は新型コロナの影響により希望どおりの箇所数とならなかったが、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行い一定の成果を上げている。 今後においても作業療法士による巡回派遣を継続して行い、担当職員や保護者に対し、必要な助言や支援を行っていかなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
59001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	放課後児童健全育成事業	細事業	放課後子どもプラン推進事業	実施計画事業	保護者負担金減免事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 132 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	1
決算	66

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保護者負担金減免事業補助金	864

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 放課後児童クラブを利用する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、保護者負担金の一部を助成することにより円滑な放課後児童クラブの利用促進を図り、児童の健全育成を支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 対象となる保護者へ助成する。	R3	37人の対象児童に667,478円の保護者負担金の減免を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	864	432			432
当初予算	864	432			432
決 算 額	668	333			335
R４計画	864	432			432
当初予算	864	432			432
決 算 額					
R５計画	864	432			432
当初予算					
決 算 額					
R６計画	864	432			432
当初予算					
決 算 額					
R７計画	864	432			432
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	4,320	2,160			2,160
当初予算	1,728	864			864
決 算 額	668	333			335

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 減免対象児童数	保護者負担金の減免対象児童数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	39	人	目標値	45	45	45	45	45
						実績値	37				
					%	達成率	82.2				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 減免額	保護者負担金の減免額	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	622,715	円	目標値	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
						実績値	667,478				
					%	達成率	95.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
保護者負担金の減免申請期間を通年とする要綱改正を行ったことから、より利用しやすい制度となったため申請数が増えることが予想される。	保護者負担金の一部を助成することによって利用促進を図り、児童の健全育成の支援に一定の成果を上げている。要綱改正を行い、より利用しやすい制度となったことから、今後においては申請数が増えることが予想され、児童の健全育成に努めなければならない。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
61001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	教育・保育施設運営事業	細事業	教育・保育施設運営事業	実施計画事業	教育・保育施設運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 134 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	2
決算	69

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
保育所運営費	1,130,728

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 教育・保育事業を実施するため管内・管外の教育･保育施設へ運営費を交付する。これにより、教育・保育サービスの充実を図り、子育てしやすい環境整備を整える。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 教育・保育施設運営事業や大分にこにこ保育支援事業に係る経費を各保育所等に給付する。	R3	教育・保育を必要とする小学校就学前の子どもを、市内15園、市外7園に委託し教育・保育を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,130,728	807,577	17,112	4,517	301,522
当初予算	1,130,728	807,577	17,112	4,517	301,522
決 算 額	1,029,462	753,961	10,176	6,460	258,865
R４計画	1,120,439	799,501	17,100	4,471	299,367
当初予算	1,040,487	740,391		6,576	293,520
決 算 額					
R５計画	1,109,233	791,505	17,100	4,426	296,202
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,098,138	783,589	17,100	4,381	293,068
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,087,155	775,753	17,100	4,337	289,965
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,545,693	3,957,925	85,512	22,132	1,480,124
当初予算	2,171,215	1,547,968	17,112	11,093	595,042
決 算 額	1,029,462	753,961	10,176	6,460	258,865

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 委託施設数	入所を委託する市内外の教育・保育施設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	24	か所	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	22				
					%	達成率	110.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 待機児童	待機児童数(4月1日時点)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		人	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
教育・保育ニーズに対応できるよう、教育・保育の量と提供体制の適正化を図る必要がある。	管内・外の教育･保育施設へ運営費を交付し、教育・保育サービスの充実を図り子育てしやすい環境整備を整えることに一定の成果を上げている。 今後においては、教育・保育ニーズに対応できるよう、量と提供体制の適正化を図る必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
64004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	子育て支援課	係名	家庭支援係

事 業	母子家庭等自立支援事業	細事業	母子寡婦福祉会補助金	実施計画事業	母子寡婦福祉会補助事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	3
決算	71

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名：第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画　期間 R2 年度 ～ R6 年度

期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
母子寡婦福祉会補助金	90

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 母子寡婦福祉会の活動支援 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞	R3	
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	90				90
当初予算	90				90
決 算 額					
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	90				90
当初予算	90				90
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	1 点	3 点 ／25点	1 点	3 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	1 点		1 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和2年度末で母子寡婦福祉会が解散したので、令和3年度の事業はない。	令和2年度末で母子寡婦福祉会が解散した。令和3年度の事業実績なし。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	E.廃 止

事業番号	枝番
66001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事 業	児童館管理運営事業	細事業	児童館運営事業	実施計画事業	児童館運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 132 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	4
決算	74

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	9,117
犬飼ふれあい児童館運営業務委託料	3,900
朝地児童館指定管理委託料	3,741
大野児童館施設整備工事請負費	1,707

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 児童館の運営を委託や直営により行う。	R3	5か所の児童館で延べ11,450人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	26,427	1,754			24,673
当初予算	26,427	1,754			24,673
決 算 額	24,986	1,527			23,459
R４計画	26,427	1,754			24,673
当初予算	25,773	3,174			22,599
決 算 額					
R５計画	26,427	1,754			24,673
当初予算					
決 算 額					
R６計画	26,427	1,754			24,673
当初予算					
決 算 額					
R７計画	26,427	1,754			24,673
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	132,135	8,770			123,365
当初予算	52,200	4,928			47,272
決 算 額	24,986	1,527			23,459

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 児童館管理運営事業の継続	児童館施設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	5	か所	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	5				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 児童館利用人数	児童館利用人数	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画	11,422	人	目標値	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
						実績値	11,450				
					%	達成率	99.6				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
児童館は、地域のすべての子どもたちの遊びなどの拠点施設である。5か所の児童館のうち、三重町以外の4館は、放課後児童クラブを併設しており、児童館と放課後児童クラブの子どもたちの交流が行われている。しかし、児童館の中で、年間の利用者数が平均で1人や3人の児童館があることや、職員の確保が困難となっている状況から、今後、児童館のあり方を検討する必要がある。	児童福祉法に規定する児童厚生施設である。児童や乳幼児及びその保護者相互の交流の場であり、児童の健全育成に必要な活動で一定の成果を上げている。 今後は、利用者が非常に少ない児童館について、将来に向けてのあり方を検討する必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
67001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	緒方保育園

事 業	公立教育・保育施設管理運営事業	細事業	公立教育・保育施設管理運営事業	実施計画事業	公立教育・保育施設管理運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 135 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	5
決算	75

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	②保育サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
給食調理業務委託料	24,038
会計年度任用職員報酬	16,306
賄材料費	7,042
光熱水費	2,354

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 幼児期の教育・保育は人格形成の基盤と生涯にわたる学習の基礎を培う極めて重要なものであり、子どもたちへの質の高い教育・保育の実施に努めます。また、保護者や地域の子育て力の向上を支援するため、保育サービスの拡充を図ります。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・子どもの健全育成の支援 ・多様な保育サービスの充実	R3	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに、職員はスキルアップのための研修に参加した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
決 算 額	54,738	5,159	1,424	4,003	44,152
R４計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算	59,774	6,122		3,913	49,739
決 算 額					
R５計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算					
決 算 額					
R６計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算					
決 算 額					
R７計画	62,020	5,904	1,980	4,278	49,858
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	310,100	29,520	9,900	21,390	249,290
当初予算	121,794	12,026	1,980	8,191	99,597
決 算 額	54,738	5,159	1,424	4,003	44,152

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 入所者数	年度末（3月31日時点）の在園児数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	81	人	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	78				
					%	達成率	97.5				
	2 －		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 「安心して子どもを預けることができる」と回答した割合	緒方保育園保護者アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「安心して子どもを預けることができる」の設問で、A（とてもそう思う）、B（そう思う）と回答した割合。※回答は、A（とてもそう思う）、B（そう思う）、C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）、E（よくわからない）、F（該当しない）の６択	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	96.5				
					%	達成率	96.5				
	2 「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」と回答した割合	緒方保育園保護者アンケートの「保育園のこと」に関する項目で、「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」の設問で、A（とてもそう思う）、B（そう思う）と回答した割合。※回答は、A（とてもそう思う）、B（そう思う）、C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）、E（よくわからない）、F（該当しない）の６択	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	91.2	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	91.2				
					%	達成率	91.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
在園児や各種保育サービスの利用者数は、急速に進行する少子化とコロナ禍の影響等で減少しているが、園児一人ひとりの発達段階に応じた保育・教育や、核家族化や保護者の就労形態の多様化等に対応した各種事業が実施できた。特に、近年は、支援が必要な子どもが増えており、保育士は研修等を受講しスキルアップに努めながら、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施している。 また、食育にも力を入れており、園庭で栽培した野菜を給食の食材の一部として使用することで、園児は野菜が育つ様子や収穫した野菜が給食へと変わっていく過程を学び、食を身近に感じ興味を深めている。 さらに、毎月1回避難訓練を実施し、園児は災害から安全に避難し身を守る方法を学んでいる。 今後も地域の方々との交流等、様々な経験を通じて豊かな人間性をもった園児の育成を目指してきたい。	市内唯一の公立保育園として、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施し、一定の成果を上げている。 今後においても、職員のスキルアップを図り、保護者のニーズに応えながら、地域とともに豊かな人間性をもった園児の育成に努めていかなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
67002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	子育て支援課	係名	緒方保育園

事 業	公立教育・保育施設管理運営事業	細事業	地域子育て支援拠点事業	実施計画事業	地域子育て支援拠点事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 129 ）

会計	一般
款	3
項	3
目	5
決算	75

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画 42 P	□ 過疎計画 ☑ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	1,209
社会保険料（会計年度任用職員分）	243
期末手当	152
費用弁償（会計年度任用職員分）	72

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、身近な地域で、育児不安についての相談・助言その他の援助や、親子の交流の場の提供を目的に、子育て支援センターの運営に努めます。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・園行事への参加
・誕生会
・親子クッキング
・茶話会
・避難訓練
・父親支援事業
・遠足
・育児相談
・家庭教育学級

年度	主な活動実績
R3	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供や育児相談等が実施できた。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,845	1,230			615
当初予算	1,845	1,230			615
決 算 額	1,620	1,054			566
R４計画	1,845	1,230			615
当初予算	1,914	1,276			638
決 算 額					
R５計画	1,845	1,230			615
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,845	1,230			615
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,845	1,230			615
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	9,225	6,150			3,075
当初予算	3,759	2,506			1,253
決 算 額	1,620	1,054			566

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	子育て支援センター開所日数	子育て支援センター利用日数	□ 総合戦略 ☑ 個別計画	213	日	目標値	240	240	240	240	240
							実績値	229				
						%	達成率	95.4				
	2	－		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	地域子育て支援拠点事業の充実	延べ利用者数（大人、子ども）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画	1,253	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
							実績値	1,469				
						%	達成率	97.9				
	2	－		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	21 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

新型コロナウイルス感染症拡大等により開所日数の減少や利用者の来所控え等があり、利用者数はコロナ禍前に比べると減少している.
しかし、家庭で孤立しがちな子育て中の親子の定期的な来所や出産予定がある夫婦の利用等もあり、利用者の交流の場づくりや子育てに関する情報提供・相談対応等が実施できた。
今後の課題は、利用者の増を図ることであり、子育て支援センターを利用したことがない在宅親子が気軽に立ち寄ってもらえるような環境づくりを行うほか、保健師の新生児訪問や乳幼児健診の際等に更に周知に努めていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

身近な地域で子育て家庭に対する育児支援を行うため、育児不安についての相談・助言等援助や親子交流の場の提供を行い、一定の成果を上げている。
今後においては、在宅親子が気軽に立ち寄ってもらえるよう利用者の増加に努めなければならない。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
68001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	生活保護総務事業	細事業	生活保護適正実施推進事業	実施計画事業	診療報酬明細書点検等充実事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 162 ）

会計	一般
款	3
項	4
目	1
決算	76

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画	48 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
レセプト点検業務委託料	1,122
手数料	24

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 診療報酬明細書の点検強化等を実施することにより、医療扶助の適正化を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・点検業務を委託し、月点検、縦覧点検を実施する。	R3	点検業務を委託し、月点検・縦覧点検を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,146	859			287
当初予算	1,146	859			287
決 算 額	997	757		240	
R４計画	1,146	859			287
当初予算	1,094	819			275
決 算 額					
R５計画	1,146	859			287
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,146	859			287
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,146	859			287
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,730	4,295			1,435
当初予算	2,240	1,678			562
決 算 額	997	757		240	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 点検実施	月点検実施月数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	月	目標値					
						実績値	12				
					%	達成率					
	2 点検実施	縦覧点検実施月数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	月	目標値					
						実績値	4				
					%	達成率					
D 成果指標	1 点検件数	月点検件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12,163	件	目標値					
						実績値	11,334				
					%	達成率					
	2 点検件数	縦覧点検件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,620	件	目標値					
						実績値	3,383				
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
レセプトを活用し、健康管理の対象者、頻回受診者、後発医薬品の使用割合が低い者、重複調剤の防止が徹底されていない者、他法他施策を活用できる者などを適切な支援につなげるため継続が必要である。	健康管理の対象者等レセプトを活用し、適切な支援につなげるため継続が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
68002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	生活保護総務事業	細事業	生活保護受給者就労支援事業	実施計画事業	生活保護受給者就労支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 162 ）

会計	一般	政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
款	3	施 策	6 社会保障の充実
項	4	施策展開	①低所得者福祉を充実する
目	1	後期基本計画 48 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当
決算	76		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
被保護者就労支援事業委託料	4,642

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 被保護者の就労の支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うことにより、被保護者の自立の促進を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・豊後大野市社会福祉協議会に委託 ・生活保護現業員と共に対象者を訪問し、情報提供や就労活動の支援を行う。	R3	豊後大野市社会福祉協議会に委託し、生活保護現業員と共に対象者の訪問を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,642	3,481			1,161
当初予算	4,642	3,481			1,161
決 算 額	1,762	1,338		424	
R４計画	4,642	3,481			1,161
当初予算	4,569	3,426			1,143
決 算 額					
R５計画	4,642	3,481			1,161
当初予算					
決 算 額					
R６計画	4,642	3,481			1,161
当初予算					
決 算 額					
R７計画	4,642	3,481			1,161
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	23,210	17,405			5,805
当初予算	9,211	6,907			2,304
決 算 額	1,762	1,338		424	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 訪問支援	対象者への訪問支援の実施率	□ 総合戦略 □ 個別計画	60	%	目標値					
						実績値	60				
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 就労達成	対象者の就労率	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	25	%	目標値					
						実績値	25				
					%	達成率					
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
適正かつ有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標とするが、就労に向けて課題を抱える者の増加や対象者の高齢化が進んでいることから、手法を見直したうえで継続が必要である。	有効な就労支援によって、就労や増収が実現し生活保護から脱却することを目標であるが、対象者の高齢化等が進んでいることから、手法を見直すことが必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
68003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	生活保護総務事業	細事業	生活保護事務費	実施計画事業	生活保護事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 162 ）

会計	一般
款	3
項	4
目	1
決算	76

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画 48 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
生活保護システム使用料	3,860
通信運搬費	971
手数料	719
内科嘱託医報酬	654

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生活保護の適正な運営を確保することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・収入資産調査の充実強化等による認定事務の適正化 ・職員の資質向上のための研修の実施 ・被保護者健康管理のため市の実施する基本健診の受診の勧奨 ・システムの維持管理	R3	収入資産調査の充実強化により認定事務の適正化を図った。職員研修はコロナ禍により中止されたため不参加。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	7,719			1	7,718
当初予算	7,719			1	7,718
決 算 額	17,652				17,652
R４計画	7,719			1	7,718
当初予算	8,106			1	8,105
決 算 額					
R５計画	7,719			1	7,718
当初予算					
決 算 額					
R６計画	7,719			1	7,718
当初予算					
決 算 額					
R７計画	7,719			1	7,718
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	38,595			5	38,590
当初予算	15,825			2	15,823
決 算 額	17,652				17,652

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 収入資産調査	収入資産調査の実施率	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値					
						実績値	100				
					%	達成率					
	2 職員研修	職員研修参加率	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活保護事務の効率化と省力化をめざし、DX推進を行う必要がある。	生活保護事務の効率化と省力化を図るため、台帳等のDX推進を行うことが必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

（様式１）

事業番号	枝番
69001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会福祉課	係名	生活保護係

事 業	生活保護事業	細事業	生活保護費	実施計画事業	生活保護（扶助費）事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 162 ）

会計	一般
款	3
項	4
目	2
決算	77

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	6 社会保障の充実
施策展開	①低所得者福祉を充実する
後期基本計画 48 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
扶助費	1,035,715

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生活に困窮する者に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長すること目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・生活保護費の支給 ・保護世帯の訪問調査 ・新規申請受付 ・返還金の徴収	R3	生活保護法及び保護基準に基づく保護費支給を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,035,715	787,460		1	248,254
当初予算	1,035,715	787,460		1	248,254
決 算 額	900,194	705,761		6,287	188,146
R４計画	1,000,000	760,000		1	239,999
当初予算	1,033,451	785,564		1	247,886
決 算 額					
R５計画	1,000,000	760,000		1	239,999
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,000,000	760,000		1	239,999
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,000,000	760,000		1	239,999
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,035,715	3,827,460		5	1,208,250
当初予算	2,069,166	1,573,024		2	496,140
決 算 額	900,194	705,761		6,287	188,146

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 訪問計画	訪問格付に応じた訪問計画の達成率	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	114.1	%	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	100				
					%	達成率	125.0				
	2 保護決定	法定期限までの保護決定	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 徴収率	生活保護費返還金徴収率（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	29	%	目標値	32	32	32	32	32
						実績値	9.8				
					%	達成率	30.6				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生活保護法に基づく最後のセーフティネットとして、制度の運用は細心かつ迅速な対応が求められる。様々な理由で生活に困窮している人々に対して、当該事業やその他自立支援制度により重層的なセーフティネットを構成しており、必要不可欠な事業である。	生活保護法に基づく最後のセーフティネットとして、制度の運用は細心かつ迅速な対応が求められる。様々な理由で生活に困窮している人々に対して、当該事業やその他自立支援制度により、必要不可欠な事業である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
72001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	食育推進係

事 業	食育推進事業	細事業	食育推進事業	実施計画事業	食育推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 113 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	79

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	①健康づくり活動を推進する
後期基本計画	38 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第2次豊後大野市食育推進計画	期間 H26 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
食育推進事業委託料	553
食育推進協議会委員謝礼金	60
普通旅費	42
消耗品費	40

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生活習慣病など、市民一人ひとりが日常的に食生活を通じて、健康づくりに取組むことができる ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・関係機関と連携しながら、食育推進協議会（年２回）食育作業部会（年３回）を開催予定で食育計画の推進を図る。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施予定。参加者へ減塩の方法など推進する。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供をおこなう。	R3	・関係機関と連携しながら、食育推進協議会（年２回：内１回資料送付）食育作業部会（年３回：内1回資料送付）を開催し、食育計画の推進を図った。 ・人権、部落差別解消推進課の【男女共同市民のつどい】にて「食育キャンペーン」を実施し、参加者へ減塩レシピを配布した。 ・市民への啓発を目的にケーブルテレビや市報で食育の情報提供を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	718			500	218
当初予算	718			500	218
決 算 額	251			160	91
R４計画	718			500	218
当初予算	662			500	162
決 算 額					
R５計画	718			500	218
当初予算					
決 算 額					
R６計画	718			500	218
当初予算					
決 算 額					
R７計画	718			500	218
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,590			2,500	1,090
当初予算	1,380			1,000	380
決 算 額	251			160	91

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	食生活改善推進協議会へ委託している【食育推進事業】への参加数	放課後チャレンジクラブ（小学校）や地域のサロンで実施予定の食育推進事業への参加延べ人数（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	251	人	目標値	300	1,000	1,000	1,000	1,000
							実績値	318				
						%	達成率	106.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	食育に関心を持っている人の割合	令和５年度に実施する【第3次食育推進計画】でのアンケート（成人の20～65歳未満を対象とし無作為）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	80	%	目標値			95		
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
毎年、食育推進協議会や作業部会で、活動を共有しながら方針について話し合い食育を推進している。今後も関係課や関係機関、団体と協力して市民への啓発を行う必要である。活動指標の食育推進事業への参加延べ人数については、令和元年度までは1,000人を超えていたが、コロナ禍の影響で人数が減少している。今後も感染症の影響を受け参加人数に増減があると思われるが、感染対策をとりながら目標値を目指した事業を実施していきたい。	新型コロナウイルス感染防止を図りながら、食育推進協議会や作業部会、キャンペーンや市報等を通じ第2次食育計画の推進を図った。今後においては、令和5年度第3次食育計画に向け、アンケート調査、食育推進協議会及び作業部会で検討をかさねていきたい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
72002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	食育推進係

事 業	食育推進事業	細事業	食生活改善事業	実施計画事業	食生活改善事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 113 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	79

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	①健康づくり活動を推進する
後期基本計画	38 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第2次豊後大野市食育推進計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
食生活改善推進協議会補助金	245
自動車等借上料	70
消耗品費	20
講師謝礼金	17

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民が主体的に健康づくりや生活習慣病の予防対策、健康管理に取り組み、生涯にわたり健康でゆたかな人生を送ることができるよう、市民への食育の推進に取り組む。食育を推進する中心的なボランティア組織である、豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援と、新規会員の育成を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 1. 豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援 ・食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う ・自主研修の実施支援 ・総会及び交流会の開催支援 ・役員会の実施 2. 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成（食生活改善指導者講習会の実施） ・講習会の周知（チラシ設置、市報、ＨＰ） ・講習会の開催（年10回）	R3	1. 豊後大野市食生活改善推進協議会の活動支援を行った。・食推協の各支部のリーダーを対象に研修を行う・自主研修の実施支援・総会及び交流会の開催支援 ・役員会の実施 2. 新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成（食生活改善指導者講習会の実施）を行った。・講習会の周知（チラシ設置、市報、ＨＰ）・講習会の開催（年10回・修了者11名）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	352				352
当初予算	352				352
決 算 額	269				269
Ｒ４計画	352				352
当初予算	277				277
決 算 額					
Ｒ５計画	352				352
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	352				352
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	352				352
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,760				1,760
当初予算	629				629
決 算 額	269				269

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	研修会の開催回数	中央研修会の開催回数と自主研修の開催回数の合計（年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5	回	目標値	4	5	5	5	5
							実績値	2				
						%	達成率	50.0				
	2	新規の豊後大野市食生活改善推進員の育成	豊後大野市食生活改善推進員の新規加入者数（年度末当初）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	人	目標値	8	10	10	10	10
							実績値	10				
						%	達成率	125.0				
D 成果指標	1	食育活動者の数	食生活改善推進員数（年度当初）（会員平均年齢72.8歳で会員の高齢化がみられる）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	210	人	目標値	203	200	200	200	200
							実績値	203				
						%	達成率	100.0				
	2	各支部での伝達講習会開催回数	各支部での伝達講習会開催回数（研修会の開催回数×7支部。ただし、三重支部は1回の研修会後に3回の伝達講習会を行っている。）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	34	回	目標値	36	45	45	45	45
							実績値	17				
						%	達成率	47.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
食生活改善推進協議会の支援を行い、推進員が地域で積極的に活動できるように支援しており、食育の推進ができている。新規の推進員の育成にも力を入れ、10名の推進員の養成ができている。今後も食育、健康づくりを推進するため事業の継続を必要とする。	コロナ禍で調理実習が計画どおりに実施できなかったが、三役会や理事会、支部長会等集合型で開催し、短時間でも会員の学びの場及び交流の場を設けることができた。食育推進委託事業では、参加者が会食を控えていることから、会員はお弁当にして持ち帰ってもらう等配慮しながら地域の交流の場に出向いて食育の普及を行った。今後においては、感染対策を行いながら地域に出向いていく回数を増やし、会食を通じ食育の普及につとめていけるように支援していく。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
75001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事 業	精神保健事業	細事業	精神保健相談事業	実施計画事業	精神保健相談事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 114 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	80

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	①健康づくり活動を推進する
後期基本計画	38 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第２次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度
	豊後大野市自殺対策行動計画 期間 H31 年度 ～ R５ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
臨床心理士出務謝礼金	219
消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ・精神障がいをもった方が、地域の中で安心して暮らせるよう、相談しやすい環境づくりをおこなう。 ・精神に関する病気になったときに、重症化しないで、早期に医療にかかることができるよう、啓発を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○精神保健相談事業 ・市民の心の健康づくりに関する相談や精神障がい者の自立支援（回復・社会復帰）に向けての相談、訪問の実施 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール関連問題に関する健康教室の実施	R3	○精神保健相談事業 ・精神保健相談延261件・訪問指導延456件・電話相談延203件・電子メール相談7件 ・精神障がい者家族会への支援・アルコール依存症家族会と断酒会の支援を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	229	229			
当初予算	229	229			
決 算 額	213	212			1
R４計画	229	229			
当初予算	229	229			
決 算 額					
R５計画	229	229			
当初予算					
決 算 額					
R６計画	229	229			
当初予算					
決 算 額					
R７計画	229	229			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,145	1,145			
当初予算	458	458			
決 算 額	213	212			1

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 精神保健相談を受けた件数	保健師が精神保健相談を受けた件数（保健事業実績報告より算出 訪問指導分）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	136	人	目標値	136	136	136	136	136
						実績値	456				
					%	達成率	335.3				
	2 アルコール関連問題に関する健康教室開催数	アルコール関連問題に関する健康教室開催数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	13				
					%	達成率	185.7				
D 成果指標	1 こころの相談会利用者数	年間のこころの相談会利用者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	30	人	目標値	30	31	32	33	34
						実績値	34				
					%	達成率	113.3				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
精神保健相談数、訪問指導数とも増加しているため、市民への相談窓口の周知も引き続き行いながら事業の継続が必要である。	こころの相談会を市民や関係者に広く知ってもらうため、豊肥保健所とともに掲示物を作成し、医療機関や関係機関に配布し掲示を依頼した。本市における高齢者の自殺が増加していることから、民生委員や各種団体、市報等を通じ相談会の周知を行っていく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
75002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事 業	精神保健事業	細事業	自殺対策事業	実施計画事業	自殺対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 114 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	80

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	①健康づくり活動を推進する
後期基本計画	38 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市自殺対策行動計画 期間 H31 年度 ～ R5 年度
	第２次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	726
消耗品費	303
講師謝礼金	190
通信運搬費	149

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 自殺に関する地域全体の意識関心を高め、自殺のない町を目指した住みやすい地域づくり、個別相談の支援体制などの充実を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○人材養成事業:自殺対策連絡協議会・委員会・作業部会を開催。・ゲートキーパー養成研修会等 ○普及啓発事業：自殺対策キャンペーン ○電話相談事業：豊後大野市こころのホットラインによる電話相談 ○こころの相談会 ○こころの健康教室	R3	○人材養成事業:自殺対策連絡協議会2回・委員会1回・作業部会2回開催。・ゲートキーパー養成研修会2回24名参加 ○普及啓発事業：自殺対策キャンペーン1,300人グッズ配布 ○電話相談事業：豊後大野市こころのホットラインによる電話相談1,283件 ○こころの相談会12回34名 ○こころの健康教室13会場275名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,644	826		714	104
当初予算	1,644	826		714	104
決 算 額	1,509	700		390	419
R４計画	1,644	826		714	104
当初予算	3,194	1,602		714	878
決 算 額					
R５計画	1,644	826		714	104
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,644	826		714	104
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,644	826		714	104
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,220	4,130		3,570	520
当初予算	4,838	2,428		1,428	982
決 算 額	1,509	700		390	419

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ゲートキーパ受講者数	年間のゲートキーパ受講者数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	115	人	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	40				
					%	達成率	133.3				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 自殺死亡率（人口10万人対）	厚生労働省　地域における基礎資料より自殺者数/人口10万人対	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	22.6		目標値	14.4	14.4	14.4	14.4	14.4
						実績値	14.4				
					%	達成率	100.0				
	2 自殺SMR値	5年間の自殺に係る標準化死亡比 全国を100とする。100以下であることを目標とする。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	88		目標値	100	100	100	100	100
						実績値	94.4				
					%	達成率	94.4				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自殺対策連絡協議会や作業部会等で方針を話し合い自殺対策に取り組んでおり、今後も関係各課、関係機関と協働して取り組む必要がある。令和３年度は特にアルコール対策に力を入れ、市民への啓発に力を入れてきた。令和にはいって高齢者が占める自殺の割合が増えたことから、今後は高齢者への対策に力をいれる必要がある。	豊後大野市の自殺の状況から、アルコール関連問題で自殺をされた方が20%いたことより、自治委員、民生児童委員、各町のこころをつなぐ仲間づくり推進委員会等を対象に健康教室を実施し、地域での声かけ見守りを依頼。また、啓発グッズを作成し各町キャンペーン時や、支所窓口、トキハインダストリー店舗で配布し悩みを相談できる相談先を普及啓発した。今後においても、関係機関や関係団体と連携しながらこころの健康づくりを推進していく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
73001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	子育て支援課	係名	こども支援係

事業	子ども医療費助成事業	細事業	子ども医療費助成事業	実施計画事業	子ども医療費助成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	81

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第3次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
子ども医療費助成金	108,840
手数料	3,631
子ども医療費助成基金積立金	114
通信運搬費	31

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 子どもに係る医療費の一部を助成することにより、その疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上を図るとともに保護者の子育て支援に寄与する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内在住の0歳～15歳（中学校卒業まで）の乳幼児、児童の保険診療分の医療費を助成する。	R3	中学生までの医療費を延べ3,316人、42,771件の助成を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	112,668	20,888		56,754	35,026
当初予算	112,668	20,888		56,754	35,026
決 算 額	96,909	20,803		46,236	29,870
R４計画	87,000	17,050		44,100	25,850
当初予算	105,102	22,040		73,936	9,126
決 算 額					
R５計画	87,000	17,050		44,100	25,850
当初予算					
決 算 額					
R６計画	87,000	17,050		44,100	25,850
当初予算					
決 算 額					
R７計画	87,000	17,050		44,100	25,850
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	460,668	89,088		233,154	138,426
当初予算	217,770	42,928		130,690	44,152
決 算 額	96,909	20,803		46,236	29,870

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 助成件数	現物給付・償還払い助成件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	41,997	件	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
						実績値	42,771				
					%	達成率	106.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 助成対象者	助成対象者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3,405	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
						実績値	3,316				
					%	達成率	110.5				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	22 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
子ども医療費助成事業の市独自分として、乳幼児は入院時食事療養費、小中学生は通院・調剤・歯科・入院時食事療養費を助成しているが、今後、県や他市の状況をみながら高校生まで対象を拡大することを検討する時期がくると考えている。	子どもの保健の向上を図るとともに保護者の子育て支援に寄与することで、一定の成果を上げることができた。 今後においては、市独自助成分について、県や他市の状況をみながら対象年齢拡大等を検討する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
74001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係

事業	地域医療推進事業	細事業	救急医療対策事業	実施計画事業	小児救急医療対策事業費補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 121 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	82

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	③地域医療環境を充実する
後期基本計画	38 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
小児救急医療対策事業費補助金	633

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療（豊後大野市民病院9時～12時、みやわき小児科8時45分～12時）に対し、基準事業費（2,930円/時間）を市民病院及びみやわき小児科に補助する。	R3	・小児救急医療対策事業費補助 休日における小児救急患者の診療（豊後大野市民病院9時～12時、みやわき小児科8時45分～12時）に対し、基準事業費（2,930円/時間）を市民病院及びみやわき小児科に補助した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	633	316			317
当初予算	633	316			317
決算額	648	316			332
R４計画	633	316			317
当初予算	644	321			323
決算額					
R５計画	633	316			317
当初予算					
決算額					
R６計画	633	316			317
当初予算					
決算額					
R７計画	633	316			317
当初予算					
決算額					
計画額	3,165	1,580			1,585
当初予算	1,277	637			640
決算額	648	316			332

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	小児救急医療対策事業費補助金交付決定率	小児救急医療対策事業費補助金 補助金交付決定数/補助金申請数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	休日等における年間小児患者延べ数	小児初期救急医療体制整備事業報告書（豊後大野市民病院・宮脇小児科）の年間患者延べ数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,609	人	目標値					
							実績値	1,614				
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
輪番制方式により診療を行う市内の医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、休日等における小児救急患者の医療の確保が図られているため、今後も事業は継続していく。令和２年度以前は小児救急休日診療件数は3,500件を超えていたが、2年度、3年度は約1,600件と減少し、コロナ感染症や出生数等の減少が影響していると思われる。	保護者が、休日でも身近な場所で安心してこどもの受診ができるように、今後も小児科への助成を行っていく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
74002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係

事 業	地域医療推進事業	細事業	地域医療対策事業	実施計画事業	地域医療対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 120 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	82

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	③地域医療環境を充実する
後期基本計画 38 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
病院事業特別会計負担金	377,668
病院統合整備基金積立金	181

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域医療の中核を担う市民病院の安定した経営を維持し、市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、地域医療の中核を担っている市民病院に対し地方債償還費分、及び交付税算入分を基準額に準じて補助するもの。 （交付税対象区分：二次救急医療、小児医療、へき地医療、感染症医療など） 普通交付税、特別交付税で算入される額、国の地方公営企業への繰出基準に基づいた補助 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行う。	R3	地域医療の中核を担う市民病院への繰出基準等に基づく運営費等に対する補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	377,849			4,564	373,285
当初予算	377,849			4,564	373,285
決 算 額	373,107			4,512	368,595
R４計画	377,849			4,564	373,285
当初予算	382,424			4,537	377,887
決 算 額					
R５計画	377,849			4,564	373,285
当初予算					
決 算 額					
R６計画	377,649			4,564	373,085
当初予算					
決 算 額					
R７計画	377,849			4,564	373,285
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,889,045			22,820	1,866,225
当初予算	760,273			9,101	751,172
決 算 額	373,107			4,512	368,595

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	救急搬送のおける市内への搬送率	豊後大野市消防署年間搬送数より市内搬送件数/搬送件数	□ 総合戦略 □ 個別計画	58.8	%	目標値	50	50	50	50	50
							実績値	58.9				
						%	達成率	117.8				
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	市内医療機関受診率	医科入院外 市内医療機関受診件数/受診件数 （国民健康保険資料より）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	64.2	%	目標値	50	50	50	50	50
							実績値	64.5				
						%	達成率	129.0				
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民が安心して医療が受けられる体制づくりを進めていくため、今後も継続していく。	地域医療の中核を担っている市民病院に対し、今後も運営費の助成を行っていく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
71002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	1歳６か月・３歳児健康診査事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	83

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第２次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
幼児健診委託料	2,166
幼児健診事業出務謝礼金	541
消耗品費	228
医薬材料費	118

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 母子保健法により行政の実施が義務づけられている健診(対象は１歳６か月児、３歳児)。医師、歯科医師の診察、発育発達チェック、子育てへの助言と支援を行うために実施している。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施している。１歳６か月児健診は月１回実施。３歳児健診は月に２回実施。今年度、３歳６か月児健診から３歳児健診へと移行する予定。精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会の参加を勧奨している。	R3	新型コロナウイルス感染症感染対策を講じながら、少人数にて幼児健康診査を実施した。１歳６か月児健診：11回156名受診（受診率98.7%）３歳児健診：22回238名受診（受診率99.2%）未受診児の把握と精密検査が必要な幼児には、医療機関の受診や発達相談会を勧め、フォローを行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,140				3,140
当初予算	3,140				3,140
決算額	2,343				2,343
R４計画	2,500				2,500
当初予算	2,632				2,632
決算額					
R５計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
R６計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
R７計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
計画額	13,140				13,140
当初予算	5,772				5,772
決算額	2,343				2,343

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	対象者への周知	対象者への通知回数・通知回数・勧奨数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	コロナ禍でも適切な月齢に応じて実施できた幼児健康診査実施率	幼児健診実施回数/感染対策と適切な月齢を考慮した幼児健診予定回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	幼児健診未受診者の状況把握率	未受診者の状況把握数/未受診者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
幼児健康診査は母子保健法に定められた事業であり、感染対策をとりながら受診率も維持できている。また、未受診者把握、要精密者へのフォローも行っている。今後も感染対策を講じながら事業の継続が必要である。	幼児健康診査では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、人数制限を行う一方開催回数及びスタッフは増員して開催し高い受診率をあげている。ロゴホーム・AIOCRを導入し、入力事務の事務量削減につとめることができた。今後においても、全員の児の健康状態や家庭状況を把握し、1人1人の子どもにあったサービスや対応をしていく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
71002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事 業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	５歳児すこやか相談会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	83

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
５歳児相談会診療支援負担金	250
５歳児すこやか相談会事業出務謝礼金	183
消耗品費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ５歳児を対象に、医療・保健・福祉・教育等の連携により発達相談会を実施することで、発達障がい等の早期発見・早期支援の実施、保護者の育児不安の軽減・幼児虐待予防等について、豊後大野市すべての子どもが安心して就学できることを目指す。さらにそのフォロー体制の充実を図る。　また、引き続き、認定こども園・保育所・幼稚園等との連携を深め、支援の必要な子どもとその保護者が相談会につながるよう努める。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・５歳児すこやか相談会連絡会の開催（２回） ・５歳児すこやか相談会の実施（計５日間） ・療育・医療機関との情報共有、受診勧奨	R3	・５歳児すこやか相談会連絡会3回開催 ・５歳児すこやか相談会の実施（計３日間）コロナで２回中止となり、12月の発達相談会に医師を派遣 対象者204名、利用者30名（14.7%） ・要精密・要医療児については、発達相談会で経過をみたり、医療機関の受診勧奨等を行い支援した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	443				443
当初予算	443				443
決 算 額	194				194
R４計画	443				443
当初予算	515				515
決 算 額					
R５計画	443				443
当初予算					
決 算 額					
R６計画	443				443
当初予算					
決 算 額					
R７計画	443				443
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,215				2,215
当初予算	958				958
決 算 額	194				194

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	連絡会の開催回数	関係機関との連絡会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	3				
						%	達成率	150.0				
	2	5歳児すこやか相談会への受診勧奨	5歳児すこやか相談会の周知回数（個別通知、園経由・地区担当保健師からの声かけ）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	5歳児すこやか相談会のフォロー実施率	５歳児すこやか相談会で要観察、要精密、要医療になった者に対するフォロー実施率 5歳児相談後フォロー実施件数/5歳児相談会フォロー判定件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ感染症の影響で２回中止した分については、発達相談会等で相談を受けている。要精密者の支援も丁寧にしており、就学につながっている。子育て支援課、社会福祉課、学校教育課、保健所と連絡会を開催し、情報共有し、事業の見直しを行っており、今後も各課が連携して実施していく必要がある。	子ども1人1人が安心して就学が迎えられるように、関係課、関係機関と情報の共有・連携を図った。令和4年度は医師派遣が4日間から2日間になることから、対象者の選定方法を検討し、残り3日は市の発達相談会及び心理士による個別の対応をしていく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
71002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事業	母子保健事業	細事業	幼児健診事業	実施計画事業	視力スクリーニング検査委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	83

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第２次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
視力スクリーニング検査委託料	252

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 視力スクリーニング検査により疾病の早期発見、早期治療を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 1歳6か月児、3歳児を対象とした幼児健康診査時に視力スクリーニング検査を実施し、要精密児に対しては精密券を発行し、受診勧奨を行う。	R3	１歳6か月健診、3歳児健診にて実施。 1歳6か月健診受診者156名　要精密3名 3歳児健診受診者238名　要精密4名 要精密児については、精密券を発行し、受診勧奨を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

財源内訳（単位：千円）

	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	252				252
当初予算	252				252
決 算 額	231				231
R４計画	200				200
当初予算	210				210
決 算 額					
R５計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,052				1,052
当初予算	462				462
決 算 額	231				231

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	幼児健診において視力スクリーニング検査を実施した割合	視力スクリーニング検査実施回数/幼児健康診査実施回数(1歳６か月児、３歳児)	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	要精密フォロー児の精密受診割合	疾病の早期発見、治療に結びつく指標として精密検査受診率 精密検査受診児数/要精密児数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	91.7	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	71.4				
						%	達成率	71.4				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
幼児健診受診者全員に視力スクリーニング検査を実施し、要精密児については受診勧奨を行い、早期診断、早期治療に結びついている。 市内小児科医の協力があり、検査もスムーズに実施できている。県内で3歳児健診での機器を使用したスクリーニングを実施する自治体は増えてきたが、1歳6か月健診のスクリーニング実施は県下でも少数である。今後も精密者への受診勧奨を行い、眼疾患の早期発見、早期治療に結びつける必要がある。	視覚の感受性の高い時期（1歳半頃）に、本人が表現する必要のない他覚的視力検査で、早期に弱視・斜視・近視などを発見し治療につなげることができた。 今後においても、継続して視力スクリーニング検査を行っていく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
71006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事業	母子保健事業	細事業	愛育会事業	実施計画事業	愛育会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	83

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
愛育会委託料	180
自動車等借上料	75
講師謝礼金	10

A 事業目的・内容・実績

＜事業の目的＞
愛育会は地域の子育てのボランティアとして、子育て中の保護者が、子どもや子育てについて様々な悩みや不安を抱え、地域から孤立することがないよう、相互に交流するきっかけとなる機会や環境づくりのため、地域に住む親子が集える場を提供している。市は豊後大野市愛育会に親子交流事業を委託（対象：愛育会員が市民対象に事業実施）

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・分班長会議、班会議の開催
・定期総会及び会員研修会の開催
・新規会員募集のための愛育会員養成講習会の開催（年１回）
・市委託事業：親子交流事業（年9回×20000円）
・県助成事業：地域交流促進事業（令和3年度は105,000円を要求済み）

年度	主な活動実績
R3	・分班長会議6回・各班会議実施 ・定期総会及び会員研修会の実施 ・新規会員募集のための愛育会員養成講習会の年1回開催 ・市委託事業：親子交流事業（年4回113名参加・県助成事業：地域交流促進事業10回339名参加・声かけ訪問活動実施
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	265				265
当初予算	265				265
決算額	80				80
R４計画	265				265
当初予算	265				265
決算額					
R５計画	265				265
当初予算					
決算額					
R６計画	265				265
当初予算					
決算額					
R７計画	265				265
当初予算					
決算額					
計画額	1,325				1,325
当初予算	530				530
決算額	80				80

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	分班長会議と班会議の開催回数	分班長会議（年6回）と班会議（各班年１回以上×8班）の開催回数の合計	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	19	回	目標値	14	14	14	14	14
							実績値	36				
						%	達成率	257.1				
	2	会員研修会の開催回数	会員研修会（年1回）開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	親子交流事業・地域交流促進事業の実施割合	年度計画に沿って、親子交流事業・地域交流促進事業の実施できた割合（感染対策のため中止した分は除く）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

新型コロナ感染症の影響で、開催できなかった親子交流事業もあるが、感染対策を講じながら愛育会のピーアールも含めた事業運営ができている。行政としては愛育会からの相談対応や育成を行っており、活動が健康づくりや子育て支援に結びつくように支援している。また、新規会員養成をし、少しずつではあるが、新規会員を増やし、会の活動が維持できるような体制づくりを行っている。今後も自主的な活動が継続できるように支援する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合型の親子交流事業の実施回数は減少したが、分班長会議や各班会議にて地域課題について情報の共有を行い、地域での声かけに役立てた。今後においては、子育て支援課、子育て支援センター、児童館等に事業の協力を求め支援者の負担の軽減を図りながら、愛育会の育成につとめていく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
71008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事 業	母子保健事業	細事業	周産期等保健事業	実施計画事業	すくすくひろば運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 133 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	83

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	3 結婚・出産・子育て支援の充実
施策展開	①子育て支援サービスを充実する
後期基本計画	42 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画	R2 年度 ～ R6 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	13

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生後3か月から5か月の乳児とその保護者を対象し、離乳食や歯のお手入れ等の育児に関する情報提供を専門職から行なう。 また、成長・発達の確認の場とするとともに、参加者同士の交流の場となるよう努める。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・奇数月にすくすくひろばを開催する。 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なう。 ・継続フォロー必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なう。 ・愛育会員へ協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつなげる。	R3	奇数月にすくすくひろばを開催予定であったが、新型コロナ感染症の影響で3回実施31組参加 ・子育て支援センターや児童館の紹介を行なった。 ・継続フォロー必要な対象者に対して、教室参加への勧奨を行なった。 ・愛育会員へ協力を得ることで、地域で子育てを見守る体制づくりへつながった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	13				13
当初予算	13				13
決 算 額					
Ｒ４計画	13				13
当初予算	17				17
決 算 額					
Ｒ５計画	13				13
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	13				13
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	13				13
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	65				65
当初予算	30				30
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 教室参加の周知	すくすくひろば開催について周知回数（個別通知、要フォローに対しては地区担当保健師より電話や訪問にて参加勧奨を行なう）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 教室参加率	すくすくひろばへの参加率（参加組数÷対象組数）R3年度は感染対策上、先着12組に制限して実施予定。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	56.3	%	目標値	60	60	60	60	60
						実績値	44.9				
					%	達成率	74.8				
	2 要フォロー者への教室参加への声かけ実施割合	赤ちゃん訪問時等でのEPDS高値であった者・育児支援者がいない・ﾊｲﾘｽｸの方等、要フォロー者の教室参加の声かけ実施数/要フォロー者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナ感染症の影響で開催回数は減ったが、参加者には栄養や歯科保健の情報提供ができた。また、参加できなかった方には、ホームページでの情報発信や個別相談対応ができた。今後も乳児期に必要な健康情報を提供するとともに、保護者の仲間づくり、子育て支援センターや愛育会の見守り等につなげていく必要がある。	教室に参加できない保護者のために、講義内容を収録したYouTubeを市ホームページにアップし離乳食と歯科保健の正しい普及につとめた。保護者は、コロナ禍で外出を控えていた事から、育児を学ぶ場や交流の場を希望しており、今後においても感染対策を行いながら開催していくことが必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
71008	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	市民生活課	係名	親子健康係

事業	母子保健事業	細事業	周産期等保健事業	実施計画事業	妊婦歯科健康診査事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 115 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	1
決算	83

政策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	②疾病予防を推進する
後期基本計画	38 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画 期間 R2 年度 ～ R6 年度
	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
妊婦歯科健診委託料	275
印刷製本費	27
消耗品費	5
通信運搬費	2

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 口腔内が不衛生になりやすい妊娠期に、歯科健診を勧めることで、う歯・歯周病の口腔内疾患の発見や、適切な治療へつなげることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 母子健康手帳交付時に妊娠中に歯科健診を委託歯科医療機関で受けられる受診券を交付する。	R3	母子健康手帳交付時に妊娠中の歯科保健について説明し、医療機関で受けられる妊婦歯科健診の受診券を交付した。受診者47名（受診率40.1%）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

財源内訳（単位：千円）

	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	309				309
当初予算	309				309
決算額	155			155	
R４計画	303				303
当初予算	309				309
決算額					
R５計画	297				297
当初予算					
決算額					
R６計画	292				292
当初予算					
決算額					
R７計画	287				287
当初予算					
決算額					
計画額	1,488				1,488
当初予算	618				618
決算額	155			155	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 妊婦への歯科保健指導率	妊婦への歯科保健実施数/母子手帳発行数（妊婦数）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 妊婦歯科健診を受けた人の割合	妊婦歯科健診受診者数/母子手帳発行数（妊婦数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	40	%	目標値	40	41	42	43	44
						実績値	40.1				
					%	達成率	100.3				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
母子手帳交付時に歯科保健について説明し、歯科健診を実施することで、母親自身が歯科保健に関心を高め、適切な治療に結びついている。妊娠中に歯科保健への意識を高めることで乳児期、幼児期の歯科保健につながるため今後も事業の継続が必要である。	妊娠中は、身体のさまざまな変化の影響で口腔環境が悪くなり、虫歯菌や歯周病菌が体内に入り込むと早産などのリスクが高くなるため、母子手帳交付時に歯科受診券を発行し歯科検診の受診勧奨を行った。今後においても、継続して妊婦への歯科健診の受診勧奨を行っていく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
76001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係

事 業	予防接種事業	細事業	定期予防接種事業	実施計画事業	定期予防接種事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 117 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	2
決算	84

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	②疾病予防を推進する
後期基本計画 38 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市新型インフルエンザ等対策行動計画（H27年3月策定）
期間	年度 ～ 年度
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画「きらきらこどもプラン」
期間	R2 年度 ～ R6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
予防接種委託料	79,883
通信運搬費	488
印刷製本費	449
手数料	360

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。（予防接種法より） ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 次の対象疾病について対象となる市民へ予防接種（委託医療機関における個別接種）を実施する。 ○乳幼児：Hib(ヒブ）、小児肺炎球菌、B型肝炎、４種混合、結核（BCG）、MR（麻しん・風しん）、水痘、日本脳炎 ○小中高生：ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん） ○高齢者：インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 ○成人男性（S37.4.2～S54.4.1生）：風しん抗体検査・予防接種	R3	○乳幼児：Hib(ヒブ）575名、小児肺炎球菌574名、B型肝炎414名、４種混合599名、結核（BCG）143名、MR（麻しん・風しん）352名、水痘277名、日本脳炎447名、二種混合151名、ロタウイルス283名 ○小中高生：ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん）83名 ○高齢者：インフルエンザ8,750名、高齢者肺炎球菌520名 ○成人男性（S37.4.2～S54.4.1生）：風しん抗体検査205名・予防接種67名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	81,495	2,598		26,500	52,397
当初予算	81,495	2,598		26,500	52,397
決 算 額	63,843	584		24,500	38,759
R４計画	82,000	2,600		27,000	52,400
当初予算	85,297	1,906		29,600	53,791
決 算 額					
R５計画	82,000	2,600		27,000	52,400
当初予算					
決 算 額					
R６計画	82,000	2,600		27,000	52,400
当初予算					
決 算 額					
R７計画	82,000	2,600		27,000	52,400
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	409,495	12,998		134,500	261,997
当初予算	166,792	4,504		56,100	106,188
決 算 額	63,843	584		24,500	38,759

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期予防接種の接種勧奨を行う	幼児健診の受診者に対し、接種状況を確認の上、未接種のワクチンについては勧奨を行う。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ＭＲ１期予防接種率	接種率＝ＭＲ１期ワクチン接種者数/対象者数 ※「麻しん風しん予防接種第１期・第２期対象者に関する調査票（厚生労働省健康局結核感染症課）」より	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	95	95	95	95	95
						実績値	85				
					%	達成率	89.5				
	2 ＭＲ２期予防接種率	接種率＝ＭＲ２期ワクチン接種者数/対象者数 ※「麻しん風しん予防接種第１期・第２期対象者に関する調査票（厚生労働省健康局結核感染症課）」より	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	102.5	%	目標値	95	95	95	95	95
						実績値	97.2				
					%	達成率	102.3				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
予防接種法に基づいた定期予防接種を実施しているため、事業の継続は今後も必要。MRワクチン予防接種については、機会をとらえ何度も接種勧奨をしており、今後も接種勧奨を必要とする。	子宮頸がんワクチンについては、国の方針により、積極的勧奨をこれまで差し控えてきたこともあって接種人数が少なくなっている。令和４年４月より接種対象者に対する積極的勧奨が再開されることから、個別通知や正しい知識の普及啓発につとめていく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
76004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係

事 業	予防接種事業	細事業	任意予防接種事業	実施計画事業	任意予防接種事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 117 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	2
決算	84

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	②疾病予防を推進する
後期基本計画 38 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第３次豊後大野市子ども・子育て支援事業計画「きらきらこどもプラン」
期間	R2 年度 ～ R6 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
任意予防接種助成金	4,354
予防接種委託料	1,655
消耗品費	4

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。 ※任意予防接種は予防接種法によるものではないが、その目的や重要性は定期接種と同様。（日本小児科学会ＨＰ「定期接種と任意接種のワクチン」より） ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 次の対象疾病について対象となる市民へ予防接種（委託医療機関における個別接種）を実施する。 ○乳幼児：おたふくかぜ ○乳幼児～小中学生：子どものインフルエンザ ○成人（妊娠を希望する女性等）：風しん	R3	○乳幼児：おたふくかぜ148名 ○乳幼児～小中学生：子どものインフルエンザ1,594名 ○成人（妊娠を希望する女性等）：風しん27名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	6,013				6,013
当初予算	6,013				6,013
決 算 額	2,651				2,651
Ｒ４計画	6,100				6,100
当初予算	5,928				5,928
決 算 額					
Ｒ５計画	6,100				6,100
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	6,100				6,100
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	6,100				6,100
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	30,413				30,413
当初予算	11,941				11,941
決 算 額	2,651				2,651

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	おたふくかぜ予防接種の周知	当該年度に1歳を迎え、おたふくかぜワクチン未接種の方を対象に毎月通知。（令和2年度123人・令和3年度146人）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	幼児健診時の接種勧奨実施率	幼児健診時に接種状況確認の上、未接種のワクチンについては勧奨を行う。 接種勧奨数/幼児健診受診者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	おたふくかぜ接種率	おたふくかぜ接種率実績より 接種児数/対象児数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	90	90	90	90	90
							実績値	101.36				
						%	達成率	112.6				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
任意接種費の負担軽減により、接種率を高め疾病予防につながっているため、今後も事業の継続が必要である。	おたふくかぜワクチンの効果は、接種後2週間後から90%前後の方に抗体ができると言われている。成人して感染すると、小児より重症化しやすく、妊娠初期の場合は流産、死産しやすいことから、今後も無償でワクチン接種を受けられる体制が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
77001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係

事 業	健康づくり増進事業	細事業	健康増進事業	実施計画事業	健康増進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 112 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	2
決算	85

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	①健康づくり活動を推進する
後期基本計画 38 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第2次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
検査検診委託料	4,671
会計年度任用職員報酬	2,026
社会保険料（会計年度任用職員分）	376
通信運搬費	357

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生活習慣病の予防、重症化予防の為、豊後大野市健康づくり計画に基づき健康増進事業の各種事業を実施し、市民の健康増進および生活習慣病予防を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 以下の健康増進事業に取組む １．健康教育の実施 20回/年 250名 ２．健康相談の実施 50回/年 620名 ３．訪問指導 100回/年 ４．健康診査 ・基本健診 40歳未満の市民 ・被保護世帯 ・骨粗しょう症検診 190名 ・肝炎ウイルス検診 40名 ・歯周疾患健診 350名	R3	１．健康教育の実施 53回/年 956名 ２．健康相談の実施 45回/年 486名 ３．訪問指導 72日/年 69名 ４．健康診査 ・基本健診40歳未満の市民 120名 ・被保護世帯 9名 ・骨粗しょう症検診 225名 ・肝炎ウイルス検診 113名 ・歯周疾患健診 443名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,146	1,940		3,800	2,406
当初予算	8,146	1,940		3,800	2,406
決 算 額	6,821	1,940		3,132	1,749
R４計画	8,146	1,940		3,800	2,406
当初予算	9,489	2,146		3,800	3,543
決 算 額					
R５計画	8,146	1,940		3,800	2,406
当初予算					
決 算 額					
R６計画	8,146	1,940		3,800	2,406
当初予算					
決 算 額					
R７計画	8,146	1,940		3,800	2,406
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	40,730	9,700		19,000	12,030
当初予算	17,635	4,086		7,600	5,949
決 算 額	6,821	1,940		3,132	1,749

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 健康教育実施回数	地域保健事業報告実績値 健康教育（健康教室）回数 保健師・栄養士・歯科衛生士等	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	19	回	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	53				
					%	達成率	265.0				
	2 健康相談実施回数	地域保健事業報告実績値 健康相談回数 保健師・栄養士・歯科衛生士等	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	49	回	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	45				
					%	達成率	90.0				
D 成果指標	1 脳血管疾患標準化死亡比	脳血管疾患標準化死亡比（保健所報「標準化死亡比（過去5年平均）」より抜粋） R2実績値（男性95.6、女性96.9） R7目標値（男性100未満、女性100未満） R3実績値（R4年11月確定予定）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 健康寿命（お達者年齢）	大分県ホームページ 数字で見る「大分県の保健・福祉」市町村別健康寿命（お達者年齢過去5年平均）より抜粋。 R2実績値（男性79.66歳、女性83.93歳） R7目標値（男性80.51歳、女性85.10歳） R3実績値（男性79.62歳、女性84.11歳）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画		歳	目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍の影響で、受診者は減少傾向ではあるが、受けやすい体制づくりをし、受診率向上に向けて取り組んでいる。令和４年度には健康づくり計画策定のための市民アンケートを実施し、健康づくり計画の見直しを行っていく予定である。健康づくり計画の目標指標を達成しながら総合計画の成果指標達成に近づけていきたい。	集団健診では、事前予約制とし感染対策を行いながら事業を実施した。市民が希望の健診が受けられるように、休日健診、働き盛り健診、障がい者健診等市民のニーズをいかした健診の体制づくりを整えた。健康教育では、高血圧や糖尿病の重症化を予防するため、オンラインを活用したり、運動指導士によるDVDを作成しケーブルテレビで放映した。今後KDBシステム、マップシステムを活用した資料を作成し、保健指導に活用していく。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
77002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	市民生活課	係名	健康づくり支援係

事 業	健康づくり増進事業	細事業	がん検診事業	実施計画事業	がん検診事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 115 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	2
決算	85

政 策	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち
施 策	1 保健・医療サービスの充実
施策展開	②疾病予防を推進する
後期基本計画 38 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第２次豊後大野市健康づくり計画 期間 H26 年度 ～ R5 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
検査検診委託料	51,275
印刷製本費	165
通信運搬費	77
託児業務委託料	71

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施し、一人ひとりが健康づくりを進められる環境をつくる ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 新型コロナ感染防止策を徹底しながら3密の回避、事前予約制とし、スムーズに受診できる体制づくりに努める。また、女性が受けやすいレディース検診、無料クーポン券の送付や働き世代が受診しやすいよう土曜・日曜健診の実施や、協会けんぽと連携した未受診者への通知等啓発を引き続き行う。さらに疾病の早期発見、早期治療の目的達成の為、精密検査未受診者への受診勧奨を委託先と協力して徹底する。	R3	胃がん検診：40歳以上の男女対象1,430名・肺がん検診3,488名・大腸がん検診 2,906名・子宮頚がん検診 2,239名（クーポン受診者除く）・乳がん検診：2,158名・前立腺がん検診1,118名 女性特有のがん検診：子宮頚がん検診クーポン利用受診者19名（対象101名）受診率18.8%・乳がん検診クーポン利用受診者 38名（対象168名）受診率22.6%
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	51,588				51,588
当初予算	51,588				51,588
決 算 額	46,882	2,055			44,827
R４計画	51,588				51,588
当初予算	51,646				51,646
決 算 額					
R５計画	51,588				51,588
当初予算					
決 算 額					
R６計画	51,588				51,588
当初予算					
決 算 額					
R７計画	51,588				51,588
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	257,940				257,940
当初予算	103,234				103,234
決 算 額	46,882	2,055			44,827

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	子宮頚がん・乳がん検診（クーポン券）受診勧奨	子宮頚がん・乳がん検診（クーポン券）周知回数（個別通知・間接通知）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	回	目標値	8	8	8	8	8
							実績値	8				
						%	達成率	100.0				
	2	要精密者への受診勧奨	要精密者への受診勧奨率	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	子宮頚がん・乳がん検診（クーポン券）受診状況	子宮頚がん・乳がん検診（クーポン券）受診率(受診者数/配布者数)	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	26.1	%	目標値	30	30	40	50	50
							実績値	21.2				
						%	達成率	70.7				
	2	精密検査受診状況	精密検査受診率 5大がんそれぞれの精密受診者の和/5大がんそれぞれの要精密検査者数の和	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	88.7	%	目標値	95	95	100	100	100
							実績値	86.5				
						%	達成率	91.1				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
主要死因の1位である悪性新生物の早期発見を目的に、各種のがん検診を実施しているため、今後も事業の継続が必要である。受診勧奨や受けやすい体制づくりを行っており、受診者が増えるように今後も取り組んでいく必要がある。	市民が、がん検診を受けやすいように、大腸がんの郵送健診や託児付きレディース健診など健診体制を整えた。精密未受診者の方には、個別の電話かけを行い受診勧奨を促した。本市における悪性新生物による死亡率が高いことから、今後においてもがん検診の体制整備、普及啓発につとめていく必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
78002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	狂犬病予防事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 230 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	3
決算	86

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	5 環境衛生の推進
施策展開	④公衆衛生を推進する
後期基本計画	60 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市環境基本計画
	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
畜犬登録管理システム保守委託料	385
消耗品費	202
通信運搬費	125
印刷製本費	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 狂犬病予防法に基づく予防注射の対応及び犬の登録、異動、死亡、飼い方等への対応を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・予防注射の実施 ・犬の登録、異動、死亡等の届出処理 ・（システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施） ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応	R3	・予防注射の実施（1,447頭） ・犬の登録（132頭）、異動、死亡等の届出処理 ・（システムの保守管理を委託し、台帳へ入力を実施） ・迷い犬、犬の飼い方への苦情対応
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	762			762	
当初予算	762			762	
決 算 額	645			645	
R４計画	762			762	
当初予算	766			766	
決 算 額					
R５計画	762			762	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	762			762	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	762			762	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,810			3,810	
当初予算	1,528			1,528	
決 算 額	645			645	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 狂犬病予防注射頭数	過去５年間の平均注射頭数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,539	頭	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
						実績値	1,447				
					%	達成率	90.4				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業であり、精査しながら対応していく必要がある。 犬の登録頭数、注射頭数は人口と同じで全体数が減少しているため、今後も減少が続くと思われる。 また、令和４年６月から犬のマイクロチップ義務化（ペットショップやブリーダーなど犬猫を販売する事業者のみ義務化）が法改正により施行された。これに伴い国は登録等のワンストップ化のサービスを進めていますが、手数料等の徴収の問題もあり大分県内の市町村はどこもまだ加入をしていない。他市の状況や条例の適用等をふまえ、今後も加入については検討をしていく。 なお、現在犬の登録についてシステムを導入し、現在、保守委託料契約を結んで使用していますがこれを廃止して、今後はkintoneを利用し、犬のワンストップ化サービスに対応できるようシステムを構築する予定。	法令に基づくもの及び市民の生活環境を改善するために必要不可欠な事業である。犬の登録及び注射は全体数が減少傾向が続くと考えられる。 また、令和４年６月の犬のマイクロチップ義務化が法改正により施行されました。これに伴い国は登録等のワンストップ化サービスを推進しているが、手数料等の徴収問題関係により県内市町村未加入状態である。他市の状況や条例適用等を踏まえ、今後の加入要検討である。 なお、業務改善の一環として、犬の登録システムをkintone利用に移行させる。 現在の保守委託料の削減を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
78002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事 業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	悪臭防止事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 230 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	3
決算	86

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	5 環境衛生の推進
施策展開	④公衆衛生を推進する
後期基本計画 60 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
手数料	3,762
臭気調査委託料	106

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 三重町三重原地域周辺の養豚業者からと思われる悪臭問題の解決に向け平成21年９月から「三重原地域環境問題代表者会議」を開催して協議を重ねており、解決に向け悪臭防止法及び本市の基準に基づいた臭気指数の調査を行う。 また、悪臭の発生状況について地域住民からの意見を聞くためにモニタリング調査として三重原区から１０名選任してもらい、毎月報告をいただく。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定（養豚業者及び臨時の発生時の対応） ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託	R3	・悪臭防止法に基づいた臭気指数の測定 7回（2,926千円） ・地域住民へ臭気測定のモニタリング調査を委託（106千円） ・循環型自然消臭法試験導入業務委託の実施（3,564千円）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,868				3,868
当初予算	3,868				3,868
決 算 額	6,596				6,596
R４計画	3,868				3,868
当初予算	3,967				3,967
決 算 額					
R５計画	2,200				2,200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,200				2,200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,200				2,200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	14,336				14,336
当初予算	7,835				7,835
決 算 額	6,596				6,596

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 臭気指数の測定回数	地域住民からの要望及び予算による	□ 総合戦略 □ 個別計画	8	回	目標値	8	8	5	5	5
						実績値	7				
					%	達成率	87.5				
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	17 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

令和3年度については2ヶ月に1回の1事業者への臭気測定については予定通り実施ができた。
また、新たな臭気方法として大分県から紹介を受けた大分大学発のベンチャー企業が協力して実施している「循環型自然消臭法」について事業の導入部分となるステップA（３か月）に取組、年度内にこの事業の肝となる「有機消臭土」を予定どおり完成することができた。
令和4年度以降は臭気調査の継続と「循環型自然消臭法」の養豚業者の取組の推移を確認していくこととしていたが、令和4年4月に行われた代表者会議において１養豚業者より廃業の表明がなされたため、悪臭防止法に基づく臭気測定の実施の有無、養豚業者の「循環型自然消臭法」の継続の取組については困難となり、今後は、廃止にむけての確認と情報収集に務め、臭気の改善に向け市として支援を行っていく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

令和3年度は2ヶ月1回の1事業者への臭気測定は実施ができた。
また、「循環型自然消臭法」での事業の導入部分となるステップA（３か月）に取組、年度内に「有機消臭土」を予定どおり完成することができた。
令和4年4月開催第117回代表者会議にて１養豚業者より廃業の表明がなされたため、養豚業者の「循環型自然消臭法」の継続取組については困難となった。今後は、廃業にむけての頭数等の確認を踏まえた情報収集に務め、臭気の改善に向けた支援継続の必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4 縮小

（様式１）

事業番号	枝番
78002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事 業	環境衛生事業	細事業	公衆衛生事業	実施計画事業	食品衛生協会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 230 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	3
決算	86

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	5 環境衛生の推進
施策展開	④公衆衛生を推進する
後期基本計画 60 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
食品衛生協会補助金	200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市食品衛生協会は食品関係営業者により組織された団体として昭和38年に発足して以来、食品に起因する伝染病、食中毒の発生防止、食品の品質と食品衛生の向上に努めている。 食中毒などの食品事故の防止のために巡回指導、食品衛生安全情報普及事業、衛生教育事業等さまざまな活動を行っている協会の安定化を図り、食品に起因する衛生上の危害を防止し、公衆衛生の向上及び推進に寄与することを目的として補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市食品衛生協会の令和3年度の事業に対し、補助金の交付を行う。	R3	豊後大野市食品衛生協会の令和3年度の事業に対し、補助金の交付を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	200				200
当初予算	200				200
決 算 額	200				200
R４計画	200				200
当初予算	200				200
決 算 額					
R５計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
R６計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
R７計画	200				200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,000				1,000
当初予算	400				400
決 算 額	200				200

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 食中毒の発生抑制	豊後大野市食品衛生協会の主な活動による成果 食中毒の発生については毎年０件を目標（市内は平成２７年以降発生なし）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		件	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ渦の中で食品衛生協会に加盟する飲食業等の事業所は大変苦労をしており、その中で食中毒を起こさない、コロナの感染症を拡大させないようさまざま取組については市としても今後とも支援していく必要がある。	食中毒を起こさせないため、またコロナ感染症を拡大させないようさまざまな取組を今後とも支援していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
78003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事業	環境衛生事業	細事業	飲料用水施設改善補助事業	実施計画事業	飲料用水施設改善補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 189 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	3
決算	86

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	2 上下水道の整備
施策展開	①上水道等を整備する
後期基本計画	54 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
飲料用水施設改善補助金	13,330

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民の健康増進と公衆衛生の確保及び生活環境の改善を図るため、市内の公営水道区域外の飲料用水施設の新設及び修繕に係る費用の一部を助成する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・飲料用水施設改善補助金の交付（10件）	R3	・飲料用水施設改善補助金の交付（8件）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	13,330				13,330
当初予算	13,330				13,330
決算額	3,774				3,774
R４計画	13,330				13,330
当初予算	13,300				13,300
決算額					
R５計画	13,330				13,330
当初予算					
決算額					
R６計画	13,330				13,330
当初予算					
決算額					
R７計画	13,330				13,330
当初予算					
決算額					
計画額	66,650				66,650
当初予算	26,630				26,630
決算額	3,774				3,774

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業実施数	過去の実績を踏まえ下限を設定する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	19	件	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	8				
					%	達成率	80.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	15 点 ／25点	4 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
補助件数については地元からの申請に基づくため、年度にばらつきが見られる。また、現在の市補助要綱では１/３補助（対象事業費400万円）だが、補助率等について議会で市長が見直しすことを答弁しており、令和5年度からの適用に向け、補助率等を含めた要綱改正を令和４年度中に行う予定である。	地元申請に基づくため、年度間で件数・金額にばらつきが見られる。現在は１/３補助（対象事業費400万円）だが、令和5年度からの補助率変更を含めた要綱改正を令和４年度中に行う予定である。問い合わせも多く、希望する需要が多いのではないかと考えられる。また、次年度から補助率が見直された場合には、より希望件数増となる可能性がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
78005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事業	環境衛生事業	細事業	環境衛生事務費	実施計画事業	自動車騒音監視業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 403 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	3
決算	86

政策	Ⅵ 豊かな自然を未来に残し伝えるまち
施策	2 環境保全の推進
施策展開	①環境保全対策を推進する
後期基本計画	100 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第3次豊後大野市環境基本計画
	期間 R2 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
自動車騒音監視業務委託料	2,530

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市内における自動車騒音の状況について、騒音規制法第１８条第１項の規定に基づき、環境省が配布する面的評価支援システムを使用して常時監視を実施し、対象路線の面的評価を行い環境基準の達成の把握、環境省への報告資料を作成し、総合的な道路環境の各種施策への反映、公表することを目的とする。（権限移譲により平成２４年度から当該事業を市が行うこととなっている。） ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・自動車騒音監視業務委託（7路線）	R3	・自動車騒音監視業務委託（7路線 12区間、実測4地点）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,530				2,530
当初予算	2,530				2,530
決算額	2,618				2,618
R４計画	2,500				2,500
当初予算	2,629				2,629
決算額					
R５計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
R６計画	2,200				2,200
当初予算					
決算額					
R７計画	2,200				2,200
当初予算					
決算額					
計画額	11,930				11,930
当初予算	5,159				5,159
決算額	2,618				2,618

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 対象路線数	実施計画により５年ローテーションで対象路線を調査している	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	路線	目標値	7	11	5	5	4
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令に基づくものであり必須の事業となっている。今後も道路交通センサスの状況による計画を見直しながら、事業については入札を行い事業費の削減に務めていく必要がある。	法令に基づくものであり必須事業である。道路交通センサスの状況による計画を見直し、入札を行い事業費の削減に務めていく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
78006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事業	環境衛生事業	細事業	小規模給水施設整備事業	実施計画事業	小規模給水施設整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 189 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	3
決算	86

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	2 上下水道の整備
施策展開	①上水道等を整備する
後期基本計画 54 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
修繕料	200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 平成30年度に小規模給水施設水源確保等支援事業（大分県補助）で整備した三重町松谷地区・小切畑地区の給水施設の修繕を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・三重町松谷地区の給水施設の補修（1箇所）	R3	・三重町松谷地区の給水施設の補修（1箇所）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	200				200
当初予算	200				200
決算額	158				158
R４計画	200				200
当初予算	200				200
決算額					
R５計画	200				200
当初予算					
決算額					
R６計画	200				200
当初予算					
決算額					
R７計画	200				200
当初予算					
決算額					
計画額	1,000				1,000
当初予算	400				400
決算額	158				158

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	地元への施設の移管又は協定による地元管理への移行	施設の補修による状況を見守りつつ、地元への移管を検討する必要があるため。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成30年度に大分県の小規模給水施設整備事業を活用して実施した事業の修繕であり、県の小規模集落に対する新たな補助事業（Ｒ４～Ｒ６）が決定したことから、その内容との均衡をたもつためにも令和４年度の状況をみつつ、地元移管を検討する必要がある。	平成30年度大分県小規模給水施設整備事業実施分の修繕である。（Ｒ４～Ｒ６）大分県小規模集落等水源整備支援事業との均衡を保つためにも、令和４年度の状況により、他地区と同様に地元移管を進める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4 縮小

（様式１）

事業番号	枝番
79001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事 業	葬斎場事業	細事業	葬斎場管理運営事業	実施計画事業	葬斎場管理運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 229 ）

会計	一般
款	4
項	1
目	4
決算	87

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	5 環境衛生の推進
施策展開	④公衆衛生を推進する
後期基本計画 60 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
葬斎場運転管理業務委託料	24,834
修繕料	8,863
光熱水費	8,526
燃料費	4,634

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 人生の終焉となる葬斎場について、墓地・埋葬に関する法律及び条例、規則に則り、維持管理を適正に行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市（野津町分）からの事務委託による精算業務	R3	・葬斎場運転管理の業務委託 ・警備、浄化槽、エレベータ、火葬炉等の保守管理、点検業務の委託 ・燃料、光熱水費の支払、消耗品の購入及び修繕発生時の対応 ・臼杵市（野津町分）からの事務委託による精算業務
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	56,928			17,025	39,903
当初予算	56,928			17,025	39,903
決 算 額	48,252			16,210	32,042
R４計画	56,928			17,025	39,903
当初予算	56,234			18,379	37,855
決 算 額					
R５計画	56,928			17,025	39,903
当初予算					
決 算 額					
R６計画	56,928			17,025	39,903
当初予算					
決 算 額					
R７計画	56,928			17,025	39,903
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	284,640			85,125	199,515
当初予算	113,162			35,404	77,758
決 算 額	48,252			16,210	32,042

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 火葬業務件数	目標としては定めるものではないが、予測される指標として算出。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	861	件	目標値	820	820	820	820	820
						実績値	831				
					%	達成率	101.3				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業となっている。 施設については建設から5年を経過しており、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に務め、委託業者と連携を密にして運営を行う必要がある。 新型コロナウイルス感染者の火葬対応、世界的な半導体不足による修繕の部品調達などが課題となっているが、その時々の状況で対応を行っていく。	法令等により市が実施主体であることが定められており、必須の事業である。 施設については建設後5年経過し、今後も計画的な補修修繕及び維持管理に努め、委託業者と連携を密にして運営を行う。 新型コロナウイルス感染者火葬対応や世界的半導体不足による修繕部品調達などが課題で、その内容によって対応を行う。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
81001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事 業	清掃総務事業	細事業	一般廃棄物適正処理事業	実施計画事業	一般廃棄物適正処理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 221 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	1
決算	89

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	5 環境衛生の推進
施策展開	①廃棄物対策を充実する
後期基本計画 60 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H２４ 年度 ～ R８ 年度
	令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R３ 年度 ～ R３ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	30
通信運搬費	6

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び本市の条例、規則に基づき一般廃棄物処理業の許可更新事務を行う。 また、市道沿いの小動物の死骸処理を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・一般廃棄物処理業の許可更新事務 ・小動物の死骸処理	R3	・一般廃棄物処理業の許可更新事務 8件 ・小動物の死骸処理 27件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	36			16	20
当初予算	36			16	20
決 算 額	17			16	1
R４計画	36			4	32
当初予算	36			4	32
決 算 額					
R５計画	36			16	20
当初予算					
決 算 額					
R６計画	36			4	32
当初予算					
決 算 額					
R７計画	36			16	20
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	180			56	124
当初予算	72			20	52
決 算 額	17			16	1

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 一般廃棄物処理業の許可更新件数	現在許可されている業者数（２年更新）（新規申請の審査を含む）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	件	目標値	8	2	8	2	8
						実績値	8				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	18 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
一般廃棄物処理業の許可更新事務については、関係法令に基づくものであり粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が必要となる。 小動物の死骸処理については、土日祝日、時間外も環境衛生課係内職員で対応しており、他市ではシルバー人材センター等に委託しているところもあるが、本市では職員で対応している状況である。	一般廃棄物処理業許可更新事務については、関係法令に基づくもので、粛々と進める必要がある。今後の課題としては令和9年度の新環境センター稼働に向けて、令和8年度で本市の一般廃棄物処理基本計画が終了するため、新たに策定が必要となる。 小動物死骸処理の土日祝日時間外対応は、他市では委託しているところもあるが、本市では職員で対応としており、今後の検討課題と考えられる。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
81002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事 業	清掃総務事業	細事業	塵芥処理事業	実施計画事業	段ボールコンポスト支給事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 223 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	1
決算	89

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	5 環境衛生の推進
施策展開	②循環型社会を形成する
後期基本計画 60 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H２４ 年度 ～ R８ 年度
	令和３年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R３ 年度 ～ R３ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 家庭から排出される生ごみの減量の推進及びリサイクルに関する市民の意識の高揚を図るため。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 段ボールコンポストセットの給付（100基）し、モニタリング調査を行う。	R3	段ボールコンポストセットについては100セットを59人へ給付した。モニタリング調査のアンケート結果については59名中53名の回答があり、取組が簡単だったが約6割、今後も取組たいが約5割であった。「混ぜるのが大変」、「夏場の臭いや虫の発生」などの気になる点もあれば、「いい堆肥ができた」、「ごみの減量化ができた」などの意見があった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	400				400
当初予算	400				400
決 算 額	198				198
R４計画	400				400
当初予算	484				484
決 算 額					
R５計画	400				400
当初予算					
決 算 額					
R６計画	400				400
当初予算					
決 算 額					
R７計画	400				400
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,000				2,000
当初予算	884				884
決 算 額	198				198

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ごみの排出量（家庭系ごみ）	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	7,818	トン	目標値	7,277	7,178	7,080	6,981	6,883
						実績値	7,725				
					%	達成率	106.2				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	15 点 ／25点	4 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
段ボールコンポストの給付については、これまで畑で使用していたコンポスターに変わり新たに令和3年度から取組を開始したものである。 アンケート結果からは、取組が「簡単だった」、「大変だった」双方の意見があったが、一概には言えないものの、ごみの減量化に対する意識付けという目標は達したと思われる。 段ボールコンポスト給付事業については令和３年度に新たに取組を開始したばかりであり、令和４年度は給付数を増やして市民のごみ減量化に対する意識の高揚を図りたい。 成果指標については前年度より減となっているものの目標値に到達しなかった。値には段ボールコンポストが影響する燃えるごみの他、不燃物、粗大ごみ、資源ゴミ、プラスチックも含まれており、今後もごみの減量に向け啓発を行っていく必要がある。	段ボールコンポスト給付については、新たに令和3年度から取組を開始したものである。アンケート結果からは、ごみの減量化に対する意識付けという目標は達したと考える。 本給付事業については、新たな取組を開始したばかりで、令和４年度は給付数増で市民のごみ減量化に対する意識高揚を図る必要がある。 成果指標については、目標値に到達しなかった。しかし、値には段ボールコンポストが影響する燃えるごみ以外のごみも含まれており、今後ともごみの減量啓発を行っていくことが必要。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
81002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	環境衛生係

事業	清掃総務事業	細事業	塵芥処理事業	実施計画事業	不法投棄対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 402 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	1
決算	89

政策	Ⅵ 豊かな自然を未来に残し伝えるまち
施策	2 環境保全の推進
施策展開	①環境保全対策を推進する
後期基本計画 100 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H２４ 年度 ～ R８ 年度
	第３次豊後大野市環境基本計画 期間 R２ 年度 ～ R６ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	149
手数料	185

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 不法投棄の撲滅に向けた啓発と発生時の処理を関係機関と連携して行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・不法投棄防止対策等支援事業（看板20本作成） ・不法投棄された廃棄物の処理	R3	・不法投棄防止対策等支援事業（看板20本作成） ・不法投棄された廃棄物の処理【家電リサイクル分（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）、タイヤほか】
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	334	49			285
当初予算	334	49			285
決 算 額	232	49			183
R４計画	334	49			285
当初予算	334	49			285
決 算 額					
R５計画	334	49			285
当初予算					
決 算 額					
R６計画	334	49			285
当初予算					
決 算 額					
R７計画	334	49			285
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,670	245			1,425
当初予算	668	98			570
決 算 額	232	49			183

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 不法投棄発生件数	不法投棄については依然として二桁台で推移しており、目標として一桁台を設定した。	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	14	件	目標値	13	12	11	10	9
						実績値	17				
					%	達成率	130.8				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っているが、実際の不法投棄発生件数は本年度は増加する結果となった。 発見された不法投棄は本年度より前から発生したものも多く、不法投棄撲滅の取組は地道な啓発活動が必要である。	不法投棄防止に対する啓発及び発見後に処理等の取組を継続して行っている。しかしながら、実際の不法投棄発生件数は増加する結果となった。 不法投棄撲滅の取組は、地道な啓発活動が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
83001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	上下水道課	係名	工務係／管理係

事業	生活排水処理事業	細事業	浄化槽設置整備事業	実施計画事業	浄化槽設置整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 191 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	2
決算	90

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	2 上下水道の整備
施策展開	②生活排水処理を推進する
後期基本計画	54 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	生活排水処理施設整備構想
期間	H28 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
合併処理浄化槽設置整備事業費補助金	222,670

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 単独浄化槽やくみ取り便槽を合併処理浄化槽へ転換することにより、河川や用水路などの効用水域の水質保全、公共衛生が向上し、住民の生活環境の向上が図られる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 単独浄化槽、くみとり便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 目標基数２５０基	R3	単独浄化槽、くみとり便槽から合併処理浄化槽への転換補助事業 基数２２０基
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	222,670	154,502			68,168
当初予算	222,670	154,502			68,168
決算額	190,326	141,116			49,210
R４計画	222,670	154,502			68,168
当初予算	224,220	155,665			68,555
決算額					
R５計画	222,670	154,502			68,168
当初予算					
決算額					
R６計画	222,670	154,502			68,168
当初予算					
決算額					
R７計画	222,670	154,502			68,168
当初予算					
決算額					
計画額	1,113,350	772,510			340,840
当初予算	446,890	310,167			136,723
決算額	190,326	141,116			49,210

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 合併処理浄化槽転換基数	年度末転換完了基数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	228	基	目標値	200	200	200	200	200
						実績値	220				
					%	達成率	110.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 汚水処理人口普及率	汚水処理人口／住民基本台帳人口×100	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	64.5	%	目標値	68.4	70.3	72.3	74.3	76.4
						実績値	66.6				
					%	達成率	97.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
前年度より設置基数は減少したものの、設置基数２２０基で、生活排水処理処理構想で目標としている年間２００基は超えている。 しかし、生活排水処理処理構想で目標としている汚水処理人口普及率の年度目標より約２％下回っていることから、予算限度いっぱいの２５０基設置に向けて取組みを進めていく必要がある 制度の周知を行ない、更なる事業推進を行なっていく。	「豊後大野市生活排水処理施設整備構想」では令和７年度末の生活排水処理率76.4%を目標としている。 令和３年度は合併処理浄化槽への転換が計画の88%と高い水準であった。 しかし、年度末の生活排水処理率は66.6%であり目標達成には年度設置予定基数の２５０基をクリアしていかねばならない。 令和４年度より汲み取り槽からの転換についても配管、撤去に係る補助要件が追加となった。 啓発活動を行い事業の推進に努めたい。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
84001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	清掃センター係

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理事業	実施計画事業	一般廃棄物処理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 219 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	3
決算	91

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	5 環境衛生の推進
施策展開	①廃棄物対策を充実する
後期基本計画 60 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ～ R8 年度
	令和3年度一般廃棄物処理計画 期間 R3 年度 ～ R3 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ごみ収集・処分業務委託料	226,104
清掃センター施設管理委託料	120,113
光熱水費	56,268
修繕料	36,024

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 一般廃棄物処理事業（ごみ収集・処分業務） ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分する。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減を図る。	R3	・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分をおこなった。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減が図られた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	511,215			154,742	356,473
当初予算	511,215			154,742	356,473
決算額	515,061			145,613	369,448
R４計画	511,215				511,215
当初予算	595,921		62,400	186,613	346,908
決算額					
R５計画	511,215				511,215
当初予算					
決算額					
R６計画	511,215				511,215
当初予算					
決算額					
R７計画	511,215				511,215
当初予算					
決算額					
計画額	2,556,075			154,742	2,401,333
当初予算	1,107,136		62,400	341,355	703,381
決算額	515,061			145,613	369,448

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
課題 新型コロナウイルス感染拡大防止により外出自粛となったため、家の片付け等により不燃ごみ粗大ごみが増加し、給付金の支給による影響なのか家電の買換による使用済小型家電の持込みも増加した。 改善策 コロナウイルスに関連しての一時的な増加と思われるが、ごみの分け方・出し方保存版等を活用して分別強化を促進するとともに、生ごみの水切り等を呼びかけた。また、使用済小型家電の減量を行うため宅配収集業者の活用を住民に周知した。	新型コロナウイルス感染拡大防止により外出自粛となったため、家庭での可燃ごみの増加と、家の片付け等による不燃ごみ粗大ごみが増加した。給付金の支給による影響なのか家電の買換による使用済小型家電の持込みも増加している状況である。 コロナウイルスに関連しての一時的な増加と思われるが、ごみの分け方・出し方保存版等を活用して市民便利講座の開催等で分別強化を促進するとともに、生ごみの水切り等を呼びかけた。また、使用済小型家電の減量を行うため宅配収集業者の活用を住民に周知を図った。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
84002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	環境衛生課	係名	清掃センター係

事業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理施設整備事業	実施計画事業	一般廃棄物処理施設整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 218 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	3
決算	91

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	5 環境衛生の推進
施策展開	①廃棄物対策を充実する
後期基本計画	60 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ～ R8 年度
	令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3 年度 ～ R3 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ごみ収集・処分業務委託料	226,104
清掃センター施設管理委託料	120,113
光熱水費	

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 一般廃棄物処理事業（ごみ収集・処分業務） ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分する。 ・市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減を図る。	R3	ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備･機器の適切な保全･管理及び修繕を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	57,915			7,800	50,115
当初予算	57,915			7,800	50,115
決算額	54,780				54,780
R４計画	24,200			23,214	986
当初予算	24,200			23,214	986
決算額					
R５計画	24,200			23,214	986
当初予算					
決算額					
R６計画	24,200			23,214	986
当初予算					
決算額					
R７計画	24,200			23,214	986
当初予算					
決算額					
計画額	154,715			100,656	54,059
当初予算	82,115			31,014	51,101
決算額	54,780				54,780

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
意見 既存のごみ焼却DCSシステムが製造中止となり、修繕補償期間の５年が経過することから後継機への交換工事が必要となった。 R9年度の新環境センター稼働開始までに、交換や修繕を必要とする箇所はさらに増えると思われる。 課題 可燃処理施設は２０年を経過しており、経年劣化による修繕が目立っている。また、機械設備も同様に修繕が必要となっているが、製造中止の物が多く、新環境センター稼働開始までに高額な支出が予想される。	可燃処理施設は２０年を経過しており、R9年度の新環境センター稼働開始までには機械設備の部品交換や修繕を必要とする箇所はさらに増える可能性があり、今後の検討課題と考えられる。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
85001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	環境衛生課	係名	白鹿浄化センター係

事 業	一般廃棄物処理事業	細事業	一般廃棄物処理事業	実施計画事業	一般廃棄物処理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 227 ）

会計	一般
款	4
項	2
目	4
決算	92

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	5 環境衛生の推進
施策展開	③汚水処理対策を充実する
後期基本計画 60 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市一般廃棄物処理基本計画 期間 H24 年度 ～ R8 年度
	令和3年度一般廃棄物処理計画【実施計画】 期間 R3 年度 ～ R3 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
包括運転管理委託料	227,334
白鹿浄化センター施設管理委託料	3,825
修繕料	3,120
火災等保険料	127

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 一般廃棄物処理事業 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行う。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化（農地還元）を行う。 ・施設運転管理業務を民間（西日本JKO）に委託。	R3	・収集、搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を、微生物処理や膜分離装置等で適正に処理を行った。 ・処理過程で発生する脱水汚泥は発酵後に袋詰めを行い堆肥化（農地還元）を行った。 ・施設運転管理業務を民間（西日本JKO）に委託。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	234,564			26,384	208,180
当初予算	234,564			26,384	208,180
決 算 額	233,116			26,028	207,088
Ｒ４計画	301,025			85,782	215,243
当初予算	301,025			85,782	215,243
決 算 額					
Ｒ５計画	301,025			85,782	215,243
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	301,025			85,782	215,243
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	301,025			85,782	215,243
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,438,664			369,512	1,069,152
当初予算	535,589			112,166	423,423
決 算 額	233,116			26,028	207,088

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	11 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
課題 施設や機器の老朽化が進んでいたため令和2年度までに大規模な改修をおこない、それ以外の修繕は更新時期に合わせて行うこととしていた。また、簡易な修繕は運転時に確認されるため施設運転管理業務委託の契約範囲内で行っている。 更新時期を向かえる、中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、更新時期が重なるため予算の確保が必要となる。 改善策 施設運転管理業務委託先の契約期間が3年であることから、現時点での長期計画は難しい。また、他社との契約となった場合同様に更新工事に係る長期設計は難しい為、随意契約を行うか、契約期間を最低5年に延長し長期の更新計画を設計する必要がある。	令和2年度までに大規模な改修をおこない、それ以外の修繕は更新時期に合わせて行うこととしており、簡易な修繕は運転時に確認されるため施設運転管理業務委託の契約範囲内で行っている。 また、更新時期を向かえる中央制御室電子機器配電盤や汚泥処理槽などは高額な更新費用が必要で、更新時期が重なるため予算の確保が必要となることから今後の検討課題である。 施設運転管理業務委託先の契約期間が3年であり、他社との契約となった場合に更新工事に係る長期設計は難しい為、随意契約を行うか、契約期間を最低5年に延長し長期の更新計画を設計する必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
86003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	雇用団体等助成事業	細事業	雇用労政事業	実施計画事業	豊後大野地区労働者福祉協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 111 ）

会計	一般
款	5
項	1
目	1
決算	93

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	6 雇用環境の向上
施策展開	③勤労者福祉を向上する
後期基本計画	34 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
豊後大野地区労働者福祉協議会補助金	135

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野地区労働者福祉協議会（以下「労働者福祉協議会」という。）が労働者福祉の向上を図ることを目的に行う事業に要する経費について、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出する。	R3	労働者福祉協議会が主催又は協賛する労働者福祉に関する活動やボランティア活動に対して予算の範囲内で補助金を支出した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	135				135
当初予算	135				135
決 算 額	135				135
R４計画	135				135
当初予算	135				135
決 算 額					
R５計画	135				135
当初予算					
決 算 額					
R６計画	135				135
当初予算					
決 算 額					
R７計画	135				135
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	675				675
当初予算	270				270
決 算 額	135				135

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 労働者福祉活動の回数	①ゴミ拾い活動、②ボウリング大会、③ミニバレーボール大会、④ハンドメイド教室、⑤福祉研修会以上5つの活動を年度内に実施する。 ※令和2年度はコロナ禍のため活動なし（支出なし）、令和3年度もコロナ禍であったが福祉研修会のみ実施	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	1				
					%	達成率	20.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 労働者福祉活動の参加者数	労働者福祉のためのスポーツ大会、研修会、学習会等の参加者数 ※令和2年度はコロナ禍のため活動なし（支出なし）、令和3年度もコロナ禍であったが福祉研修会を実施	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	390	390	390	390	390
						実績値	350				
					%	達成率	89.7				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	2 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍であったため、活動指標は満たされなかったが、福祉研修会への参加者数（成果指標）は目標値に近い数値となっている。令和4年度は令和3年度よりも多くの活動指標をクリアし、労働者福祉の向上を図っていただきたい。	コロナ禍で活動が停滞しており評価が難しいため、今後の活動状況を分析して事業の方向性を見極めることとする。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
86003	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事 業	雇用団体等助成事業	細事業	雇用労政事業	実施計画事業	豊肥地域シルバー人材センター補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 111 ）

会計	一般
款	5
項	1
目	1
決算	93

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	6 雇用環境の向上
施策展開	③勤労者福祉を向上する
後期基本計画 34 P	☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
豊肥地域シルバー人材センター補助金	12,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公益社団法人豊肥地域シルバー人材センター（以下「シルバー人材センター」という。）が高年齢者の福祉の増進に資することを目的に行う事業（高年齢者就業機会確保事業や雇用開発支援事業）に要する経費について、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 竹田市から均等割及び高齢者人口割の負担金を徴し、本市分と合わせてシルバー人材センターへ補助金を支出する。なお、補助金の額は、当市が支出する額（竹田市分含む）と同額を国も補助している。	R3	年度末会員数421人（うち豊後大野市297人）で、請負事業の受注件数は3,789件、受注金額は212,166,226円。就業延人数は32,905人。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	12,000			5,399	6,601
当初予算	12,000			5,399	6,601
決 算 額	12,000			5,399	6,601
R４計画	12,000			5,399	6,601
当初予算	12,000			5,379	6,621
決 算 額					
R５計画	12,000			5,399	6,601
当初予算					
決 算 額					
R６計画	12,000			5,399	6,601
当初予算					
決 算 額					
R７計画	12,000			5,399	6,601
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	60,000			26,995	33,005
当初予算	24,000			10,778	13,222
決 算 額	12,000			5,399	6,601

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 受注件数	豊肥地区シルバー人材センターが受注した請負事業件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,829	件	目標値	3,840	3,860	3,880	3,900	3,920
						実績値	3,789				
					%	達成率	98.7				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 シルバー人材センターの会員数	シルバー人材センターに登録している高齢者数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	458	人	目標値	500	500	530	550	600
						実績値	421				
					%	達成率	84.2				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊肥地域の過疎高齢化や改正高年齢雇用安定法（事業主に対して65歳までの雇用確保と70歳までの就業確保の努力義務）施行の影響による会員数の減少（全国的にも減少傾向）や、会員の平均年齢の上昇があるなか、地域への上質で低廉な労働力の供給あるいは高齢者の生きがいの場の確保に貢献している。	シルバー人材センターは、高齢者の能力の活用・生きがいづくりの場として必要な組織であり、引き続き補助を行う必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
87001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業委員会事務局	係名	農地管理係

事業	農業委員会事業	細事業	農業委員会事業	実施計画事業	農業委員会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 38 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	1
決算	94

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑤農地利用の最適化を推進する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農地利用最適化推進委員報酬	10,440
農業委員会委員報酬	5,352
費用弁償	1,817
大分県農業会議会費	707

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償等、農業委員会事業の事務管理費 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 農業委員会事業 農地法第3条許可（審査及び許可） 農地法第4条許可 農地法第5条許可 農地移動適正化あっせん（売買、貸借） 各種証明書の発行（買受適格証明、非農地証明、耕作証明等） 農地利用の最適化（担い手への集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消・新規参入の促進） 農業委員会だよりの発行（年2回） 市及び県へ要望書の提出 農業者団体との意見交換会	R3	権利移動：６１件、転用：４０件、利用権１０４件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	20,707	4,272			16,435
当初予算	20,707	4,272			16,435
決 算 額	17,490	3,353		24	14,113
R４計画	20,707	4,272			16,435
当初予算	21,101	4,387			16,714
決 算 額					
R５計画	20,707	4,272			16,435
当初予算					
決 算 額					
R６計画	20,707	4,272			16,435
当初予算					
決 算 額					
R７計画	20,707	4,272			16,435
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	103,535	21,360			82,175
当初予算	41,808	8,659			33,149
決 算 額	17,490	3,353		24	14,113

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業者団体との意見交換会	意見交換会を開催する	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1		目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 農業委員会だよりの発行	年２回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2		目標値	2				
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 農業委員会総会の開催	農業委員会総会を１２回開催する	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12		目標値	12				
						実績値	12				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
主な支出は、農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償である。 農地利用の最適化の推進のためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が相互に連携し、目標達成に向けてそれぞれの使命を十分果たし、農業委員会事務局と協力して取り組む必要がある。	農業委員は農地法に基づく所有権移転、農地転用等の審査をしている。また、最適化推進委員は「今使われている農地を使えるうちに使える人に算段する」ことを主業務としている。両委員が相互に連携し「農地利用の最適化」の成果を上げるには必要な業務である。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
87003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業委員会事務局	係名	農地管理係

事 業	農業委員会事業	細事業	機構集積支援事業	実施計画事業	機構集積支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 38 ）

会計	一般	政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
款	6	施 策	1 農業の振興
項	1	施策展開	⑤農地利用の最適化を推進する
目	1	後期基本計画 24 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	94		

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	494
通信運搬費	78

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 機構集積支援事業 利用状況調査（農地パトロール）により、市内全域の農地の利用状況を調査し、遊休農地の所有者に対して利用意向調査を実施する。また、意向調査の結果により農地中間管理機構への通知及び公告・勧告等の手続きを行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 事前調査説明会 7/15・7/27 利用状況調査（農地パトロール）8/1～9/中旬 市内全域の農地の利用状況を調査 遊休農地の所有者に利用意向調査を実施 11/末 意向調査の結果により農地中間管理機構への通知及び公告・勧告等の手続き実施 2/中旬	R3	調査面積：6,080ha 遊休面積：346.2ha 解消面積：15.7ha
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	572	572			
当初予算	572	572			
決 算 額	425	421			4
R４計画	500	500			
当初予算	1,091	869			222
決 算 額					
R５計画	500	500			
当初予算					
決 算 額					
R６計画	500	500			
当初予算					
決 算 額					
R７計画	500	500			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,572	2,572			
当初予算	1,663	1,441			222
決 算 額	425	421			4

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	4 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農地利用最適化のため目標を設定し、目標達成に向けて取り組む。 成果目標（農地の集積・集約、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）＋活動（日数）目標を設定する。	高齢化・後継者不足により遊休農地が増加している。利用状況調査を通して、今後は守る農地の境目を見極める必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
91001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	農政企画事業	細事業	農業振興地域整備促進事業	実施計画事業	農業振興地域整備促進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 37 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	95

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農業振興地域整備促進協議会委員報酬	161
費用弁償	50
農地情報データ更新委託料	495

A 事業目的・内容・実績

＜事業の目的＞
総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し必要な措置を講じ、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与すること。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・農業振興地域整備促進計画の作成及び変更に関する業務。
・農業振興地域整備促進協議会の開催

年度	主な活動実績
R3	農業振興地域整備促進協議会を７月・12月・３月に開催。（除外８筆8,323.33㎡、編入11筆4,438㎡、用途変更４筆486㎡、農地内移動95筆88,345㎡）
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	737				737
当初予算	737				737
決算額	603				603
R４計画	737				737
当初予算	706				706
決算額					
R５計画	737				737
当初予算					
決算額					
R６計画	737				737
当初予算					
決算額					
R７計画	737				737
当初予算					
決算額					
計画額	3,685				3,685
当初予算	1,443				1,443
決算額	603				603

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標 1	農業振興地域整備促進協議会開催	協議会委員数11名 7月・10月・12月・3月に開催	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	3				
					%	達成率	75.0				
C 活動指標 2	協議会委員による現地調査	委員数2名 7月・10月・12月・3月に実施	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	3				
					%	達成率	75.0				
D 成果指標 1	農用地区域の維持	農地確保の観点から、市内の農用地区域内農用地の面積維持を目指す。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6,884	ha	目標値	6,884	6,884	6,884	6,884	6,884
						実績値	6,884				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標 2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業振興地域整備促進計画の作成及び変更は市が行う事業であるため必要である。計画の変更（除外）には現地調査を行い、代替用地の有無や、計画の変更に伴い農用地区域内における総合的な利用に支障を及ぼす恐れがないか等の確認を行い、安易な農振農用地からの除外を防いでいる。 今後も、農業の健全な発展を図るために農業振興地域整備促進計画の作成及び変更により、優良農地の確保・保全に努めたい。	市の業務として、今後も、農業の健全な発展を図るために農業振興地域整備促進計画の作成及び変更により、優良農地の確保・保全に努める。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
91002	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	農政企画事業	細事業	農林制度資金償還利子補給事業	実施計画事業	農林制度資金償還利子補給事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 37 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	95

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第4次豊後大野市農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農林制度資金償還利子補給金	1

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 認定農業者が借りた農業経営基盤強化資金に対し、償還金の一部を助成することで農業経営の安定を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 期首残高 2,201,517円 期末残高 0円 助成額 666円（県費333円・市費333円）	R3	期首残高 2,201,517円 期末残高 0円 助成額 666円（県費333円・市費333円）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1	1			
当初予算	1	1			
決 算 額	1	1			
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1	1			
当初予算	1	1			
決 算 額	1	1			

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	農業経営基盤強化資金特別利子助成額	借受者が負担する償還利子分について、県と市が２分の１ずつ助成する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	11,504	円	目標値	666				
							実績値	666				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	農業経営基盤強化資金特別利子助成件数	農業経営の安定と経営体の育成を図る。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	件	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～Ⅰ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業経営基盤強化資金の償還金の利子助成を行うことで、借受者の農業経営の安定化に資することができた。 （なお、本市において当該事業は令和3年度をもって終了）	償還金の利子助成を行うことで、借受者の農業経営の安定化に資することができた。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
91003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	農政企画事業	細事業	農業団体等支援事業	実施計画事業	農林業振興公社運営補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 9 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	95

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第4次豊後大野市農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農林業振興公社運営補助金	37,240

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農地の保全や受託作業の受け皿、また新規就農者の育成の場である豊後大野市農林業振興公社の運営を補助する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 担い手不足、遊休農地や荒廃農地の増大、鳥獣害の増大、異常気象等農業を取り巻く環境の厳しい中、農地の保全・担い手補助・担い手の育成を念頭に事業を実施する農林業振興公社の支援を行う。	R3	運営補助金の交付。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	37,240				37,240
当初予算	37,240				37,240
決 算 額	37,240				37,240
R４計画	37,240				37,240
当初予算	37,240				37,240
決 算 額					
R５計画	37,240				37,240
当初予算					
決 算 額					
R６計画	37,240				37,240
当初予算					
決 算 額					
R７計画	37,240				37,240
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	186,200				186,200
当初予算	74,480				74,480
決 算 額	37,240				37,240

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	農林業振興公社の運営支援	公社運営を支援するために、年2回、推進会議を実施する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	1				
						%	達成率	50.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	農林業振興公社の安定運営の支援	公社運営補助金を交付して安定的な運営を支援することにより、受託事業を継続させ、市内の農業の維持に寄与する。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	37,240	千円	目標値	37,240	37,240	37,240	37,240	37,240
							実績値	37,240				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市農林業振興公社は、農作業の受託事業やインキュベーションファーム事業等による担い手の育成事業に取り組み、本市農業振興の一翼を担っている。本市の農業の発展と農地の保全の観点から、今後も継続した支援が必要であると考える。 課題として、市公社の自主財源である農作業受託収入の減少が危惧されている。特に水稲防除の受託事業について、近年ではドローンによる防除の実施へ移行する集落が増加し、市公社への受託が激減している。水稲防除に代わる新たな収益事業を開拓していく必要がある。	ドローンの普及によりヘリ防除の減少等、自主財源の確保対策について指導していく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
91005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	農政企画事業	細事業	農政企画事務事業	実施計画事業	農政企画事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 37 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	95

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第4次豊後大野市農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
水土里情報システム利用負担金	354
燃料費	133
修繕料	124
消耗品費	35

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農政企画業務の円滑な推進 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。	R3	農業振興課が所管する公用車2台の管理及び地理情報システムの運用等。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	696				696
当初予算	696				696
決 算 額	555				555
R４計画	696				696
当初予算	857				857
決 算 額					
R５計画	696				696
当初予算					
決 算 額					
R６計画	696				696
当初予算					
決 算 額					
R７計画	696				696
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,480				3,480
当初予算	1,553				1,553
決 算 額	555				555

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	技術習得のための研修会参加	水土里情報センター推進協議会の開催する研修会に参加し、ＧＩＳの操作技術を習得する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	人	目標値	6	4	4	4	4
							実績値	6				
						%	達成率	100.0				
	2	公用車の定期的な点検	運行前の点検以外に定期的（四半期毎）な点検を行うことにより、重大な故障等の発生を未然に防ぐ。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	4				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	水土里情報システムの操作技術修得者数	農業振興課内（畜産・再生協議会職員を除く）での技術修得者の割合（農政企画係7人・担い手支援係4人・農業振興係4人）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	60	%	目標値	86.7	80	80	80	80
							実績値	86.7				
						%	達成率	100.0				
	2	公用車修繕料の抑制	修繕料の抑制	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	95	千円	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	36				
						%	達成率	36.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	23 点 ／25点	3 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業振興課で使用する公用車２台の管理を行っている。今後も車検時期に注意するとともに、運行前や定期的な点検に努め、適切に管理していく。 また、地理情報システムは農業の各事業で活用しており、事業の進捗管理や計画を作成する上で欠くことのできないシステムであると考える。今後も、各事業担当者と連携し最新の農地情報の把握に努める。	公用車及び地理情報システムについて、適切に管理をしていく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
91006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	農政企画事業	細事業	農地中間管理事業	実施計画事業	機構集積協力金交付金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 44 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	95

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第4次豊後大野市農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
機構集積協力金交付金	9,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 担い手への農地の集積・集約化を加速させるため、機構を通じた農地の集積・集約化等を促進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・地域集積協力金交付事業 地域内の農地の一定割合を機構に貸し付けた地域への協力金 ・経営転換協力金交付事業 機構に農地を貸し付けることにより、経営転換またはリタイアした農業者へのへの協力金（Ｒ５年度廃止）	R3	機構集積協力金 4,821,900円の交付 ＜内訳＞ ・地域集積協力金 12地区 2,781a 4,268,400円 ・経営転換協力金交付事業 ７戸 369a 553,500円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	9,000	9,000			
当初予算	9,000	9,000			
決 算 額	4,822	4,822			
Ｒ４計画	9,000	9,000			
当初予算	7,500	7,500			
決 算 額					
Ｒ５計画	9,000	9,000			
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	8,000	8,000			
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	8,000	8,000			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	43,000	43,000			
当初予算	16,500	16,500			
決 算 額	4,822	4,822			

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	説明会開催による事業の推進	農地中間管理事業の推進を目的とした説明会の実施	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	7				
						%	達成率	175.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	担い手への農地集積	農地中間管理事業を利用した新規集積面積	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	74	ha	目標値	35	35	35	35	35
							実績値	40				
						%	達成率	114.3				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	21 点 ／25点	3 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
まとまった農地の貸付を希望する地域や、農業部門の減少やリタイヤを機に農地の貸付を希望する個人に対して協力金を交付することで、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積が図られた。 また、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。	担い手への農地集積が図られ、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
91006	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	農政企画事業	細事業	農地中間管理事業	実施計画事業	事業事務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 44 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	95

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第4次豊後大野市農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	3,532
社会保険料（会計年度任用職員分）	668
期末手当（会計年度任用職員分）	438
時間外・休日勤務手当	348

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農地中間管理事業の円滑な事業推進を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・事業推進員２名を雇用 ・地区説明会の開催	R3	・事業推進員２名を雇用 ・地区説明会の開催　７地区 ・R3年度集積面積 80.5ha（うち新規39.9ha）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,644			5,404	240
当初予算	5,644			5,404	240
決 算 額	5,322			5,280	42
R４計画	5,644			5,404	240
当初予算	5,697			5,457	240
決 算 額					
R５計画	5,644			5,404	240
当初予算					
決 算 額					
R６計画	5,644			5,404	240
当初予算					
決 算 額					
R７計画	5,644			5,404	240
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	28,220			27,020	1,200
当初予算	11,341			10,861	480
決 算 額	5,322			5,280	42

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	説明会開催による事業の推進	農地中間管理事業の推進を目的とした説明会の実施	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	7				
						%	達成率	175.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	担い手への農地集積	農地中間管理事業を利用した新規集積面積	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	74	ha	目標値	35	35	35	35	35
							実績値	40				
						%	達成率	114.3				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	23 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
説明会の開催により、地元関係者の理解が深まった。その結果、目標値を上回る農地集積が図られた。 また、大分県が進める「ねぎ算出額100億円プロジェクト」により、本市では50haの白ねぎ用農地の確保を県から求められていた。結果として目標の50haを大幅に上回る80haの農地が集まり、契約等の事務負担もそれに伴い増大したが、事業推進員と担当職員及び関係機関との連携により期限内に賃貸借契約を結ぶことができた。	大分県が進める「ねぎ算出額100億円プロジェクト」により、目標の50haを大幅に上回る80haの農地が集まり、契約等の事務負担もそれに伴い増大したが、事業推進員と担当職員及び関係機関との連携により期限内に賃貸借契約を結ぶことができた。特定の作物振興を図る場合のモデル的取り組みとなった。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
92001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	農業振興事業	細事業	営農普及サポート支援事業	実施計画事業	営農普及サポート支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	96

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
普及支援協力員謝礼金	270

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ＪＡ等農業団体、県及び市行政等による営農普及指導体制の確立を図るとともに、食農教育の推進に向けた取り組みを支援する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 営農普及協力員（9名）配置により、園芸重点品目のうち、主要作物である夏秋ピーマン、里いも、かんしょ、白ねぎについて相談指導体制の強化を図る。 内訳：ピーマン（3名）、白ねぎ（1名）、かんしょ（2名）、里いも（3名）	R3	営農普及協力員の配置（9名）を行った。 内訳はピーマン3名、白ねぎ1名、かんしょ2名、里いも3名。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	270				270
当初予算	270				270
決 算 額	60				60
R４計画	270				270
当初予算	270				270
決 算 額					
R５計画	270				270
当初予算					
決 算 額					
R６計画	270				270
当初予算					
決 算 額					
R７計画	270				270
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,350				1,350
当初予算	540				540
決 算 額	60				60

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	営農普及ネットワーク協議会及び連絡会議の開催	営農普及ネットワーク協議会及び連絡会議の開催を各1回としてカウント	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	1				
						%	達成率	50.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	営農普及協力員の指導、相談対応件数	現場（圃場）での指導、電話等による相談対応、栽培技術講習会の開催等各１回としてカウント（目標値：9名×3回＝27回）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	27	27	27	27	27
							実績値	11				
						%	達成率	40.7				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
営農普及協力員は令和元年度から3年間として委嘱しており、令和3年度が最終年度であった。この間、新型コロナウイルス感染症が発生したことで、従前行っていた圃場に出向いての営農指導等ができなくなるなど、活動が大幅に制限された。 このような中で、ピーマンについては、IPM栽培にかかる営農指導の徹底を行うなど、協力員の工夫により活動がされたこともあり、今後は、他の品目においてもコロナ禍における指導体制の工夫を検討し、推進を図っていきたい。 また、白ねぎについては、ねぎ100億円プロジェクト推進事業により技術アドバイザー1名が配置されており、営農普及協力員と連携し、栽培講習会等共同で行うこととする。	ピーマンにおけるIPM栽培にかかる営農指導の徹底や、白ねぎにおける技術アドバイザーの配置が成果である。今後も、きめの細かいサポートが可能となるよう、手法や頻度等について工夫を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B.見直しの上で継続-3 効率化/RPA等

（様式１）

事業番号	枝番
92002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	農業振興事業	細事業	安全・安心農業推進事業	実施計画事業	安全・安心農業推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 13 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	96

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	40
消耗品費	10
通信運搬費	20
認定認証取得支援補助金	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 安全・安心な農業を推進することにより、生産者と消費者の相互理解を深め、本市の地域性を生かした持続型農業の確立を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・協議会の開催 ・土壌分析講習会の開催 ・ＧＡＰ認定取得等支援	R3	土壌分析の実施　2団体 土壌分析講習会の開催　1回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	191				191
当初予算	191				191
決 算 額	36				36
R４計画	191				191
当初予算	180				180
決 算 額					
R５計画	191				191
当初予算					
決 算 額					
R６計画	191				191
当初予算					
決 算 額					
R７計画	191				191
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	955				955
当初予算	371				371
決 算 額	36				36

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 土壌分析講習会の開催		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ＧＡＰ認定取得件数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

安全・安心な農業を推進することを目的として、有機農業の実践や緑肥施用による土壌改良に取り組み、土壌分析に取り組むことができた。豊後大野市有機農業推進協議会、朝地町平井川保全会のメンバーが取り組んでいるが、会員の高齢化等に伴い、本事業に取組む農業者が減少している。安全・安心農業の取り組みは今後も重要と考えており、前述の２団体を中心として、有機農業のネットワークを拡大する必要がある。

国は「みどりの食料システム戦略」の中で、持続型農業の推進を掲げており、国庫事業の活用を検討しながら、持続可能な安全・安心農業の推進を図っていく。

ＧＡＰ認定取得支援についても、予算計上を行い、市公式ＨＰ上で周知を図っているが、新規就農者やＪＡ部会等にも幅広く周知を行っていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

国は「みどりの食料システム戦略」の中で、持続型農業の推進を掲げているが、未だ充分な財政支援とは言えない状況である。しかし、化学肥料が高騰する現在においては、有機農業への転換のチャンスでもある。

情報収集をしながら、より有効な施策に取り組む。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
92003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事 業	農業振興事業	細事業	環境保全型農業直接支払交付金事業	実施計画事業	環境保全型農業直接支払交付金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 16 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	96

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
通信運搬費	15
環境保全型農業直接支払交付金	1,187

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、交付金の直接支払を行うもの ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 事業対象者：豊後大野市有機農業推進協議会、朝地町平井川保全会 対象面積：緑肥施用9.53ha、有機農業4.39ha	R3	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会（2戸）、朝地町平井川保全会（5戸） 実施面積：緑肥施用7.46ha、有機農業4.4ha
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,202	890			312
当初予算	1,202	890			312
決 算 額	996	745			251
Ｒ４計画	1,202				1,202
当初予算	1,077	804			273
決 算 額					
Ｒ５計画	1,202				1,202
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	1,202				1,202
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	1,202				1,202
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,010	890			5,120
当初予算	2,279	1,694			585
決 算 額	996	745			251

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業実施主体との協議	豊後大野市有機農業推進協議会（1回） 朝地町平井川保全会（1回）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	7				
					%	達成率	350.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 緑肥施用、有機農業の実施	緑肥施用 9.53ha、有機農業 4.39ha（計13.92ha）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	17.9	ha	目標値	13.9	14	14	14	14
						実績値	11.86				
					%	達成率	85.3				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	21 点 ／25点	4 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者（農業団体）に対し、交付金の直接支払を行う「環境保全型農業直接支払交付金事業（国庫事業）」に取り組んだ。 緒方町で活動する豊後大野市有機農業推進協議会と朝地町で活動する平井川保全会が事業を行っているが、会員の高齢化に伴い、事業に取り組む農業者が減少していることが大きな課題である。「安全・安心農業推進事業」とリンクする部分が大きいが、国の「みどりの食料システム戦略」の事業活用も視野にいれ、今後の推進方針を見直すとともに、新規就農者などに対しても環境保全型農業の推進をはかっていきたい。	国の「みどりの食料システム戦略」の事業活用も視野にいれながら、今後の推進方針を検討する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
92008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	農業振興事業	細事業	流通・販売戦略推進事業	実施計画事業	流通・販売戦略推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 12 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	96

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
普通旅費	146
消耗品費	100
ホームページ等作成委託料	495
ホームページ保守管理委託料	264

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 産地収益力向上をめざした生産から流通、販売、消費までを捉えた販売戦略を構築することを目的として、トップセールスによる販売促進や本市ＨＰの見直しを行うもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・トップセールスを含む販売促進及び流通調査 ・ホームページ保守管理委託（里丸くんHP） ・ホームページ等作成委託料 →里丸くんHPを令和２年度までとし、「大分の野菜畑 ぶんごおおの」のHPとして見直しを行う	R3	・ホームページ保守管理委託（里丸君HP）264千円 ・ホームページ等作成委託料 495千円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,020				1,020
当初予算	1,020				1,020
決 算 額	815				815
R４計画	525				525
当初予算	524				524
決 算 額					
R５計画	525				525
当初予算					
決 算 額					
R６計画	525				525
当初予算					
決 算 額					
R７計画	525				525
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,120				3,120
当初予算	1,544				1,544
決 算 額	815				815

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	トップセールスによる販売促進		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値					
						%	達成率					
	2	市ＨＰの見直し（協議、検討）	業者との打合せ等の回数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	3	3	3	3	3
							実績値	3				
						%	達成率	100.0				
D 成果指標	1	年間農業生産目標額 82億円		☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画		億円	目標値	82	82	82	82	82
							実績値	62				
						%	達成率	75.6				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
販売促進におけるトップセールスの実施については、令和3年度においてもコロナ禍により実施することができなかったが、2年ぶりに大分大同青果市場において、高糖度かんしょ「甘太くん」の販売促進活動を行うことができた。経済活動も含めて制限緩和がされてきており、コロナ感染拡大状況を見ながら、販売促進活動を再開していくこととする。 また、消費者等へのPRツールとしてホームページがあるが、市公式HPと別に開設していた「里丸君HP」については、「大分の野菜畑ぶんごおおのHP」として見直し、令和4年度から更新したところである。今後は、内容の充実を図るため、本市特産品を活用した加工品の紹介や農業生産活動の紹介などを計画的に行っていく。	トップセールスの再開と、新規ホームページの充実を図りながら、大分の野菜畑豊後大野をPRしていく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
93001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手アクションサポート事業	実施計画事業	担い手育成総合支援協議会補助事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 9 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ対応

個別計画名	
第4次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
令和3年度農業農村担い手育成計画	期間 R3 年度 ～ R3 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
担い手育成総合支援協議会補助金	1,037

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農業の担い手を総合的に支援することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■担い手アクションサポート活動 ・農業複式簿記研修会 ・パソコン農業簿記研修会 ■新たな人材の育成・確保活動 ・新規就農希望者就農相談 ・就農フェアへの参加 ・農業経営改善計画等作成指導 ・青年等就農計画作成指導 ■多様な担い手の確保活動 ・企業参入の推進 ■人・農地プランの推進 ・実質化の取り組み ■遊休農地の活用促進 ・農地利用状況調査の実施″	R3	担い手育成総合支援協議会事業推進体制の強化、担い手アクションサポート活動、新たな人材の育成・確保活動に対する支援を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,037				1,037
当初予算	1,037				1,037
決算額	204				204
R４計画					
当初予算					
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	1,037				1,037
当初予算	1,037				1,037
決算額	204				204

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会開催	″農業複式簿記研修会　１２回 パソコン農業簿記研修会　３回″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	15	回	目標値	15	15	15	15	15
						実績値	15				
					%	達成率	100.0				
	2 ″就農相談	″就農相談数　５０名 計画等作成指導数　１２０名″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	192	名	目標値	170	170	170	170	170
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	″農業複式簿記研修会　６名 パソコン農業簿記研修会　４名″	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	名	目標値	10	10	10	10	10
						実績値					
					%	達成率					
	2 ″新規就農者数	″新規就農者数　２１経営体 認定者数　１０３経営体 参入企業数　２経営体 ″	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	139	名	目標値	120	120	120	120	120
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和２年度に実施された事務事業総点検の結果、令和３年度をもって協議会を廃止することとなった。 令和４年度からは、豊後大野市担い手育成支援事業費補助金を創設し各種活動をサポートする。	組織は廃止となったが、市民にとって必要な施策は引き続き予算化し、各種活動のサポートを推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	E.廃　止

（様式１）

事業番号	枝番
93002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	認定農業者連絡協議会補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 1 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
認定農業者連絡協議会補助金	340

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市認定農業者連絡協議会の活動費の一部を補助することにより、認定農業者相互の親睦と融和を図り、情報交換や研修などを通じ、会員個々の技術と生活の安定に資する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ "■ふるさとまつり（ジャンボかぼちゃコンテスト） ■研修会の開催 ■おおいた認定農業者組織ネットワーク研修会への参加"	R3	■ふるさとまつり　コロナにより中止 ■研修会の開催　清川支部のみ開催 他支部はコロナにより中止 ■おおいた認定農業者組織ネットワーク研修会への参加　コロナによりオンラインにより研修受講
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	340				340
当初予算	340				340
決算額	319				319
R４計画	340				340
当初予算	340				340
決算額					
R５計画	340				340
当初予算					
決算額					
R６計画	340				340
当初予算					
決算額					
R７計画	340				340
当初予算					
決算額					
計画額	1,700				1,700
当初予算	680				680
決算額	319				319

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会の開催	各支部研修　７回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	1				
					%	達成率	14.3				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 会員数の確保		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	194	名	目標値	220	220	220	220	220
						実績値	180				
					%	達成率	81.8				
	2 認定農業者数		☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	362	経営体	目標値	370	370	370	370	370
						実績値	356				
					%	達成率	96.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市農業の担い手である認定新規就農者が、自らの経営に資する研修や視察を行う組織として更なる充実強化を図っていかなければならない。 今年度はコロナにより活動がほぼ出来ていない。 加入していない認定農業者が存在しており、会員確保の取組みが課題である。 また、後継者確保の意識の醸成と取組みを進めていかなければならない。	コロナの状況を考慮しながら、組織の充実強化を図り、後継者や会員の確保を推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	新農業者協議会補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 2 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興協議会
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
新農業者協議会補助金	190

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市新農業者協議会の活動費の一部を補助することにより、農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修を実施することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ″■経営研修会の開催 ■先進地視察研修″	R3	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修　コロナにより中止
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	190				190
当初予算	190				190
決 算 額	26				26
R４計画	190				190
当初予算	190				190
決 算 額					
R５計画	190				190
当初予算					
決 算 額					
R６計画	190				190
当初予算					
決 算 額					
R７計画	190				190
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	950				950
当初予算	380				380
決 算 額	26				26

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経営研修会の開催	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 先進地視察研修の実施	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 会員数の確保		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	52	名	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	52				
					%	達成率	104.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
就農初期の農業青年・新規就農者・女性農業者等が、様々な研修や交流を行う組織として存在意義は高い。 今年度はコロナにより研修等の取組みが出来ていない。 アンケート等で会員の欲する研修ニーズの把握に努めているが、回収率や意見聴取等の取組みが必要。	コロナの状況を考慮しながら、アンケート等により会員のニーズを把握し、研修等の施策を展開する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事 業	担い手支援事業	細事業	担い手団体補助事業	実施計画事業	法人連絡協議会補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 6 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
法人連絡協議会補助金	250

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市集落営農法人連絡協議会の活動費の一部を補助することにより、集落営農法人の相互の情報交換や研修など自己研鑽を通じ、集落営農法人の経営の安定的な発展を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■研修会・検討会の開催 ■先進地視察研修 ■ふるさとまつり参加″	R3	資材検討会の開催。 研修会、視察研修はコロナにより中止となった。 補助金については会の繰越額が、補助金額を上回ったため今年度は支給していない。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	250				250
当初予算	250				250
決 算 額					
R４計画	250				250
当初予算	250				250
決 算 額					
R５計画	250				250
当初予算					
決 算 額					
R６計画	250				250
当初予算					
決 算 額					
R７計画	250				250
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,250				1,250
当初予算	500				500
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会・検討会の開催	研修会・検討会 年１０回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	3				
					%	達成率	30.0				
	2 先進地視察研修	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 会員数の維持		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	32	法人	目標値	33	33	33	33	33
						実績値	32				
					%	達成率	97.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
集落営農法人相互の情報交換や研修などを通じ、経営の安定的な発展を図ることを目的としており必要な組織。 今年度はコロナにより研修等の取組みが出来ていない。 全ての集落営農法人が加入しているわけでなく、会員数の確保に取組む必要がある。 また、高齢化する中で広域連携や経営統合など課題は山積している。	コロナの状況を考慮しながら、新規会員の確保に努め、高齢化や広域統合等の各種課題に取り組む。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新時代の水田農業低コスト化対策事業補助事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 5 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
新時代の水田農業低コスト化対策事業補助金	2,250

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 水田農業経営体の規模拡大と低コスト化、高収益性を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 機械導入１経営体	R3	採択申請に至らず事業未実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,250	1,125			1,125
当初予算	2,250	1,125			1,125
決 算 額					
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,250	1,125			1,125
当初予算	2,250	1,125			1,125
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 機械導入	1台	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		台	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 経営面積の拡大	概ね10ha以上	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		ha	目標値	10	10	10	10	10
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	1 点	7 点 ／25点	1 点	7 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1 点		1 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1 点		1 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
規模拡大計画が策定できず申請に至らなかった。 予算化の段階で規模等の把握が必要。	予算化の段階で規模等を充分に把握しながら事業を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
93003	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	農業次世代人材投資事業補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 2 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農業次世代人材投資事業補助金	31,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 交付予定者３２名	R3	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、２６組２９名に資金を交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	31,500	31,500			
当初予算	31,500	31,500			
決 算 額	28,704	28,704			
R４計画	25,000	25,000			
当初予算	36,750	36,750			
決 算 額					
R５計画	25,000	25,000			
当初予算					
決 算 額					
R６計画	25,000	25,000			
当初予算					
決 算 額					
R７計画	25,000	25,000			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	131,500	131,500			
当初予算	68,250	68,250			
決 算 額	28,704	28,704			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 青年等就農計画作成指導	１組２名	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		組	目標値	5	2	2	2	2
						実績値	4				
					%	達成率	80.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	次世代人材投資資金の交付対象者及び交付が終了した者の営農継続数　営農継続者数／交付対象者及び交付終了者の総数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	65	名	目標値	75	79	83	87	91
						実績値	78				
					%	達成率	104.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	20 点 ／25点	5 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新規就農者の就農意欲を大きく後押しする国の事業で、これまでにも本市の新規就農者の確保に大きな成果を上げてきた。 今年度も交付継続者、交付修了者の就農状況を確認するとともに、営農相談を行い確実な定着に向け事業を行った。 課題はこの交付金ありきでなく、真に農業起業を目指す就農者の確保を行うことが必要。	新規要望者、交付継続者等の就農計画・就農状況を適切に把握しながら事業を推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	企業等農業参入推進事業補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 4 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
企業等農業参入推進事業補助金	7,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 県外の優良な企業的農業経営体の誘致や市内外の意欲ある他産業企業からの農業参入を推進することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■県主催企業参入セミナーへの参加 ■参入企業の情報収集″	R3	当初２社の参入企業に対して事業予定であったが、採択申請に至らず事業未実施。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	7,500	5,000			2,500
当初予算	7,500	5,000			2,500
決 算 額					
R４計画	6,000	4,000			2,000
当初予算	3,000	2,000			1,000
決 算 額					
R５計画	6,000	4,000			2,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,000	4,000			2,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	6,000	4,000			2,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	31,500	21,000			10,500
当初予算	10,500	7,000			3,500
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 セミナーへの参加	年１会開催されるセミナーへ参加する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 企業参入ＰＴ会議への参加	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 年度毎の参入数	２社	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	社	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
優良企業体の参入は必要不可欠であり、参入の推進には必要な事業である。 今年度は採択申請に至らず事業は実施できていない。 技術、経験を持った企業の参入を推進する必要がある。	県等の関係機関と連携し、経験を有するとともに安定的に経営が出来ている優良企業の参入を、積極的に推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	担い手経営強化対策事業補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 5 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
担い手経営強化対策事業補助金	17,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農業の担い手の確保及び育成を図りつつ、経営規模を拡大することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 機械導入　１７件	R3	１４経営体が事業実施し、機械導入に伴い約10haの規模拡大を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	17,000			17,000	
当初予算	17,000			17,000	
決算額	11,752			11,752	
R４計画	15,000			15,000	
当初予算	20,000			20,000	
決算額					
R５計画	15,000			15,000	
当初予算					
決算額					
R６計画	15,000			15,000	
当初予算					
決算額					
R７計画	15,000			15,000	
当初予算					
決算額					
計画額	77,000			77,000	
当初予算	37,000			37,000	
決算額	11,752			11,752	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 機械導入件数	事業実施年度における機械導入経営体数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	18	経営体	目標値	15	15	15	15	15
						実績値	14				
					%	達成率	93.3				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 経営規模の拡大面積	事業実施初年度からの拡大面積実績（H28～）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	50	ha	目標値	60	70	80	90	100
						実績値	60				
					%	達成率	100.0				
	2 経営規模の拡大頭数	事業実施初年度からの拡大頭数実績（H28～）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	11	頭	目標値	13	15	17	19	21
						実績値	11				
					%	達成率	84.6				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	3 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に取組む上で、大きく寄与してきた市単独事業である。
今年度は１４経営体が事業実施を行い機械導入を行った。
規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考える。
課題としては、３年経過後の経営体の経営状況の確認を農業改善計画のヒアリング時等でフォローし、永続的な取組ができているか確認する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に大きく寄与してきた市単独事業である。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考える。今後、要件に見直し等柔軟に対応したがら継続する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	親元就農給付金事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 3 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
親元就農給付金	3,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″準備型認定２名 経営開始型認定２名″	R3	農業後継者の就農意欲の喚起と就農の定着のため、準備型２名、開始型２名の経営発展計画を認定し、交付金を交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,500	1,750			1,750
当初予算	3,500	1,750			1,750
決算額	5,000	2,500			2,500
R４計画	5,000	2,500			2,500
当初予算	6,500	3,250			3,250
決算額					
R５計画	5,000	2,500			2,500
当初予算					
決算額					
R６計画	5,000	2,500			2,500
当初予算					
決算額					
R７計画	5,000	2,500			2,500
当初予算					
決算額					
計画額	23,500	11,750			11,750
当初予算	10,000	5,000			5,000
決算額	5,000	2,500			2,500

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修計画の作成	申請者数/計画認定数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 経営発展計画の作成		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 営農継続者数	親元就農給付金の交付対象者及び交付が終了した者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	名	目標値	7	9	9	9	9
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市農業の課題である後継者確保にとって、非常に意義ある事業である。 今年度は農業大学校研修中の準備型２名と経営開始型２名に交付を行った。 制度の周知が十分とは言えず、既に要件を満たしている経営体も存在する可能性がある。 今後は認定農業者連絡協議会等を通じ、広く制度の周知を行い後継者確保に努める必要がある。	制度の周知を図りながら、対象者の確実な把握に努める。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農者負担軽減対策事業補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 2 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
第４次農業振興計画	R3 年度 ～ R7 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
新規就農者負担軽減対策事業補助金	4,890

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 認定新規就農者の就農初期段階における常用機械の導入に要する経費の負担軽減を図ることにより、円滑な就農を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■青年等就農計画作成支援 ■常用機械導入補助 ■農作業サポート支援 ■新規就農者所得安定対策″	R3	就農初期に必要な機械等の取得を支援し、農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	4,890	930		1,330	2,630
当初予算	4,890	930		2,330	1,630
決算額	761	507			254
R４計画	4,220	193		166	3,861
当初予算	4,890	930		2,330	1,630
決算額					
R５計画	4,220	193		166	3,861
当初予算					
決算額					
R６計画	4,220	193		166	3,861
当初予算					
決算額					
R７計画	4,220	193		166	3,861
当初予算					
決算額					
計画額	21,770	1,702		1,994	18,074
当初予算	9,780	1,860		4,660	3,260
決算額	761	507			254

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 青年等就農計画作成支援	青年等就農計画認定申請者数／認定数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	名	目標値	8	4	4	4	4
						実績値	4				
					%	達成率	50.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12	名	目標値	20	24	28	32	36
						実績値	18				
					%	達成率	90.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
認定新規就農者において経営開始時の収入が不安定な時期であっても、農業機械導入の導入は必要である。 また、配偶者の妊娠等によりサポートが必要な時期でもあり必要な事業である。 今年度は４経営体に５台の農業機械導入を行った。	経営開始時の収入が不安定な時期や配偶者の妊娠等、適切なサポートを提供していく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	7

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	女性就農者確保対策事業補助事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 7 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
女性就農者確保対策事業補助金	750

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 就労環境等の整備を図ることにより、女性就農者の促進を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 女性用トイレ等の整備	R3	１経営体（集落営農法人）のトイレ改修を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。 令和４年度に女性就農者を正規雇用する。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

財源内訳（単位：千円）

	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	750	375			375
当初予算	750	375			375
決 算 額	750	375			375
R４計画	750	375			375
当初予算	1,500	750			750
決 算 額					
R５計画	750	375			375
当初予算					
決 算 額					
R６計画	750	375			375
当初予算					
決 算 額					
R７計画	750	375			375
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,750	1,875			1,875
当初予算	2,250	1,125			1,125
決 算 額	750	375			375

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の実施	実施件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 女性就農者数	正規・又は臨時職員雇用目標数／実績	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
女性就農者の就労環境整備に関する事業はこれまで希望する多くの声があった。それを補完する事業で効果に大きな期待がかかる。 今年度は１経営体のトイレ改修を行った。 ただし、農地に女性用トイレを整備するには、水環境の大きな壁があり事業実施は限られた経営体に留まる。	対象が限られた経営体になるものの、一定の成果を上げることが出来た。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	8

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	農業経営法人化支援交付金事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 9 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農業経営法人化支援交付金	300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 令和２年度で県事業が廃止されたため、令和３年度以降執行なし。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ※当初予算編成時は要求していたが、その後の進捗により、豊後大野市農業経営法人化支援交付金交付要綱を廃止し、令和３年度以降事業実施なし。	R3	令和３年度以降事業実施なし。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	300				300
当初予算	300	150			150
決 算 額					
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	300				300
当初予算	300	150			150
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
93003	9

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事 業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	後継ぎ支援交付金事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 3 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
後継ぎ支援交付金	1,950

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 認定農業者の後継ぎを確保することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付″	R3	交付金 ４経営体に交付 就農状況報告 ５経営体
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,950			1,950	
当初予算	1,950			1,950	
決 算 額	750			750	
R４計画	1,200			1,200	
当初予算	1,200			1,200	
決 算 額					
R５計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,750			6,750	
当初予算	3,150			3,150	
決 算 額	750			750	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農状況確認	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	名	目標値	7	9	9	9	11
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	2 点	14 点 ／25点	2 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県事業の親元就農給付金との大きな違いがなく、対象年齢の引き上げで新規採択者の見込みがない。 制度の見直しが必要。	制度の見直しが必要と判断する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	10

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農支援交付金事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 2 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
新規就農支援交付金	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ５０歳以上５５歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付″	R3	５０歳以上５５歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■就農相談　２名 ■就農計画支援　２名 ■交付金の交付　２名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,200			1,200	
当初予算	1,200			1,200	
決算額	1,200			1,200	
R４計画	1,200			1,200	
当初予算	2,400			2,400	
決算額					
R５計画	1,200			1,200	
当初予算					
決算額					
R６計画	1,200			1,200	
当初予算					
決算額					
R７計画	1,200			1,200	
当初予算					
決算額					
計画額	6,000			6,000	
当初予算	3,600			3,600	
決算額	1,200			1,200	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農状況確認	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	名	目標値	4	6	8	10	12
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	17 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国の支援の対象とならない新規就農者を支援する市独自の事業であり、相談から就農計画の支援、交付金の交付まで一体的にサポートすることができた。 課題は県事業との年齢要件を調整する必要がある。	市独自の事業として、相談から就農計画の支援、交付金の交付まで一体的にサポートする等、成果を上げている。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	11

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事 業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	法人就農支援交付金事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 6 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
法人就農支援交付金	1,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 集落営農法人の後継者確保を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ■制度の周知・広報活動	R3	集落営農法人の後継者確保を図ることを目的とし、１法人１名に交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,800			1,800	
当初予算	1,800			1,800	
決 算 額	300				300
R４計画	1,800			1,800	
当初予算	1,200			1,200	
決 算 額					
R５計画	1,800			1,800	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,800			1,800	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,800			1,800	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	9,000			9,000	
当初予算	3,000			3,000	
決 算 額	300				300

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 集落営農法人役員会における制度説明	年１回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 後継者確保数	後継者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	名	目標値	1	2	3	4	5
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
構成員が高齢化している集落営農法人の後継者を確保する上で、必要不可欠な事業である。 今年度は引き続き１法人１名に交付した。 雇用就農ができうる法人経営体は限られており、現在の交付金がそれを後押しできているか疑問が残るところである。 農地保全や景観維持等、集落営農法人が担う責務は大きく、交付金の拡充も検討の余地があると考える。	雇用就農ができうる法人経営体を育成や広域統合を推進しながら本交付金の有効活用を図る必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
93003	12

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	生涯現役世代育成支援交付金事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 1 ）

会計	一般	政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
款	6	施策	1 農業の振興
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成
目	3	後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	97		

個別計画名	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
生涯現役世代育成支援交付金	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ５６歳以上６５歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″■就農相談 ■就農計画支援 ■交付金の交付″	R3	認定農業者連絡協議会、農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,200			1,200	
当初予算	1,200			1,200	
決 算 額					
R４計画	1,200			1,200	
当初予算	1,200			1,200	
決 算 額					
R５計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,000			6,000	
当初予算	2,400			2,400	
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	″就農相談 2回 制度の周知 1回″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
意欲のある退職世代の就農意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。 今年度は制度創設直後のため制度の周知に努めた。	退職世代の就農意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。 制度の周知を図りながら推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	13

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	広域営農機械施設整備事業	終了年度	

総合計画体系図No.→（ 1 ）

会計	一般	政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
款	6	施策	1 農業の振興
項	1	施策展開	①多様な担い手の確保・育成
目	3	後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当
決算	97		

個別計画名	第４次農業振興計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞	R3	令和４年度からの事業
	R4	
＜令和３年度の取組内容(計画)＞	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画					
当初予算					
決算額					
R４計画	1,400	700			700
当初予算	1,400	700			700
決算額					
R５計画	1,400	700			700
当初予算					
決算額					
R６計画	1,400	700			700
当初予算					
決算額					
R７計画	1,400	700			700
当初予算					
決算額					
計画額	5,600	2,800			2,800
当初予算	1,400	700			700
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	″就農相談 2回 制度の周知 1回″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	14

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	担い手育成支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 1 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞	R3	令和４年度からの事業
	R4	
＜令和３年度の取組内容(計画)＞	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画					
当初予算					
決算額					
R４計画	450				450
当初予算	450				450
決算額					
R５計画	450				450
当初予算					
決算額					
R６計画	450				450
当初予算					
決算額					
R７計画	450				450
当初予算					
決算額					
計画額	1,800				1,800
当初予算	450				450
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	″就農相談 2回 制度の周知 1回″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	15

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	経営多角化機械施設整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 1 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞	R3	令和４年度からの事業
	R4	
＜令和３年度の取組内容(計画)＞	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画					
当初予算					
決算額					
R４計画	1,933	1,288			645
当初予算	1,933	1,288			645
決算額					
R５計画	1,933	1,288			645
当初予算					
決算額					
R６計画	1,933	1,288			645
当初予算					
決算額					
R７計画	1,933	1,288			645
当初予算					
決算額					
計画額	7,732	5,152			2,580
当初予算	1,933	1,288			645
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	″就農相談 2回 制度の周知 1回″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93003	16

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	担い手支援事業	細事業	担い手育成・確保事業	実施計画事業	新規就農者経営発展支援事業補助金	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 1 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞	R3	令和４年度からの事業
	R4	
＜令和３年度の取組内容(計画)＞	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画					
当初予算					
決算額					
R４計画	21,000	21,000			
当初予算	21,000	21,000			
決算額					
R５計画	21,000	21,000			
当初予算					
決算額					
R６計画	21,000	21,000			
当初予算					
決算額					
R７計画	21,000	21,000			
当初予算					
決算額					
計画額	84,000	84,000			
当初予算	21,000	21,000			
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 就農相談兼制度の周知	″就農相談 2回 制度の周知 1回″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 営農継続者数	補助事業活用者の営農継続数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		名	目標値	2	2	2	2	2
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
93004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事 業	担い手支援事業	細事業	担い手支援事務費	実施計画事業	農業次世代人材投資事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 9 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	97

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	第４次農業振興計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
普通旅費	753
消耗品費	150
印刷製本費	148
通信運搬費	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 担い手確保・育成業務実施に当たっての事務費及び農業次世代人材投資資金交付事務等 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ "■旅費 ■消耗品費 ■印刷製本費 ■役務費"	R3	担い手確保・育成業務実施に当たっての事務費
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	753	350			403
当初予算	753	350			403
決 算 額	350	350			
R４計画	700	350			350
当初予算	780	350			430
決 算 額					
R５計画	700	350			350
当初予算					
決 算 額					
R６計画	700	350			350
当初予算					
決 算 額					
R７計画	700	350			350
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,553	1,750			1,803
当初予算	1,533	700			833
決 算 額	350	350			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 インキュベーションファームパンフレット作成	５００部	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,000	部	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
						実績値	1,000				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 就農相談件数	相談数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	件	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	23				
					%	達成率	115.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業次世代人材投資資金交付事務に必要な事務費。	事業実施に必要な事務費である。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
94001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	担い手支援係

事業	インキュベーションファーム事業	細事業	インキュベーションファーム事業	実施計画事業	インキュベーションファーム事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 2 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	3
決算	98

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	①多様な担い手の確保・育成
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
原材料費	10,276
修繕料	300
農地確保委託料	300
ホームページ保守点検委託料	264

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ″次代の農業及び地域を担う新規就農者をホームページ等を通じて全国から募集し、次代の豊後大野市農業の担い手を確保する。 また、新規就農者技術習得研修施設（インキュベーションファーム）における栽培・管理等の実践研修、簿記研修等の農業経営研修により、新規就農者の育成を図ることを目的とする。″ ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ″第１１期生の募集。 第９期生の２年目の研修支援及び就農支援。 第１１期生の１年目の研修支援。″	R3	第９期生の就農支援　２組就農 第１０期生の２年目の研修支援　２組 第１１期生の募集　２組入校
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	11,440			11,440	
当初予算	11,440			11,440	
決算額	3,501			3,500	1
R４計画	500			500	
当初予算	4,485			4,485	
決算額					
R５計画	1,500			1,500	
当初予算					
決算額					
R６計画	1,500			1,500	
当初予算					
決算額					
R７計画	1,500			1,500	
当初予算					
決算額					
計画額	16,440			16,440	
当初予算	15,925			15,925	
決算額	3,501			3,500	1

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農地の確保	農地約40a～50a／組	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	63.3	a	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	50				
					%	達成率	100.0				
	2 就農フェアへの参加	″おおいた就農・就業フェア（福岡）（東京） おんせん県おおいた就農応援フェア（大分）（大阪）（東京） おおいた農業法人等合同就農相談会（大分）″	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5	回	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	5				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 研修生の就農	令和4年度までは２組 令和5年度以降3組	☐ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	組	目標値	2	2	3	3	3
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 研修生の確保	３組（定員）	☐ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	組	目標値	2	2	3	3	3
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市が全国に誇る就農システムであるインキュベーションファーム事業。 令和３年度までに２１組４２名が研修を終了し、市内に就農。そのうち１組が離農したが２０組４０名が営農を継続し、市内農家の中でも非常に優秀な成績で豊後大野市農業を牽引している。 令和３年度は９期生２組４名が就農し、１０期生２組４名が２年目の模擬経営、１１期生２組４名が入校し基礎実践研修をスタートさせた。 今後も、本市の新規就農システムとして拡充していく必要がある。 課題としては、就農学校の乱立により研修生の争奪戦となり、毎年確保に苦労している。 また、研修終了後の住居（空き家）の確保も課題である。	令和３年度までに２１組４２名が研修を終了する等、大きな成果を上げている。今後も、新規就農者確保対策の柱として推進し、他市との差別化を図りながら研修生の確保に努める。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

事業番号	枝番
95001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事 業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	園芸産地整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
活力あふれる園芸産地整備事業補助金	149,059

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、農業産出額の向上をめざすもの ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 活力あふれる園芸産地整備事業補助金 ・園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対し補助金を交付する。 （対象品目：ピーマン、トマト、かぼす、かんしょ、白ねぎ、きく、いちご、キウイ、玉ねぎ）	R3	活力あふれる園芸産地整備事業補助金（県事業）を活用して、栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備を行うことができた。 事業実施品目：ピーマン、高糖度かんしょ、白ねぎ、ぶどう、キウイ
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	149,059	104,994			44,065
当初予算	149,059	104,994			44,065
決 算 額	45,484	34,258			11,226
Ｒ４計画	100,000	66,666			33,334
当初予算	91,642	64,620			27,022
決 算 額					
Ｒ５計画	100,000	66,666			33,334
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	100,000	66,666			33,334
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	100,000	66,666			33,334
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	549,059	371,658			177,401
当初予算	240,701	169,614			71,087
決 算 額	45,484	34,258			11,226

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	夏秋ピーマン生産額：6.0億円、白ねぎ生産額：2.1億円		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		億円	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
							実績値	7				
						%	達成率	86.4				
	2	さといも生産額：1.4億円、かんしょ生産額：4.8億円		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		億円	目標値	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
							実績値	6				
						%	達成率	96.8				
D 成果指標	1	園芸重点品目の販売金額 26.4億円	目標年度：令和7年度 （野菜類：1,591,000千円、花き類：737,340千円、果樹：312,000千円	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		億円	目標値	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4
							実績値	26.1				
						%	達成率	98.9				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	5 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県補助事業である「活力あふれる園芸産地整備事業補助金」を活用して、栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備を行った。当初予定していた一部の事業（トマトハウス等）については、事業主体の都合により事業取下げもあったが、概ね農業者からの要望に応える取り組みができたと考えている。 今後の課題としては、ウクライナ情勢や円安等の影響により、資材費の高騰が相次いでおり、農業者の経営を圧迫している状況となっていることから、国、県等の有利な補助事業を有効活用することを視野にいれて、農業者に対する情報提供を行うとともに、次年度に向けた要望調査を実施したい。 令和4年度事業については、早めに着手するべく各担当と協議、指示している。	本事業については、事業費も高額であることから、早期計画と早期着手に努める。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
95001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	食品企業連携産地拡大推進事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 35 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
食品企業連携産地拡大推進事業補助金	6,900

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 加工向け野菜の生産拡大に対する機械施設、加工施設等の整備及び加工品の開発、販路開拓に対して補助金を交付するもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・収穫用機械の導入（1台） ・予冷設備の導入（1基） ・新商品開発、展示商談会の支援（農業食品加工連携対策）	R3	・予冷設備の導入　1基 事業費：1,644,500円 県補助金：747,000円 ・新商品開発等支援（農と食を考える会） 県補助金：315千円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,900	3,933			2,967
当初予算	6,900	3,933			2,967
決 算 額	1,645	1,062			583
R４計画	6,900	3,933			2,967
当初予算					
決 算 額					
R５計画	6,900	3,933			2,967
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,900	3,933			2,967
当初予算					
決 算 額					
R７計画	6,900	3,933			2,967
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	34,500	19,665			14,835
当初予算	6,900	3,933			2,967
決 算 額	1,645	1,062			583

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 加工向け野菜の生産拡大に対する機械施設・加工施設等の整備	収穫機械（1台） 加工用野菜の予冷設備（1基）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	台	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	50.0				
	2 加工品の開発・販路開拓に向けた検討会の開催		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	4				
					%	達成率	200.0				
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数（補助事業を活用して販売額向上に取り組んだ事業主体の数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	50.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

食品企業連携産地拡大推進事業に関しては、予冷庫整備は予定どおり実施できたが、里いも収穫機の導入に関しては、部品調達等の兼ね合いから受注業者から納期遅延願いが出されたため、令和4年度への繰越となったが、本年5月27日に納品検査が完了し、事業完了した。
また、未利用資源を活用した新商品開発等を令和元年度から3ヶ年事業として実施してきた「農と食を考える会」の取り組みについては、本年3月に行われた総会にて総括的な事業報告とともに、開発商品の紹介を行うことができた。今後は、ＨＰ上で開発商品の紹介を行うなど、消費者へのＰＲを行っていく計画である。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

里いも収穫機の導入が完了し、より効率的な収獲が可能となった。
また、未利用資源を活用した新商品開発等を令和元年度から3ヶ年事業として実施してきたが、新たな課題も見えてきたことから今後の推進方法を検討する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
95001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	大規模園芸産地形成促進事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 29 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大規模園芸産地形成促進事業補助金	300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 園芸産地づくり計画策定地域における新規品目の実証試験等に対する経費を支援するもの。（令和3年度のみ） ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・清川町宇田枝地区（玉ねぎ） ・三重町深野地区（きく）	R3	園芸産地づくり計画策定地域における新規品目の実証試験等に対する経費を支援することができた。 ・三重町深野地区（きく） ※清川町宇田枝地区（玉ねぎ）は事業断念
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	300	300			
当初予算	300	300			
決 算 額	150	150			
R４計画	300	300			
当初予算					
決 算 額					
R５計画	300	300			
当初予算					
決 算 額					
R６計画	300	300			
当初予算					
決 算 額					
R７計画	300	300			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,500	1,500			
当初予算	300	300			
決 算 額	150	150			

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	清川町宇田枝地区における事業実施主体との協議	現地検討会（1回）、事後報告会（1回）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2				
							実績値	2				
						%	達成率	100.0				
	2	三重町深野地区における事業実施主体との協議	現地検討会（1回）、事後報告会（1回）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2				
							実績値	5				
						%	達成率	250.0				
D 成果指標	1	実証試験の実施	清川町宇田枝地区（玉ねぎ） 三重町深野地区（きく）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	箇所	目標値	2				
							実績値	1				
						%	達成率	50.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
園芸産地づくり計画策定地域における新規品目の実証試験については、三重町深野地区において「きく」の新品種導入実証を行うことができたが、清川町宇田枝地区における「玉ねぎ」の実証については、事業主体からの要望もあり、事業取下げとなった。 令和4年度以降については、昨年度の実証結果も踏まえ、事業主体と連携し、更なる収益向上に向けたフォローアップに努める。 ※令和4年度は事業要望がなかったため、予算計上していないが、県の事業としては継続してあるため、事業要望があれば予算要求につなげたい。	事業主体と連携し、更なる収益向上に向けたフォローアップに努めるとともに、今後の事業要望について充分な周知を図る。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
95001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	花き経営安定化対策事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 29 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	④持続的かつ安定的な農業経営の確立
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
花き経営安定化対策事業補助金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 花き（きく）栽培における新品種導入に伴う苗購入費等の補助。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 事業実施主体：お花屋さんぶんご 事業内容：種苗費、許諾料にかかる経費助成。新品種導入に対する協議検討。	R3	事業実施主体：お花屋さんぶんごグループ 事業内容：種苗費、許諾料にかかる経費助成、新品種導入に対する協議 4名実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,000	500			500
当初予算	1,000	500			500
決 算 額	951	472			479
R４計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
R５計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,000	2,500			2,500
当初予算	1,000	500			500
決 算 額	951	472			479

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	新品種導入に伴う実証、検討	実証（1回）、結果を受けての検討会（1回）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2				
							実績値	2				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	新品種の導入		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		品目	目標値	1				
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナウイルスの影響を受けたキク生産者が、白輪ギクから転換可能なスプレーギク等の品種を導入し、花き経営のリスク分散を行うことを目的として新品種導入を図り、経営安定が図られた。 令和4年度において本事業の実施予定はないため、事業実施主体であるお花屋さんグループの各人と連携し、経営安定に向けたフォローアップに努める。	輪ギクからスプレーギク等の転換により、経営安定が図られた。 令和4年度において本事業の実施予定はないため、事業実施主体であるお花屋さんグループの各人と連携し、経営安定に向けたフォローアップに努める。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
95001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	園芸産地（ぶどう新苗、棚施設）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
活力あふれる園芸産地整備事業補助金	2,655

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、農業産出額の向上をめざすもの。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 活力あふれる園芸産地整備事業補助金 ・園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対し補助金を交付する。 新規品目導入による規模拡大（ぶどう新植苗代、棚施設整備）	R3	「ぶどう」による新規品目導入に伴う棚施設整備 実施面積：12a 受益農家：1戸（後継者就農）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,655	1,770			885
当初予算	2,655	1,770			885
決 算 額	2,426	1,617			809
R４計画	2,655	1,770			885
当初予算					
決 算 額					
R５計画	2,655	1,770			885
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,655	1,770			885
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,655	1,770			885
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	13,275	8,850			4,425
当初予算	2,655	1,770			885
決 算 額	2,426	1,617			809

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務	新規品目導入による規模拡大（ぶどう新植苗代、棚施設整備）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数（補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
大分県立農業大学校と連携を図ることが出来た。今度も関係機関と連携しながら事業を推進する。	「ぶどう」による新規品目導入に伴う棚施設整備を実施し、果樹専作農家の経営安定に資する取り組みができた。また、本事業の実施主体は後継者が大分県立農業大学校を卒業して親元就農するケースであり、息子の就農にあわせて規模拡大が図られた。 引き続き、豊肥振興局生産流通部の普及員と連携して、後継者（息子）の営農指導等フォローアップを図っていく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
95001	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事 業	園芸振興事業	細事業	園芸産地整備事業	実施計画事業	白ねぎ導入・拡大支援対策	終了年度	R5

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次農業振興計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
技術支援アドバイザー謝礼金	225
白ねぎ導入拡大支援事業補助金	8,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 白ねぎ導入・拡大支援対策に伴う技術支援アドバイザー設置対策による新規事業開設農業者等への技術支援及び機械整備支援を行う ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 技術支援アドバイザー 1名 白ねぎ機械導入 8名	R3	技術支援アドバイザー 1名 225千円 白ねぎ機械導入 6,518千円 〃 種苗等助成 13,798千円 〃 土壌改良 3,550千円
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,225	4,112			4,113
当初予算	8,225	4,112			4,113
決 算 額	23,866	14,778			9,088
R４計画	8,225	4,112			4,113
当初予算	93,798	58,437			35,361
決 算 額					
R５計画	8,225	4,112			4,113
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	24,675	12,336			12,339
当初予算	102,023	62,549			39,474
決 算 額	23,866	14,778			9,088

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 技術支援相談対応	技術支援アドバイザー（１名）が行う相談対応件数 5回/1月あたり×12月	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	45	60	60		
						実績値	45				
					%	達成率	100.0				
	2 補助事業申請事務	白ねぎ機械導入 8件	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	8	8	8		
						実績値	8				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数（補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	8	8	8		
						実績値	26				
					%	達成率	325.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	24 点 ／25点	4 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

県が主導して始まった「ねぎ100億円プロジェクト推進事業」に取り組み、白ねぎ既存農家の規模拡大、新規栽培者の確保（16名）が図られた。規模拡大や新規栽培を開始するにあたり必要な機械整備や種苗代、肥料農薬代、土壌改良などハード、ソフト両面による支援が行われ、令和4年度から順調に栽培が開始されている。
今後は、更なる新規栽培者の確保に努めるとともに、未マッチングの農地に対する耕作者の確保を行う。現在、市内において耕作者のマッチングを行っているが、市内で確保できない場合は、市外からの入り作により耕作者の確保を行うこととし、年内までに集積農地のマッチングが完了できるよう進めていく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

機械整備や種苗代、肥料農薬代、土壌改良などハード、ソフト両面による支援ができた。更なる新規栽培者の確保に努めるとともに、未マッチングの農地に対する耕作者の確保を行う。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
95007	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	団体補助金	実施計画事業	ＪＡおおいたぶんご大野生産部会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	第４次農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
JAおおいたぶんご大野生産部会補助金	1,498

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ JAおおいたぶんご大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ＪＡおおいたぶんご大野生産部会に対し活動補助金を交付する。 ・豊後大野フェア（トップセールス） ・農業委員会、農業団体との意見交換会 ・豊後大野市ふるさと祭りへの参加 ・安全で安心な食糧を安定的に供給する体制を確立し、消費者に信頼される農産物づくりと地産地消活動を行う。	R3	ＪＡおおいたぶんご大野生産部会に対し活動補助金を交付した。 部会毎に安全で安心な食糧を安定的に供給する体制づくりに向けて活動を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,498				1,498
当初予算	1,498				1,498
決 算 額	1,498				1,498
R４計画	1,498				1,498
当初予算	1,498				1,498
決 算 額					
R５計画	1,498				1,498
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,498				1,498
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,498				1,498
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	7,490				7,490
当初予算	2,996				2,996
決 算 額	1,498				1,498

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	トップセールスによる販売促進	ＪＡおおいたが市場にて行う販売促進の際に市長が同行してトップセールスを行う回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値					
						%	達成率					
	2	ＪＡぶんごおおの生産部会における総会、役員会の開催	総会（1回）、役員会（2回）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	3	3	3	3	3
							実績値	2				
						%	達成率	66.7				
D 成果指標	1	年間農業産出額　82億円		☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画		億円	目標値	82	82	82	82	82
							実績値	62				
						%	達成率	75.6				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
JAおおいたぶんご大野生産部会連絡協議会（20部会）に対し、各部会の活動を支援し、農業算出額の向上につなげることを目的として補助金を交付した。 課題としては、コロナ禍において販売促進活動が計画どおりに実施できなかったことや栽培講習会などの集合研修ができなかったことが挙げられる。令和4年度になり、経済活動の制限緩和も見られるようになったことから、令和4年7月に福岡大同青果市場へトップセールスに出向く計画も立てており、状況をみながら各部会における活動の活発化を図っていくこととする。	コロナ禍において販売促進活動が計画どおりに実施できなかった、令和4年7月の福岡大同青果市場トップセールスが計画されている。WITHコロナの中で、実行可能な事業を支援していく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
95007	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	団体補助金	実施計画事業	葉たばこ生産協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
葉たばこ生産協議会補助金	180

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 葉たばこ生産協議会の育成強化と耕作技術と経営の改善、強化を図り、産地収益力の向上に資するため、協議会育成活動等に要する経費について補助するもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ピクリン缶の収集及び缶つぶし（適正処理） ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成	R3	・ピクリン缶の収集及び缶つぶし（適正処理） ・生産コスト低減の検討 ・健苗育成（共同育苗実施）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	180				180
当初予算	180				180
決 算 額	180				180
R４計画	180				180
当初予算	110				110
決 算 額					
R５計画	180				180
当初予算					
決 算 額					
R６計画	180				180
当初予算					
決 算 額					
R７計画	180				180
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	900				900
当初予算	290				290
決 算 額	180				180

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 総会、役員会の開催		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	6				
					%	達成率	200.0				
	2 ピクリン缶回収及び処分作業		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 葉たばこ販売金額の維持	葉たばこについては、制度上、新規作付けが認められていないため、現状の販売金額維持を目標とする。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	億円	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1.8				
					%	達成率	90.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	23 点 ／25点	3 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
葉たばこ生産協議会に対して、品質の統一を図ることを目的とした共同育苗の実施や農薬空き缶（ピクリン缶）の共同適正処理などに取り組むことに対して補助金を交付した。共同育苗や農薬缶適正処理が計画どおりに実施されており、今後も支援を行っていく。 また、令和3年度においては、ＪＴの廃作奨励が行われたことで耕作者が減少したため、令和4年度の補助金については、協議会役員と協議のうえ、減額することとした。	令和3年度のＪＴ廃作奨励により耕作者が減少したため、令和4年度補助金の減額した。共同育苗や農薬缶適正処理が計画どおりに実施されており、今後も支援を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
95009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	終了年度	R5

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
戦略品目産地化プロジェクト支援事業補助金	375

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 園芸重点品目の産地化及びブランド化を早期に図るための整備事業に対し補助金を交付するもの。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・夏秋なす新規栽培者施設整備事業［美なす］ 2箇所予定 ・かんしょ貯蔵庫改修事業 3戸予定	R3	・夏秋なす施設整備　申請なし ・かんしょ貯蔵庫改修　1件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	375				375
当初予算	375				375
決算額	90				90
R４計画	500				500
当初予算	1,150				1,150
決算額					
R５計画	500				500
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	1,375				1,375
当初予算	1,525				1,525
決算額	90				90

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務	夏秋なす施設整備（2件） かんしょ貯蔵庫改修（3件）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	5	5	5		
						実績値	1				
					%	達成率	20.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数（補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	5	5	5		
						実績値	1				
					%	達成率	20.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
夏秋ナス（美なす）用の施設整備事業については申請がなかった。かんしょ貯蔵庫改修については、3戸予定していた内、２件は事業主体からの申し出により事業取下げとなり、1件の実績であった。 令和4年度においては、夏秋ナス用施設整備事業2件、産業用ドローン導入事業1件を予算計上しているが、ドローン導入を予定していた事業主体から取下げの申し出があった。豊肥振興局生産流通部や他係と連携し、ドローン導入希望者があれば事業推進を図りたい。	豊肥振興局生産流通部や他係と連携しながら、事業推進を図る。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
95009	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	重量野菜省力化支援事業	終了年度	R5

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
重量野菜省力化支援事業補助金	500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高齢化等により重量物野菜の積み込み等の作業の軽減を図るための経費を補助する ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ コンテナ積み込みクレーン　１台 パワースーツ　２台	R3	パワースーツ　3基導入
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	500				500
当初予算	500				500
決算額	204				204
R４計画	500				500
当初予算	348				348
決算額					
R５計画	500				500
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	1,500				1,500
当初予算	848				848
決算額	204				204

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務	コンテナ積み込みクレーン導入（１件） パワースーツ導入（２件）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	3	3	3		
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数（補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	3	3	3		
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
園芸重点推進品目のうち、重量野菜であるかんしょ、里いもの生産振興を図るため、農作業の省力化をめざしたパワースーツの導入推進を図り、かんしょ農家３名が導入した。収穫の際の積み込み時に省力化がされるため、使用者の評価は良好であった。また、コンパクトクレーンについても法人が導入に向けて検討していたが、他品目（白ねぎ）へ注力したいとのことで事業要望の取下げとなった。 令和4年度においては、評判のよかったパワースーツの導入予定台数を5基への増やし、更なる省力化を進めていくこととする。改めて、JA各部会へ周知徹底を図る。	パワースーツの導入推進を強化し、コンパクトクレーンについても法人を中心にが導入を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
95009	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業振興係

事業	園芸振興事業	細事業	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	実施計画事業	労働環境改善補助事業	終了年度	R5

総合計画体系図No.→（ 10 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	4
決算	99

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
労働環境改善支援事業補助金	300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 圃場等で行う農作業等の労働環境改善を行うための経費を補助する ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 簡易トイレ設置　３箇所	R3	簡易トイレ設置　0箇所
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	300				300
当初予算	300				300
決 算 額					
Ｒ４計画	300				300
当初予算	438				438
決 算 額					
Ｒ５計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	900				900
当初予算	738				738
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業申請事務	簡易トイレ設置支援（３件）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	3	3	3		
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助金交付件数	補助金を交付した件数（補助事業実施により生産拡大に取り組んだ件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	3	3	3		
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	1 点		1 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	1 点		1 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年度6月補正において、労働環境改善を目的とした「簡易トイレ設置事業」を予算化し、3基の整備を予定していたが申請がなかった。年度内に3件の要望、相談はあったが、年度内に事業完了する目処もたたなかったため、翌年度に改めて検討し直したいという農家もあった。 令和4年度においても、当初から数件の相談を受けており、農家への周知が浸透してきたと判断しており、引き続き推進を図っていきたい。（令和4年10月申請予定者1名、6月現在検討中が2名という状況）	簡易トイレ設置事業については申請が上がっていないが、農家の意識変革も見られることから、引き続き推進を図る。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
96001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農業再生協議会

事業	経営所得安定対策等交付金事業	細事業	経営所得安定対策等推進事業	実施計画事業	経営所得安定対策等推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 19 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	5
決算	100

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	②収益力の向上をめざした生産振興
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市水田収益力強化ビジョン
	期間 R3 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
経営所得安定対策等推進事業補助金	20,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 経営所得安定対策等交付金事業の実施（米の生産調整等） ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務 （収入減少影響緩和対策）	R3	経営所得安定対策等の実施 ・畑作物の直接支払交付金事務 ・水田活用の直接支払交付金事務 ・水田・畑作経営所得安定対策事務 （収入減少影響緩和対策）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	20,000	20,000			
当初予算	20,000	20,000			
決 算 額	15,596	15,596			
R４計画	15,000	14,000			1,000
当初予算	15,050	15,050			
決 算 額					
R５計画	14,000	13,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	13,000	12,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	13,000	12,000			1,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	75,000	71,000			4,000
当初予算	35,050	35,050			
決 算 額	15,596	15,596			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会の開催	説明会の回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 米の生産調整の達成率	達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
米の生産調整である需要に応じた主食用水稲の作付け計画は達成できた。 経営所得安定対策推進事務において、営農計画書及び交付申請書の配布と回収、電算入力、転換作物の現地確認と電算入力等の業務及び農政局への報告及び申請業務は問題無く完了した。 また、令和４年度から業務改善の中で水田協力員の廃止に伴い、営農計画書及び交付申請書の配布、受付業務の円滑化、可視化、効率化を図るため、営農管理支援システムを各会場で利用できる環境を整え、農業者にとっても利便性の高い業務を行うようにする。	国の方針を見極めつつ、業務改善を図りながら適切な人員を配置し、申請者の利便性を高める。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
97001	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	中山間地域等直接支払事業	細事業	中山間地域等直接支払推進事業	実施計画事業	中山間地域等直接支払推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 46 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	6
決算	101

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市農業振興計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	640
通信運搬費	242
中山間データ更新委託料	154
燃料費	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、５年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各協定を対象とした説明会を年１回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。 また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。	R3	各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ禍により中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。 その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,155	568			587
当初予算	1,155	568			587
決 算 額	1,144	568			576
R４計画	1,000	500			500
当初予算	1,587	784			803
決 算 額					
R５計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,000	500			500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,155	2,568			2,587
当初予算	2,742	1,352			1,390
決 算 額	1,144	568			576

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会の開催及び広報活動	・協定役員等を対象とした制度説明会の開催 １回 ・市報での制度紹介 １回 ・ホームページでの制度紹介 １回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 実施状況の確認	・全協定農用地を対象とした現地調査 2,386ha（R2年度実績） １回 ・全集落協定を対象とした実績受取協議 174協定（R2年度実績） １回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 協定農用地	・協定農用地の面積	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2,386	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391
						実績値	2,419				
					%	達成率	101.3				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	20 点 ／25点	3 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
第５期対策２年目が終了し、第４期対策からの変更点もあったが、実績報告の受取協議などを見ると、制度について概ね周知ができていると思われる。 しかし、未だに集落協定内での争議で苦情や相談を受けることから、本制度の徹底や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明していきたい。	集落協定内での争議で苦情や相談が多い、未然に防止することも視野に入れながら、民主的な協定運営をしてもらうよう働きかける。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
97002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事業	中山間地域等直接支払事業	細事業	中山間地域等直接支払交付金	実施計画事業	中山間地域等直接支払交付金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 46 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	6
決算	101

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
中山間地域等直接支払交付金	398,619

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、５年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各協定を対象とした説明会を年１回開催するとともに、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募る。 また、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行う。	R3	各協定を対象とした説明会を開催するよう準備を進めたが、コロナ禍により中止した。代わりに資料配付を行い、電話や面談などで協定からの質疑に答えることで制度の周知を図った。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。 その他、各協定による実施状況を確認するため現地調査及び証拠書類による審査を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	398,619	298,963			99,656
当初予算	398,619	298,963			99,656
決 算 額	414,218	310,663			103,555
R４計画	414,500	310,875			103,625
当初予算	424,196	318,146			106,050
決 算 額					
R５計画	415,000	311,250			103,750
当初予算					
決 算 額					
R６計画	415,000	311,250			103,750
当初予算					
決 算 額					
R７計画	415,000	311,250			103,750
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,058,119	1,543,588			514,531
当初予算	822,815	617,109			205,706
決 算 額	414,218	310,663			103,555

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 説明会の開催及び広報活動	・協定役員等を対象とした制度説明会の開催 １回 ・市報での制度紹介 １回 ・ホームページでの制度紹介 １回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 実施状況の確認	・全協定農用地を対象とした現地調査 2,386ha（R2年度実績） １回 ・全集落協定を対象とした実績受取協議 174協定（R2年度実績） １回	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 協定農用地	協定農用地の面積	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2,386	ha	目標値	2,388	2,390	2,390	2,391	2,391
						実績値	2,419				
					%	達成率	101.3				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	23 点 ／25点	4 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3年度は新規協定と新たに加算に取り組む協定があり、全体の面積及び交付金額が増加した。引き続き、本制度への取組参加について周知をしていきたい。 また、集落協定を対象とした説明会について、新型コロナウイルス感染症対策によりR3年度及びR４年度は中止とし、制度説明の文書を発送することでそれに代えた。新型コロナの状況が落ち着けば、再び説明会を開催し制度の周知を図りたい。	説明会の開催が出来なかったため、今後も、より分かりやすい制度説明文書の作成に努める。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
98001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	農政企画係

事 業	農業施設管理事業	細事業	農業施設管理事業	実施計画事業	農業施設管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 50 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	7
決算	102

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第4次豊後大野市農業振興計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
三重農村環境改善センター指定管理委託料	2,000
千歳農村環境改善センター施設管理委託料	1,309
光熱水費	1,462
千歳農村公園管理委託料	371

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
施設の適切な管理運営を図る。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
農業施設の維持管理
【対象施設】
・農村環境改善センター

①三重農村環境改善センター（指定管理）
②千歳農村環境改善センター
・農村公園
①緒方辻河原公園
②緒方中央農村公園
③千歳農村公園
・農林水産物直売所
①千歳特産物直売所

年度	主な活動実績
R3	農業施設の維持管理 【対象施設】 ・農村環境改善センター ①三重農村環境改善センター（指定管理） ②千歳農村環境改善センター ・農村公園 ①緒方辻河原公園 ②緒方中央農村公園 ③千歳農村公園 ・農林水産物直売所 ①千歳特産物直売所 施設の修繕 ・千歳農村環境改善センター（空調機器及び玄関ポーチ柱） 2,119,700円 施設の工事 ・千歳特産物直売所浄化槽設置工事 11,770,000円
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,050			164	5,886
当初予算	6,011			152	5,859
決 算 額	19,333			169	19,164
R４計画	6,050			164	5,886
当初予算	12,721	5,000		168	7,553
決 算 額					
R５計画	6,050			164	5,886
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,050			164	5,886
当初予算					
決 算 額					
R７計画	6,050			164	5,886
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	30,250			820	29,430
当初予算	18,732	5,000		320	13,412
決 算 額	19,333			169	19,164

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業施設の管理	法定検査等各施設の点検を実施し、施設の安全かつ適正な管理に努める。※浄化槽法定検査×３、浄化槽維持管理×３、遊具点検×１、水質検査×１、消防設備点検×１、自家用電気工作物点検×１	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	件	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	10				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 農業用施設修繕料の抑制	修繕の効果を検証し、適切な予算執行に努め、必要な分のみ修繕を行う。	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	127	千円	目標値	300	300	300	300	300
						実績値	2,414				
					%	達成率	804.7				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

農業振興課で管理している施設は、いずれも建設から相当な年数が経ち老朽化している。令和３年度においては、玄関ポーチ柱や空調設備の修繕、既設浄化槽の破損による浄化槽の設置工事等、多額の費用が発生した。
施設毎に利用状況や必要性等を検証し、長寿命化や維持更新の計画を作成するとともに、場合によっては施設の廃止（管理換えや売買譲渡を含む。）について検討する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

施設毎に利用状況や必要性等を検証し、それぞれの状況に沿った方針を策定する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
99001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事 業	道の駅等管理運営事業	細事業	道の駅等管理事業	実施計画事業	道の駅等管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 98 ）

会計	一般
款	6
項	1
目	8
決算	103

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	5 観光の振興
施策展開	③観光拠点の整備・活用
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
道の駅おおの駐車場整備工事請負費	16,342
指定管理料（4駅）	6,449
道の駅集客イベント補助金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
一般道路の利用者等に対し、良好な休憩の場及び道路情報を提供するとともに、観光等の情報発信や地場産品の販売等を通じ、広域的な交流の促進及び市内の産業振興を図るための拠点として、道の駅等を設置している。
（道の駅）
道の駅みえ、道の駅きよかわ、道の駅原尻の滝、道の駅あさじ、道の駅おおの
（里の駅）
やすらぎ交差点

※令和2年度に長寿命化計画を策定したので、その結果に基づいて令和4年度以降に改修となるため、令和4年度以降の計画額は増となる。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
○指定管理料の支出
○道の駅（５駅）合同イベントの実施による誘客
○道の駅おおの駐車場改修工事
○必要に応じ適宜修繕

年度	主な活動実績
R3	○指定管理料の支出 ○道の駅（５駅）合同イベントの実施による誘客 ○道の駅おおの駐車場改修工事 ○必要に応じ適宜修繕 ○コロナ禍に対応した指定管理施設緊急運営負担金の支出
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	39,242	1,000			38,242
当初予算	34,242	1,000			33,242
決 算 額	71,678			30	71,648
R４計画	75,889				75,889
当初予算	75,889	38,700		1,000	36,189
決 算 額					
R５計画	50,000				50,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	50,000				50,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	50,000				50,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	265,131	1,000			264,131
当初予算	110,131	39,700		1,000	69,431
決 算 額	71,678			30	71,648

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 道の駅等管理事業	指定管理者数（道の駅・里の駅）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	社	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	6				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 レジ客数	道の駅（観光入込客数の1/2）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	65	万人	目標値	70	72	75	78	82.5
						実績値	63				
					%	達成率	90.0				
	2 農産物販売額	道の駅	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4.3	億円	目標値	4.5	4.6	4.7	4.8	5
						実績値	4.1				
					%	達成率	91.1				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

令和3年度においてもコロナ収束の兆しが見えない中、特に夏場の第5波や長雨の影響、更には大分県に初めてまん延防止等重点措置が適用された第6波など、引き続き厳しい状況下にあったため、緊急運営負担金及び合同イベント補助金を交付するなどして、市民共通の財産であり地域活性化の拠点でもある道の駅の運営を支援してきた。令和4年度も引き続きコロナ禍での運営で、4月～6月の感染者数だけみると過去2年よりも状況は悪化しているが、ワクチンの3回目・4回目目の接種率が向上し、国内旅行の需要回復やインバウンドの復活に向けた明るい兆しも見られるようになったため、地域の雇用や生産者を守るためにも引き続き指定管理者による経営努力を支持する。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

道の駅の設置者である市として引き続き施設の適正な維持・管理を行う必要がある。また、経年劣化による施設の修繕費が今後、増加していくことが予想される。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
100001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	畜産業振興事業	細事業	組織育成対策事業	実施計画事業	和牛振興会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	104

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
和牛振興会補助金	570

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 和牛振興会の実施する研修会、振興大会等の経費を含む運営に対し支援し、本市の和牛繁殖農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 令和３年度計画 飼養技術研修会 和牛振興大会　等	R3	飼養技術研修会の実施 各種研修会への参加 全共候補牛巡回指導　等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	570				570
当初予算	570				570
決算額	570				570
R４計画	570				570
当初予算	570				570
決算額					
R５計画	570				570
当初予算					
決算額					
R６計画	570				570
当初予算					
決算額					
R７計画	570				570
当初予算					
決算額					
計画額	2,850				2,850
当初予算	1,140				1,140
決算額	570				570

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会等の実施	研修会等の実施回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	5				
					%	達成率	250.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナウイルスの影響で和牛振興大会の開催は見送ったが、飼養技術研修会の実施、各種研修会への参加、全共候補牛巡回指導等の活動は実施した。和牛農家の現状での課題は、後継者不足、高齢化による農家戸数の減少である。後継者に関しては、大規模農家の子弟が就農するものの新規就農者は厳しい状況にある。今後もヘルパー制度の活用や農業大学校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興会の組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する。	飼養技術研修会の実施、各種研修会への参加、ヘルパー制度の活用や農業大学校生への働き掛けを行ないながら新規就農者の確保に努めるとともに、和牛振興会の組織強化を通じ個々の農家の経営規模拡大、経営基盤強化を進め後継者の就農を促進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
100001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事 業	畜産業振興事業	細事業	組織育成対策事業	実施計画事業	酪農組合補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	104

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
酪農組合補助金	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 酪農組合の実施する研修会等の経費を含む運営に対し支援し、本市の酪農家の飼養技術の向上と生産意欲の高揚を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 令和３年度計画 飼養技術研修会 等	R3	飼養技術研修会の実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	50				50
当初予算	50				50
決 算 額	50				50
R４計画	50				50
当初予算	50				50
決 算 額					
R５計画	50				50
当初予算					
決 算 額					
R６計画	50				50
当初予算					
決 算 額					
R７計画	50				50
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	250				250
当初予算	100				100
決 算 額	50				50

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 研修会等の実施	研修会等の実施回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ渦ではあったが飼養技術研修会を実施した。本市の酪農業最大の課題は農家戸数の減少であり、現在の酪農家は2戸となった。今後とも酪農家の支援を継続していきたい。	現在の酪農家は2戸であるが、他業種への転換も含めて支援を継続していく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
100002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	畜産業振興事業	細事業	各共進会対策事業	実施計画事業	各共進会対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	104

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
共進会出品補助金	3,085

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市・県共進会に牛を出品する経費に対し支援し、出品農家の負担軽減と共進会参加に対する意識の高揚を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 令和３年度計画 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため肉用牛の部、乳牛の部は中止、肉牛の部のみ開催	R3	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため肉用牛の部、乳牛の部は中止、肉牛の部のみ開催され4頭出品した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,085				3,085
当初予算	3,085				3,085
決算額	91				91
R４計画	3,085				3,085
当初予算	5,535				5,535
決算額					
R５計画	3,085				3,085
当初予算					
決算額					
R６計画	3,085				3,085
当初予算					
決算額					
R７計画	3,085				3,085
当初予算					
決算額					
計画額	15,425				15,425
当初予算	8,620				8,620
決算額	91				91

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	県共進会出品頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	頭	目標値	4	24	24	24	24
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	14 点 ／25点	3 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3年度はR2年度と同様に新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため肉用牛の部、乳牛の部は中止、肉牛の部のみ開催され4頭出品した。しかしながら、共進会は農家の和牛改良推進と生産意欲向上に欠かせないものであるため、今後とも支援を行う。	共進会は農家の和牛改良推進と生産意欲向上に欠かせないものであるため、今後とも支援を行う。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
100004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	畜産業振興事業	細事業	畜産業振興事務費	実施計画事業	畜産業振興事務事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	104

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
畜産センター運営負担金	1,000
燃料費	283
和牛検査場管理委託料	254

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 畜産センターの運営や和牛検査場の管理を行うことにより、円滑な畜産業振興を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 令和３年度計画 畜産センター運営負担金　1,000千円 和牛検査場管理委託料　254千円　等	R3	畜産センター運営負担金　702千円 燃料費　262千円　等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,330				2,330
当初予算	2,330				2,330
決算額	2,113				2,113
R４計画	2,330				2,330
当初予算	2,630				2,630
決算額					
R５計画	2,330				2,330
当初予算					
決算額					
R６計画	2,330				2,330
当初予算					
決算額					
R７計画	2,330				2,330
当初予算					
決算額					
計画額	11,650				11,650
当初予算	4,960				4,960
決算額	2,113				2,113

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～Ⅰ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
畜産振興に係る事務的予算であるが、今後とも事務事業を精査し費用対効果が得られる効率的な事務の執行を行う。	適宜、精査しながら効率的な事務の執行を行う

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
100006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	畜産業振興事業	細事業	全国和牛能力共進会対策事業	実施計画事業	全国共進会候補牛確保補助金	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	104

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
全国和牛能力共進会出品候補牛確保事業補助	2,550

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 令和4年度に開催される全国和牛能力共進会に向けた出品候補牛の確保を目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 若雌及び肥育素牛の確保に対し助成する。 令和3年度計画 若雌　150,000円×5頭＝750,000円 肥育素牛　450,000円×4頭＝1,800,000円	R3	若雌5頭、肥育素牛4頭を確保する計画であったが、若雌3頭、肥育素牛2頭の確保にとどまった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,550				2,550
当初予算	2,550				2,550
決算額	590				590
R４計画					
当初予算					
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	2,550				2,550
当初予算	2,550				2,550
決算額	590				590

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	確保頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		頭	目標値	9				
						実績値	5				
					%	達成率	55.6				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は5年に1度開催される全国和牛能力共進会に向けての対策事業であり、全共の開催前年度に実施している。今回は計画どおりには実施できなかったが、全共に向けての重要な事業であるため、今後も継続していく。また、事業内容に関してはR3の取り組みを検証し、事業内容や実施年度も含めて見直しを図りたい。	R3の取り組みを検証し、より有効な事業内容や実施年度も含めて見直しを図る。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	D.休 止

（様式１）

事業番号	枝番
100008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事 業	畜産業振興事業	細事業	おおいた和牛を核とした豊肥の味力発信事業	実施計画事業	味力発信事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	104

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
おおいた和牛を核とした豊肥の味力発信事業	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 新型コロナウイルス感染症の影響により消費が低迷している畜産物の消費拡大を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 熊本県、大分県、竹田市と連携し「お肉列車」の運行等のイベント開催する。	R3	阿蘇市、大分県、竹田市と連携し「お肉列車」の運行、スタンプラリーのイベント開催した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,000	900			100
当初予算	1,000	900			100
決 算 額	1,000	1,000			
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,000	900			100
当初予算	1,000	900			100
決 算 額	1,000	1,000			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	事業費（市負担金）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		千円	目標値	1,000				
						実績値	1,000				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊肥振興局の呼びかけにより阿蘇市、大分県、竹田市と竹田・豊後大野・阿蘇広域観光味力推進協議会を設立し、コロナ渦で消費が低迷する大分豊後牛の消費拡大を図るため、「お肉列車」の運行、スタンプラリーのイベントを開催し成果を上げた。R4も協議会で事業実施するが「お肉列車」は取り止め、スタンプラリー中心の観光客誘致事業となるため主管課は商工観光課となります。	R4からの予算担当課は商工観光課となった。農業振興課は実行委員会のメンバーとして協力していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
101002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事 業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	種雄牛造成推進事業	実施計画事業	種雄牛造成推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	105

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
種雄牛造成推進事業補助金	150

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 肉用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配を行うに当たり、指定交配種付け助成を行うことにより、種雄牛造成の推進と畜産農家の和牛改良意識の高揚を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 肉用牛改良組合が認定する指定牛に指定交配を行うに当たり、1頭30千円の指定交配種付け助成を行う。 令和３年度計画 助成頭数5頭	R3	対象牛がおらず実績は0頭です。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	150				150
当初予算	150				150
決 算 額					
R４計画	150				150
当初予算	150				150
決 算 額					
R５計画	150				150
当初予算					
決 算 額					
R６計画	150				150
当初予算					
決 算 額					
R７計画	150				150
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	750				750
当初予算	300				300
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		頭	目標値	5	5	5	5	5
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	8 点 ／25点	3 点	8 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1 点		1 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3は対象牛がいなかったが、必要な事業であるため継続したい。	大分らしい種雄牛の造成に向け、関係機関と一体となって取り組む。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
101003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	優良雌牛確保対策事業	実施計画事業	優良雌牛確保対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 22 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	105

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
優良雌牛確保対策事業補助金	10,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 和牛繁殖農家の雌牛導入及び自家保留に対し支援することにより、飼養頭数の維持、増頭を目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和３年度計画 ①50頭 ②100頭	R3	①系統牛、指定牛及び高育種価牛の導入及び自家保留に対し1頭あたり100千円を助成 ②①以外の導入及び自家保留に対し1頭あたり50千円を助成 令和３年度実績 ①86頭 ②52頭
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	10,000				10,000
当初予算	10,000				10,000
決 算 額	11,200				11,200
R４計画	10,000				10,000
当初予算	10,000				10,000
決 算 額					
R５計画	10,000				10,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	10,000				10,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	10,000				10,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	50,000				50,000
当初予算	20,000				20,000
決 算 額	11,200				11,200

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	103	頭	目標値	150	150	150	150	150
						実績値	138				
					%	達成率	92.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3は計画頭数には届かなかったが、農家が高育種価牛の導入保留に努めたため事業費は予算額を上回った。この事業は県の増頭事業の補完事業として実施しており、一戸あたりの平均飼養頭数の増加に大きく影響している事業であると認識していますので、今後も継続していきたい。	飼養頭数の増加に大きく影響している事業であり、但馬系・高育種価等、随時、増頭要件を見直しながら、今後も継続する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
101004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事 業	乳・肉用牛改良促進事業	細事業	優良乳用牛導入事業	実施計画事業	優良乳用牛導入事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	105

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
優良乳用牛導入事業補助金	1,350

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 高能力な初任牛を県外から購入し個々の経営内の改良増殖に対し支援し、経営の安定強化を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 導入金額が600千円以上のものに対し、購入価格の30%以内で助成する。助成上限1頭あたり300千円 令和３年度計画5頭	R3	R3導入実績無し。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,350				1,350
当初予算	1,350				1,350
決 算 額					
R４計画	1,350				1,350
当初予算	1,200				1,200
決 算 額					
R５計画	1,350				1,350
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,350				1,350
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,350				1,350
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,750				6,750
当初予算	2,550				2,550
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	頭	目標値	5	5	5	5	5
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R3は導入実績がありませんでしたが、戸数の減少が著しい酪農家を支える重要な事業として、今後も継続していきたい。	戸数の減少が著しい酪農家を支える重要な事業として、今後も継続する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
102002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	畜産経営基盤強化事業	実施計画事業	畜産経営基盤強化事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	106

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
畜産経営基盤強化事業補助金	14,415

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 国及び県の補助事業に該当するものを除き、畜産農家又は営農集団に、施設の新築、改造及び増築、家畜排せつ物処理施設の設置及び機械導入並びに飼料生産用機械導入に要する経費を支援し、畜産農家の経営基盤強化を目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 事業費の1/2を補助、補助上限700千円 令和３年度計画 施設整備１７件	R3	施設整備10件 機械整備11件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	14,415				14,415
当初予算	14,415				14,415
決算額	10,232				10,232
R４計画	15,000				15,000
当初予算	15,765				15,765
決算額					
R５計画	15,000				15,000
当初予算					
決算額					
R６計画	15,000				15,000
当初予算					
決算額					
R７計画	15,000				15,000
当初予算					
決算額					
計画額	74,415				74,415
当初予算	30,180				30,180
決算額	10,232				10,232

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	23	件	目標値	28	30	30	30	30
						実績値	21				
					%	達成率	75.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は、国県補助事業に該当しないものを補完する事業であり、国県補助事業の要件である大規模農家に該当しない中小規模農家の多い本市で、中小規模農家の経営改善に大きく寄与するものです。今後とも継続して事業を行い農家を支援していきたい。	より効果的な事業推進のため、随時、基準等を見直しながら継続する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
102003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	乳用牛保留事業	実施計画事業	乳用牛保留事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	106

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
乳用牛保留事業補助金	750

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 乳牛飼養農家で生産された乳用牛を自家保留し、育成牛として飼養管理に要する経費の一部を支援し、経営の安定化を図ることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 自家保留１頭につき50千円助成 令和３年度計画１５頭	R3	自家保留１頭につき50千円助成 令和３年度実績9頭
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	750				750
当初予算	750				750
決算額	526	138			388
R４計画	500				500
当初予算	500				500
決算額					
R５計画	500				500
当初予算					
決算額					
R６計画	500				500
当初予算					
決算額					
R７計画	500				500
当初予算					
決算額					
計画額	2,750				2,750
当初予算	1,250				1,250
決算額	526	138			388

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	頭	目標値	15	10	10	10	10
						実績値	9				
					%	達成率	60.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は農家戸数の減少著しい酪農家を支える重要な事業と位置づけています。また、県の後継牛緊急確保特別対策事業の受け皿になっていることから、事業規模は小さいですが、今後も継続していきたい。	事業規模は小さいが、今後も継続していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
102009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	肉用牛大規模経営体育成事業	実施計画事業	肉用牛大規模経営体育成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	106

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
肉用牛大規模経営体育成事業補助金	3,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 将来の中心的な役割を担う認定農業者が実施する、畜舎や堆肥舎等の建設や改造並びに附帯設備や機械の整備に対して支援し、中核的大規模経営体を育成することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 畜舎修繕1件 畜舎新築1件	R3	畜舎修繕1件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,500				3,500
当初予算	3,500	2,333			1,167
決算額	2,807	1,870			937
R４計画	3,500				3,500
当初予算					
決算額					
R５計画	3,500				3,500
当初予算					
決算額					
R６計画	3,500				3,500
当初予算					
決算額					
R７計画	3,500				3,500
当初予算					
決算額					
計画額	17,500				17,500
当初予算	3,500	2,333			1,167
決算額	2,807	1,870			937

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	事業実施件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	50.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は県単事業であり、補助要件が大規模経営体のため、大規模経営体の少ない本市では事業要望のあった年のみの取り組みとなるが、大規模経営体を支える事業として、今後も取組んで行きたい。	年齢要件もあり、若手の大規模にとって非常に有効な事業である。新規就農者も含めて、引き続き協力に推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
102011	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事業	経営基盤強化対策事業	細事業	肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	実施計画事業	繁殖雌牛安定生産対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 22 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	106

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業補助金	6,300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 繁殖雌牛の増頭を行う際の経費の一部を支援し、「おおいた豊後牛」のうち、より高品質な牛肉である「おおいた和牛」の生産基盤を強化することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和３年度計画６０頭	R3	繁殖雌牛の増頭1頭あたり105千円補助 令和３年度実績56頭
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,300	3,150			3,150
当初予算	6,300	3,150			3,150
決 算 額	5,880	2,940			2,940
R４計画	6,300	3,150			3,150
当初予算	6,300	3,150			3,150
決 算 額					
R５計画	6,300	3,150			3,150
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,300	3,150			3,150
当初予算					
決 算 額					
R７計画	6,300	3,150			3,150
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	31,500	15,750			15,750
当初予算	12,600	6,300			6,300
決 算 額	5,880	2,940			2,940

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	68	頭	目標値	60	60	60	60	60
						実績値	56				
					%	達成率	93.3				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は県単の増頭事業であり、補助要件に高育種価要件があるため、市内農家の高育種価牛の導入推進に好影響を与えていますので、今後も継続していきたい。	引き続き、高育種価牛の導入を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
102011	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事 業	経営基盤強化対策事業	細事業	肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	実施計画事業	子牛市場活性化対策事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 26 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	106

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業補助金	1,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ゲノム育種価評価等により選抜した高能力種雄牛の利用促進を支援し、「おおいた豊後牛」のうち、より高品質な牛肉である「おおいた和牛」の生産基盤を強化することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ゲノム育種価評価等により選抜、供用開始された県有種雄牛の人口授精を行った場合、繁殖雌牛1頭あたり9千円を助成する。	R3	R3実績413頭
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,800	1,200			600
当初予算	1,800	1,200			600
決 算 額	3,717	2,478			1,239
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,800	1,200			600
当初予算	1,800	1,200			600
決 算 額	3,717	2,478			1,239

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	助成対象頭数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	266	頭	目標値	200				
						実績値	413				
					%	達成率	206.5				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は、県単の県有種雄牛授精推進事業でR1から実施され、毎年補助件数を伸ばし事業成果を上げました。R3をもって廃止。	県有種雄牛の拡大に有効であるが、R3をもって廃止となった。今後も県の予算化と併せて、推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	E.廃 止

（様式１）

事業番号	枝番
102014	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農業振興課	係名	畜産振興係

事 業	経営基盤強化対策事業	細事業	酪農支援対策設備整備事業	実施計画事業	酪農支援対策設備整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 21 ）

会計	一般
款	6
項	2
目	1
決算	106

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	③畜産業を支援する
後期基本計画	23 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
酪農支援対策設備整備事業補助金	600

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 酪農経営の基盤強化と経営感覚に優れた担い手の確保を促進するため、新技術を利用した省力化施設整備や機械等を導入することにより酪農の発展に資することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 暑熱対策用換気扇８台設置（農家数１戸）	R3	事業実績無し。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	600	400			200
当初予算	600	400			200
決 算 額					
Ｒ４計画	600	400			200
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画	600	400			200
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	600	400			200
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	600	400			200
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,000	2,000			1,000
当初予算	600	400			200
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 事業量	事業実施農家戸数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		戸	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	10 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本事業は県の酪農暑熱対策事業である。R3に事業要望が1件ありましたが諸事情により実施には至りませんでした。酪農における暑熱対策は大変重要であるため、今後も要望があれば事業実施したい。	今後も気温上昇が予想されるが、対象者が2戸であるため、要望をしっかりと把握しながら推進する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
105001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事業	農道維持管理事業	細事業	農道維持管理事業	実施計画事業	農道維持管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	107

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農道維持補修工事請負費	3,000
通信運搬費	1,328
農業水利施設管理道路管理委託料	600
光熱水費	504

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農道の適正な維持管理により、農耕車両及び一般通行車両等通行者が安全に通行できる状態を確保する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・農道除草作業委託 （1路線 延長L=1,440m） ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託	R3	・農道除草作業委託 （1路線 延長L=1,440m） ・農道維持補修工事 ・農業水利施設管理道路管理委託
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,334			1,076	5,258
当初予算	6,334			1,076	5,258
決 算 額	5,332			1,017	4,315
R４計画	6,334			1,076	5,258
当初予算	7,801			2,062	5,739
決 算 額					
R５計画	6,334			1,076	5,258
当初予算					
決 算 額					
R６計画	6,334			1,076	5,258
当初予算					
決 算 額					
R７計画	6,334			1,076	5,258
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	31,670			5,380	26,290
当初予算	14,135			3,138	10,997
決 算 額	5,332			1,017	4,315

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農道維持管理事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6,334	千円	目標値	6,334	6,334	6,334	6,334	6,334
						実績値	5,332				
					%	達成率	84.2				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 農道維持管理事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6,334	千円	目標値	6,334	6,334	6,334	6,334	6,334
						実績値	5,332				
					%	達成率	84.2				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
遠隔地の市管理農道における土砂撤去、除雪、溶解剤散布等の維持管理及び農道施設の点検等対応。	農道施設の維持管理に必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
105002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	農道維持管理事業	細事業	原材料支給事業	実施計画事業	原材料支給事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	107

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
原材料費（地元申請支給分）	18,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 （２戸以上の共同で施行されるもの） 45地区×400千円	R3	原材料支給 農業用施設に対する原材料支給 （２戸以上の共同で施行されるもの） 38件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	18,000		17,100		900
当初予算	18,000		17,100		900
決 算 額	12,785		12,100		685
R４計画	18,000		17,100		900
当初予算	18,000		17,100		900
決 算 額					
R５計画	18,000		17,100		900
当初予算					
決 算 額					
R６計画	18,000		17,100		900
当初予算					
決 算 額					
R７計画	18,000		17,100		900
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	90,000		85,500		4,500
当初予算	36,000		34,200		1,800
決 算 額	12,785		12,100		685

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 原材料費	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	18,000	千円	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
						実績値	12,785				
					%	達成率	71.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 原材料費	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	18,000	千円	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
						実績値	12,785				
					%	達成率	71.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～Ⅰ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自治区からの申請も多く、農業用施設に対し必要な材料を支給する事業は継続するべきである。	自治区からの申請も多く、事業の継続が必要。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
104001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農業基盤整備促進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農業基盤整備促進事業計画書作成業務委託料	8,400
農業基盤整備促進事業工事請負費	24,600

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・農業体質強化基盤整備事業 ・農地耕作条件改善事業 農業用施設の更新・改修 1.0式 暗渠排水工事 1.0式 揚水施設整備工事 1.0式 農道舗装工事 1.0式	R3	・農業体質強化基盤整備事業 ・農地耕作条件改善事業 農業用施設の更新・改修 1.0式
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	33,000	22,770		2,460	7,770
当初予算	33,000	22,770		2,460	7,770
決 算 額	43,710	29,946		2,882	10,882
R４計画	51,500	34,500	9,800	4,400	2,800
当初予算	63,780	47,270		4,200	12,310
決 算 額					
R５計画	51,500	34,500	9,800	4,400	2,800
当初予算					
決 算 額					
R６計画	51,500	34,500	9,800	4,400	2,800
当初予算					
決 算 額					
R７計画	51,500	34,500	9,800	4,400	2,800
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	239,000	160,770	39,200	20,060	18,970
当初予算	96,780	70,040		6,660	20,080
決 算 額	43,710	29,946		2,882	10,882

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	53,229	千円	目標値	33,000	51,500	51,500	51,500	51,500
						実績値	43,710				
					%	達成率	132.5				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 農業基盤整備促進事業費	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	53,229	千円	目標値	33,000	51,500	51,500	51,500	51,500
						実績値	43,710				
					%	達成率	132.5				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
○課題 土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が大きな課題となっている。 ○対策 国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。	土地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
104001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	経営体育成土地利用調整推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
経営体育成土地利用調整推進事業委託料	1,150

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を目的とする。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式	R3	・大分県農業経営高度化支援事業 土地利用調査調整事業費 【宇田枝地区】 農地集積図作成委託 1.0式 推進協議会業務委託 1.0式
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,150	920			230
当初予算	1,150	920			230
決 算 額	1,045	800			245
R４計画	1,150	920			230
当初予算	3,100	2,480			620
決 算 額					
R５計画	2,300	1,840			460
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,300	1,840			460
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,300	1,840			460
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	9,200	7,360			1,840
当初予算	4,250	3,400			850
決 算 額	1,045	800			245

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,100	千円	目標値	1,150	1,150	2,300	2,300	2,300
							実績値	1,045				
						%	達成率	90.9				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	経営体育成土地利用調整推進事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,100	千円	目標値	1,150	1,150	2,300	2,300	2,300
							実績値	1,045				
						%	達成率	90.9				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
・大分県農業経営高度化支援事業（土地利用調査調整事業費：宇田枝地区）は集積業務委託は農地集積率アップのため必要であり、推進協議会委託については農地集積促進に欠かせない事業である。	・大分県農業経営高度化支援事業は農地集積率アップのため必要な事業である。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
104001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農業用ため池ハザードマップ作成業務委託事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農業用ため池ハザードマップ作成業務委託料	5,100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ため池が自然災害により破堤、はん濫等した時に危険となる場所や避難する場所を地図上に示し、事前に危険な状態を市民に知らせることにより、自主的な避難や普段からの備えの強化に活用することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ため池ハザードマップ作成委託 R3当初 12地区 R3国補正 17地区	R3	ため池ハザードマップ作成委託 R3当初 12地区 R3国補正 17地区
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,100	5,100			
当初予算	5,100	5,100			
決 算 額	11,900	11,900			
R４計画	5,500	5,500			
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	10,600	10,600			
当初予算	5,100	5,100			
決 算 額	11,900	11,900			

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農業用ため池ハザードマップ作成業務委託料	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,960	千円	目標値	5,100	5,500	1,500		
						実績値	11,900				
					%	達成率	233.3				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 農業用ため池ハザードマップ作成業務委託料	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,960	千円	目標値	5,100	5,500	1,500		
						実績値	11,900				
					%	達成率	233.3				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
R３国補正（R４繰越）により、防災重点ため池ハザードマップ作成委託業務終了。	R4繰越業務で完了。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
104001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農道施設点検業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農道施設点検業務委託料	10,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 農道点検委託 広域農道大分中部線 （トンネル１件・橋梁１件） ※５年に１回の施設点検 【令和8年度予定】	R3	農道点検委託 広域農道大分中部線 トンネル１件 L=1,080m 橋梁１件 L= 34.5m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	10,000	6,900			3,100
当初予算	10,000	6,900			3,100
決 算 額	7,764	5,044		1,082	1,638
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	10,000	6,900			3,100
当初予算	10,000	6,900			3,100
決 算 額	7,764	5,044		1,082	1,638

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 農道点検委託料	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値	10,000				
						実績値	7,764				
					%	達成率	77.6				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 農道点検委託料	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値	10,000				
						実績値	7,764				
					%	達成率	77.6				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農道施設点検も定期的（５年に１回）に行うものとする。	農道施設点検は定期的（５年に１回）に行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	D.休 止

（様式１）

事業番号	枝番
104001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農地集積報告書作成業務委託事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画 24 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農地集積報告書作成業務委託料	900

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 農地集積報告書作成業務委託 豊後大野２期地区	R3	農地集積報告書作成業務委託 豊後大野２期地区
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	900	720			180
当初予算	900	720			180
決 算 額	836	600			236
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	900	720			180
当初予算	900	720			180
決 算 額	836	600			236

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	農地集積報告書作成業務委託料	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値	900				
							実績値	836				
						%	達成率	92.9				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	農地集積報告書作成業務委託料	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値	900				
							実績値	836				
						%	達成率	92.9				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農地集積報告書作成業務委託（豊後大野２期地区）はR3で終了。	農地集積報告書作成業務委託（豊後大野２期地区）はR3で終了。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
104001	6

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事業	農業農村整備事業	細事業	市営土地改良事業	実施計画事業	農業経営高度化促進事業交付事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
農業経営高度化促進事業交付金	27,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 農業経営高度化促進事業交付金 三重東部地区 利用集積率　89.87% 要件：集積率85%以上で事業費の8.5%以内の交付（キャッシュバック）	R3	農業経営高度化促進事業交付金 三重東部地区 集積要件によりキャッシュバック
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	27,000	21,600			5,400
当初予算	27,000	21,600			5,400
決 算 額	26,080	20,864			5,216
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	27,000	21,600			5,400
当初予算	27,000	21,600			5,400
決 算 額	26,080	20,864			5,216

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	農業経営高度化促進事業交付金	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		千円	目標値	27,000				
							実績値	26,080				
						%	達成率	96.6				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	農業経営高度化促進事業交付金	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		千円	目標値	27,000				
							実績値	26,080				
						%	達成率	96.6				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
農業経営高度化促進事業交付金（キャッシュバック：三重東部地区）R3終了。	農業経営高度化促進事業交付金（キャッシュバック：三重東部地区）R3終了。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
104003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	農林企画係

事 業	農業農村整備事業	細事業	土地改良区育成事業	実施計画事業	土地改良区運営補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 45 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画 24 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
土地改良区運営補助金	11,831

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市が補助金を交付することにより、土地改良区は土地改良財産を適正に維持管理し、各農家の農業生産性の維持向上につなげ、農業所得・経営の安定を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する土地改良区に対し運営補助金を交付する。 ・交付申請 ・指令書送付 ・概算払 ・実績報告 ・精算	R3	豊後大野市土地改良推進協議会に加入している、若しくは市内に事務所を有し、恒常的に職員を雇用する13土地改良区に対し運営補助金を合計で11,831,000円交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	11,831				11,831
当初予算	11,831				11,831
決 算 額	11,831				11,831
R４計画	11,708				11,708
当初予算	11,708				11,708
決 算 額					
R５計画	11,585				11,585
当初予算					
決 算 額					
R６計画	11,462				11,462
当初予算					
決 算 額					
R７計画	11,462				11,462
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	58,048				58,048
当初予算	23,539				23,539
決 算 額	11,831				11,831

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	土地改良区に交付した補助金額	□ 総合戦略 □ 個別計画	11,954	千円	目標値	11,831	11,708	11,585	11,462	11,462
						実績値	11,831				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 交付件数	補助金を交付した件数（補助金の交付を受け土地改良財産を適正に維持管理している土地改良区数）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	13	件	目標値	13	13	13	13	13
						実績値	13				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
土地改良区は、市の基幹産業である農業の振興に必要不可欠な土地改良財産を適正に維持管理しており、今後も継続的に事業実施していく必要がある。	今後も継続的に事業実施していく必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
104003	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	農林企画係

事業	農業農村整備事業	細事業	土地改良区育成事業	実施計画事業	土地改良区事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 45 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
土地改良区事業補助金	237

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 土地改良施設維持管理適正化事業を実施する土地改良区等に対し、市が補助を行うことにより、土地改良施設の機能を保持し、耐用年数を確保する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・緒方井路土地改良区が実施する井上・野尻幹線水路と野間用排水路における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付する。 ・新規事業要望有無の確認 ・請求後支払	R3	・緒方井路土地改良区が実施する井上・野尻幹線水路と野間用排水路における土地改良施設維持管理適正化事業に対し負担率に応じた補助金を交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	237				237
当初予算	237				237
決 算 額	237				237
R４計画	582				582
当初予算	1,481				1,481
決 算 額					
R５計画	318				318
当初予算					
決 算 額					
R６計画	318				318
当初予算					
決 算 額					
R７計画	318				318
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,773				1,773
当初予算	1,718				1,718
決 算 額	237				237

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	交付金額	交付した補助金額	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	309	千円	目標値	237	582	318	318	318
							実績値	237				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	交付事業件数	補助金を交付した事業の件数（機能が維持された土地改良施設の件数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	件	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	2				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市は、土地改良区営で実施する土地改良施設維持管理適正化事業について、改良区の負担率に応じた補助をしているが、市内の土地改良施設の不良箇所を減らしていくことで、施設の長寿命化のみならず、災害や事故を未然に防ぐことにも繋がるため、今後も継続して推進する必要がある。	今後も継続して推進する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
104004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	農業農村整備事業	細事業	県営等土地改良事業	実施計画事業	県営等土地改良事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 41 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑥農業生産基盤を整備する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
県営中山間地域総合整備事業負担金	75,200
県営経営体育成基盤整備事業負担金	17,500
県営ため池等整備事業負担金	12,295
県営農業水利施設保全合理化事業負担金	6,371

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
既存農業者の意欲向上や新規就農を支援するため、ほ場、農道、用排水施設などの農業生産基盤を整備し、生産性向上による農業の競争力強化を図ります。あわせて中心経営体への農地集積率に応じて事業費負担を助成する農地集積促進事業への取組を推進します。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
県営中山間地域総合整備事業負担金
　豊後大野東部地区
　豊後大野西部２期地区
　豊後大野地区
県営経営体育成基盤整備事業負担金
　宇田枝地区
県営ため池等整備事業負担金
　白水ため池
県営農業水利施設保全合理化事業負担金
　事業実施　１０地区

年度	主な活動実績
R3	県営中山間地域総合整備事業 県営経営体育成基盤整備事業 県営ため池等整備事業 県営農業水利施設保全合理化事業
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	114,996		43,500	31,212	40,284
当初予算	114,996		43,500	31,212	40,284
決 算 額	135,430		47,000	38,774	49,656
Ｒ４計画	173,466		95,285	73,166	5,015
当初予算	124,641		62,900	25,630	36,111
決 算 額					
Ｒ５計画	111,791		57,702	51,052	3,037
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	124,170		62,730	58,138	3,302
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	136,400		67,687	65,150	3,563
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	660,823		326,904	278,718	55,201
当初予算	239,637		106,400	56,842	76,395
決 算 額	135,430		47,000	38,774	49,656

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 県営事業負担金	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	75,248	千円	目標値	114,996	173,466	111,791	124,170	136,400
						実績値	135,430				
					%	達成率	117.8				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 県営事業負担金	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	75,248	千円	目標値	114,996	173,466	111,791	124,170	136,400
						実績値	135,430				
					%	達成率	117.8				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

土地改良施設は老朽化により更新時期を迎えているが、更新事業とその分担金が大きな課題となっている。
国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

土地改良施設の更新事業は、国・県の補助事業を活用し、施設管理者の負担の軽減を図る。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
104005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	農林企画係

事 業	農業農村整備事業	細事業	多面的機能支払交付金事業	実施計画事業	多面的機能支払交付金事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 46 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	1
決算	108

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑦地域資源を活かした農村づくり
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第4次豊後大野市農業振興計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	生物多様性ぶんごおおの戦略 期間 H29 年度 ～ R3 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
多面的機能支払交付金	110,600
時間外・休日勤務手当	286
消耗品費	252
水土里情報システム利用負担金	190

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・活動組織に対し交付金支出 ・全組織を対象とした事務説明会を開催 ・組織からの相談受付 ・組織への助言及び指導 ・活動報告書の審査受領 ・事業拡大のための広報活動 ・新規実施希望地区に対する事業の説明 ・現地調査	R3	・活動組織に対し交付金支出 ・全組織を対象とした事務説明会を開催 ・組織からの相談を受け付け、助言及び指導を実施 ・活動報告書の審査受領 ・事業拡大のための広報活動 ・新規実施希望地区に対する事業の説明 ・現地調査
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	111,460	83,810			27,650
当初予算	111,460	83,810			27,650
決 算 額	106,409	79,936		54	26,419
R４計画	100,762	75,786			24,976
当初予算	100,106	75,356			24,750
決 算 額					
R５計画	103,860	78,110			25,750
当初予算					
決 算 額					
R６計画	106,860	80,360			26,500
当初予算					
決 算 額					
R７計画	109,860	82,610			27,250
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	532,802	400,676			132,126
当初予算	211,566	159,166			52,400
決 算 額	106,409	79,936		54	26,419

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 交付金額	取組組織に対する農地維持・資源向上（共同・長寿命化）の交付金額	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	106,287	千円	目標値	110,600	99,902	103,000	106,000	109,000
						実績値	105,648				
					%	達成率	95.5				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 取組面積	協定農用地面積（地域が共同活動を行い地域資源を適切に保全管理する農用地面積）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2,055	ha	目標値	2,101	1,934	1,994	2,052	2,110
						実績値	2,056				
					%	達成率	97.9				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	17 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度までで５年間の活動期間が満了する組織が多く、継続せず活動を終了する組織が予想を上回ったため、令和4年度の活動組織数や協定農用地面積が減少する見込み。主な原因は、地域の高齢化に伴う事務局や役員のなり手不足と分析しているので、実施が可能と考えられる地域を抽出するなどして新規拡充に努める。	活動を終了する組織があるため協定農用地面積が減少する見込みであるが、新規拡充に努める。

Ⅰ 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
38002	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	地籍調査係

事業	地籍調査事業	細事業	地籍調査事業	実施計画事業	地籍調査事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 206 ）

会計	一般
款	6
項	3
目	2
決算	109

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	4 土地利用・景観の整備
施策展開	②地籍調査を推進する
後期基本計画	58 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
国土調査事業第７次十箇年計画	期間 R2 年度 ～ R11 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
測量設計調査委託料	138,000
会計年度任用職員報酬	1,749
事務支援システムリース料	1,146
消耗品費	620

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
地籍調査とは、主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。「地籍」の情報が行政の様々な場面で活用されている。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
・三重町内田（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.03
・三重町内田（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.06
・清川町臼尾（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.17
・千歳町船田（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.14
・三重町内田（Ｃ，Ｅ，ＦＩ，ＦⅡ－１）0.62
・大野町片島（Ｃ，Ｅ，ＦＩ，ＦⅡ－１）0.75
・千歳町船田（Ｅ，ＦＩ，ＦⅡ－１）0.38
　計2.15㎢　※換算面積（㎢）
・リモートセンシング技術を用いた山村部の地籍調査準備作業
・法務局送付

年度	主な活動実績
R3	・三重町内田（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.03 ・三重町内田（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.06 ・清川町臼尾（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.17 ・千歳町船田（ＦⅡ－２，Ｇ，Ｈ）0.14 ・三重町内田（Ｃ，Ｅ，ＦＩ，ＦⅡ－１）0.62 ・大野町片島（Ｃ，Ｅ，ＦＩ，ＦⅡ－１）0.75 ・千歳町船田（Ｅ，ＦＩ，ＦⅡ－１）0.60 　計2.37㎢　※換算面積（㎢） ・リモートセンシング技術を用いた山村部の地籍調査準備作業
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	144,279	100,590		120	43,569
当初予算	144,279	100,590		120	43,569
決算額	136,446	100,590		147	35,709
Ｒ４計画	230,000	172,500		120	57,380
当初予算	50,934	33,000		120	17,814
決算額					
Ｒ５計画	270,000	202,500		120	67,380
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	280,000	210,000		120	69,880
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	220,000	165,000		120	54,880
当初予算					
決算額					
計画額	1,144,279	850,590		600	293,089
当初予算	195,213	133,590		240	61,383
決算額	136,446	100,590		147	35,709

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 調査済面積（進捗率）	第７次十箇年計画調査対象面積537.71㎢に対して、調査済面積（累計）が閉める割合を算出。	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	49.5	%	目標値	50.23	50.85	51.62	52.41	53.07
						実績値	49.93				
					%	達成率	99.4				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 調査済面積（進捗率）	第７次十箇年計画調査対象面積537.71㎢に対して、調査済面積（累計）が閉める割合を算出。	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	49.5	%	目標値	50.23	50.85	51.62	52.41	53.07
						実績値	49.93				
					%	達成率	99.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

・安定的な事業実施に広範な知識や経験が必要となるため、研修等を活用し各担当の専門性を高める。
・高齢化等により年々調査が困難化している。調査を迅速・円滑に行うため、新たな調査手法等を活用する。
・過去の成果についての問合せが、調査が進捗するに従い増加するため、調査中の業務に支障とならないよう体制を検討する必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新たな調査手法等を活用して推進する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
106001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	公有林管理整備事業	細事業	公有林整備委託事業	実施計画事業	公有林整備委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 68 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	1
決算	110

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	③未整備森林を整備する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
森林地図情報システム保守点検委託料	1,037
公有林下刈委託料	384
重機借上料	200
原材料費	100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公有林の適正管理及び継続的な整備を行い、森林価値の向上と山林の健全化を図る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 森林地図情報システムによる効率、効果的な公有林管理を行う。また、公有林の下刈りや公有林により支障が出ている箇所の整備を行うことにより、適切な管理を行う。	R3	森林の計画的な整備・保全を推進するため、森林地図情報の更新を図った。また、公有林の下刈等を行い、森林の健全化を図った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,791			2	1,789
当初予算	1,791			2	1,789
決 算 額	1,501				1,501
R４計画	1,791			2	1,789
当初予算	20,234			2	20,232
決 算 額					
R５計画	1,791			2	1,789
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,791			2	1,789
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,791			2	1,789
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,955			10	8,945
当初予算	22,025			4	22,021
決 算 額	1,501				1,501

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 公有林管理整備事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,990	千円	目標値	1,791	1,791	1,791	1,791	1,791
						実績値	1,501				
					%	達成率	83.8				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 公有林管理整備事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,990	千円	目標値	1,791	20,234	6,000	6,000	6,000
						実績値	1,501				
					%	達成率	83.8				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内に多く存在する公有林の管理を適切に行って行くため、森林地図情報の更新を図ることや、公有林の下刈りを計画的に行い、森林の健全化を図ることは重要。 しかしながら、市が所有する公有林は多く、手つかずの公有林もあることから、台帳整備や現況把握が今後の課題。	市が所有する公有林の台帳整備や現況把握について、令和４年度から調査委託を行い公有林の適切な管理を行う。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
107002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	森林等整備事業	細事業	竹林再生事業	実施計画事業	竹林再生事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 58 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
竹林再生事業補助金	1,598

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 竹材・たけのこ生産地として持続的管理が見込める荒廃竹林の再生や竹チップ等の利活用を推進し、森林の保全と竹資源の有効活用を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 竹林生産　1.20ha たけのこ生産　0.20ha	R3	令和３年度については、県予算の豊肥地区への配分が無く、事業実施できなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,598	1,598			
当初予算	1,598	1,598			
決 算 額					
R４計画	1,600	1,600			
当初予算	1,377	1,377			
決 算 額					
R５計画	1,600	1,600			
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,600	1,600			
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,600	1,600			
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	7,998	7,998			
当初予算	2,975	2,975			
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 竹林再生事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	762	千円	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 竹林再生事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	762		目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	13 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度については、県予算の豊肥地区への配分が無く事業実施できなかったが、市内に事業実施を希望する事業者があり、事業の財源についても全額県費という有利な事業であるため、次年度以降も事業継続を行っていきたい。	事業の財源については全額県費という有利な事業であるため、希望する事業者があれば次年度以降も事業継続を行っていきたい。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
107004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	森林等整備事業	細事業	造林事業	実施計画事業	造林事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 58 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
造林事業補助金	23,697

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 植栽等　78.44ha、下刈124.18ha、獣害防止施設　16,720m、保育間伐6.00ha、間伐113.22ha	R3	再造林/41.39ｈａ、付帯施設/21,600m、下刈/200.97ha、保育間伐/2.22ha、間伐/53.52haに対して補助金交付を行い、森林の健全化を図るための施業が実施できた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	23,697	14,000			9,697
当初予算	23,697	14,000			9,697
決 算 額	17,302				17,302
R４計画	20,000				20,000
当初予算	21,773				21,773
決 算 額					
R５計画	20,000				20,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	20,000				20,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	20,000				20,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	103,697	14,000			89,697
当初予算	45,470	14,000			31,470
決 算 額	17,302				17,302

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 造林事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	32,880	千円	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
						実績値	17,302				
					%	達成率	86.5				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 造林事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	32,880	千円	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
						実績値	17,302				
					%	達成率	86.5				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内の森林整備に関し、森林経営計画の促進と造林事業補助金の交付は不可欠であり、今後も事業を推進していく。 整備を行う市内事業体については、増えていない状況であるが、市外の事業体が市内の森林整備を行う状況が増えいている状況。それに伴い、事業費も増加することから、補助率や財源についても検討していく必要性がある。	森林整備を行う面積が増えているため事業推進が必要であるが事業費も増加することから、補助率や財源について検討が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
107005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	森林等整備事業	細事業	森林等整備事業関係団体補助事業	実施計画事業	大野川漁業協同組合補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 55 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	①林業経営体を支援する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大野川漁業協同組合補助金	630

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 大野川漁業協同組合 630千円	R3	大野川漁業協同組合に対して、630千円の補助金交付を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	630				630
当初予算	630				630
決 算 額	630				630
R４計画	630				630
当初予算	630				630
決 算 額					
R５計画	630				630
当初予算					
決 算 額					
R６計画	630				630
当初予算					
決 算 額					
R７計画	630				630
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,150				3,150
当初予算	1,260				1,260
決 算 額	630				630

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	大野川漁業協同組合補助事業	大野川漁業協同組合補助金交付要綱	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	630	千円	目標値	630	630	630	630	630
							実績値	630				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	大野川漁業協同組合補助事業	大野川漁業協同組合補助金交付要綱	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	630	千円	目標値	630	630	630	630	630
							実績値	630				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
カワウの処理、工場の水利使用、稚鮎の放流に関して、補助金交付を行っている。内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。	内水面事業の推進において重要な事業であり、今後も継続を行っていく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
107005	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	森林等整備事業	細事業	森林等整備事業関係団体補助事業	実施計画事業	作業班雇用安定推進事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 55 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	①林業経営体を支援する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
作業班雇用安定推進事業補助金	206

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する助成	R3	大野郡森林組合、佐伯広域森林組合に対して、森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	206				206
当初予算	206				206
決 算 額	172				172
R４計画	206				206
当初予算	206				206
決 算 額					
R５計画	206				206
当初予算					
決 算 額					
R６計画	206				206
当初予算					
決 算 額					
R７計画	206				206
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,030				1,030
当初予算	412				412
決 算 額	172				172

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	作業班雇用安定推進事業補助事業	豊後大野市林業作業班員雇用安定推進事業補助金交付要綱	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	108	千円	目標値	206	206	206	206	206
							実績値	172				
						%	達成率	83.5				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	作業班雇用安定推進事業補助事業	豊後大野市林業作業班員雇用安定推進事業補助金交付要綱	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	108	千円	目標値	206	206	206	206	206
							実績値	172				
						%	達成率	83.5				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市在住で年間150日以上就労した森林組合作業班員（いわゆる１人親方）の林業退職共済の掛金に対する補助を行う事業である。森林組合においては、森林組合作業班員の確保に苦慮している状況であり、今後も支援していく。	森林組合作業班員の林業退職共済の掛金に対する補助を行い、森林組合作業班員の確保に支援をしていく。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
107005	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事 業	森林等整備事業	細事業	森林等整備事業関係団体補助事業	実施計画事業	林業再生県産材利用促進事業補助事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 55 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	①林業経営体を支援する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
林業再生県産材利用促進事業補助金	5,459

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ （株）九建クラフトの自走式破砕機購入補助	R3	事業実施していない
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,459	5,459			
当初予算	5,459	5,459			
決 算 額					
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	5,459	5,459			
当初予算	5,459	5,459			
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	2 点	6 点 ／25点	2 点	6 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
林業事業体の自走式破砕機購入に対する補助で、財源は全額国費の事業であったが、事業体の交付申請に対し事業体評価が低く、補助金の交付が行われなかったため、事業実施できなかった。 単年度の事業であるため、今後は継続を行わない。	廃止の方向

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	E.廃 止

（様式１）

事業番号	枝番
107008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	森林等整備事業	細事業	簡易作業路整備事業	実施計画事業	簡易作業路整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 56 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	①林業経営体を支援する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
簡易作業路整備事業補助金	2,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 市内要望延長：5,000m 補助率：500円/m 補助対象：一路線延長100m以上で幅員2.0m以上とする。 事業：5,000m×500円=2,500,000円	R3	幅員2.0m以上の15路線、5,000mの作業路開設に伴い、500円/mの補助金交付を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,500	2,500			
当初予算	2,500	2,500			
決 算 額	2,500				2,500
R４計画	2,500				2,500
当初予算					
決 算 額					
R５計画	2,500				2,500
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,500				2,500
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,500				2,500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,500	2,500			10,000
当初予算	2,500	2,500			
決 算 額	2,500				2,500

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 簡易作業路整備事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5,000	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
						実績値	2,500				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 簡易作業路整備事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5,000	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
						実績値	2,500				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
森林経営計画における国・県による作業道整備補助金、椎茸栽培に関する低コスト簡易作業路緊急整備事業補助金など、作業道整備に関する補助金は他の事業でもあり、また令和２年度には、森林経営管理制度における作業道開設補助金も新設したところである。簡易作業路整備事業補助金については、これらの補助金と重複する部分もあり、今後の事業実施については検討する。	作業道整備に関する補助金は他の事業でもあり、事業実施については検討を要する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
107009	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	森林等整備事業	細事業	森林整備計画活動推進事業	実施計画事業	森林整備計画活動推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 62 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
普通旅費	37
消耗品費	15

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 森林の保全及び価値の向上を図るための基盤整備事業を行う	R3	豊後大野市森林整備計画見直しに伴う事務費
	R4	
＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ■旅費 37千円 森林整備計画に関する研修 18,200円×2名＝36,400円 ■需用費（消耗品） 15千円 ・森林法制度関係図書代 ・事務用品代	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	52				52
当初予算	52				52
決 算 額	15				15
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	52				52
当初予算	52				52
決 算 額	15				15

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 森林整備計画活動推進事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	11	千円	目標値	52				
						実績値	15				
					%	達成率	28.9				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 森林整備計画活動推進事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	11	千円	目標値	52				
						実績値	15				
					%	達成率	28.9				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市森林整備計画見直しを行い、新たな計画を策定した。計画の見直しは５年に１度となっており、５年後に再度見直しを行う。	５年後に豊後大野市森林整備計画の見直しを行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	D.休 止

（様式１）

事業番号	枝番
107013	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事 業	森林等整備事業	細事業	全国育樹祭支援事業	実施計画事業	全国育樹祭支援事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 62 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	111

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画 26 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調理業務委託料	600
記念品作成委託料	543
費用弁償	280
普通旅費	94

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊かな国の森づくり大会」および「第４５回全国育樹祭」を支援する ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ■旅費 94千円 全国育樹祭視察（北海道札幌市） ■旅費（費用弁償） 280千円 ■使用料及び賃借料 5千円 ■委託料 1,142千円 記念品作製委託料 調理委託料	R3	令和４年度に行われる第４５回全国育樹祭のプレ大会として、第２１回豊かな国の森づくり大会が行われ、開催地として昼食の提供、記念品の配布を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,522			1,500	22
当初予算	1,522			1,500	22
決 算 額	1,193			1,100	93
R４計画	1,000				1,000
当初予算	150				150
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,522			1,500	1,022
当初予算	1,672			1,500	172
決 算 額	1,193			1,100	93

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 全国育樹祭支援事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値	1,522	1,000			
						実績値	1,193				
					%	達成率	78.4				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 全国育樹祭支援事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値	1,522	1,000			
						実績値	1,193				
					%	達成率	78.4				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和４年度に豊後大野市大野町にある大分県県民の森「平成森林公園」にて第４５回全国育樹祭が行われる予定であり、開催地として継続して協力する。	開催地として継続して協力する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
108001	1

（令和 3 年度計画）総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算）事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 62 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	112

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
低コスト簡易作業路緊急整備事業補助金	400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 椎茸原木搬出用の簡易作業路を開設することで、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規模の拡大に取り組む。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 市内要望延長　800m 補助率 (県単事業)400円/m+(市義務負担)100円/m=500円/m 補助対象 一路線延長100m以上で、対象面積0.1ha当たり、概ね100mまでとする。 事業費　800m×500円=400,000円	R3	２路線、800mに対し、500円/mの補助金交付を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	400	320			80
当初予算	400	320			80
決 算 額	400	320			80
R４計画	400	320			80
当初予算	300	240			60
決 算 額					
R５計画	400	320			80
当初予算					
決 算 額					
R６計画	400	320			80
当初予算					
決 算 額					
R７計画	400	320			80
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,000	1,600			400
当初予算	700	560			140
決 算 額	400	320			80

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	600	千円	目標値	400	400	400	400	400
							実績値	400				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	低コスト簡易作業路緊急整備事業補助事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	600	千円	目標値	400	400	400	400	400
							実績値	400				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
椎茸原木の搬出等の作業効率を上げるための簡易作業路整備に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	椎茸原木の搬出等の簡易作業路整備補助制度は乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続が必要。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
108001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 60 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	112

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
しいたけ増産体制整備総合対策事業補助金	6,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 椎茸生産施設等を整備することで、省力化・低コスト化を図り、椎茸の品質向上と生産規模の拡大に取り組む。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ハウス　２棟	R3	ハウス（２棟）、乾燥機（２台）、重機講習（２名）に対して補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,000	4,000			2,000
当初予算	6,000	4,000			2,000
決算額	5,516	3,737			1,779
R４計画	6,000	4,000			2,000
当初予算	9,061	6,061			3,000
決算額					
R５計画	6,000	4,000			2,000
当初予算					
決算額					
R６計画	6,000	4,000			2,000
当初予算					
決算額					
R７計画	6,000	4,000			2,000
当初予算					
決算額					
計画額	30,000	20,000			10,000
当初予算	15,061	10,061			5,000
決算額	5,516	3,737			1,779

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	636	千円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						実績値	5,516				
					%	達成率	91.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 しいたけ増産体制整備総合対策事業補助事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	636	千円	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
						実績値	5,516				
					%	達成率	91.9				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾しいたけ生産者の生産基盤強化を行う施設整備に対する補助金であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	乾しいたけ生産者の生産基盤強化の補助は重要な事業であり、今後も継続が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
108001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 60 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	112

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市森林整備計画
期間	H29 年度 ～ R8 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
乾しいたけ新規参入者支援事業補助金	3,675

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生産機械・施設等の整備に係る経費について助成することで、椎茸生産の担い手の確保・育成に取り組む。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 乾燥機 1台 林内作業車 1台 チェーンソー 3台 ほだ木造成 ７名	R3	乾燥機（１台）、作業車（１台）、チェーンソー（２台）、ぼだ木造成 1,500本×３名に対して補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,675	2,100			1,575
当初予算	3,675	2,100			1,575
決 算 額	2,212	1,323			889
R４計画	3,675	2,100			1,575
当初予算	1,200	600			600
決 算 額					
R５計画	3,675	2,100			1,575
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,675	2,100			1,575
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,675	2,100			1,575
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	18,375	10,500			7,875
当初予算	4,875	2,700			2,175
決 算 額	2,212	1,323			889

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,800	千円	目標値	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675
							実績値	2,212				
						%	達成率	60.2				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	乾しいたけ新規参入者支援事業補助事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,800	千円	目標値	3,675	3,675	3,675	3,675	3,675
							実績値	2,212				
						%	達成率	60.2				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾椎茸生産新規参入者の参入しやすい支援体制の整備を行う補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	乾椎茸生産新規参入者への補助制度は重要な事業であり、今後も継続が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
108001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産基盤整備事業	実施計画事業	ファーマーズスクール事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 61 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	112

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ファーマーズスクール事業補助金	3,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 椎茸生産に係る研修経費について助成することで、就業体制を整備し、椎茸生産の担い手の確保・育成に取り組む。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ しいたけ版ファーマーズスクール設置支援事業 独立就業給付金　３名 親元就業給付金　１名	R3	独立準備型２名、親元準備型１名に対して、補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,200	1,600			1,600
当初予算	3,200	1,600			1,600
決算額	2,300	1,150			1,150
R４計画	3,200	1,600			1,600
当初予算	2,300	1,150			1,150
決算額					
R５計画	3,200	1,600			1,600
当初予算					
決算額					
R６計画	3,200	1,600			1,600
当初予算					
決算額					
R７計画	3,200	1,600			1,600
当初予算					
決算額					
計画額	16,000	8,000			8,000
当初予算	5,500	2,750			2,750
決算額	2,300	1,150			1,150

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ファーマーズスクール事業補助事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,300	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
						実績値	2,300				
					%	達成率	71.9				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ファーマーズスクール事業補助事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,300	千円	目標値	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
						実績値	2,300				
					%	達成率	71.9				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新規椎茸生産者の担い手育成を行う補助事業であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、担い手育成のための重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	新規椎茸生産者の担い手育成を行う補助事業であり、継続していく必要性がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
108002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事 業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸種駒補助事業	実施計画事業	椎茸種駒補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 60 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	112

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
椎茸種駒補助金	6,528
通信運搬費	10

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 椎茸種駒の購入者に補助金を交付することで、椎茸の増産を図り、生産者の生活と経営の安定に資する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ (74,400駒－20,000駒) ×1円×120人 (直近3か年の平均の申請者数、10人以下切上げ)	R3	95名、5,239,900駒に対して補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,538				6,538
当初予算	6,538				6,538
決 算 額	5,250				5,250
R４計画	6,300				6,300
当初予算	5,884				5,884
決 算 額					
R５計画	6,000				6,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	5,700				5,700
当初予算					
決 算 額					
R７計画	5,400				5,400
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	29,938				29,938
当初予算	12,422				12,422
決 算 額	5,250				5,250

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 椎茸種駒補助事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5,255	千円	目標値	6,538	6,300	6,000	5,700	5,400
						実績値	5,250				
					%	達成率	80.3				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 椎茸種駒補助事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	5,255	千円	目標値	6,538	6,300	6,000	5,700	5,400
						実績値	5,250				
					%	達成率	80.3				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
乾しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため2万駒以上の植菌者に対する補助制度であり、日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であると考えており、今後も継続していく。	日本一の乾椎茸産地である本市において、重要な事業であり継続する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
108003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	椎茸生産支援対策事業	細事業	椎茸生産支援対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	椎茸振興会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 62 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	112

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
椎茸振興会補助金	700

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 椎茸生産関係団体の活動支援を通じて椎茸産業の振興を図り、生産農林家の所得の向上と経営の安定に資する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市椎茸振興会補助金　700千円	R3	豊後大野市椎茸振興会に対して700千円の補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	700				700
当初予算	700				700
決算額	700				700
R４計画	700				700
当初予算	700				700
決算額					
R５計画	700				700
当初予算					
決算額					
R６計画	700				700
当初予算					
決算額					
R７計画	700				700
当初予算					
決算額					
計画額	3,500				3,500
当初予算	1,400				1,400
決算額	700				700

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 椎茸振興会補助事業	豊後大野市椎茸振興会補助金交付要綱	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	700	千円	目標値	700	700	700	700	700
						実績値	700				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 椎茸振興会補助事業	豊後大野市椎茸振興会補助金交付要綱	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	700	千円	目標値	700	700	700	700	700
						実績値	700				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
日本一の乾椎茸産地である本市において、その生産を支える豊後大野市椎茸振興会の存在は重要と考えており、今後も支援していく。	豊後大野市椎茸振興会の活動は重要であり今後も支援していく。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
109002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事 業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣被害防止対策事業	実施計画事業	有害鳥獣被害防止対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 52 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	113

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	1 農業の振興
施策展開	⑧有害鳥獣対策を強化する
後期基本計画	24 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市鳥獣被害防止計画	期間 R2 年度 ～ R4 年度
豊後大野市森林整備計画	期間 H29 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
有害鳥獣被害防止対策事業補助金	11,000
燃料費	300
修繕料	50
通信運搬費	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 有害鳥獣による農林産物の被害防止を目的として設置するものに対し、購入経費を助成することで、本市における農林産物被害の軽減に資する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 電気柵・防護柵・ワイヤーメッシュに対する補助	R3	電気柵（120セット）、防護柵（1件）、防護ネット（10件）、ワイヤーメッシュ柵（51件）、ワイヤーメッシュ柵支柱（40件）に対して補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	11,444	3,659			7,785
当初予算	11,444	3,659			7,785
決 算 額	9,098	2,958			6,140
R４計画	11,444	3,659			7,785
当初予算	13,444	4,479		5,000	3,965
決 算 額					
R５計画	11,444	3,659			7,785
当初予算					
決 算 額					
R６計画	11,444	3,659			7,785
当初予算					
決 算 額					
R７計画	11,444	3,659			7,785
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	57,220	18,295			38,925
当初予算	24,888	8,138		5,000	11,750
決 算 額	9,098	2,958			6,140

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 有害鳥獣被害防止対策事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	8,993	千円	目標値	11,444	11,444	11,444	11,444	11,444
						実績値	9,098				
					%	達成率	79.5				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 有害鳥獣被害防止対策事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	8,993	千円	目標値	11,444	11,444	11,444	11,444	11,444
						実績値	9,098				
					%	達成率	79.5				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣害被害は継続して発生しており、有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続していく。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。	有害鳥獣の捕獲と被害防止は一体的に進めていくことが重要であり、今後も事業実施の継続が必要である。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
109003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣捕獲事業	実施計画事業	有害鳥獣捕獲事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 52 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	113

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑧有害鳥獣対策を強化する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ～ R4 年度
	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
有害鳥獣捕獲事業補助金	54,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ シカ 3,460頭 イノシシ 3,170頭 サル 44頭 小動物 754頭	R3	イノシシ 3,097頭、シカ3,586頭、サル23頭、小動物810頭の捕獲に対して補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	54,000	35,408			18,592
当初予算	54,000	35,408			18,592
決 算 額	54,047	38,885			15,162
R４計画	54,000	35,408			18,592
当初予算	54,000	35,180		15,000	3,820
決 算 額					
R５計画	54,000	35,408			18,592
当初予算					
決 算 額					
R６計画	54,000	35,408			18,592
当初予算					
決 算 額					
R７計画	54,000	35,408			18,592
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	270,000	177,040			92,960
当初予算	108,000	70,588		15,000	22,412
決 算 額	54,047	38,885			15,162

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	46,180	千円	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
						実績値	54,047				
					%	達成率	100.1				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 有害鳥獣捕獲事業補助事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	46,180	千円	目標値	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
						実績値	54,047				
					%	達成率	100.1				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内の農地において、シカ、イノシシ等の鳥獣害被害は継続して発生しており、有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要。そのため、今後も事業実施を継続していく。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。	有害鳥獣の捕獲と被害防止を一体的に進めていくことが重要であり、事業実施の継続は必要。 また、サルの群れによる被害が多く見られるようになり、今後の課題である。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
109004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	猟友会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 54 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	113

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑧有害鳥獣対策を強化する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ～ R4 年度
	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
猟友会補助金	2,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市猟友会補助金　2,500千円	R3	豊後大野市猟友会に対して、2,500千円の補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,500				2,500
当初予算	2,500				2,500
決算額	2,500				2,500
R４計画	2,500				2,500
当初予算	2,500				2,500
決算額					
R５計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
R６計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
R７計画	2,500				2,500
当初予算					
決算額					
計画額	12,500				12,500
当初予算	5,000				5,000
決算額	2,500				2,500

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,500	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
						実績値	2,500				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 猟友会補助事業	豊後大野市猟友会補助金交付要綱	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,500	千円	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
						実績値	2,500				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市における有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、市としても支援していくことが重要。継続して、事業実施を行う。	有害鳥獣捕獲事業に支援をいただく重要な組織であり、継続して事業実施を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
109004	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事業	有害鳥獣等被害対策事業	細事業	有害鳥獣等被害防止対策事業関係団体補助事業	実施計画事業	鳥獣被害対策協議会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 54 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	113

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	1 農業の振興
施策展開	⑧有害鳥獣対策を強化する
後期基本計画	24 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市鳥獣被害防止計画 期間 R2 年度 ～ R4 年度
	豊後大野市森林整備計画 期間 H29 年度 ～ R8 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
鳥獣被害対策協議会補助金	500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 有害鳥獣等の被害対策強化と電気柵等の設置指導を行い農林産物を被害から守る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 鳥獣被害対策協議会　500千円	R3	箱わな購入、初心者狩猟講習会、緩衝帯整備、サル用捕獲檻運用に係る通信費、防護柵設置用資材移動運搬費に対して830千円の補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	500				500
当初予算	500				500
決算額	830				830
R４計画	500				500
当初予算	830				830
決算額					
R５計画	500				500
当初予算					
決算額					
R６計画	500				500
当初予算					
決算額					
R７計画	500				500
当初予算					
決算額					
計画額	2,500				2,500
当初予算	1,330				1,330
決算額	830				830

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	鳥獣被害対策協議会補助事業	豊後大野市補助金等交付規則	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	500	千円	目標値	500	500	500	500	500
							実績値	830				
						%	達成率	166.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	鳥獣被害対策協議会補助事業	豊後大野市補助金等交付規則	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	500	千円	目標値	500	500	500	500	500
							実績値	830				
						%	達成率	166.0				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
有害鳥獣被害対策において、鳥獣被害対策協議会による防護柵設置や箱わな購入、初心者狩猟講習会助成、緩衝帯整備等は重要な事業であり、今後も継続を行う。	有害鳥獣被害対策において重要な事業であり、今後も継続を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
302001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事 業	森林経営管理事業	細事業	森林環境譲与税基金管理事業	実施計画事業	森林環境譲与税基金管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 68 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	114

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	③未整備森林を整備する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市森林整備計画
	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
森林環境譲与税基金積立金	47,949

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 森林環境譲与税（一般財源） 47,948千円 森林環境譲与税基金預金 1千円	R3	森林環境譲与税として48,073千円が譲与された。また、クヌギ林整備における売払い収入が99,884円あり、森林環境譲与税とあわせて基金積立を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	47,949			1	47,948
当初予算	47,949			1	47,948
決 算 額	48,173			100	48,073
R４計画	62,053			1	62,052
当初予算	62,054			2	62,052
決 算 額					
R５計画	62,053			1	62,052
当初予算					
決 算 額					
R６計画	76,155			1	76,154
当初予算					
決 算 額					
R７計画	76,155			1	76,154
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	324,365			5	324,360
当初予算	110,003			3	110,000
決 算 額	48,173			100	48,073

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	森林環境譲与税基金管理事業	森林環境譲与税	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	47,951	千円	目標値	47,949	62,053	62,053	76,155	76,155
							実績値	48,173				
						%	達成率	100.5				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	森林環境譲与税基金管理事業	森林環境譲与税	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	47,951	千円	目標値	47,949	62,053	62,053	76,155	76,155
							実績値	48,173				
						%	達成率	100.5				
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
森林環境譲与税として48,073千円が譲与された。今後も譲与額は増額される予定であり、適切に基金管理を行う。	譲与された森林環境譲与税は基金として適切に管理を行う。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
302002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	林業振興係

事 業	森林経営管理事業	細事業	森林経営管理事業	実施計画事業	森林経営管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 63 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	2
決算	114

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	③未整備森林を整備する
後期基本計画	26 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市森林整備計画	期間 H29 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
未整備森林調査業務委託料	13,120
森林経営管理業務委託料	13,100
森林作業道整備事業補助金	9,000
荒廃森林整備事業委託料	6,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 未整備森林の整備を促進し、健全な育成と、公益的機能の増進を図り、地域林業の振興を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ①未整備森林調査業務 ②森林経営管理事業 ③未整備森林管理用ＧＩＳ ④林道等改修事業 ⑤森林作業道整備事業 ⑥荒廃森林整備事業 ⑦再造林担い手確保支援事業 ⑧林業就業環境改善事業 ⑨林業作業員育成支援事業 ⑩おおいた材利用促進協議会負担金 ⑪地域産材利活用事業 ⑫製材業等労働環境改善対策事業 ⑬普及啓発 ⑭林業振興協議会運営費 ⑮事務員費 ⑯事務費	R3	森林環境譲与税の使途として示されている①森林整備、②人材育成・担い手支援、③木材利用の促進、④普及啓発、⑤実行体制整備に従い、事業実施を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	48,839	890		47,949	
当初予算	48,839	890		47,949	
決 算 額	33,510	1,304		32,206	
Ｒ４計画	62,053	890		61,163	
当初予算	70,803	915		69,888	
決 算 額					
Ｒ５計画	62,053	890		61,163	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	76,155	890		75,265	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	76,155	890		75,265	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	325,255	4,450		320,805	
当初予算	119,642	1,805		117,837	
決 算 額	33,510	1,304		32,206	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 森林経営管理事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	40,059	千円	目標値	48,839	62,053	62,053	76,155	76,155
						実績値	33,510				
					%	達成率	68.6				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 森林経営管理事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	40,059	千円	目標値	48,839	62,053	62,053	76,155	76,155
						実績値	33,510				
					%	達成率	68.6				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	3 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和４年度以降、森林環境譲与税譲与金が更に増額される見込みであり、未整備森林の整備を更に加速していく必要性がある。 林業振興協議会およびプロジェクトチーム、林業事業体の意見も取り入れながら、有効な方策を事業化していく。	令和４年度以降、森林環境譲与税譲与金が更に増額される見込みであり、未整備森林整備等を更に加速していく必要性がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
112001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	治山林道整備事業	細事業	林道維持管理事業	実施計画事業	林道維持管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 57 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	3
決算	115

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画 26 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
橋梁点検業務委託料	9,000
林道維持補修工事請負費	8,000
草刈等委託料	6,053
林道維持作業委託料	270

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 林道維持補修工事請負費 林道補修 橋梁点検業務委託料 トンネル1件・橋梁1件 草刈等委託料 除草作業委託等	R3	林道維持補修工事請負費 橋梁点検業務委託料 トンネル1件・橋梁1件・詳細設計1件 草刈等委託料
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	23,788	5,400			18,388
当初予算	23,788	5,400			18,388
決 算 額	22,103	5,320			16,783
R４計画	18,000				18,000
当初予算	22,659	5,400			17,259
決 算 額					
R５計画	18,000				18,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	18,000				18,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	18,000				18,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	95,788	5,400			90,388
当初予算	46,447	10,800			35,647
決 算 額	22,103	5,320			16,783

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 林道維持管理事業	総事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20,845	千円	目標値	23,788	18,000	18,000	18,000	18,000
						実績値	22,103				
					%	達成率	92.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 林道維持管理事業	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20,845	千円	目標値	23,788	18,000	18,000	18,000	18,000
						実績値	22,103				
					%	達成率	92.9				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
林道施設点検は必ず５年に一度は行うものなので、計画的に予算化して点検を行うものとする。	林道施設点検後の補修箇所について、計画的に予算化して実行する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
112003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	治山林道整備事業	細事業	管理林道整備事業	実施計画事業	管理林道整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 57 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	3
決算	115

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画 26 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間 年度 ～ 年度	
期間 年度 ～ 年度	

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
林道積算システム使用料	420
三宅山線開設推進協議会負担金	30

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 林道積算システム使用料 林道積算システム 1式	R3	林道積算システム使用料 林道積算システム 1式
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	450				450
当初予算	450				450
決 算 額	420				420
R４計画	420				420
当初予算	450				450
決 算 額					
R５計画	420				420
当初予算					
決 算 額					
R６計画	420				420
当初予算					
決 算 額					
R７計画	420				420
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,130				2,130
当初予算	900				900
決 算 額	420				420

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 林道積算システム使用料	総事業費	□ 総合戦略 □ 個別計画	450	千円	目標値	450	420	420	420	420
						実績値	420				
					%	達成率	93.3				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 林道積算システム使用料	総事業費	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	450	千円	目標値	450	420	420	420	420
						実績値	420				
					%	達成率	93.3				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。	事業継続するために林道積算システムを継続して契約することが必要になる。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-5 統合

（様式１）

事業番号	枝番
112004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	農林整備課	係名	基盤整備係

事 業	治山林道整備事業	細事業	治山事業	実施計画事業	治山事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 57 ）

会計	一般
款	6
項	4
目	3
決算	115

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	2 林業の振興
施策展開	②林業生産基盤を整備する
後期基本計画 26 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
治山工事請負費	8,000
治山事業測量設計委託料	500
原材料費	500
大分県治山林道協会負担金	242

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 低コストでの優良材生産を可能にするため、植栽・除伐・間伐・枝打ち・下刈りといった森林整備を効率的に実施できるように林道・作業道の整備を推進するなど、造林を支援します。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 治山工事請負費 犬飼町黒松地区 治山事業測量設計委託料 測量設計委託料 1式	R3	治山工事請負費 犬飼町西ノ平地区（黒松） 流末排水路整備 L=65.8m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	9,242				9,242
当初予算	9,242				9,242
決 算 額	3,672				3,672
R４計画	1,242				1,242
当初予算	6,063				6,063
決 算 額					
R５計画	1,242				1,242
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,242				1,242
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,242				1,242
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	14,210				14,210
当初予算	15,305				15,305
決 算 額	3,672				3,672

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 治山事業	総事業費	□ 総合戦略 □ 個別計画	570	千円	目標値	9,242	1,242	1,242	1,242	1,242
						実績値	3,672				
					%	達成率	39.7				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 治山事業	総事業費	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	570	千円	目標値	9,242	1,242	1,242	1,242	1,242
						実績値	3,672				
					%	達成率	39.7				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
県営治山事業を進める上で付帯工事が伴ってくるので県営事業と同時期に行う必要がある。	県営治山事業を進める上で付帯工事が伴ってくるので事業は継続する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
115001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事 業	消費生活相談事業	細事業	消費生活相談事業	実施計画事業	消費生活相談事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 248 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	116

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	7 交通安全・防犯対策の推進
施策展開	③消費者対策を充実する
後期基本計画 64 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消費生活相談業務委託料	1,467
消耗品費	300
専門相談員育成委託料	132
燃料費	118

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 消費者安全法第10条第２項の規定に基づき、豊後大野市消費生活センターを設置している。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 電話や来庁による相談受付を実施する。 また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受ける。	R3	電話や来庁による相談受付を実施した。 また、毎月弁護士に消費生活相談に関する指導を受けた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,240				2,240
当初予算	2,240				2,240
決 算 額	2,240				2,240
R４計画	2,131				2,131
当初予算	2,131				2,131
決 算 額					
R５計画	2,240				2,240
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,240				2,240
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,240				2,240
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,091				11,091
当初予算	4,371				4,371
決 算 額	2,240				2,240

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 相談件数	市消費生活センターで受けた相談件数	□ 総合戦略 □ 個別計画	61	件	目標値	80	80	80	80	80
						実績値	104				
					%	達成率	130.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 被害回復額	消費生活相談センターを介して相談者がクーリングオフ等で救済された金額	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	2,765	千円	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
						実績値	3,609				
					%	達成率	120.3				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	17 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定して消費生活相談業務をおこなっているため、継続した取り組みが必要である。	消費者安全法により市町村には消費生活センターを設置する努力義務があり、本市においては「豊後大野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定して消費生活相談業務を実施している。消費者を守るために事業の継続は必要である。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
114001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	商工会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 77 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	①経営基盤を強化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
商工会補助金	17,700

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 商工会が行う小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費について、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 補助金の交付により、経営指導員の取組を支援することで、小規模事業者の経営の改善及び商工業の振興を図る。 ・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・創業セミナーの開催	R3	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・コロナ関連の支援金、給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

財源内訳（単位：千円）

	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	17,700			4	17,696
当初予算	17,700			4	17,696
決算額	17,700			4	17,696
R４計画	17,400			4	17,396
当初予算	17,400			4	17,396
決算額					
R５計画	17,100			4	17,096
当初予算					
決算額					
R６計画	17,100			4	17,096
当初予算					
決算額					
R７計画	17,100			4	17,096
当初予算					
決算額					
計画額	86,400			20	86,380
当初予算	35,100			8	35,092
決算額	17,700			4	17,696

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 経営等に関する指導件数	市商工会窓口で相談を受けたり会員の店舗や事業所等を巡回して経営指導した件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,847	件	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
						実績値	4,231				
					%	達成率	108.5				
	2 創業相談	市商工会で創業相談や創業支援をした件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	45	件	目標値	40	40	40	40	40
						実績値	71				
					%	達成率	177.5				
D 成果指標	1 商工会員数	豊後大野市商工会の会員数（高齢化等で事業所数が減少する中、現在の会員規模を維持できるようにする）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	834	人	目標値	850	865	875	885	896
						実績値	849				
					%	達成率	99.9				
	2 事業所数	経済センサス（5年に1度の調査）で把握される事業所数 ※令和3年経済センサスが最新	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					1,537
						実績値	1,497				
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	16 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
通常の経営指導やコロナ禍における各種補助金・給付金等の申請支援あるいは融資相談等により、会員事業所の経営改善に貢献しており、担当の経営指導員が会員事業者を伴走型でサポートする体制が確立している。高齢化や人口の減少等で会員数の維持拡大は容易ではないが、今後も事業者に寄り添った経営指導あるいは創業支援・後継者支援等により、本市商工業の発展を図っていただきたい。	市内小規模事業者の経営維持や改善を図るための経営指導や各種補助金（持続化補助金、ものづくり補助金等）の支援や創業セミナーの開催等により市内商工業の振興が図られており事業の継続が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
114001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	中小企業振興資金融資関連事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 76 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	①経営基盤を強化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
中小企業振興資金預託金	30,000
融資制度資金保証料補助金	850

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市中小企業振興条例の規定に基づき、中小企業者等に対して必要な施策を講ずることにより、経営の改善及び経営基盤の強化の促進を図り、もって本市の商工業の発展に資することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市中小企業振興資金融資規則第6条で定める融資資金として１千万円ずつ3つの取扱金融機関に預託し、この預託金を原資とした豊後大野市中小企業振興資金を金融機関が市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、同規則第12条で定める補助金として交付する。なお、預託金は年度当初に支出し、年度末に市に返還される。	R3	指定金融機関（大分銀行、県信用組合、豊和銀行）に１千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料を、市が補助した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	30,850			30,000	850
当初予算	30,850			30,000	850
決算額	30,350			30,000	350
R４計画	30,850			30,000	850
当初予算	30,850			30,000	850
決算額					
R５計画	30,850			30,000	850
当初予算					
決算額					
R６計画	30,850			30,000	850
当初予算					
決算額					
R７計画	30,850			30,000	850
当初予算					
決算額					
計画額	154,250			150,000	4,250
当初予算	61,700			60,000	1,700
決算額	30,350			30,000	350

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 取扱金融機関の数	年度当初に預託金を支出した金融機関の数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	社	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 資金貸付件数	取扱金融機関が貸し付けた豊後大野市中小企業振興資金の件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		件	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくするための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業支援のために必要である。	豊後大野市中小企業振興条例に基づき、産業振興対策及び創業者支援として、市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくするための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業支援のために必要である。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
114001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	商業活性化支援事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 78 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	①経営基盤を強化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
商業活性化支援事業補助金	44,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内景気の回復に向けた消費喚起及び地域の商工業者の振興による地域経済の活性化のため、豊後大野市商工会が実施するプレミアム商品券事業に要する経費に対して補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○レインボーシティ商品券（プレミア率20%）の販売 ○飲食専用商品券（プレミアム率30%）の販売	R3	○レインボーシティ商品券（プレミア率20%）の販売 ○飲食専用商品券（プレミアム率30%）の販売
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	44,000	44,000			
当初予算	44,000	44,000			
決 算 額	42,254	42,250			4
R４計画	147,400	147,400			
当初予算	147,400	147,400			
決 算 額					
R５計画	11,000				11,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	11,000				11,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	11,000				11,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	224,400	191,400			33,000
当初予算	191,400	191,400			
決 算 額	42,254	42,250			4

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 商品券等プレミアム分の額	プレミアム付き商品券及び飲食店専用券のプレミアム分の金額の総額（令和5年度以降は感染症対応地方創生臨時交付金がないものとして目標値を設定）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	52,128	千円	目標値	39,000	129,000	10,000	10,000	10,000
						実績値	38,890				
					%	達成率	99.7				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 域内の消費喚起	市民等が購入したプレミアム付き商品券や飲食店専用券の経済効果（換金額）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	312,769	千円	目標値	219,000	609,000	60,000	60,000	60,000
						実績値	218,443				
					%	達成率	99.8				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	16 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍における商工業者支援策として商工業者からの要望に応じて実施し、一定の経済効果が出ている。今後も、コロナ禍や物価高騰に対応するために国県の交付金・補助金を最大限活用しながら、市内事業者の経営支援や市民の生活支援に役立てたい。 ※感染症対応地方創生臨時交付金や大分県消費喚起プレミアム商品券事業補助金がない場合は縮小を検討する。	特にコロナ禍においては域内の消費喚起や事業所の支援としては、プレミアム率を上乗せすること等でより成果が表れた事業となった。今後も域内の消費を喚起し市内事業所を支援するのために必要な事業である。なお、実施回数やプレミアム率については、情勢等を考慮する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4 縮小

（様式１）

事業番号	枝番
114001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 76 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	①経営基盤を強化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	8,942

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 小規模事業者の経営の安定と発展を図るため、株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の融資を受けた小規模事業者に対し、借り入れた融資にかかる償還利子の一部について、利子補給補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助する。	R3	当該利子補給は、コロナ禍前から実施しているものであるが、令和3年度は、コロナ禍に対応した様々な低利率融資があったため、小規模事業者経営改善資金の融資実績や当該利子補給の給付額が例年より伸びなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,942				8,942
当初予算	8,942				8,942
決 算 額	4,919				4,919
R４計画	6,168				6,168
当初予算	6,168				6,168
決 算 額					
R５計画	9,000				9,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	9,000				9,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	9,000				9,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	42,110				42,110
当初予算	15,110				15,110
決 算 額	4,919				4,919

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 新規借入件数	株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の市内事業者への新規融資件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	46	件	目標値	50	50	50	50	50
						実績値	29				
					%	達成率	58.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 新規借入額	株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の市内事業者への融資額	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	290,000	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
						実績値	125,400				
					%	達成率	41.8				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	3 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍に対応した各種融資が令和4年度も実施中であるが、それらの融資条件に合わない（コロナとは直接関係ない）融資が必要な事業者がいるほか、過去に融資を受けた事業者の利子補給も必要なため、引き続き実施する必要がある。	市内小規模事業者が、事業継続と経営の安定を図るために利用する融資（マル経資金）に対して、市が行う利子補給は事業者の支援として必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
114001	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事 業	商工業振興事業	細事業	商工業推進事業	実施計画事業	ものづくり生産性向上緊急促進事業補助	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 82 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	②商業・サービス業を活性化する
後期基本計画 30 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ものづくり生産性向上緊急促進事業費補助金	8,750

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用して設備投資等を行う中小企業、小規模事業者等の負担を軽減することを目的として、中小企業、小規模事業者等に対し、豊後大野市ものづくり生産性向上緊急促進事業補助金を予算の範囲内において交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を交付する。	R3	国が実施するものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を活用した設備投資等の事業が完了したものに本市補助金を7件交付した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,750	3,000			5,750
当初予算	8,750	3,000			5,750
決 算 額	8,265	3,000			5,265
R４計画	20,000	14,000			6,000
当初予算	20,000	14,000			6,000
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	28,750	17,000			11,750
当初予算	28,750	17,000			11,750
決 算 額	8,265	3,000			5,265

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	国のものづくり補助金採択件数	国の令和元年度補正予算及び令和2年度補正予算ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を申請し、採択された市内事業者のうち、令和4年度末までに事業完了見込みであるもの。	□ 総合戦略 □ 個別計画	5	件	目標値	10				
							実績値	15				
						%	達成率	150.0				
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	市補助金交付件数	国の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に事業採択され、事業実施後、国への実績報告書や国庫補助金額確定通知書等必要な書類を市に提出した事業者に対して、事業費の1/6（最大125万円）を給付する。	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	1	件	目標値	4	12			
							実績値	7				
						%	達成率	175.0				
	2	—		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であるため、令和4年度まで現行通り継続する。	感染症対応地方創生臨時交付金を充当した臨時的な補助事業であり令和4年度までの事業となる。なお、令和5年度以降も国が補助事業を継続する場合は、市の補助制度についても検討する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
114002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事 業	商工業振興事業	細事業	特産品販路拡大事業	実施計画事業	求評・商談会委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 81 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	②商業・サービス業を活性化する
後期基本計画 30 P	□ 過疎計画 ☑ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
求評・商談会等実施委託料	880

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 中小企業・小規模企業活性化基本条例第11条の地域資源の利活用による産業の発展及び創出という基本方針にのっとり、中小企業者等の特産品の販路を拡大するために、市商工会等にオンライン等による求評・商談会実施事業を委託する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○オンライン商談会の開催	R3	○オンライン商談会の開催 コロナ禍におけるギフト需要に特化した商談会にしたため成約数が伸びた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	880				880
当初予算	880				880
決 算 額	880				880
R４計画	1,870				1,870
当初予算	1,870				1,870
決 算 額					
R５計画	1,870				1,870
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,870				1,870
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,870				1,870
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,360				8,360
当初予算	2,750				2,750
決 算 額	880				880

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 商談会開催回数	オンライン等による商談会の開催	□ 総合戦略 □ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 成約件数	商談成約件数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	6	件	目標値	6	7	8	9	10
						実績値	24				
					%	達成率	400.0				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本市特産品製造事業者と市商工会の経営指導員が協議を重ねながら準備を進め、結果を出している。コロナ禍であるが、オンライン商談という新しいやり方で、効果的に実施できている。今後も本市の魅力発信のために継続していきたい。	ブランド認証商品等の販路拡大や本市のＰＲのために必要な事業で、新たにオンライン商談会という形式での実施により成果が上がってきているため、今後も本市の魅力発信のために継続する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
114002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	商工業振興事業	細事業	特産品販路拡大事業	実施計画事業	ブランド認証・特産品ＰＲ事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 81 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	②商業・サービス業を活性化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ＰＲイベント等実施委託料	3,000
県公式オンラインショップ販促事業委託料	2,500
消耗品費	1,000
普通旅費	890

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
市内で生産された、農林水産物等を活用した加工品等の商品を豊後大野市ブランドとして認証するなどして、広く情報発信することで、消費拡大、地域産業の振興、地域経済の活性化を図るとともに、豊後大野市の魅力を向上させる。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
○新規ブランド認証品の審査選定
○市外・県外のデパートやイベント会場等での本市産品のPR
○県公式オンラインショップ販促事業委託（本市産品への割引クーポン付与）
○ＰＲイベント等実施委託

年度	主な活動実績
R3	○ブランド認証審査会を開催し、新規ブランド認証品を5商品選定した。 ○京王百貨店で豊後大野市ブランド認証品フェアを開催したり、博多大丸百貨店と本市の魅力発信に関する協定書を締結するなどした。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	10,795				10,795
当初予算	10,795				10,795
決算額	9,162				9,162
Ｒ４計画	10,390				10,390
当初予算	10,390				10,390
決算額					
Ｒ５計画	10,000				10,000
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	10,000				10,000
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	10,000				10,000
当初予算					
決算額					
計画額	51,185				51,185
当初予算	21,185				21,185
決算額	9,162				9,162

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ブランド認証審査会数	豊後大野市ブランド認証制度の審査会開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 特産品フェア参加回数	市外・県外のデパートやイベント会場等における特産品フェア等（例：新宿高野フェア、日本野菜ソムリエコンベンション、大分都市広域圏イベント）で、本市が経費の一部を負担して特産品を出展した回数（数日間連続で行われるものも1回でカウントする）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	2	3	3	3
						実績値	2				
					%	達成率	200.0				
D 成果指標	1 ブランド認証品数	市内で生産された農林水産物等を活用した加工品等の商品を、豊後大野市ブランドとして認証した数	☐ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	9	品	目標値	15	20	30	40	50
						実績値	14				
					%	達成率	93.3				
	2 ブランド認証品販売実績額	豊後大野市ブランド認証商品の各年度内販売実績額の合計	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		千円	目標値	10,000	15,000	17,000	18,000	20,000
						実績値	14,000				
					%	達成率	140.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

令和2年度に創設した豊後大野市ブランド認証制度も2年度目となり、ロゴマークの作成や特設ホームページの開設、追加の認証商品の誕生など、様々な活動ができ、コロナ禍で特産品販売が難しい状況においても、県公式オンラインショップでの本市産品への割引付与や大分市の歩行者天国での農産物販売、県外の百貨店でのPR等により、市外の方へ本市の魅力を発信できた。今後も引き続きブランド認証や特産品のPRを進めていきたい。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ブランド認証制度創設から2年が経過し認証商品数も増えてきている。また、商品がメディア等に取り上げられたことでＰＲの機会が増えるなど効果が現れてきている。本市のＰＲや商品の販路拡大のために引き続きブランド認証品等の特産品のＰＲに努める必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
114003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事業	商工業振興事業	細事業	商業集積地管理事業	実施計画事業	商業集積地管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 82 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	117

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	②商業・サービス業を活性化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
交流とにぎわいの拠点施設管理委託料	1,410
光熱水費	624
修繕料	300
施設等使用料	252

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の特性をいかした魅力ある地域づくりを目指し、地域間交流の推進及びにぎわいの場を創出するとともに、利便性に優れた魅力ある商業地を形成する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 朝地町の交流とにぎわいの拠点施設（朝地サンサン通り）の維持管理を行う。	R3	朝地町の交流とにぎわいの拠点施設（朝地サンサン通り）の維持管理を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,809			1,691	1,118
当初予算	2,809			1,691	1,118
決 算 額	4,053			3,777	276
R４計画	5,607			1,640	3,967
当初予算	5,607			1,020	4,587
決 算 額					
R５計画	2,809			1,321	1,488
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,809			1,321	1,488
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,809			1,321	1,488
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	16,843			7,294	9,549
当初予算	8,416			2,711	5,705
決 算 額	4,053			3,777	276

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 貸付可能区画数	朝地町の「交流とにぎわいの拠点施設」の共同店舗区画数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	件	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	6				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 貸付実行区画数	朝地町の「交流とにぎわいの拠点施設」の共同店舗を貸し付けた区画数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	件	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	6				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例に基づいて、適切に施設管理し、貸付審査委員会も適宜開催できた。	豊後大野市交流とにぎわいの拠点施設条例に基づいて、適切な施設の維持管理が必要である。今後、施設の経年劣化による修繕等が発生し経費が増加することが予想される。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
14001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	経済振興係

事 業	企業誘致推進事業	細事業	企業誘致推進事業	実施計画事業	企業誘致推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 69 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	2
決算	118

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	3 工業の振興
施策展開	①企業誘致を推進する
後期基本計画 28 P	☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
指定立地企業助成金	13,411
情報関連企業誘致促進事業補助金	4,000
印刷製本費	776
普通旅費	300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域活力の向上や雇用の場の創出のために、企業誘致や立地企業の工場増設等を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業ガイドブックの作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 ○立地企業の本社訪問（隔年）	R3	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業ガイドブックの作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援 ○立地企業の本社訪問（隔年：R3年度実施）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	18,510			5	18,505
当初予算	18,510			5	18,505
決 算 額	13,902			5	13,897
R４計画	17,468			5	17,463
当初予算	5,061			5	5,056
決 算 額					
R５計画	5,061			5	5,056
当初予算					
決 算 額					
R６計画	5,061			5	5,056
当初予算					
決 算 額					
R７計画	5,061			5	5,056
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	51,161			25	51,136
当初予算	23,571			10	23,561
決 算 額	13,902			5	13,897

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 立地企業訪問回数	立地企業の工場等を訪問した回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	30	回	目標値	30	30	30	30	30
						実績値	35				
					%	達成率	116.7				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 立地企業数等	誘致企業の数及び企業立地促進条例第3条の指定を受けて事業所を新設又は増設した企業数（累積）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	社	目標値	7	7	8	9	10
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
立地企業については、助成金による設備投資支援や過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の減免さえあれば、工場の増設や設備投資、それに伴う従業員の増員等が見込めることがあるので、引き続き地場企業との情報交換を続けるとともに、大分県企業立地推進課等関係機関と連携を図りながら誘致を進める。	立地企業を訪問し、意見交換をするなどして情報の収集や市の情報提供に努めている。また、企業誘致を促進するための補助制度は引き続き継続する必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
116001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光振興事業	細事業	観光情報発信ＰＲ事業	実施計画事業	観光ポスター・パンフレット作成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 93 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	②観光情報発信を強化する
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市観光振興ビジョン
	期間 H30 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	707

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレット等を作成し、認知度の向上及び市内への誘客を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・観光パンフレットの増刷 ・観光マップの増刷 ・広域観光マップの増刷	R3	地域資源や観光情報を市内外へ広く発信するため、観光パンフレットを作成し市内外に配付設置した。 おでかけマップ 修正増刷 15,000部 新しい旅 修正増刷 10,000部 阿蘇くじゅう高千穂広域マップ印刷 1,625部 チューリップフェスタスタンプラリー台紙 5,000部
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	707				707
当初予算	707				707
決算額	890				890
R４計画	707				707
当初予算	631				631
決算額					
R５計画	707				707
当初予算					
決算額					
R６計画	707				707
当初予算					
決算額					
R７計画	707				707
当初予算					
決算額					
計画額	3,535				3,535
当初予算	1,338				1,338
決算額	890				890

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 パンフレット設置箇所	市内外の観光案内所、観光施設等でのパンフレット設置箇所	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	箇所	目標値	25	30	35	38	40
						実績値	25				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 観光入込客数	観光入込客数（道の駅レジ客数2倍）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	130	万人	目標値	140	144	150	156	165
						実績値	128				
					%	達成率	91.4				
	2 観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんご大野里の旅公社のホームページアクセス件数（令和2年度改修）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
						実績値	70,056				
					%	達成率	140.1				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね１年で消費する部数を印刷している。毎年印刷を行うのは、観光に関する情報は変更が随時発生するため、毎年細かい修正を行いつつ印刷する必要がある。	紙の観光マップ等はデジタル社会の時代においても誘客のツールとして必要。印刷部数は、どれも概ね１年で消費する部数を印刷している。観光情報は、随時更新していかなければならないため、毎年修正して増刷をする必要があり継続して取組む必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
116001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光振興事業	細事業	観光情報発信ＰＲ事業	実施計画事業	広告事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 93 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	②観光情報発信を強化する
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市観光振興ビジョン
	期間 H30 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ホットタウンインフォメーション広告委託料	839
ｉナビおおいた業務委託料	374
広告料	300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するため、メディア等を活用した情報発信を行い、市民や市外からの来訪を促すとともに豊後大野市のＰＲやイメージアップを図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ラジオ番組内でのスポットＣＭ放送業務 ・インターネット、テレビ、ラジオを活用した情報発信業務 ・雑誌等での広告業務	R3	本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行った。 ・ホットタウンインフォメーション広告委託 放送回数147回 ・ｉナビおおいた業務委託 情報掲載計187回 ・九州王国プレミアム広告 記事掲載1回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	1,513				1,513
当初予算	1,513				1,513
決 算 額	1,322				1,322
Ｒ４計画	1,513				1,513
当初予算	1,513				1,513
決 算 額					
Ｒ５計画	1,513				1,513
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	1,513				1,513
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	1,513				1,513
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	7,565				7,565
当初予算	3,026				3,026
決 算 額	1,322				1,322

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	観光情報等の告知回数	メディアでの観光・イベント情報等の告知回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	20	回	目標値	25	30	35	35	35
							実績値	25				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	観光入込客数	観光入込客数（道の駅レジ客数2倍）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	130	万人	目標値	140	144	150	156	165
							実績値	128				
						%	達成率	91.4				
	2	観光ポータルサイトアクセス件数	ぶんご大野里の旅公社のホームページアクセス件数（令和2年度改修）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
							実績値	70,056				
						%	達成率	140.1				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
本市の各種イベントや観光情報を市内外へ広く発信するために、メディア等を活用した情報発信を行う必要がある。 ＦＭラジオ、ＡＭラジオ、インターネット、ＴＶ、雑誌と多様なメディアを活用した情報発信により、 市外からの来訪を促すとともに豊後大野市のＰＲが図れた。	本市への誘客を促進するためには、メディア、雑誌等を活用した情報発信が必要であり事業を継続する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
116002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光振興事業	細事業	観光振興事業	実施計画事業	情報発信支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 93 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	②観光情報発信を強化する
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	11,952
自動車等借上料	2,970
住宅賃貸借料	2,560
社会保険料（会計年度任用職員分）	2,193

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の観光振興ビジョンの実現を目指し、観光振興を推進していくために「地域おこし協力隊」を募集する。隊員各自の活動により地域を活性化に寄与し定住に繋げる。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・協力隊毎のメインミッション ・豊後大野市の地域資源を活用した体験型・交流型ツーリズム商品の造成 ・豊後大野市の魅力情報発信・観光振興業務	R3	令和３年度は１名の隊員が退任し、新たに３名の隊員が着任したことで隊員は４名となった。それぞれの協力隊が地域での活動を行い、協力隊フェイスブックで随時情報発信を行った。また、３月には令和3年度の活動報告会を開催した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	23,382				23,382
当初予算	23,460				23,460
決算額	14,761			7	14,754
R４計画	23,382				23,382
当初予算	19,481				19,481
決算額					
R５計画	23,382				23,382
当初予算					
決算額					
R６計画	23,382				23,382
当初予算					
決算額					
R７計画	23,382				23,382
当初予算					
決算額					
計画額	116,910				116,910
当初予算	42,941				42,941
決算額	14,761			7	14,754

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 活動報告会の実施	地域おこし協力隊員の活動について年１回自ら発信を行う	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 豊後大野市の情報発信	地域おこし協力隊の活動を通じ、フェイスブックやＳＮＳ等を活用し豊後大野市の情報発信を行う。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	29	回	目標値	14	24	24	24	24
						実績値	17				
					%	達成率	121.4				
D 成果指標	1 協力隊員の定住	３年間の地域おこし協力隊任期満了後、定住に繋げる	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	人	目標値	1		1	3	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域おこし協力隊の活動がスムーズに行われるよう、勤務体制等の改善が必要。 地域おこし協力隊の最終目的である定住については、令和２、３年度中に退任した隊員は全員市内に定住しており、全体の定住率は向上している。	地域力の維持や地域の活性化、そして、定住へとつながる地域おこし協力隊事業に引き続く取り組む必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

事業番号	枝番
116003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事 業	観光振興事業	細事業	ジオプロジェクト推進事業	実施計画事業	ジオプロジェクト推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 389 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政 策	Ⅵ 豊かな自然を未来に残し伝えるまち
施 策	1 ジオ・自然との共生
施策展開	②ジオパーク基本計画の推進
後期基本計画 98 P	☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
おおいた豊後大野ジオパーク基本計画	期間 H29 年度 ～ R2 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
ジオパーク推進協議会負担金	5,800
会計年度任用職員報酬	2,909
ジオサイト・サイン作成・設置業務委託料	2,050
おおいたジオパーク推進事業負担金	750

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ジオパーク基本計画に基づきジオサイトの保護・保全をするとともに、市民への啓発・普及活動により次世代に継承する。また、ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品を造成し地域経済の活性化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・普及啓発、教育活動の推進 ・ジオサイトの保護保全活動の推進 ・持続可能な発展のための活動の推進 ・ジオサイトサイン作成・設置事業 ・再認定審査	R3	ジオパーク訪問者を拠点施設やジオサイト等へ案内するための案内看板を市内14か所に設置した。また、ジオパーク専門員を雇用し、学術研究や防災など専門的活動を行った。また、ジオパーク活動を行うジオパーク推進協議会へ負担金を支出した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	12,807	1,000		6,000	5,807
当初予算	12,807	1,000		6,000	5,807
決 算 額	12,875	1,235		6,000	5,640
R４計画	9,707	500		5,000	4,207
当初予算	11,111	500		6,000	4,611
決 算 額					
R５計画	9,707	500		5,000	4,207
当初予算					
決 算 額					
R６計画	9,707	500		5,000	4,207
当初予算					
決 算 額					
R７計画	12,807	1,000		6,000	5,807
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	54,735	3,500		27,000	24,235
当初予算	23,918	1,500		12,000	10,418
決 算 額	12,875	1,235		6,000	5,640

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	ジオガイド養成講座の開催	ジオガイドを養成するため、ジオガイド養成講座を開催する（開催１回は約２０コマ）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	ジオパークフレンドショップ事業説明会等開催数	フレンドショップ事業説明会・既存事業所との会議数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	ジオガイド認定者数（累積）	初級ジオガイド認定者数	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	97	人	目標値	105	110	120	125	130
							実績値	97				
						%	達成率	92.4				
	2	ジオパークフレンドショップ事業所数（累積）	ジオパーク活動に賛同する事業所と推進協議会との協定数	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	35	事業所	目標値	37	39	41	43	45
							実績値	34				
						%	達成率	91.9				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	18 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度は４年に１度の再認定審査の年度であった。結果は、これまでの活動が認められ、再認定となり大きな成果となった。 活動指標については、担当職員の病休により一部事業の実施が困難となり、フレンドショップ関連事業が停滞した。 成果指標については、新型コロナウィルス感染症拡大の影響によりガイド養成講座が途中で中止となり、新規初級ガイド認定者は０人となった。 今後、市職員が減少していく中、求められる活動を維持していくことが困難になることが懸念される。	ジオパークの基本理念である、「教育」・「保護・保全」・「持続可能な発展」を基本として各種事業に取組んでいる。特に教育活動は高い評価を得ている。引き続き効果等を検証しながら各種事業に取組む必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
116004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光振興事業	細事業	エコパーク推進事業	実施計画事業	エコパーク推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 393 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政策	Ⅵ 豊かな自然を未来に残し伝えるまち
施策	1 ジオ・自然との共生
施策展開	③ユネスコエコパーク事業の推進
後期基本計画	98 P ☑ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
看板作成設置業務委託料	3,598
祖母傾大崩エコパーク推進協議会負担金	1,000
生物多様性活用事業委託料	550
ユネスコエコパーク関連イベント委託料	465

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ユネスコエコパークの普及啓発や自然に触れるイベントの実施や、ユネスコエコパークエリアであることを周知する看板などを設置することで、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の普及啓発や、豊後大野市の宝である「豊かな生物多様性に育まれた自然の恵み」を将来に引き継ぐことを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・ユネスコエコパーク周遊看板設置 ・川上渓谷散策道看板設置 ・ユネスコエコパーク体感ツアー業務委託 ・生物多様性調査報告書作成委託	R3	エコパークを広く周知するため、周遊看板を計６箇所設置した。また、ジオパークと共同でオンラインシポジウムを開催した。そのほか、エコパークの仕組みや生物多様性の保全に理解を深めるツアーを行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,442	2,031		4,000	411
当初予算	6,442	2,031		4,000	411
決算額	5,099	1,882		3,000	217
R４計画	7,000				7,000
当初予算	11,093	3,300		4,782	3,011
決算額					
R５計画	6,500				6,500
当初予算					
決算額					
R６計画	6,500				6,500
当初予算					
決算額					
R７計画	6,500				6,500
当初予算					
決算額					
計画額	32,942	2,031		4,000	26,911
当初予算	17,535	5,331		8,782	3,422
決算額	5,099	1,882		3,000	217

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	エコパーク普及啓発イベント、自然学習会の実施	エコパーク普及啓発イベント、自然学習会の実施回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	3	4	4	4	4
							実績値	3				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	エコパーク普及啓発活動、自然学習会参加者数	エコパーク普及啓発活動、自然学習会の参加者数（累積）	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	15	人	目標値	70	340	460	580	700
							実績値	57				
						%	達成率	81.4				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和２年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症拡大の影響により実施できなかった事業があったが、看板整備など環境の整備は着実に進んでいる。 令和４年度は生物多様性ぶんごおおの戦略の見直しを実施する。	「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会」で「保全」、「学術研究」、「持続可能な発展」に関する各種事業に取組んでいる。また、市独自でも看板の作成やイベントの開催等によりエコーパークの普及啓発活動を行っている。引き続き協議会の事業に取組むとともに、市独自の事業を継続していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
116005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光振興事業	細事業	体験連続型観光プログラム事業	実施計画事業	体験プログラム造成事業委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 94 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	②観光情報発信を強化する
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
体験プログラム造成事業委託料	4,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 観光客の滞在時間を延長するための体験プログラムを実施することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・体験プログラム事業の実施 ・関係団体と連携し、ホームページやＳＮＳ等で告知する	R3	事業の実施により市内宿泊施設及びその周辺の飲食店等域内での消費を促し、地域経済の活性化に繋がった。令和３年度も新型コロナウィルス感染症拡大の影響を大きく受け、要件を緩和するなど対策を行ったが、目標には届かなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	4,500			4,500	
当初予算	4,500			4,500	
決算額	2,432			2,000	432
Ｒ４計画	4,500			4,500	
当初予算	4,500			4,500	
決算額					
Ｒ５計画	4,500			4,500	
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	4,500			4,500	
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	4,500			4,500	
当初予算					
決算額					
計画額	22,500			22,500	
当初予算	9,000			9,000	
決算額	2,432			2,000	432

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業の告知回数	ホームページやＳＮＳ等で告知を行う	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	回	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	2				
					%	達成率	50.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 体験プログラム助成泊数	1人1泊1,000円助成×助成泊数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	730	泊	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
						実績値	1,298				
					%	達成率	32.5				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	14 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
長引くコロナの影響により、令和２，３年度の利用者は大きく落ち込んだが、令和４年度はＷＩＴＨコロナに入ったため、利用者数は回復すると見られる。先ずはコロナ以前の水準まで回復を目指したい。	市内での宿泊者を増やし市内経済の活性化を図るために必要な事業である。新型コロナの影響で2年、3年度は実績値が低かったが、スポーツツーリズムでの需要は大きく市内への誘客を促進するためにも今後も事業を継続する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
116005	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事 業	観光振興事業	細事業	体験連続型観光プログラム事業	実施計画事業	二次交通対策事業委託事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 94 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	119

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	5 観光の振興
施策展開	②観光情報発信を強化する
後期基本計画 32 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
二次交通対策事業委託料	500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内に点在する公共交通機関の行き届かない観光地に対し、民間の交通機関の利用を促進し各観光地間を結びつけることで、観光客の誘客、利便性の向上及び滞在時間の延長を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・里の旅タクシーを運行する ・ホームページやＳＮＳ等で告知する	R3	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、利用者は低迷している。おんせん県おおいたツーリズム商談会で紹介するなど利用促進を図ったが実績は伸び悩んだ。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	500				500
当初予算	500				500
決 算 額	155				155
Ｒ４計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ５計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	500				500
当初予算	500				500
決 算 額	155				155

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業の告知回数	ホームページやＳＮＳ等で告知を行う	□ 総合戦略 □ 個別計画	2	回	目標値	4				
						実績値	3				
					%	達成率	75.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 二次交通走行回数	令和元年度の運行回数（17回）を目安とする	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	12	回	目標値	20				
						実績値	9				
					%	達成率	45.0				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
実績の伸び悩みは新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けたことも事実だが、ＰＲ方法等に工夫が不足していることも要因と考えられる。事業の見直しが必要であり、今年度で終了した。	本市は、二次交通対策が脆弱であるため観光客を誘客するためにこの事業に取組んできたが、利用者が少ないことなどの理由から令和3年度で本事業は終了した。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

事業番号	枝番
117002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

（様式１）

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光振興補助事業	細事業	観光イベント補助金	実施計画事業	観光イベント補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 93 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	121

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	②観光情報発信を強化する
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
観光イベント補助金	32,194

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内各地で実施される観光イベント等に補助し、地域の振興を図る	R3	新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、各イベントは令和２年度に引き続き中止や縮小が相次いだ。それに伴い集客者数も落ち込んでいる。イベント補助金対象事業数 ２０ うち中止数１３
	R4	
＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 観光イベントに対し、補助金を交付する。対象団体数 20	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	32,194			32,100	94
当初予算	32,194			32,100	94
決 算 額	17,183			17,100	83
Ｒ４計画	31,715			31,715	
当初予算	34,172			33,000	1,172
決 算 額					
Ｒ５計画	31,077			31,077	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	31,077			31,077	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	31,077			31,077	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	157,140			157,046	94
当初予算	66,366			65,100	1,266
決 算 額	17,183			17,100	83

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 イベント補助金対象団体数	イベント補助金対象団体数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	19	団体	目標値	20	20	20	20	20
						実績値	20				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 観光イベント集客数	補助金対象イベント開催による集客数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7.7	万人	目標値	10	15	20	21	22
						実績値	5.3				
					%	達成率	53.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	18 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナの影響により中止などが続くと、各イベント主催者の士気にも影響し、そのまま中止や解散となる恐れがある。 時代はＷＩＴＨコロナに入ったと見られるため、令和４年度は開催できるよう働きかけも必要と考える。	コロナの影響で多くのイベントが2年間中止となった。また、実行委員会のメンバー不足等で令和4年度も開催できないイベントもある。 令和6年度からのイベント補助金の在り方については、令和5年度に方向性を決定するため、令和5年度までは現状での継続となる。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
117004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事 業	観光振興補助事業	細事業	里の旅公社補助事業	実施計画事業	里の旅公社補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 88 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	3
決算	121

政 策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施 策	5 観光の振興
施策展開	①里の旅の商品化
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
里の旅公社補助金	13,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の本質的価値である「豊かな水と恵の大地」の恩恵をうけた観光資源を活かした豊後大野市ならではの旅のスタイル「里の旅」を提供することを通じて、豊後大野市観光振興ビジョンの実現を目指す組織に対し補助を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ぶんご大野里の旅公社へ運営補助金を交付する。	R3	ぶんご大野里の旅公社に運営補助金を補助した。公社では補助金により各種事業を展開した。主な事業・情報発信事業・観光まちづくり活性化事業・観光案内所運営事業
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	13,800			13,800	
当初予算	13,800			13,800	
決 算 額	13,800			13,800	
Ｒ４計画	13,800			13,800	
当初予算	13,800			13,800	
決 算 額					
Ｒ５計画	13,800			13,800	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	13,800			13,800	
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	13,800			13,800	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	69,000			69,000	
当初予算	27,600			27,600	
決 算 額	13,800			13,800	

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	ホームページ・ＳＮＳでの情報発信回数	ホームページの更新回数及びＳＮＳでの情報発信回数（月10回）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	55	回	目標値	120	130	140	150	160
							実績値	142				
						%	達成率	118.3				
	2	ツーリズム推進会議実施回数	観光関連事業者が参加するツーリズム推進会議の実施回数（令和3年度設立）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	2	2	2	2	2
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	ホームページアクセス件数	ぶんご大野里の旅公社のホームページアクセス件数（セッション数）／令和2年度改修	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	9,515	件	目標値	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
							実績値	70,056				
						%	達成率	140.1				
	2	会員数	ぶんご大野里の旅公社の会員数（正会員・賛助会員）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	128	人	目標値	150	170	190	210	230
							実績値	151				
						%	達成率	100.7				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和２年度より指定管理業務が終了したことにより、情報発信や事業者連携に注力する体制となった。 情報発信については、発信数の増加により公社ホームページのアクセス数、ＳＮＳのフォロワー数は増加している。 事業者連携については、令和４年度にツーリズム推進会議の立ち上げが予定されており、連携の進展に期待したい。	里の旅公社は、観光振興ビジョンの実現に向け市と連携して取組む組織として、観光関連事業者との連携によるツーリズム商品の造成や情報発信等の業務を担っており、公社運営のための補助金は継続して交付する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
118001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光施設管理事業	細事業	観光施設一般管理事業	実施計画事業	観光施設一般管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 97 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	4
決算	122

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	③観光拠点の整備・活用
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市観光振興ビジョン 期間 H30 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
リバーパーク犬飼指定管理委託料	7,670
便楽の郷伝承体験館指定管理委託料	4,300
用作公園管理委託料	2,547
祖母山九合目山小屋管理委託料	2,900

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピート客の増加による交流人口の増加を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内の4観光施設の指定管理業務 用作公園外観光施設管理	R3	市内観光施設利用者の安全確保と利便性を図るため、施設の維持管理を適切に行った。管理対象施設数　観光施設・トイレ等　33 指定管理施設　4　計37
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	35,444	312		203	34,929
当初予算	35,444	312		203	34,929
決算額	37,802	318		230	37,254
R４計画	35,444	312		203	34,929
当初予算	34,344	317		241	33,786
決算額					
R５計画	35,444	312		203	34,929
当初予算					
決算額					
R６計画	35,444	312		203	34,929
当初予算					
決算額					
R７計画	35,444	312		203	34,929
当初予算					
決算額					
計画額	177,220	1,560		1,015	174,645
当初予算	69,788	629		444	68,715
決算額	37,802	318		230	37,254

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期的な施設の点検	各観光施設について定期的な点検等を年１回行う	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 4つの観光施設の利用者数	市内4つの指定管理を行っている観光施設の利用人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	15,476	人	目標値	15,500	15,500	16,000	16,100	16,200
						実績値	23,000				
					%	達成率	148.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	21 点 ／25点	4 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
施設の適正な維持管理により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。	市として、施設の適正な管理に努めなければならないが、一方で合併前に建設された観光トイレや公園等があり、各施設は経年劣化による不具合の発生が多く毎年修繕費が増加の傾向にある。管理する施設及び事業の継続について検討する必要がある。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1　拡充

（様式１）

事業番号	枝番
118002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	商工観光課	係名	観光振興係

事業	観光施設管理事業	細事業	観光施設整備事業	実施計画事業	観光施設整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 97 ）

会計	一般
款	7
項	1
目	4
決算	122

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	5 観光の振興
施策展開	③観光拠点の整備・活用
後期基本計画	32 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市観光振興ビジョン
	期間 H30 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
三ノ岳なかよしパーク解体工事請負費	35,000
用作公園整備工事請負費	25,000
機械器具費	2,680
リバーパーク犬飼施設改修工事請負費	2,183

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 休憩、観光情報の取得、飲食、お土産品の購入などを行うことが出来る観光拠点の整備、活用を行うことで、市の来訪者の満足度を高め、ひいてはリピート客の増加による交流人口の増加を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 三ノ岳なかよしパーク解体工事 用作公園整備工事請負費 備品購入（リバーパーク及びロッジきよかわのエアコン設置） リバーパーク犬飼施設改修工事	R3	観光施設の整備、修繕を行った。令和３年度主な事業・三ノ岳なかよしパーク解体工事・用作公園トイレ整備工事・指定管理施設備品購入・リバーパーク犬飼施設改修工事
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	76,429	9,619	33,200	4,000	29,610
当初予算	76,421	9,619	33,200	4,000	29,602
決算額	61,132	7,200	16,200	4,010	33,722
R４計画	19,249				19,249
当初予算	38,588	20,500		2,000	16,088
決算額					
R５計画	11,600				11,600
当初予算					
決算額					
R６計画	11,600				11,600
当初予算					
決算額					
R７計画	11,600				11,600
当初予算					
決算額					
計画額	130,478	9,619	33,200	4,000	83,659
当初予算	115,009	30,119	33,200	6,000	45,690
決算額	61,132	7,200	16,200	4,010	33,722

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 定期的な施設の点検	各観光施設について定期的な点検等を年１回行う	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 4つの観光施設の利用者数	市内4つの指定管理を行っている観光施設の利用人数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	15,476	人	目標値	15,500	15,500	16,000	16,100	16,200
						実績値	23,000				
					%	達成率	148.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	21 点 ／25点	4 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
観光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併前に設置されたものも多く、老朽化しているため、今後維持管理費の増加も見込まれる。各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備に当たっては優先順位を付けるなど年度毎の費用の平準化を図る。	観光施設の整備により、交流人口の増加や地域活性化が図られている。施設は市町村合併前に建設されたものも多く、経年劣化による老朽化が進んでいるため、今後維持管理費の増加も見込まれる。そのため、各施設の必要性を検討し、整理する必要がある。また、整備に当たっては優先順位を付けるなど年度毎の費用の平準化を図っていく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
120001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	建設課	係名	建設企画係

事 業	土木総務事業	細事業	土木行政事務事業	実施計画事業	法定外公共物橋梁点検委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 176 ）

会計	一般
款	8
項	1
目	1
決算	123

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画 52 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
法定外公共物橋梁点検委託料	10,879

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民が安心して暮らせるよう、また、市民の安全を守るため、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁を定期的に（5年に1回）点検する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・令和2年度：20橋梁中、13橋梁の点検を実施済 ・令和3年度：20橋梁中、6橋梁の点検を実施	R3	令和3年度に20橋梁中、中九州横断道路の大野～朝地間の跨道橋について、6橋梁の点検を実施予定だったが、地元及び国土交通省との事前協議に時間を要し、業務発注に遅延が生じたため繰越事業となった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	10,879				10,879
当初予算	10,879				10,879
決 算 額					
R４計画	8,374				8,374
当初予算	8,374				8,374
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画	14,608				14,608
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	33,861				33,861
当初予算	19,253				19,253
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 法定外公共物橋梁点検箇所	法定外公共物橋梁点検箇所数	□ 総合戦略 □ 個別計画	20	箇所	目標値	20	20	27	27	27
						実績値	6				
					%	達成率	30.0				
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実施件数	法定外公共物橋梁点検実施件数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	13	件	目標値	6	7	7		13
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	13 点 ／25点	4 点	14 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	1 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	1 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民が安心して暮らせるよう、また、市民の安全を守るため、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨道している法定外公共物の橋梁を定期的に（5年に1回）点検する必用がある。今後も引き続き、地元及び国土交通省との事前協議を計画的に行い、業務発注に遅延が生じないよう実施に向け努力する。	橋梁の点検については、市道では５年に１回の点検が義務づけられており、それに準じて点検を行っている。特に重要な道路である、中九州横断道路及び県道三重新殿バイパスを跨ぐ道路については通行の安全の確保のため、それに準じて点検を行う必要がある。 点検業務については通行規制の協議が必要であり、不測の日数を要する可能性があるため早期に着手を行う必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
120001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	建設企画係

事業	土木総務事業	細事業	土木行政事務事業	実施計画事業	法定外公共物ＧＩＳデータ作成業務委託事業	終了年度	R5

総合計画体系図No.→（ 177 ）

会計	一般
款	8
項	1
目	1
決算	123

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	R3 年度 ～ R5 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
法定外公共物ＧＩＳデータ作成業務委託料	8,369

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・令和2年度：位置図のデータ化 ・令和3年度：7地区中、3地区（緒方、朝地、犬飼）をＧＩＳ化してシステムに反映 ・令和4年度：7地区中、1地区（三重）をＧＩＳ化してシステムに反映 ・令和5年度：7地区中、3地区（清川、大野、千歳）をＧＩＳ化してシステムに反映	R3	令和3年度に豊後大野市7町の内、緒方町、朝地町、犬飼町の3町の法定外公共物をＧＩＳ化しシステムに反映した。しかし、朝地町のごく一部については、令和4年度に持ち越しとなった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	8,369				8,369
当初予算	8,369				8,369
決算額	8,369				8,369
Ｒ４計画	5,615				5,615
当初予算	5,615				5,615
決算額					
Ｒ５計画	7,459				7,459
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画					
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	21,443				21,443
当初予算	13,984				13,984
決算額	8,369				8,369

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 法定外公共物ＧＩＳデータ作成箇所	法定外公共物ＧＩＳデータ作成箇所数（令和5年度末）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	7	箇所	目標値	7	7	7		
						実績値	3				
					%	達成率	42.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実施地区数	法定外公共物ＧＩＳデータ作成実施地区数（令和5年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		地区	目標値	3	1	3		
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	18 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
国有財産から譲与された法定外公共物位置図が、現在、紙媒体であることから、データ化することで本庁及び支所の業務をスムーズに行い、窓口対応の効率化を図ることが必用である。今後も引き続き、計画的な実施に向け努力する。	国有財産から譲与された法定外公共物の図面について、現在、紙媒体で管理している。今後の管理、利用を考えるとデジタルデータ化は必須であり、これにより問い合わせ等の対応の効率化を図ることが可能となる。今後も引き続き、計画的に実施することが重要と考える。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
122001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	市道維持管理委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 176 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	2
決算	125

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
市道維持管理委託料	37,300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市道において、通行に支障をきたす倒木（支障木）処理、路面・路肩が危険な堆積土砂除去、降雨時の排水に必要な側溝清掃など多岐にわたり市道利用者の安全確保の観点から業務を遂行する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 自治委員の地元要望書により予算の範囲内で順次作業委託を行う。	R3	令和３年度、市道路面・側溝清掃、支障木伐採作業等作業委託60件、17，729千円、また、業者・シルバー人材センター・障害者施設による市道草刈り業務委託については105路線、19，569千円であります。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	37,300				37,300
当初予算	37,300				37,300
決 算 額	37,298				37,298
R４計画	37,300				37,300
当初予算	37,300				37,300
決 算 額					
R５計画	37,300				37,300
当初予算					
決 算 額					
R６計画	37,300				37,300
当初予算					
決 算 額					
R７計画	37,300				37,300
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	186,500				186,500
当初予算	74,600				74,600
決 算 額	37,298				37,298

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地元要望	作業委託業務	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	29,300	千円	目標値	37,300	37,300	37,300	37,300	37,300
						実績値	37,298				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市道維持管理委託	総事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	37,467	千円	目標値	37,300	37,300	37,300	37,300	37,300
						実績値	37,298				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	20 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市道作業委託業務については自治区の要望に基づき事業実施しておりますが、年々増加しており予算の範囲内で対応しております。 草刈り作業委託業務につきましては、過疎高齢化等により今後も自治区での対応が厳しくなっているのが現状であります。また、近年の人件費、燃料費等の高騰も影響しており委託料の増額も視野にいれ検討しなければならない。 過疎集落等に地域おこし協力隊など活用し、自助的な市道維持管理を考えていきたい。	市道の管理については市の責務であり、今後の適正な道路環境を保持するため、継続して事業を行うことが必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
122001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	市道維持補修工事事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 175 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	2
決算	125

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
市道維持補修工事請負費	300,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 道路機能の保全を目的に地元要望により計画的に改修、補修を行い、市道利用者の交通事故防止や日常生活の安全性、快適性を向上させる。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 令和元年度　事業実施　227件 令和２年度　事業実施　211件	R3	令和３年度維持補修工事事業実績は169件、279，662千円であり、1件市道拡幅工事が繰越事業であります。本事業におきましても自治区要望により予算の範囲内で事業実施しております。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	300,000		123,500	150,000	26,500
当初予算	300,000		123,500	150,000	26,500
決 算 額	279,662		95,000	91,000	93,662
R４計画	300,000		95,000	150,000	55,000
当初予算	300,000		109,200	150,000	40,800
決 算 額					
R５計画	300,000		95,000	150,000	55,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	300,000		95,000	150,000	55,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	300,000		95,000	150,000	55,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,500,000		503,500	750,000	246,500
当初予算	600,000		232,700	300,000	67,300
決 算 額	279,662		95,000	91,000	93,662

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地元要望	維持補修工事	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	300,000	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
						実績値	279,662				
					%	達成率	93.2				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市道維持補修工事	工事費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	278,827	千円	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
						実績値	279,662				
					%	達成率	93.2				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	18 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市道維持管理事業要望については、令和３年度分358件（作業委託業務分含む）と毎年増加している状況であります。 また、要望内容についても多岐にわたっており予算の範囲内で旧町村ごとに担当者を配置し速やかに業務を行っております。 事業内容については舗装補修、排水路改修・整備、路肩補修工事等を主に実施しております。 課題は自治区要望が多い為、年度内にすべての工事実施が不可能であり次年度以降へ持ち越す案件が数件あります。 今後は市道維持管理要望が多い自治区には優先順位を伺い適宜実施し、大きな事業費の要望については何カ年事業に分けて実施していきます。	市道の維持管理は、市の責務であり通行の安全を確保するため継続して事業を実施することが必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
122001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	道路愛護作業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 176 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	2
決算	125

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
道路愛護作業補助金	6,400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生活道的な市道は各地元自治区に補助金を交付し草刈り作業をお願いしている。また、バイパス的な役割の市道や高齢化等による作業困難な自治区においては市役所発注の業者草刈り作業委託により環境保全と安全性の確保を担っている。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 令和３年度（予定） 自治区による道路愛護作業　170地区	R3	令和３年度自治区による道路愛護作業については172地区、市道草刈り延長872239mであります。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,400				6,400
当初予算	6,400				6,400
決算額	6,352				6,352
R４計画	6,400				6,400
当初予算	6,300			6,300	
決算額					
R５計画	6,400				6,400
当初予算					
決算額					
R６計画	7,000				7,000
当初予算					
決算額					
R７計画	7,000				7,000
当初予算					
決算額					
計画額	33,200				33,200
当初予算	12,700			6,300	6,400
決算額	6,352				6,352

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 道路愛護作業	地元草刈り作業	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	169	地区	目標値	169	169	169	169	169
						実績値	169				
					%	達成率	100.0				
	2		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実施件数	作業実施地区数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	169	地区	目標値	169	169	169	169	169
						実績値	169				
					%	達成率	100.0				
	2		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	22 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自治区による道路愛護作業については過疎高齢化にもかかわらず市民のみなさまに市道維持管理につとめていただき貴重な業務であります。市としても市民の自助的な事業でありますので、支援していきたい。 課題は、市の財政面からも少子高齢化により人手不足の集落等に支援出来るような方法を模索していきたい。 現在は業者草刈り委託業務で対応している。	市道の維持管理は市民の皆さんに負うところが多く、道路愛護作業についても継続して事業を実施することが重要。少子高齢化の中、また燃料費の高騰等を考えると事業を継続するためには、補助金額の増額等の検討が必要と考える。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
122001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	市道維持管理事業	細事業	単独維持補修事業	実施計画事業	支障木伐採補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 175 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	2
決算	125

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
支障木伐採補助金	14,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 道路上に張り出し又は交通に支障を及ぼすおそれのある竹木等の管理処理を行い道路の交通安全対策を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 令和３年度　70地区（予定）	R3	令和３年度支障木伐採事業においては７５地区、13，849千円であり、多くの自治区に広く事業活用していただいております。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	14,000				14,000
当初予算	14,000				14,000
決算額	13,849				13,849
R４計画	14,000				14,000
当初予算	14,000			14,000	
決算額					
R５計画	14,000				14,000
当初予算					
決算額					
R６計画	14,000				14,000
当初予算					
決算額					
R７計画	14,000				14,000
当初予算					
決算額					
計画額	70,000				70,000
当初予算	28,000			14,000	14,000
決算額	13,849				13,849

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 道路愛護作業	支障木伐採作業	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	地区	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	75				
					%	達成率	107.1				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実施件数	作業完成件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	53	地区	目標値	70	70	70	70	70
						実績値	70	70	70	70	70
					%	達成率	100.0	100.0	100	100	100
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
支障木伐採事業は令和元年度より事業実施しておりますが年々多くの自治区にご利用いただいております。 山間部地域の住民の方等には20万円が補助金上限でありますので、事業進捗がままならないとおもわれますが、 今後もみなさんに幅広くご利用いただくよう予算の確保に努めてまいります。	市道の通行の安全の確保のため必要な事業であり、重点的に実施する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
122002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事 業	市道維持管理事業	細事業	道路ストック点検補修事業	実施計画事業	道路ストック点検補修事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 175 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	2
決算	125

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画 52 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計監理委託料	138,000
道路ストック総点検業務委託料	74,000
道路ストック補修工事請負費	28,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 橋梁・トンネル長寿命化修繕計画に基づき健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理により、更新費用の平準化と維持管理コストの低減を図り安心・安全を確保する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 定期点検（緒方町）150橋 調査設計業務 17橋 トンネル補修工事 1トンネル	R3	令和３年度事業実績は定期点検（緒方町）150橋、Ⅲ判定橋梁調査設計業務17橋、越生トンネル補修工事については繰越し事業で現在施工中であります。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	240,000	137,984	54,700		47,316
当初予算	240,000	137,984	54,700		47,316
決 算 額	194,398	116,590	45,000		32,808
R４計画	235,000	135,520	53,580		45,900
当初予算	246,000	148,456	62,300		35,244
決 算 額					
R５計画	240,000	137,984	54,700		47,316
当初予算					
決 算 額					
R６計画	240,000	137,984	54,700		47,316
当初予算					
決 算 額					
R７計画	240,000	137,984	54,700		47,316
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,195,000	687,456	272,380		235,164
当初予算	486,000	286,440	117,000		82,560
決 算 額	194,398	116,590	45,000		32,808

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 橋梁長寿命化修繕計画	調査設計・補修工事	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	10	橋	目標値	17	15	12	8	8
						実績値	17				
					%	達成率	100.0				
	2 トンネル長寿命化修繕計画	調査設計・補修工事	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	トンネル	目標値	1	2	5	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 実績件数	業務実施数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	橋	目標値	17	15	12	8	8
						実績値	17				
					%	達成率	100.0				
	2 実績件数	業務実施数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	トンネル	目標値	1	2	5	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
橋梁・トンネルのメンテナンスについては５年に１度長寿命化修繕計画ならびに定期点検業務を実施しており、健全度、管理状況を踏まえ効率的かつ合理的な維持管理を図り、補修費用の平準化とコストの低減を図っております。 課題としては橋梁・トンネルともに安全性の観点より、速やかに補修等を行う必要がある物件が山積しております。 また、事業費も高額であり補助事業を活用しながら補修工事を行い安全性の確保を図ってまいります。 今後、再任用職員の方など活用し橋長、高さが小さな橋梁については自主点検など行えるようにコスト縮減を考えていきたい。	道路の重要な構造物である橋梁、ﾄﾝﾈﾙについては、5年に1度の定期点検が義務づけられており、継続して事業を実施していく必要がある。また、点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定しており、それに基づき計画的に修繕事業に着手する必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道牛首線道路改良事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市過疎地域自立促進計画
	期間 H21 年度 ～ R3 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
道路橋梁新設改良工事請負費	300,000
調査設計監理委託料	1,000
立木伐採委託料	2,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 道路改良工事L=393m 舗装新設工事L=640m 法面保護工事A=4202㎡	R3	舗装新設工事L=360m 法面保護工事A=2974㎡
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	303,000	156,800	134,500	9,952	1,748
当初予算	303,000	156,800	134,500	9,952	1,748
決 算 額	143,714	72,072	61,100	9,891	651
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	303,000	156,800	134,500	9,952	1,748
当初予算	303,000	156,800	134,500	9,952	1,748
決 算 額	143,714	72,072	61,100	9,891	651

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	114,837	千円	目標値	280,000				
						実績値	280,000				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和３年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	114,837	千円	目標値	280,000				
						実績値	280,000				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業最終年度であり年度内完了を目指していたが繰越工事が発生した。 令和4年7月末までに事業完了を目指す。	令和4年7月末までに事業完了し、供用開始する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
123001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道南部幹線道路改良事業	終了年度	R12

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
豊後大野市過疎地域自立促進計画	R3 年度 ～ R12 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計監理委託料	36,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 測量設計L=960m	R3	測量設計L=960m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	36,000	13,390	21,400		1,210
当初予算	36,000	13,390	21,400		1,210
決算額	28,770		15,900		12,870
R４計画	47,000	10,528	34,600		1,872
当初予算	34,200	7,616	25,200		1,384
決算額					
R５計画	102,000	22,848	75,100		4,052
当初予算					
決算額					
R６計画	102,000	22,848	75,100		4,052
当初予算					
決算額					
R７計画	160,000	35,840	117,900		6,260
当初予算					
決算額					
計画額	447,000	105,454	324,100		17,446
当初予算	70,200	21,006	46,600		2,594
決算額	28,770		15,900		12,870

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		千円	目標値	10,800	18,800	40,800	40,800	64,000
						実績値	23,911				
					%	達成率	221.4				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		千円	目標値	10,800	18,800	40,800	40,800	64,000
						実績値	23,911				
					%	達成率	221.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に事業進捗を図る必要がある。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道久原柳瀬・伏野新田線道路改良事業	終了年度	R8

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 H23 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
道路橋梁新設改良工事請負費	120,000
調査設計監理委託料	4,000
移転補償費	4,000
立木伐採委託料	2,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 道路改良・舗装工事L=240m	R3	道路改良・舗装工事L=240m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	131,200	50,400	76,700		4,100
当初予算	131,200	50,400	76,700		4,100
決算額	115,642	25,200	76,200		14,242
R４計画	60,000	13,440	44,200		2,360
当初予算	49,500	10,976	36,500		2,024
決算額					
R５計画	100,000	22,400	73,700		3,900
当初予算					
決算額					
R６計画	110,000	24,640	81,000		4,360
当初予算					
決算額					
R７計画	60,000	13,440	44,200		2,360
当初予算					
決算額					
計画額	461,200	124,320	319,800		17,080
当初予算	180,700	61,376	113,200		6,124
決算額	115,642	25,200	76,200		14,242

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度額）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	24,000	千円	目標値	25,860	24,000	40,000	44,000	24,000
						実績値	90,000				
					%	達成率	348.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	24,000	千円	目標値	25,860	24,000	40,000	44,000	24,000
						実績値	90,000				
					%	達成率	348.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に行う必要がある。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道中原河屋線道路改良事業	終了年度	R6

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 H24 年度 ～ R6 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
道路橋梁新設改良工事請負費	150,000
移転補償費	5,000
調査設計監理委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 道路改良工事L=235m 舗装新設工事L=235m	R3	道路改良工事L=235m 舗装新設工事L=65m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	158,000	67,200	86,200		4,600
当初予算	158,000	67,200	86,200		4,600
決 算 額	130,600	25,219	88,000		17,381
R４計画	80,000	17,920	58,900		3,180
当初予算	84,500	18,816	62,300		3,384
決 算 額					
R５計画	80,000	17,920	58,900		3,180
当初予算					
決 算 額					
R６計画	80,000	17,920	58,900		3,180
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	398,000	120,960	262,900		14,140
当初予算	242,500	86,016	148,500		7,984
決 算 額	130,600	25,219	88,000		17,381

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	85,073	千円	目標値	32,400	32,000	32,000	32,000	
						実績値	130,000				
					%	達成率	401.2				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和６年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	85,073	千円	目標値	32,400	32,000	32,000	32,000	
						実績値	130,000				
					%	達成率	401.2				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に実施する必要がある。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道米山馬背畑線道路改良事業	終了年度	R8

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
豊後大野市過疎地域自立促進計画	R2 年度 ～ R8 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
移転補償費	45,000
調査設計監理委託料	17,000
土地等購入費	10,000
立木伐採委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 移転補償費　一式 橋梁設計　一式	R3	橋梁設計　一式
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

財源内訳（単位：千円）

	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	76,000	42,000	32,300		1,700
当初予算	76,000	42,000	32,300		1,700
決算額	21,264	2,184	18,100		980
R４計画	80,000	17,920	58,900		3,180
当初予算	61,600	13,664	45,500		2,436
決算額					
R５計画	80,000	17,920	58,900		3,180
当初予算					
決算額					
R６計画	50,000	11,200	36,800		2,000
当初予算					
決算額					
R７計画	50,000	11,200	36,800		2,000
当初予算					
決算額					
計画額	336,000	100,240	223,700		12,060
当初予算	137,600	55,664	77,800		4,136
決算額	21,264	2,184	18,100		980

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	12,000	千円	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
						実績値	75,000				
					%	達成率	329.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	12,000	千円	目標値	22,800	32,000	32,000	20,000	20,000
						実績値	75,000				
					%	達成率	329.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
計画どおり事業実施できた。 次年度以降も計画的に実施する必要がある。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事 業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道中学校宇土線道路改良事業	終了年度	R8

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R2 年度 ～ R8 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
土地等購入費	8,000
調査設計監理委託料	3,000
移転補償費	3,000
不動産鑑定登記委託料	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 起業地買収・補償　一式	R3	用地交渉を実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	15,000		14,200		800
当初予算	15,000		14,200		800
決 算 額					
R４計画	60,000	14,784	42,900		2,316
当初予算	8,000		7,600		400
決 算 額					
R５計画	60,000	14,784	42,900		2,316
当初予算					
決 算 額					
R６計画	60,000	14,784	42,900		2,316
当初予算					
決 算 額					
R７計画	30,000	7,392	21,400		1,208
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	225,000	51,744	164,300		8,956
当初予算	23,000		21,800		1,200
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	14,350	千円	目標値		24,000	24,000	24,000	12,000
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	14,350	千円	目標値		24,000	24,000	24,000	12,000
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由　0 評価対象　（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		2 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		2 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
一部の地権者に事業協力が得られなかった。 継続交渉を行う必要がある。	関係者の理解が得られるよう交渉する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4　縮小

（様式１）

事業番号	枝番
123001	7

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道木浦内線道路改良事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	期間
豊後大野市過疎地域自立促進計画	R3 年度 ～ R7 年度
	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計監理委託料	28,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 測量設計L=400m	R3	測量設計L=800m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	28,000	10,712	16,400		888
当初予算	28,000	10,712	16,400		888
決 算 額	3,424		3,200		224
R４計画	44,000	9,856	32,400		1,744
当初予算	33,200	7,392	24,500		1,308
決 算 額					
R５計画	91,000	20,384	67,000		3,616
当初予算					
決 算 額					
R６計画	121,000	27,104	89,200		4,696
当初予算					
決 算 額					
R７計画	85,000	19,040	62,600		3,360
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	369,000	87,096	267,600		14,304
当初予算	61,200	18,104	40,900		2,196
決 算 額	3,424		3,200		224

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		千円	目標値	8,400	17,600	36,400	48,400	34,000
						実績値	19,129				
					%	達成率	227.7				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対策事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		千円	目標値	8,400	17,600	36,400	48,400	34,000
						実績値	19,129				
					%	達成率	227.7				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
測量設計の年度内完了を目指していたが、地元協議等により繰越が生じた。 遅れを取り戻すため、次年度予定業務の同時進行調整を図る。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	9

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道肝煎中央・肝煎鬼塚線道路改良事業	終了年度	R8

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計監理委託料	20,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 路線測量L=370m 詳細設計L=370m	R3	路線測量L=370m
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	20,000		19,000		1,000
当初予算	20,000		19,000		1,000
決 算 額	8,764		8,300		464
R４計画	20,000		19,000		1,000
当初予算	41,000		38,900		2,100
決 算 額					
R５計画	60,000		57,000		3,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	60,000		57,000		3,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	60,000		57,000		3,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	220,000		209,000		11,000
当初予算	61,000		57,900		3,100
決 算 額	8,764		8,300		464

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 起債事業の確保	起債対象事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値	20,000	20,000	60,000	60,000	60,000
						実績値	20,000				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 起債事業の確保	起債対象事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値	20,000	20,000	60,000	60,000	60,000
						実績値	20,000				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	4 点	16 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
年度内完了を目指していたが、地元協議等により繰越が生じた。 遅れを取り戻すため、次年度予定業務の同時進行調整を図る。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
123001	10

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路建設係

事業	道路橋梁新設事業	細事業	道路橋梁新設事業	実施計画事業	市道漆生横尾線道路改良事業	終了年度	R10

総合計画体系図No.→（ 174 ）

会計	一般
款	8
項	2
目	3
決算	126

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	1 交通ネットワークの整備
施策展開	①市道を整備する
後期基本計画	52 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市過疎地域自立促進計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計監理委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ、快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 路線検討　一式	R3	路線検討　一式
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,000		2,800		200
当初予算	3,000		2,800		200
決算額	473				473
R４計画	55,500	12,432	40,900		2,168
当初予算					
決算額					
R５計画	37,500	8,400	27,600		1,500
当初予算					
決算額					
R６計画	121,000	27,104	89,200		4,696
当初予算					
決算額					
R７計画	138,000	30,912	101,700		5,388
当初予算					
決算額					
計画額	355,000	78,848	262,200		13,952
当初予算	3,000		2,800		200
決算額	473				473

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助事業の確保	補助対象事業費額（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値		22,200	15,000	48,400	55,200
						実績値					
					%	達成率					
	2		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業の確保	補助対象事業費額（令和７年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値		22,200	15,000	48,400	55,200
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	10 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
事業化に向けての路線検討実施を行った。 事業化に向けての根拠整理（必要性等）が必要。	小学校跡地の利用を考慮し事業化に向けての資料整理を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	D.休　止

（様式１）

事業番号	枝番
124002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事 業	河川総務事業	細事業	準用河川管理事業	実施計画事業	準用河川管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 259 ）

会計	一般
款	8
項	3
目	1
決算	127

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画 66 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
準用河川維持工事請負費	2,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市管理河川の堆積土砂除去や軽微な護岸補修工事等、災害防除と景観に配慮した事業である。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 準用河川茜川河川維持工事実施済み。	R3	令和３年度準用河川茜川河川維持工事はコンクリート工V=23.0m3で実施済み。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,000				2,000
当初予算	2,000				2,000
決 算 額	1,287				1,287
R４計画	2,000				2,000
当初予算	2,000				2,000
決 算 額					
R５計画	2,000				2,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,000				2,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,000				2,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	10,000				10,000
当初予算	4,000				4,000
決 算 額	1,287				1,287

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 維持補修要望	医事補修金額	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2,000	千円	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
						実績値	1,287				
					%	達成率	64.4				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 維持補修工事	実施箇所数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1,584	箇所	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2	2	2	2
					%	達成率	100.0	100.0	100	100	100
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
準用河川維持補修工事については唯一市が管理する河川でありますので、地元要望により堆積土砂撤去及び軽微な補修工事を行っております。今後も、少ない予算でありますが市民の要望に添うように活用していきます。 また、大規模な案件につきましては、災害復旧事業を活用し対応していきます。	準用河川市については、市が管理する河川であり今後も継続して事業をする必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
124003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	河川総務事業	細事業	普通河川管理事業	実施計画事業	普通河川管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 257 ）

会計	一般
款	8
項	3
目	1
決算	127

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	②災害危険区域を整備する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
普通河川流末排水整備工事請負費	12,400

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 県営治山事業の市管理分流末排水路整備事業である。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 排水構造物設置工事L=100m程度実施予定。	R3	令和３年度北平川流末排水路整備工事L=90.6mについては、大分県砂防事業の完成が遅れた為、繰越し事業において工事中であります。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	12,400				12,400
当初予算	12,400				12,400
決 算 額					
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,400				12,400
当初予算	12,400				12,400
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 普通河川管理	事業費	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	12,400	千円	目標値	12,400				
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 普通河川管理	事業費	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		千円	目標値	12,400				
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	7 点 ／25点	3 点	7 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	1 点		1 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	― 点		― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
普通河川管理事業については通年予算化しておりませんが、大分県や関係機関との関連工事等の際には、予算要求していきたい。	県営砂防事業で実施した箇所の流末の整備事業であり、今後、この事業を実施するか県と協議が必要と思われる。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
124004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	河川総務事業	細事業	河川総務事務費	実施計画事業	河川プール管理委託事業	終了年度	R7

総合計画体系図No.→（ 258 ）

会計	一般
款	8
項	3
目	1
決算	127

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	②災害危険区域を整備する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
河川プール管理委託料	748

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 白山川河川プールを安心安全に利用していただく為、堆積土砂除去及び軽微な補修工事を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 夏期利用時ならびに水しぶき大会前に堆積土砂除去を1～2回行う予定です。	R3	令和３年度については堆積土砂除去を行いました。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	748				748
当初予算	748				748
決 算 額	507				507
R４計画	748				748
当初予算	749				749
決 算 額					
R５計画	749				749
当初予算					
決 算 額					
R６計画	749				749
当初予算					
決 算 額					
R７計画	749				749
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,743				3,743
当初予算	1,497				1,497
決 算 額	507				507

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 維持補修工事	堆積土砂除去	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	748	千円	目標値	748	749	749	749	749
						実績値	507				
					%	達成率	67.8				
	2		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 実績	実施数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	748	千円	目標値	748	749	749	749	749
						実績値	507				
					%	達成率	67.8				
	2		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	21 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
河川プール管理委託料については、夏休み中の地元や帰省している子供たちの遊び場として活用していただく為の予算であり、お盆には白山川水しぶき大会も盛大に行われております。 課題については、河川プールがかなり老朽化しており、今後も安全確保の為には補修工事等が必要であると考えられます。 市としましては、地元白山地区の同意をいただき大分県との管理委託契約を解除させていただき予算の縮小・廃止を考えます。	白山河川ﾌﾟｰﾙについては県と管理委託契約により市が管理している。今後、施設の老朽化等を考慮し管理委託契約を解除する方向で検討する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-4 縮小

（様式１）

事業番号	枝番
277001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	道路保全係

事業	急傾斜地崩壊対策事業	細事業	市営急傾斜地崩壊対策事業	実施計画事業	市営急傾斜地崩壊対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 257 ）

会計	一般
款	8
項	3
目	1
決算	128

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	②災害危険区域を整備する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
市営急傾斜地崩壊対策事業工事請負費	88,000
調査設計監理委託料	16,500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命・財産を守るため、災害の未然防止を図るため事業実施する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 令和３年度　市営急傾斜地崩壊対策事業15件（発注予定）	R3	令和３年度市営急傾斜地崩壊対策事業実績については測量設計業務委託8件11，247千円、対策工事15件81，620千円であります。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	104,500	40,000	52,900	8,800	2,800
当初予算	104,500	40,000	52,900	8,800	2,800
決算額	92,867	40,750	41,400	8,167	2,550
R４計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
当初予算	104,500	40,000	52,800	8,800	2,900
決算額					
R５計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
当初予算					
決算額					
R６計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
当初予算					
決算額					
R７計画	104,500	33,750	47,000	21,175	2,575
当初予算					
決算額					
計画額	522,500	175,000	240,900	93,500	13,100
当初予算	209,000	80,000	105,700	17,600	5,700
決算額	92,867	40,750	41,400	8,167	2,550

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 事業要望	要望件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	72,750	千円	目標値	104,500	104,500			
						実績値	92,867				
					%	達成率	88.9				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 工事実績	市営急傾斜地崩壊対策事業完了件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	55,649	千円	目標値	104,500	104,500			
						実績値	92,867				
					%	達成率	88.9				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	17 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市営急傾斜地崩壊対策事業においては、市民のみなさまの生命・財産を守る為の必要不可欠な事業であり、大分県補助金を活用し毎年10件以上の事業実施をしております。しかし、事業申請される市民の方が多く、申請待ちの方がかなりおられます。今後も予算の確保に留意し申請待ち件数の削減を図るため速やかに事業実施してまいります。	市営急傾斜地崩壊対策事業については、予算措置として有利な緊急自然債の対象となっている期間に重点的に実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
127001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	都市計画総務事業	細事業	都市計画総務事業	実施計画事業	空き家等除却補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 261 ）

会計	一般
款	8
項	4
目	1
決算	129

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	地域住宅等整備計画（大分県地域）
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
空き家等対策補助金	20,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 倒壊のおそれのある老朽危険空家のうち、倒壊した際に周辺道路や近隣に被害が及ぶ等の条件を満たす空家の解体に対し補助を行うことで、安全・安心なまちづくりを行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 老朽危険空家除却費補助　３０件	R3	当初見込みの30件を大幅に上回る申請があったため、補正予算で増額したが、目標を上回る実績となった。国費については会計検査の指摘により対象外ｔるものがあったため減額となった
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	15,000	7,500			7,500
当初予算	15,000	7,500			7,500
決 算 額	18,523	5,828			12,695
R４計画	15,000	7,500			7,500
当初予算	20,000	10,000		10,000	
決 算 額					
R５計画	15,000	7,500			7,500
当初予算					
決 算 額					
R６計画	15,000	7,500			7,500
当初予算					
決 算 額					
R７計画	15,000	7,500			7,500
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	75,000	37,500			37,500
当初予算	35,000	17,500		10,000	7,500
決 算 額	18,523	5,828			12,695

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 老朽危険空家除却	老朽危険空家解体補助を行った件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	36	件	目標値	40	30	30	30	30
						実績値	45				
					%	達成率	112.5				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 老朽危険空家除却	老朽危険空家の除却を行った件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	36	件	目標値	40	30	30	30	30
						実績値	45				
					%	達成率	112.5				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	4 点	17 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
当初予算の３０件については早い段階で申請数が上回っていたため、９月補正により増額し４０件とした。 １１月の会計検査において、不良住宅のみが対象との指摘を受けたため、補助対象については住宅のみとしている。 ３年度については倉庫等を含め４5件の申請があったが、４年度からは倉庫等が対象とならないため、３０件の予定としている。 ただし、倉庫についての問い合わせが多く、対象としてほしいとの要望は多い。	引き続き、計画的に事業を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
127001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	都市計画総務事業	細事業	都市計画総務事業	実施計画事業	未来カフェ活動支援事業補助事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 83 ）

会計	一般
款	8
項	4
目	1
決算	129

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	③中心市街地を活性化する
後期基本計画 30 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
未来カフェ活動支援補助金	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民会議ぶんごおおの未来カフェの活動を支援し、中心市街地の活性化を目指す ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 駅前通りを中心とした空家調査 未来カフェテラスの運営 イベントの開催	R3	新型コロナウイルスの影響により十分な活動が出来なかったため、事業が行えなかった。会員と協議の結果、次年度以降も十分な活動が出来るか分からないため、一旦事業を休止することとした。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,200			1,200	
当初予算	1,200			1,200	
決 算 額	246			200	46
R４計画	1,200			1,200	
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,400			2,400	
当初予算	1,200			1,200	
決 算 額	246			200	46

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	9 点 ／25点	3 点	7 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		2 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナウイルスの影響により、会員のモチベーションが下がり、事業に対して前向きな姿勢が見られなくなっていた。 ３年度については会議もほとんど出来なかったため、会員と協議し、事業の休止を決めた。 未来カフェの名称は都市再生整備計画にも記載があるため残しておく必要があるため休止としたい。	休止としているが、今後の活動について必要があれば協議を行う。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	D.休 止

（様式１）

事業番号	枝番
127001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	都市計画総務事業	細事業	市計画総務事業	実施計画事業	赤嶺バイパス交差点概略検討	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 86 ）

会計	一般
款	8
項	4
目	1
決算	129

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	③中心市街地を活性化する
後期基本計画 30 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計委託料	2,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 赤嶺バイパスの商業ゾーン入口付近の混雑解消のため国道、県道を含め、進入路の検討を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 国道、県道及び市道からの進入路の検討。	R3	進入路に関して検討したが画期的なものはなかった。今回提案のあったもので検討を重ね、第３工区の開発が具体的となるまで休止する。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,000				2,000
当初予算	2,000				2,000
決 算 額	1,870				1,870
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,000				2,000
当初予算	2,000				2,000
決 算 額	1,870				1,870

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	赤嶺バイパス交差点概略県等	進入路検討業務一式	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		式	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	2 点	11 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今回検討したが、県道との接続は困難であるため、既存市道を一部拡幅する案が現実的となった。 しかしながら、進入路の根本的な解決にはなっていない。今後は第３工区の開発が具体的となった時点で再度検討することとし、現状でしばらく様子を見ることとしたい。	県道、国道の接続について検討を行ったが、困難であるため、第３工区の開発が具体的となった時点で再度検討する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	D.休 止

（様式１）

事業番号	枝番
127001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	都市計画総務事業	細事業	都市計画総務事業	実施計画事業	宅地耐震化推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 205 ）

会計	一般
款	8
項	4
目	1
決算	129

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	4 土地利用・景観の整備
施策展開	①都市計画区域を整備する
後期基本計画	58 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市宅地耐震化推進計画計画
	期間 R3 年度 ～ R4 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
大規模盛土調査委託料	1,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市内にある大規模盛土造成地の安全性の確認を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 大規模盛土造成地２箇所の第２次スクリーニング計画の策定	R3	大規模盛土の２次スクリーニング計画策定までは完了した。引き続き、２次スクリーニング調査を行うため、３月補正で事業費を確保し、事業に着手する。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,800	900			900
当初予算	1,800	900			900
決算額	1,430	715			715
R４計画					
当初予算					
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	1,800	900			900
当初予算	1,800	900			900
決算額	1,430	715			715

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	大規模盛土造成地第２次スクリーニング計画	市内に存在する大規模盛土造成地２箇所	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		箇所	目標値	2				
							実績値	2				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	4 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	2 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	—— 点		—— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内２箇所の大規模盛土についてスクリーニング計画を策定した。国より加速化対策補正の案内があったため、３月補正で予算を確保し、令和４年度にかけて２次スクリーニング調査を行い安全性を調査する。 今後は調査の結果、安全性に問題があった場合は対策工事の検討を行い、個人資産の保全となるため、工事費の個人負担についても検討する必要がある。 安全性に問題が無かった場合は経過観察表により経過観察を行う必要がある。	引き続き計画的に事業を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
303001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	都市再生整備事業	細事業	都市再生整備事業	実施計画事業	三重町駅周辺整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 86 ）

会計	一般
款	8
項	4
目	1
決算	130

政策	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち
施策	4 商業・サービス業の振興
施策展開	③中心市街地を活性化する
後期基本計画	30 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
都市再生整備計画	期間 H30 年度 ～ R4 年度
都市再生整備計画	期間 R5 年度 ～ R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計委託料	8,000
三重町駅周辺整備工事請負費	110,000
土地購入費	80,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の中心地として『交通結節点機能の形成』・『誰もが集える空間の形成』・『地域資源の活用』により集約型都市機能を高め、人が集い人とひとがつながり賑わいが創出できる都市環境づくりを目指す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 駅西広場整備工事 駅前広場用地測量 駅前広場用地買収	R3	ＪＲ用地の測量に時間がかかり、購入の協議まで出来なかった。工事については繰越事業の進捗により着手が遅れたため、繰越となった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	198,000	60,650	130,400		6,950
当初予算	198,000	60,650	130,400		6,950
決算額	18,834	8,239	7,800		2,795
R４計画	236,000	118,000	112,000		6,000
当初予算	38,390	17,000	16,100		5,290
決算額					
R５計画	180,000	90,000	85,500		4,500
当初予算					
決算額					
R６計画	150,000	75,000	71,200		3,800
当初予算					
決算額					
R７計画	100,000	50,000	47,500		2,500
当初予算					
決算額					
計画額	864,000	393,650	446,600		23,750
当初予算	236,390	77,650	146,500		12,240
決算額	18,834	8,239	7,800		2,795

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 イベントの開催	都市再生整備計画における成果指標 １２回/年	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	12			
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ＪＲ三重町駅の年間乗降客数	都市再生整備計画における成果指標 625,300人/年（R4）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		人	目標値		625,300			
						実績値					
					%	達成率					
	2 駅周辺商店街利用率	都市再生整備計画における成果指標 90%（R4）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値		90			
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	4 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	2 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
用地については測量の立会いが新型コロナウイルスの影響により遅れたため、用地の確定が遅れ、協議書の取り交わしまで出来なかった。４年度中の買収を行う。 工事については駅前上赤嶺線の完了後となったため、広場整備が繰越となったこちらも４年度に事業を完了させる	用地の買収を早期に行い、計画的に事業を推進する。

Ⅰ 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
128001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	公園管理事業	細事業	公園管理事業	実施計画事業	公園管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 197 ）

会計	一般
款	8
項	4
目	2
決算	131

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	3 住宅環境等の整備
施策展開	②公園・緑地を整備する
後期基本計画	56 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
都市公園監理委託料	1,574
公園施設改修工事請負費	1,000
修繕料	712
大原つつじ公園管理委託料	720

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民が安全で快適に使用できるよう、公園の維持管理を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 都市公園（大原総合公園、大原児童公園、大原つつじ公園、下赤嶺児童公園、西の宮公園、平吹児童公園） 上田原河川公園	R3	公園管理については例年どおりであるが、大原総合公園に大型複合遊具が整備された。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,084				5,084
当初予算	5,084				5,084
決算額	4,703			540	4,163
R４計画	5,084				5,084
当初予算	5,264				5,264
決算額					
R５計画	5,084				5,084
当初予算					
決算額					
R６計画	5,084				5,084
当初予算					
決算額					
R７計画	5,084				5,084
当初予算					
決算額					
計画額	25,420				25,420
当初予算	10,348				10,348
決算額	4,703			540	4,163

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	12 点 ／25点	4 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
大原総合公園の管理について、大型複合遊具の設置により、保守点検等の経費が増加するものと思われる。 また、管理についても社会教育課で行っている分と建設課で行っている分の線引きが曖昧であり、明確にする必要がある。 上田原河川公園については大分県の土地に設置されているが、協定書等は無いため、今後の管理について協議が必要。	大原総合公園の大型複合遊具も含め、適切な管理を行う。 また、管理区分が不明確なものは、関係課との協議を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
129001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	建設課	係名	建設企画係

事 業	住宅管理事業	細事業	住宅管理事業	実施計画事業	住宅管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 195 ）

会計	一般
款	8
項	5
目	1
決算	132

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	3 住宅環境等の整備
施策展開	①市営住宅を整備する
後期基本計画 56 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市公営住宅等長寿命化計画
	期間 H28 年度 ～ R13 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
市営住宅等管理委託料	69,169
市営住宅等維持補修工事請負費	27,673
修繕料	7,059
火災等保険料	2,373

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 経済的に不安定な生活を送る低所得の市民や、住まいを確保しにくい障がい者、高齢者、子育て世帯などに対して、安全で快適に生活できる住宅を提供する。 また、住宅長寿命化計画の見直しを行い、市営住宅の統廃合を含め、管理戸数の見直しと計画的な建替及び維持管理に努める。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・住宅管理事務の委託：管理代行、指定管理委託 ・入居管理：毎月随時、入居者募集を行い、書類審査・抽選等を実施 ・退去管理：退去届を受理し、退去検査等を実施 ・施設の維持管理・補修：市営住宅の家屋、駐車場及び児童遊園等公共施設の維持管理・補修等 ・住宅使用料・浄化槽使用料の徴収事務：滞納者に対して住宅使用料・浄化槽使用料の徴収事務	R3	大分県住宅供給公社（豊後大野市営住宅管理センター）へ住宅管理事務の委託し、入居管理（36件）、退去管理（64件）、施設の維持管理として修繕（293件）、工事（6件）を行った。 また、住宅長寿命化計画の見直しを行い、市営住宅の統廃合を含め、管理戸数の見直しと計画的な建替及び維持管理に努めた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	110,281			110,281	
当初予算	110,281			110,281	
決 算 額	94,681			75,322	19,359
R４計画	110,281			110,281	
当初予算	89,982			89,982	
決 算 額					
R５計画	110,281			110,281	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	110,281			110,281	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	110,281			110,281	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	551,405			551,405	
当初予算	200,263			200,263	
決 算 額	94,681			75,322	19,359

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市営住宅使用料収納実績	市営住宅使用料収納率（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	98.8				
					%	達成率	98.8				
	2 市営住宅使用料（滞納繰越分）収納実績	市営住宅使用料（滞納繰越分）収納率（年度末）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	11.5				
					%	達成率	11.5				
D 成果指標	1 収納実績	市営住宅使用料収納率（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	98.8	%	目標値	98.9	99	99.1	99.2	99.3
						実績値	98.8				
					%	達成率	99.9				
	2 収納実績	市営住宅使用料（滞納繰越分）収納率（年度末）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	12.2	%	目標値	12.3	12.4	12.5	12.6	12.7
						実績値	11.5				
					%	達成率	93.5				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今後も引き続き、大分県住宅供給公社（豊後大野市営住宅管理センター）と連携し、経済的に不安定な生活を送る低所得の市民や、住まいを確保しにくい障がい者、高齢者、子育て世帯などに対して、安全で快適に生活できる住宅を提供する。 また、住宅使用料等の徴収事務についても、引き続き、大分県住宅供給公社（豊後大野市営住宅管理センター）と連携し、特に高額及び悪質滞納者については、随時面談を行い分納誓約を交わすなど取り組むと共に、呼応しない場合は法的措置を行う。	大分県住宅供給公社と連携し適切な管理、運営を行う。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
131001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	木造住宅耐震診断・改修事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 262 ）

会計	一般
款	8
項	5
目	2
決算	133

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	大分県建築物安全ストック整備計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
木造住宅耐震診断・改修事業補助金	6,100

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民の安全・安心な暮らしを支えるため、昭和５６年以前に建てられた木造住宅等の耐震化を促進する ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 耐震診断補助　１０件 耐震改修補助　　５件	R3	耐震診断補助　４件 耐震改修補助　１件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,100	4,575			1,525
当初予算	6,100	4,575			1,525
決算額	1,390	1,042			348
R４計画	6,100	4,575			1,525
当初予算	6,100	4,575			1,525
決算額					
R５計画	6,100	4,575			1,525
当初予算					
決算額					
R６計画	6,100	4,575			1,525
当初予算					
決算額					
R７計画	6,100	4,575			1,525
当初予算					
決算額					
計画額	30,500	22,875			7,625
当初予算	12,200	9,150			3,050
決算額	1,390	1,042			348

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 耐震診断件数	大分県建築物安全ストック整備計画の事業計画数値 耐震診断　10件/年	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	6	件	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	4				
					%	達成率	40.0				
	2 耐震改修件数	大分県建築物安全ストック整備計画の事業計画数値 耐震改修　5件/年	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	件	目標値	5	5	5	5	5
						実績値	1				
					%	達成率	20.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	13 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	2 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
電話等にて問い合わせは多いが、なかなか事業に結びついていない。 市内で診断できる業者が限られているので、事業に対する取組をお願いしていく。	事業の周知を図りながら、事業を実施していく必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
131001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	危険ブロック塀等除却事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 262 ）

会計	一般
款	8
項	5
目	2
決算	133

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	安心・安全な暮らしを支える住まいづくり
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
危険ブロック塀等除却費補助金	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民の安全と避難路確保のため、災害時等に倒壊のおそれのあるブロック塀等の除却に対し補助を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 危険ブロック塀等除却費補助　１０件	R3	実績無し
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,000	750			250
当初予算	1,000	750			250
決算額					
R４計画	1,000	750			250
当初予算	1,000	750			250
決算額					
R５計画	1,000	750			250
当初予算					
決算額					
R６計画	1,000	750			250
当初予算					
決算額					
R７計画	1,000	750			250
当初予算					
決算額					
計画額	5,000	3,750			1,250
当初予算	2,000	1,500			500
決算額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 危険ブロック塀等除却件数	大分県建築物安全ストック整備計画に記載された事業計画　10件/年	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	件	目標値	10	10	10	10	10
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	12 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
今年度は実績なしとなった。 １月の地震以降数件の問い合わせがあったが、年度内の事業完了が見込めないため事業化できなかった。 問い合わせはあるが、要件を満たしていない場合であったり、解体後のフェンス等には補助がないため、事業化できないケースもあった。 事業の広報・啓発等を行い、事業化を促す。	事業についての周知を行い、実施する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
131001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	細事業	住宅・建築物安全ストック形成事業	実施計画事業	がけ地近接等危険住宅移転補助事業補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 257 ）

会計	一般
款	8
項	5
目	2
決算	133

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	②災害危険区域を整備する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	大分県住宅建築物安全ストック整備計画 期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
がけ地近接等危険住宅移転補助事業費補助金	975

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民の安全を確保するため、がけ地等に隣接した危険住宅の移転に対し補助を行い、安全な地域への居住を促す。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ がけ地近接等危険住宅解体補助　１件	R3	がけ地近接等危険住宅解体補助　１件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	975	731			244
当初予算	975	731			244
決算額	975	731			244
R４計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
R５計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
R６計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
R７計画	5,185	3,888			1,297
当初予算					
決算額					
計画額	21,715	16,283			5,432
当初予算	975	731			244
決算額	975	731			244

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	がけ地近接等危険住宅移転件数	大分県建築物安全ストック整備計画に記載された計画数値 がけ地近接等危険住宅の移転に対する補助１件	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値		1	1	1	1
							実績値					
						%	達成率					
	2	がけ地近接等危険住宅解体件数	大分県建築物安全ストック整備計画に記載された計画数値 がけ地近接等危険住宅の除却に対する補助１件	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画			目標値	1	1	1	1	1
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	11 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		2 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
建設から解体までを年度内に終えなければならないため事業期間が厳しい 前年度に設計まで終わっている状態でないと間に合わない。 ハザードエリアからの移転が条件であるため、なかなか事業に結びつかない。 相談があってからでは新築は間に合わないので、時間があれば翌年度の施工を進める。	昨年度事業実施が1件、移転の相談が1件であり、申し込み状況を見ながら、事業について検討が必要。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
130001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	建設課	係名	都市計画建築係

事業	市営住宅整備事業	細事業	市営住宅整備事業	実施計画事業	市営住宅整備事業	終了年度	R8

総合計画体系図No.→（ 195 ）

会計	一般
款	8
項	5
目	2
決算	134

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	3 住宅環境等の整備
施策展開	①市営住宅を整備する
後期基本計画 56 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
	市営住宅等長寿命化計画 期間 R3 年度 ～ R12 年度
	地域住宅等整備計画（大分県地域） 期間 R3 年度 ～ R7 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
調査設計委託料	18,600
市原住宅建替工事請負費	427,000
移転補償費	4,446
消耗品費	500

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 入居者が安全で安心できる住環境を確保するため、長寿命化計画をもとに市営住宅の建替え及び改修を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 市営市原住宅２期建替工事 ＲＣ５階建て２５戸（Ｒ２債務負担） 市営市原住宅２期駐車場整備 市営値原住宅３期建替実施設計	R3	市原住宅３期建替工事RC５階建て２５戸（完了） 市原住宅２期駐車場整備　４５台 市原住宅３期建替工事実施設計
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	451,275	225,000	225,000		1,275
当初予算	451,275	225,000	225,000		1,275
決算額	439,520	221,672			217,848
Ｒ４計画	205,800	102,500	102,000		1,300
当初予算	160,257	79,750	79,700		807
決算額					
Ｒ５計画	351,300	175,000	175,000		1,300
当初予算					
決算額					
Ｒ６計画	151,300	75,000	75,000		1,300
当初予算					
決算額					
Ｒ７計画	301,300	150,000	150,000		1,300
当初予算					
決算額					
計画額	1,460,975	727,500	727,000		6,475
当初予算	611,532	304,750	304,700		2,082
決算額	439,520	221,672			217,848

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4 点	11 点 ／25点	3 点	9 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	— 点		— 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和３年度で２期工事が完了し引き続き３期工事に着手する。 既存住宅の解体から造成までの期間が長くなってきており、全体計画に少しずつ遅れが生じている。 ３期の建設について４階建て２０戸から３階建て１５戸に変更したため、３期工事で全体計画を見直し、遅れを取り戻したい。	継続して計画的に事業を推進する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
132001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	消防本部総務課	係名	総務係

事業	常備消防運営事業	細事業	教育研修事業	実施計画事業	教育研修事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 263 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	1
決算	135

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	①消防・救急体制を強化する
後期基本計画	68 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
研修会等負担金	4,044
普通旅費	557
病院実習等委託料	370
手数料	38

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 救急・救助隊員、救急救命士等の資格をはじめ職員個々の知識や技術の向上を図るために、各種研修を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 消防学校入校 救急救命士研修 各種資格取得	R3	職員個々の知識や技術の向上を図るため、消防学校入校（20名）、救急救命士研修（１名）、各種資格取得（９名）、その他研修（２名）を実施。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,018				5,018
当初予算	5,018				5,018
決算額	4,683				4,683
R４計画	5,000				5,000
当初予算	6,899				6,899
決算額					
R５計画	5,000				5,000
当初予算					
決算額					
R６計画	5,000				5,000
当初予算					
決算額					
R７計画	5,000				5,000
当初予算					
決算額					
計画額	25,018				25,018
当初予算	11,917				11,917
決算額	4,683				4,683

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実働救命士	実働救命士数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	24	名	目標値	24	24	24	24	24
						実績値	22				
					%	達成率	91.7				
	2 救命士複数乗車	救命士複数乗車率	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	66	%	目標値	60	60	60	60	60
						実績値	61				
					%	達成率	101.7				
D 成果指標	1 市民の安全安心の確保		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
救急救命士等の資格をはじめ職員個々の知識や技術の向上を図ることが出来た。 今後も教育については、年齢構成等を考え計画的に実施したい。 職員が、より高度な教育を受けられるために消防大学校の入校も計画したい。	消防、救急の現場活動に対しては資格や知識、技術の向上は必要不可欠なものであり、今後も計画的に入校や資格取得、その他の研修を実施する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
132002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	消防本部総務課	係名	総務係

事 業	常備消防運営事業	細事業	車両・資機材整備事業	実施計画事業	車両・資機材整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 267 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	1
決算	135

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	②消防施設を整備する
後期基本計画 68 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
車輌購入	5,348
消耗品費	2,354
機械器具費	2,035
医薬材料費	1,808

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 火災等から市民を守り迅速な活動等を行うため、消防施設や消防車両、資機材等の計画的整備を進め、災害活動における機動力の確保と性能向上を図り、円滑な消防活動を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・作業車の購入 ・消防資機材（ホース等）の購入 ・救急資機材（救急包帯等）の購入 ・救助資機材（空気呼吸器等）の購入	R3	円滑な消防活動を行うため、作業車購入をはじめ、消防・救急・救助等の資機材購入を実施。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	11,545				11,545
当初予算	11,545				11,545
決 算 額	11,824	1,906			9,918
R４計画	9,797				9,797
当初予算	6,036				6,036
決 算 額					
R５計画	56,197		48,800		7,397
当初予算					
決 算 額					
R６計画	57,997	48,100			9,897
当初予算					
決 算 額					
R７計画	49,697		41,000		8,697
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	185,233	48,100	89,800		47,333
当初予算	17,581				17,581
決 算 額	11,824	1,906			9,918

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 車両整備	車両整備数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	台	目標値	1		1	2	2
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 車両整備数		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
更新計画に基づき、作業車の購入ができた。今後も計画的に消防車・救急車・各種資機材の更新をして行きたい。	更新計画に基づき購入を実施した。今後も計画的に車両、資機材の更新や、点検整備を定期的に実施し常に適切な消防力を維持する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
132003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	消防本部総務課	係名	総務係

事 業	常備消防運営事業	細事業	管理運営事業	実施計画事業	消防１１９番通報通訳業務委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 269 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	1
決算	135

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	③消防指令業務の共同運用を行う
後期基本計画 68 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消防１１９番通報通訳業務委託料	196

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 消防行政の円滑な推進を図るため、消防本部（署）の管理、通信施設及び資機材の維持管理、業務の運営などを行い、消防活動が迅速かつ的確に実施できるよう総合的な体制の強化を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 業務の運営	R3	消防行政の円滑な推進を図るため、資機材の購入・維持管理、各種施設点検整備、業務の運営を実施。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	196				196
当初予算	196				196
決 算 額	196				196
R４計画	196				196
当初予算	196				196
決 算 額					
R５計画	196				196
当初予算					
決 算 額					
R６計画	196				196
当初予算					
決 算 額					
R７計画	196				196
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	980				980
当初予算	392				392
決 算 額	196				196

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 消防１１９番通報業務	消防１１９番通訳数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市民の安全・安心の確保		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
消防行政の円滑な推進を図るため、消防本部（署）の管理、通信施設及び資機材の維持管理、 業務の運営を行うことが出来た。消防活動が迅速かつ的確に実施できるよう総合的な体制の強化を図ることが出来た。 今後、通信指令設備及び消防車両等の老朽化による故障が懸念されるが、点検整備を定期的に実施し、管理に 努めたい。	今後も消防本部（署）の管理、通信施設及び資機材の維持管理に努めます。通信指令設備については、令和6年4月から県下消防指令業務共同運用開始を目指して進行中です。消防車両等の老朽化による故障が懸念されるが、点検整備を定期的に実施します。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
132005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	消防本部総務課	係名	総務係

事業	常備消防運営事業	細事業	感染症予防対策事業	実施計画事業	感染症予防対策事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 267 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	1
決算	135

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	②消防施設を整備する
後期基本計画	68 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	5,466
機械器具費	200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として資機材を整備し、感染予防の徹底を図るもの。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 感染防止衣等の購入	R3	新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策として感染防止資機材（感染防止衣等）を購入。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,666	5,000			666
当初予算	5,666	5,000			666
決算額	5,274	4,800			474
R４計画	4,023	2,000			2,023
当初予算	4,023	2,000			2,023
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	9,689	7,000			2,689
当初予算	9,689	7,000			2,689
決算額	5,274	4,800			474

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 資機材整備	資機材整備率	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100				
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市民の安全・安心を守る		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナウイルス感染症に伴う感染防止対策としてリユース型感染防止衣を整備し、隊員の感染予防を図ることが出来た。	新型コロナウイルス感染症に伴い、リユース型感染防止衣を60着（上下）及び各署所に専用の洗濯機を4台設置し、感染予防の徹底を図った。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
132006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	消防本部総務課	係名	総務係

事 業	常備消防運営事業	細事業	南分署建設事業	実施計画事業	南分署建設事業	終了年度	R5

総合計画体系図No.→（ 266 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	1
決算	135

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	②消防施設を整備する
後期基本計画 68 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
南分署庁舎建設	
期間 R3 年度 ～ R4 年度	
期間 年度 ～ 年度	

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
地質調査業務委託料	2,600
南分署建設工事実施設計委託料	6,040

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 火災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動を推進する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 消防施設の充実 ・地質調査業務委託 ・建設工事実施設計委託	R3	南分署建設に伴う建設工事実施設計委託及び地質調査業務委託を実施。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,640		5,700		2,940
当初予算	8,640		5,700		2,940
決 算 額	7,593		5,100		2,493
R４計画	110,000		95,000		15,000
当初予算	76,400		72,000		4,400
決 算 額					
R５計画	128,800				128,800
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	247,440		100,700		146,740
当初予算	85,040		77,700		7,340
決 算 額	7,593		5,100		2,493

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 南分署庁舎整備	庁舎整備率	□ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100			
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 市民の安全・安心を守る		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
火災等から市民を守り迅速な災害活動を行うため消防庁舎の整備を進め、円滑な消防活動を推進する。 建設課と協議を行い、庁舎建設を円滑に進めたい。	建設工事実施設計委託及び地質調査業務委託を実施完了。建設課と協議をしながら令和5年6月の開庁に向けて取組む。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
133001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	消防本部総務課	係名	消防保安係

事 業	非常備消防運営事業	細事業	消防団活動事業	実施計画事業	消防団活動事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 264 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	2
決算	136

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	①消防・救急体制を強化する
後期基本計画	68 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消防補償等組合負担金	23,277
消防団員報酬	28,317
費用弁償	25,580
消防協会負担金	3,651

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 各種災害現場において機能が十分発揮できるよう、消防団活動能力の充実強化を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 〃団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 ・消防団員報酬 ・費用弁償（出動手当等） ・消防協会負担金 ・分団運営補助金 ・消防補償等組合負担金 〃	R3	〃団員定数1,080人、1団、4方面団、37分団で組織される消防団の運営管理、並びに各種災害に迅速な活動ができるよう団員の充実強化を図る。 実団員数 ９７３人 災害出動回数 １３回 訓練回数 ２回
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	94,112			4	94,108
当初予算	94,112			4	94,108
決 算 額	74,669			61	74,608
R４計画	94,112			4	94,108
当初予算	94,616			4	94,612
決 算 額					
R５計画	94,112			4	94,108
当初予算					
決 算 額					
R６計画	94,112			4	94,108
当初予算					
決 算 額					
R７計画	94,112			4	94,108
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	470,560			20	470,540
当初予算	188,728			8	188,720
決 算 額	74,669			61	74,608

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 消防団員数	消防団員数（年度当初）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	991	人	目標値	973				
						実績値	973				
					%	達成率	100.0				
	2 訓練回数	訓練回数（年間）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	4	回	目標値	6				
						実績値	2				
					%	達成率	33.3				
D 成果指標	1 消防団員新入団員数	新入団員数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	33	人	目標値	53				
						実績値	53				
					%	達成率	100.0				
	2 消防団員の確保	消防団員数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	991		目標値	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026
						実績値	973				
					%	達成率	94.8				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	15 点 ／25点	3 点	15 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成３０年に組織再編を行い団員定数も実団員数に近い定数を設定した。 しかしながら、年々退団者が増え実団員数は大きく下回った。 各種訓練を重ね、団員の技能等の向上を図り、地域防災力の強化を目指すとともに、団員の危機を減らすため安全装備品の充実を図る。 さらには、消防団の存在意義を地域住民に理解してもらい、新規入団者獲得のため粘り強く勧誘を行う。	消防団員の活動に対する安全装備品は、今後も充実強化を図る。消防団員数については、現在減少傾向にあるので、今後も加入促進に取組む。各種訓練については、現在新型コロナウイルス感染対策のため訓練を最小限にしたが、各種災害に対応できるよう団員の充実強化に取組む。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
134001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	消防本部総務課	係名	消防保安係

事 業	消防施設整備事業	細事業	消防水利・資機材等整備事業	実施計画事業	消防水利・資機材等整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 266 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	3
決算	137

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	9 消防・救急体制の充実
施策展開	②消防施設を整備する
後期基本計画 68 P	☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消防施設整備工事請負費	33,800
車輌購入費	23,672
消防団詰所整備工事請負費	20,000
消防団詰所整備工事設計委託料	3,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 消防施設、設備等の整備を行い、消防水利、資機材等の充実強化を図る ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ "①防火水槽有蓋化事業（3基） ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため有蓋化を図る ②耐震性貯水槽整備事業（3基） 消防水利の充足を図るため耐震性貯水槽を設置する ③消防団詰所解体事業（3棟） 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る ④消防団詰所整備事業（1棟） 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う ⑤石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う ⑥電源立地対策交付金事業（2台） 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う"	R3	"①防火水槽有蓋化事業（3基） ゴミ・汚泥等の流入や転落防止を図るため ②耐震性貯水槽整備事業（3基） 消防水利の充足を図るため ③消防団詰所解体事業（1棟） 消防団組織再編計画に沿って詰所の集約化を図る ④消防団詰所整備事業（1棟） 消防団詰所更新計画に基づき詰所の建替えを行う ⑤石油貯蔵施設立地対策等交付金事業(1台) 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う ⑥電源立地対策交付金事業（2台） 消防団車両更新計画に基づき車両の更新を行う"
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	87,929	25,935	39,900		22,094
当初予算	87,929	25,934	39,900		22,095
決 算 額	82,426	25,916	33,700		22,810
R４計画	84,266	9,978	49,000		25,288
当初予算	56,496	14,192	19,800		22,504
決 算 額					
R５計画	73,300	9,978	30,000		33,322
当初予算					
決 算 額					
R６計画	84,266	9,978	49,000		25,288
当初予算					
決 算 額					
R７計画	93,300	9,978	49,000		34,322
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	423,061	65,847	216,900		140,314
当初予算	144,425	40,126	59,700		44,599
決 算 額	82,426	25,916	33,700		22,810

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 施設整備数	施設整備数（防火水槽、消防団詰所等）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	13		目標値	10	13	12	13	13
						実績値	9				
					%	達成率	90.0				
	2 車両整備数	車両整備数（ポンプ車、小型ポンプ積載車）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	台	目標値	3	1	1	1	1
						実績値	3				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	13 点 ／25点	3 点	12 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	―― 点		―― 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
消防施設整備の充実。 補助金を有効に活用し、緊急性及び優先度の高いものから整備を行い、地域消防力の向上を図る。	市民の安心安全な暮らしを守るため、消防団車両更新計画に基づき、順次車両の更新を行う。消防水利については、緊急性及び、優先度の高いものから、整備を行う。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
135001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	防災アドバイザー活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 253 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	①防災体制を強化する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	期間 年度 ～ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	1,133
社会保険料（会計年度任用職員分）	216
期末手当（会計年度任用職員分）	136
費用弁償（会計年度任用職員分）	25

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 防災講話等を通じて防災啓発を行い、市民の防災意識を高め、防災訓練、防災活動を支援する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 自主防災組織等に講習や講話を行う。	R3	自主防災組織等に講習や講話を２８回行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,510				1,510
当初予算	1,510				1,510
決 算 額	1,315				1,315
R４計画	1,510				1,510
当初予算	1,462				1,462
決 算 額					
R５計画	1,510				1,510
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,510				1,510
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,510				1,510
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	7,550				7,550
当初予算	2,972				2,972
決 算 額	1,315				1,315

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 講習件数	団体へ出向いて行った講習等の件数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	14	件	目標値	15	16	17	18	19
						実績値	28				
					%	達成率	186.7				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 講習申請件数	団体からの講習等の申請件数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	14	件	目標値	15	16	17	18	19
						実績値	28				
					%	達成率	186.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
防災講話等を通じて市民の防災啓発、防災意識の高揚を図ることは非常に大切なことから継続する。	防災啓発のために、必要な事業と考えるため継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
135001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	自主防災組織活動事業費補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 250 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	①防災体制を強化する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
自主防災組織活動事業補助金	2,670

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 自主防災組織等が行う訓練啓発や、資機材の購入に対し補助金を交付し、自主防災組織等の充実を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 防災訓練・啓発事業補助金の交付。 防災資機材整備事業補助金の交付。	R3	８つの自主防災組織に補助金の交付を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,670	1,135		1,000	535
当初予算	2,670	1,135		1,000	535
決算額	685	348			337
R４計画	2,670	1,135		1,000	535
当初予算	2,670	1,006			1,664
決算額					
R５計画	2,670	1,135		1,000	535
当初予算					
決算額					
R６計画	2,670	1,135		1,000	535
当初予算					
決算額					
R７計画	2,670	1,135		1,000	535
当初予算					
決算額					
計画額	13,350	5,675		5,000	2,675
当初予算	5,340	2,141		1,000	2,199
決算額	685	348			337

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 補助金申請件数	交付申請数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	団体	目標値	7	8	9	10	11
						実績値	8				
					%	達成率	114.3				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 新規自主防災組織結成数	新規に結成した自主防災組織数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	団体	目標値	3	3	3	3	3
						実績値	13				
					%	達成率	433.3				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	23 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
地域防災力の向上はこれからも必須であり、直接的な自主防災組織への助成は必要であることから継続する。	自主防災組織等の支援は、防災意識の高揚を図るために必要であることから継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
135001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事 業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	防災行政無線整備事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 259 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画 66 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間 年度 ～ 年度	
期間 年度 ～ 年度	

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
防災行政無線整備工事請負費	1,062,778
防災行政無線整備工事施工管理委託料	12,456

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 防災行政無線のデジタル化整備 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 防災行政無線工事及び施工監理	R3	防災行政無線更新工事を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,075,234		1,021,400		53,834
当初予算	1,075,234		1,021,400		53,834
決 算 額	1,075,234		1,021,300		53,934
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,075,234		1,021,400		53,834
当初予算	1,075,234		1,021,400		53,834
決 算 額	1,075,234		1,021,300		53,934

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 工事の完了	工事の進捗状況	□ 総合戦略 □ 個別計画	21.5	%	目標値	100				
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 子局の設置	防災行政無線子局の設置割合	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	21.5	%	目標値	100				
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
完了。	完了

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
135001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	地震・津波等防災・減災対策推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 259 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画	66 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	1,182
機械器具費	660

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 避難所等の消耗品、備品の充実を計る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 消耗品の購入。 備品の購入。	R3	避難所で使用する備蓄品の購入を行った。 建替等で避難所表示板の無かった指定避難所表示板の作成を委託した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,842	722			1,120
当初予算	1,842	722			1,120
決算額	1,097	375			722
R４計画	1,842	722			1,120
当初予算	1,000	333			667
決算額					
R５計画	1,842	722			1,120
当初予算					
決算額					
R６計画	1,842	722			1,120
当初予算					
決算額					
R７計画	1,842	722			1,120
当初予算					
決算額					
計画額	9,210	3,610			5,600
当初予算	2,842	1,055			1,787
決算額	1,097	375			722

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 備蓄計画に沿った備蓄品の購入	計画購入量	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 各避難所への配備	計画配備量	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	21 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
対象事業費の１／２～１／３の県費補助があること、備蓄品の購入等は今後も継続しなければならないことから継続する。	備蓄計画に沿って、今後も備蓄品の購入は必要であることから継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
135001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事 業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	土砂災害ハザードマップ作成事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 255 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政 策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施 策	8 防災対策の充実
施策展開	②災害危険区域を整備する
後期基本計画 66 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
防災マップ等作成委託料	2,706

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 大分県の土砂災害警戒地域調査により対象地域となった箇所について最新のハザードマップに反映し、住民への周知を図る。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 37箇所新規警戒地域を反映したハザードマップの作成を委託する。	R3	２８区域の新規警戒地域を反映したハザードマップの作成を委託し完成したハザードマップを関係行政区に配布した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,706	1,353			1,353
当初予算	2,706	1,353			1,353
決 算 額	2,508	1,875		550	83
R４計画	2,706	1,353			1,353
当初予算	2,200	1,650			550
決 算 額					
R５計画	2,706	1,353			1,353
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,706	1,353			1,353
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,706	1,353			1,353
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	13,530	6,765			6,765
当初予算	4,906	3,003			1,903
決 算 額	2,508	1,875		550	83

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 ハザードマップへの反映	県の基礎調査箇所をハザードマップへ反映する	□ 総合戦略 □ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 ハザードマップの作成・HPへの掲載	紙ベースのハザードマップの作成 市HPハザードマップへの新規分追加	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	3 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民への災害情報の提供は必須であり、国県補助も充実していることから継続する。	ハザードマップ作成、住民周知については、自治体の責務と考えるため継続

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
135001	6

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	防災対策事業	実施計画事業	避難所エコノミークラス対策事業	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 259 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画 66 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	3,080

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 避難所や車中泊でのエコノミークラス症候群対策を行う。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 医療用弾性ストッキングを1400足購入する。	R3	医療用弾性ストッキングを１４００足購入し、指定避難所に配備した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,080	3,026			54
当初予算	3,080	3,026			54
決 算 額	1,032	343			689
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,080	3,026			54
当初予算	3,080	3,026			54
決 算 額	1,032	343			689

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 弾性ストッキングの購入	購入数	□ 総合戦略 □ 個別計画		足	目標値	1,400				
						実績値	1,400				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 各避難所への配備	全避難所等への配備	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		%	目標値	100				
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	21 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
完了。	完了

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
135004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	総務課	係名	防災対策係

事業	災害に強いまちづくり推進事業	細事業	避難所新型コロナウイルス対策推進事業	実施計画事業	避難所新型コロナウイルス対策推進事業	終了年度	R4

総合計画体系図No.→（ 259 ）

会計	一般
款	9
項	1
目	4
決算	138

政策	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち
施策	8 防災対策の充実
施策展開	③災害対策を強化する
後期基本計画 66 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
期間	年度 ～ 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	8,910

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民が安心して避難所に来れるよう、また避難所での生活に支障を来さないよう避難所におけるコロナ対策の充実を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 避難所におけるコロナ対策消耗品等の購入。	R3	避難所におけるコロナ対策消耗品等の購入を行った（ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝﾃｽﾄ、抗原検査ｷｯﾄ）。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,910	8,455			455
当初予算	8,910	8,455			455
決算額	8,057	3,143			4,914
R４計画	1,771	1,200			571
当初予算	1,771	1,200			571
決算額					
R５計画					
当初予算					
決算額					
R６計画					
当初予算					
決算額					
R７計画					
当初予算					
決算額					
計画額	10,681	9,655			1,026
当初予算	10,681	9,655			1,026
決算額	8,057	3,143			4,914

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 コロナ対策備蓄品の購入	必要備蓄品の購入	□ 総合戦略 □ 個別計画	100	%	目標値	100				
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 各避難所へのコロナ対策備蓄品の配備	必要備蓄品の配備	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	100	%	目標値	100				
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市民が安心して避難所に来れるよう、また避難所での生活に支障を来さないよう避難所におけるコロナ対策の充実を図ることは必要であるので継続する。	避難所における新型コロナウイルス感染症対策は必要であることから継続

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
138002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育振興事業	細事業	学校教育力向上対策事業	実施計画事業	学校教育力向上対策事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 322 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
印刷製本費	118
消耗品費	70
学級集団診断業務委託料	51
講師謝礼金	29

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 ・中学校１年生に実施する学校生活における満足度や意欲等を質問紙により測定する学級集団診断の実施 ・学校教育力向上のための研修	R3	学校教育基本方針として、「主体的な自己実現」のできる子どもの育成（ヘブタゴン教育）を推進しています。 その中で「確かな学力の育成」を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っています。 調査の結果をもとに研修を深め、教職員の力量向上を行うとともに、ポスター作成など、子どもたちや保護者に対して、広報活動を行っています。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	270			270	
当初予算	270			270	
決算額	208			208	
R４計画	270			270	
当初予算	2,318			342	1,976
決算額					
R５計画	270			270	
当初予算					
決算額					
R６計画	270			270	
当初予算					
決算額					
R７計画	270			270	
当初予算					
決算額					
計画額	1,350			1,350	
当初予算	2,588			612	1,976
決算額	208			208	

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 グランドポスターの作成	回数（年１回の作成）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 学級集団診断の実施	回数（中学１年生に対して年１回の実施）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 学力の分析の実施率	学校教育力向上の状況分析１８校の実施率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業については、実績から見て達成できた。 なお、指導主事による学校教育力向上のための事業であり、調査、研修、啓発等を行っており継続が必要。	豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指ことを目的として実施する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
138004	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業	実施計画事業	スクールソーシャルワーカー活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 333 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	7,705
社会保険料（会計年度任用職員分）	1,162
費用弁償	250
費用弁償（会計年度任用職員分）	183

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
（１）課題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけ
（２）関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
（３）学校内におけるチーム体制の構築、支援
（４）保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
（５）教職員等への研修活動
（６）人件費の支払い及び国庫補助請求の実施

年度	主な活動実績
R3	不登校や、虐待、いじめ等問題を抱える、児童生徒、保護者の相談や、それに対応する教員に対して、相談や、助言を行い必要に応じて、関係機関と連携を行った。 その他に、各学校にて研修会を実施し、教員の育成を実施した。 相談件数実績：2227件
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	9,300	4,534			4,766
当初予算	9,300	4,534			4,766
決算額	9,307	4,651			4,656
R４計画	9,300	4,534			4,766
当初予算	9,908	5,289			4,619
決算額					
R５計画	9,300	4,534			4,766
当初予算					
決算額					
R６計画	9,300	4,534			4,766
当初予算					
決算額					
R７計画	9,300	4,534			4,766
当初予算					
決算額					
計画額	46,500	22,670			23,830
当初予算	19,208	9,823			9,385
決算額	9,307	4,651			4,656

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 国庫補助を利用し、人材確保を行う	雇用人数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	人	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する事業については、実績から見て達成できた。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

いじめ、不登校、暴力行為など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。その状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと推察される。このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒がおかれた様々な環境へ働き掛け、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
138004	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育振興事業	細事業	教育振興事業	実施計画事業	小中一貫コーディネーター活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 321 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	2,274
社会保険料（会計年度任用職員分）	446
期末手当	282
費用弁償（会計年度任用職員分）	120

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。
・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため　小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。
・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。

＜令和３年度の取組内容(計画)＞

・市内小中学校の教職員、PTA、地域住民への説明会を通じて啓発活動を実施する。
・CS(学校運営協議会)を各学校年５回実施する。
・校舎建築、増改築、補修などの施設設備の充実に関する計画立案を進める。
・特色ある学校づくりの実践に取り組む。
・９年間を見通した教育目標、教育課程の作成、年間計画などの作成を促進する。
・小中一貫教育に関わる教職員の業務内容の点検整理を行い働き方改革の一貫に資する。

年度	主な活動実績
R3	教職員はもとより保護者会での説明を２地区、自治会説明を３地区で実施し、一貫校への取り組みを啓発した。 その他にも郷土学に対しての学習資料の作成や、校舎建築に対するアンケート、９年間を見通した教育目標の作成等を実施しコーディネーターとして活動した。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,122				3,122
当初予算	3,122				3,122
決算額	2,872				2,872
R４計画	3,122				3,122
当初予算	3,120				3,120
決算額					
R５計画	3,122				3,122
当初予算					
決算額					
R６計画	3,122				3,122
当初予算					
決算額					
R７計画	3,122				3,122
当初予算					
決算額					
計画額	15,610				15,610
当初予算	6,242				6,242
決算額	2,872				2,872

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 小中一貫コーディネーターの配置	会計年度任用職員の人数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		人	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 小中一貫校の設置	小中一貫校の数(累積 ハード及びソフト含む)※基本計画	☑ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☑ 個別計画		校	目標値	1	2	4	5	7
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。
・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。
・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。
については、実績から見て達成できた。なお、小中一貫校の設置を進めていくために必要であり、基本計画の令和７年の７校設置に向けて継続していく。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
138005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事 業	教育振興事業	細事業	外国語指導助手事業	実施計画事業	外国語指導助手事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 327 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬（外国語指導助手）	14,780
社会保険料（会計年度任用職員分）	2,160
外国青年招致事業負担金	1,158
費用弁償	960

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市では、外国語を「英語」とし、小学校に導入しているなか、語学指導等を行う外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム）により、通常４名の外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し英語を楽しく学ぶことができる環境を整えている。 なお、財源は交付税措置があり、英語教育の推進を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ コロナの影響により新規ＡＬＴの来日が遅れており、４月当初は２名体制で行っているが、９月に２名来日予定となっている。 １人あたり３～５校を回り、小中学校の英語授業の補助を行う。	R3	４月当初は２名体制で行っているが、コロナの影響により新規ＡＬＴの来日が遅れていたが９月に２名来日となり、4名の体制となった。市内小中学校の英語授業の補助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	19,065				19,065
当初予算	19,065				19,065
決 算 額	14,438				14,438
Ｒ４計画	19,065				19,065
当初予算	19,002				19,002
決 算 額					
Ｒ５計画	19,065				19,065
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	19,065				19,065
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	19,065				19,065
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	95,325				95,325
当初予算	38,067				38,067
決 算 額	14,438				14,438

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	市内小中学校における英語授業補助のための人材確保	４名の配置	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	人	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	4				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	「英語の授業が楽しい」と答える児童	アンケート等の実施よる	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	90	%	目標値	91	92	93	94	95
							実績値	91.6				
						%	達成率	100.7				
	2	「英語の授業が楽しい」と答える生徒（１年生）	アンケート等の実施よる ※１年生	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		%	目標値	67	69	71	73	75
							実績値	81.9				
						%	達成率	122.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市では、外国語を「英語」とし、小学校に導入しているなか、語学指導等を行う外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム）により、通常４名の外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し英語を楽しく学ぶことができる環境を整えている。 なお、財源は交付税措置があり、英語教育の推進については、実績から見て達成できた。	豊後大野市では、外国語を「英語」とし、小学校に導入しているなか、語学指導等を行う外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム）により、通常４名の外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し英語を楽しく学ぶことができる環境を整えている。 なお、財源は交付税措置があり、英語教育の推進については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
138006	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事 業	教育振興事業	細事業	特色ある学校づくり推進事業	実施計画事業	特色ある学校づくり推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 328 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
特色ある学校づくり推進事業補助金	2,460

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している。 ・学校を地域コミュニティの核として、地域一体で小中一貫教育校の設置を進め、連結型小中一貫教育で培った「ふるさとを愛する子ども」に「将来もこのまちに住みたい」という心情を育み、「持続可能なまちづくり」につなげていくことを目指していく。 (各小中学校に対する補助事業) ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・郷土学では、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々などの協力の下、ジオパークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域の特色などについて学習し、「ふるさとおおの」を愛する子どもの育成を図る。 ・小中一貫教育では、小学校と中学校が共通の学校教育目標を設定し、義務教育９年間の指導の一貫性を確保していく。また、小・中学校合同の学校行事を計画的に進めることによって、児童・生徒の異年齢集団の日常的な交流活動を通して、豊かな心の醸成を図る。 ・特色ある学校づくりの発表の場として学校教育シンポジウムを開催することで、広く市民の方々に発信する。	R3	各学校において、特色を作るため、それぞれの形で、取り組みを行った。郷土学については、コミュニティ・スクールをはじめとする地域の方々などの協力の下、ジオパークと関連付けたジオ学習や地域の伝統文化、地域の特色などについて学習し、また、農業体験や、地域に花を植え交流を行い推進した。小中一貫教育では、小学校と中学校が共通の学校教育目標を設定し、義務教育９年間の指導の一貫性を確保した。 なお、結果については、コロナ禍で実施できなかったシンポジウムを動画開催とし、ICT機器を利用した取り組みも展開した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,460			2,400	60
当初予算	2,460			2,400	60
決 算 額	2,341			2,300	41
R４計画	2,460			2,400	60
当初予算	2,460			2,400	60
決 算 額					
R５計画	2,460			2,400	60
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,460			2,400	60
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,460			2,400	60
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	12,300			12,000	300
当初予算	4,920			4,800	120
決 算 額	2,341			2,300	41

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 特色ある学校づくりを実施	実施校	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	18	%	目標値	18	18	18	18	18
						実績値	18				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 補助事業実施率	実施率（実施学校数/全学校数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している事業については、実績から見て達成できた。 ※令和4年に内容を精査し、令和5年に向けて、全体的な検討を行う。	平成25年度より開始した事業で、郷土学、小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進する事業については達成できたと評価する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
138011	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育振興事業	細事業	教育バス運行管理事業	実施計画事業	教育バス運行管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 323 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	540
燃料費	485
修繕料	440
自動車等借上料	220

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 各学校における、社会見学や、市内外の文化財等の見学や、各学校間での交流のため、バスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス２台の安全を確保し運行管理を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ バス２台の管理及び、運転手２名（再任職員及び会計年度任用職員（時給））の確保	R3	バス２台の管理及び、運転手２名（再任職員及び会計年度任用職員（時給））の確保ができた。コロナ禍の中で、社会見学等計画が中止になる状況もあったが、バス２台の運用に関しては、児童・生徒の安全を確保しつつ運用ができた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	2,213				2,213
当初予算	2,213				2,213
決算額	1,554				1,554
R４計画	2,213				2,213
当初予算	2,583				2,583
決算額					
R５計画	2,213				2,213
当初予算					
決算額					
R６計画	2,213				2,213
当初予算					
決算額					
R７計画	2,213				2,213
当初予算					
決算額					
計画額	11,065				11,065
当初予算	4,796				4,796
決算額	1,554				1,554

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	教育バス２台の確保し安全な運行を行う	教育バス２台の安全な運用	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	2	台	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	2				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	児童・生徒等を乗せた安全な運行業務	無事故達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率（社会見学等）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
各学校における、社会見学や、市内外の文化財等の見学や、各学校間での交流のため、バスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス２台の安全を確保し運行管理を行う事業については、実績から見て達成できた。	各学校における、社会見学や、市内外の文化財等の見学や、各学校間での交流のため、バスが必要となった際に、教育委員会で保有するバス２台の安全を確保し運行管理を行う事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
138012	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事 業	教育振興事業	細事業	キャリア教育推進事業	実施計画事業	キャリア教育推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 320 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	2,274
社会保険料（会計年度任用職員分）	446
期末手当	282
講師謝礼金	126

A 事業目的・内容・実績

＜事業の目的＞
児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事に対する理解を深めるとともに、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な「郷土学」の実施によって将来的を考える機会とし、さらに、豊後大野市を愛する郷土愛を育成する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
小中学校におけるキャリア教育の推進
(1)小中学校「職業講話」実施
①小学校高学年「職業講話」講師派遣 2人×5校
②中学校１年生「職業講話」講師派遣 4人×7校
(2)小学校「匠のWAZA」体験学習実施
①「匠のWAZA」もの作り指導者派遣
②「匠のWAZA」体験学習指導者派遣
・①②併せて5人×5校
・児童20人×5校程度実施予定
(3)中学校「職場体験学習」推進
(4)小中学校の「郷土学」の推進

年度	主な活動実績
R3	小中学校におけるキャリア教育の推進 ○小中学校「職業講話」実施 ・小学校高学年「職業講話」講師派遣/講師派遣：1校1人実施 ・中学校１年生「職業講話」講師派遣/講師派遣：2校8人実施 ○小学校「匠のWAZA」体験学習実施 講師派遣：5校15人の実施 対象児童・生徒については5校93人 ○中学校「職場体験学習」推進 5校で実施。 ○小学校の「郷土学」の推進 18小中学校全てで実施 ※コロナ禍により、３割程度の事業が実施ができなかった。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,378			3,000	378
当初予算	3,378			3,000	378
決 算 額	3,167			2,967	200
R４計画	3,378			3,000	378
当初予算	3,586			3,200	386
決 算 額					
R５計画	3,378			3,000	378
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,378			3,000	378
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,378			3,000	378
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	16,890			15,000	1,890
当初予算	6,964			6,200	764
決 算 額	3,167			2,967	200

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 職業関係学習実施校数	小中学校で実施した校数（職業講話+匠のWAZA+職場体験学習等）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		回	目標値	18	18	18	18	18
						実績値	13				
					%	達成率	72.2				
	2 郷土学実施校数	郷土学の実施校数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		校	目標値	18	18	18	18	18
						実績値	18				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 小学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	小学校で見直しを行った率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	88.6	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100
						実績値	90.9				
					%	達成率	101.0				
	2 中学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	中学校で見直しを行った率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	96.4	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100
						実績値	89.3				
					%	達成率	99.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事に対する理解を深めるとともに、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な「郷土学」の実施によって将来的を考える機会とし、さらに、豊後大野市を愛する郷土愛を育成する事業については、実績から見て達成できた。
但し、大規模小学校については、消耗品の不足により実施できていない。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

児童生徒が、将来自分らしい生き方を実現するため、職業講話による仕事に対する理解を深めるとともに、「匠のWAZA」「ジオ学習」「社会見学」等、体験的な「郷土学」の実施によって将来的を考える機会とし、さらに、豊後大野市を愛する郷土愛を育成する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
138012	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育振興事業	細事業	キャリア教育推進事業	実施計画事業	郷土の先輩事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 320 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	141

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	140
実費弁償	85

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市「郷土の先輩特別授業」は、豊後大野市出身で活躍されている先輩を中学校に特別講師として招聘し、講話（特別授業）を通して、市立小中学校児童・生徒が将来について考えるきっかけづくりにするとともに、将来の夢や希望を目指して取り組もうとする意欲的な態度を醸成する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 講師 (株)minsora代表取締役 髙山 久信さん 実施日・対象 ７月 ６日(火) 清川中学校全校生徒 ＋清川小学校6年生 三重中学校3年生 ７月１２日(月) 大野中学校全校生徒 朝地中学校全校生徒 緒方中学校全校生徒 ７月１４日(水) 千歳中学校全校生徒 犬飼中学校全校生徒 ※７中学校・１小学校４９９名	R3	実施日・対象 ※７中学校：計４９１名 ７月 ６日(火) 清川中学校全校生徒、三重中学校3年生 ７月１２日(月) 大野中学校全校生徒、朝地中学校全校生徒、緒方中学校全校生徒 ７月１４日(水) 千歳中学校全校生徒、犬飼中学校全校生徒
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	225			200	25
当初予算	225			200	25
決 算 額	142			133	9
R４計画	225			200	25
当初予算	226			200	26
決 算 額					
R５計画	225			200	25
当初予算					
決 算 額					
R６計画	225			200	25
当初予算					
決 算 額					
R７計画	225			200	25
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,125			1,000	125
当初予算	451			400	51
決 算 額	142			133	9

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1「郷土の先輩特別授業」の実施	中学校での講話（特別授業）の実施校数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	7	校	目標値	7	7	7	7	7
						実績値	7				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 生徒の評価	講話（特別授業）を聞いて将来について考えるきっかけとなったと答える率（アンケート）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	60	60	60	60	60
						実績値	67				
					%	達成率	111.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新型コロナウイルスの対応が必要な中、計画にあった、一部小学校が不参加等もあり、実施が難しい状況の中ではあったが中学生に対してはおおむね計画通りの実施ができた。 受講した中学生に行ったアンケートで、将来を考えるきっかけとなったと答える生徒が67%あり、おおむね事業としては成功したといえる。	豊後大野市「郷土の先輩特別授業」は、豊後大野市出身で活躍されている先輩を中学校に特別講師として招聘し、講話（特別授業）を通して、市立小中学校児童・生徒が将来について考えるきっかけづくりにするとともに、将来の夢や希望を目指して取り組もうとする意欲的な態度を醸成する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
406001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事 業	小中学校ＩＣＴ環境整備事業	細事業	小中学校ＩＣＴ環境整備事業	実施計画事業	小中学校ＩＣＴ環境整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 326 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	3
決算	144

政 策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
学校教育ICT支援員業務委託料	7,865
庁用器具費	11,880
修繕料	1,000
消耗品費	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
ＧＩＧＡスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のＩＣＴ環境の整備･充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。
また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。

＜令和３年度の取組内容(計画)＞
教職員に対して必要なタブレット配布を行うともに、ネットワーク環境の見直しや、ICT研修の実施、授業での活用等利用する活用等、さらなる情報教育の充実を図る。

年度	主な活動実績
R3	GIGAスクール構想に基づき、市内の小中学校に対して、ICT教育に必要な授業支援や端末の整備及びICT機器の維持管理を実施した。 ・修繕費（タブレット修繕等）・学校教育ＩＣＴ支援員業務委託料（1名：月16日勤務）指導者向けに端末を活用した授業支援や各種アプリの使用に関する研修を56回実施・ソフトウェア導入作業委託料・フィルタリングソフトの導入 ・庁用器具費 教職員に対してタブレット端末等整備を実施 合計購入数237台
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
Ｒ３計画	20,795	6,000			14,795
当初予算	20,795	6,000			14,795
決 算 額	19,312	11,100			8,212
Ｒ４計画	14,224				14,224
当初予算	42,412				42,412
決 算 額					
Ｒ５計画	14,224				14,224
当初予算					
決 算 額					
Ｒ６計画	14,224				14,224
当初予算					
決 算 額					
Ｒ７計画	14,224				14,224
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	77,691	6,000			71,691
当初予算	63,207	6,000			57,207
決 算 額	19,312	11,100			8,212

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	各校でのICT研修実施	1校あたりのICT研修の実施回数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	回	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	3.1				
						%	達成率	77.5				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	95	%	目標値	80	82	83	84	85
							実績値	79.1				
						%	達成率	98.9				
	2	高速大容量の通信ネットワークの整備	GIGA対応している普通教室・特別教室割合	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	99	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	20 点 ／25点	4 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

ＧＩＧＡスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のＩＣＴ環境の整備･充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る事業については実績から見て達成できた。
また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進事業については実績から見て達成できた。
※令和４年度より、振興事業等で分離しているICTの予算として統合した。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

ＧＩＧＡスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のＩＣＴ環境の整備･充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。
また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進事業については実績から見て達成できた と評価する。
※令和４年度より、振興事業等で分離しているICTの予算として統合

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-1 拡充

（様式１）

事業番号	枝番
143001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	学校教育指導員活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 333 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	4
決算	145

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	4,456
期末手当	557
費用弁償（会計年度任用職員分）	298

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 学校教育指導員をを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行う （資格なし、1日6時間勤務） ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 教育支援センターかじかに通所する子どもたちの支援を行う。また、学校や保護者の相談活動を行う。個別支援が必要な子どもの対応をする。 ・学習活動 ・相談活動 ・体験学習　など	R3	４名確保し教育支援センターかじかに通所する子どもたちの支援を行った。 ・学習活動 ・相談活動 ・体験学習等
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,311				5,311
当初予算	5,311				5,311
決算額	4,964				4,964
R４計画	5,311				5,311
当初予算	6,637				6,637
決算額					
R５計画	5,311				5,311
当初予算					
決算額					
R６計画	5,311				5,311
当初予算					
決算額					
R７計画	5,311				5,311
当初予算					
決算額					
計画額	26,555				26,555
当初予算	11,948				11,948
決算額	4,964				4,964

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 学校教育指導員の配置	雇用人数(適正人数の配置)	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	人	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	31	32	33	34	35
						実績値	31				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
学校教育指導員をを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うについては、実績から見て達成できた。	学校教育指導員をを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行うについては、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A.現状のまま継続

事業番号	枝番
143001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

（様式１）

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事 業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	かじか教室運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 333 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	4
決算	145

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	210
講師謝礼金	36

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費 ①教育支援センター・・・不登校児童生徒の受け入れ、作業活動や体験活動の実施 ②不登校対策センター・・市内の不登校児童生徒の把握、個別の対応策構築市教委との連携 ③相談支援センター・・・不登校児童生徒のカウンセリング、保護者や教職員からの相談 ④学習支援センター・・・個に応じた学習支援の実施、受験対策 ⑤教職員研修センター・・いじめ不登校に関する研修実施 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・業務内容 教育相談（来所、電話相談） 家庭訪問 学校訪問 児童生徒のための開室日数 学習指導 調理実習 スポーツ活動 校外学習	R3	・業務 教育相談（来所31人、電話相談97件）家庭訪問317回 学校訪問29回　児童生徒のための開室日数177日　学習指導177日 調理実習11回　スポーツ活動12回　校外学習7回等 ・不登校児童生徒数（うち通室生） 小学生２８名（小学生１０名）　中学生５０名（中学生１４名） ・支援を行った中で学校に登校できるようになった児童生徒数 小学生4名　中学生2名
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	246				246
当初予算	246				246
決 算 額	1,255				1,255
R４計画	246				246
当初予算	321				321
決 算 額					
R５計画	246				246
当初予算					
決 算 額					
R６計画	246				246
当初予算					
決 算 額					
R７計画	246				246
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,230				1,230
当初予算	567				567
決 算 額	1,255				1,255

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 アウトリーチ件数	家庭を訪問した件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	290	件	目標値	300	300	300	300	300
						実績値	317				
					%	達成率	105.7				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 通室児童割合	通室児童÷不登校児童生徒	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		%	目標値	35	36.5	38	39.5	41
						実績値	35.7				
					%	達成率	102.0				
	2 通室生徒割合	通室生徒÷不登校生徒	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		%	目標値	28	29	30	31	32
						実績値	28				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費については、実績から見て達成できた。	不登校の小中学生に対する支援拡充を目的とした教育支援センターかじかの運営費については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
143001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	教育支援センター運営事業	細事業	教育支援センター運営事業	実施計画事業	教育支援コーディネーター活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 333 ）

会計	一般
款	10
項	1
目	4
決算	145

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	6,821
社会保険料（会計年度任用職員分）	1,337
期末手当	845
費用弁償（会計年度任用職員分）	360

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行う (資格有、フルタイム) ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・週5日勤務コーディネーター3名配置 ・通室生の支援のみならず、学校訪問、アウトリーチを行う。	R3	３名を確保し、通室生の支援のみならず、学校訪問等、アウトリーチを行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	9,363				9,363
当初予算	9,363				9,363
決 算 額	8,828				8,828
R４計画	9,363				9,363
当初予算	9,218				9,218
決 算 額					
R５計画	9,363				9,363
当初予算					
決 算 額					
R６計画	9,363				9,363
当初予算					
決 算 額					
R７計画	9,363				9,363
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	46,815				46,815
当初予算	18,581				18,581
決 算 額	8,828				8,828

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	教育支援コーディネーターの配置	雇用人数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	人	目標値	3	3	3	3	3
							実績値	3				
						%	達成率	100.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	通室児童生徒割合	かじか教室運営事業と同じ	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		%	目標値	31	32	33	34	35
							実績値	31	32	33	34	35
						%	達成率	100.0	100.0	100	100	100
	2	—		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行う実績から見て達成できた。	教育支援コーディネーターを配置することにより、教育支援センターかじか運営を円滑かつ効率的に行う実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
257001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	小学校一般管理事業	細事業	小学校一般管理事業	実施計画事業	臨時講師活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 330 ）

会計	一般
款	10
項	2
目	1
決算	146

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	20,000
期末手当	2,442
社会保険料（会計年度任用職員分）	3,564
費用弁償（会計年度任用職員分）	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○配置人数(のべ人数) 菅尾小学校　１人（うち短時間臨時講師１名） 百枝小学校　１人（うち短時間臨時講師１名） 三重第一小学校　２人（うち短時間臨時講師０名） 三重東小学校２人（うち短時間臨時講師２名） 新田小学校　２人（うち短時間臨時講師１名） 清川小学校　０人 緒方小学校　２人（うち短時間臨時講師１名） 朝地小学校　１人（うち短時間臨時講師０名） 大野小学校　０人 千歳小学校　２人（うち短時間臨時講師２名） 犬飼小学校　１人（うち短時間臨時講師０名）	R3	・配置人数(のべ人数) 菅尾小学校１人　百枝小学校１人（内時短１名） 三重第一小学校２人（内時短１名） 三重東小学校２人（内時短２名）　新田小学校２人（内時短１名） 清川小学校０人　緒方小学校２人（内時短１名）　朝地小学校１人 大野小学校０人　千歳小学校２人（内時短２名）　犬飼小学校１人
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	27,206		24,700		2,506
当初予算	27,206		24,700		2,506
決算額	26,399		23,800		2,599
R４計画	27,206		24,700		2,506
当初予算	26,997		25,700		1,297
決算額					
R５計画	27,206		24,700		2,506
当初予算					
決算額					
R６計画	27,206		24,700		2,506
当初予算					
決算額					
R７計画	27,206		24,700		2,506
当初予算					
決算額					
計画額	136,030		123,500		12,530
当初予算	54,203		50,400		3,803
決算額	26,399		23,800		2,599

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専門スタッフ等の適正配置	人数（実績値:のべ人数）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	10	人	目標値	14				
						実績値	14				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できた。	普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
257003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	小学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業	実施計画事業	フッ化物洗口推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 324 ）

会計	一般
款	10
項	2
目	1
決算	146

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
学校薬剤師報酬	178
消耗品費	800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 児童に対して、「むし歯０」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ １週間に１回フッ化物洗口液を使用してうがいを行う。 小学校　1,311人　の実施予定 フッ化物洗口用消耗品の購入予算 １１校　800千円（消耗品）	R3	１週間に１回フッ化物洗口液を使用してうがいを行う。 小学校　1,311人　の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 １１校　749千円（消耗品）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	978				978
当初予算	978				978
決算額	886				886
R４計画	978				978
当初予算	721				721
決算額					
R５計画	978				978
当初予算					
決算額					
R６計画	978				978
当初予算					
決算額					
R７計画	978				978
当初予算					
決算額					
計画額	4,890				4,890
当初予算	1,699				1,699
決算額	886				886

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施児童の割合を増やす（保護者の同意が必要なため）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	90.2	%	目標値	91	92	93	94	95
						実績値	90.4				
					%	達成率	99.3				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 虫歯の本数の減小	12歳児むし歯平均本数（前年度数値，小中成果同じ）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1.7	本	目標値	1.6	1.4	1.2	1	0.9
						実績値	1.46				
					%	達成率	―				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	4 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
児童に対して、「むし歯０」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。については、実績から見て達成できた。	児童に対して、「むし歯０」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
145002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	小学校教育振興事業	細事業	小学校教育振興事業	実施計画事業	小学校教育振興事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 326 ）

会計	一般
款	10
項	2
目	2
決算	148

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	11,000
図書	3,772
自動車等借上料	1,729
教材備品	1,200

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等教育、学習を振興する事業 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 消耗品・教材備品の購入及びバス借り上げ等	R3	小学校の教育振興のため教材などの物品の購入等、教育活動の充実を実施 ・講師謝礼金（総合学習）・記念品代（新入学生、卒業生）・消耗品費（教科書、教材等）・通信運搬費（体験乗車）・借上料（バス、タクシー、土地）・教材備品・図書
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	19,019			3,500	15,519
当初予算	19,019			3,500	15,519
決算額	17,538			3,500	14,038
R４計画	19,019			3,500	15,519
当初予算	17,880			3,200	14,680
決算額					
R５計画	19,019			3,500	15,519
当初予算					
決算額					
R６計画	19,019			3,500	15,519
当初予算					
決算額					
R７計画	19,019			3,500	15,519
当初予算					
決算額					
計画額	95,095			17,500	77,595
当初予算	36,899			6,700	30,199
決算額	17,538			3,500	14,038

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 一般教材及び図書の整備	備品購入費（教材備品+図書）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	6,038	千円	目標値	4,823				
						実績値	4,823				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 図書年間貸出冊数	児童一人当たり年平均※基本計画	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	168	冊	目標値	157	158	159	160	160
						実績値	161				
					%	達成率	102.6				
	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等の教育を振興する事業については、実績から見て達成できた。	学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等の教育を振興する事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
145005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	小学校教育振興事業	細事業	理科教育設備等整備事業	実施計画事業	理科教育設備等整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 328 ）

会計	一般
款	10
項	2
目	2
決算	148

政策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
教材備品	1,009

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 学校における理科及び算数に関する教育（以下、「理科教育」という。）の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各小学校の理科教育の振興に努める。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内11小学校中、9校が理科設備の更新補助の意向があったため計画的に設備導入を図る。	R3	市内小学校9校、27品目の更新を実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,009	504			505
当初予算	1,009	504			505
決算額	979	379			600
R４計画	1,009	504			505
当初予算	697	348			349
決算額					
R５計画	1,009	504			505
当初予算					
決算額					
R６計画	1,009	504			505
当初予算					
決算額					
R７計画	1,009	504			505
当初予算					
決算額					
計画額	5,045	2,520			2,525
当初予算	1,706	852			854
決算額	979	379			600

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 理科教育備品整備	整備数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	35	セット	目標値	27				
						実績値	27				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
学校における理科及び算数に関する教育（以下、「理科教育」という。）の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各小学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できた。 ※各学校で5ヵ年で更新計画を行っている1/2国庫補助事業であり継続していく。	学校における理科及び算数に関する教育（以下、「理科教育」という。）の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、小学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各小学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
259001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	中学校一般管理事業	細事業	中学校一般管理事業	実施計画事業	臨時講師活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 330 ）

会計	一般
款	10
項	3
目	1
決算	149

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	6,775
期末手当	844
社会保険料（会計年度任用職員分）	1,337
費用弁償（会計年度任用職員分）	360

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ○配置人数（のべ人数） 三重中学校 0人 清川中学校 1人 緒方中学校 0人 朝地中学校 1人 大野中学校 0人 千歳中学校 1人 犬飼中学校 1人	R3	・配置人数（のべ人数） 三重中学校 1人（内時短１名） 清川中学校 1人 緒方中学校 0人 朝地中学校 1人 大野中学校 0人 犬飼中学校 1人
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	9,316		8,500		816
当初予算	9,316		8,500		816
決算額	10,227		9,300		927
R４計画	9,316		8,500		816
当初予算	9,238		8,700		538
決算額					
R５計画	9,316		8,500		816
当初予算					
決算額					
R６計画	9,316		8,500		816
当初予算					
決算額					
R７計画	9,316		8,500		816
当初予算					
決算額					
計画額	46,580		42,500		4,080
当初予算	18,554		17,200		1,354
決算額	10,227		9,300		927

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 専門スタッフ等の適正配置	人数（実績値:のべ人数）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	人	目標値	4				
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できた。	普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
259002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	中学校一般管理事業	細事業	フッ化物洗口推進事業	実施計画事業	フッ化物洗口推進事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 324 ）

会計	一般
款	10
項	3
目	1
決算	149

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画
	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	400
学校薬剤師報酬	77

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 生徒に対して、「むし歯０」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る。なお、実施については、保護者の同意が必要となる。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ １週間に１回フッ化物洗口液を用いてうがいを行う。 中学校　531人　の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 ７校　400,000円（消耗品）	R3	１週間に１回フッ化物洗口液を用いてうがいを行う。 中学校　531人　の実施 フッ化物洗口用消耗品の購入 ７校　351千円（消耗品）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	477				477
当初予算	477				477
決算額	396				396
R４計画	477				477
当初予算	337				337
決算額					
R５計画	477				477
当初予算					
決算額					
R６計画	477				477
当初予算					
決算額					
R７計画	477				477
当初予算					
決算額					
計画額	2,385				2,385
当初予算	814				814
決算額	396				396

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施率の向上	保護者に事業の説明を行い重要性を理解してもらい、実施生徒の割合を増やす（保護者の同意が必要なため）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	75.3	%	目標値	76	77	78	79	80
						実績値	68.3				
					%	達成率	89.9				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 虫歯の本数の減小	12歳児むし歯平均本数（前年度数値，小中成果同じ）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1.7	本	目標値	1.6	1.4	1.2	1	0.9
						実績値	1.46				
					%	達成率	―				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
生徒に対して、「むし歯０」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る事業については保護者の同意が得られず実施ができていないが、はじめて間もない事業であり、長期的な視点での対応が必要。また、コロナ禍により推進ができなかった。	生徒に対して、「むし歯０」をめざし、フッ化物洗口を行い、むし歯予防対策の強化を図る事業については、実施率をあげる必要があると評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2　手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
148002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業	実施計画事業	部活動指導員活用事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 333 ）

会計	一般
款	10
項	3
目	2
決算	151

政策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	336
費用弁償	30

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員とし雇用する（県補助金） ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ ・犬飼中学校、卓球部　１名 ・年間２１０時間（補助対象時間）	R3	部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員とし雇用した。 ・犬飼中学校、卓球部　１名 ・年間２１０時間（補助対象時間）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	366	224			142
当初予算	366	224			142
決算額	336	224			112
R４計画	366	224			142
当初予算	366	224			142
決算額					
R５計画	366	224			142
当初予算					
決算額					
R６計画	366	224			142
当初予算					
決算額					
R７計画	366	224			142
当初予算					
決算額					
計画額	1,830	1,120			710
当初予算	732	448			284
決算額	336	224			112

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	会計年度任用職員の採用	採用人数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	人	目標値	1				
							実績値	1				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	教員の子どもに向き合う時間の増加	月平均増加時間（目標：月平均15時間以上）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	15	時間	目標値	15	15	15	15	15
							実績値	15				
						%	達成率	100.0				
	2	―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員とし雇用する（県補助金）については、実績から見て達成できた。 2/3補助事業であり、事業拡大したいが、補助要綱に合致する人選が難しい。なお。現在1名しかいないが継続して実施したい。	部活動の質的向上及び教職員の負担軽減を図るため部活動指導員を会計年度任用職員とし雇用する（県補助金）については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
148002	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	中学校教育振興事業	細事業	中学校教育振興事業	実施計画事業	中学校教育振興事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 326 ）

会計	一般
款	10
項	3
目	2
決算	151

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	①教育内容を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R３ 年度 ～ R７ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	26,379
図書	2,237
自動車等借上料	865
教材備品	800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 学校の運営の中で、主に教育に必要な教材備品や、消耗品、社会見学等のバス借り上げ等教育、学習を振興する事業 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 消耗品・教材備品の購入及びバス借り上げ等	R3	中学校の教育振興ため教材などの物品の購入等、教育活動の充実を実施した ・会計年度任用職員報酬（部活動指導員）・講師謝礼金（修学旅行、総合学習等）・記念品代（卒業生）・消耗品費（教科書、教材等）・通信運搬費（職業体験）・火災等保険料（職業体験）・借上料（バス、タクシー）・教材備品・図書・各種大会出場補助金（中体連、中文連主催の県大会以上の出場にかかる費用一式）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	32,059			2,200	29,859
当初予算	32,059			2,200	29,859
決 算 額	30,155			2,200	27,955
R４計画	32,059			2,200	29,859
当初予算	13,862			1,800	12,062
決 算 額					
R５計画	32,059			2,200	29,859
当初予算					
決 算 額					
R６計画	32,059			2,200	29,859
当初予算					
決 算 額					
R７計画	32,059			2,200	29,859
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	160,295			11,000	149,295
当初予算	45,921			4,000	41,921
決 算 額	30,155			2,200	27,955

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 一般教材及び図書の整備	備品購入費（教材備品+図書）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3,890	千円	目標値	2,743				
						実績値	2,743				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 図書年間貸出冊数	児童一人当たり年平均※基本計画	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	26	冊	目標値	31	32	33	34	35
						実績値	30				
					%	達成率	96.8				
	2 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できた。	普通学級での授業や特別支援の必要な児童生徒の支援を行う教員免許を持った会計年度任用職員の雇用については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
148004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	中学校教育振興事業	細事業	理科教育設備等整備事業	実施計画事業	理科教育設備等整備事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 328 ）

会計	一般
款	10
項	3
目	2
決算	151

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名：第４次豊後大野市総合教育計画
期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
教材備品	1,203

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 学校における理科及び算数に関する教育（以下、「理科教育」という。）の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校の理科教育の振興に努める。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内7中学校中、3校が理科設備の更新補助の意向があったため計画的に設備導入を図る。	R3	市内中学校3校、47品目の更新を実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,203	601			602
当初予算	1,203	601			602
決算額	1,199	419			780
R４計画	1,203	601			602
当初予算	351	175			176
決算額					
R５計画	1,203	601			602
当初予算					
決算額					
R６計画	1,203	601			602
当初予算					
決算額					
R７計画	1,203	601			602
当初予算					
決算額					
計画額	6,015	3,005			3,010
当初予算	1,554	776			778
決算額	1,199	419			780

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 理科教育備品整備	整備数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	32	セット	目標値	47				
						実績値	47				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 教育課程の達成	文科省の学習指導要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
学校における理科及び算数に関する教育（以下、「理科教育」という。）の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できた。 ※各学校で5ヵ年で更新計画を行っている1/2国庫補助事業であり継続していく。	学校における理科及び算数に関する教育（以下、「理科教育」という。）の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、中学校に対して理科教育を実施するための設備整備をするため、国からその経費の一部補助を受けて、各中学校の理科教育の振興事業については実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

事業番号	枝番
261001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

（様式１）

課局名	学校教育課	係名	学校教育係

事業	幼稚園一般管理事業	細事業	幼稚園一般管理事業	実施計画事業	幼稚園教諭（会計年度）活用事業（地域子ども・子育て支援分）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 332 ）

会計	一般
款	10
項	4
目	1
決算	152

政策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第４次豊後大野市総合教育計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
キラキラこどもプラン	期間 R 2 年度 ～ R 6 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	6,138
期末手当	760
社会保険料（会計年度任用職員分）	1,215
費用弁償（会計年度任用職員分）	360

A 事業目的・内容・実績

＜事業の目的＞
１園につき幼稚園教諭３名体制で幼児教育に取り組んでいる。正規職員が２名の園については、会計年度任用職員を１名配置している。預かり保育に係る人件費については、県の補助金を活用している。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
開園している４園全てで預かり保育を実施している。令和３年度は、三重・おおのさくら・千歳幼稚園に会計年度任用職員を１名ずつ配置。（計３名）

年度	主な活動実績
R3	預かり保育の対応も含め、三重・おおのさくら・千歳幼稚園に会計年度任用職員を１名ずつ計３名配置した。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,473	2,214			6,259
当初予算	8,473	2,214			6,259
決算額	7,839	3,056			4,783
R４計画	8,473	2,214			6,259
当初予算	8,171	2,122		65	5,984
決算額					
R５計画	8,473	2,214			6,259
当初予算					
決算額					
R６計画	8,473	2,214			6,259
当初予算					
決算額					
R７計画	8,473	2,214			6,259
当初予算					
決算額					
計画額	42,365	11,070			31,295
当初予算	16,644	4,336		65	12,243
決算額	7,839	3,056			4,783

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	幼稚園教諭（会計年度任用職員）の配置	人数(雇用した会計年度任用職員)	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	2	人	目標値	3				
							実績値	3				
						%	達成率	100.0				
	2	幼稚園型預かり保育実施数	必要に応じて実施（目標値なし）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		園	目標値					
							実績値	4				
						%	達成率					
D 成果指標	1	教育課程の達成	文科省の幼稚園教育要領に則った教育課程の達成率	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
１園につき幼稚園教諭３名体制で幼児教育に取り組んでいる。正規職員が２名の園については、会計年度任用職員を１名配置している。預かり保育に係る人件費については、県の補助金を活用している。 この雇用事業については、実績から見て達成できた。	１園につき幼稚園教諭３名体制で幼児教育に取り組んでいる。正規職員が２名の園については、会計年度任用職員を１名配置している。預かり保育に係る人件費については、県の補助金を活用している。 この雇用事業については、実績から見て達成できたと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
153002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	青少年健全育成事業	細事業	子ども文化・芸能事業	実施計画事業	子ども文化・芸能事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 345 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	154

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
出演団体謝礼金	60
消耗品費	20
通信運搬費	5

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 文化･郷土芸能の継承に取り組む青少年団体に発表の場を提供する。 ・子ども文化芸能大会１回予定 （ふるさとまつりを予定） ・出演３団体予定	R3	第11回ふるさとまつりメインステージにおいて発表の場を提供する予定であったが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	85			80	5
当初予算	85			80	5
決 算 額					
R４計画	85			80	5
当初予算	85			80	5
決 算 額					
R５計画	85			80	5
当初予算					
決 算 額					
R６計画	85			80	5
当初予算					
決 算 額					
R７計画	85			80	5
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	425			400	25
当初予算	170			160	10
決 算 額					

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	出演依頼団体数	出演を依頼する団体数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		団体	目標値	3	3	3	3	3
							実績値					
						%	達成率					
	2	開催回数	開催回数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	出演団体数	出演する団体数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		団体	目標値	3	3	3	3	3
							実績値					
						%	達成率					
	2	出演人数	出演する人数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	30	30	30	30	30
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	18 点 ／25点	3 点	18 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
文化・郷土芸能の継承に取り組んでいる青少年団体に発表する機会を提供し、取組の励みとしてもらう。については、コロナ禍により実施できなかった。 ※令和2年度～3年度	コロナ禍により、伝統芸能を発表する場を確保することができなかった。 発表の場の確保ができない場合は、ＤＶＤ等に活動内容を収録し、学校に配布するなどの工夫が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
153003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	青少年健全育成事業	細事業	放課後子ども教室事業	実施計画事業	放課後子ども教室事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 345 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	154

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
校区コーディネーター謝礼金	3,675
放課後チャレンジ教室委託料	780
協力者謝礼金	360
消耗品費	250

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 学校と地域の力をマッチングさせる協育コーディネーターを小学校区単位に配置 ・三重町小学校5校区にコーディネーター配置 ・その他6つの小学校区の各公民館に委託 ・協力者を募集 ・放課後子ども教室では学習の見守りと各種体験活動を行う。（工作、茶道、読み聞かせ、科学実験、太鼓体験、郷土学習、座禅、軽スポーツ等）	R3	地域の方々と交流しながら、子どもの実体験を育むため県補助事業を活用し、市内全小学校児童を対象に、工作教室、環境学習、絵手紙、郷土料理、陶芸教室、大正琴、ジオ学習、安全講話等のチャレンジ活動と宿題の見守り等、年間287回の学級を開催した。（登録児童：274名）
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

財源内訳（単位：千円）

	事業費計	国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	5,105	953		3,600	552
当初予算	5,105	953		3,600	552
決算額	4,632	681		3,600	351
R４計画	5,105	953		3,600	552
当初予算	5,105	953		3,600	552
決算額					
R５計画	5,105	953		3,600	552
当初予算					
決算額					
R６計画	5,105	953		3,600	552
当初予算					
決算額					
R７計画	5,105	953		3,600	552
当初予算					
決算額					
計画額	25,525	4,765		18,000	2,760
当初予算	10,210	1,906		7,200	1,104
決算額	4,632	681		3,600	351

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 実施対象校区数	放課後子ども教室を実施する校区数（市内全校区数：１１）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	11	校区	目標値	11	11	11	11	11
						実績値	11				
					%	達成率	100.0				
	2 登録人数	放課後子ども教室　対象児童登録人数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	279	人	目標値	300	300	300	300	300
						実績値	274				
					%	達成率	91.3				
D 成果指標	1 開催回数	開催回数（延べ回数） ※放課後開催・土曜日開催の合計	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	246	回	目標値	300	495	495	495	495
						実績値	287				
					%	達成率	95.7				
	2 参加人数	参加人数（延べ人数） ※放課後開催・土曜日開催の合計	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4,237	人	目標値	8,000	13,000	13,000	13,000	13,000
						実績値	7,151				
					%	達成率	89.4				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	一次評価（係長） 評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	二次評価（課長等） 評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
小学生を対象に、放課後の安心・安全な活動場所（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、創作活動や地域学習とともに宿題の見守り等に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。については、実績から見て達成できた。	コロナ感染症の防止を図るため、一部事業を実施できなかったが、児童の放課後の安心・安全な活動場所（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、さまざまな体験活動を通じ「生きる力」の醸成を図ることができた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
153004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事 業	青少年健全育成事業	細事業	成人式事業	実施計画事業	成人式	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 343 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	154

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画 86 P	☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
記念品代	330
消耗品費	126
成人式実行委員会委員謝礼金	70
成人式ビデオレター編集委託料	50

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 新成人の中から実行委員を募集し、企画・運営に関して実行委員会形式での成人式を実施する。	R3	※令和4年度から「二十歳を祝う会」へ
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	606			600	6
当初予算	606			600	6
決 算 額	530			500	30
R４計画	606			600	6
当初予算	611			600	11
決 算 額					
R５計画	606			600	6
当初予算					
決 算 額					
R６計画	606			600	6
当初予算					
決 算 額					
R７計画	606			600	6
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	3,030			3,000	30
当初予算	1,217			1,200	17
決 算 額	530			500	30

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	開催回数 ※令和2年実績値0はコロナ禍で延期したため	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加人数	参加人数 ※令和2年実績値0はコロナ禍で延期したため	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値		330	330	330	330
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
新成人の新しい門出を祝福するとともに、新成人が成人としての義務と責任を自覚し、郷土への誇りと愛情を再確認する場を提供する。 については達成できた。※令和5年以降は「20歳を祝う会」に改称予定	コロナ禍により延期した前回の成人式を８月にオンラインを活用して実施し、多くの新成人がオンラインを通して参加したことを評価するとともに、今回の成人式も万全な感染対策を講じて、無事に実施することができた。令和４年４月施行の民法改正による成人年齢の引き下げに関して、学校教育課及び三重総合高校と連携し成人としての認識を醸成するよう努めること。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
153004	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	青少年健全育成事業	細事業	成人式事業	実施計画事業	成人式（R2年度分）	終了年度	R3

総合計画体系図No.→（ 343 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	154

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☑ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
記念品代	187
通信運搬費	83
成人式ビデオレター編集委託料	161
成人式ライブ配信業務委託料	550

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 令和3年1月10日に開催予定であった令和3年成人式をコロナ禍のため延期し、ライブ配信等の感染拡大防止対策を講じて令和3年8月15日に開催する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 令和3年成人式を新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて8月15日に開催する。 成人式対象者の会場入場を制限するため ・記念品等を事前に郵送 ・入場できない対象者に向けて、式典の模様をユーチューブでライブ配信する 等の対応を行う。	R3	令和3年成人式を新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて8月15日に開催した。 成人式対象者の会場入場を制限するため ・記念品等を事前に郵送し、式典の模様をユーチューブでライブ配信した。 ・令和4年成人式については、コロナ対策を行った上、会場（エイトピア）にて開催できた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,064	1,000			64
当初予算	1,064	1,000			64
決 算 額	1,047	1,000			47
R４計画					
当初予算					
決 算 額					
R５計画					
当初予算					
決 算 額					
R６計画					
当初予算					
決 算 額					
R７計画					
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,064	1,000			64
当初予算	1,064	1,000			64
決 算 額	1,047	1,000			47

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	開催回数 ※令和２年度分のみ	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1				
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加人数	参加人数（ネット視聴者を含む） ※令和２年度分のみ	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値					
						実績値					
					%	達成率					
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
令和3年1月10日に開催予定であった令和3年成人式をコロナ禍のため延期し、ライブ配信等の感染拡大防止対策を講じて令和3年8月15日に開催する。については、実績から見て達成できた。	令和3年1月10日に開催予定であった令和3年成人式をコロナ禍のため延期し、令和3年8月15日に通常開催をするよう準備を進めていたが、デルタ株の感染が拡大したため実行委員によるライブ配信等に急遽切り替えて開催した。ライブ配信は、約半数の方が視聴していたことから目的は達成したものと評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	C.終 了

（様式１）

事業番号	枝番
153007	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	青少年健全育成事業	細事業	中学校国際交流事業	実施計画事業	中学校国際交流事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 344 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	154

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
国際交流補助金	1,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内の中学2年生～3年生を海外（韓国/プサン広域市機長郡長安中学校）へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味や関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内中学2年生～3年生20名（最低15名）による訪韓ホームステイ及び韓国・長安中学校パートナーによる来日ホームステイ	R3	市内の中学2・3年生を海外に派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味・関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,800			1,800	
当初予算	1,800			1,800	
決 算 額					
R４計画	1,800			1,800	
当初予算	1,800			1,800	
決 算 額					
R５計画	1,800			1,800	
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,800			1,800	
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,800			1,800	
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	9,000			9,000	
当初予算	3,600			3,600	
決 算 額					

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 派遣回数	訪韓ホームステイ派遣回数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
	2 受入回数	来日ホームステイ受入回数 ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 訪韓人数	訪韓ホームステイ参加人数（引率除く） ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
						実績値					
					%	達成率					
	2 来日人数	来日ホームステイ参加人数（引率除く） ※令和3年実績値0はコロナ禍で中止したため	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		人	目標値	20	20	20	20	20
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	19 点 ／25点	4 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内の中学2年生～3年生を海外（韓国/プサン広域市機長郡長安中学校）へ派遣し、現地でのホームステイによる文化交流を通して、異文化への興味や関心を高めるとともに、国際感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。については、コロナ禍により実施できなかった。※令和2年度～3年度	令和２年度、３年度は、交流先の韓国プサン広域市機長郡長安中学校と協議した結果コロナ禍により実施できなかった。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
153008	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事 業	青少年健全育成事業	細事業	青少年健全育成大会事業	実施計画事業	青少年健全育成大会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 343 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	154

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
記念品代	79
協力者謝礼金	70
講師謝礼金	30
青少年育成市民会議委員謝礼金	22

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ おおいた教育の日（11月1日）関連行事として、「豊後大野市次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催する。（主催：豊後大野市青少年健全育成市民会議） 令和3年度の予定 日時　令和3年11月6日（土）12：45～ 場所　エイトピアおおの　大ホール 内容　開会行事 ことばの森フェスタ 青少年の活動発表 講演会	R3	11月6日（土）　エイトピアで約286名の参加により、「豊後大野市次代を担う『豊後大野っ子』を育てる市民のつどい」を開催した。 「第24回ことばの森フェスタ」の作品発表、表彰。 講演「笑って前向きに！　～　素敵な大人の背中を見せましょう～」講師　（オフィス星野トーオン高知校）　中山まさとも氏による講演を実施した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

	事業費計	財源内訳（単位：千円） 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	258			200	58
当初予算	258			200	58
決 算 額	280			200	80
R４計画	258			200	58
当初予算	258			200	58
決 算 額					
R５計画	258			200	58
当初予算					
決 算 額					
R６計画	258			200	58
当初予算					
決 算 額					
R７計画	258			200	58
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,290			1,000	290
当初予算	516			400	116
決 算 額	280			200	80

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 開催回数	「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」の開催回数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1	回	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加人数	参加人数（内訳：市PTA連合会120、三重総合高校PTA 20、教育委員4、社会教育委員13、民生主任児童委員15、厚生文教常任委員議員8、退職校長会20、校長会18、豊後大野市教育協会5、青少年健全育成委員15、青少年健全育成会議支部30　計268人）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	254	人	目標値	268	268	268	268	268
						実績値	286				
					%	達成率	106.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
豊後大野市の児童・生徒の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域が連携して、活力と実行力のある青少年健全育成活動へと発展させることを目的とする。については、実績から見て達成できた。	青少年健全育成市民会議と連携した子どもたちの安心・安全な見守り及び「次代を担う豊後大野っ子を育てる市民のつどい」を開催し、家庭協育力の向上を図ることができた。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
152001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業	実施計画事業	ＰＴＡ連合会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 341 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	155

政策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
PTA連合会補助金	543

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市ＰＴＡ連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携融合を図る団体活動の助成のため、補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先：市ＰＴＡ連合会 交付金額：543,000円 （参考）市PTA連合会　R3年度行事予定 ・市P定期総会　・市防煙・薬物防止教室 ・県P連理事会（6回）・市P役員会（6回） ・市P常任委員会（3回）・市内P会長研修会 ・三重総合高校との意見交換会 ・差別をなくす市民のつどい ・県P・九P・日P研究大会 ・市・市教委との要望に係る意見交換会 ・親善ペタンク大会　・PTA指導者研修会 ・「おおいた教育の日」推進大会 ・県P教育問題懇談会・豊後大野っ子つどい ・その他	R3	豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先：市ＰＴＡ連合会、交付金額、543,000円（参考）市PTA連合会 R3年度行事予定・市P定期総会　・市防煙・薬物防止教室・県P連理事会（6回）・市P役員会（6回）・市P常任委員会（3回）・市内P会長研修会・三重総合高校との意見交換会・差別をなくす市民のつどい・県P・九P・日P研究大会・市・市教委との要望に係る意見交換会・親善ペタンク大会・PTA指導者研修会・「おおいた教育の日」推進大会・県P教育問題懇談会・豊後大野っ子つどい・その他
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	543				543
当初予算	543				543
決算額	543				543
R４計画	543				543
当初予算	543				543
決算額					
R５計画	543				543
当初予算					
決算額					
R６計画	543				543
当初予算					
決算額					
R７計画	543				543
当初予算					
決算額					
計画額	2,715				2,715
当初予算	1,086				1,086
決算額	543				543

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 市PTA連合会への補助	補助金額	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	543	千円	目標値	543	543	543	543	543
						実績値	543				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 主催イベント回数	PTA連合会が行うイベントの回数（諸会議・研修会・その他）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	25	回	目標値	20	25	25	25	25
						実績値	17				
					%	達成率	85.0				
	2 参加イベント回数	PTA連合会が参加するイベントの回数（市P連合主催イベントは除く）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	111	回	目標値	100	111	111	111	111
						実績値	91				
					%	達成率	91.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市ＰＴＡ連合会が行う、児童・生徒の健全育成と福祉の推進、生涯学習実現のための研修及び実践活動、もって家庭教育力を高め、学校教育や地域・関係機関等の連携融合を図る団体活動の助成のため、補助金を交付する。については、実績から見て達成できた。	社会教育関係団体として、家庭教育をはじめさまざまな学びの場を創出し、青少年の健全育成を図っている。補助金も適正に交付している。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
152001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	社会教育総務事業	細事業	社会教育総務事業	実施計画事業	女性団体等活動費補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 341 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	1
決算	155

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	①生涯学習を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	豊後大野市総合教育計画
期間	R3 年度 ～ R7 年度
期間	年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
女性団体等活動費補助金	300

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先：市地域婦人団体連合会 交付金額：200,000円 （参考） 地域婦人団体連絡協議会 R3年度行事予定 ・定期総会 ・理事会（7回） ・県婦連行事参加（3回） ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加 ・交通安全運動（4回） ・ごみ空き缶拾い ・その他	R3	〃豊後大野市社会教育等団体活動補助金 交付先：市地域婦人団体連合会,交付金額：147,000円（参考）地域婦人団体連絡協議会 R3年度行事予定・定期総会・理事会（7回）・県婦連行事参加（3回） ・九州地区地域婦人大会(全国大会)参加 ・各種研修参加・交通安全運動（4回） ・ごみ空き缶拾い・その他
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	300				300
当初予算	300				300
決 算 額	147				147
R４計画	300				300
当初予算	300				300
決 算 額					
R５計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
R６計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
R７計画	300				300
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,500				1,500
当初予算	600				600
決 算 額	147				147

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 女性団体への補助	補助金額	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	129	千円	目標値	150	300	300	300	300
						実績値	147				
					%	達成率	98.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 主催イベント回数	女性団体が行うイベントの回数（諸会議・研修会・その他）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	回	目標値	4	11	11	11	11
						実績値	3				
					%	達成率	75.0				
	2 参加イベント回数	女性団体が参加するイベントの回数（主催イベントを除く）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	19	回	目標値	8	14	14	14	14
						実績値	8				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内女性団体が、家庭生活ならびに地域社会の発展のために行う、学習活動や実践活動を助成するために補助金を交付する。については、実績から見て達成できた。	三重町、千歳町、犬飼町の婦人会から構成する婦人団体連合会に対し、青少年の健全育成や子どもの見守りなど、社会教育関係団体としての活動を積極的に実施した。補助金の交付も適正に行なった。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
154002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	公民館管理運営事業	細事業	公民館運営事業	実施計画事業	公民館運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 349 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	2
決算	156

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	②公民館機能を充実する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
公民館運営審議会委員報酬	180
費用弁償	140
大分県公民館連合会負担金	90
消耗品費	20

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置する。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図る。	R3	・公民館における各種事業の企画実施について調査審議するため公民館運営審議会委員を13名配置した。 ・市内外の社会教育施設や関係機関、関係団体と連携を取りながら、様々な課題に対応した学習内容の充実を図った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	474				474
当初予算	474				474
決 算 額	101				101
R４計画	474				474
当初予算	474				474
決 算 額					
R５計画	474				474
当初予算					
決 算 額					
R６計画	474				474
当初予算					
決 算 額					
R７計画	474				474
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,370				2,370
当初予算	948				948
決 算 額	101				101

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 公民館運営審議会委員数	公民館運営審議会委員の人数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	13	人	目標値	13	13	13	13	13
						実績値	13				
					%	達成率	100.0				
	2 公民館運営審議会開催回数	公民館運営審議会の開催回数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 公民館関係職員研修参加回数	公民館関係職員（公民館運営審議会委員・指定管理者職員・担当職員等）の研修参加回数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	6	回	目標値	3	8	8	8	8
						実績値	2				
					%	達成率	66.7				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
公民館を市民の生涯学習拠点として、また利用しやすい貸館としての運用に努めることを目的とする。については、実績から見て達成できた。	コロナ禍により九州ブロック・大分県公民館研究大会への参加ができず、学ぶ機会を確保できなかった。 公民館運営審議会を年2回開催し、公民館の運営計画等について意見を聞いた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
154003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事 業	公民館管理運営事業	細事業	自治公民館整備支援事業	実施計画事業	自治公民館整備支援事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 349 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	2
決算	156

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	2 生涯学習の推進
施策展開	②公民館機能を充実する
後期基本計画 86 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
自治公民館建設・改修補助金	6,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各自治公民館の新築・改修経費に対し補助を行う。 ※R3年度は新築1件あり（緒方町上自在300万円補助予定）	R3	各自治公民館の新築・改修にかかる補助（補助率：20%） 【改修】 6件 ・緒方町上滞迫区 ・緒方町野仲区 ・大野町沢田区 ・緒方町草深野区 ・三重町中小坂区 ・三重町前内田区 【新築】 1件 ・緒方町上自在区
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	6,000				6,000
当初予算	6,000				6,000
決 算 額	3,635				3,635
R４計画	3,000				3,000
当初予算	3,000				3,000
決 算 額					
R５計画	3,000				3,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,000				3,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,000				3,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	18,000				18,000
当初予算	9,000				9,000
決 算 額	3,635				3,635

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	自治公民館整備支援事業周知回数	自治公民館整備支援事業の周知回数（延べ数）	□ 総合戦略 □ 個別計画	7	回	目標値	7	7	7	7	7
							実績値	7				
						%	達成率	100.0				
	2	—		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	補助金交付率	補助金交付申請数に対する補助金交付割合	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
							実績値	100				
						%	達成率	100.0				
	2	補助金交付金額	補助金交付金額	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	1,562	千円	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
							実績値	3,635				
						%	達成率	121.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	20 点 ／25点	3 点	20 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
自治公民館を地域住民が集い、学ぶ拠点として活用するとともに、そこでの生涯学習活動を促進するため、自治公民館の新築や改修などの環境整備に対して補助を行う。については、実績から見て達成できた。	自治公民館は、地域住民の学びとコミュニティの拠点及防災の避難所等として活用されており、自治公民館の活動を支えるため改修工事等に対して補助金の交付を交付している。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	B. 見直しの上で継続-2 手段等の改善

（様式１）

事業番号	枝番
154005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事 業	公民館管理運営事業	細事業	公民館等指定管理事業	実施計画事業	公民館等指定管理事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 347 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	2
決算	156

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	2 生涯学習の推進
施策展開	②公民館機能を充実する
後期基本計画 86 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
公民館等指定管理委託料	194,885

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用者増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済（基本協定R3.1.13締結、期間R3～R７年度） 委託内容 ・業務実施体制の整備 ・施設維持管理業務 ・社会教育事業に関する業務 ・スポーツ振興事業に関する業務 ・施設運営業務 ・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会 ・自主事業	R3	指定管理者「ここからプラス」に指定管理委託契約済（基本協定R3.1.13締結、期間R3～R７年度）委託内容→・業務実施体制の整備・施設維持管理業務・社会教育事業に関する業務・スポーツ振興事業に関する業務・施設運営業務・公民館運営審議会、公民館利用者、スポーツ団体、地域団体、学校の代表者による連絡会・自主事業
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	194,885				194,885
当初予算	194,885				194,885
決 算 額	177,168				177,168
R４計画	194,779				194,779
当初予算	194,779				194,779
決 算 額					
R５計画	194,671				194,671
当初予算					
決 算 額					
R６計画	194,562				194,562
当初予算					
決 算 額					
R７計画	194,452				194,452
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	973,349				973,349
当初予算	389,664				389,664
決 算 額	177,168				177,168

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 指定管理委託料	指定管理委託料 （指定管理者募集要項 基準価格） ※令和3年新規	□ 総合戦略 □ 個別計画		千円	目標値	194,885	194,779	194,671	194,562	194,452
						実績値	177,168				
					%	達成率	90.9				
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 主催学級・講座数	主催学級・講座数 385講座/指定期間最終年度（指定管理者募集要項 教育委員会が設定する数値目標）	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	279	個	目標値	305	325	345	365	385
						実績値	402				
					%	達成率	131.8				
	2 公民館利用状況	公民館利用者数 R元年度に対し、毎年度1%増（参考）令和元年度実績数値（延べ数） ・青少年団体99団体/3,688人・女性団体30団体/1,440人・成人団体4,664団体/61,737人・高齢者団体38団体/7,002人・その他251団体/18,586人 計5,082団体/92,453人	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	65,783	人	目標値	93,378	94,312	95,256	96,209	97,172
						実績値	73,171				
					%	達成率	78.4				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
指定管理者制度導入による市民サービスの向上と、公民館施設の利用者増を目指すとともに、施設使用料、自主事業による収入増等と、指定管理者の努力による効果的・効率的で柔軟な公民館運営を目的とする。については、実績から見て達成できた。	コロナ禍により学習成果を発表する機会が提供できなかったが、感染対策を講じながら公民館利用者が安心して生涯学習に取り組めるよう努めていた。市民のニーズを把握し、高齢者に対するスマートフォン活用講座等を開催するなど新規事業に努められたい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
155001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	実施計画事業	人権教育・部落差別解消推進講座事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 380 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	3
決算	157

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
消耗品費	480
講師謝礼金	265
費用弁償	231
普通旅費	96

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各町公民館でＰＴＡや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座（5回）を開催する。	R3	各町公民館でＰＴＡや一般公募の市民を対象に同一受講者による人権連続講座（5回）を開催した。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,363				1,363
当初予算	1,363				1,363
決 算 額	773				773
R４計画	1,363				1,363
当初予算	1,301				1,301
決 算 額					
R５計画	1,363				1,363
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,363				1,363
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,363				1,363
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	6,815				6,815
当初予算	2,664				2,664
決 算 額	773				773

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 人権講座 開催回数	人権講座（連続講座を含む）開催回数（延べ回数）	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	59	回	目標値	45	90	90	90	90
						実績値	46				
					%	達成率	102.2				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 人権講座 受講者数	人権講座（連続講座を含む）受講者数（延べ人数）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	1,908	人	目標値	1,000	3,800	3,800	3,800	3,800
						実績値	954				
					%	達成率	95.4				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
より深く人権意識を身につけてもらい若い世代のリーダーの育成を図ることを目的に、公民館利用団体等を対象に人権講座を開催し、人権意識の高揚を図る。については、実績から見て達成できた。	コロナ禍ではあったが、部落差別の解消教育をはじめとするさまざまな人権問題の解決に関する学びを止めることはできないことから、連続講座の開催を実施することができた。しかし、県等が主催する講座の中止等により、学びのアップデートをする機会が失われた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
155002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業	実施計画事業	人権を学ぶ子ども会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 381 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	3
決算	157

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
人権を学ぶ子ども会運営委託料	461

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ あらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践力のある子どもを育成することを目的とする。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・市内の児童・生徒を対象に、三重東小学校、大野小学校、三重中学校、大野中学校で放課後の時間を利用した「人権を学ぶ子ども会」を開設し、「差別に負けない」「差別を許さない」「人の気持ちが分かる」子どもたちの育成を図る。	R3	三重東小学校、三重中学校、大野小学校、大野中学校で人権を学ぶ子ども会を開設し、より深く人権を学ぶため放課後の時間帯を利用した活動に取り組んだ。豊肥地区解放文化祭は11月27日（土）緒方中学校を会場に2年ぶりの 開催となった。上記の人権を学ぶ子ども会をはじめ、豊後大野市高校生人権学習会、豊後大野市内中学校、竹田市中学校による解放劇の取組みや研究発表の実践報告を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	461				461
当初予算	461				461
決 算 額	461				461
R４計画	461				461
当初予算	461				461
決 算 額					
R５計画	461				461
当初予算					
決 算 額					
R６計画	461				461
当初予算					
決 算 額					
R７計画	461				461
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,305				2,305
当初予算	922				922
決 算 額	461				461

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 団体数	「人権を学ぶ子ども会」開設数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	4	団体	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	4				
					%	達成率	100.0				
	2 —		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	「人権を学ぶ子ども会」参加者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	45	人	目標値	30	45	45	45	45
						実績値	31				
					%	達成率	103.3				
	2 —		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
あらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き、差別を解消するための実践力のある子どもを育成することを目的とする。については、実績から見て達成できた。	市人権・部落差別解消教育研究協議会に委託し子どもたちの差別を見抜き差別を許さないという学びができた。さらに豊肥地区解放文化祭に参加しあらゆる差別に対する深い学びの中で一体感と達成感を経験することができた。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
155002	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	社会教育係

事 業	人権教育・部落差別解消推進事業	細事業	人権を学ぶ子ども会事業	実施計画事業	高校生人権学習会事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 381 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	3
決算	157

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	6 人権尊重社会の実現
施策展開	①人権が尊重される地域社会を実現する
後期基本計画	94 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
人権を学ぶ子ども会運営委託料	384

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ ・市内出身の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を目指す。	R3	市内在住の高校生を対象とした「豊後大野市高校生人権学習会」を開設し部落差別を始めとするあらゆる差別の歴史と実態を学ぶことにより、差別を見抜き・差別を解消するための実践力のある生徒の育成を図った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	384				384
当初予算	384				384
決 算 額	107				107
R４計画	384				384
当初予算	384				384
決 算 額					
R５計画	384				384
当初予算					
決 算 額					
R６計画	384				384
当初予算					
決 算 額					
R７計画	384				384
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,920				1,920
当初予算	768				768
決 算 額	107				107

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 団体数	「高校生人権学習会」開設数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	1	団体	目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 参加者数	高校生人権学習会 参加者数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	7	人	目標値	10	10	10	10	10
						実績値	9				
					%	達成率	90.0				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	21 点 ／25点	5 点	21 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	3 点		3 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
市内出身の高校生を対象に、「高校生人権学習会」を開設し、人権意識の基礎を培い、豊かな人間感覚を育成するとともに、自他の人権を尊重する意欲・態度・技能を育成し、実践的な行動につながる人権教育を図る。については、実績から見て達成できた。	さまざまな高校から集まり部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題に関し学びを深めることができたが、参加人数が減少している傾向にある。パンフレット等を作成し、まずは竹田教育事務所管内の高校に募集をかける等の工夫が必要であると考える。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
156001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	文化財係

事業	資料館運営事業	細事業	資料館運営事業	実施計画事業	資料館運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 371 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	4
決算	158

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	5 文化財等の保存・継承
施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進
後期基本計画	92 P ☐ 過疎計画 ☑ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画 期間 R３ 年度 ～ R７ 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
光熱水費	3,411
文化財移送委託料	2,807
清掃委託料	1,870
廃棄処分等委託料	1,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 資料館を基本施設として、各公民館等と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・資料館の施設管理運営や、開設における展示、公開、整理の準備作業 ・歴史講座・ジオガイド養成講座等の開催や、市民の学習支援（現地ガイド、団体講座など）、広報による情報提供など ・小中学校教育におけるジオパーク学習の支援等 ・大分県や各市町村の関係機関と連携し、所蔵品の相互貸借による学習活動支援	R3	歴史的に重要な資料（古文書、古写真）の収集・公開・調査や、展示公開を行った。またジオパークの拠点施設としての学校教育でのふるさと学習の支援や、市民の生涯学習の拠点施設としての学習などを行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	12,981			2	12,979
当初予算	12,981			2	12,979
決算額	8,169			37	8,132
R４計画	13,000			1	12,999
当初予算	9,195			2	9,193
決算額					
R５計画	11,000			1	10,999
当初予算					
決算額					
R６計画	11,000			1	10,999
当初予算					
決算額					
R７計画	11,000			1	10,999
当初予算					
決算額					
計画額	58,981			6	58,975
当初予算	22,176			4	22,172
決算額	8,169			37	8,132

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	地域の歴史文化に関する情報発信	市民講座実施件数・企画展示の開催件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値	4	4	4	4	4
							実績値	3				
						%	達成率	75.0				
	2	—		☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値					
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	資料館入館者数	令和３年７月開館以後の入館者数。	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
							実績値	12,404				
						%	達成率	1,240.4				
	2	講座・学校支援等実施件数	小中学校ふるさと学習支援や地域学習の件数、（ジオパーク活動を含む）	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	80	件	目標値	103	103	103	100	100
							実績値	119				
						%	達成率	115.5				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	22 点 ／25点	4 点	22 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

活動指標の「講座・学校支援等実施件数」について、新しく開館した初年度ということもあり、資料館での見学学習活動が多く要請があったことが大きな要因となっている。コロナ感染防止のためやむをえず自粛期間もあったが、目標は達成することができている。２年目以降も学校からの要請が減少することが予想されるため、いかに維持していくかが課題と思われる。「市民講座実施件数・企画展示の開催件数」について、コロナ感染対策による「ガイド養成講座」の中断などもあり計画が立てにくい状況があったため、目標までは達成できていなかった。コロナ対策も踏まえながら新たな事業実施に向けた工夫が必要である。
成果指標１の「資料館入館者数」について、新しく開館した初年度ということで当初予想を大きく越える入館者があり、目標を達成することができている。２年目以降もいかに入館者数の減少に歯止めをかけ、維持していくかが課題と思われる。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

新型コロナウイルス蔓延防止対策のため、一部達成できなかった指標もあるが、新資料館開館に伴う入館者の増加、小中学校の見学による入館者数の増加があり、資料館運営事業は大きな成果があったといえる。今後、入館者の減少は想定されることであるので、企画展示やＰＲ活動などを行い、今までに収集した歴史資料・情報を市民に還元することが求められる。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
157005	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	文化財係

事業	文化財保護事業	細事業	指定文化財等調査保護事業（単独）	実施計画事業	指定文化財等調査保護事業（単独）	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 373 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	4
決算	159

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	5 文化財等の保存・継承
施策展開	①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進
後期基本計画	92 P ☑ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
	第４次豊後大野市総合教育計画
	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
旧緒方村役場庁舎改修工事請負費	87,086
工事監理委託料	4,527
指定文化財管理委託料	2,676
修繕料	545

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 指定文化財を始め埋蔵文化財の調査保護を行い、情報公開を進める中で、市民の保護意識の高揚を図る ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・指定文化財の保存復元の実施、及び保存修理の支援による維持管理を図る ・樹木伐採や除草などの環境整備や、看板や手摺等補修による文化財の利活用の促進	R3	市内の指定文化財の維持管理や環境整備などの保護業務を行い、また補修に対する援助を行った。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	95,750			62,500	33,250
当初予算	95,750			62,500	33,250
決 算 額	36,561			1,200	35,361
R４計画	30,000				30,000
当初予算	3,937			2,500	1,437
決 算 額					
R５計画	30,000				30,000
当初予算					
決 算 額					
R６計画	30,000				30,000
当初予算					
決 算 額					
R７計画	30,000				30,000
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	215,750			62,500	153,250
当初予算	99,687			65,000	34,687
決 算 額	36,561			1,200	35,361

		評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1	文化財を国指定にするための調査、指定件数	文化財の調査・記録保存や市民への調査実績公開件数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	3	件	目標値	2	2	2	2	2
							実績値	1				
						%	達成率	50.0				
	2	文化財保存活用地域計画の策定	文化財保存活用地域計画の策定数	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画		件	目標値			1	1	1
							実績値					
						%	達成率					
D 成果指標	1	文化財指定件数	指定・登録文化財の件数	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	505	件	目標値	505	505	502	502	502
							実績値	505				
						%	達成率	100.0				
	2	－		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
							実績値					
						%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	4 点		4 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
登録有形文化財緒方村役場庁舎の改修工事についてやむをえず一部令和4年度に繰越したが、事業の遂行はできている。活動指標１の文化財調査公開件数は、コロナ対策などで現地説明などの公開事業ができず目標の達成はできなかったが、それ以外の活動指標や成果指標は達成できているため、今後も継続して取組む。	登録有形文化財緒方村役場庁舎の改修工事については、令和4年度への繰越し事業となったが6月21日に引渡しが完了したので、目標は達成できた。活動指標１の文化財調査公開件数は、新型コロナ蔓延防止対策のため埋蔵文化財発掘調査の現地説明を実施しなかった。これはやむを得ない措置である。それ以外の活動指標や成果指標は達成できており、文化財保護は自治体の責務であるので、今後も継続して取組む。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
158001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	図書館係

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館館外事業	実施計画事業	移動図書館事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 351 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	5
決算	160

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
修繕料	95
手数料	53
自動車損害保険料	35
自動車重量税	58

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 図書館の補完的機能として、移動図書館の運行と社会教育施設、教育関係施設、各種団体等に団体貸出を行い、地域住民への読書支援を行う。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 移動図書館の運行は、建替工事のため令和２年度から休止。令和４年度より再開。 団体貸出の促進。	R3	新図書館開館のため本館業務に重点を置き、移動図書館車の運行は休止した。 団体貸出の利用促進を行い、地域住民に読書支援をすることができた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	253				253
当初予算	253				253
決 算 額	162				162
R４計画	2,703				2,703
当初予算	2,367				2,367
決 算 額					
R５計画	2,703				2,703
当初予算					
決 算 額					
R６計画	2,703				2,703
当初予算					
決 算 額					
R７計画	2,703				2,703
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	11,065				11,065
当初予算	2,620				2,620
決 算 額	162				162

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 移動図書館利用者延べ人数	移動図書館利用者の年間延べ人数（令和4年度より再開）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		人	目標値		2,500	2,500	2,500	2,500
						実績値					
					%	達成率					
	2 移動図書館ステーション数	移動図書館の利用を希望する市内の幼稚園、こども園、保育園をステーションとし定期的に巡回運行をする。（令和4年度より再開）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		か所	目標値		14	14	14	14
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 移動図書館の貸出冊数	市内の幼稚園、こども園、保育園をステーションにすることで、図書館に行けない園児に対して読書の推進をする。（令和4年度より再開）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		冊	目標値		7,500	7,500	7,500	7,500
						実績値					
					%	達成率					
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	3 点	19 点 ／25点	3 点	19 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点		3 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	3 点		3 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
移動図書館車の運行は、巡回先を市内の認定こども園、保育園、幼稚園の14か所とし令和4年度より再開する。 団体貸出については、図書館が遠くて来ることが難しい方に対する読書支援のためすべての公民館図書室に実施するようお願いしたが４館のみの実施となった。	新図書館開館後、館内の運営を充実させて、来館者も旧図書館に比べ、３倍近くとなった。今後は、移動図書館車の運行を充実し、市内の認定こども園、保育園、幼稚園の14か所を巡回し、子どもたちが読書に親しむ環境を充実されたい。 また、団体貸出は、図書館が遠くて来ることが難しい方に対する読書支援のために重要であると捉えている。すべての公民館図書室と連携ができるよう取り組まれたい。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
158002	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	図書館係

事業	図書館管理運営事業	細事業	図書館館内事業	実施計画事業	図書購入事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 351 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	5
決算	160

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	2 生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
図書	62,000
消耗品費	2,710

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 新しい情報、資料の計画的な蔵書整備が行われ、市民の多様な資料要求に敏速に対応し、常に新しい情報・資料を提供する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 市民のニーズに応じた情報・資料の収集及び提供 ・蔵書の整備（新聞、雑誌、図書、ＤＶＤの整備） ・地域資料の収集 ・相互貸借（図書館間の図書貸出） ・レファレンス（調査相談）サービスの充実 ・予約、リクエスト	R3	市民のニーズに応じた情報・資料の収集し提供することができた。 蔵書の整備及び地域資料の収集（図書 21,218冊、CDブック 41点、DVD 328点） ・新聞 5紙、雑誌 136タイトル ・相互貸借（図書館間の図書貸出） ・レファレンス（調査・相談）件数 2,829件 ・予約件数 1,940件
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	64,710			32,000	32,710
当初予算	64,710			32,000	32,710
決 算 額	64,706	39,406		2,000	23,300
R４計画	52,710			25,000	27,710
当初予算	52,710				52,710
決 算 額					
R５計画	52,710			25,000	27,710
当初予算					
決 算 額					
R６計画	52,710			25,000	27,710
当初予算					
決 算 額					
R７計画	52,710			25,000	27,710
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	275,550			132,000	143,550
当初予算	117,420			32,000	85,420
決 算 額	64,706	39,406		2,000	23,300

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 図書購入冊数	購入する図書及び地域資料の冊数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	23,368	冊	目標値	18,000	15,000	15,000	15,000	15,000
						実績値	21,218				
					%	達成率	117.9				
	2 蔵書冊数	令和10年度を目標に新図書館の蔵書可能冊数167,000冊に到達するよう計画的に蔵書を整備	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	84,597	冊	目標値	86,000	88,000	90,000	95,000	100,000
						実績値	102,239				
					%	達成率	118.9				
D 成果指標	1 市民１人当たりの貸出冊数	市民１人当たりの貸出冊数。計画的に蔵書の整備を行うことで、貸出冊数の増加につながる。	☑ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	0.7	冊	目標値	3	4	4	5	5
						実績値	4.17				
					%	達成率	139.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	4 点	24 点 ／25点	4 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
蔵書計画に沿って図書の購入ができた。 新図書館の開館１周年に合わせて実施した来館者アンケートの結果（集計中）では、『資料の充実度』の問いに対し「満足」「やや満足」の回答が約92%と高い評価を得ている。 また、『レファレンスサービスの利用』の問いに対しサービスの認知度は60%で実際の利用は24%ではあるが、利用した方の満足度は98%と高い評価となった。 今後も市民のリクエスト等を参考に、図書の購入をする。	蔵書計画に沿って選書を行ない図書の購入ができたことを評価する。 新図書館の開館１周年に合わせて実施した来館者アンケートの結果をもとに、充実した資料の選書を継続していただきたい。 レファレンスサービスに関しては、県図書館等と連携しており、満足度の高いサービスを提供していることを評価する。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
158003	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	図書館係

事 業	図書館管理運営事業	細事業	図書館教育事業	実施計画事業	図書館教育事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 353 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	5
決算	160

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	2 生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する
後期基本計画 86 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
講師謝礼金	240
消耗品費	100
印刷製本費	100
食糧費	13

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 様々な学習機会の提供と読書を通じた人づくりを推進する。 対象別の講座、ワークショップ、おはなし会等の教育事業を行い、図書館利用の促進に取り組む ＜令和３年度の取組内容(計画)＞ 図書館の利用につながる教育事業の実施 ・子どもを対象とした事業 ・一般市民を対象とした事業	R3	図書館の利用につながる教育事業の実施することができた。 ・子ども（親子を含む）を対象とした事業 18回 212名参加 ・一般市民を対象とした事業 13回 132名参加
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	453				453
当初予算	453				453
決 算 額	293				293
R４計画	453				453
当初予算	453				453
決 算 額					
R５計画	453				453
当初予算					
決 算 額					
R６計画	453				453
当初予算					
決 算 額					
R７計画	453				453
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	2,265				2,265
当初予算	906				906
決 算 額	293				293

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 子ども対象事業の回数	子どもや親子を対象とした本の読み聞かせや映画上映会、季節行事を実施する。同時に図書館にある関連図書の紹介をする。	□ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	18				
					%	達成率	150.0				
	2 一般対象事業の回数	一般を対象とした本の読み聞かせや映画上映会、季節行事を実施する。同時に図書館にある関連図書の紹介をする。	□ 総合戦略 □ 個別計画		回	目標値	6	6	6	6	6
						実績値	13				
					%	達成率	216.7				
D 成果指標	1 参加者の利用者カード登録率	教育事業参加者の利用者カード登録率。教育事業に参加された方が、その後も図書館の利用につなげる。	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画		%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	95				
					%	達成率	95.0				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点		4 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
コロナ禍だったため行事の中止や延期もあったが、感染症予防対策を講じながら行事内容を工夫して実施することができた。 また、新たに「野菜づくり講習会」や「ぬいぐるみおとまり会」、日頃は撮影禁止の図書館での「新成人対象：図書館で記念写真を撮ろう！」など実施し、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持っていただき新規利用者の登録につなげることができた。 新図書館の開館１周年にあわせて実施した来館者アンケートの結果（集計中）では、『行事の充実度』の問いに対し「満足」「やや満足」の回答が91%と高い評価を得ている。 今後も図書館に興味を持っていただけるような行事を計画し、新たな利用につなげる。	コロナ感染症予防対策を講じながら様々な行事を工夫して実施していたことから、今まで図書館の利用がなかった方に興味を持っていただき新規利用者の登録につなげることができたことを評価する。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
158004	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	図書館係

事 業	図書館管理運営事業	細事業	図書館運営事業	実施計画事業	図書館運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 356 ）

会計	一般
款	10
項	5
目	5
決算	160

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	2 生涯学習の推進
施策展開	③図書館利用を推進する
後期基本計画	86 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
会計年度任用職員報酬	12,779
図書館システム機器リース料	11,567
光熱水費	3,271
電子図書館使用料	2,966

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民の学習ニーズの多様化に伴い、図書館機能の向上を図る。 また、図書館の取組や活動など情報を発信し、利用促進に努める。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ・図書館協議会の開催（年２回） ・図書館施設の環境整備 ・セルフ貸出機や自動返却機の活用による利用者のプライバシー保護 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの充実 ・電子図書館サービスの利用促進 ・ルーラル図書館の利用促進 ・大分合同新聞ＤＶＤ版の利用促進 ・広報活動（市報、ホームページ、ケーブルテレビ等） ・デジタルサイネージの活用 ・図書館通帳の発行	R3	・図書館協議会を年２回開催 ・図書館施設の環境整備 ・季節や市民のニーズに応じた特設コーナーの設置（48回） ・広報等により利用につながる図書館情報の発信ができた。 ・デジタルサイネージの活用し、行事や新刊本等の紹介ができた。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	51,888			1,224	50,664
当初予算	51,888			1,224	50,664
決 算 額	51,316	1,300		202	49,814
R４計画	50,557			24	50,533
当初予算	54,207			208	53,999
決 算 額					
R５計画	50,557			24	50,533
当初予算					
決 算 額					
R６計画	50,557			24	50,533
当初予算					
決 算 額					
R７計画	50,557			24	50,533
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	254,116			1,320	252,796
当初予算	106,095			1,432	104,663
決 算 額	51,316	1,300		202	49,814

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 図書館協議会の開催回数	図書館の円滑な運営を図るため、図書館協議会を年２回開催する。	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	3	回	目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2				
					%	達成率	100.0				
	2 ―		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 来館者数（延べ数）	図書館の来館者数（令和3年1月末開館）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	17,119	人	目標値	38,000	40,000	40,000	50,000	50,000
						実績値	78,946				
					%	達成率	207.8				
	2 ―		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
主に会計年度任用職員の報酬や図書館システム関係の経費、施設の維持管理費。 来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが目標値の2倍の78,946人であった。 今後も新型コロナウイルス感染症が蔓延することが心配されることから、電子図書館の利用を促進できるような講座等の開催について検討する必要がある。	電子図書館の利用の促進やSNS等を活用した図書館サービスの情報提供等に努められたい。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
160001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	スポーツ推進係

事 業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	各地区スポーツ振興会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 357 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	1
決算	161

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	3 スポーツの振興
施策展開	①生涯スポーツを推進する
後期基本計画 88 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
豊後大野市スポーツ推進計画	期間 H30 年度 ～ R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
各地区スポーツ振興会補助金	8,640

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 市民がスポーツを通じて、明るく、豊かな生活の実現に資するために各町にスポーツ振興会を設置し、誰もが参加できる健康づくりと体力づくりを目的としたスポーツ行事、教室等を開催するとともに、円滑な運営を図るために振興会に予算の範囲内で補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 各町のスポーツ振興会が中心となり地域の関係機関や団体と連携を図り地域の特性を活かした活動計画を策定する。健康づくりと体力づくりを目的に、誰もが生涯スポーツに親しむ機会を提供できるようスポーツ行事、教室等を開催する。	R3	①三重町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：8事業を実施②清川町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：9事業を実施③緒方町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：12事業を実施④朝地町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：10事業を実施⑤大野町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：13事業を実施⑥千歳町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：5事業を実施⑦大飼町ｽﾎﾟｰﾂ振興会：15事業を実施 市内全体で115事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により43事業が中止となった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	8,640				8,640
当初予算	8,640				8,640
決 算 額	4,916				4,916
R４計画	8,640				8,640
当初予算	8,640				8,640
決 算 額					
R５計画	8,640				8,640
当初予算					
決 算 額					
R６計画	8,640				8,640
当初予算					
決 算 額					
R７計画	8,640				8,640
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	43,200				43,200
当初予算	17,280				17,280
決 算 額	4,916				4,916

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 生涯スポーツへの参加	スポーツ振興会主催のスポーツ行事等の開催数	□ 総合戦略 □ 個別計画	51	回	目標値	72	115	115	115	115
						実績値	72				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 生涯スポーツへの参加	スポーツ振興会主催のスポーツ行事等の開催数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	51	回	目標値	72	115	115	115	115
						実績値	72				
					%	達成率	100.0				
	2 －		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
＜事業評価＞ 令和２年度、３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事、教室や研修会等の開催を中止せざるを得ない状況であったことから、コロナ前の実績どおりには開催ができない状態であった。また、感染対策を施したスポーツ行事等の企画・運営は定着定してきたが、スポーツ行事、教室や研修会が中止、延期となりスポーツを行う意識の低下が心配される。 ＜今後の進め方（課題・改善策等＞ ウイズコロナ及びアフターコロナの社会におけるスポーツ活動を推進するため、各町スポーツ振興会及び事務局のここからプラスと連携し、既に開催されたイベントや大会などの感染症予防対策ノウハウを収集し、生涯スポーツに親しみやすいスポーツ行事、教室や研修会等の新たな企画・運営を進めて行く。 また、地域の関係機関、団体の協力は不可欠と捉えており、地域スポーツ活動への協議・協力関係の更なる構築をめざす。 さらに、スポーツニーズは多様化していることから、地域ごとにスポーツ活動の実情を把握し、課題やニーズに対応するとともに、特に若者から高齢者に人気のスポーツを支援することで、健康志向の拡大を図る必要があると捉えている。	スポーツ活動を推進するため、関係機関と連携し、生涯スポーツに親しみやすいスポーツ行事、教室や研修会等の新たな企画・運営を進めて行く必要がある。そのためには、スポーツニーズ及び実情の把握に努め、情報の発信を強化する必要がある。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
160001	2

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	スポーツ推進係

事 業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	スポーツ協会補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 361 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	1
決算	161

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	3 スポーツの振興
施策展開	③競技スポーツを振興する
後期基本計画	88 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
豊後大野市スポーツ推進計画	期間 H30 年度 ～ R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
スポーツ協会補助金	12,380

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
市民のスポーツを推進し、市民の体力の向上とスポーツ精神の高揚と、心身共に健全で活力にみちた市民生活の実現を図ることを目的に組織された豊後大野市スポーツ協会の積極的な事業の推進と円滑な運営を図るための経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
豊後大野市スポーツ協会事業計画
①市民体育大会（種目部別に７月から１１月の期間に開催）
②第１４回豊後大野市小中学生水泳記録会
③第７４回大分県民スポーツ大会
④第１７回豊後大野市少年少女駅伝競走大会
⑤第７５回大分県民体育大会（ スキー競技 ）
⑥春季県体・第６４回県内一周大分合同駅伝競走大会
⑦スポーツ指導者研修会の開催

年度	主な活動実績
R3	①市民体育大会（７月から１１月の期間に９種目を開催） ②第１４回豊後大野市小中学生水泳記録会／18種目に男子30名、女子19名参加） ③第７４回大分県民スポーツ大会（中止） ④第１７回豊後大野市少年少女駅伝競走大会（中止） ⑤第７５回大分県民体育大会・ スキー競技 参加取下げ ⑥春季県体・第６４回県内一周大分合同駅伝競走大会（中止） ⑦スポーツ指導者研修会の開催（4回開催）
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	12,380				12,380
当初予算	12,380				12,380
決 算 額	6,139				6,139
R４計画	12,935				12,935
当初予算	12,935				12,935
決 算 額					
R５計画	12,935				12,935
当初予算					
決 算 額					
R６計画	12,935				12,935
当初予算					
決 算 額					
R７計画	12,935				12,935
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	64,120				64,120
当初予算	25,315				25,315
決 算 額	6,139				6,139

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績（市スポーツ協会加盟２８種目部別の競技団体）	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		位	目標値	9	9	9	9	8
						実績値					
					%	達成率					
	2 スポーツ少年団指導者の育成	公認スポーツ少年団指導者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	137	名	目標値	140	140	140	140	140
						実績値	119				
					%	達成率	85.0				
D 成果指標	1 競技力の向上	県民スポーツ大会の成績（市スポーツ協会加盟２８種目部別の競技団体）	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		位	目標値	9	9	9	9	8
						実績値					
					%	達成率					
	2 スポーツ少年団への加入率	加入者数／児童生徒数	☐ 総合計画 ☑ 総合戦略 ☐ 個別計画	36.1	%	目標値	45	45	45	45	50
						実績値	33.3				
					%	達成率	74.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

＜事業評価＞
新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事、教室や研修会等の開催を中止せざるを得ない状況であったことから、コロナ前の実績どおりには開催できなかった。
また、感染対策を施したスポーツ行事等の企画・運営は定着してきたが、スポーツを行事、教室や研修会等が中止、延期となりスポーツを行う意識の低下が心配される。

＜今後の進め方（課題・改善策等）＞
ウイズコロナ及びアフターコロナの社会におけるスポーツ活動を推進するため、スポーツ協会を中心に、競技スポーツ活動、スポーツ少年団活動の支援を行う。
また、人口減少に伴う競技人口の減少や競技力の低下、スポーツ指導者の確保などの課題解決に向けて、関係機関、団体が連携して取組める環境づくりの方策を検討していく必要がある。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

スポーツ協会の事業に関して、コロナ感染防止対策により中止あるいは廃止となった事業もあったが、競技力の維持または向上を図るために、関係機関と連携して、コロナ禍における事業の実施方法等を共有することが必要であると考える。
また、中体連の地域移行やスポーツ少年団指導者の資格制度の改正等による補助金の見直しを検討する必要がある。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
160001	3

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	スポーツ推進係

事業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	各種スポーツ大会出場補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 361 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	1
決算	161

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	3 スポーツの振興
施策展開	③競技スポーツを振興する
後期基本計画	88 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
豊後大野市スポーツ推進計画	期間 H30 年度 ～ R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
各種スポーツ大会出場補助金	1,800

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容

＜事業の目的＞
市民のスポーツ水準の向上、振興を図るため、市民等が各体育大会及び競技大会等に出場した場合の経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

＜令和３年度の取組内容（計画）＞
国、県、公益財団法人日本スポーツ協会の加盟団体（属する専門部も含む。）が主催、若しくは共催し、県大会等以上の予選会を経てその代表として出場する大会とする。
(1) 九州大会
(2) 西日本大会
(3) 全国大会
(4) 世界大会

年度	主な活動実績
R3	令和３年度の実績は、１３団体・個人、延べ89人が九州大会以上の大会に出場 全国・西日本大会 7団体39人 九州大会 6団体延べ50人
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,800				1,800
当初予算	1,800				1,800
決算額	872				872
R４計画	1,800				1,800
当初予算	1,800				1,800
決算額					
R５計画	1,800				1,800
当初予算					
決算額					
R６計画	1,800				1,800
当初予算					
決算額					
R７計画	1,800				1,800
当初予算					
決算額					
計画額	9,000				9,000
当初予算	3,600				3,600
決算額	872				872

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 全国大会・西日本大会	出場選手数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
						実績値	39				
					%	達成率	100.0				
	2 九州大会	出場選手数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
						実績値	50				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 全国大会・西日本大会	出場選手数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		選手数	目標値	39	70	70	70	70
						実績値	39				
					%	達成率	100.0				
	2 九州大会	出場選手数	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画		選手数	目標値	50	88	88	88	88
						実績値	50				
					%	達成率	100.0				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価

評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

＜事業評価＞
令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ大会の中止が相次ぎ九州大会以上出場の実績はなかったが、令和３年度は、１３団体・個人、延べ89人が九州大会以上の大会に出場することができた。
市長へ表敬訪問をし激励を受けることや新聞等に掲載されることにより、選手・指導者の競技意欲にもつながっていると捉えている。

＜今後の進め方（課題・改善策等＞
競技スポーツに取り組む選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営みであり、スポーツ大会で活躍する選手の姿は、市民に夢と感動を与えスポーツへの関心を高めるとともに、活力ある地域社会の形成に寄与している。
今後も競技スポーツに取り組む選手、指導者へ、九州大会以上に入賞した場合に感謝状を贈呈するスポーツ顕彰制度と九州大会以上に出場する団体・個人への補助金制度を継続し、スポーツ競技意欲の喚起を促して行く。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

競技スポーツに取り組む選手、指導者へ、九州大会以上に出場する団体・個人に対し、補助金または激励費を市長から渡すことにより、スポーツ競技に対する意欲の向上に繋がっていることを評価する。
義務教育課程の児童・生徒が県予選を経て九州大会以上の大会に出場する場合は、教育委員会で激励のことばをかけることも検討されたい。

I 令和５年度の事業の方向性 ⇨ A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
160001	4

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	スポーツ推進係

事 業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	総合型地域スポーツクラブ活動支援補助事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 357 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	1
決算	161

政 策	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	3 スポーツの振興
施策展開	①生涯スポーツを推進する
後期基本計画 88 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
豊後大野市スポーツ推進計画	期間 H30 年度 ～ R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金	3,150

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ スポーツ基本法の基本理念に基づき、市民が地域における文化・スポーツ活動等の振興を図り、会員及び青少年の健全な心身を育成するとともに、会員相互の親睦通じ、地域の活性化・地域社会の連帯に資することを目的に、必要とする地域に総合型地域スポーツクラブの設立準備及び育成を図るため、予算の範囲内で補助金を交付する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ みえスポーツクラブ、おがたいきいきスポーツクラブネスト、特定非営利活動法人朝地フレンドクラブの特性を活かした活動計画を策定し会員の体力向上と健康増進を図る。 (1) 定期的なクラブ活動等の実施 (2) 年間計画に基づくクラブ行事等の開催 (3) 会員相互の親睦を図るための行事の開催 (4) 地域住民のスポーツ活動や地域づくりに資するボランティア活動 (5) 会員の健康・体力相談事業 (6) 他の機関、団体などが開催するスポーツ行事等への参加 (7) クラブの目的達成及び設立準備のために必要な事業	R3	①みえスポーツクラブ：11事業を実施（5事業中止）、会員数300名 ②おがたいきいきスポーツクラブネスト：10事業を実施（5事業中止）、会員数140名 ③朝地フレンドクラブ：19事業を実施（10事業中止）、会員数196名 新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの活動が実施できなかった。
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	3,150				3,150
当初予算	3,150				3,150
決 算 額	3,150				3,150
R４計画	3,150				3,150
当初予算	3,150				3,150
決 算 額					
R５計画	3,150				3,150
当初予算					
決 算 額					
R６計画	3,150				3,150
当初予算					
決 算 額					
R７計画	3,150				3,150
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	15,750				15,750
当初予算	6,300				6,300
決 算 額	3,150				3,150

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	□ 総合戦略 □ 個別計画	628	名	目標値	720	720	720	720	720
						実績値	636				
					%	達成率	88.3				
	2 ―		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 地域スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの会員数	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	628	名	目標値	720	720	720	720	720
						実績値	636				
					%	達成率	88.3				
	2 ―		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	23 点 ／25点	5 点	23 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

＜事業評価＞
令和２年度、３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ行事、教室や研修会等の開催を中止せざるを得ない状況であったことから、コロナ前どおりには開催できない状況であった。また、感染対策を施したスポーツ行事等の企画・運営は定着してきたが、スポーツ行事、教室や研修会が中止、延期となりスポーツを行う意識の低下が心配される。

＜今後の進め方（課題・改善策等）＞
スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とする総合型地域スポーツクラブの育成支援に取り組むとともに、自立に向けた活動を引続き支援して行く。
運動部活動の地域移行に関し、令和５年度の開始から令和７年度末をめどに休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことがスポーツ庁より示されている。本市では、学校と地域のニーズを踏まえた総合型地域スポーツクラブ等との連携に関する調査研究を 目的に、朝地フレンドクラブと朝地小中学校が、令3年度学校部活動改革サポート事業「新たな学校部活動改革に向けたを調査研究（部活動地域移行型）」に取り組んでいる。今後も国・県の動向を注視するとともに、学校教育課と連携し新たなスポーツ環境の構築準備を進める。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

中学校運動部活動を地域移行していく方向であることから、市内に3つある総合型スポーツクラブへの説明と情報共有を図り、受け皿の体制を構築するよう努めること。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
160001	5

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	社会教育課	係名	スポーツ推進係

事 業	スポーツ推進総務事業	細事業	スポーツ推進総務事業	実施計画事業	スポーツ推進委員	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 357 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	1
決算	161

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	3 スポーツの振興
施策展開	①生涯スポーツを推進する
後期基本計画 88 P	□ 過疎計画 □ 総合戦略 □ コロナ充当

個別計画名	
豊後大野市総合教育計画	期間 R3 年度 ～ R7 年度
豊後大野市スポーツ推進計画	期間 H30 年度 ～ R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
報酬	1,750

A 事業目的・内容・実績

＜事業の目的＞
スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第32条第2項の規定に基づき、市内7町にスポーツ推進委員を35名配置し、生涯スポーツの推進に寄与することを目的とする。

＜令和３年度の取組内容(計画)＞
スポーツ推進委員は、スポーツの普及・振興を図るためスポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図る研修会を開催するとともに、市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営に携わり生涯スポーツの普及を図る。

年度	主な活動実績
R3	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、竹田地区スポーツ推進委員協議会が主催する研修会を10月に神楽会館で開催し、「オリンピックへの道のり」について豊後大野市ふるさと大使の矢澤亜季氏の講演会を開催した。また、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わった。
R4	
R5	
R6	
R7	
R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	1,750				1,750
当初予算	1,750				1,750
決 算 額	1,750				1,750
R４計画	1,750				1,750
当初予算	1,750				1,750
決 算 額					
R５計画	1,750				1,750
当初予算					
決 算 額					
R６計画	1,750				1,750
当初予算					
決 算 額					
R７計画	1,750				1,750
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	8,750				8,750
当初予算	3,500				3,500
決 算 額	1,750				1,750

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 推進委員の配置	市内7町に３５名のスポーツ推進委員を配置し、生涯スポーツの普及を図る。	□ 総合戦略 □ 個別計画	35	名	目標値	35	35	35	35	35
						実績値	35				
					%	達成率	100.0				
	2 —		□ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 会議・研修会の開催	地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、会議・研修会開催する。	□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画	9	回	目標値	12	12	12	12	12
						実績値	10				
					%	達成率	83.3				
	2 —		□ 総合計画 □ 総合戦略 □ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象	（対象外事業はF～I欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	24 点 ／25点	5 点	24 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	4 点		4 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等

＜事業評価＞
地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会開催するとともに、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及に努めている。

＜今後の進め方（課題・改善策等）＞
地域のスポーツに関わる指導者の資質の向上と育成に努め、スポーツ・リーダーとしてのレベルアップを図るため、研修会開催するとともに、スポーツ振興会事業や市内で開催される各種スポーツイベントの企画立案・運営、指導に携わり生涯スポーツの普及を推進する。
また、地域スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員と連携し、運動部活動の地域移行や人口減少にともなう生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を進めて行く。

H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見

スポーツ推進委員と連携し、情報共有をしていることは評価する。運動部活動の地域移行や人口減少にともなう生涯スポーツの普及の方策など諸課題についても協議を進めること。

I 令 和 5 年 度 の 事 業 の 方 向 性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
161001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事務事業評価調書

課局名	社会教育課	係名	スポーツ推進係

事業	スポーツ施設管理事業	細事業	スポーツ施設管理事業	実施計画事業	大原総合体育館指定管理委託事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 359 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	2
決算	162

政策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施策	3 スポーツの振興
施策展開	②スポーツ施設を整備する
後期基本計画	88 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名		期間
豊後大野市総合教育計画	R3 年度 ～	R7 年度
スポーツ推進計画	H30 年度 ～	R9 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
委託料	27,000

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 本市における生涯スポーツ活動の拠点として、また市民の健康づくりとスポーツ振興及び世代間の交流活動等を支援する施設として大原総合体育館を設置している。 管理運営については、指定管理者である「豊後大野市スポーツ振興協議会」に委託しスポーツの普及振興に関する事業推進、施設の適切な維持管理を実施する。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ 豊後大野市スポーツ推進計画に基づき、市民の健康づくりの拠点施設として健康増進、地域スポーツの振興、スポーツを通じたまちづくりを行うとともに、市民の求めるサービスの向上に努める。指定管理者制度の導入による効率的な施設の維持管理を行い経費の節減に努め利益を追求する。 ①施設の適切な管理運営 ②施設の効率的な運営及び利用促進 ③市民のためのスポーツの自主事業の実施 ④職員のための各種教育訓練の実施 ⑤新型コロナウイルスの感染予防の徹底	R3	①プール、トレーニング室 ○施設利用者数　49,267人 ②体育館、研修室 ○施設利用者数　45,149人 計　94,416人
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	27,000				27,000
当初予算	27,000				27,000
決算額	27,000				27,000
R４計画	30,000				30,000
当初予算	28,000				28,000
決算額					
R５計画	30,000				30,000
当初予算					
決算額					
R６計画	30,000				30,000
当初予算					
決算額					
R７計画	30,000				30,000
当初予算					
決算額					
計画額	147,000				147,000
当初予算	55,000				55,000
決算額	27,000				27,000

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 施設利用者数	プール、トレーニング室、体育館、研修室の延べ利用者数	☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	76,785	人	目標値	94,416	118,500	119,700	121,000	122,300
						実績値	94,416				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					
D 成果指標	1 施設利用料等	施設運営総収入利益	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画	21,465	千円	目標値	27,607	30,426	30,734	31,067	31,401
						実績値	27,607				
					%	達成率	100.0				
	2 －		☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☐ 個別計画			目標値					
						実績値					
					%	達成率					

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況（率）は計画どおり推移しているか	１ → ２ → ３ → ４ → ５ 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
＜課題、改善策等＞ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、スポーツ大会、イベントの開催、大学の合宿の受け入れ等ができず利用者数を増やすことができなかった。また、まん延防止等重点措置適用においての臨時休館による影響も大きかった。今後は、利用促進のための広報活動の推進、スポーツツーリズムによる合宿や大会の誘致を図っていく必要がある。	利用の促進を図るためホームページの作成を検討すること。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

（様式１）

事業番号	枝番
162001	1

（令和 3 年度計画） 総合計画実施計画書（兼進捗管理）
（令和 3 年度決算） 事 務 事 業 評 価 調 書

課局名	学校教育課	係名	学校給食係

事 業	給食共同調理場運営事業	細事業	給食共同調理場運営事業	実施計画事業	給食共同調理場運営事業	終了年度	なし

総合計画体系図No.→（ 331 ）

会計	一般
款	10
項	6
目	3
決算	163

政 策	V 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち
施 策	1 学校教育の充実
施策展開	②教育体制を充実する
後期基本計画	84 P ☐ 過疎計画 ☐ 総合戦略 ☐ コロナ充当

個別計画名	
第4次豊後大野市総合計画	期間 R 3 年度 ～ R 7 年度
	期間 年度 ～ 年度

令和 3 年度 主な歳出名称	当初予算額
賄材料費	135,962
学校給食共同調理場調理業務委託料	108,636
光熱水費	26,589
機械器具費	70,366

A 事業目的・内容・実績

事業の目的と内容	年度	主な活動実績
＜事業の目的＞ 給食に地元食材を活用し、生産者や地域の食文化を理解していただくとともに、食に関する指導の充実を図る。 ＜令和３年度の取組内容（計画）＞ ●給食共同調理場運営事業 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,744食（関係教職員含む） 調理場施設の状況…三重学校給食共同調理場・西部学校給食共同調理場の2施設 〇市内・県内産食材の活用〇施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上〇給食配送業務の外部委託　委託先：（社）豊肥地域シルバー人材センター〇給食調理業務の外部委託	R3	●給食共同調理場運営事業(完全給食の実施) 市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒への給食数…2,744食（関係教職員含む） 〇市内・県内産食材の活用〇施設のドライシステムによる調理の安全性や衛生面の向上〇給食配送業務の外部委託(豊肥地域シルバー人材センター)〇給食調理業務の外部委託〇食の指導の実施
	R4	
	R5	
	R6	
	R7	
	R3 ～ R7 合 計	

B 事業計画額・決算額等

（単位：千円）

	事業費計	財源内訳 国県支出金	地方債	その他	一般財源
R３計画	396,061			164,624	231,437
当初予算	396,061			164,624	231,437
決 算 額	380,172			157,061	223,111
R４計画	310,000			125,322	184,678
当初予算	402,022	4,400		130,651	266,971
決 算 額					
R５計画	310,000			122,815	187,185
当初予算					
決 算 額					
R６計画	310,000			120,359	189,641
当初予算					
決 算 額					
R７計画	310,000			117,952	192,048
当初予算					
決 算 額					
計 画 額	1,636,061			651,072	984,989
当初予算	798,083	4,400		295,275	498,408
決 算 額	380,172			157,061	223,111

	評価指標名	指標値の説明（算出方法等）	各計画指標	R２実績値	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7
C 活動指標	1 食の指導	三重管内　100回　西部管内　100回 計画によるもの（各管内週2回～3回） 200回以上	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	196	回	目標値	200	200	200	200	200
						実績値	210				
					%	達成率	105.0				
	2 給食の実施数	管内給食実施施設　24カ所	☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100				
					%	達成率	100.0				
D 成果指標	1 学校給食における地場産品の 使用割合	大分県産品調査による　75%以上	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	77	%	目標値	75	75	75	75	75
						実績値	75				
					%	達成率	100.0				
	2 学校給食費の収納率	現年度分収納率　97%以上	☐ 総合計画 ☐ 総合戦略 ☑ 個別計画	97.4	%	目標値	97	97	97	97	97
						実績値	97.2				
					%	達成率	100.2				

E 評価対象外の理由	0 評価対象

（対象外事業はＦ～Ｉ欄未記入 可）

F 評価	評価項目／５つの視点（１～５点で評価）		一次評価（係長） 評価点	評価点合計	二次評価（課長等） 評価点	評価点合計
	1．市民満足（市民アンケート）の向上が期待できる事業内容となっているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	25 点 ／25点	5 点	25 点 ／25点
	2．事業の優先度は高いと思うか（同じ成果指標設定事業内での優先度）	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点	
	3．事業計画どおりに事業を進めることができたか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 できなかった ⇒ できた	5 点		5 点	
	4．活動指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	
	5．成果指標の達成状況(率)は計画どおり推移しているか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 推移していない ⇒ 推移した	5 点		5 点	

G 【担当係長の意見・課題・改善策等】 ※今後の事業の進め方等	H 【担当課長職等の所見】 ※評価・改善策等を踏まえた課長職等の所見
①コロナに伴い、給食費を払えない家庭が、漸増している。滞納額が多くなる前に対応が必要。世帯訪問の実施 ②滞納に対する法的措置にスムーズに移行できる体制整備が必要。支払督促等制度の利用 ③計画的な修繕の実施	これまで同様に安心安全な給食を安定して提供を行う。 滞納に対しての体制整備が必要である。

I 令和５年度の事業の方向性	⇨	A. 現状のまま継続

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 自衛官募集事務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実	254	66	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
3001		1		自衛官募集事務事業	①防災体制を強化する			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進	289	74	9 その他（評価が困難な事務事業）
3003		1		行政区運営交付金事業	①地域コミュニティを育成する			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 総務一般事務費	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 1 地域コミュニティ活動の推進	289	74	9 その他（評価が困難な事務事業）
3003		2		自治連合会交付金事業	①地域コミュニティを育成する			
総務課総務係	2	1	1	総務一般管理事業 感染症予防対策事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	118	38	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
3008		1		感染症対策事業	②疾病予防を推進する			
まちづくり推進課企画調整係	2	1	7	旧緒方工業跡地整備事業 旧緒方工業跡地整備事業	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 4 主体的で計画的な行財政運営の推進	319	80	8 公共施設（箱物）の新築や大規模改修
280001		1		旧緒方工業跡地整備事業	③社会インフラの老朽化等への適切な対応			
まちづくり推進課企画調整係	2	1	8	土地利用対策事業 土地利用対策事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 4 土地利用・景観の整備	204	58	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
16001		1		土地利用対策事業	①都市計画区域を整備する			
総務課総務係	2	1	14	庁舎等整備事業 庁舎等整備事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実	254	66	8 公共施設（箱物）の新築や大規模改修
283009		1		庁舎等整備事業	①防災体制を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 一般旅券発給事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	273	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29002		1		一般旅券発給事業	①適正な情報管理を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 外国人登録事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	271	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29003		1		外国人登録事業	①適正な情報管理を強化する			
市民生活課戸籍住民係	2	3	1	戸籍住民基本台帳事業 人口動態調査事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
29004		1		人口動態調査事業	①適正な情報管理を強化する			
選挙管理委員会事務局選挙係	2	4	1	選挙管理委員会事業 選挙管理委員会事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	277	71	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
30001		1		選挙管理委員会事業	②広聴・広報活動を充実する			
選挙管理委員会事務局選挙係	2	4	3	市長・市議会議員選挙事業 市長・市議会議員選挙事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	277	71	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
32001		1		市長・市議会議員選挙事業	②広聴・広報活動を充実する			
まちづくり推進課企画調整係	2	5	1	統計調査事業 統計調査事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 10 情報管理、情報化の推進	272	71	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
250001		1		統計調査事業	①適正な情報管理を強化する			

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係交付金 民生・児童委員活動費等交付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
41001		1						
社会福祉課福祉監査係	3	1	1	民生・児童委員関係事業 民生・児童委員関係事務費 民生・児童委員関係事務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実 ②災害時における地域福祉を支援する	127	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
41003		1						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	地域生活支援事業 福祉ホーム運営補助金 福祉ホーム運営補助事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
43012		1						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	地域生活支援事業 その他地域生活支援事務費 施設入所者就職支度金給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
43014		3						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 高額介護サービス事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
44011		2						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 特定障害者特別給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
44011		3						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 計画相談支援給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
44011		4						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 障害児通所給付高額介護サービス事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
44011		6						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 障害児通所給付相談支援給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	157	46	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
44011		7						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 障害福祉サービス事業 児童発達支援等利用者負担給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ①地域生活支援事業及び障がい福祉サービスの充実	158	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
44011		8						
社会福祉課障がい支援係	3	1	2	障害福祉サービス事業 その他障害福祉サービス事務費 身体障害者福祉協議会補助事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 5 障がい者福祉の充実 ②地域生活支援拠点等の整備と充実	160	46	9 その他（評価が困難な事務事業）
44012		1						
市民生活課国保年金係	3	1	3	国民年金事務取扱事業 国民年金事務取扱事業 国民年金事務取扱事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ③国民年金制度の健全な運営を推進する	167	48	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
45001		1						
市民生活課国保年金係	3	1	6	国民健康保険特別会計繰出事業 国民健康保険特別会計繰出事業 国民健康保険特別会計繰出事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実 ②国民健康保険制度の健全な運営を推進する	164	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
49001		1						

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
高齢者福祉課介護保険係	3	2	4	介護保険事業 介護サービス利用者支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実	143	44	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
53001		1		介護サービス利用者支援事業	①介護サービスを充実する			
高齢者福祉課介護保険係	3	2	4	介護保険事業 介護保険特別会計繰出金	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 4 高齢者福祉の充実	143	44	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
53002		1		介護保険特別会計繰出金事業	①介護サービスを充実する			
市民生活課国保年金係	3	2	6	後期高齢者医療療養給付等事務事業 後期高齢者医療療養給付等事務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 6 社会保障の充実	171	48	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
55001		1		後期高齢者医療療養給付等事務事業	④後期高齢者医療制度の健全な運営を推進する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
409002		2		1号補正給付事業（低所得の子育て世帯）	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 特別児童扶養手当取扱交付金	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
56001		1		特別児童扶養手当取扱交付金事業	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童措置費負担金徴収事務	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
56002		1		児童措置費負担金徴収事務事業	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	134	42	9 その他（評価が困難な事務事業）
56005		2		子育て支援従事者スキルアップ事業補助事業	②保育サービスを充実する			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	児童福祉総務事業 児童福祉事務費	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	136	42	9 その他（評価が困難な事務事業）
56005		5		保育補助者雇上強化事業	②保育サービスを充実する			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 保育対策等促進事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	135	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
57013		6		施設等利用給付事業	②保育サービスを充実する			
子育て支援課家庭支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 子育て世代包括支援センター事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
57015		10		不妊治療助成事業	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
57017		1		感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	①子育て支援サービスを充実する			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（病児・病後児保育）	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
57018		1		感染症予防対策事業（病児・病後児保育）	②保育サービスを充実する			
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（延長保育）	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
57021		1		感染症予防対策事業（延長保育）	②保育サービスを充実する			

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
子育て支援課こども支援係	3	3	1	子ども・子育て支援事業 感染症予防対策事業（一時預かり保育） 感染症予防対策事業（一時預かり保育）	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
57022		1						
子育て支援課こども支援係	3	3	1	児童手当事業 児童手当事業 児童手当事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
58002		1						
子育て支援課こども支援係	3	3	1	放課後児童健全育成事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
59002		1						
子育て支援課こども支援係	3	3	2	教育・保育施設運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
61006		1						
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業 児童扶養手当給付事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
63001		1						
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子生活支援施設措置事業 母子生活支援施設措置事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
64001		1						
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業 母子・父子家庭自立支援給付金事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
64002		1						
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子寡婦福祉資金貸付金徴収事務 母子寡婦福祉資金貸付金徴収事務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
64003		1						
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	母子家庭等自立支援事業 母子・父子自立支援事業 母子・父子自立支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
64006		1						
子育て支援課家庭支援係	3	3	3	ひとり親家庭医療助成事業 ひとり親家庭医療費助成事業 ひとり親家庭医療費助成事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
65001		1						
子育て支援課こども支援係	3	3	4	児童館管理運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	132	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
66004		1						
子育て支援課緒方保育園	3	3	5	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業（緒方保育園） 感染症予防対策事業（緒方保育園）	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ②保育サービスを充実する	136	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
67004		1						
子育て支援課緒方保育園	3	3	5	公立教育・保育施設管理運営事業 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点） 感染症予防対策事業（地域子育て支援拠点）	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実 ①子育て支援サービスを充実する	129	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
67005		1						

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害緊急援助事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
70001		1		災害緊急援助事業	②災害時における地域福祉を支援する			
社会福祉課福祉監査係	3	5	1	災害救助事業 災害被災者住宅再建支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 2 地域福祉の充実	128	40	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
70002		1		災害被災者住宅再建支援事業	②災害時における地域福祉を支援する			
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
71007		1		骨髄移植ドナー支援事業助成事業	③地域医療環境を充実する			
市民生活課親子健康係	4	1	1	母子保健事業 保健衛生総務事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	122	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
71007		2		小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	③地域医療環境を充実する			
子育て支援課こども支援係	4	1	1	子ども医療費助成事業 未熟児養育医療費助成事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 3 結婚・出産・子育て支援の充実	133	42	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
73002		1		未熟児養育医療費助成事業	①子育て支援サービスを充実する			
市民生活課健康づくり支援係	4	1	1	地域医療推進事業 医療提供体制強化支援事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	118	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
74004		1		病院事業特別会計	②疾病予防を推進する			
市民生活課健康づくり支援係	4	1	2	予防接種事業 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	Ⅱ 豊かな福祉社会の実現を目指すまち 1 保健・医療サービスの充実	117	38	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
76005		1		新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	②疾病予防を推進する			
環境衛生課環境衛生係	4	1	3	環境衛生事業 奥嶽川水質監視事務委託事業	Ⅵ 豊かな自然を未来に残し伝えるまち 2 環境保全の推進	403	100	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
78001		1		奥嶽川水質監視事務委託事業	①環境保全対策を推進する			
上下水道課工務係／管理係	4	1	5	水道事業 水道事業	Ⅲ 豊かくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	187	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
80001		1		水道事業	①上水道等を整備する			
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽法に関する事務	Ⅲ 豊かくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
83003		1		浄化槽法に関する事務事業	②生活排水処理を推進する			
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 農業集落排水事業	Ⅲ 豊かくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
83004		1		農業集落排水事業	②生活排水処理を推進する			
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 公共下水道事業	Ⅲ 豊かくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
83005		1		公共下水道事業	②生活排水処理を推進する			
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 浄化槽市町村整備推進事業	Ⅲ 豊かくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	192	54	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
83006		1		浄化槽市町村整備推進事業	②生活排水処理を推進する			

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
上下水道課工務係／管理係	4	2	2	生活排水処理事業 生活排水事務費	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 2 上下水道の整備	193	54	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
83007		1		生活排水事務事業	②生活排水処理を推進する			
農業委員会事務局農地管理係	6	1	1	農業委員会事業 農業者年金事務取扱事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
87002		1		農業者年金事務取扱事業	⑤農地利用の最適化を推進する			
農業委員会事務局農地管理係	6	1	1	農業委員会事業 農地売買支援事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	38	24	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
87004		1		農地売買支援事業	⑤農地利用の最適化を推進する			
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業 大規模園芸リース団地整備事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
95003		1		ブランドを育む園芸産地育成支援事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業 野菜価格安定対策事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
95004		1		野菜価格安定対策事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業 団体負担金	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	5 繰出基準等に基づく他会計への繰出金 （負担金補助金含む）
95006		1		団体負担金事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
農業振興課農業振興係	6	1	4	園芸振興事業 園芸振興事務費	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興	10	23	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
95010		1		園芸振興事務事業	②収益力の向上をめざした生産振興			
商工観光課観光振興係	7	1	3	観光誘客促進事業 誘客対策強化事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 5 観光の振興	101	32	9 その他（評価が困難な事務事業）
405002		1		誘客対策強化事業	④新しい観光のあり方への取組			
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備	175	52	9 その他（評価が困難な事務事業）
121001		1		道路台帳作成整備委託事業	①市道を整備する			
建設課建設企画係	8	2	1	道路橋梁総務事業 道路橋梁総務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備	178	52	4 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
121001		2		県営道路事業負担金事業	②国道・県道の整備を促進する			
建設課道路保全係	8	2	2	市道維持管理事業 市道維持管理事務費	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 1 交通ネットワークの整備	177	52	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
122003		1		市道維持管理事務事業	①市道を整備する			
建設課道路保全係	8	3	1	急傾斜地崩壊対策事業 県営急傾斜地崩壊対策事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実	257	66	4 国県が河川、道路等を直轄で行う事業で、市がその経費の一部を法律等で負担しなければならない負担金事業
277002		1		県営急傾斜地崩壊対策事業	②災害危険区域を整備する			
学校教育課教育総務係	10	1	1	教育委員会運営事業 教育委員会運営事業	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 2 協働によるまちづくりの推進	295	76	1 職員人件費、市議会議員報酬、特定の事務事業に属さない委員会委員報酬
136001		1		教育委員会運営事業	①協働の仕組みづくりと意識を高める			

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 人権・部落差別解消教育研究大会補助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001		1						
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 三重総合高校の明日を拓く会補助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ⑤高等学校を支援する	339	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001		2						
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 教育振興特別奨学金給付事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ⑤高等学校を支援する	340	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001		3						
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 事務局運営事業 奨学金返還支援補助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	338	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
137001		4						
学校教育課教育総務係	10	1	2	教育委員会事務局事業 基金運営管理事業 基金運営管理事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
137002		1						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 日本スポーツ振興センター事業 日本スポーツ振興センター事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	336	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138001		1						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 学校教育振興協議会補助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		1						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 中学校体育連盟補助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		2						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 教員業務サポートスタッフ活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		4						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 「生理の貧困」対策事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		6						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 著作物使用料	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
138004		7						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 教育振興事業 学力向上指導員	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	333	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
138004		8						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 魅力ある学校づくり推進事業 魅力ある学校づくり推進事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	321	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
138013		1						

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
学校教育課学校教育係	10	1	3	教育振興事業 ＯＩＴＡ仕事発見・夢発見事業 ＯＩＴＡ仕事発見・夢発見事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	328	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
138016		1						
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 要保護児童生徒援助事業 要保護児童生徒援助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
139001		1						
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 特別支援教育就学奨励事業 特別支援教育就学奨励事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
139002		1						
学校教育課学校教育係	10	1	3	就学援助事業 就学援助事業 就学援助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
139003		1						
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業 スクールバス運行管理事業 スクールバス運行管理事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
140001		1						
学校教育課教育総務係	10	1	3	遠距離通学運営事業 遠距離通学事業 遠距離通学事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ④就学環境を充実する	337	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
140002		1						
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業 学校教育援助員活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		1						
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業 学校司書活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		2						
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業 学校主事活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		3						
学校教育課学校教育係	10	2	1	小学校一般管理事業 小学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
257001		4						
学校教育課教育総務係	10	2	1	小学校施設維持管理事業 小学校施設維持管理事業 小学校施設維持管理事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
258001		1						
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業 学校教育援助員活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		1						
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業 学校司書活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		2						

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業 学校主事活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		3						
学校教育課学校教育係	10	3	1	中学校一般管理事業 中学校一般管理事業 学校図書主事活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	330	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
259001		4						
学校教育課教育総務係	10	3	1	中学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
260001		1						
学校教育課学校教育係	10	3	2	中学校教育振興事業 中学校教育振興事業 各種大会等出場補助事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ①教育内容を充実する	324	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
148002		1						
学校教育課学校教育係	10	4	1	幼稚園一般管理事業 幼稚園一般管理事業 子育てのための施設等利用給付事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	332	84	2 国等からの委託をうけて実施する事業 （年金、国政・県政選挙、指定統計、外国人登録、旅券発給など／全額国等負担）
261001		2						
学校教育課教育総務係	10	4	1	幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業 幼稚園施設維持管理事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ③安心安全な教育環境をつくる	334	84	9 その他（評価が困難な事務事業）
262001		1						
社会教育課社会教育係	10	5	1	社会教育総務事業 社会教育総務事業 社会教育指導員活用事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ①生涯学習を推進する	341	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
152001		1						
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 公民館施設管理事業 公民館施設管理事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
154001		1						
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
154004		1						
社会教育課社会教育係	10	5	2	公民館管理運営事業 感染症予防対策事業 公民館図書室蔵書	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 2 生涯学習の推進 ②公民館機能を充実する	347	86	9 その他（評価が困難な事務事業）
154004		2						
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 国宝重要文化財等保存整備費事業（埋蔵文化財） 国宝重要文化財等保存整備費事業（埋蔵文化財）	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承 ①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進	372	92	9 その他（評価が困難な事務事業）
157001		1						
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 埋蔵文化財調査事業（単独） 埋蔵文化財調査事業（単独）	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承 ①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進	372	92	9 その他（評価が困難な事務事業）
157002		1						
社会教育課文化財係	10	5	4	文化財保護事業 国宝重要文化財等保存整備費事業（文化的景観） 国宝重要文化財等保存整備費事業（文化的景観）	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 5 文化財等の保存・継承 ①資料館の展示・収蔵・館外活動の充実と文化財保護の推進	372	92	9 その他（評価が困難な事務事業）
157006		1						

Ⅵ　課局別評価対象外事務事業一覧表

課係名	款	項	目	事業 細事業 実施計画事業	政策 施策 施策展開	総合計画体系図ナンバー	後期基本計画ページ	評価対象外の理由
事業番号		枝番						
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 スポーツ施設管理事業 豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画策定業務	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	360	88	9 その他（評価が困難な事務事業）
161001		2						
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 スポーツ施設管理事業 全天候型体育施設整備事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他（評価が困難な事務事業）
161001		3						
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 感染症予防対策事業 感染症予防対策事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他（評価が困難な事務事業）
161002		1						
社会教育課スポーツ推進係	10	6	2	スポーツ施設管理事業 大原総合運動公園大型複合遊具等整備事業 遊具等整備事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 3 スポーツの振興 ②スポーツ施設を整備する	359	88	9 その他（評価が困難な事務事業）
161003		1						
学校教育課学校給食係	10	6	3	給食共同調理場運営事業 給食共同調理場コロナ対策環境整備事業 環境整備事業	Ⅴ 豊かな心と学ぶ意欲を育むまち 1 学校教育の充実 ②教育体制を充実する	331	84	8 公共施設（箱物）の新築や大規模改修
162005		1						
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業 農業用施設災害復旧事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163001		1						
農林整備課基盤整備係	11	1	1	農業用施設災害復旧事業 農地等災害復旧支援事業 農地等災害復旧支援事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 1 農業の振興 ⑥農業生産基盤を整備する	41	24	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
163003		1						
農林整備課基盤整備係	11	1	2	林業用施設災害復旧事業 林業用施設災害復旧事業 林業用施設災害復旧事業	Ⅰ 豊かな生活を支えるしごとがあるまち 2 林業の振興 ②林業生産基盤を整備する	57	26	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
164001		1						
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 補助災害復旧事業 補助災害復旧事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165001		1						
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 単独災害復旧事業 単独災害復旧事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	260	66	6 市政選挙、災害復旧事業及び予備費
165002		1						
建設課道路保全係	11	2	1	道路橋梁河川災害復旧事業 災害復旧事務費 災害復旧事務事業	Ⅲ 豊かなくらしと安心を実感できるまち 8 防災対策の充実 ③災害対策を強化する	262	66	7 事務管理費／特定の事務事業に属さない消耗品費や旅費等
165003		1						
財政課財政係	12	1	1	借入元金償還事業 借入元金償還事業 借入元金償還事業	Ⅳ 豊かさをつなぐ協働によるまちづくり 4 主体的で計画的な行財政運営の推進 ②健全な財政運営と財政基盤の強化	314	80	3 法令等に基づき実施する経費で、裁量により経費削減困難 （生活保護、児童手当など）
167001		1						